秋田県文化財調査報告書第396集

ムサ岱遺跡

―― 一般国道７号琴丘能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書ＸⅡ ――

２００５・３

秋田県教育委員会

秋田県文化財調査報告書第396集

ムサ岱遺跡

２００５・３

秋田県教育委員会

シンボルマークは、北秋田郡森吉町白坂（しろさか）遺跡
出土の「岩偶」です。
縄文時代晩期初頭、1992年８月発見、高さ７㎝、凝灰岩。

ムサ岱遺跡

── 一般国道７号琴丘能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書ＸⅡ ──

２００５・３

秋田県教育委員会

擦文土器（ＳＩ1200　出土）

1　ＳＩ113とＳＩ490（南東から）

2　ＳＢ1530（南から）

1　フラスコ状土坑集中区域とＳＩ2390（南から）

2　鉄刀（ＳＫ1811　出土）

序

本県には、これまでに発見された約4,600箇所の遺跡のほか、先人の遺産である埋蔵文化財が豊富に残されています。これらの埋蔵文化財は、地域の歴史や伝統を理解し、未来を展望した彩り豊かな文化を創造していくうえで、欠くことのできないものであります。

一方、一般国道７号琴丘能代道路をはじめとする高速交通体系の整備は、ゆとりと活力に満ちた新しいふるさと秋田の創造をめざす開発事業の根幹をなすものであります。本教育委員会では、これら地域開発との調和を図りながら、埋蔵文化財を保存し、活用することに鋭意取り組んでおります。

本報告書は、一般国道７号琴丘能代道路建設事業に先立って、平成14年度に能代市浅内地区において実施しましたムサ岱遺跡の発掘調査成果をまとめたものであります。ムサ岱遺跡からは、後期旧石器時代の遺物、縄文時代中期の竪穴住居跡やフラスコ状土坑のほか、平安時代の大規模な集落跡が発見されました。

本書が、ふるさとの歴史資料として広く活用され、埋蔵文化財保護の一助となることを心から願うものであります。

最後になりましたが、発掘調査ならびに本報告書の刊行にあたり、御協力いただきました国土交通省東北地方整備局能代河川国道事務所、能代市教育委員会など関係各位に対し厚くお礼申し上げます。

平成17年３月

秋田県教育委員会

教育長　小　野　寺　清

例　　言

1　本書は、一般国道７号琴丘能代道路建設事業に係るムサ岱遺跡の発掘調査報告書である。
2　本書は、平成14年に発掘調査された秋田県能代市浅内字ムサ岱に所在する、ムサ岱遺跡の調査成果を収めたものである。
3　発掘調査成果については、既にその一部が公表されているが、本報告書を正式なものとする。
4　本書の執筆は第１章と第３章を藤田賢哉が、第２章を佐藤信が、第４章と第６章を藤田賢哉、山田　子、吉川耕太郎が担当し、編集は藤田賢哉が行った。
5　土層断面などの土色表記は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修･財団法人日本色彩研究所色票監修『新版 標準土色帖』2002年版に拠った。
6　本書に使用した地形図は、国土地理院発行の50,000分の1地形図『能代』･『森岳』と25,000分の１地形図『能代』･『森岳』、国土交通省東北地方整備局能代河川国道事務所提供の『工事路線計画図』である。
7　自然科学分析は株式会社パレオ･ラボに委託した。
8　本書を作成するにあたり、次の方々から御指導、御助言を賜った。記して、感謝申し上げます。〔敬称略、五十音順〕
　穴澤義功(たたら研究会)　右代啓視(北海道開拓記念館)　齋藤 淳(青森県中里町博物館)

凡　　例

1　遺構番号は、種類毎に略記号を付し、種類を問わずに検出順に通し番号を付した。なお、調査の結果、遺構でないと判断したものについてはこれを欠番とした。遺構の種類に用いた略記号は下記の通りである。
　ＳＩ‥‥竪穴住居跡　ＳＲ‥‥土器埋設遺構　ＳＫＴ‥‥陥し穴　ＳＫＦ‥‥フラスコ状土坑
　ＳＫ‥‥土坑　ＳＢ‥‥堀立柱建物跡　ＳＫＩ‥‥竪穴状遺構　ＳＤ‥‥溝跡
　ＳＡ‥‥柵列・柱穴列　ＳＮ‥‥焼土遺構　ＳＫＰ‥‥柱穴様ピット
　なお、遺構図面中に記したＰは竪穴住居跡･掘立柱建物跡･柱列に伴う柱穴である。
2　土層番号は、原則的にローマ数字を基本層序に、算用数字を遺構土層に使用して区別した。
3　遺物図の断面のうち、黒く塗りつぶしたものは須恵器である。
4　遺物一覧表の〔〕内の数値は推定値である。
5　遺物図及び遺構図のスクリーントーンの凡例は次の通りである。

遺構のスクリーントーン

カマド及び焼土

明～黄褐色砂質土

被熱による硬化面

炭化物

貼床範囲

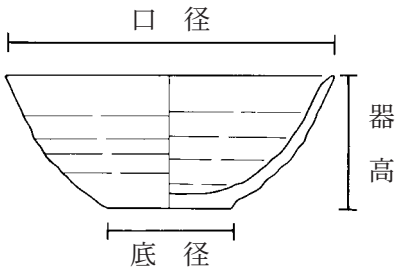
柱　痕

遺物のスクリーントーン

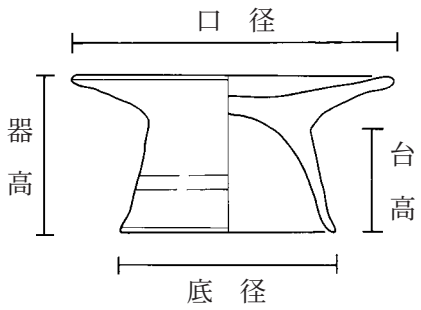
黒色処理

煤・油煙

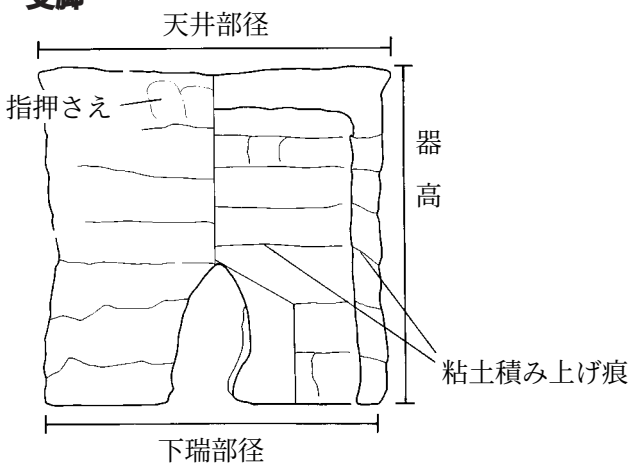
土師器坏



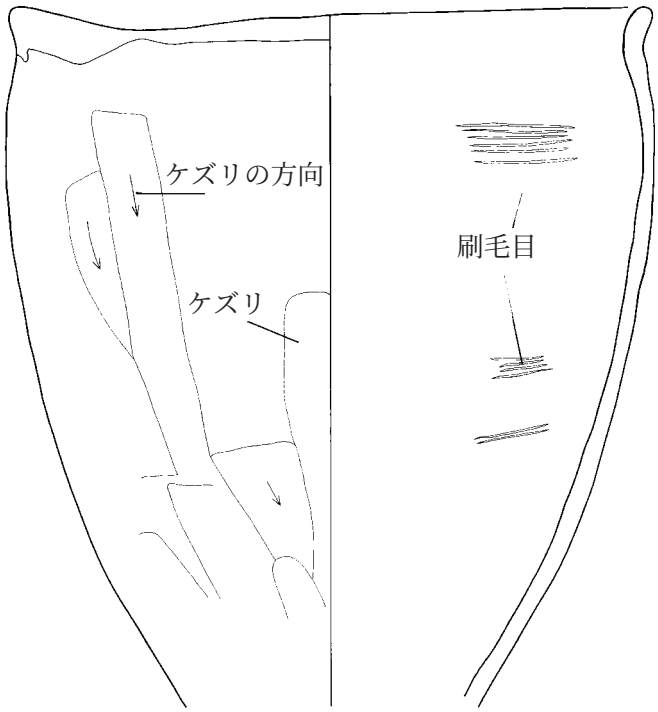
高台付皿



支脚



土師器甕



目　　次

巻頭図版
序
例言・凡例
目次
挿図目次
表目次
図版目次

第１章　はじめに　1
　第１節　調査に至る経過　1
　第２節　調査要項　2
第２章　遺跡の環境　3
　第１節　遺跡の位置と立地　3
　第２節　歴史的環境　5
第３章　発掘調査の概要　8
　第１節　遺跡の概観　8
　第２節　調査の方法　8
　第３節　調査の経過　8
　第４節　整理作業の方法と経過　9
第４章　調査の記録　11
　第１節　基本層序　11
　第２節　旧石器時代の出土遺物　13
　第３節　縄文時代の遺構と遺物　17
　　１　竪穴住居跡　17
　　２　土器埋設遺構　20
　　３　陥し穴　20
　　４　フラスコ状土坑　20
　　５　土坑　21
　第４節　古代の遺構と遺物　35
　　１　竪穴住居跡　35
　　２　掘立柱建物跡　149
　　３　竪穴状遺構　160
　　４　土坑　167
　　５　溝跡　268

6　柵列・柱穴列 …… 271
7　焼土遺構 …… 303
8　柱穴様ピット …… 311
第５節　遺構外出土遺物 …… 337
第５章　自然科学分析 …… 351
第１節　放射性炭素年代測定 …… 351
第２節　ムサ岱遺跡出土炭化材の樹種同定 …… 353
第３節　ムサ岱遺跡から出土した炭化種実 …… 354
第４節　ムサ岱遺跡のテフラ分析 …… 354
第６章　まとめ …… 357
第１節　旧石器時代 …… 357
第２節　縄文時代 …… 360
第３節　古代 …… 362

報告書抄録

挿図目次

第１図　一般国道７号琴丘能代道路と関連遺跡 …… 1
第２図　遺跡位置図 …… 3
第３図　地形区分図 …… 4
第４図　周辺遺跡位置図 …… 6
第５図　周辺地形とグリッド配置図 …… 10
第６図　基本層序図と基本層序作図地点 …… 12
第７図　旧石器時代の遺物（１） …… 15
第８図　旧石器時代の遺物（２） …… 16
第９図　ＳＩ510竪穴住居跡 …… 18
第10図　ＳＩ1600竪穴住居跡 …… 19
第11図　ＳＲ790土器埋設遺構　ＳＫＴ1970陥し穴　ＳＫＦ410・440フラスコ状土坑 …… 23
第12図　ＳＫＦ826・1007・1008フラスコ状土坑 …… 24
第13図　ＳＫＦ1956・1957・1960・2068フラスコ状土坑 …… 25
第14図　ＳＫＦ2069・2070・2102フラスコ状土坑 …… 26
第15図　ＳＫＦ2103・2104・2113・2900フラスコ状土坑 …… 27
第16図　ＳＫＦ2114・2115・2901フラスコ状土坑 …… 28
第17図　ＳＫＦ2116・2117・2125フラスコ状土坑　ＳＡ2895柵列 …… 29

第18図　ＳＫＦ2126・2127・2903フラスコ状土坑 …… 30
第19図　ＳＫＦ2625フラスコ状土坑　ＳＫ815・2624・3012土坑 …… 31
第20図　遺構内出土遺物（１）（ＳＩ510・ＳＲ790・ＳＫＦ826・2103・ＳＫ815) …… 32
第21図　遺構内出土遺物（２）（ＳＫＦ826・1956・2103・ＳＫ815) …… 33
第22図　遺構内出土遺物（３）（ＳＫ2624・3012) …… 34
第23図　ＳＩ12・53・190竪穴住居跡 …… 55
第24図　ＳＩ17・18竪穴住居跡 …… 56
第25図　ＳＩ26・450竪穴住居跡（１） …… 57
第26図　ＳＩ26・450竪穴住居跡（２） …… 58
第27図　ＳＩ51竪穴住居跡（１） …… 59
第28図　ＳＩ51竪穴住居跡（２） …… 60
第29図　ＳＩ90竪穴住居跡 …… 61
第30図　ＳＩ113・490竪穴住居跡（１） …… 62
第31図　ＳＩ113・490竪穴住居跡（２） …… 63
第32図　ＳＩ113竪穴住居跡カマド …… 64
第33図　ＳＩ115竪穴住居跡 …… 65
第34図　ＳＩ120・165竪穴住居跡（１） …… 66
第35図　ＳＩ120・165竪穴住居跡（２） …… 67
第36図　ＳＩ123竪穴住居跡 …… 68
第37図　ＳＩ125竪穴住居跡 …… 69
第38図　ＳＩ130竪穴住居跡 …… 70
第39図　ＳＩ145・180竪穴住居跡　ＳＮ488焼土遺構 …… 71
第40図　ＳＩ150竪穴住居跡 …… 72
第41図　ＳＩ150竪穴住居跡カマド　ＳＩ159竪穴住居跡 …… 73
第42図　ＳＩ211・212竪穴住居跡　ＳＫ617・618・2950土坑（１） …… 74
第43図　ＳＩ211・212竪穴住居跡　ＳＫ617・618・2950土坑（２） …… 75
第44図　ＳＩ213・220竪穴住居跡　ＳＫ2926・2927・2928・2931土坑（１） …… 76
第45図　ＳＩ213・220竪穴住居跡　ＳＫ2926・2927・2928・2931土坑（２） …… 77
第46図　ＳＩ275竪穴住居跡 …… 78
第47図　ＳＩ280・1080竪穴住居跡　ＳＤ92溝跡 …… 79
第48図　ＳＩ340竪穴住居跡 …… 80
第49図　ＳＩ350竪穴住居跡 …… 81
第50図　ＳＩ412竪穴住居跡（１）　ＳＫ2908土坑 …… 82
第51図　ＳＩ412竪穴住居跡（２） …… 83
第52図　ＳＩ430竪穴住居跡 …… 84
第53図　ＳＩ468竪穴住居跡　ＳＫＩ950・2892竪穴状遺構　ＳＫＦ830フラスコ状土坑（１） … 85

第54図　ＳＩ468竪穴住居跡　ＳＫＩ950・2892竪穴状遺構　ＳＫＦ830フラスコ状土坑（２）… 86
第55図　ＳＩ500竪穴住居跡　ＳＫ2938・2939・2940土坑 …… 87
第56図　ＳＩ515竪穴住居跡 …… 88
第57図　ＳＩ620竪穴住居跡　ＳＫ1155土坑（１）…… 89
第58図　ＳＩ620竪穴住居跡　ＳＫ1155土坑（２）…… 90
第59図　ＳＩ811竪穴住居跡 …… 91
第60図　ＳＩ860竪穴住居跡　ＳＫ2909土坑 …… 92
第61図　ＳＩ1000竪穴住居跡（１）…… 93
第62図　ＳＩ1000竪穴住居跡（２）…… 94
第63図　ＳＩ1000竪穴住居跡（３）…… 95
第64図　ＳＩ1000竪穴住居跡（４）…… 96
第65図　ＳＩ1060竪穴住居跡 …… 97
第66図　ＳＩ1145竪穴住居跡 …… 98
第67図　ＳＩ1200竪穴住居跡 …… 99
第68図　ＳＩ1235竪穴住居跡 …… 100
第69図　ＳＩ1240竪穴住居跡（１）…… 101
第70図　ＳＩ1240竪穴住居跡（２）…… 101
第71図　ＳＩ1250・1341竪穴住居跡 …… 103
第72図　ＳＩ1330竪穴住居跡 …… 104
第73図　ＳＩ1342竪穴住居跡 …… 105
第74図　ＳＩ1375竪穴住居跡 …… 106
第75図　ＳＩ1400竪穴住居跡 …… 107
第76図　ＳＩ1540竪穴住居跡 …… 108
第77図　ＳＩ1550竪穴住居跡 …… 109
第78図　ＳＩ1670・1810竪穴住居跡　ＳＫ1809・1811土坑 …… 110
第79図　ＳＩ1760竪穴住居跡（１）…… 111
第80図　ＳＩ1760竪穴住居跡（２）…… 112
第81図　ＳＩ1820竪穴住居跡（１）ＳＫ2925土坑 …… 113
第82図　ＳＩ1820竪穴住居跡（２）…… 114
第83図　ＳＩ1868竪穴住居跡 …… 115
第84図　ＳＩ1963竪穴住居跡　ＳＢ1945掘立柱建物跡　ＳＡ1951柱穴列（１）…… 116
第85図　ＳＩ1963竪穴住居跡　ＳＢ1945掘立柱建物跡　ＳＡ1951柱穴列（２）…… 117
第86図　ＳＩ2390竪穴住居跡（１）　ＳＤ2391・2395溝跡 …… 118
第87図　ＳＩ2390竪穴住居跡（２）　ＳＫ2314土坑　ＳＤ2391・2395溝跡 …… 119
第88図　ＳＩ2539・2540竪穴住居跡　ＳＫ2536・3014土坑（１）…… 120
第89図　ＳＩ2539・2540竪穴住居跡　ＳＫ2536・3014土坑（２）…… 121

第90図　遺構内出土遺物（４）（ＳＩ17・26・51）…… 122
第91図　遺構内出土遺物（５）（ＳＩ51・53・90）…… 123
第92図　遺構内出土遺物（６）（ＳＩ90・113）…… 124
第93図　遺構内出土遺物（７）（ＳＩ113）…… 125
第94図　遺構内出土遺物（８）（ＳＩ113・120・123）…… 126
第95図　遺構内出土遺物（９）（ＳＩ123・125・130・145）…… 127
第96図　遺構内出土遺物（10）（ＳＩ145・150）…… 128
第97図　遺構内出土遺物（11）（ＳＩ150・165・180）…… 129
第98図　遺構内出土遺物（12）（ＳＩ180・212・213）…… 130
第99図　遺構内出土遺物（13）（ＳＩ213・220・280）…… 131
第100図　遺構内出土遺物（14）（ＳＩ280・350・412）…… 132
第101図　遺構内出土遺物（15）（ＳＩ412・430・450）…… 133
第102図　遺構内出土遺物（16）（ＳＩ450・468・490）…… 134
第103図　遺構内出土遺物（17）（ＳＩ500・811・860・1000）…… 135
第104図　遺構内出土遺物（18）（ＳＩ1060）…… 136
第105図　遺構内出土遺物（19）（ＳＩ1145・1200）…… 137
第106図　遺構内出土遺物（20）（ＳＩ1200・1235・1240・1330・1341・1342）…… 138
第107図　遺構内出土遺物（21）（ＳＩ1342・1375・1400・1550・1670）…… 139
第108図　遺構内出土遺物（22）（ＳＩ1760）…… 140
第109図　遺構内出土遺物（23）（ＳＩ1810・1820・1963）…… 141
第110図　遺構内出土遺物（24）（ＳＩ1963・2390）…… 142
第111図　遺構内出土遺物（25）（ＳＩ2539・2540）…… 143
第112図　ＳＢ499掘立柱建物跡 …… 151
第113図　ＳＢ1395掘立柱建物跡　ＳＤ1583溝跡（１）…… 152
第114図　ＳＢ1395掘立柱建物跡　ＳＤ1583溝跡（２）…… 153
第115図　ＳＢ1467掘立柱建物跡 …… 154
第116図　ＳＢ1530掘立柱建物跡　ＳＫ2913・2914土坑　ＳＮ1525・1526・1527焼土遺構　155
第117図　ＳＢ1954掘立柱建物跡 …… 156
第118図　ＳＢ2171掘立柱建物跡 …… 157
第119図　ＳＢ2580掘立柱建物跡　ＳＡ1538柵列 …… 158
第120図　ＳＫＩ66・122・231竪穴状遺構 …… 162
第121図　ＳＫＩ300・1100竪穴状遺構 …… 163
第122図　ＳＫＩ1394・2305・2306竪穴状遺構 …… 164
第123図　遺構内出土遺物（26）（ＳＢ499・1395・1530・2580・ＳＫＩ300・1100・2305）　165
第124図　ＳＫ7・8・9・13・19・29土坑 …… 203
第125図　ＳＫ30・31・32・38・39・50・94・185土坑 …… 204

第126図　ＳＫ58・59・68・69土坑　ＳＤ73・2978溝跡 …… 205
第127図　ＳＫ70・77・78・79・85・88・89土坑 …… 206
第128図　ＳＫ91・103・104・105・109・151土坑 …… 207
第129図　ＳＫ121・124・126・131・132・133・134・154・156土坑 …… 208
第130図　ＳＫ157・158・161・162・163・164・526土坑 …… 209
第131図　ＳＫ167・168・173・193・205・215・216土坑 …… 210
第132図　ＳＫ222・223・224・225・232・233土坑 …… 211
第133図　ＳＫ234・235・236・253・256土坑 …… 212
第134図　ＳＫ254・255・258・263・273・277土坑 …… 213
第135図　ＳＫ278・279・290・301・303・308・323・330・333土坑　ＳＮ315焼土遺構 …… 214
第136図　ＳＫ341・342・343・346・383・400・403土坑 …… 215
第137図　ＳＫ415・420・427・491・492・561土坑 …… 216
第138図　ＳＫ566・601・616・685・687・721・821・831・844土坑 …… 217
第139図　ＳＫ849・851・852・853・854・855・857・2078土坑 …… 218
第140図　ＳＫ858・859・861・942・952・955土坑　ＳＮ2293焼土遺構 …… 219
第141図　ＳＫ960・967・985・986・999・1006・1072・1075・3004土坑 …… 220
第142図　ＳＫ1081・1082・1092・1099・1120・1126土坑 …… 221
第143図　ＳＫ1150・1152・1153・1231・1232・1233土坑 …… 222
第144図　ＳＫ1242・1245・1246・1276・1314・1325土坑 …… 223
第145図　ＳＫ1334・1336・1337・1338・1343・1344・1377土坑 …… 224
第146図　ＳＫ1345・1392・1393・1397・1398土坑 …… 225
第147図　ＳＫ1441・1443・1461・1480・1481・1484・1485土坑 …… 226
第148図　ＳＫ1489・1490・1495・1513・1514土坑　ＳＮ1500焼土遺構 …… 227
第149図　ＳＫ1522・1529・1534・1537・1539・1541土坑 …… 228
第150図　ＳＫ1690・1700・1740・1758・1800・2001土坑 …… 229
第151図　ＳＫ1801・1802・1803・1805・1806・1808・2290土坑 …… 230
第152図　ＳＫ1817・1818・1819・1841・1842・1843・1844・1883・2925土坑 …… 231
第153図　ＳＫ1915・1961・1962・1969・1992・2007・2024土坑 …… 232
第154図　ＳＫ2002・2003・2060・2071・2122・2123・3020土坑 …… 233
第155図　ＳＫ2120土坑　ＳＮ2531焼土遺構 …… 234
第156図　ＳＫ2140土坑（１） …… 235
第157図　ＳＫ2140土坑（２） …… 236
第158図　ＳＫ2131・2132・2136・2137・2194・2226土坑 …… 237
第159図　ＳＫ2211・2212・2230・2269・2276・2277・2292土坑 …… 238
第160図　ＳＫ2300・2302・2307・2309・2311・2462土坑 …… 239
第161図　ＳＫ2315・2318・2463土坑 …… 240

第162図　ＳＫ2548・2549・2560・2563・2570・2584・2595土坑 …… 241
第163図　ＳＫ2465・2470・2471・2476・2525・2537・2545・2546土坑 …… 242
第164図　ＳＫ2210・2488・2585・2921・2922土坑 …… 243
第165図　ＳＫ2586・2589・2590・2599・2611・2621・2622・2665・2681土坑 …… 244
第166図　ＳＫ2861・2915・2916・2923・2924・2940土坑 …… 245
第167図　ＳＫ2958・2964・2967・2983土坑 …… 246
第168図　遺構内出土遺物（27）（ＳＫ７・８・９・32・38・50・68・77・85）…… 247
第169図　遺構内出土遺物（28）（ＳＫ85・104・127・132・154・156・157）…… 248
第170図　遺構内出土遺物（29）（ＳＫ162・173・216・222・232・235・254・290）…… 249
第171図　遺構内出土遺物（30）（ＳＫ323・343・400・403・420・561）…… 250
第172図　遺構内出土遺物（31）（ＳＫ685・853・858・859・861・952・960・1700）…… 251
第173図　遺構内出土遺物（32）（ＳＫ1150・1153・1155・1245）…… 252
第174図　遺構内出土遺物（33）（ＳＫ1245・1325・1336・1343・1377・1484・1485）　253
第175図　遺構内出土遺物（34）（ＳＫ1485・1495・1690・1700・1740・1746）…… 254
第176図　遺構内出土遺物（35）（ＳＫ1800・1801・1808・1811・2002・2007・2024）　255
第177図　遺構内出土遺物（36）（ＳＫ2120・2122・2140）…… 256
第178図　遺構内出土遺物（37）（ＳＫ2140・2225・2226・2276・2292・2314・2315・2465）257
第179図　遺構内出土遺物（38）（ＳＫ2470・2536・2585）…… 258
第180図　遺構内出土遺物（39）（ＳＫ2585・2595）…… 259
第181図　遺構内出土遺物（40）（ＳＫ2585・2586・2589）…… 260
第182図　遺構内出土遺物（41）（ＳＫ2590・2622）…… 261
第183図　ＳＤ27・100溝跡 …… 272
第184図　ＳＤ34・98・201・406溝跡　ＳＫ2996土坑 …… 273
第185図　ＳＤ99・486・3017溝跡 …… 274
第186図　ＳＤ422・455・615・1271・1958溝跡 …… 275
第187図　ＳＤ1882・2139・2317・2430溝跡 …… 276
第188図　ＳＤ1340・2400溝跡 …… 277
第189図　ＳＡ３・11・65柵列 …… 284
第190図　ＳＡ22・24柱穴列 …… 285
第191図　ＳＡ129柵列　ＳＡ226柱穴列　ＳＫ127・128土坑 …… 286
第192図　ＳＡ250・271柱穴列 …… 287
第193図　ＳＡ331・360・380柱穴列 …… 288
第194図　ＳＡ631・701・712柱穴列 …… 289
第195図　ＳＡ1313柵列　ＳＡ1492柱穴列 …… 290
第196図　ＳＡ1370・2033柱穴列 …… 291
第197図　ＳＡ2105・2106・2128・2129柵列　ＳＤ2998溝跡 …… 292

第198図　ＳＡ2188・2222柱穴列　ＳＡ2558柵列 …… 293
第199図　ＳＡ2543・2544柵列　ＳＡ2703柱穴列 …… 294
第200図　ＳＡ2882・3000柱穴列 …… 295
第201図　遺構内出土遺物（42）（ＳＤ27） …… 299
第202図　遺構内出土遺物（43）（ＳＤ27・100） …… 300
第203図　遺構内出土遺物（44）（ＳＤ1538・1581・2391・2400
ＳＡ24・65・226・360・631・701・2543・3000） …… 301
第204図　ＳＮ16・61・80・160・166・199焼土遺構 …… 307
第205図　ＳＮ200・272・274・319・345・361・411・605・666焼土遺構 …… 308
第206図　ＳＮ667・1001・1077・1355・1542・1543・1559・1560・2041・2133焼土遺構 …… 309
第207図　ＳＮ2134・2200・2201・2228・2987焼土遺構 …… 310
第208図　遺構内出土遺物（45）（ＳＮ61・274・345） …… 333
第209図　遺構内出土遺物（46）（ＳＮ605・1525・2293
ＳＫＰ287・349・351・659・708・794・799・1323・2150） 334
第210図　遺構内出土遺物（47）（ＳＫＰ2296・2366・2830・2902・2904） …… 335
第211図　遺構外出土遺物（１）（縄文時代） …… 338
第212図　遺構外出土遺物（２）（縄文時代） …… 339
第213図　遺構外出土遺物（３）（縄文時代） …… 340
第214図　遺構外出土遺物（４）（古代） …… 342
第215図　遺構外出土遺物（５）（古代） …… 343
第216図　遺構外出土遺物（６）（古代） …… 344
第217図　遺構外出土遺物（７）（古代） …… 345
第218図　遺構外出土遺物（８）（古代） …… 346
第219図　遺構外出土遺物（９）（古代） …… 347
第220図　遺構外出土遺物（10）（古代） …… 348
第221図　秋田県における旧石器時代編年試案 …… 361
第222図　ムサ岱遺跡の変遷、周辺遺跡範囲と上ノ山Ⅱ遺跡遺構配置図 …… 363

表目次

第１表　ムサ岱遺跡と周辺の遺跡一覧表 …… 7
第２表　旧石器一覧表 …… 16
第３表　フラスコ状土坑・土坑一覧表 …… 22
第４表　遺構内出土遺物（縄文）一覧表 …… 34
第５表　竪穴住居跡（古代）出土遺物一覧表（１） …… 144

第６表　竪穴住居跡（古代）出土遺物一覧表（２）…… 145
第７表　竪穴住居跡（古代）出土遺物一覧表（３）…… 146
第８表　竪穴住居跡（古代）出土遺物一覧表（４）…… 147
第９表　竪穴住居跡（古代）出土遺物一覧表（５）…… 148
第10表　掘立柱建物跡柱穴一覧表 …… 159
第11表　掘立柱建物跡・竪穴状遺構出土遺物一覧表 …… 166
第12表　土坑（古代）出土遺物一覧表（１）…… 261
第13表　土坑（古代）出土遺物一覧表（２）…… 262
第14表　土坑（古代）出土遺物一覧表（３）…… 263
第15表　土坑（古代）出土遺物一覧表（４）…… 264
第16表　土坑（古代）出土遺物一覧表（５）…… 265
第17表　土坑（古代）出土遺物一覧表（６）…… 266
第18表　土坑（古代）出土遺物一覧表（７）…… 267
第19表　柵列・柱穴列柱穴様ピット一覧表（１）…… 296
第20表　柵列・柱穴列柱穴様ピット一覧表（２）…… 297
第21表　柵列・柱穴列柱穴様ピット一覧表（３）…… 298
第22表　溝跡・柵列・柱穴列出土遺物一覧表 …… 302
第23表　柱穴様ピット一覧表（１）…… 311
第24表　柱穴様ピット一覧表（２）…… 312
第25表　柱穴様ピット一覧表（３）…… 313
第26表　柱穴様ピット一覧表（４）…… 314
第27表　柱穴様ピット一覧表（５）…… 315
第28表　柱穴様ピット一覧表（６）…… 316
第29表　柱穴様ピット一覧表（７）…… 317
第30表　柱穴様ピット一覧表（８）…… 318
第31表　柱穴様ピット一覧表（９）…… 319
第32表　柱穴様ピット一覧表（10）…… 320
第33表　柱穴様ピット一覧表（11）…… 321
第34表　柱穴様ピット一覧表（12）…… 322
第35表　柱穴様ピット一覧表（13）…… 323
第36表　柱穴様ピット一覧表（14）…… 324
第37表　柱穴様ピット一覧表（15）…… 325
第38表　柱穴様ピット一覧表（16）…… 326
第39表　柱穴様ピット一覧表（17）…… 327
第40表　柱穴様ピット一覧表（18）…… 328
第41表　柱穴様ピット一覧表（19）…… 329

第42表　柱穴様ピット一覧表（20）…… 330
第43表　柱穴様ピット一覧表（21）…… 331
第44表　柱穴様ピット一覧表（22）…… 332
第45表　焼土遺構・柱穴様ピット出土遺物一覧表 …… 336
第46表　遺構外出土遺物（縄文石器）一覧表 …… 339
第47表　遺構外出土遺物（縄文土器）一覧表 …… 340
第48表　遺構外出土遺物（古代）一覧表（１）…… 349
第49表　遺構外出土遺物（古代）一覧表（２）…… 350
第50表　放射性年代測定および暦年代較正の結果 …… 352
第51表　火山灰および炭化材樹種関連表 …… 356

図版目次

巻頭図版１　擦文土器（ＳＩ1200出土）

巻頭図版２　１　ＳＩ113とＳＩ490（南東から）
　　２　ＳＢ1530（南から）

巻頭図版３　１　フラスコ状土坑集中区域とＳＩ2390（南から）
　　２　鉄刀（ＳＫ1811出土）

図版１　１　ムサ岱遺跡（北東上空から）
　　２　ＳＩ1000とその周辺（上が南東）

図版２　１　ＳＩ510（南から）
　　２　ＳＩ510カマド
　　３　ＳＫＴ1970（東から）

図版３　１　フラスコ状土坑群（東から）
　　２　ＳＫＦ2117（南から）
　　３　ＳＩ51（南東から）

図版４　１　ＳＩ51カマド（北西から）
　　２　ＳＩ90（北東から）
　　３　ＳＩ90カマド（南東から）

図版５　1　ＳＩ113（北西から）
2　ＳＩ113カマド（北西から）
3　ＳＩ120（北西から）

図版６　1　ＳＩ125（東から）
2　ＳＩ145（北東から）
3　ＳＩ150（北西から）

図版７　1　ＳＩ159（南東から）
2　ＳＩ165（南東から）
3　ＳＩ213（南東から）

図版８　1　ＳＩ212（北西から）
2　ＳＩ350（東から）
3　ＳＩ412（北西から）

図版９　1　ＳＩ468（南東から）
2　ＳＩ515（南東から）
3　ＳＩ860（北西から）

図版10　1　ＳＩ1060（南東から）
2　ＳＩ1145（南から）
3　ＳＩ1235（西から）

図版11　1　ＳＩ1240（北西から）
2　ＳＩ1375（北西から）
3　ＳＩ1550（北西から）

図版12　1　ＳＩ1760（北西から）
2　ＳＩ1810（南東から）
3　ＳＩ1963（東から）

図版13　1　ＳＩ2539・2540（北西から）
2　ＳＢ1395（南東から）
3　ＳＢ1530（南から）

図版14　1　ＳＢ1945・ＳＡ1951（北東から）
2　ＳＢ2171（南西から）
3　ＳＫＩ66（南東から）

図版15　1　ＳＫＩ122（南東から）
2　ＳＫＩ300（北西から）
3　ＳＫＩ2305・2306（北から）

図版16　1　ＳＡ250（南西から）
2　ＳＡ631（北西から）
3　ＳＡ701（南西から）

図版17　1　ＳＡ631・701（真上から）
2　ＳＡ2543（東から）
3　ＳＫ2140（東から）

図版18　1　ＳＮ1525（南から）
2　ＳＮ1526・ＳＫ2913（西から）
3　ＳＫ1811遺物出土状況（南から）

図版19　出土遺物（旧石器）
遺構内出土縄文石器
遺構外出土縄文石器

図版20　ＳＲ790出土縄文土器
ＳＫＦ826・ＳＫ815出土縄文土器

図版21　ＳＫＦ826・2103・ＳＫ8115出土縄文土器
遺構内出土縄文土器

図版22　遺構内出土縄文土器
遺構外出土縄文土器

図版23　ＳＩ17支脚
ＳＩ26・450・468支脚
ＳＩ51土師器坏

ＳＩ90土師器甕
ＳＩ90土師器甕
ＳＩ113土師器坏

図版24　ＳＩ113土師器坏
ＳＩ113土師器甕
ＳＩ113土師器甕
ＳＩ113土師器甕
ＳＩ113支脚
ＳＩ120支脚

図版25　ＳＩ123土師器坏
ＳＩ125土師器甕
ＳＩ145土師器甕
ＳＩ145土師器甕
ＳＩ150土師器坏
ＳＩ150土師器坏

図版26　ＳＩ150土師器甕
ＳＩ150土師器甕
ＳＩ213土師器坏
ＳＩ213土師器坏
ＳＩ280土師器坏
ＳＩ350支脚

図版27　ＳＩ412土師器鍋
ＳＩ412刀子
ＳＩ412支脚
ＳＩ1000土師器坏
ＳＩ1200土師器坏
ＳＩ1235鋲具

図版28　ＳＩ1240フイゴ羽口
ＳＩ1400土師器坏
ＳＩ1550土師器坏
ＳＩ1760土師器坏
ＳＩ1760土師器坏
ＳＩ1760支脚

図版29　ＳＩ1963土師器坏
ＳＩ1963土師器鍋
ＳＩ2390刀子
ＳＩ2539土師器坏
ＳＩ2539土師器坏
ＳＩ2539土師器坏

図版30　ＳＩ2540支脚
ＳＫ85須恵器甕
ＳＫ216土師器皿
ＳＫ290土師器坏
ＳＫ1153土師器坏
ＳＫ1153土師器坏

図版31　ＳＫ1153土師器甕
ＳＫ1245土師器坏
ＳＫ1245土師器坏
ＳＫ1336吊手金具
ＳＫ1336鋲具
ＳＫ2585土師器坏

図版32　ＳＫ2585土師器坏
ＳＫ2585土師器坏
ＳＫ2585土師器坏
ＳＫ2585土師器坏
ＳＫ2589土師器坏
ＳＫ2622土師器坏

図版33　ＳＤ27土師器坏
ＳＤ27土師器坏
ＳＤ27土師器坏
ＳＤ27須恵器甕
ＳＡ2543土師器甕

ＳＮ61土師器坏

図版34　遺構外出土土器（土師器坏）
遺構外出土土器（土師器坏）
遺構外出土土器（土師器坏）
遺構外出土土器（土師器坏）
遺構外出土土器（高台付皿）
遺構外出土土器（土師器甕）

図版35　遺構外出土土器（土師器甕）
遺構外出土土器（須恵器甕）
遺構外出土土器（続縄文土器）
遺構外出土鉄製品（雁又鏃）
遺構外出土鉄製品（紡錘車）
遺構外出土鉄製品（刀）

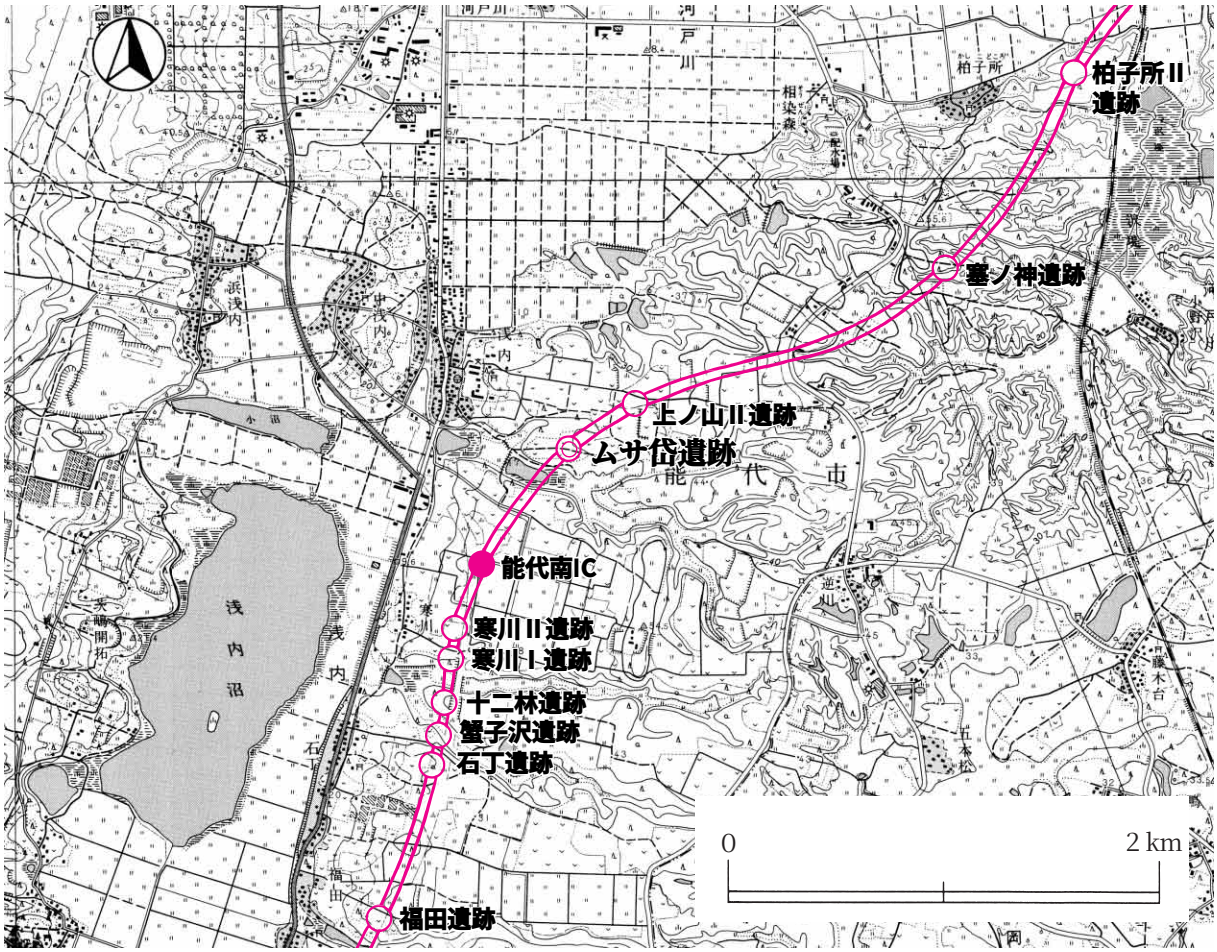
第１章　はじめに

第１節　調査に至る経過

一般国道７号琴丘能代道路建設事業は、一般国道７号線の自動車専用道路として、山本郡琴丘町から山本郡二ツ井町までの全長33.8㎞を整備する事業である。

一般バイパスとしてすでに事業化されていたが、平成元年度に高規格道路網の整備促進の一環として、自動車専用道路に規格変更された。その後工事が進められ、平成4年度には八竜ＩＣから能代南ＩＣまでの4.1㎞が、暫定供用区間として開通した。平成６年度には、能代南ＩＣ～能代東ＩＣ間(6.7㎞)の区間延伸が決定している。

秋田県教育委員会は、平成12年度から能代南ＩＣ～能代東ＩＣ間を対象とした区間について、遺跡分布調査及び遺跡確認調査を行った。平成13年度の遺跡確認調査は、柏子所Ⅱ遺跡、ムサ岱遺跡、上ノ山Ⅱ遺跡、塞ノ神Ⅱ遺跡、横長根Ａ遺跡の５遺跡を対象として行われ、その結果、柏子所Ⅱ遺跡、ムサ岱遺跡、上ノ山Ⅱ遺跡の３遺跡に発掘調査が必要と判断された。ムサ岱遺跡は、工事対象区域14,700㎡全域が発掘調査の対象範囲として認められたが、橋脚建設のための盛土部分2,160㎡は調査対象外とし、残り12,540㎡を平成14年度に調査することになった。



第１図　一般国道７号琴丘能代道路と関連遺跡

第２節　調査要項

遺 跡 名 称　　ムサ岱遺跡
遺 跡 略 号　　３ＭＳＤ
所　在　地　　秋田県能代市浅内字ムサ岱38外
調 査 期 間　　平成14年5月20日～11月1日
調 査 目 的　　一般国道7号琴丘能代道路建設事業に係る事前発掘調査
調 査 面 積　　12,540㎡
調査主体者　　秋田県教育委員会
調査担当者　　藤田　賢哉(秋田県埋蔵文化財センター中央調査課学芸主事)
　　山田　　子(秋田県埋蔵文化財センター中央調査課文化財主事)
　　磯村　　亨(秋田県埋蔵文化財センター中央調査課学芸主事)
　　進藤　　紀(秋田県埋蔵文化財センター中央調査課学芸主事)
　　大渕　和峰(秋田県埋蔵文化財センター中央調査課非常勤職員)
　　菊池　朋宏(秋田県埋蔵文化財センター中央調査課非常勤職員)
　　菊地　　亮(秋田県埋蔵文化財センター中央調査課非常勤職員)
　　長谷川幹子(秋田県埋蔵文化財センター中央調査課非常勤職員)
総務担当者　　土橋　謙一(秋田県埋蔵文化財センター総務課主事)
調査協力機関　　国土交通省東北地方整備局能代河川国道事務所　能代市教育委員会

《参考文献》

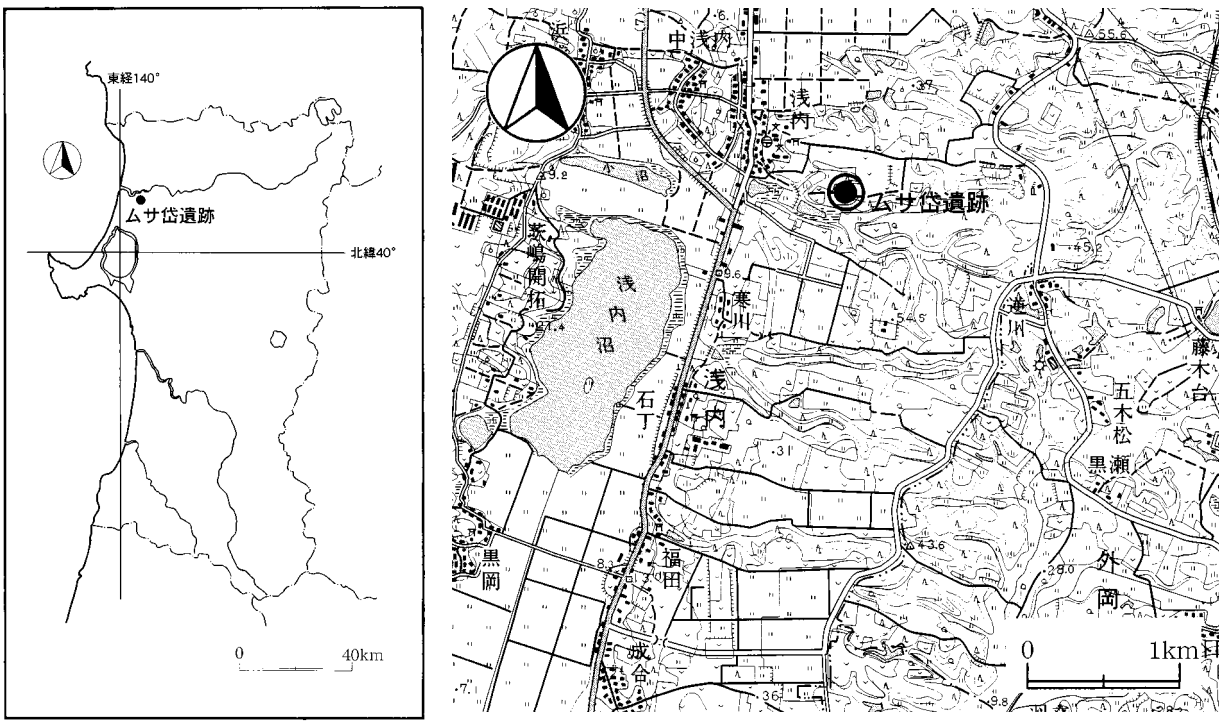
秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財報告書第324集　2001(平成13)年
秋田県教育委員会　『遺跡詳細分布調査報告書』　秋田県文化財報告書第325集　2002(平成14)年

第２章　遺跡の環境

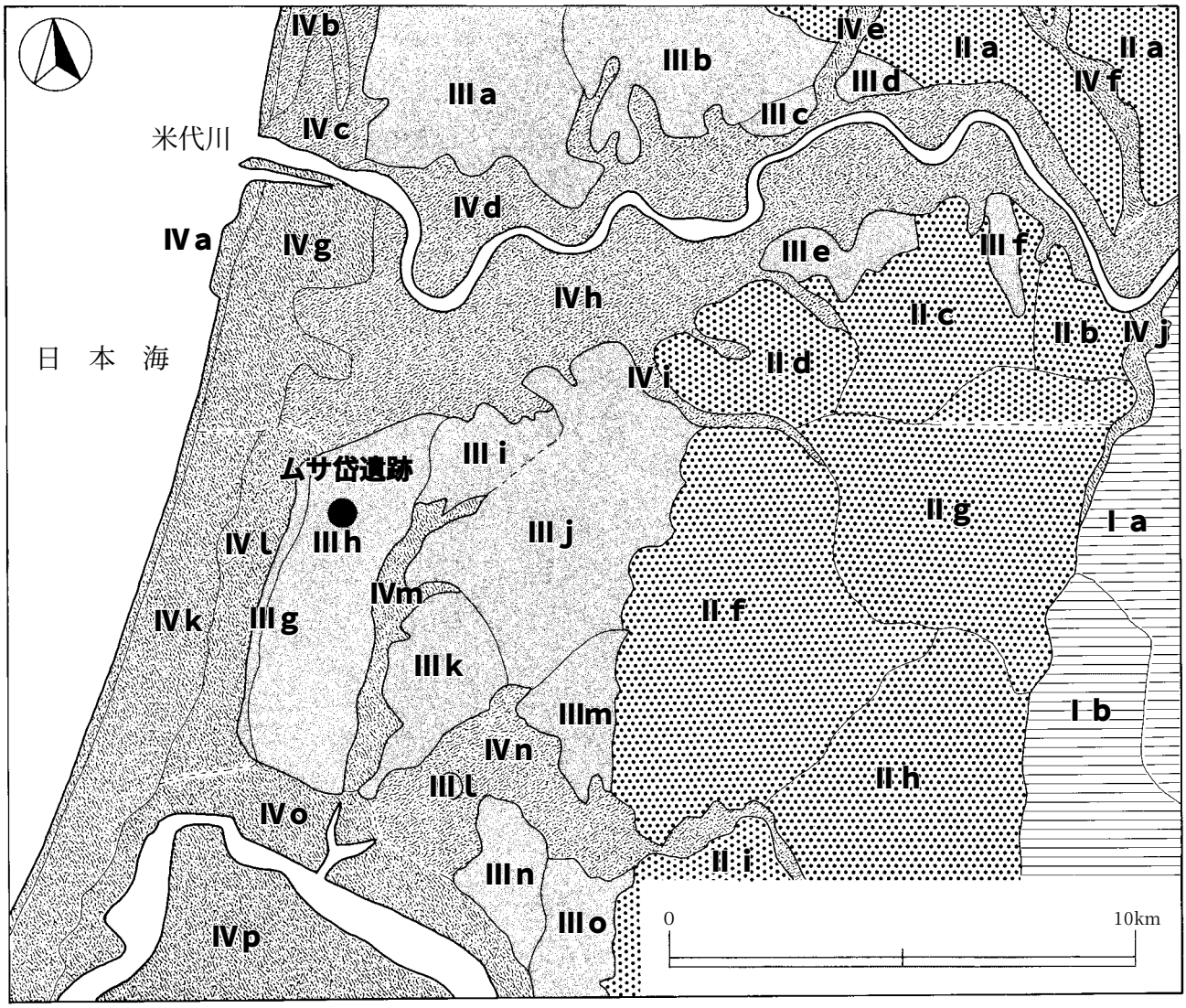
第１節　遺跡の位置と立地

ムサ岱遺跡の所在する能代市は出羽丘陵北部の西寄りに位置し、東は奥羽脊梁山脈より分岐する太平山山地に連なる七座山山地－房中山山地、南は台地や低地、西は日本海、北は白神に連なる山地に囲まれた地域である。能代市の中心部を西流し日本海に至る米代川は沖積平野を形成し、この地域を南北に２分している。米代川下流域南部の地形を東から西へ見ると、七座山(標高287m）がそびえる七座山山地、内川低地、標高約100～200mの羽立丘陵地、標高約80～100mの桧山･山本丘陵地を経て、標高50～60mの志戸橋野台地、間に鵜川川低地を挟み、成合台地・大曲台地、さらに浅内海岸低地、日本海岸砂丘(能代砂丘)、海浜低地、日本海へと概ね東高西低の地形を示す(第３図)。

遺跡が位置する成合台地は、東側の鵜川川低地と西側の浅内沼が属する浅内海岸低地の間に挟まれた武蔵野面相当の台地で、南北約８㎞、東西2.5kmに展開している。土壌統は大部分が表層腐植質黒ボク土の大川口統であるが､西縁に埋没腐植層のある淡色黒ボク土の切明統がみられる区域もある。標高30mほどの台地上面はかつて、北東から南西へ緩やかに下降する斜面地であったと考えられる。この地形は、一部耕作地などに利用されることはあっても、大きく変化することなく近年に至ったものと思われるが、昭和51年に始まる国営能代開拓建設事業により大規模な切り土と盛り土が行われ、水田や畑地などの整地された平坦面によって構成される農地に姿を変えた。現在台地上には人家が疎らで、主に農地、植林地などに利用されている。ムサ岱遺跡はこの成合台地の北部、米代川河口左岸から南東へ約７㎞、日本海までは西に直線で約４㎞の北緯40°９′19″、東経140°１′52″に位置する。



第２図　遺跡位置図



Ⅰ　山地
Ⅰａ　七座山山地
Ⅰｂ　房中山山地

Ⅱ　丘陵地
Ⅱａ　常磐種梅丘陵地
Ⅱｂ　七折山丘陵地
Ⅱｃ　茂谷山山地
Ⅱｄ　幟山丘陵地
Ⅱｅ　小掛丘陵地
Ⅱｆ　檜山・山本丘陵地
Ⅱｇ　羽立丘陵地
Ⅱｈ　谷地の沢丘陵地
Ⅱｉ　石倉山丘陵地

Ⅲ　台地・段丘地
Ⅲａ　東雲開拓台地
Ⅲｂ　大野豊栄台地
Ⅲｃ　常磐台地
Ⅲｄ　天内台地
Ⅲｅ　大台野台地
Ⅲｆ　烏野台地
Ⅲｇ　大曲台地
Ⅲｈ　成合台地
Ⅲｉ　浅内台地
Ⅲｊ　志戸橋野台地
Ⅲｋ　金光寺野台地
Ⅲｌ　泉八日台地
Ⅲｍ　豊岡台地
Ⅲｎ　横長根台地
Ⅲｏ　森岳・寒城台地

Ⅳ　低地
Ⅳａ　海浜低地
Ⅳｂ　落合砂丘地
Ⅳｃ　落合海岸低地
Ⅳｄ　米代川下流右岸低地
Ⅳｅ　常磐川低地
Ⅳｆ　種梅川低地
Ⅳｇ　能代砂丘地
Ⅳｈ　米代川下流左岸低地
Ⅳｉ　檜山川低地
Ⅳｊ　内川低地
Ⅳｋ　日本海岸砂丘地
Ⅳｌ　浅内海岸低地
Ⅳｍ　鵜川川低地
Ⅳｎ　三種川低地
Ⅳｏ　八郎潟湖岸低地
Ⅳｐ　大潟人工干拓低地

第３図　地形区分図

第２節　歴史的環境

能代市の遺跡は台地上に多く確認されている。その数は約180遺跡を数え、縄文時代前期の大型住居跡が検出された杉沢台遺跡(国指定史跡）をはじめとして、注目される遺跡が多い。能代市の米代川左岸に位置する成合台地においても、昭和58年度の農林水産省東北農政局の能代開拓建設事業に係る緊急発掘調査及び昭和62年度の建設省の一般国道７号八竜能代道路建設事業に係る発掘調査などによって調査結果が多く報告されている。ここでは、ムサ岱遺跡が立地する成合台地及びその周辺における遺跡の分布、概要について記す。

１　旧石器時代

成合台地周辺の旧石器時代の遺跡としては、本遺跡から北西に約0.5㎞位置する此掛沢Ⅱ遺跡(第１図－16、以下同図番号）がある。この遺跡は、米代川流域において初めて確認された旧石器時代の遺跡であり、旧石器が1,750点以上出土し、中でも米ヶ森型台形石器が多く、米ヶ森型技法が能代まで及んでいたことを証明している。その他の旧石器時代の遺跡では、本遺跡から南東へ約1.2㎞の逆川遺跡(31）で石核･石刃等が約20点出土している。

２　縄文時代･弥生時代

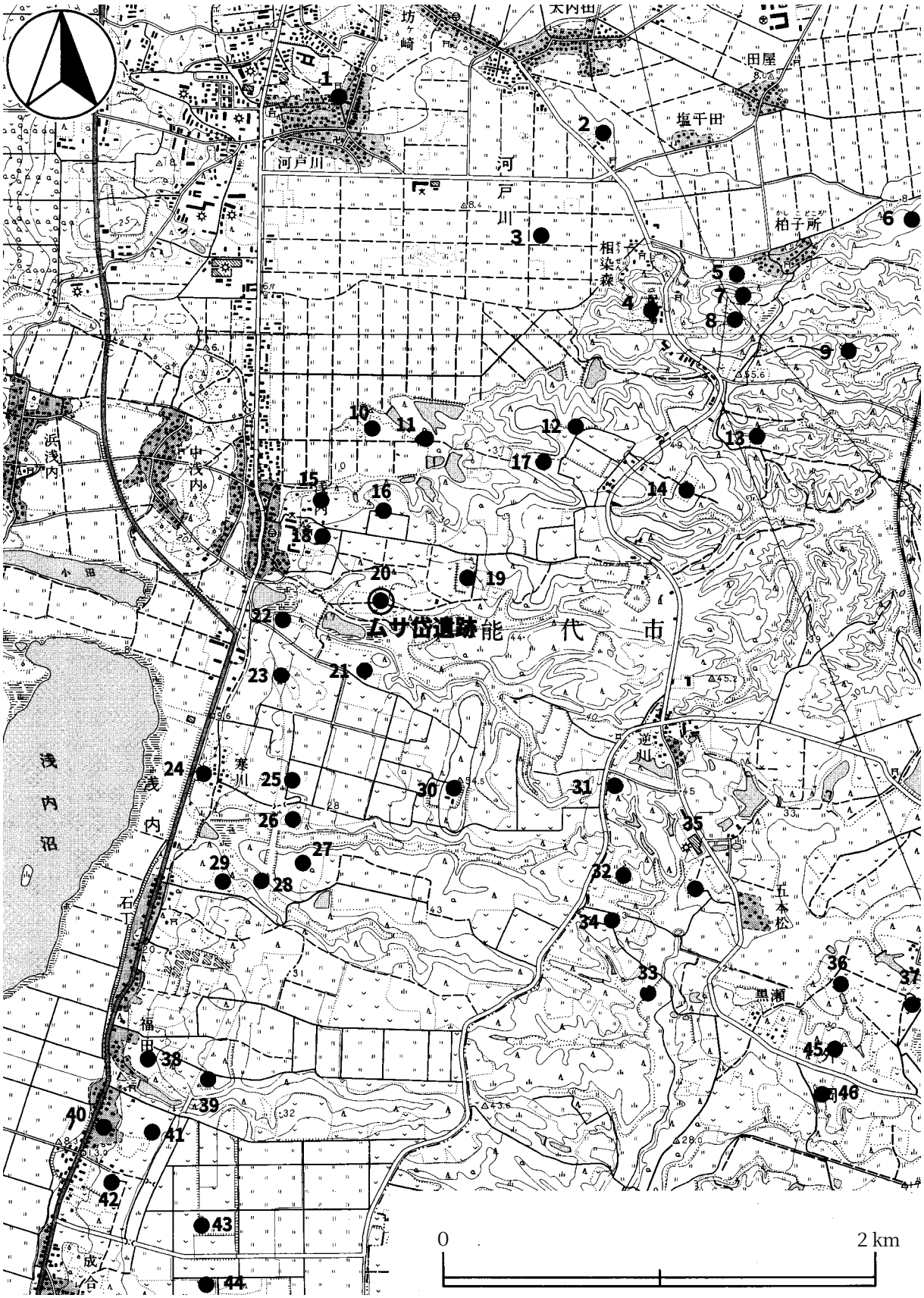
昭和61年度には、本遺跡から南西に約1.5㎞に位置し、成合台地上にある寒川Ⅰ遺跡(25）と寒川Ⅱ遺跡(26）が発掘調査された。寒川Ⅰ遺跡は縄文時代早期末葉の竪穴住居跡とそれに伴ってトランシェ様石器31点などが出土し、その他縄文時代中期の竪穴住居跡、縄文時代後期の竪穴住居跡と土器棺墓･土坑墓、弥生時代前期の捨て場が見つかっている。その南側に隣接する寒川Ⅱ遺跡においては、後北式土器を埋納した土坑墓が検出されている。寒川地区においては、多時期にわたる多様な遺構･遺物等の検出が認められ、集落が断続的に営まれていたと考えられている。この他、平成13年６月から７月に能代市教育委員会によって調査された相染森遺跡(4)は、本遺跡の北東約1.6㎞に位置し、縄文時代中･後期の土器及び石器が出土している。

平成14年度に調査された柏子所Ⅱ遺跡(6)は、本遺跡の北東約2.8㎞に位置する。この遺跡は縄文時代後期後半の遺跡であることが判明し、トチのアク抜きを行ったと考えられる水さらし場遺構と竪穴住居跡･土器埋設遺構･捨て場などが見つかっている。当該期の人々の生活の様相を知る上で貴重な遺跡である。

縄文時代晩期の遺跡では、能代市で初めて発掘調査が行われた柏子所貝塚(7)がある。本遺跡から北東へ約２㎞に位置するこの遺跡は昭和30年１月に県指定史跡に登録され、同年10月から33年８月にわたって３回の発掘調査が行われた。その結果、縄文時代晩期大洞Ｂ～Ｃ1式期の貝塚であることがわかり、７基の土坑墓から８体の人骨が見つかっており、当該期の埋葬方法を知る貴重な遺跡である。

３　古　代

本遺跡から南西約2.6㎞に福田遺跡(39)、同じく南西約1.5㎞に十二林遺跡(27）が位置し、いずれも昭和62年に発掘調査が行われた。これらの遺跡は、周囲を溝や柱列で区画された集落跡である。特に十二林遺跡は、居住域に須恵器窯や土器焼成遺構･製鉄炉など、生産を目的とする遺構が検出された。本遺跡と沢を隔てて隣接する上ノ山Ⅱ遺跡(19）は、遺跡範囲131,500㎡を占める集落跡で、昭和58･60年度、平成14・15年度に計19,705 ㎡が調査され、竪穴住居跡が50軒以上、掘立柱建物


坊ヶ崎
田屋
塩干田
河戸川
柏子所
相染森
浜浅内
中浅内
ムサ岱遺跡
能代市
浅内沼
寒川
逆川
五本松
黒瀬
福田
成合
0
2 km

第４図　周辺遺跡位置図

跡が20棟以上検出されている。

番号	遺　跡　名	所　在　地	時　代
1	河戸川	能代市河戸川字新屋布	中
2	塩干田	能代市河戸川字上相染下	古･中
3	下相染下	能代市河戸川字下相染下	古
4	相染森	能代市河戸川字相染森台	縄･古
5	柏子所	能代市字柏子所	縄
6	柏子所Ⅱ	能代市字柏子所	縄･弥･古
7	柏子所貝塚	能代市字柏子所	縄
8	古屋布	能代市字古屋布	縄･古
9	西ノ沢	能代市河戸川字西ノ沢	縄
10	赤ハゲⅠ	能代市浅内字赤ハゲ	縄･古
11	赤ハゲⅡ	能代市浅内字赤ハゲ	縄･古
12	船沢	能代市浅内字船沢	縄･古
13	塞ノ神	能代市字塞ノ神	縄･古
14	塞ノ神Ⅱ	能代市字塞ノ神	縄
15	此掛沢Ⅰ	能代市浅内字此掛沢	縄･古
16	此掛沢Ⅱ	能代市浅内字此掛沢	旧･縄･古
17	此掛沢Ⅲ	能代市浅内字此掛沢	縄
18	上ノ山Ⅰ	能代市浅内字上ノ山	古
19	上ノ山Ⅱ	能代市浅内字上ノ山	縄･古
20	ムサ岱	能代市浅内字ムサ岱	旧･縄･古
21	横長根Ａ	能代市浅内字横長根	縄･古
22	横長根Ｂ	能代市浅内字横長根	縄･古
23	清水上	能代市浅内字清水上	縄･古

番号	遺　跡　名	所　在　地	時　代
24	寒川家下	能代市浅内字寒川家下	縄
25	寒川Ⅰ	能代市浅内字寒川家上	縄･弥
26	寒川Ⅱ	能代市浅内字寒川家上	縄･続縄
27	十二林	能代市浅内字十二林	縄･古
28	蟹子沢	能代市浅内字蟹子沢	縄
29	石丁	能代市浅内字石丁家上	縄
30	大館南沢	能代市浅内大館南沢	古
31	逆川	山本郡山本町外岡字渡道	旧
32	渡道Ⅰ	山本郡山本町外岡字渡道	縄
33	渡道Ⅱ	山本郡山本町外岡字渡道	縄
34	渡道Ⅲ	山本郡山本町外岡字渡道	縄
35	五本松	山本郡山本町外岡字渡道	縄
36	中嶋Ⅰ	山本郡山本町外岡字中嶋	縄･古
37	中嶋Ⅱ	山本郡山本町外岡字中嶋	縄
38	福田上野	能代市浅内字福田上野	古
39	福田	能代市浅内字福田上野	古
40	頭無上Ⅰ	能代市浅内字頭無上	古
41	頭無上Ⅱ	能代市浅内字頭無上	古
42	向上	能代市浅内字向上	弥
43	成合Ｃ	能代市浅内字成合	縄
44	成合Ｄ	能代市浅内字成合	古
45	黒瀬Ⅰ	山本郡山本町外岡字黒瀬	縄
46	黒瀬Ⅱ	山本郡山本町外岡字黒瀬	縄

第１表　ムサ岱遺跡と周辺の遺跡一覧表

参考文献

秋田県農政部農地整備課　土地分類基本調査　能代 1983(昭和58)年

秋田県農政部農地整備課　土地分類基本調査　森岳・羽後浜田 1984(昭和59)年

能代市史編纂委員会『能代市史 資料編 考古』能代市 1993(平成７)年

秋田県教育委員会『此掛沢Ⅱ遺跡 上の山Ⅱ遺跡発掘調査報告書』秋田県文化財調査報告書第114集 1984(昭和59)年

秋田県教育委員会『国営能代開拓建設事業 埋蔵文化財発掘調査 上の山Ⅱ遺跡第２次発掘調査報告書』秋田県文化財調査報告書 第137集 1986(昭和61)年

秋田県教育委員会 『一般国道7号八竜能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ－寒川Ⅰ遺跡･寒川Ⅱ遺跡－』秋田県文化財調査報告書第167集 1988(昭和63)年

秋田県教育委員会 『一般国道7号八竜能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ－福田　遺跡･石丁遺跡･蟹子沢遺跡･十二林遺跡－』秋田県文化財調査報告書第178集 1989(平成元)年

秋田県教育委員会『秋田県遺跡地図(中央版)』1990(平成2)年

秋田県教育委員会『秋田ふるさと紀行ガイドブック 史跡･考古編』　1999(平成11)年

秋田県教育委員会『遺跡詳細分布報告書』秋田県文化財調査報告書第324集 2002(平成14)年

第３章　発掘調査の概要

第１節　遺跡の概観

浅内･成合台地は、南北約8㎞の能代市浅内から八竜町大曲まで広がる台地で、現在は主に耕作地や植林地として利用されている。遺跡は浅内・成合台地の北部に位置しており、周辺には此掛沢Ⅱ遺跡や上ノ山Ⅱ遺跡が隣接している。これらの遺跡とは、東西に走る沢をもって境としており、南側は寒堤周辺までの台地が範囲とされている。今回の調査区はその中央部を南西から北東に向かって横切る道路建設区域で、北東側が標高約29ｍと最も高くなっており、南西へ向かって緩やかに傾斜し、南西端では寒堤に向かって急な傾斜となる地形である。

第２節　調査の方法

発掘調査はグリッド法を採用した。計画路線内のセンター杭ＮＯ.74(Ｘ＝17690.226、Ｙ＝－68180.226)を原点(ＭＡ50)とし、国家座標第Ｘ系座標北を求め、このラインを南北基線として、これに直交するラインを東西基線と定めた。この東西南北に沿って４ｍ×４ｍメッシュを組み、その交点にグリッド杭を打設し、グリッド杭には東から西に向かって東西方向を示す････ＬＳ・ＬＴ・ＭＡ・ＭＢ･･･というアルファベット2文字と、南から北へ向かって昇順する････48・49・50・51････の２桁の数字を組み合わせた記号を記入した。なお、各グリッドの呼称は南東隅の杭の記号を用いた。

遺構の確認は掘り込み面での検出に努めたが、黒色土中での検出は困難で最終的には地山面での確認となった。検出された遺構には種別を問わず確認した順に1から通し番号を付し、精査を行った。また、番号を登録した後に遺構と判断されなかったものについては欠番とした。

遺物は遺構内出土のものは、遺跡名・遺構名・出土層位・遺物番号・出土年月日を記入し、遺構外出土のものは遺跡名・出土グリッド・出土層位・出土年月日を記入して取り上げた。

調査の記録は主に図面と写真によった。図面はグリッド杭を基準とした簡易遣り方測量を採用し、平面図・断面図ともに、基本的には1 / 20の縮尺で作成した。カマドなど微細なものについては1 / 10で図化した。写真撮影は、35mmのモノクロ・リバーサルフィルムを中心にネガカラーフィルムを併用して行った。

第３節　調査の経過

４月25日、調査区内で遺物の表面採集を行う。26日、浅内小学校６年生36名が、体験学習の一環として遺物の表面採集に参加。

５月１日、表土除去開始。13日、Ｂ区の表土除去を開始。14日、能代市南部公民館でムサ岱遺跡･上ノ山Ⅱ遺跡・柏子所Ⅱ遺跡の作業員説明会を行う。20日、作業員参加。発掘器材搬入と環境整備

を行う。21日、ベルトコンベア搬入。遺構検出作業開始。23日、基本層序ベルト作成。28日、ＳＩ26検出。29日、ＳＡ22検出。31日、能代山本広域交流センターにて作業員健康診断を行う。

６月3日、ＳＩ51検出。５日、ＳＩ90検出。ＳＫ66をＳＫＩ66に変更。ＳＤ100検出。11日、ＳＩ112、ＳＩ125、ＳＩ130検出。12日、ＳＩ120、ＳＩ150検出。14日、ＳＩ145検出。ＳＤ27調査終了。17日、ＳＩ190調査終了。18日、ＳＩ12調査終了。ＳＫＩ66調査終了。19日、ＳＩ53調査終了。ＳＤ11、ＳＤ100調査終了。ＳＩ211、212、213、214検出。五城目町教育委員会生涯学習課課長金野實氏他4名来跡。20日、ＳＩ165検出。25日、ＳＩ180、113、280、350検出。26日、ＳＡ250検出。27日、ＳＩ340検出。28日、ＳＩ412検出。

７月４日、ＳＩ500、510、515、520検出。ＳＫＦ410検出。ＳＩ125終了。10日、台風対策を行う。11日、ＳＩ811検出。12日、浅内小学校６年生36名、発掘体験学習のため来跡。16日、ＳＡ24調査終了。17日、ＳＩ120･620調査終了。18日、ＳＫＦ410、ＳＩ115調査終了。19日、ＳＩ510調査終了。秋田県立博物館冨樫泰時館長来跡。23日、ＳＩ213調査終了。ＳＩ1000検出。ＳＩ180調査終了。29日、調査区内農道部分の表土除去開始。30日、ＳＩ159調査終了。

８月１日、ＳＩ1060検出。鷹巣農林高生４名、秋田高専生１名、東北建設協会現場技術員とともに遺跡見学のため来跡。９日、浅内自治会対象の遺跡見学会を行う。ＳＩ145・150・165・430・468調査終了。Ａ区航空写真撮影の準備を行う。21日、Ａ区航空写真撮影を行う。23日、Ａ区引き渡しを行う。26日、Ｂ区調査開始。ＳＩ1375・1395検出。

９月２日、ＳＤ100終了。土師器焼成遺構（ＳＮ1526・1527・1528）調査終了。４日、ＳＢ1467調査終了。５日、調査区南側の調査について東北建設協会と協議を行う。11日、ＳＩ1540調査終了。ＳＫＴ1970検出。13日、ＳＫ1811から鉄刀出土。24日、甘粛省交流員趙雪野氏、王勇氏来跡（～27日）。25日、Ｃ区でフラスコ状土坑10基検出。27日、文化庁文化部記念物課坂井主任文化財調査官来跡。

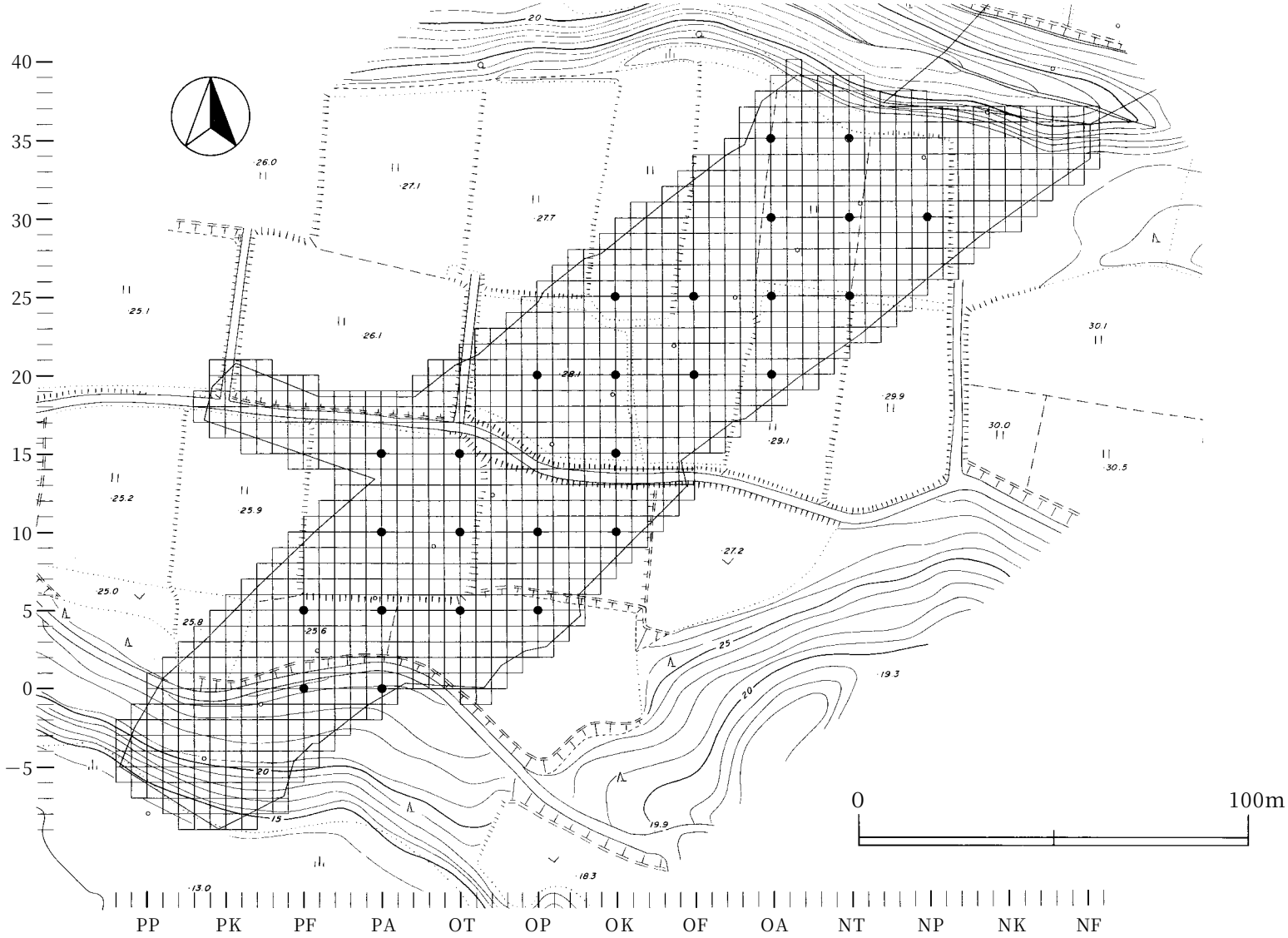
10月11日、北海道開拓記念館右代啓視・鈴木琢也氏来跡。浅内小学校６年生対象の遺跡見学会を行う。12日、県民対象の遺跡見学会を行う。参加人数170名。15日、ＳＩ2539・2540検出。ＳＩ1760調査終了。31日、ＳＩ2539、ＳＩ2540調査終了をもって、すべての調査を終了。

11月１日、発掘器材、出土遺物を中央調査課に搬送する。

第４節　整理作業の方法と経過

整理作業は平成14年11月4日から秋田県埋蔵文化財センター中央調査課にて行った。出土遺物の洗浄・注記・分類・接合を行い、これらの工程が終了した遺物から実測・採拓・トレース等の作業を行った。

遺構図面は現場で作成した図から、遺物出土状況については縮尺10分の1とした第2原図を作成し、それ以外は縮尺20分の1の第2原図を作成し、トレースを行った。遺物写真は35㎜モノクロフィルムで撮影した。



第５図　周辺地形とグリッド配置図

第４章　調査の記録

第１節　基本層序

調査区の地形は、北側を最頂とする緩やかな傾斜の台地、南側の台地辺縁部は急な傾斜地である。発掘調査前の調査区は、南側で耕作と植林、北側から中央部にかけては水田に利用されていた。水田の造成により、調査区は農業用水の給水管が地中に深く埋め込まれており、最も標高の高かった北側は著しく削平されている。

基本層序は、堆積土が最も厚く残っている中央部と、縄文時代の遺構・遺物が集中する南側を対象とした。

中央部の基本層序では、第Ⅲ～Ⅳａ層で古代の遺物が確認された。古代の遺構の覆土も黒褐色土や暗褐色土で構成されていることから、古代の遺構は第Ⅲ～Ⅳａ層が形成される時期に造られたものと判断した。

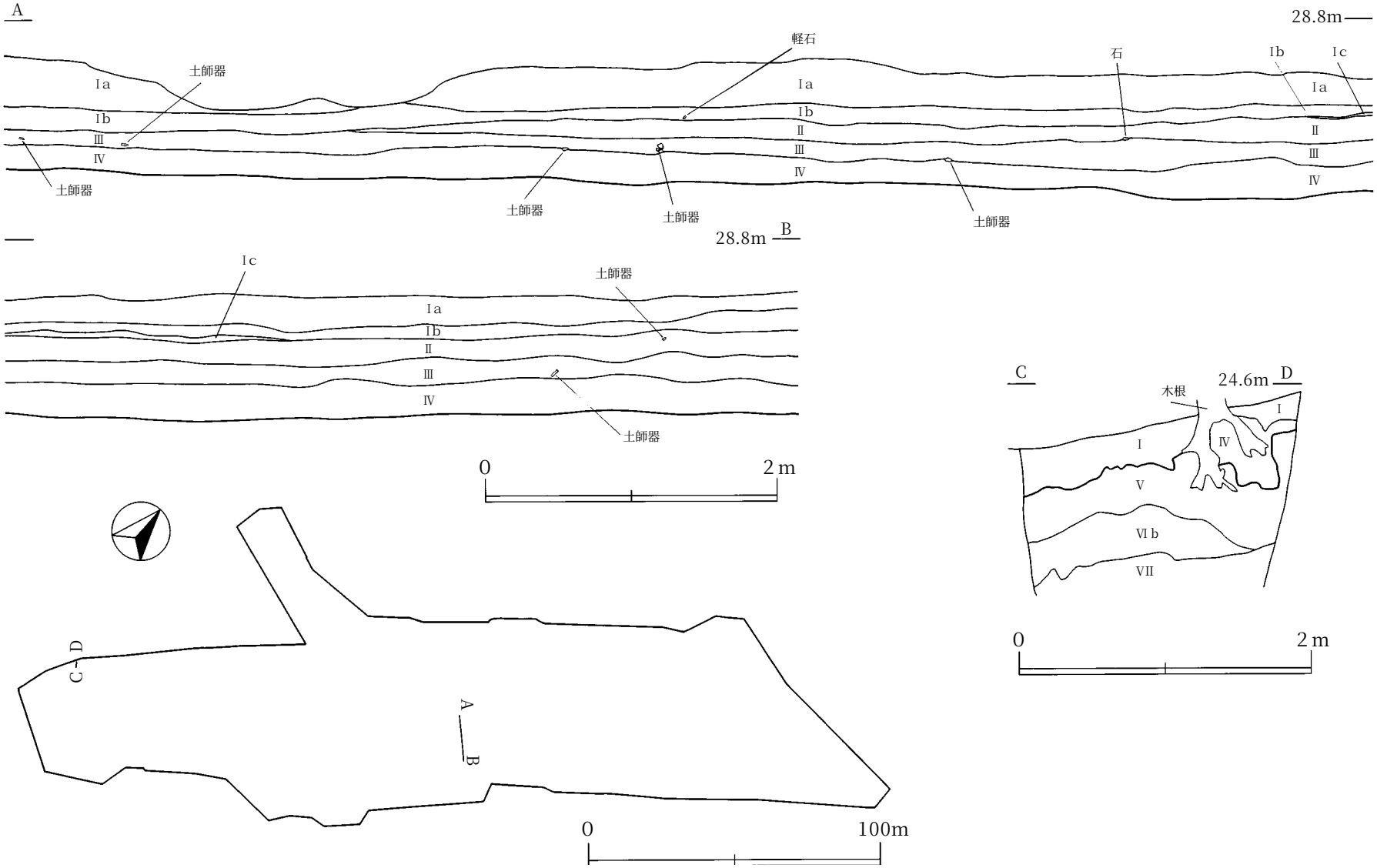
南側の縄文時代の遺構の覆土は、褐色土を中心にして構成されていることから、縄文時代はⅣｂ層が形成された時期であると思われる。南側においても最も層位が残存している区域を調査したが、南側のほぼ全域は第Ⅰ層しか残存していなかった。おそらく中央部の第Ⅱ～Ⅳａ層に相当する層位は後世の地滑りなどによって失われたと思われる。

調査区中央部の基本層序

Ⅰａ層　黒褐色土（10ＹＲ2 / 2）耕作土上位。
Ⅰｂ層　黒褐色土（10ＹＲ3 / 1）耕作土中位。
Ⅰｃ層　黒褐色土（10ＹＲ2 / 2）耕作土下位。
Ⅱ　層　黒褐色土（10ＹＲ3 / 2）砂・シルト混合土。軽石（径0.5～2㎝）微量混入。
Ⅲ　層　黒褐色土（10ＹＲ2 / 2）古代の遺物包含層。
Ⅳａ層　暗褐色土（10ＹＲ3 / 3～3 / 4）古代の遺物包含層及び遺構検出面。
Ⅴ　層　明褐色土（7.5ＹＲ5 / 6）地山。

調査区南側の基本層序

Ⅰ　層　黒褐色土（10ＹＲ2 / 3）表土。植物根が多い。
Ⅳｂ層　褐色土（10ＹＲ4 / 4）縄文時代の遺物包含層及び遺構検出面。
Ⅴ　層　明褐色土（7.5ＹＲ5 / 6）地山。
Ⅵ　層　明褐色土（7.5ＹＲ5 / 6）と褐色土（10ＹＲ4 / 6）の混合土。明褐色土はシルト質、褐色土は砂質。
Ⅶ　層　褐色土（10ＹＲ4 / 6）砂層。



第６図　基本層序図と基本層序作図地点

第２節　旧石器時代の出土遺物

旧石器時代の遺物は、調査終了後の整理作業中に発見された。詳細な出土地点は把握できないが、分布は調査区西側の段丘縁辺にまとまりをみせる。おそらくは、本来石器集中部が１～２ヵ所分布していたのであろうが、平安時代の竪穴住居等により壊されたものと考えられる。基本土層の観察からは、北側の斜面上方から段丘縁辺に向かって再堆積層が確認されたため、遺構外出土の石器も二次的な移動を被っているものと推測される。

調査区内からは縄文時代の石器もまとまって出土しており、旧石器時代の石器との区別が困難であった。そのため、本書ではナイフ形石器や台形様石器といった明確な旧石器時代の石器をひとまず抽出した。内訳は、ナイフ形石器３点、台形様石器10点の合計13点である。石材構成は、珪質頁岩14点、黒曜石９点である。

１　出土石器

ナイフ形石器（第７図１～３、図版19－１～３）

１は珪質頁岩製。ＯＯ９グリッドⅣ層出土。縦長剥片を素材とし、複剥離面打面を下位に用いて残置する(註１)。右側縁基部側にやや微細な刃潰し加工が裏面から施されている。左側縁は基部側に自然面を残し、その上部にあたる器体中央部に急斜度な刃潰し加工が施されている。先端部欠損。２は珪質頁岩製。Ａ区表採。寸詰まりの縦長剥片を素材とし、単剥離面打面を下位に用いて残置する。基部両側縁に裏面から急斜度かつ鋸歯状の刃潰し加工が施されている。３は珪質頁岩製。ＰＨ０グリッド出土。自然面打面を右位に用いて残置する。刃潰し加工は、左側縁に素材を断ち切るように表面から施され、また、基部末端にも石器主軸に直交するように表面から施されている。平面形状は切出状を呈する。

台形様石器（第７図４～８、第８図９～13、図版19－５～12）

４は黒曜石製。ＳＩ90覆土中出土。素材剥片を右位に用い、両側縁に裏面からの急斜度な調整加工が施され、打面は除去されている。刃部は石器主軸に直交する。平面形状は撥形を呈する。５は黒曜石製。ＯＰ３グリッドⅣ層出土。素材剥片を左位に用い、両側縁に裏面からの急斜度な調整加工が施され、打面は除去されている。刃部は石器主軸に斜交する。平面形状は撥形を呈する。６は黒曜石製。ＯＰ２グリッドⅣ層出土。素材剥片を右位に用い、右側縁に裏面からの急斜度な調整加工が施され、打面は除去されている。また、左側縁は折れているが、折れ面を打面として表面側に微細な剥離痕が観察される。先端部欠損。７は黒曜石製。ＳＩ275覆土中出土。素材剥片を右位に用い、両側縁に裏面から調整加工が施される。右側縁は急斜度な加工であるのに対して、左側縁は平坦な加工である。打面は除去されている。刃部は石器主軸にほぼ直交する。基部欠損。８は黒曜石製。ＳＩ90覆土中出土。素材剥片を右位に用い、両側縁に裏面から急斜度な調整加工が施される。刃部は石器主軸に直交し、平面形状は三角形を呈する。９は黒曜石製。ＯＰ３グリッド出土。素材剥片を右位に用い、左側縁は裏面から、右側縁は表面から急斜度な調整加工が施され、打面は除去されている。刃部は石器主軸に直交する。平面形状は三角形を呈する。リダクションを受けている可能性がある。10は黒曜石製。ＳＩ275覆土中出土。素材剥片を右位に用い、左側縁に裏面から急斜度な加工が施されてい

る。刃部は石器主軸に斜交する。下半部は大きく欠損しているため平面形状は不明。11は黒曜石製。ＳＩ275覆土中出土。素材剥片を左位に用い、左側縁に裏面から急斜度な加工が施され、打面は除去されている。刃部は石器主軸にやや斜交する。基部及び右半部欠損のため、平面形状は不明。12は黒曜石製。ＳＩ275覆土中出土。素材剥片を左位に用い、打面に対置する末端部に裏面から微細な加工が施されている。単剥離面打面を残置する。石器上半部はポジティブな剥離面を残し、それと主要剥離面とがなす縁辺が刃部となる。また、刃部の一部には微細な剥離痕が認められる。13は珪質頁岩製。ＳＫＦ826覆土中出土。素材剥片を横位に用い、素材末端に調整加工が施されている。調整加工は末端下半部に裏面から施された後、上半部に表面から施されている。

２　個体別資料

肉眼のみによる個体分類には一定の危険性を伴う(註2)が、接合しないため敢えて試みると、全ての資料が特徴的な外見を呈し、同一個体に分類される資料は皆無と考えられる。縄文時代として扱った資料とも比較検討を行ったが、接合例は勿論のこと、同一個体を確認することはできなかった。つまり、今回抽出された旧石器時代の石器は全て単独個体と判断される(註3)。

３　平面分布

調査区全体で見れば、西側の段丘縁辺にまとまる傾向にある。ナイフ形石器はより北側に分布し、黒曜石製の台形様石器はＳＩ90・ＳＩ275周辺にまとまりがみられる。本来、１～２ヵ所の石器集中部が存在した可能性がある。なお、縄文時代の遺構と遺物は、旧石器時代の石器と若干分布が重なりながらもより西側に分布する傾向にある。また、本書では縄文時代として扱った黒曜石製の剥片や残核は、黒曜石製の台形様石器の分布と重なるため、本来、旧石器時代の石器である可能性もある。縄文時代の製品のうち、黒曜石製のものは楔形石器１点のみであることも、このことを傍証しようか。

註

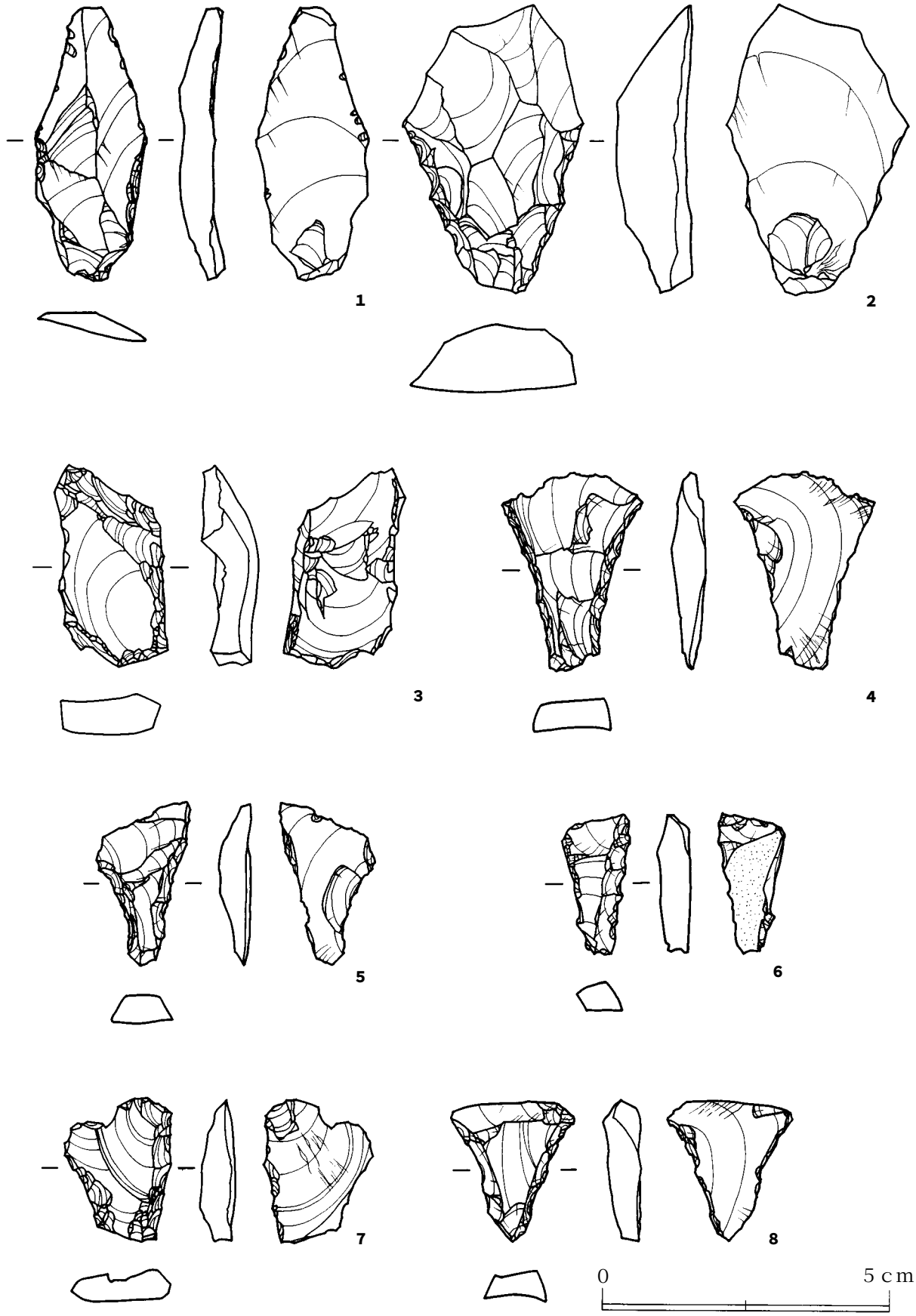
1　本書では、素材剥片の用い方(石器を正置した際の素材剥片の打面位置)を「縦(上・下)位、横(右・左)位」と表現する。たとえば、「下位」は、素材剥片の打面部が下に位置することを示し、「右位」は打面部が石器正面の右側に位置することを示す。

2　五十嵐彰　「考古資料の接合－石器研究における母岩・個体問題－」　『史学』　第67巻３・４号　1998(平成10)年

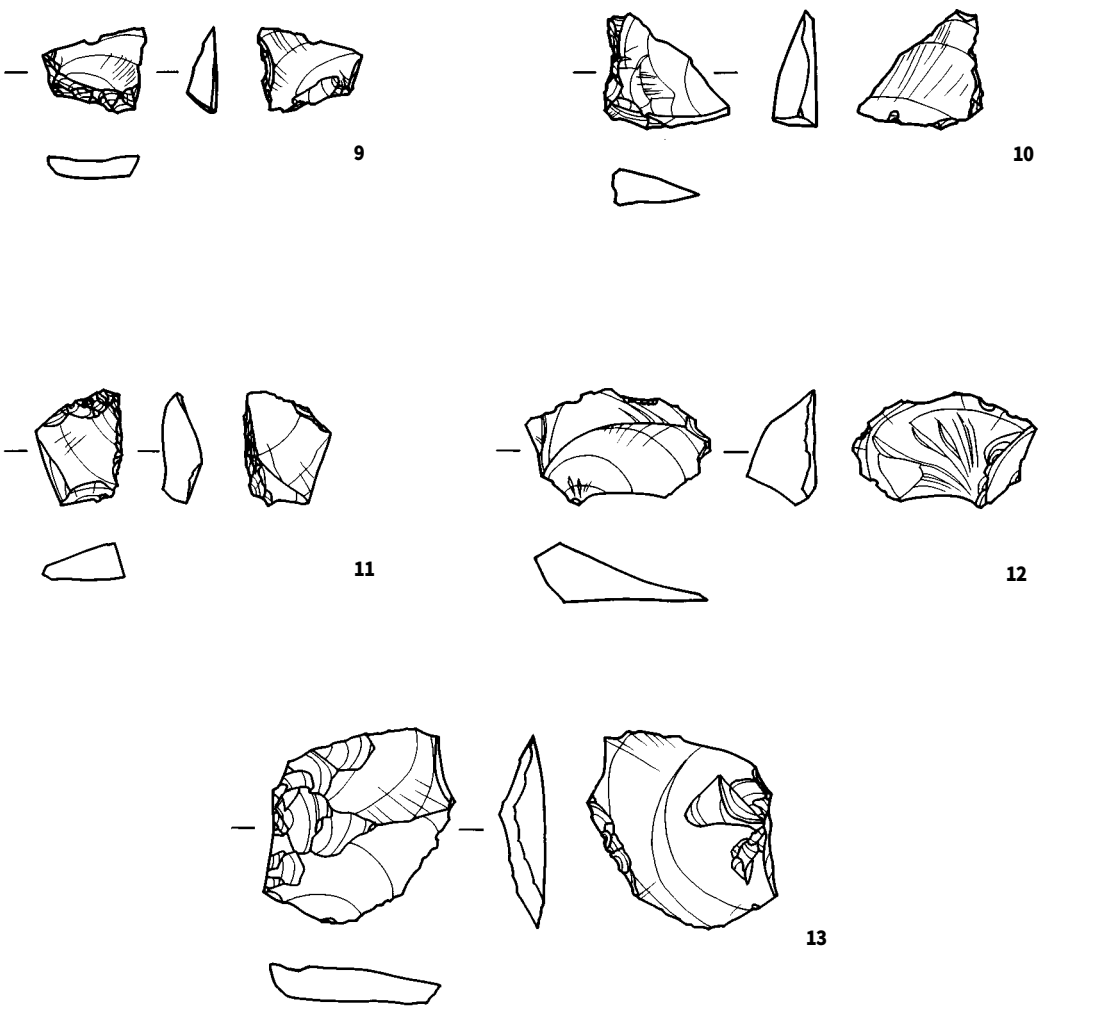
五十嵐彰　「旧石器資料関係論－旧石器資料報告の現状(Ⅲ)－」　『研究紀要』　第19号　財団法人東京都埋蔵文化財センター　2002(平成14)年

3　部分的な資料であるため「単独個体」であることがどれほど有効であるかは分からない。しかし、黒曜石製のものが全て「単独個体」の可能性があることは注意される。なお、これらの「単独個体」の識別有効度(下記文献参照)は有効度Ｂに分類される。

吉川耕太郎　「個体別資料の再検討－琴丘町小林遺跡における縄文時代中期後半の石器群－」　『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』　第17号　2003(平成15)年



第７図　旧石器時代の遺物（１）



第８図　旧石器時代の遺物（２）

番号	出土地点	図版番号	器種	石質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(ｇ)
第7図1	OO9IV層	19－ 1	ナイフ形石器	珪質頁岩	4.9	2.0	0.8	4.0
第7図2	表採	19－ 2	ナイフ形石器	珪質頁岩	5.1	3.2	1.4	14.9
第7図3	ＰH0	19－ 3	ナイフ形石器	珪質頁岩	3.7	2.2	1.0	6.1
第7図4	ＳＩ90	19－ 4	台形様石器	黒曜石	3.5	2.5	0.6	3.2
第7図5	ＯＰ3IV層	19－ 5	台形様石器	黒曜石	2.9	1.7	0.6	1.8
第7図6	ＯＰ2IV層	19－ 6	台形様石器	黒曜石	2.4	1.2	0.6	1.4
第7図7	ＳＩ275	16－ 7	台形様石器	黒曜石	2.5	1.9	0.6	2.1
第7図8	ＳＩ90	19－ 8	台形様石器	黒曜石	2.4	2.1	0.7	2.0
第8図9	ＯＰ3	19－ 9	台形様石器	黒曜石	1.4	1.1	0.4	0.3
第8図10	ＳＩ275	19－10	台形様石器	黒曜石	1.6	1.7	0.6	0.9
第8図11	ＳＩ275	19－11	台形様石器	黒曜石	1.5	1.1	0.5	0.7
第8図12	ＳＩ275	19－12	台形様石器	黒曜石	2.4	1.5	0.9	1.7
第8図13	ＳＫＦ826		台形様石器	珪質頁岩	2.6	2.7	0.7	3.2

第２表　旧石器一覧表

第３節　縄文時代の遺構と遺物

調査で検出した縄文時代の遺構は、竪穴住居跡２軒、土器埋設遺構１基、陥し穴１基、フラスコ状土坑27基、土坑３基である。これらの遺構は主に調査区南側に位置しており、特にフラスコ状土坑は堤に面した斜面部に集中している。検出面は、古代の竪穴住居跡の床面で見つかったＳＫＦ440・830・2625以外はすべて第Ⅴ層上面であるが、縄文時代の遺構が最も多く分布する調査区南側は、植林や古代の遺構により上面に撹乱を受けており、縄文時代の生活面は失われている。

遺構の覆土は、第Ⅳ層に由来する暗褐色土や褐色土を主体とする。

遺構の時期は、大木９・10式土器や十腰内Ⅰ式土器に相当する土器が出土していることから、主に縄文時代中期後葉～後期前葉と判断した。

１　竪穴住居跡

ＳＩ510(第９・20図、図版２－１・２)

ＰＥ・ＰＦ６・７グリッドの第Ⅴ層上面で検出した。上面は耕地整理により削平されている。ＳＫＰ2933・ＳＫＰ2934と重複し、これらより古い遺構である。

平面形は円形で、規模は直径3.3m、確認面から床面までの深さは0.26mである。床面は平坦で軟らかく、壁は緩やかに立ち上がる。柱穴は住居の内部で３基、外部で５基を検出した。住居の内部の柱穴は、床面からの深さが0.07m、外部の柱穴は確認面からの深さが0.09～0.26mである。

住居中央からやや南西で、石囲炉を検出した。50㎝大の礫４個が「コ」の字に配置されており、礫の内側が被熱している。被熱面は直径約0.4mで、平坦で軟らかく、暗赤褐色である。被熱面の下には礫設置のための円形の土坑があり、規模は直径0.6m、住居の床面から底面までの深さは0.1mで、礫は土坑に埋め込まれて配置されている。本来は円形に礫を配置した石囲炉であり、部分的に礫が抜けたものと推定した。

住居の覆土は２層に分層した。第Ⅳａ層に由来する暗褐色土を主体とし、２層は１層より地山ブロックが多く混入している。

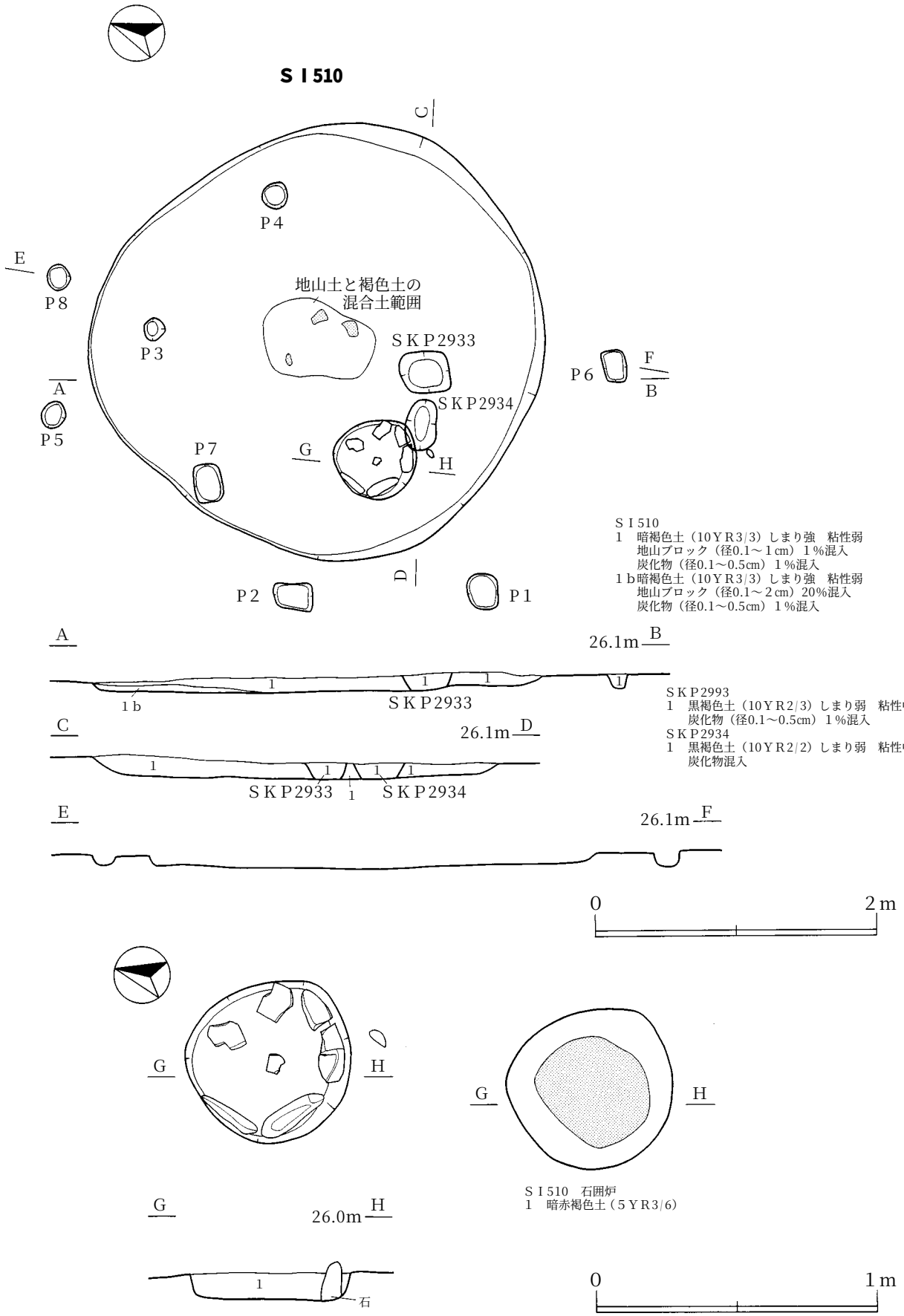
遺物は、縄文時代の深鉢形土器と二次加工のある剥片や剥片が住居の覆土と炉の被熱面直上で出土した。深鉢形土器は小破片であるため図示していないが、胎土は砂粒を含むが緻密で、本遺跡で出土した縄文時代中期後葉の土器と類似している。第20図１は二次加工のある剥片である。素材は頁岩で、側縁部に鋸歯状の二次加工が施されている。

本住居跡の時期は、縄文時代中期後葉と判断した。

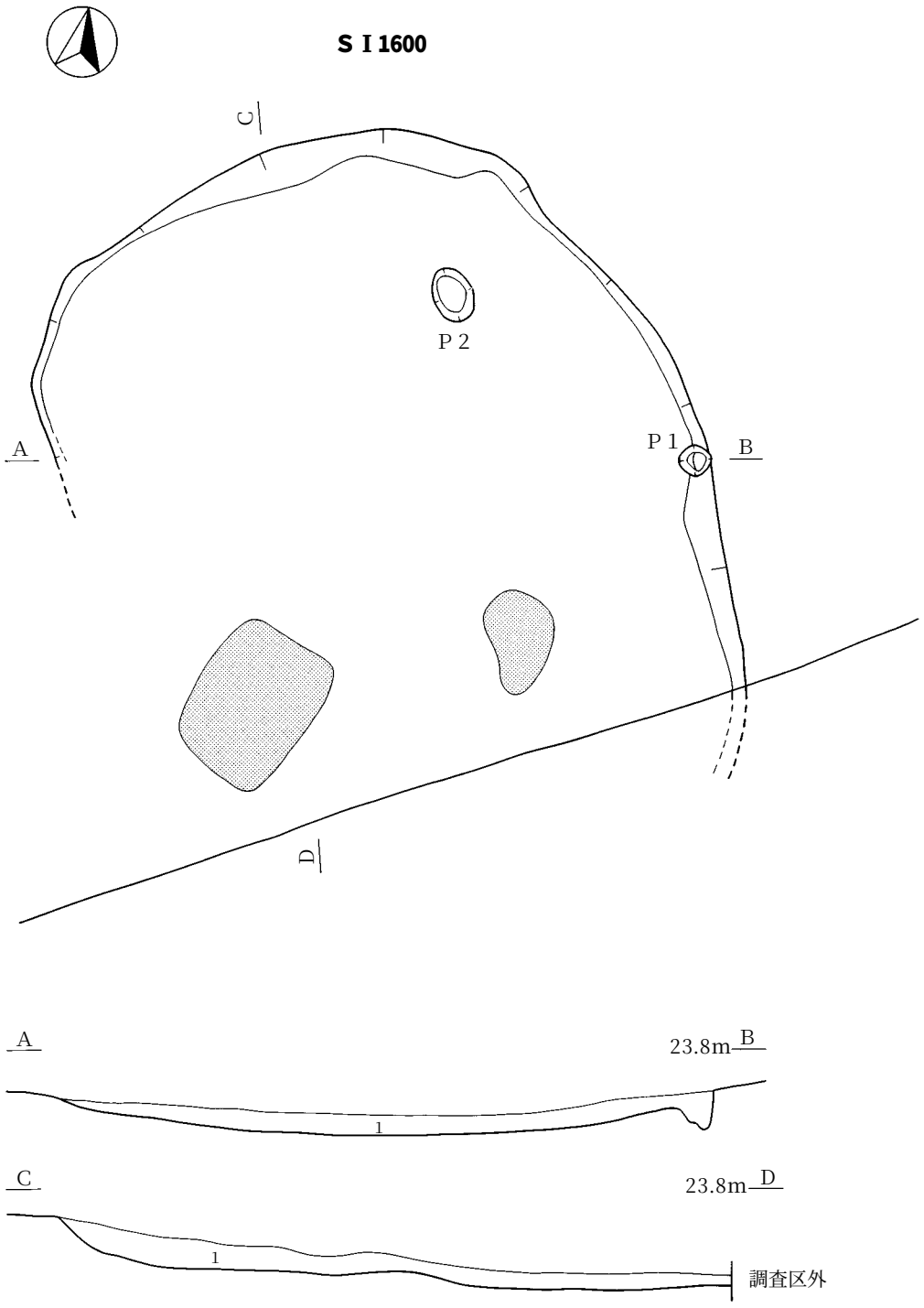
ＳＩ1600(第10図)

ＯＴ・ＰＡ－１・０グリッドの第Ⅴ層上面で検出した。周辺は植林されており、耕作と樹木の根による撹乱が多い。地形が南西方向に向かって傾斜しているために南側では壁が検出されなかった。

規模は長軸3.78m、短軸3.32mと推定され、確認面から床面までの深さは0.12mである。床面は平坦で軟らかく、壁は緩やかに立ち上がる。住居内で柱穴２基を検出した。Ｐ１は住居の東壁に位置し、深さ0.13mで、底面で柱痕跡を確認した。Ｐ２は住居内部北寄りに位置し、深さ0.15mである。



第９図　ＳＩ510竪穴住居跡



ＳＩ1600
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり中　粘性弱
　炭化物（径0.5～2cm）2%混入
　焼土ブロック（径0.3～0.5cm）1%未満混入
　地山ブロック（径0.5～4cm）1%混入

0　2ｍ

第10図　ＳＩ1600竪穴住居跡

住居中央からやや南側で地床炉と考えられる被熱面を２ヵ所で確認した。いずれも被熱面は平坦で、周辺には炭化物が分布している。

住居の覆土は第Ⅳａ層に由来する暗褐色土で、混入物が少ないことから自然堆積と考えられる。

遺物は、樹木根による撹乱部分から、黒曜石片が出土した。

時期は、他の縄文時代の遺構と同様に縄文時代中期後葉から後期前葉と判断した。

２　土器埋設遺構

ＳＲ790(第11・20図)

ＰＣ８グリッドの第Ⅴ層面で焼土ブロックの分布を確認し、調査の過程で掘り形から深鉢形土器が出土した。ＳＩ510の北側に位置する。深鉢形土器を東に傾けて埋設しており、土器埋設の掘り形の壁から底面にかけて暗赤褐色に被熱しているため、土器の内部で火を焚いていたと判断した。

覆土は２層に分層した。第Ⅳａ層に由来する暗褐色土で、混入物が少ない。

遺構の周辺は農地として整備される際に削平を受けており、柱穴などは検出できず、屋外炉であるか屋内炉であるかは不明である。

埋設されていた土器（第20図１）は深鉢形土器である。底部からはやや外傾して直線的に立ち上がり、口縁部で内湾しているが、口縁は失われている。胴部にはＬＲ原体の縦位回転による縄文が施されている。胎土は砂粒が混入して粗く、色調は浅黄色である。

時期は、縄文時代中期と判断した。

３　陥し穴

ＳＫＴ1970(第11図、図版2-3)

ＮＴ・ＯＡ25グリッドの第Ⅴ層上面で検出したが、ＳＫＰ2243に切られている。規模は開口部で長軸3.2m、短軸0.41m、底部で長軸3.2m、短軸0.18m、確認面からの深さ1.08mで、短軸の断面はⅤ字形、長軸の断面は壁がややオーバーハングする袋状である。覆土は５層に分層した。２～５層は第Ⅳ層に由来する暗褐色～褐色土に地山ブロックが混入した覆土で、埋め戻されていると考えられる。１層は、基本土層第Ⅲ層に由来する黒褐色土で、混入物が少なく自然堆積である。

遺物は出土しなかったが、時期は他の縄文時代の遺構と同様に中期後葉から後期前葉と判断した。

４　フラスコ状土坑（第11～21・53図、図版3-1･2）

27基のフラスコ状土坑のうち、ＳＫＦ410・440・830は台地の縁辺から離れた平坦面に位置し、それ以外の24基は堤に面した斜面部に密集している。古代の竪穴住居跡の床面で見つかったＳＫＦ440・830・2625の他はすべて第Ⅴ層上面で検出した。フラスコ状土坑は多くが埋め戻されている。

遺物はいずれもフラスコ状土坑の覆土中位から出土した。ＳＫＦ826から縄文時代中期後葉の縄文土器の破片が多量に出土し、第20図６はＳＫＦ826・2103とＳＫ815から出土した破片と接合した。土器を包含した層を壊して埋め戻しているためと考え、ＳＫＦ826・ＳＫ815・2103は近い時期に埋め戻されていると判断した。以下にフラスコ状土坑から出土した遺物について記述する。

第20図４はＳＫＦ826で出土した深鉢形土器の口縁部で、口縁は欠損している。端部が曲線を描

く横位の隆帯の上側に沿って竹管による刺突列が施され、胴部にはＬＲ原体による綾絡文が縦位で施される。表面に炭化物が付着している。第20図５はＳＫＦ826で出土した深鉢形土器の口縁部～胴部である。胴部は垂直に立ち上がり、口縁部で外反し、平縁である。ＬＲ原体による綾絡文が縦位で施されている。第20図６はＳＫＦ826・2103・ＳＫ815で出土した深鉢形土器の口縁部～胴部である。底部からやや外傾しながら立ち上がり、上半部では直立し、口縁部でわずかに外反し、平縁である。胴部にはＬＲ原体による綾絡文が縦位で施されている。胴部表面に炭化物が付着している。第20図７はＳＫＦ826で出土した深鉢形土器の胴部である。ＲＬ原体による綾絡文が縦位で施されている。第21図１はＳＫＦ815・826で出土した深鉢形土器の胴部である。ＬＲ原体による綾絡文が縦位で施されている。第21図３はＳＫＦ2103で出土した深鉢形土器の口縁部で、第20図４と同一個体である可能性がある。口縁部はわずかに内湾しており、横位の隆帯の上側に沿って竹管による刺突列が施され、胴部にはＬＲ原体による綾絡文が施される。第21図４はＳＫＦ2103で出土した深鉢形土器の胴部～底部である。底面は平坦で、胴部は開きながら直線的に立ち上がる。ＬＲ原体による綾絡文が縦位で施されている。第21図２はＳＫＦ1956で出土した凹基無茎石鏃で、素材は頁岩であり、表裏全面に二次加工が施されている。第20図２はＳＫＦ826で出土した二次加工のある剥片で、素材は頁岩である。剥片の縁辺部に二次加工を施して鋭角な先端部を作り出している。

フラスコ状土坑の時期は、出土した遺物から縄文時代中期後葉～後期前葉と考えられる。

個々のフラスコ状土坑の詳細については、第３表に一覧を提示する。

５　土坑

３基の土坑のうち、ＳＫ815・ＳＫ3012は台地の縁辺からやや離れた平坦部、ＳＫ2624は台地の縁辺の斜面部に位置し、第Ⅴ層上面で検出した。いずれも覆土中位で縄文土器が多量に出土した。前項で記述した通り、ＳＫ815で出土した土器とＳＫＦ826・2013の土器が接合した。

以下に土坑から出土した遺物について記述する。

第20図６・第21図１については、フラスコ状土坑の項で記述した通りである。第21図５はＳＫ815で出土した深鉢形土器の胴部～底部である。底面は平坦で、胴部は開きながら立ち上がり、ＬＲ縄文が縦位で施されている。第21図６はＳＫ815で出土した口縁部突起である。縦位の隆帯の両側に沿って竹管による刺突列が施される。突起先端には横方向に穿孔が施されている。第22図１はＳＫ2624で出土した深鉢形土器の胴部で、内湾しており、沈線による楕円形の内部に正反の撚のＬＲＲ原体による縄文が斜位で施される。第22図２はＳＫ2624で出土した深鉢形土器の外反した口縁部で、ＬＲ縄文が縦位で施されている。第22図３はＳＫ3012で出土した深鉢形土器の胴部である。沈線で楕円形の内部に葉脈状の文様を描いている。第22図４はＳＫ3012から出土した滑車形の土製耳飾である。約４分の３は欠損しており、裏面も剥落している。表面には同心円状に２列の刺突列が施される。

土坑の時期は、出土遺物から縄文時代中期後葉～後期前葉と考えられる。

個々の土坑の詳細については、第3表に一覧を提示する。

フラスコ状土坑・土坑一覧表凡例

【重複】遺構が重複する場合、新旧関係を「新＜旧」と表記する。

【平面形】遺構開口部の平面形を示す。長軸÷短軸＜1.1の遺構は円形、長軸÷短軸≧1.1の遺構は楕円形、開口部が撹乱されて元の平面形が推定出来ない場合は不定形とした。

【口径】遺構開口部の長軸・短軸をcm単位で示す。（　）は残存値。

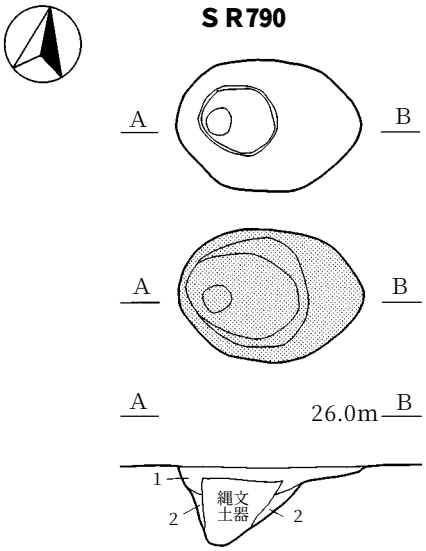
【深さ】遺構の確認面から底面までの深さをcm単位で示す。

【底径】フラスコ状土坑の底面の長径×短径をcmで示す。

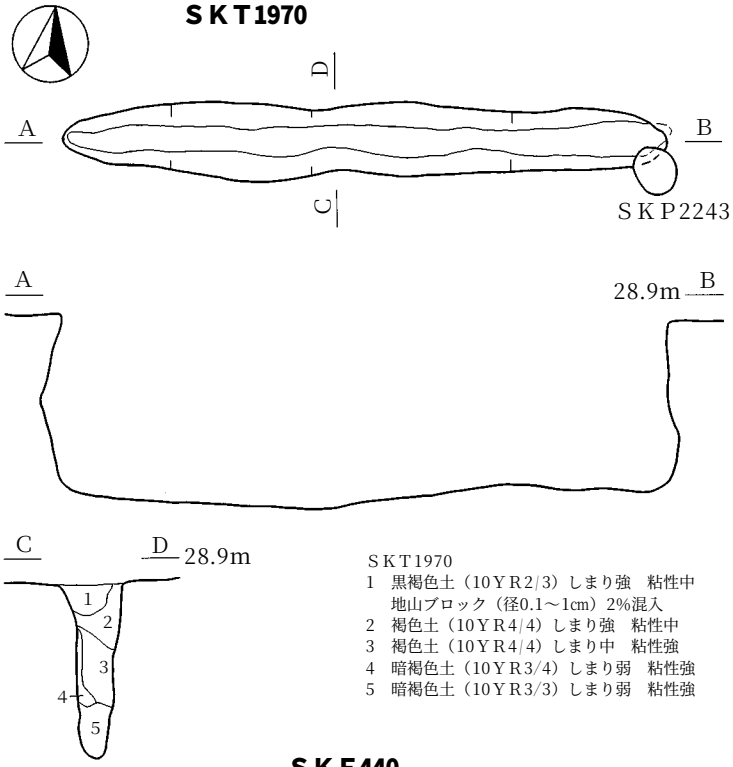
遺構番号	挿図	図版	グリッド位置	重複	平面形	口径(cm)	深さ(cm)	底径(cm)
SKF410	第11図		PD7	－	楕円形	130×110	104	164×152
SKF440	第11図		PE8	SI468＜	円形	161×150	116	190×178
SKF826	第12図		PL0	－	楕円形	163×136	147	190×184
SKF830	第53・54図		PE9	SK2892＜　SI468＜	円形	110×109	72	101×100
SKF1007	第12図		PK1	SI450＜	楕円形	72×(62)	158	153×136
SKF1008	第12図		PM0	SI65＜	楕円形	113× 90	142	175×171
SKF1956	第13図		PM・PN－1	SA2105＜　SA2106＜	円形	156×(121)	101	109× 97
SKF1957	第13図		PN－1	SA2106＜	円形	118×(70)	62	170× 86
SKF1960	第13図		PI・PJ－2・－3	－	円形	128×126	43	140×138
SKF2068	第13図		PL－1	－	円形	98× 95	105	179×150
SKF2069	第14図		PK・PL－1	－	円形	106× 98	88	144×135
SKF2070	第14図		PJ・PK－1・0	－	楕円形	122× 99	89	122×107
SKF2102	第14図		PK－2	－	円形	121×115	94	154×154
SKF2103	第15図		PJ・PK－1	SKF2104＜　SA2105＜　SA2106＜　SKP2109＜	楕円形	178×144	226	216×216
SKF2104	第15図		PK－1	SA2105＜　SA2106＜　SKP2108＜　＜SKF2103	円形	150×143	140	160×150
SKF2113	第15図		PI・PJ－1	SA2106＜　＜SKF2900	楕円形	147×131	170	179×168
SKF2114	第16図		PK－1	－	円形	160×158	138	182×165
SKF2115	第16図		PI－2・－1	＜SKF2901	楕円形	170×(135)	134	165×130
SKF2116	第17図		PI・PJ－1・0	SA2895＜	楕円形	117× 95	102	142×135
SKF2117	第17図	3－2	PH－3・－2	－	円形	108×102	122	142×142
SKF2125	第17図		PK・PL－1	SA2105＜	楕円形	83× 74	136	148×148
SKF2126	第18図		PM－1	SA2105＜　SA2129＜　SKP2494＜　SKP2493＜	楕円形	158×120	76	186×123
SKF2127	第18図		PL・PM－1	SA2106＜	円形	124×120	122	170×152
SKF2625	第19図		PH－4	SI2390＜	不定形	104×100	80	130×118
SKF2900	第15図		PJ－1	SKF2113＜	楕円形	(127)×135	117	184×133
SKF2901	第16図		PI・PJ－2・－1	SKF2115＜	円形	258×(160)	194	221×140
SKF2903	第18図		PI・PJ0	－	楕円形	118×104	130	150×144

遺構番号	挿図	図版	グリッド位置	重複	平面形	口径(cm)	深さ(cm)
SK815	第19図		ＰＪ0・1	SKP2990＜　SI450＜	楕円形	90×(50)	25
SK2624	第19図		PG･PH－2･－1	SK2318＜SA2543＜SA2544＜	円形	276×(228)	28
SK3012	第19図		PM0	SA65＜	楕円形	80×(42)	15

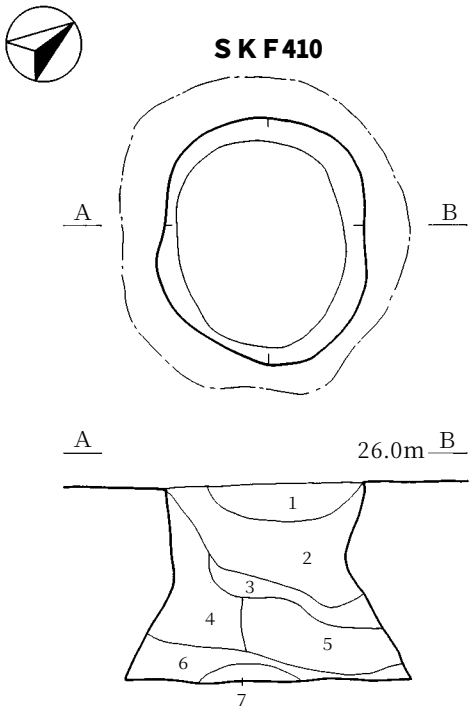
第3表　フラスコ状土坑・土坑一覧表



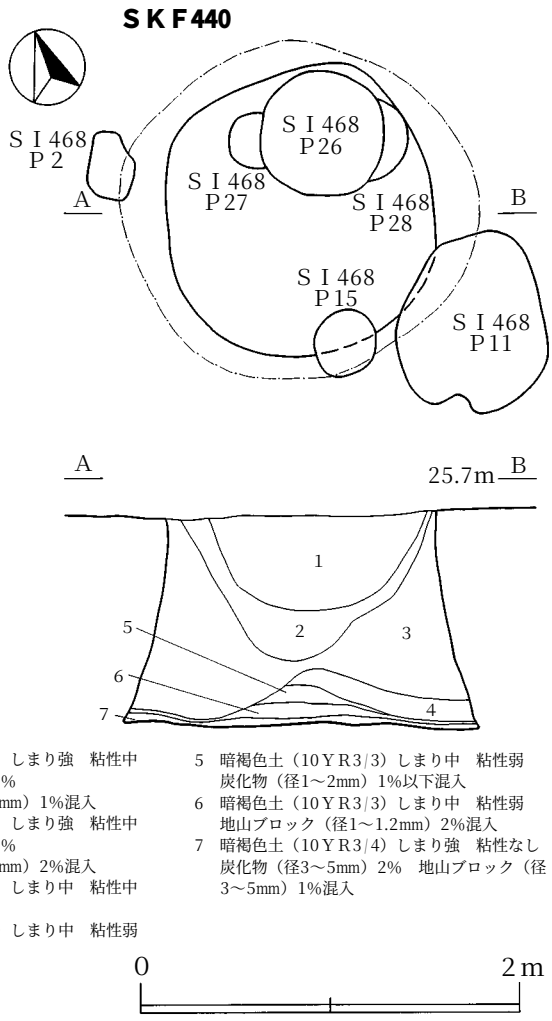
ＳＲ790
1　暗褐色土（7.5ＹＲ3/4）しまり弱　粘性中
2　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり弱　粘性中



ＳＫＴ1970
1　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり強　粘性中
　地山ブロック（径0.1～1cm）2%混入
2　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり強　粘性中
3　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり中　粘性強
4　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり弱　粘性強
5　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり弱　粘性強

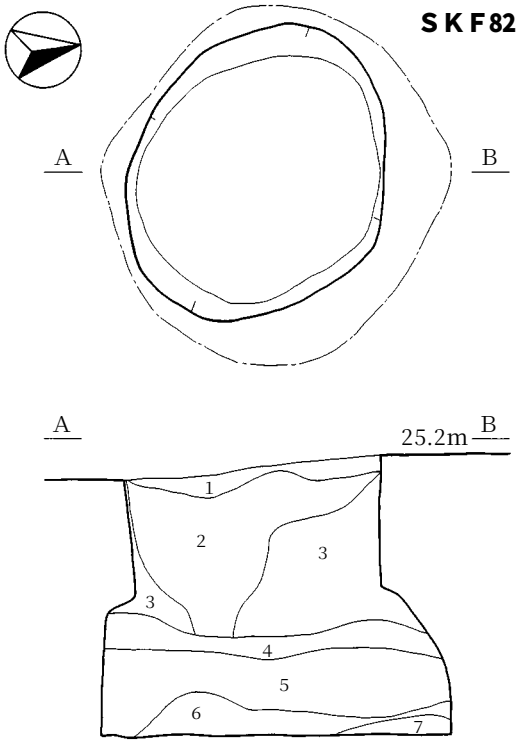


ＳＫＦ410
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり中　粘性なし
　炭化物1%混入
2　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり中　粘性中
　炭化物1%混入
3　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり弱　粘性強
　炭化物1%混入
4　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり中　粘性強
　炭化物1%　地山ブロック1%混入
5　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり中　粘性強
　炭化物1%　地山ブロック1%混入
6　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり中　粘性中
　炭化物1%　地山ブロック2%混入
7　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり中　粘性中
　炭化物1%混入

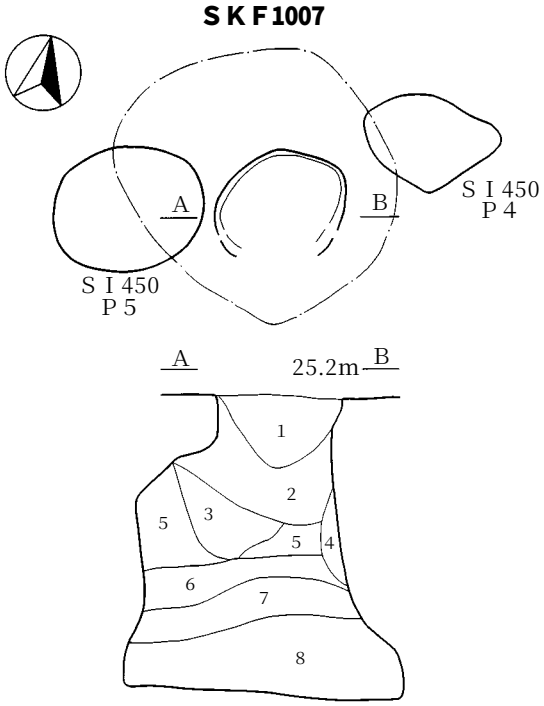


ＳＫＦ440
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり強　粘性中
　炭化物（径3～7mm）1%
　地山ブロック（径3～6mm）1%混入
2　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性中
　炭化物（径3～4mm）1%
　地山ブロック（径4～8mm）2%混入
3　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり中　粘性中
　地山ブロック40%混入
4　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり中　粘性弱
　地山ブロック20%混入
5　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり中　粘性弱
　炭化物（径1～2mm）1%以下混入
6　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり中　粘性弱
　地山ブロック（径1～1.2mm）2%混入
7　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性なし
　炭化物（径3～5mm）2%　地山ブロック（径
　3～5mm）1%混入

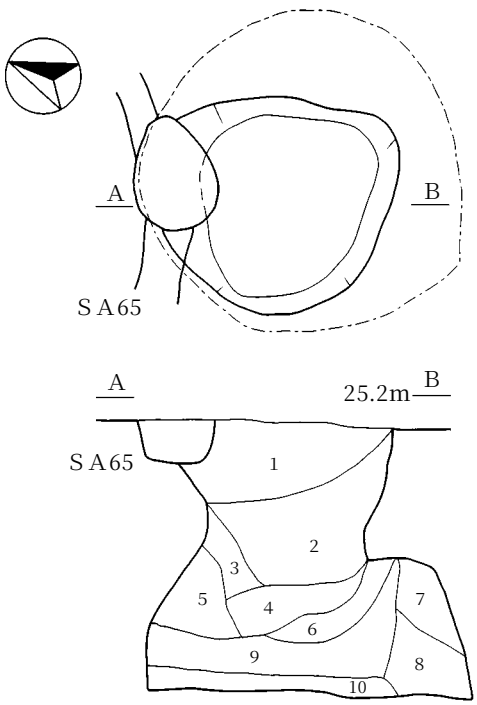
第11図　ＳＲ790土器埋設遺構　ＳＫＴ1970陥し穴　ＳＫＦ410・440フラスコ状土坑



ＳＫＦ826
1　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり強　粘性なし
2　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%　焼土ブロック1%混入
3　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性中
　炭化物1%混入
4　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり中　粘性中
　炭化物2%混入
5　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり弱　粘性なし
6　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性中
7　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり弱　粘性なし

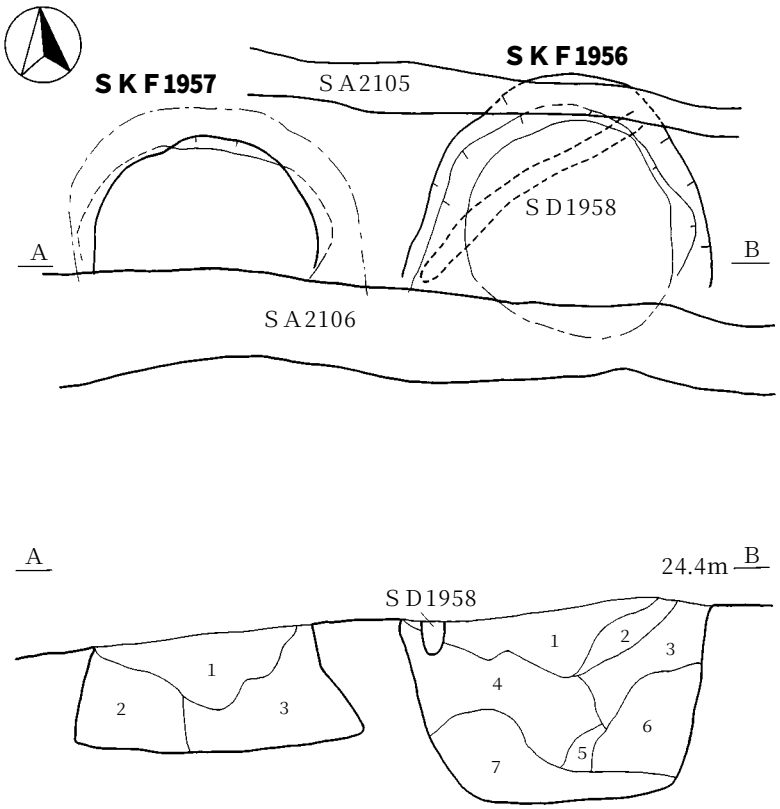


ＳＫＦ1007
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり中　粘性中
　炭化物3%　焼土ブロック1%
　地山ブロック5%混入
2　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり中　粘性中
　炭化物1%　地山ブロック3%混入
3　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり中　粘性中
　炭化物1%　地山ブロック5%混入
4　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱
　炭化物1%混入
5　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性中
　炭化物1%　地山ブロック50%混入
6　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり中　粘性中
　炭化物1%　地山ブロック10%混入
7　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり中　粘性中
　炭化物1%　焼土ブロック1%
　地山ブロック1%混入
8　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり中　粘性中
　炭化物1%　地山ブロック1%混入



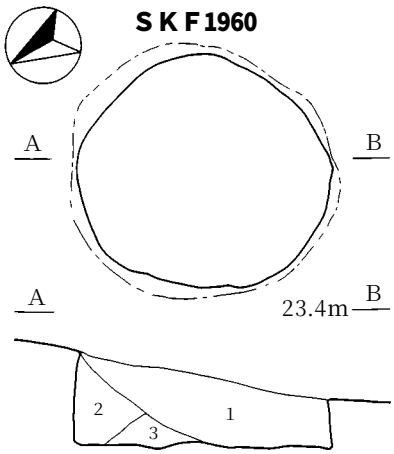
ＳＫＦ1008
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性中
　地山ブロック2%混入
2　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性中
　炭化物1%　地山ブロック5%混入
3　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり中　粘性弱
4　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり弱　粘性中
　炭化物1%混入
5　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり弱　粘性弱
6　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり弱　粘性中
7　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり弱　粘性弱
8　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり中　粘性中
9　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり弱　粘性弱
10　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり弱　粘性中
　暗褐色土（10ＹＲ3/4）10%混入

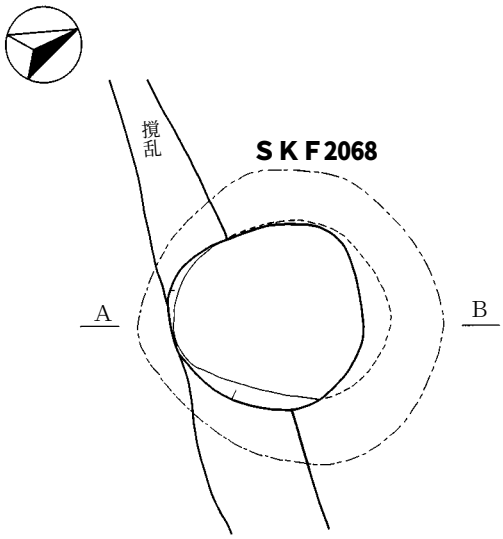
第12図　ＳＫＦ826・1007・1008フラスコ状土坑



ＳＫＦ1956
1　暗褐色土（7.5ＹＲ3/4）しまり強　粘性中
　炭化物（径1～2mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径0.1～1cm）1%未満混入
　地山ブロック（径0.1～1cm）1%未満混入
2　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）しまり強　粘性中
　炭化物（径1～5mm）1%混入
　地山ブロック（径1～2mm）1%混入
3　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）しまり強　粘性中
　炭化物（径1～5mm）1%混入
　地山ブロック斑点状に混入
4　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
5　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり中　粘性中
6　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり中　粘性強
　炭化物（径1～5mm）1%混入
　地山ブロック斑点状に混入
7　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性強

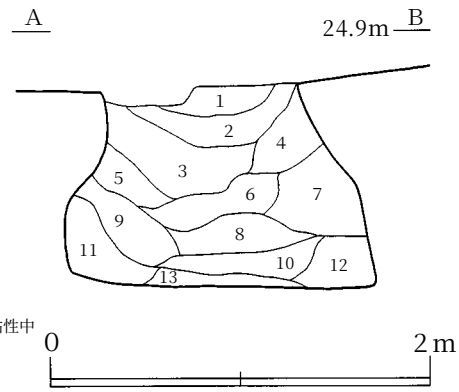
ＳＫＦ1957
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性中
　炭化物（径0.2～1cm）5%混入
2　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性中
3　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱



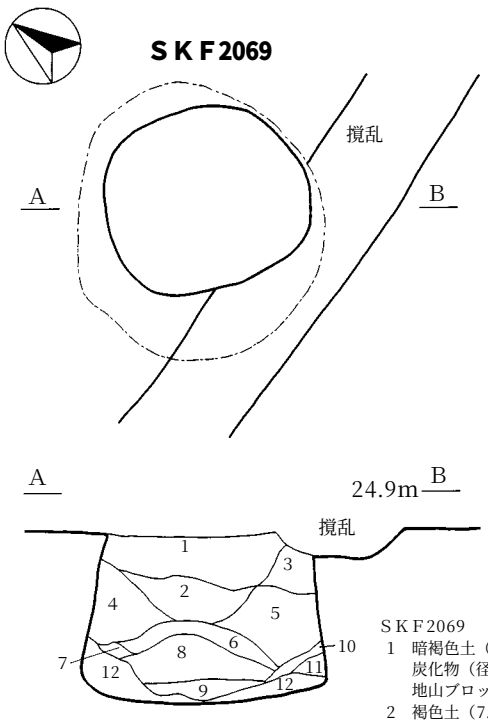


ＳＫＦ1960
1　暗褐色土（7.5ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～5mm）1%混入
2　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり弱　粘性強
3　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり中　粘性強

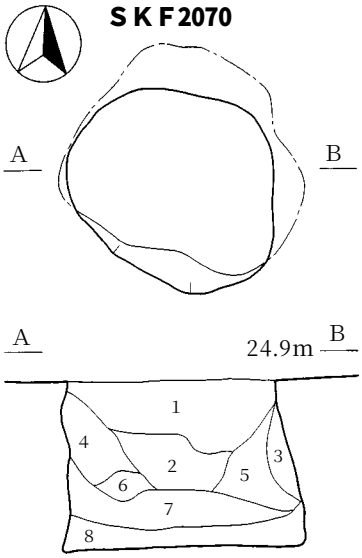
ＳＫＦ2068
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり中　粘性中
2　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり中　粘性中
　地山ブロック混入
3　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり弱　粘性強
　炭化物（径1～2mm）10%　地山ブロック混入
4　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）しまり強　粘性強
　炭化物（径1～2mm）1%未満
　地山ブロック混入
5　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり弱　粘性強
　炭化物（径1～5mm）1%未満混入
6　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり中　粘性強
　炭化物（径1～2mm）1%未満
　地山ブロック（径1～5mm）1%未満混入
7　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり弱　粘性強
8　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり中　粘性中
　炭化物（径1mm）1%未満
　地山ブロック（径1mm）1%未満混入
9　褐色土（7.5ＹＲ4/3）しまり中　粘性強
　地山ブロック（径0.1～1cm）1%混入
10　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり中　粘性中
11　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり中　粘性中
12　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）しまり中　粘性中
13　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり中　粘性中



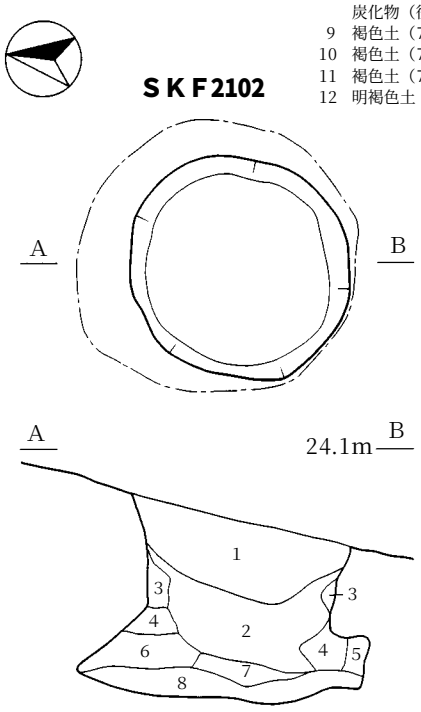
第13図　ＳＫＦ1956・1957・1960・2068フラスコ状土坑



ＳＫＦ2069
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性中
　炭化物（径1～3mm）1%
　地山ブロック（径1～2mm）1%混入
2　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径2mm）1%
　地山ブロック（径1～5mm）1%混入
3　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり中　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%混入
4　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～3mm）1%
　地山ブロック（径5mm）1%未満混入
5　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～3mm）1%
　地山ブロック（径2～3mm）1%混入
6　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）しまり中　粘性中
　炭化物（径1mm）1%　地山ブロック1%未満混入
7　明褐色土（7.5ＹＲ5/6）しまり強　粘性弱
8　褐色土（7.5ＹＲ4/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～5mm）1%混入
9　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
10　褐色土（7.5ＹＲ4/4）粘性弱　しまり強
11　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性強
12　明褐色土（7.5ＹＲ5/6）しまり強　粘性弱

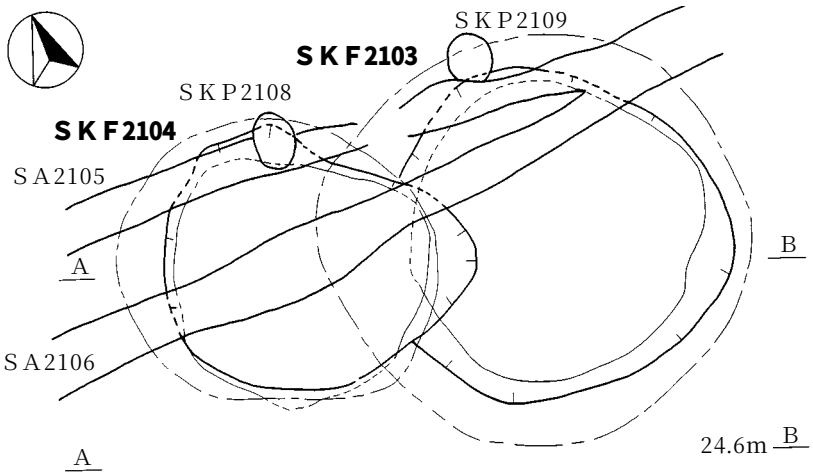


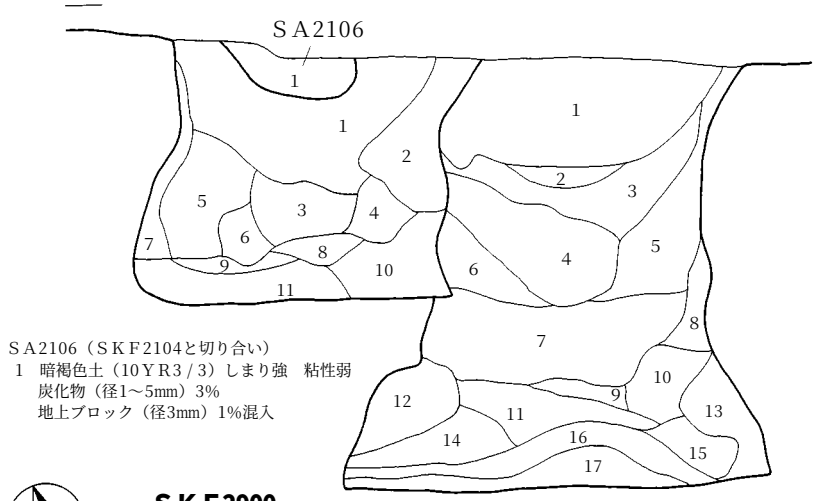
ＳＫＦ2070
1　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径0.1～1cm）3%
　地山ブロック（径1～3mm）1%混入
2　褐色土（7.5ＹＲ4/6）しまり強　粘性中
　炭化物（径1～5mm）1%
3　褐色土（7.5ＹＲ4/6）しまり強　粘性中
　炭化物1%未満混入
4　褐色土（7.5ＹＲ4/6）しまり強　粘性中
　炭化物（径1～3mm）1%
　地山ブロック（径0.1～1.5cm）3%混入
5　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性中
　炭化物（径1cm）1%未満
　地山ブロック（径3～5mm）1%混入
6　褐色土（7.5ＹＲ4/6）しまり強　粘性中
7　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性中
　炭化物（径1～3mm）1%混入
8　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性なし



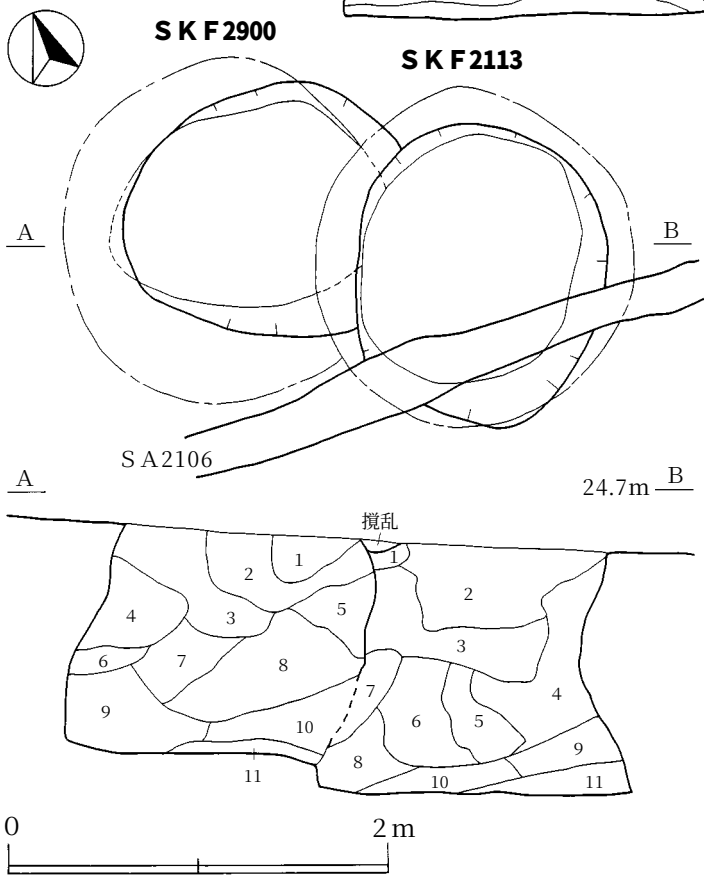
ＳＫＦ2102
1　褐色土（7.5ＹＲ4/3）しまり弱　粘性強
　炭化物（径1～5mm）1%
　地山ブロック（径0.1～1cm）2%混入
2　褐色土（7.5ＹＲ4/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～3mm）1%混入
3　褐色土（7.5ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱
4　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%混入
5　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
6　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～3mm）1%
　地山ブロック（径1～2cm）1%混入
7　褐色土（7.5ＹＲ4/3）しまり強　粘性中
　炭化物（径1mm）1%
　地山ブロック（径1mm）1%混入
8　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性なし
　炭化物（径1mm）1%未満混入

第14図　ＳＫＦ2069・2070・2102フラスコ状土坑





SA2106（SKF2104と切り合い）
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～5mm）3%
　地上ブロック（径3mm）1%混入



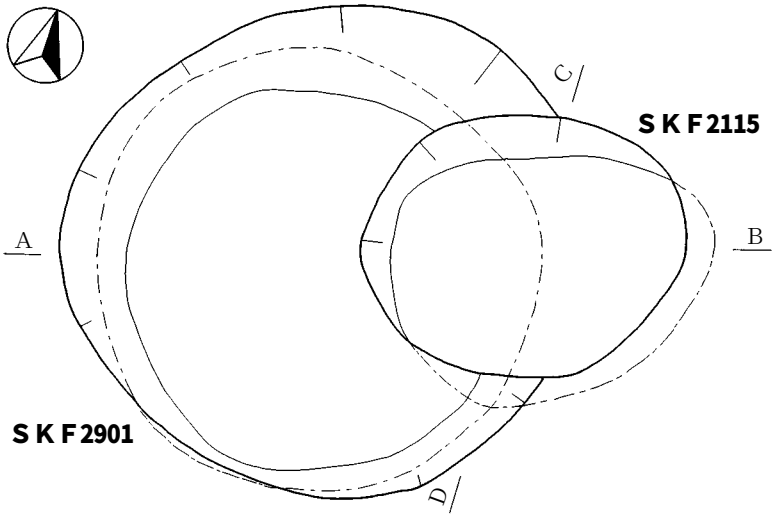
SKF2103
1　褐色土（10YR4/4）しまり強　粘性弱
2　褐色土（10YR4/6）しまり強　粘性弱
3　褐色土（7.5YR4/4）しまり強　粘性弱
4　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～5mm）2%
　地山ブロック（径2～5mm）3%混入
5　褐色土（7.5YR4/4）しまり強　粘性弱
6　褐色土（7.5YR4/4）しまり強　粘性弱
7　褐色土（7.5YR4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～5mm）1%混入
8　褐色土（10YR4/6）しまり中　粘性弱
9　褐色土（7.5YR4/6）しまり強　粘性弱
10　褐色土（7.5YR4/6）しまり強　粘性弱
11　褐色土（10YR4/4）しまり中　粘性中
12　褐色土（10YR4/4）しまり中　粘性弱
13　褐色土（10YR4/4）しまり中　粘性弱
14　褐色土（10YR4/4）しまり強　粘性弱
15　褐色土（10YR4/6）しまり強　粘性弱
16　褐色土（10YR4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径3～5mm）1%混入
17　褐色土（10YR4/4）しまり強　粘性弱

SKF2104
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～5mm）3%
2　褐色土（7.5YR4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%　地山ブロック　2%混入
3　褐色土（7.5YR4/4）しまり強　粘性中
4　褐色土（7.5YR4/4）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径0.1～2cm）5%混入
5　褐色土（7.5YR4/4）しまり強　粘性弱
6　褐色土（7.5YR4/4）しまり強　粘性弱
7　褐色土（10YR4/4）しまり強　粘性弱
　地山ブロック20%混入
8　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性弱
9　褐色土（10YR4/4）しまり中　粘性中
　炭化物（径5mm）1%
　地山ブロック（径1mm）5%混入
10　褐色土（7.5YR4/4）しまり中　粘性弱
11　暗褐色土（10YR3/4）しまり弱　粘性弱
　炭化物（径1～5mm）2%
　地山ブロック（径1～3mm）5%混入

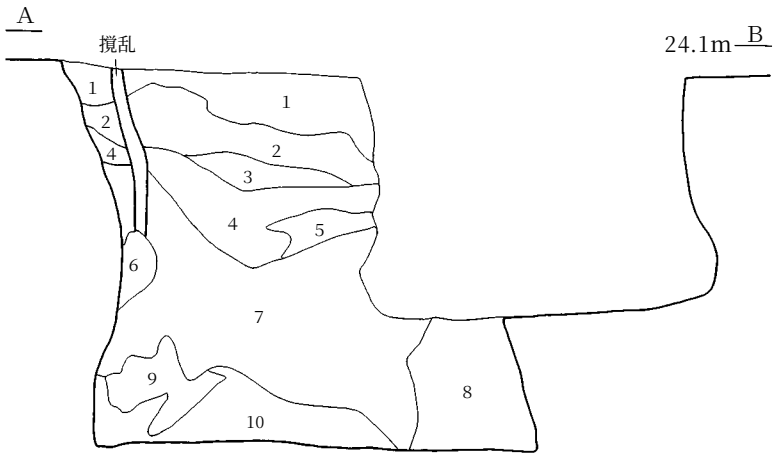
SKF2113
1　褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性弱
2　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～3mm）2%　焼土ブロック1%未満
　地山ブロック（径1～3mm）2%混入
3　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～3mm）2%　焼土ブロック1%未満
　地山ブロック（径1～3mm）5%混入
4　褐色土（7.5YR）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%　地山ブロック　40%混入
5　褐色土（7.5YR4/4）しまり強　粘性中
　地山ブロック30%混入
6　褐色土（7.5YR4/4）しまり強　粘性中
　炭化物1%　地山ブロック30%混入
7　褐色土（7.5YR4/4）しまり強　粘性弱
　地山ブロック30%混入
8　褐色土（7.5YR4/6）しまり強　粘性弱
9　褐色土（7.5YR4/6）しまり強　粘性弱
10　褐色土（7.5YR4/4）しまり中　粘性中
11　褐色土（7.5YR4/4）しまり中　粘性中

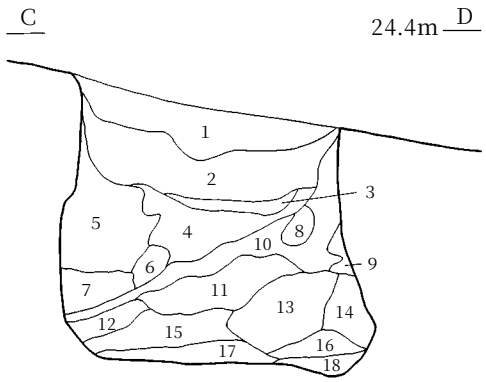
SKF2900
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり弱　粘性強
　炭化物（径1mm）2%
2　褐色土（7.5YR4/4）しまり強　粘性弱
3　暗褐色土（10YR3/4）しまり中　粘性弱
　地山ブロック（径1～3mm）3%混入
4　褐色土（7.5YR4/4）しまり中　粘性中
　地山ブロック50%混入
5　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性弱
6　褐色土（7.5YR4/6）しまり中　粘性中
　地山ブロック20%混入
7　褐色土（7.5YR4/4）しまり強　粘性弱
8　褐色土（7.5YR4/6）しまり強　粘性中
9　褐色土（7.5YR4/6）しまり中　粘性中
10　褐色土（7.5YR4/4）しまり強　粘性弱
　地山ブロック30%混入
11　褐色土（7.5YR4/4）しまり強　粘性弱

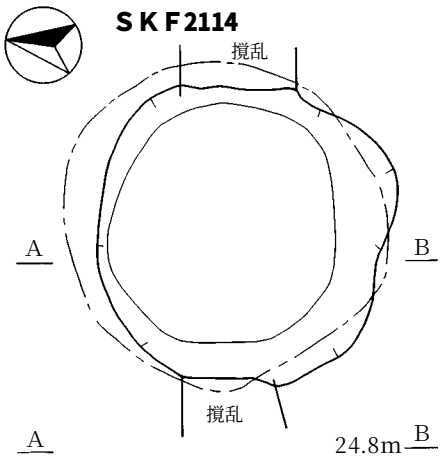
第15図　ＳＫＦ2103・2104・2113・2900フラスコ状土坑

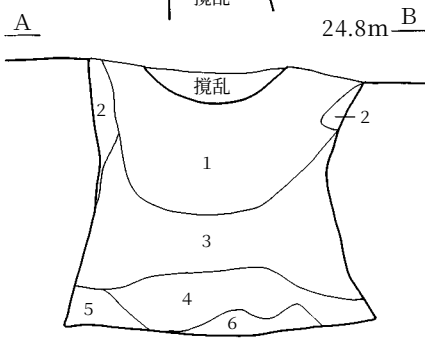


SＫＦ2115
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～3mm）1%
　焼土ブロック1%未満混入
2　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
3　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり中　粘性弱
4　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり弱　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%
　地山ブロック（径5mm）1%混入
5　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり中　粘性中
　炭化物（径2mm）1%未満混入
6　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱
7　明褐色土（7.5ＹＲ5/6）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%未満混入
8　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
9　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱
10　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり中　粘性弱
　炭化物（径1～5mm）1%　地山ブロック混入
11　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%混入
12　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり弱　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%混入
13　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり中　粘性弱
　炭化物（径4mm）1%混入
14　褐色土（7.5ＹＲ4/6）しまり中　粘性弱
15　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径1cm）1%混入
16　褐色土（7.5ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入
17　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱
18　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱



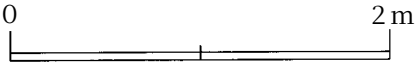




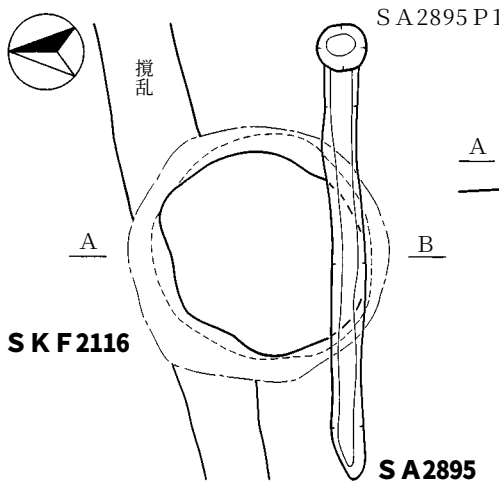


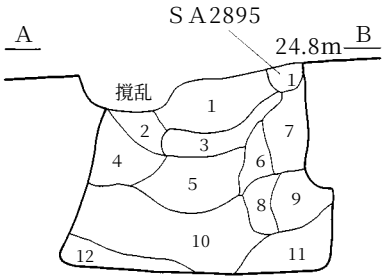
SＫＦ2901
1　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～5mm）1%混入
2　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満
　地山ブロック（径5mm）1%未満混入。
3　褐色土（7.5ＹＲ4/6）しまり強　粘性中
　炭化物1%未満混入
4　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
5　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
6　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
7　明褐色土（7.5ＹＲ5/6）しまり強　粘性中
　褐色土混入
8　褐色土（10ＹＲ4/4～4/6）砂40%混入
9　砂
10　明褐色土（7.5ＹＲ5/6）しまり強　粘性中
　褐色土混入

SＫＦ2114
1　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性中
　炭化物（径1～5mm）3%
　地山ブロック（径0.1～1cm）3%混入
2　明褐色土（7.5ＹＲ5/6）しまり強　粘性中
　炭化物（径1mm）1%混入
3　褐色土（7.5ＹＲ4/6）しまり弱　粘性弱
　炭化物（径1～3mm）1%混入
4　明褐色土（7.5ＹＲ5/6）しまり中　粘性強
5　明褐色土（7.5ＹＲ5/6）しまり中　粘性弱
6　褐色土（7.5ＹＲ4/6）しまり中　粘性弱



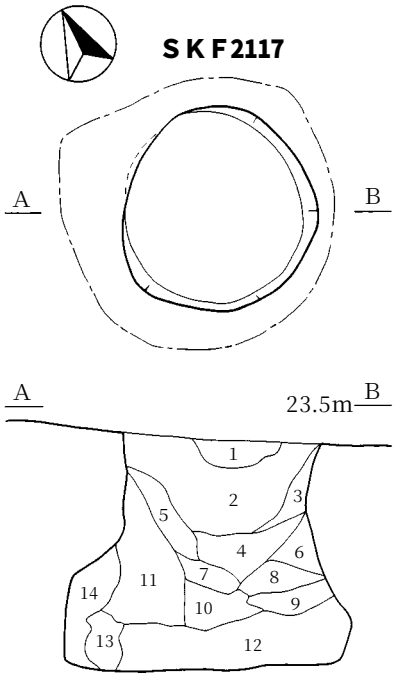
第16図　ＳＫＦ2114・2115・2901フラスコ状土坑



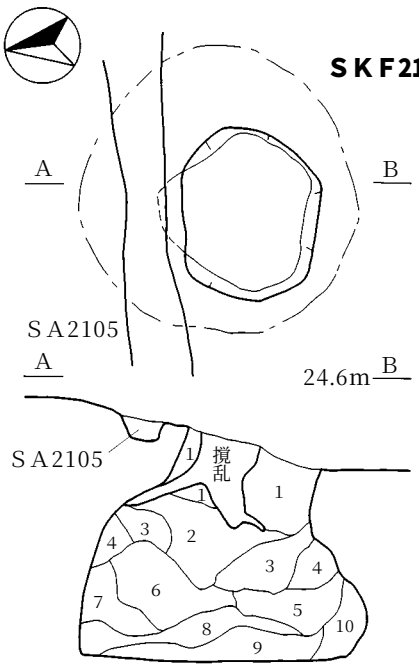


ＳＡ2895
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径2mm）1%混入
　地山ブロック（径1mm）1%混入

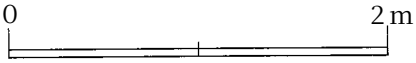
ＳＫＦ2116
1　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり強　粘性中
　炭化物（径2～5mm）1%
　地山ブロック（径1mm）1%混入
2　褐色土（7.5ＹＲ4/3）しまり強　粘性中
　炭化物（径1mm）1%
　地山ブロック（径1mm）1%混入
3　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性中
　炭化物（径2mm）1%未満混入
4　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
5　褐色土（7.5ＹＲ4/3）しまり中　粘性中
　炭化物（径1mm）1%
　地山ブロック（径3～5mm）1%混入
6　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性強
　炭化物（径1mm）1%混入
7　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり中　粘性中
　炭化物（径1mm）1%未満混入
8　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり中　粘性中
9　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり中　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%未満混入
10　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり中　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%未満
　地山ブロック（径1mm）1%未満混入
11　褐色土（7.5ＹＲ4/6）しまり中　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%未満混入
12　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性なし



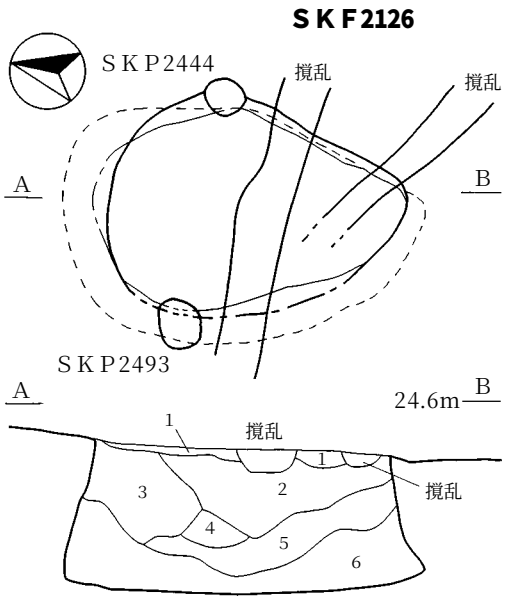
ＳＫＦ2117
1　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径3～7mm）10%混入
2　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性中
　炭化物（径1～3mm）7%混入
3　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性中
4　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性強
　炭化物（径1～2mm）5%混入
5　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性強
　炭化物（径1mm）1%　地山ブロック3%混入
6　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり強　粘性強
　地山ブロック7%混入
7　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり中　粘性強
　地山ブロック10%混入
8　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり中　粘性強
9　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり強　粘性強
10　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり中　粘性強
　地山ブロック3%混入
11　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり強　粘性強
12　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり弱　粘性弱
13　褐色土（10ＹＲ3/4）しまり弱　粘性強
　炭化物20%混入
14　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり中　粘性中



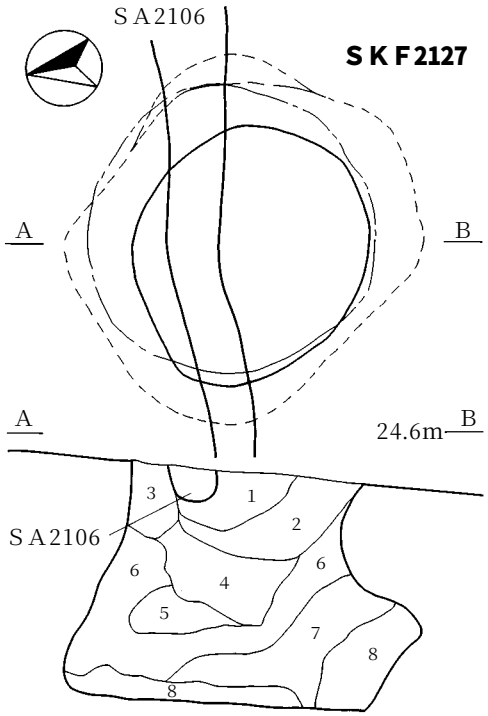
ＳＫＦ2125
1　暗褐色土（7.5ＹＲ3/2）しまり強　粘性中
　炭化物（径1～2mm）1%未満
　地山ブロック（径1～5mm）1%混入
2　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）しまり中　粘性弱
　地山ブロック（径0.1～1cm）混入
3　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり弱　粘性中
　地山ブロック混入
4　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）しまり中　粘性強
　地山ブロック混入
5　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり弱　粘性弱
　地山ブロック（径0.1～1cm）1%混入
6　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり中　粘性中
　地山ブロック（径1～3mm）2%混入
7　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）しまり中　粘性弱
　地山ブロック（径1～3mm）1%混入
8　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり弱　粘性弱
　地山ブロック（径0.1～2cm）3%混入
9　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）しまり中　粘性弱
10　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）しまり中　粘性弱



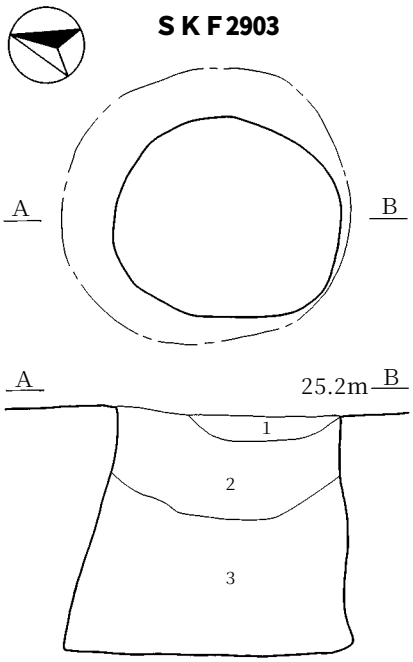
第17図　ＳＫＦ2116・2117・2125フラスコ状土坑　ＳＡ2895柵列



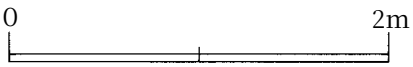
ＳＫＦ2126
1　暗褐色土（7.5ＹＲ3/4）しまり中　粘性中
2　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）しまり強　粘性中
　炭化物（径1～2mm）1%未満混入
　地山ブロック（径0.1～3cm）2%
3　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性強
　地山ブロック混入
4　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり弱　粘性強
5　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）しまり強　粘性弱
6　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）しまり強　粘性弱



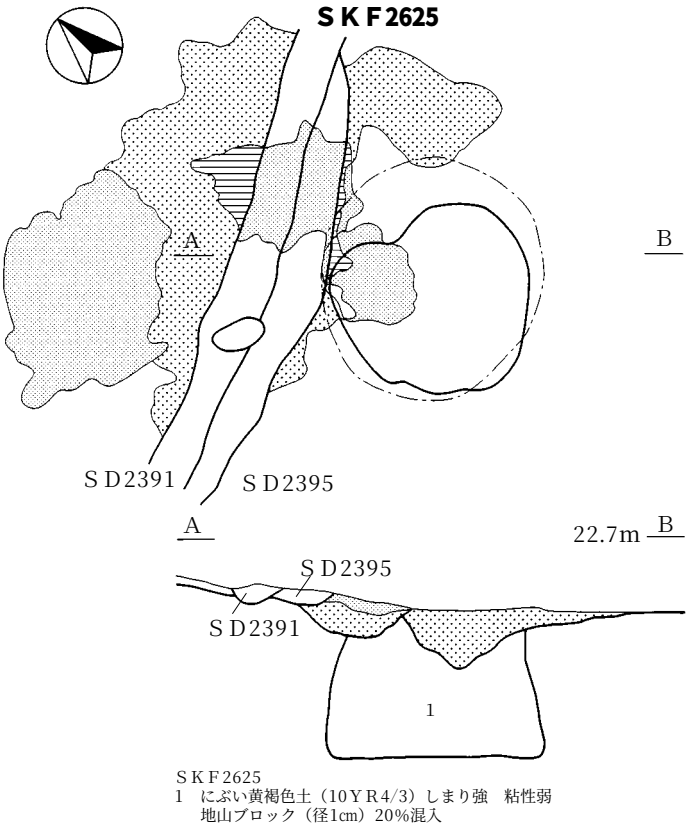
ＳＫＦ2127
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり中　粘性中
　炭化物（径1～5mm）2%混入
　地山ブロック（径1～5mm）1%未満混入
2　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり中　粘性中
3　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり強　粘性中
4　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）しまり中　粘性中
　地山ブロック混入
5　褐色土（7.5ＹＲ4/3）しまり中　粘性強
　炭化物（径1mm）1%未満混入
6　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）しまり中　粘性中
7　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり弱　粘性弱
　地山ブロック混入
8　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり中　粘性弱



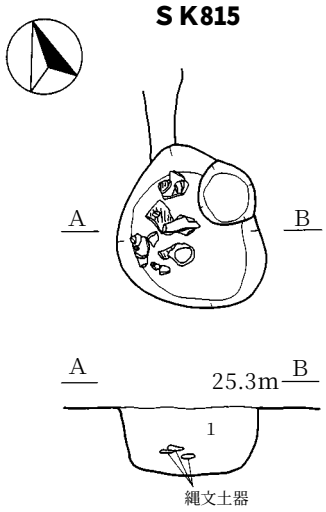
ＳＫＦ2903
1　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%
　地山ブロック（径1mm）1%混入
2　褐色土（7.5ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%
　地山ブロック（径1mm）1%混入
3　褐色土（7.5ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱



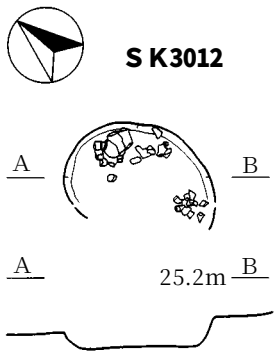
第18図　ＳＫＦ2126・2127・2903フラスコ状土坑

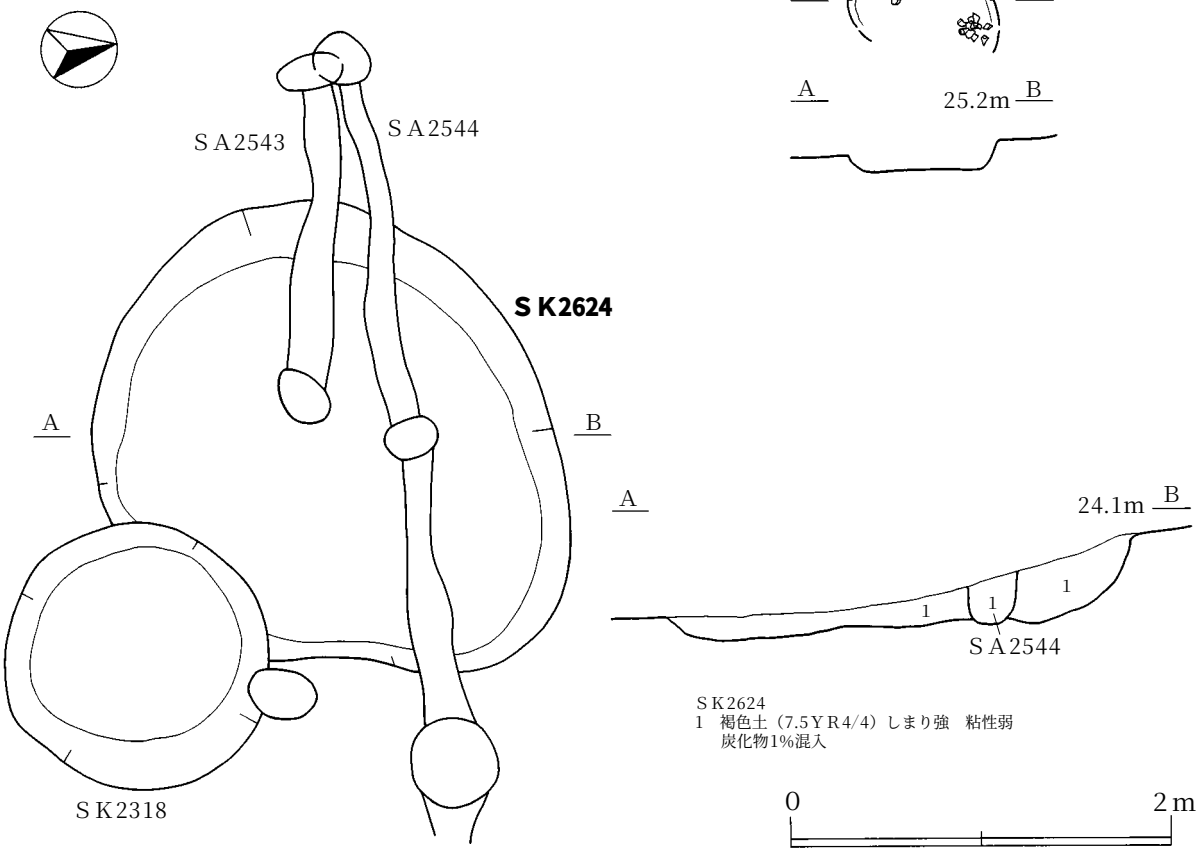


ＳＫＦ2625
1　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径1㎝）20%混入



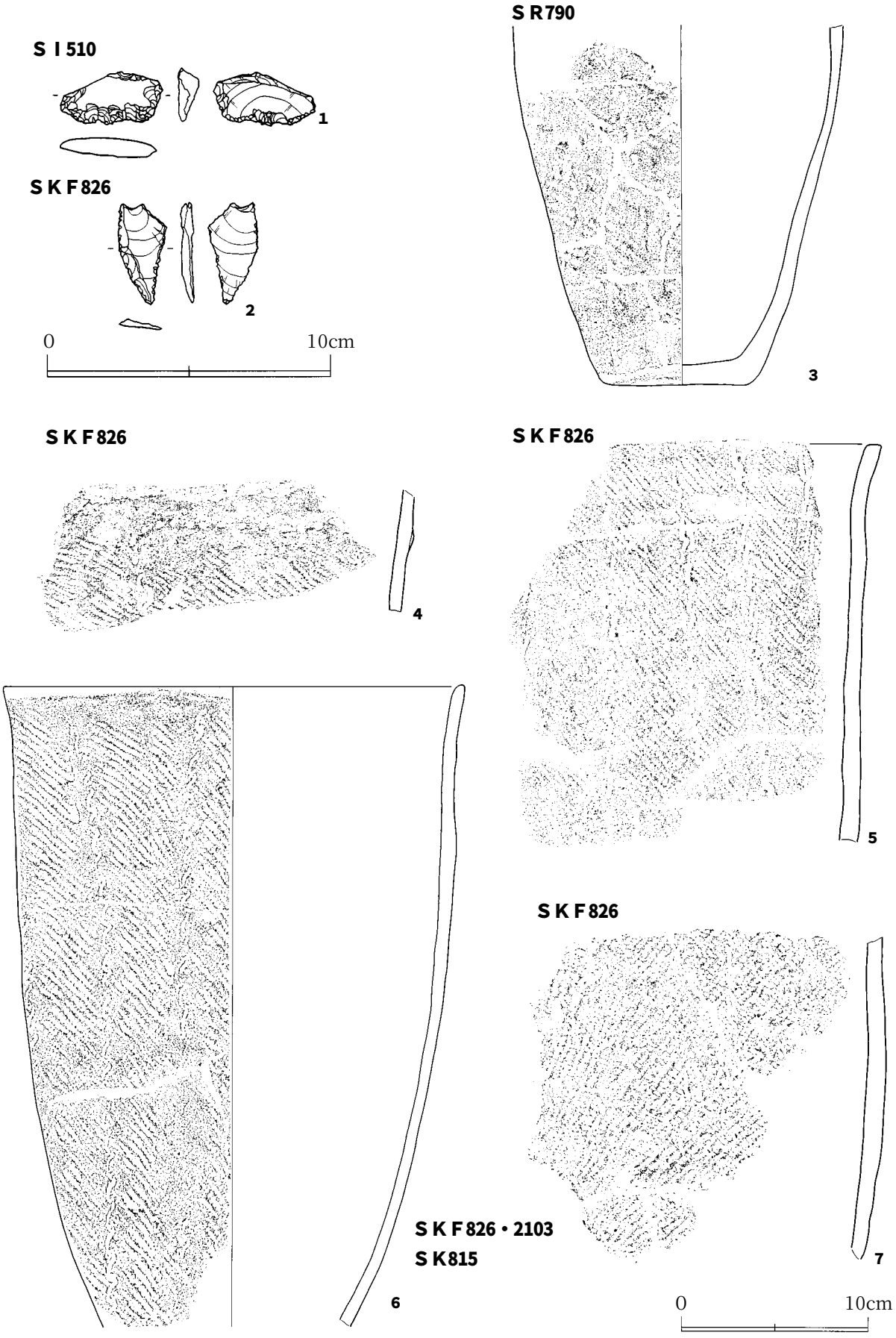
ＳＫ815
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性中
　地山ブロック1%混入



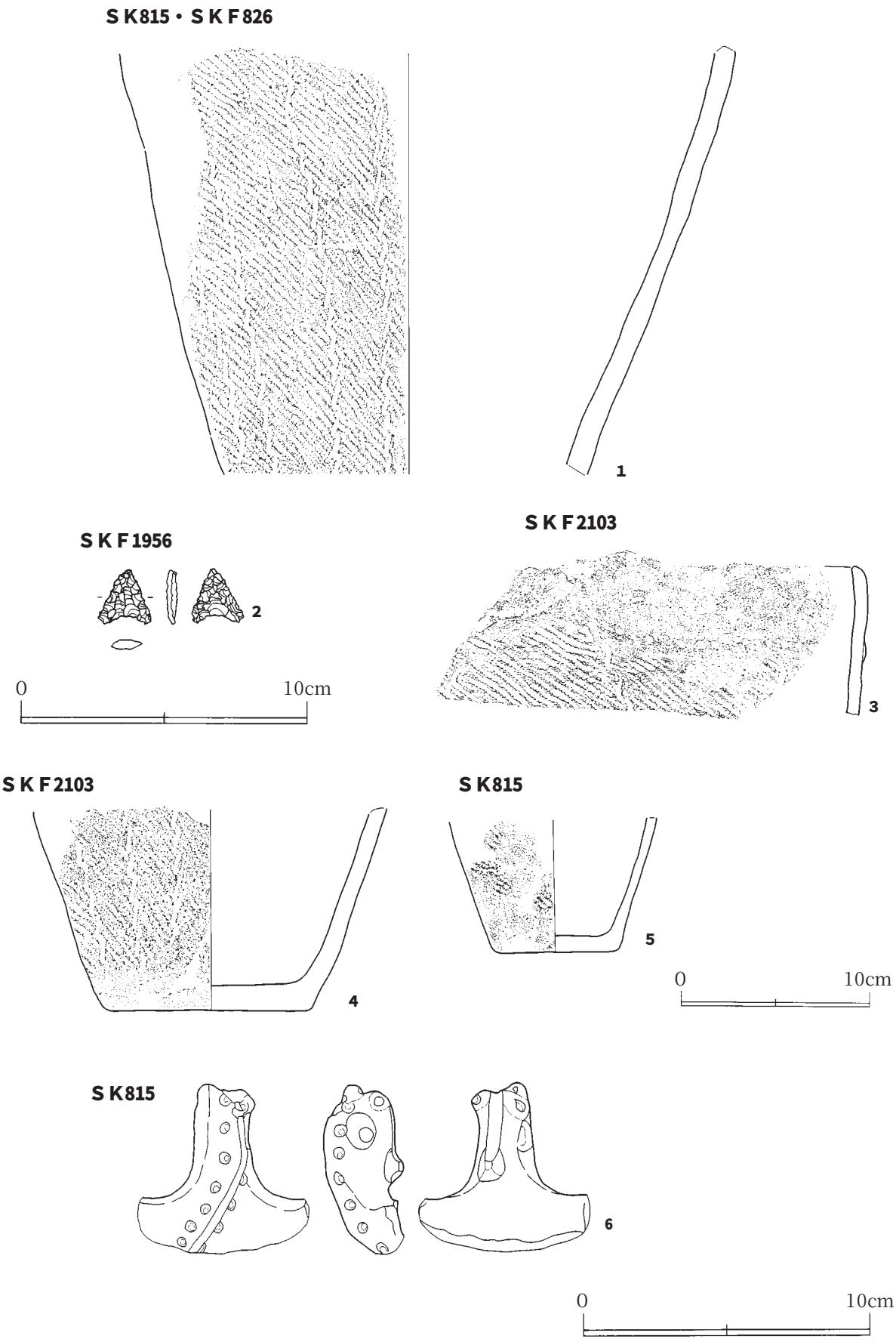


ＳＫ2624
1　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%混入

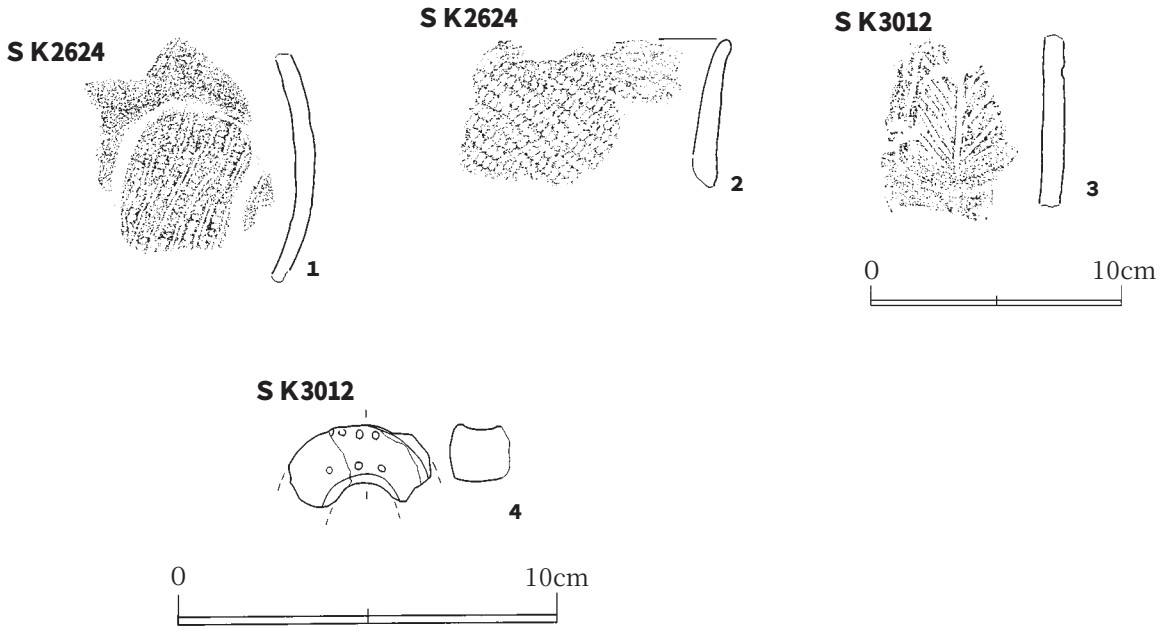
第19図　ＳＫＦ2625フラスコ状土坑　ＳＫ815・2624・3012土坑



第20図　遺構内出土遺物（1）（ＳＩ510・ＳＲ790・ＳＫＦ826･2103・ＳＫ815）



第21図　遺構内出土遺物（２）（ＳＫＦ826・1956・2103・ＳＫ815）



第22図　遺構内出土遺物（３）（S K2624・3012）

挿図番号	図版番号	出土遺構	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)
第20図１	19－19	SI510	二次加工のある剥片	1.9	3.1	0.7	4.2
第20図２	19－18	SKF826	二次加工のある剥片	3.6	1.7	0.5	1.7
第21図２	19－14	SKF1956	石鏃	1.9	1.8	0.5	0.9

挿図番号	図版番号	出土遺構	器種	部位	器面特徴	胎土	色調
第20図３	20-1	SR790	深鉢	胴部～底部	LR縄文縦位回転　炭化物付着	粗い	7.5YR6 / 6
第20図４	21-3	SKF826	深鉢	胴部	LR綾絡文縦位回転→隆帯横位貼付→隆帯に沿って竹管による刺突 炭化物付着	緻密	10YR5 / 2
第20図５		SKF826	深鉢	口縁部～胴部	LR綾絡文縦位回転　炭化物付着	粗い	10YR6 / 6
第20図６	21-1	SKF826 SKF2103 SK815	深鉢	口縁部～胴部	LR綾絡文縦位回転　炭化物付着	砂粒	7.5YR7 / 6
第20図７		SKF826	深鉢	胴部	LR綾絡文縦位回転　炭化物付着	粗い	10YR6 / 6
第21図１	20-2	SKF826 SK815	深鉢	胴部	LR綾絡文縦位回転	砂粒	10YR7 / 3
第21図３	21-2	SKF2103	深鉢	口縁部	LR綾絡文縦位回転→隆帯横位貼付→隆帯に沿って竹管による刺突 炭化物付着	緻密	10YR5 / 2
第21図４		SKF2103	深鉢	胴部～底部	LR綾絡文縦位回転	砂粒	10YR7 / 6
第21図５		SK815	深鉢	胴部～底部	LR縄文縦位回転	粗い	5 YR6 / 6
第21図６	22-1	SK815		口縁部突起	隆帯縦位貼付→隆帯に沿って竹管による刺突　突起頂部に横位の穿孔	粗い	10YR6 / 4
第22図１		SK2624	深鉢	胴部	沈線によるO字型→O字型の内側を正反の合撚による異条縄文斜位回転	砂粒	7.5YR6 / 4
第22図２		SK2624	深鉢	口縁部	ＬＲＬ縄文斜位回転	粗い	10YR3 / 1
第22図３	21-4	SK3012	深鉢	胴部	沈線による楕円形とその内部に葉脈状の文様	緻密	10YR5 / 2

挿図番号	図版番号	出土地点	器種	特徴	胎土	色調
第22図4	22-2	SK3012	耳飾	滑車型　残存部位は全体の1 / 4程度、裏面も欠損 表面には２列の刺突が並ぶ	粗い	10YR6 / 6

第４表　遺溝内出土遺物（縄文）一覧表

第４節　古代の遺構と遺物

１　竪穴住居跡

ＳＩ12(第23図)

ＰＤ14･15、ＰＥ15グリッドの第Ⅳ層で、北側の一部を落ち込みとして確認した。西側は農業用水路があるため調査できなかった。平面形は隅丸方形を呈するものと思われ、北壁は3.3m以上、西壁は0.94m以上、確認面からの深さは0.37mである。

床面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は5層に分けられ、主に第Ⅲ・Ⅳ層に由来する黒褐色土で、３ｂ層は３ａ層内に混入する火山灰ブロックである。４層には地山ブロックが多く混入している。

壁溝は幅0.22m・深さ0.15mで、北壁下・東壁下で確認した。柱穴は北東隅に1基(Ｐ１)で、深さは0.23mである。カマドは確認できなかった。遺物は流動滓が1点出土した。

ＳＩ17(第24図)

ＰＡ・ＰＢ14・15グリッドの第Ⅴ層で柱穴８基と、カマドの支脚と燃焼面を確認した。カマドと柱穴配置や、カマド内の覆土と柱穴の覆土が類似することから竪穴住居跡と判断した。ＳＤ201･ＳＡ226と切り合うが新旧関係は不明である。主軸方向はＮ－68 °－Ｗと思われる。

柱穴は、南東隅(Ｐ１)、南東壁下(Ｐ２･Ｐ５)、南西壁下(Ｐ４･Ｐ７)に位置し、深さは0.1～0.38mで、覆土は第Ⅲ層に由来する黒褐色土を主体としている。

カマドは袖部・煙道部等の上部構造は失われているが、削平を受けた支脚と、強く焼けた燃焼面を確認した。支脚内のカマド1層は第Ⅲ層に由来すると思われる。

遺物は支脚(第90図１)のほか土師器片が出土した。

ＳＩ18(第24図)

ＰＪ16グリッドの第Ⅳ層で、北側の一部を確認したにすぎない。平面形は隅丸方形を呈するものと思われ、北壁2.5m以上、西壁0.56m以上、確認面からの深さ0.24mである。床面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。

壁溝は幅0.1m・深さ0.24mで北東壁下・南西壁下で確認した。深さ0.19mの柱穴(Ｐ１)を北隅で確認した。遺物は出土しなかった。

ＳＩ26(第25･26図)

ＰＪ･ＰＫ2･3グリッドの第Ⅳ層で落ち込みとして確認したが、ＳＩ450に切られている。平面形は方形を呈し、北壁は4.46m、東壁は4.0m以上で、確認面からの深さは0.36mである。床面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は単一層で、第Ⅳ層に由来する暗褐色土である。

壁溝は幅0.2m･深さ0.12mで、北側から東側の壁下で確認した。柱穴は東隅(Ｐ６)･北隅(Ｐ４)のほか、北東壁下(Ｐ４)･北西壁下(Ｐ２･Ｐ３･Ｐ７)に位置し、深さは0.17m～0.48mである。Ｐ１は円形を呈する径0.84m・深さ0.5mの土坑で、２層に炭化物が多く混入する。

カマドは床面中央部よりやや東側に位置する。支脚と燃焼面とその西側に不整形の掘り込みを確認した。カマド1･2層はカマドを構築していた橙色砂質土、カマド3層は第Ⅳ層に由来する暗褐色土、

カマド５層は被熱層である。

遺物は、燈明に転用された土師器坏(第90図２)のほか、土師器坏(第90図３～６)、カマドから棒状の支脚(第90図９)、椀形鍛冶滓１点、棒状鉄製品２点、石鏃（第90図８）が出土した。

ＳＩ51(第27･28図、図版3－3・4－1)

ＯＪ･ＯＫ9･10グリッドのⅣ層で焼失家屋として確認した。炭化物･炭化材･焼土ブロックが住居全体を覆っており、火災による被熱は南側床面において著しい。主軸方向はＮ－55 °－Wである。平面形は方形を呈し、長軸(北東－南西)3.64m、短軸(北西－南東)3.39m、確認面からの深さは0.25mである。床面は平坦で壁は急に立ち上がる。覆土は５層に分けられ、１･３層は第Ⅲ･Ⅳ層に由来する黒褐色土で、２･４層は炭および炭化物が多く混入する層、５層は焼土層である。

壁溝は幅0.16m、深さ0.06mで、南西壁南側をのぞいて壁下に沿って巡る。柱穴は東隅(Ｐ１･Ｐ12)、北隅(Ｐ２･Ｐ３)、西隅(Ｐ４･Ｐ５･Ｐ６)、南隅(Ｐ９･Ｐ10)のほか、北東壁下(Ｐ11)、南西壁下(Ｐ７･Ｐ８)に位置する。柱穴の深さは0.08～0.38mである。西側床面には黒褐色土と地山ブロックが混合した貼床がある。

カマドは南東壁北側に位置し、煙道部･袖部･燃焼面を確認した。住居の壁外に煙道をくり抜いたトンネル式のものである。煙道は幅0.2mで住居外に向かっており、煙道の煙出し底部がわずかにくぼみ、垂直に立ち上がって煙出しに至る。燃焼面底面から煙道の煙出しまでの長さは0.85mで、煙出しの底部付近に長さ15㎝の礫が置かれていた。

遺物は、土師器坏(第90図10～14、第91図１～６)と土師器片、須恵器片５点、支脚(第90図７)のほか、貼床部分から棒状鉄製品が出土している。

床面直上から出土した炭化材の放射性炭素年代測定では、ＡＤ790～830という結果を得ている。

ＳＩ53(第23図)

ＰＤ･ＰＥ15･16グリッドの第Ⅳ層で東側の一部を落ち込みとして確認したが、北西側は農業用水路のため調査できなかった。主軸方向はＮ－64 °－Ｅで、ＳＩ190を切っている。南東壁1.92m以上、北東壁1.46m以上で、確認面からの深さ0.3mである。床面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は７層に分けられ、主に第Ⅲ層に由来する黒褐色土である。

壁溝は、幅0.12m･深さ0.02mで、南東壁下で確認した。柱穴は南東隅(Ｐ１)･南壁下(Ｐ２)のほか、南東側床面(Ｐ３)に位置する。柱穴の深さは0.15～0.28mである。

東側床面でカマドの燃焼面を確認し、0.06mの厚さで被熱面が認められた。

遺物は須恵器坏(第91図8･9)、軽石を素材とした石製品(第91図10)のほか、椀形鍛冶滓が出土した。

ＳＩ90(第29図、図版４－２・３)

ＯＮ･ＯＯ3･４グリッドの第Ⅳ層で確認した。主軸方向はＮ－51 °－Wである。平面形は長方形を呈し、長軸(北東－南西)3.35m、短軸(北西－南東)2.81m、確認面からの深さは0.13mである。床面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は5層に分けられた。

壁溝は確認されなかった。Ｐ１～Ｐ３は径0.56～0.77m、床面からの深さ0.11～0.49mの土坑でＰ２･Ｐ３は住居外にオーバーハングしている。

カマドは南東壁東側に位置し、煙道部･袖部･燃焼面･支脚を確認した。カマドは住居の壁外に煙道をくり抜いたトンネル式で、カマド及び煙道の天井部は失われていた。煙道は幅0.2mで住居外に向

かって緩やかに立ち上がる。支脚は甕を転用したもので、中央で見つかった。覆土は１層がカマドの天井部、２層が天井部の内側の被熱面、４層は第Ⅳ層に由来する暗褐色土、６層は支脚を固定する地山質土、７層は袖部の土である。

遺物は土師器皿(第91図11)、土師器坏(第91図12)、土師器甕(第92図１～７)、鍛冶滓１点、刀子１点、鉄製品５点のほか、台形様石器(第７図４・８)が出土した。

ＳＩ113(第30～32図、巻頭図版２－１、図版５－１・２)

ＯＳ7・ＯＴ７・８グリッドの第Ⅳ層で、落ち込みとして確認した。ＳＩ490を切っている。主軸方向はＮ－45°－Wである。平面形は方形を呈し、長軸(北西－南東)3.78m、短軸(北東－南西)3.22m、確認面からの深さは0.4mである。床面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は３層に分層され、１層は第Ⅳ層に由来する暗褐色土で地山ブロックが混入している。北東側床面に白色粘土塊が堆積していた。

壁溝は、幅0.2m、深さ0.07mで南西壁中央を除いて壁下で確認した。柱穴は北隅(Ｐ５)・西隅(Ｐ３)・南隅(Ｐ１)・東隅(Ｐ３)のほか、北東壁(Ｐ６)・北西壁下(Ｐ４)・南西壁下(Ｐ２)・南東側床面(Ｐ９)に位置する。柱穴の深さは0.05～0.25mである。Ｐ10(長軸0.68m、短軸0.61m、床面からの深さ0.05m)とＰ11(長軸0.55m、短軸0.49m、床面からの深さ0.12m)は楕円形を呈する土坑である。

カマドは南東壁東側に位置し、煙道部・袖部・燃焼面を確認した。煙道は幅0.57mで、住居の壁外に向かって緩やかに立ち上がり、煙出しと思われる底部でわずかにくぼんで急に立ち上がる。袖部の構築には粘土質の褐色土が使用されていた。１・３層は天井部、２層は焼土層、４・５層は袖部・煙道部を構築した褐色土が崩落したものと思われる。カマドの中央部で支脚が出土した。

遺物はカマド周辺から多く見つかり、土師器坏(第92図８～13、第93図１～２)、土師器甕(第93図３～８、第94図１)、支脚(第94図２)のほか、Ｐ１から鉄製品が１点出土した。床面から出土した炭化材の放射性炭素年代測定では、ＡＤ870～980という結果を得ている。

ＳＩ115(第33図)

ＯＲ８・９、ＯＳ７・８・９グリッドの第Ⅴ層で確認した。北西側の壁溝と、９基の柱穴と焼土の配置から竪穴住居跡と判断した。主軸方向はＮ－33°－Ｅと考えられる。長軸(北東－南西)4.0m以上、短軸(北西－南東)3.4m以上である。溝と柱穴の覆土は暗褐色土の単一層で第Ⅳ層に由来する。

壁溝は幅0.2m、深さ0.06mである。柱穴は各隅(Ｐ１・Ｐ３・Ｐ７・Ｐ９)のほか、南東部(Ｐ２)・北東部(Ｐ４・Ｐ５)・北西部(Ｐ８)・南西部(Ｐ６)で検出した。

カマドの痕跡と思われる焼土は分層でき、３層は第Ⅳ層に由来する暗褐色土である。

遺物はＰ５から土師器片１点、Ｐ６から土師器片３点と礫１点が出土した。

ＳＩ120(第34・35図、図版５－３)

ＰＢ・ＰＣ・ＰＤ４・５グリッドの第Ⅴ層で焼失家屋として確認した。北東壁と西側に撹乱を受けて、ＳＩ165に切られている。主軸方向はＮ－70°－Wである。平面形は方形を呈すると思われ、長軸(北東－南西)4.6m、短軸(北西－南東)3.04m、確認面からの深さは0.11mである。覆土は２層に分けられ、第Ⅳ層に由来する褐色土を主体とする。床面中央部から南西側にかけて火災による被熱面を確認し、北側から東側にかけての床面では、火災によって炭化した壁材と考えられる木材が出土した。木材の放射性炭素年代測定では、ＡＤ800～895という結果が得られ、炭化材樹種同定ではスギという結果が得られている。

壁溝は幅0.11m・深さ0.7mで、北壁下東側でのみ確認した。柱穴は北西隅(Ｐ３)・東壁下(Ｐ４)・床面中央部(Ｐ１)に位置する。柱穴の深さは0.11～0.31mである。Ｐ２は径0.44m、床面からの深さ0.15mの円形を呈する土坑であり、土師器が出土した。

カマドは南東壁の東側に位置するが、上部は削平を受けている。袖部の芯材・支脚・燃焼面を確認した。カマドは住居外東側に向かってわずかに張り出しており、袖部の芯材は厚さ２ｃｍの板状の焼けた粘土で、北側に傾いた状態で見つかった。支脚は燃焼面の東側に隣接して確認された。

遺物はカマド周辺から土師器坏(第94図３)、土師器甕(第94図５)、支脚(第94図６)が出土した。

ＳＩ123(第36図)

ＯＭ1・2、ＯＮ２グリッドの第Ⅴ層で、東側の半分を落ち込みとして確認した。ＳＤ100に切られている。主軸方向はＮ－45°－Wと考えられる。南東側は確認調査のトレンチで失われている。平面形は方形を呈するものと思われ、長軸（南東－北西）4.4m、短軸(北東－南西)2.05m以上で、確認面からの深さは0.12mである。床面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分かれた。

柱穴は南東壁下(Ｐ２)・床面中央部(Ｐ４)で検出した。Ｐ１は楕円形を呈し、長軸0.68m、短軸0.51m、床面からの深さ0.2mである。Ｐ２は0.95m程の円形を呈し、床面からの深さは0.08mである。Ｐ１・Ｐ２は焼土ブロックが混入している。壁溝は確認できなかった。南東壁東側の床面から壁面にかけては、被熱している。

遺物は土師器坏(第94図７～９)、土師器甕(第95図１)が出土した。

ＳＩ125(第37図、図版６－１)

ＯＰ・ＯＱ14グリッドの第Ⅴ層で、落ち込みとして確認した。主軸方向はＮ－67°－Wである。平面形は長方形を呈し、長軸(北西－南東)3.44m、短軸(北東－南西)3.12m、確認面からの深さ0.16mである。床面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は２層に分けられ、１層は第Ⅲ層に由来する黒褐色土に地山ブロックが多く混入しており、埋め戻された可能性がある。２層に混入する焼土・炭化物はカマドに由来するものと考えられる。

柱穴(Ｐ１)は床面中央部で検出し、床面からの深さは0.49mである。床面中央部に被熱面を確認した。壁溝は確認できなかった。

カマドは南東壁東側に位置し、袖部・燃焼面を確認した。袖部は砂質土が多く混入するにぶい黄褐色土(カマド１層)と黒褐色土(カマド３層)が混合しており、内側が被熱している。カマド１層からカマドを構築する際に利用した土師器甕片が出土した。

遺物は土師器甕(第95図２)のほか、カマド周辺から土師器片が多く出土した。

ＳＩ130(第38図)

ＰＥ・ＰＦ１・２、ＰＧ２グリッドの第Ⅴ層でカマドの支脚と燃焼面と、その周りに柱穴18基を確認した。これらの周辺には遺構がないことや、カマドの方向と柱穴の配置から、柱穴とカマドは関連する可能性があると判断し竪穴住居跡とした。長軸(北西－南東)4.94m以上、短軸(北東－南西)2.4m以上である。周辺に黒褐色土～暗褐色土で構成される柱穴を18基検出した。深さは0.09～0.35mである。

カマドは中央部に支脚と西側に燃焼面、東側から馬蹄形状のカマド構築土を確認した。燃焼面は中央部が強く焼けており、カマド構築土は黄褐色砂質土である。遺物は土師器坏（第95図３)、支脚(第95図４)、土師器甕片1点のほか、カマドから土師器片５点が出土した。

ＳＩ145(第39図、図版６－２)

ＯＭ･ＯＮ７･８グリッドの第Ⅳａ層で、南側をＳＩ1000に切られた落ち込みとして確認した。主軸方向はＮ－69°－Ｅである。平面形は長方形を呈するものと思われ、長軸(北西－南東)3.0m以上、短軸(北東－南西)2.38m、確認面からの深さは0.24mである。床面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は３層に分けられ、３層は第Ⅲ層に由来する黒褐色土である。

壁溝は幅0.18m、深さ0.07mで、北東側から北側にかけての壁下で確認した。柱穴は北隅(Ｐ１)・西隅(Ｐ３)・南隅(Ｐ５)・東隅(Ｐ４)のほか、北東壁下際(Ｐ２)・南西壁下際(Ｐ６)に位置し、深さは0.05～0.36mである。Ｐ９は楕円形の土坑で長軸1.22m、短軸0.78m、床面からの深さは0.15mである。

南西壁床面に被熱面を確認したが、カマドの袖部･上部構造などは確認できなかった。

遺物は土師器坏(第95図５～７)、刷毛目が認められる土師器甕(第95図９)、土師器甕(第95図８・10、第96図１～３)のほか、鍛冶滓２点、鉄製品４点が出土した。

ＳＩ150(第40･41図、図版６－３)

ＯＫ･ＯＬ８･９グリッドの第Ⅳ層で落ち込みとして確認した。ＳＤ100･ＳＫＩ66･ＳＡ24に切られる。主軸方向はＮ－50°－Ｗである。平面形は方形を呈し、長軸(北西－南東)3.62m、短軸(北東－南西)3.58m、確認面からの深さは0.25mである。床面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は９層に分けられた。

壁溝は幅0.2m･深さ0.28mで、四方の壁下で確認した。柱穴は北隅(Ｐ１)･西隅(Ｐ３)･南隅(Ｐ８)･東隅(Ｐ２)のほか北西壁下(Ｐ４・Ｐ５)･南東壁下(Ｐ９)･床面中央部(Ｐ７)に位置する。柱穴の深さは0.04～0.34mである。Ｐ６(径0.62m、床面からの深さ0.1m)･Ｐ10(長軸1.04m･短軸0.94m･床面からの深さ0.22m)･Ｐ11(長軸1.05m･短軸0.74m･床面からの深さ0.23m)は円形あるいは楕円形を呈する土坑である。

カマドは南東壁の東側に位置し、袖部･燃焼面を確認した。袖部は火山灰と思われる砂粒の多い褐色土(カマド11･13層)で構築しており、カマド１層はその崩落土と思われる。

遺物は、土師器坏(第96図４～10、図版25－5･6)、高台付皿(第96図11)のほか、カマドから土師器甕(第97図１・２)が出土した。

ＳＩ159(第41図、図版７－１)

ＰＡ12･13グリッドの第Ⅳ～Ⅴ層で南西側は落ち込みとして確認したが、北東側は溝のみを確認した。北西側は調査区外にある。平面形は方形を呈すると思われ、南東壁3.52m、北東壁2.42m以上、確認面からの深さは0.15mである。床面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は２層に分けられた。

北東側に沿う壁溝は、幅0.17m、深さ0.06mである。柱穴は11基検出した。南隅(Ｐ３・Ｐ４)、東隅(Ｐ６・Ｐ７)のほか、北東壁下(Ｐ８・Ｐ10)･南東壁下(Ｐ５)･南西壁下(Ｐ１・Ｐ２)、床面中央部(Ｐ11)、南西側床面(Ｐ９)に位置する。床面中央部に被熱面を確認したがカマドは見つかっていない。

ＳＩ165(第34･35図、図版７－２)

ＰＢ３、ＰＣ・ＰＤ３･４グリッドの第Ⅴ層で方形の落ち込みとして確認したが、南東側のほぼ半分は削平を受けている。ＳＩ120を切っている。北西壁5.1m、南西壁2.64m以上、確認面からの深さは0.22mである。床面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。

柱穴は、北隅(Ｐ14)･西隅(Ｐ10)･東隅(Ｐ15)のほか北西壁下(Ｐ11･Ｐ12･Ｐ13)･南西壁下(Ｐ４･

Ｐ６・Ｐ７・Ｐ８・Ｐ９)・南東壁下(Ｐ５・Ｐ16)・北東側床面(Ｐ３)に位置する。柱穴の深さは0.12～0.7mである。Ｐ１(長軸0.48m・短軸0.35m、床面からの深さ0.33m)・Ｐ２(長軸0.51m・短軸0.36m、床面からの深さ0.09m)・Ｐ17(長軸1.02m・短軸0.36m、床面からの深さ0.18m)・Ｐ18(長軸1.07m・短軸0.72m、床面からの深さ0.45m)・Ｐ19(長軸0.64m・短軸0.51m、床面からの深さ0.1m)は楕円形を呈する土坑である。北東側床面で径0.14mの円形を呈した被熱面を確認した。

遺物は、土師器坏（第97図３)、土師器甕（第97図４）椀形鍛冶滓が１点出土した。

ＳＩ180(第39図)

ＯＱ７・８グリッドの第Ⅳ層で落ち込みとして確認し、ＳＮ488を切っている。平面形は一辺2.8mの正方形を呈し、確認面からの深さは0.1mである。

床面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は5層に分けられ、１層及び５層は第Ⅳ層に由来する暗褐色土、２層は焼土ブロックが多く混入し、４層は焼土層である。

柱穴は、東隅(Ｐ３)・北隅(Ｐ１)のほか、北西壁下(Ｐ４)・北東壁下(Ｐ２)・南西壁下(Ｐ５・Ｐ６・Ｐ７・Ｐ８)に位置し、深さは0.05～0.47mである。壁溝・カマドは確認できなかった。

遺物はＰ６・Ｐ７から土師器片が2点ずつ見つかっており、覆土中から土師器坏(第97図５)、土師器甕(第97図６～７、第98図１・２)、須恵器片１点が出土した。

ＳＩ190(第23図)

ＰＤ・ＰＥ15・16グリッドの第Ⅳ層で東側の一部を落ち込みとして確認し、ＳＩ53に切られている。北東壁3.18m、南東壁0.74m以上、確認面からの深さ0.08mである。床面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は３層に分けられ主に第Ⅲ層に由来する黒褐色土である。

壁溝は、幅0.12m・深さ0.02mで北東壁下で確認した。柱穴は北西隅(Ｐ４)・南東隅(Ｐ１)のほか北東壁下(Ｐ２・Ｐ３)・東側床面(Ｐ５)に位置し、深さは0.06～0.43mである。Ｐ６(長軸0.76m・短軸0.58m、深さ0.18m)・Ｐ７(長軸0.52m・短軸0.44m、深さ0.11m)・Ｐ８(長軸0.44m・短軸0.38m、深さ0.21m)は楕円形の土坑である。カマドは確認できなかった。遺物は土師器片と須恵器片が出土した。

ＳＩ211(第42・43図)

ＯＲ・ＯＳ11・12グリッドの第Ⅳ層で落ち込みとして確認したが、南東側で削平を受けていて、さらにＳＩ212に切られる。ＳＫＰ2948との新旧関係は不明である。平面形は方形を呈し、長軸(北東－南西)2.96m、短軸(北西－南東)2.78m、確認面からの深さは0.19mである。床面は概ね平坦で中央部がわずかにくぼみ、壁は急に立ち上がる。覆土は3層に分けられ、第Ⅳ層に由来する暗褐色土を主とする。

柱穴は、北隅(Ｐ３)・西隅(Ｐ１)・南隅(Ｐ５)・東隅(Ｐ４)のほか、南東壁下(Ｐ６)・北西壁下(Ｐ２)に位置し、柱穴の深さは0.04～0.31mである。壁溝はＰ１・Ｐ４周辺で確認したが、カマドは確認できなかった。遺物は土師器片14点が出土した。

ＳＩ212(第42・43図、図版８－１)

ＯＲ・ＯＳ11グリッドの第Ⅳ層で落ち込みとして確認し、ＳＩ211を切り、ＳＫ617に切られている。ＳＢ499とＳＫ2950とＳＫＰ2949との新旧関係は不明である。主軸方向はＮ－70°－Ｗである。平面形は一辺が約3.2mの正方形を呈し、確認面からの深さは0.1mである。床面は平坦で、壁は垂直

に立ち上がる。覆土は、カマド部分をあわせて14層に分けられた。１・２・３・８・９層は第Ⅳ層に由来すると思われる暗褐色土である。

壁溝は幅0.16m、深さ0.31mで、四方の壁下で確認した。柱穴は、北隅(Ｐ４)・西隅(Ｐ３)・南隅(Ｐ２)・東隅(Ｐ１)・南東側床面(Ｐ５)に位置し、深さは0.14～0.36mである。Ｐ１・Ｐ２・Ｐ３・Ｐ４周辺の床面に貼床が施され、北東側床面に撹乱を受けている。東隅床面で角礫を確認した。

カマドは東壁の北側に位置し、煙道部・袖部・燃焼面を確認した。煙道部は住居外へ向かって緩やかに立ち上がる。袖部は暗褐色土・褐色土(７・８・９・14層)と砂粒が多く混入する褐色土(４・５・６層)で構築されており、分析の結果、噴出年代が約5,500年前の十和田中掫やそれ以前の十和田起源の火山灰が確認された。４・５層は袖部が崩落したもの、14’層はカマドの内側で被熱したものと思われる。13層は燃焼による被熱層である。

遺物は、床面付近から土師器坏(第98図３～５)、土師器甕(第98図６)のほか、須恵器片１点、Ｐ１・Ｐ２から土師器片、カマド周辺から土師器片３点が出土した。

ＳＩ213(第44・45図、図版７－３)

ＯＱ・ＯＲ12・13グリッドの第Ⅴ層で北西側の落ち込みと南東側で柱穴のプランとカマド燃焼面を確認した。ＳＫ2926に切られているが、ＳＩ220・ＳＫ290・2927・2928・ＳＫＰ295との新旧関係は不明である。主軸方向はＮ－58°－Ｗである。平面形は方形を呈するものと思われ、長軸(北西－南東)5.64m以上、短軸(北西－南東)5.04m、確認面からの深さは0.08mである。床面は概ね平坦で、北西側に貼床と思われる痕跡を確認した。壁は急に立ち上がり、覆土は黒褐色土を主とする。

柱穴は、北隅(Ｐ８)・西隅(Ｐ３)・南隅(Ｐ１)・東隅(Ｐ６)・北東壁下(Ｐ７)・南西壁下(Ｐ２)・南東壁下(Ｐ４)のほか、北側床面(Ｐ11)・西側床面(Ｐ９)・南側床面(Ｐ10)・床面中央部(Ｐ５)に位置する。柱穴の深さは0.08～0.49mである。カマドの位置は南東側床面の被熱面と考えられる。

遺物は、土師器杯(第98図７～11、第99図１～５)、高台のある土師器坏（第98図12)、土師器甕(第99図６)、須恵器壺(第99図７)のほか、床面から土師器片10点、カマド付近で土師器片５点、Ｐ１から須恵器片１点、Ｐ12・Ｐ13から土師器片が出土した。

ＳＩ220(第44・45図)

ＯＰ・ＯＱ11・12グリッドの第Ⅴ層で、壁溝とカマド燃焼面と思われる焼土を確認した。北西側をトレンチに切られているほか、ＳＫ2931に切られているが、ＳＩ213との新旧関係は不明である。主軸方向はＮ－57°－Ｗで、東壁4.94m、北壁１.４m以上である。床面は平坦である。

壁溝は幅0.22m・深さ0.17mで北東側・南西側・南東側で確認した。壁溝の覆土は黒褐色土の単一層である。柱穴は検出できなかった。

カマドは、南東壁東側の床面で燃焼面・袖部の一部を確認した。袖部は基礎部分に黒褐色土(4層)、構築土に砂粒の多い暗褐色土を用いている。3層は構築土が被熱したものと思われ、燃焼面は中央が強く被熱し硬くなっていた。

遺物は土師器坏(第99図8)、Ｐ１の底面から土師器片８点、Ｐ２から土師器片４点が出土した。

ＳＩ275(第46図)

ＯＯ2・3グリッドの第Ⅴ層で落ち込みとして確認したが、東側は削平を受けている。ＳＮ1077を切っていて、ＳＤ34に切られている。主軸方向はＮ－28°－Ｅである。平面形は隅丸方形を呈し、長

軸(北西－南東)４.５m、短軸(北東－南西)４.０m、確認面からの深さは0.09mである。床面は平坦で壁は垂直に立ち上がる。覆土は６層に分けられ、１・２層は第Ⅳ層に由来すると思われる暗褐色土であり、第３～６層はカマド部にあたる。

壁溝は、幅0.16m・深さ0.09mで、四方の壁下に沿って確認した。柱穴は、北隅(Ｐ１)・西隅(Ｐ４)・南隅(Ｐ５)・東隅(Ｐ３)のほか、南東壁下(Ｐ６)・北東壁下(Ｐ２)・南東側床面(Ｐ８)に位置し、柱穴の深さは0.14～0.42mである。Ｐ７は長軸0.85m・短軸0.7m、床面からの深さ0.1mで楕円形の土坑である。

カマドは南東壁に位置し、燃焼部のみ残存していた。周辺にカマドの構築土が崩れたものと思われる明褐色土を確認した。遺物は、台形様石器(第７図７、第８図10～12)のほか、鉄製品３点が出土した。

ＳＩ280(第47図)

ＯＮ・ＯＯ・ＯＰ0・－１グリッドの第Ⅳ層で落ち込みとして確認したが、南東側と南西側は調査区外にある。ＳＩ1080を切っていて、ＳＤ92に切られている。主軸方向はＮ－50°－Ｗである。平面形は隅丸方形を呈すると思われ、北東壁は4.58m以上、北西壁は3.57m以上、確認面からの深さは0.26mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土を主としており、床面直上の3層は褐色土である。

壁溝は幅0.23m・深さ0.09mで、北西壁下で確認した。柱穴は東隅(Ｐ１)・北隅(Ｐ２)のほか北東壁下(Ｐ２)・北西壁下(Ｐ４)に位置する。南西側床面と調査区際の断面で焼土と砂粒が多く混入した褐色土ブロックを確認した。

遺物は土師器坏(第99図９・10)、土師器甕(第100図１)のほか、鉄製品が２点出土した。

ＳＩ340(第48図)

ＯＰ・ＯＱ３・４グリッドの第Ⅴ層で、中央に竪穴状の掘り込みと、それを囲む柱穴を７基確認した。主軸方向はＮ－36°－Ｗである。

外側の柱穴の配置から推定される住居の規模は長軸（北東－南西）3.72m、短軸（北西－南東）3.32mで、中央の竪穴状の掘り込みは長軸(北東－南西)2.03m、短軸(北西－南東)1.69m、確認面からの深さは0.1mである。床面は概ね平坦であるが、中央から東側にかけて盛り上がっており、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられ、１層は第Ⅳ層に由来する暗褐色土で、２層は地床炉である。

中央から東側にかけての盛り上がりの平面形は楕円形を呈し、頂部が長軸0.88m、短軸0.62mで、平坦になっている。床面からの高さは0.06mで、中央部に径0.46mの地床炉がある。

柱穴は7基検出した。竪穴状の掘り込みの外側を囲み、北隅(Ｐ１)・西隅(Ｐ３)・南隅(Ｐ５)・東隅(Ｐ２)のほか、北東側(Ｐ７)・南東側(Ｐ６)・南西側(Ｐ６)に位置している。遺物は出土しなかった。

ＳＩ350(第49図、図版8－2)

ＰＡ・ＰＢ11グリッドの第Ⅴ層で、隅丸方形に巡る壁溝を確認した。北西側の一部は調査区外にある。主軸方向はＮ－69°－Ｗである。平面形は一辺約2.8mの正方形で、確認面からの深さは0.37mである。床面は平坦で壁は急に立ち上がる。覆土は第Ⅳ層に由来する暗褐色土の単一層である。

壁溝は四方の壁下に沿って確認され、幅0.16m、深さ0.14mである。柱穴は、東隅(Ｐ２・Ｐ３)・南隅(Ｐ５)のほか、床面中央部(Ｐ６)・東側床面(Ｐ10)・南側床面(Ｐ４)に位置し、柱穴の深さは

0.08～0.19mである。

Ｐ１は円形を呈した長軸0.32m･短軸0.27m、床面からの深さ0.08mの土坑で、カマドから流れ込んだ土師器が出土した。Ｐ７は不整楕円形を呈した長軸1.2m･短軸0.72m、床面からの深さ0.23mの土坑である。

カマドは南東壁の東側に位置し、袖部･燃焼面･支脚を確認した。カマド中央に上部が欠損した支脚が、正立状態で確認された。袖部は褐色土で構築されており、芯材として角礫が用いられていた。

遺物は油煙が付いた土師器坏(第100図２)、カマドから支脚(第100図４)のほか、鉄製品1点が出土した。

ＳＩ412(第50･51図、図版８－３)

ＯＬ･ＯＭ･ＯＮ12･13グリッドの第Ⅳ～Ⅴ層で落ち込みとして確認したが、中央部を東西に走る幅約1mの溝状の撹乱を受けている。ＳＫＰ2920を切り、ＳＫ2908･ＳＫＰ802･807･2919に切られている。主軸方向はＮ－46°－Ｗである。平面形は一辺約4.5mの正方形を呈し、確認面からの深さは0.28mである。床面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は５層に分けられた。

壁溝は、幅0.24m、深さ0.2mで南東壁東側のカマド周辺を除く壁下に沿って確認した。柱穴は、北隅(Ｐ５)･西隅(Ｐ４)･南隅(Ｐ２)･北西壁下(Ｐ３)･北東壁下(Ｐ６)に位置する。Ｐ１は円形を呈した径0.47m、床面からの深さ0.17mの土坑で、第Ⅳ層に由来する暗褐色土が堆積していた。南側床面に径0.3mの範囲で被熱面が確認された。

カマドは南東壁の東側に位置し、天井部がカマド内側に崩落した状態で確認した。１層が天井部、３層が天井部内側の被熱面、４層と５層が第Ⅳ層に由来する暗褐色土である。支脚はカマド中央部で正立状態で確認され、袖部は砂粒が多く混入する褐色土で構築されていた。

遺物は覆土中から土師器坏(第100図５)、土師器鍋(第100図８)、須恵器甕（第101図１)、刀子(第101図２)、土師器片、内面を黒色処理した坏片1点、土師器甕片11点、土師器坏片５点のほか、鉄製品２点、製錬系の流動滓、椀形鍛冶滓が出土した。カマド周辺から土師器甕(第100図６･７)、支脚(第101図３)が出土した。

ＳＩ430(第52図)

ＯＬ4、ＯＭ3･4･5、ＯＮ4グリッドの第Ⅴ層で上部を削平された竪穴住居跡のカマドの燃焼面、北東側壁溝、柱穴を確認した。主軸方向はＮ－56°－Ｗである。平面形は隅丸方形を呈するものと思われ、長軸(北東－南西)4.76m、短軸(北西－南東)4.0mである。平坦な床面で、土坑５基(Ｐ１･Ｐ２･Ｐ３･Ｐ４･Ｐ10)を確認した。土坑は径0.3～1.4m、深さ0.18～0.35mの楕円形を呈し、Ｐ２･Ｐ10･Ｐ11の覆土内に焼土が多く混入していた。

北東側の壁溝は幅0.16m･深さ0.04mで、覆土は褐色土である。柱穴は北隅(Ｐ７)･西隅(Ｐ12)･南隅(Ｐ15)･南東壁下(Ｐ４･Ｐ５)・南西側床面(Ｐ14)･東側床面(Ｐ８･Ｐ９)に位置する。柱穴の覆土は暗褐色土を主体とする。カマドの燃焼面は南東壁東側の床面に位置する。

遺物は土師器坏(第101図４)、土師器甕(第101図５・６)が出土した。

ＳＩ450(第25･26図)

ＰＪ･ＰＫ･ＰＬ1･２グリッドの第Ⅳａ層で落ち込みとして確認した。ＳＩ26･ＳＫＦ1007を切り、ＳＫＩ300に切られている。主軸方向はＮ－21°－Ｅである。平面形は方形を呈すると思われ、長軸

(北東－南西)5.66m、短軸(北西－南東)3.96m、確認面からの深さは0.48mである。床面は平坦で壁は急に立ち上がる。覆土は３層に分けられ、第2層は第Ⅳａ層に由来する暗褐色土、第３層は壁の崩落土が緩やかに堆積した地山土と思われる。

壁溝は幅0.2m、深さ0.16mで、北東から南東の壁下にかけて確認した。柱穴は、北東隅(Ｐ13)・南西隅(Ｐ９)・北壁下(Ｐ14)・西壁下(Ｐ６・Ｐ７・Ｐ８)・東壁下(Ｐ10・Ｐ11・Ｐ12)に位置し、柱穴Ｐ６～Ｐ20の深さは0.04～0.59mである。Ｐ１～Ｐ５は長軸0.72～0.86mの円形・楕円形の土坑で、Ｐ１・Ｐ２・Ｐ４の覆土には炭が多く混入している。

カマドは北東部の床面に位置する。袖部等は確認できず、支脚と燃焼面とその南西側に掘り込みのみを確認した。掘り込みは不整な楕円形を呈しており、南側が被熱している。

遺物は土師器坏(第101図７～15、第102図２・３)、土師器甕（第102図１・４）のほか、支脚(第102図５)、縄文時代の土器（第102図６）と土製品(第102図７)、椀形鍛冶滓、棒状鉄製品１点、板状鉄製品１点、刀子１点が出土した。

ＳＩ468(第53・54図、図版９－１)

ＰＤ・ＰＥ７・８・９、ＰＦ７・８グリッドの第Ⅳ～Ⅴ層で確認した。北西側は調査区外にある。ＳＫＰ3015・3016に切られ、ＳＫＦ440・ＳＫ950・2892を切っている。平面形は方形を呈すると思われ、長軸(北西－南東)7.84m、短軸(北東－南西)4.48m以上、確認面からの深さは0.3mである。床面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。東側床面に貼床とその直上に被熱痕を確認した。覆土は３層に分けられ、黒褐色土を主体とする。4層は貼床と思われる。

柱穴は33基検出した。南隅(Ｐ５)・東隅(Ｐ23)・北東壁下(Ｐ19・Ｐ20・Ｐ22)・南東壁下(Ｐ６・Ｐ７・Ｐ10・Ｐ13・Ｐ16)・南西壁下(Ｐ３・Ｐ４)のほか、床面全面で確認した。柱穴の深さは0.05～0.7mである。壁溝は確認できなかった。

遺物はＰ15から柱状の支脚(第102図８)、Ｐ３から土師器片１点、Ｐ21から土師器片１点、須恵器片１点のほか、ヤリガンナ(第102図９)が出土した。

ＳＩ490(第30・31図)

ＯＴ・ＰＡ7・８グリッドの第Ⅴ層で壁溝を確認したが、南東側をＳＩ113に切られている。平面形は方形を呈するものと思われ、長軸(北東－南西)4.0m以上、短軸(北西－南東)3.12m、確認面からの深さは0.16mである。床面は平坦で壁は急に立ち上がる。覆土は３層に分けられ、いずれも第Ⅳ層に由来する暗褐色土である。２ａ層に地山ブロックが多く混入する。

壁溝は、幅0.16m・深さ0.06mで、北東・北西・南西側で確認した。柱穴は3基検出した。北東壁下(Ｐ２)・床面中央部(Ｐ５)・北東側床面(Ｐ４)に位置し、深さは0.1～0.13mである。Ｐ３(長軸0.72m・短軸0.62m・床面からの深さ0.07m)・Ｐ５(長軸0.84m・短軸0.72m・床面からの深さ0.24m)・Ｐ６(長軸0.91m・短軸0.66m・床面からの深さ0.55m)・Ｐ７(長軸1.28m・短軸0.54m・床面からの深さ0.25m)は楕円形・不整楕円形を呈する土坑で、Ｐ６の底面付近からは土師器が出土した。カマドは確認できなかった。遺物はＰ２・Ｐ４から土師器片が多く見つかり、土師器坏(第102図10～12)、土師器甕（第102図13）のほか、椀形鍛冶滓が１点出土した。

床面直上から出土した炭化材の放射性炭素年代測定では、ＡＤ755～885という結果を得ている。

ＳＩ500(第55図)

ＯＮ・ＯＯ17・18グリッドの第Ⅳ層で落ち込みとして確認したが、ＳＫ2938・2939・2940に切られている。主軸方向はＮ－28°－Ｅである。平面形は一辺約3.0mの正方形を呈し、確認面からの深さは0.08mである。床面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられ、２層は第Ⅲ層に由来する黒褐色土である。

柱穴は、西隅(Ｐ３)のほか北東壁下(Ｐ１)・南西壁下(Ｐ２)に位置し、柱穴の深さは0.25～0.64mである。壁溝は確認できなかった。

カマドは北東壁北側に位置する。袖部・支脚・住居外へ向かう煙道部・燃焼面を確認した。袖部(カマド3層)は地山土・砂質黄褐色土・シルト質の黒褐色土の混合土で構成される。燃焼面は中央部が熱によって硬くなっていた。遺物は土師器坏（第103図１・２）支脚(第103図３)が出土した。

ＳＩ515(第56図、図版９－２)

ＯＴ・ＰＡ５・６グリッドの第Ⅴ層で落ち込みとして確認した。南側は削平を受けて失われており、ＳＫＰ515に切られている。主軸方向はＮ－15°－Ｅである。平面形は方形を呈するものと思われ、長軸(東－西)4.58m、短軸(北－南)0.95m以上、確認面からの深さは0.32mである。床面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は3層に分けられた。

床面は褐色土の貼床で、その上面に焼土と炭化物を確認した。柱穴は、北東隅(Ｐ５)・北西隅(Ｐ８)・北壁下(Ｐ１・Ｐ６・Ｐ７)・東壁下(Ｐ２・Ｐ３・Ｐ４)・西壁下(Ｐ９・Ｐ11)に位置し、深さは0.1～0.33mである。Ｐ1・Ｐ10は貼床より下位から検出した。壁溝は確認できなかった。

カマドは南側に位置し、燃焼面と褐色土で構築した袖部を確認したが、支脚・上部構造は確認できなかった。

遺物はＰ10から土師器片１点、カマド周辺から土師器片３点、床面から土師器片２点が出土した。

ＳＩ620(第57・58図)

ＯＯ16、ＯＰ15・16、ＯＱ16グリッドの第Ⅳ～Ⅴ層で確認した。農道のため、中央部を調査できず、また西側床面も撹乱を受けている。ＳＫ1155に切られている。平面形は長方形を呈するものと思われ、長軸(北東－南西)6.16m、短軸(北西－南東)4.78m、確認面からの深さは0.38mである。床面は平坦で、南側床面に貼床を施している。壁は垂直に立ち上がる。覆土は黒褐色土を主体とする。

壁溝は、幅0.18m・深さ0.2mで、四囲を巡っていた壁板の痕跡と思われる土と、壁板を固定したと思われる暗褐色土を確認した。柱穴は東隅(Ｐ2)・南隅(Ｐ1)に検出し、深さは0.1～0.18mである。

遺物は１層中位と南東側の床面から、土師器片が出土した。

ＳＩ811(第59図)

ＯＯ9・10グリッドの第Ⅳ層で確認したが、南東側は削平を受けて失われている。ＳＡ250Ｐ８に切られる。北西壁3.81m、南西壁0.32m以上、確認面からの深さは0.1mである。床面はわずかに起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。

柱穴は、北隅(Ｐ５)・西隅(Ｐ１・Ｐ２)・北西壁下(Ｐ３・Ｐ４)・南東側床面(Ｐ６・Ｐ７)に位置し、深さは0.07～0.34mである。カマド・壁溝は確認できなかった。

遺物は土師器坏(第103図４)のほか、須恵器片１点、礫１点、Ｐ１から土師器片７点が出土した。

ＳＩ860(第60図、図版９－３)

ＮＬ･NM21･22グリッドの第Ⅴ層で、隅丸方形に巡る溝と柱穴のプランを確認した。ＳＫＰ2910に切られる。主軸方向はＮ－55°－Wである。平面形は方形を呈し、長軸(北西－南東)4.38m、短軸(北東－南西)4.32m、床面は平坦である。

壁溝は、幅0.27m･深さ0.9mで、北隅･西隅を除いた壁下で確認した。柱穴は、東隅(Ｐ６)･南隅(Ｐ１)･南東壁下(Ｐ５)･南西壁下(Ｐ４)･南側床面(Ｐ２)に位置し、深さは0.08～0.2mである。Ｐ７は長軸0.9m･短軸0.79m、床面からの深さ0.21mの楕円形の土坑である。

カマドは南東壁東側に位置し、上部構造は削平されており、燃焼面のみを確認した。

遺物は土師器坏(第103図５)のほか、Ｐ３から土師器片８点、須恵器片２点が出土した。

ＳＩ1000ａ･ｂ(第61～64図、図版１－２)

ＯＪ６･７、ＯＫ６･７･８、ＯＬ６･７･８･９、ＯＭ６･７･８、ＯＮ７グリッドの第Ⅳ～Ⅴ層で確認した。ＯＭ６･７、ＯＬ６グリッドでは、炭化物と焼土ブロックが混ざった暗褐色土の整地層につくられており、本遺構内から土師器坏(第103図６･７・９・10)、「廾」と墨書された土師器坏(第103図８)のほか、椀形鍛冶滓１点、二次加工のある剥片（第103図11）が出土した。

カマド部に燃焼面を２面確認したことにより、ＳＩ1000はカマドの位置をそれほど変えることなく、拡張されていることがわかった。

《ＳＩ1000ａ》

南側に削平を受けているほか、北東壁及び南西壁の一部は確認できなかった。ＳＩ145を切り、ＳＤ100･ＳＡ24･ＳＫ253･403に切られている。ＳＫ254･255･400･999･3004との新旧関係は不明である。主軸方向はＮ－46°－Wである。平面形は方形を呈するものと思われ、長軸(北西－南東)11.28m、短軸(北東－南西)10.2m、確認面からの深さ0.29mである。床面は概ね平坦で、壁は垂直に立ち上がる。 覆土は微量の炭化物･焼土ブロック･地山ブロックを含む暗褐色土である。

柱穴は東隅(Ｐ１)･北隅(Ｐ10)･西隅(Ｐ14)･北東壁下(Ｐ６・Ｐ７・Ｐ８)･北西壁下(Ｐ11･Ｐ12･Ｐ13)･南西壁下(Ｐ９)･南東壁下(Ｐ２・Ｐ３・Ｐ４・Ｐ５)･北側床面(Ｐ18)･西側床面(Ｐ19)･南側床面(Ｐ16)･東側床面(Ｐ15)に位置する。床面中央部に東西に延びる柱列(Ｐ28～33)を確認したが、これは間仕切りと思われる。柱穴の深さは0.14～0.52mである。

カマドは南東壁東側に位置し、袖部･燃焼面･支脚を確認した。袖部の芯材と支脚には軟質の角礫が使用され、燃焼面の直下と床面に複数の掘り込みが確認された。

カマド１層は第Ⅳ層に由来する暗褐色土で、カマド８･９･10層は第Ⅳ層に焼土が混入した土である。カマド11層は構築に使用された黄褐色砂質土、カマド２層は構築土が崩落したもの、カマド3･5･7層は構築土の崩落土と焼土の混合土で、カマド12･13･14･15層はカマドを構築する以前の穴を埋めた土である。

ＳＩ1000ｂカマド燃焼面が南側に隣接して位置することから、ＳＩ1000ａのカマドはＳＩ1000ｂの袖部を利用して北側に構築されていることがわかった。廃絶後は袖部の芯材の傾きや覆土の堆積状況から、北側から南側へ崩落したと思われる。分析の結果、構築土から火山ガラスが確認された。

《ＳＩ1000ｂ》

ＳＩ1000ａの床面で、北西側･南西側･北東側に巡っている壁溝を確認し、カマド燃焼面との配置

から竪穴住居跡と判断した。主軸方向はＮ－46 °－Ｗである。方形を呈するものと思われ、長軸(北東－南西)5.36m、短軸(北西－南東)5.12mである。床面は平坦で、西側床面・南西側床面で北西側壁溝に平行する溝を確認した。

壁溝は、幅0.36m・深さ0.05mで、柱穴は西隅(Ｐ25)・北東壁下(Ｐ20)・北西壁下(Ｐ21・Ｐ22・Ｐ23・Ｐ24)・南西壁下(Ｐ26・Ｐ27)に位置し、深さは0.09～0.43mである。

カマド燃焼面は南側壁東側に位置し、0.04mの厚さで被熱面が認められた。

ＳＩ1060(第65図、図版10－１)

ＯＦ・ＯＧ12・13グリッドの第Ⅴ層で落ち込みとして確認したが、北東側は排水溝、南東側は削平を受けて失われている。主軸方向はＮ－36 °－Ｗである。平面形は隅丸方形を呈し、長軸(北西－南東)4.0m、短軸(北東－南東)3.11m以上、確認面からの深さ0.22mである。床面は、平坦で壁は急に立ち上がる。覆土は７層に分けられ、２層は焼土ブロックが流れ込んだもの、５・６・７層はカマドに関連した層と思われれる。床面中央部で砂質明褐色土を確認した。

壁溝は、幅0.1m、深さ0.1mで、北東壁下・北西壁下・南東壁下で確認した。柱穴は、東隅(Ｐ１)・西隅(Ｐ４)のほか、北西壁下(Ｐ３・Ｐ４・Ｐ10)・北東壁下(Ｐ２)・北西側床面(Ｐ７・Ｐ８・Ｐ９)・北東側床面(Ｐ５・Ｐ６)に位置する。柱穴の深さは0.05～0.37mである。北側床面に被熱面を確認した。

カマドは南東壁東側に位置する。上部構造は削平を受けており、燃焼面と周辺で土坑Ｐ11・Ｐ12・Ｐ13・Ｐ14・Ｐ15・Ｐ16を確認した。

遺物は土師器坏(第104図１～７)、土師器甕(第104図８)、鉄鏃１点、３層中から須恵器長頸瓶(第104図10)、支脚（第104図11）のほか、土師器片が出土した。

ＳＩ1080(第47図)

ＯＯ・ＯＰ0・－１グリッドのＳＩ280床面で壁溝と柱穴を確認したが、南西側は調査区外にある。ＳＩ280・ＳＤ92に切られる。平面形は方形を呈し、長軸(北西－南東)3.6m、短軸(北東－南西)3.06m以上である。壁溝は北東壁下に沿っていて、幅0.23m、深さ0.15mで、覆土は暗褐色土の単一層である。柱穴は、北隅(Ｐ２)・南隅(Ｐ１)・北西壁下(Ｐ３)に位置する。南東側床面の東側にカマドの燃焼面と砂質褐色土を確認した。遺物は出土しなかった。

ＳＩ1145(第66図、図版10－２)

ＯＳ16・17グリッドの第Ⅴ層で、東側・北側・西側の壁溝を確認したが、南側もパイプラインのため、削平を受けている。ＳＫＰ2941に切られる。主軸方向はＮ－１ °－Ｗである。平面形は方形を呈すると思われ、長軸(北－南)3.26m以上、短軸(東－西)3.02m、確認面からの深さ0.06mである。床面は平坦で、南西側床面に貼床が施されている。

壁溝は幅0.08m・深さ0.12mで、第Ⅳ層に由来すると思われる暗褐色土が混入している。柱穴は、北西隅(Ｐ３)・南東隅(Ｐ１)・北東隅(Ｐ２)に位置し、深さは0.22～0.4mである。

南側床面にカマドの燃焼面と思われる被熱面を確認した。

遺物は口縁部内面に煤状炭化物が付いた土師器坏(第105図１)、土師器甕(第105図２)のほか、Ｐ１・Ｐ２・Ｐ７から土師器片が出土した。

ＳＩ1200(第67図)

ＰＢ・ＰＣ17・18グリッドの第Ⅳ層で落ち込みとして確認したが、北側は調査区外に達し、南側は

削平を受けている。主軸方向はＮ－18 °－Ｅである。長軸(北西－南東)5.8m、短軸(北東－南西)1.5m以上、確認面からの深さは0.26mである。床面は平坦で壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられ、２層は第Ⅳ層に由来する暗褐色土と考えられる。

柱穴は、西壁下(Ｐ１)、東側床面(Ｐ２)で確認し、深さは0.08～0.18mである。Ｐ３(径0.62m、床面からの深さ0.1m)・Ｐ４(径0.51m、床面からの深さ0.11m)は円形を呈した土坑で、焼土ブロック・カマドの構築土と思われる明褐色土を覆土上面で確認した。壁溝は確認できなかった。

カマドは南側に位置するが、上部構造が崩落した状態で、燃焼面のみを確認した。

遺物はカマド周辺から擦文土器(第106図２)、土師器坏(第105図３～６)、土師器甕(第105図７～10)、土師器鍋(第106図１)が出土した。

擦文土器(第106図２)は口縁部と底部を欠損しているが、口縁部がくびれ、体部上半に最大径を持ち、底部に向かってすぼまる。器面全体に見られる擦痕の単位は幅2.5㎝で、外面は縦位・横位・斜位に、内面は主に横位方向に施されている。口縁部文様帯には横走沈線施文後に針葉樹文が施文されている。胎土は緻密で焼成も良好で、色調は浅黄橙～橙色である。

カマド付近から出土した炭化材の放射性炭素年代測定では、ＡＤ885～980という結果を得ている。

ＳＩ1235(第68図、図版10－３)

ＮＣ27・28、ＮＤ26・27・28、ＮＥ26・27グリッドの第Ⅳ層で落ち込みとして確認した。北西側は調査区外にある。平面形は方形を呈するものと思われ、長軸(北東－南西)8.56m、短軸(北西－南東)4.12m以上、確認面からの深さは0.14mである。床面は概ね平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は２層に分けられた。

壁溝は、幅0.26m・深さ0.16mで、北東壁下・北西壁下・南東壁下で確認した。柱穴は21基検出した。北隅(Ｐ３)・西隅(Ｐ21・Ｐ22)・北東壁下(Ｐ２)・北西壁下(Ｐ６・Ｐ17・Ｐ19・Ｐ20)、北側床面(Ｐ５・Ｐ６・Ｐ７・Ｐ８・Ｐ９・Ｐ10・Ｐ11・Ｐ12・Ｐ14)・西側床面(Ｐ４・Ｐ13・Ｐ15・Ｐ18)に位置し、深さは0.06～0.46mである。Ｐ１は長軸1.52m・深さ0.17mの土坑である。北側床面に暗褐色土と地山ブロックの混合土で構成された貼床が施されている。北西側床面に被熱面を確認した。

遺物は鉸具(第106図3)のほか、土師器片が出土した。

ＳＩ1240(第69・70図、図版11－１)

ＮＢ・ＮＣ28・29・30グリッドの第Ⅴ層で、隅丸方形に巡る壁溝とカマドを確認したが、南東側は撹乱を受けている。主軸方向はＮ－53 °－Ｅである。平面形は長方形を呈し、長軸(北東－南西)5.34m、短軸(北西－南東)4.89mである。床面は平坦である。

壁溝は幅0.12m・深さ0.06mで、覆土は第Ⅳ層に由来する暗褐色土の単一層である。

柱穴は、床面(Ｐ２・Ｐ５・Ｐ６)・南西側床面(Ｐ４)・南側床面(Ｐ７)・東側床面(Ｐ２)・南西壁下(Ｐ１)・南東壁下(Ｐ３)に位置する。Ｐ１は長軸0.74m・深さ0.4mの楕円形を呈する土坑で、南東側に撹乱を受けている。Ｐ７の覆土は３層に分けられ、２層はカマドを構築した明黄褐色土が流れ込んだものである。

カマドは南東壁の南側に位置し、煙道部・袖部・燃焼面が認められた。カマド中央には支脚を据えたと思われるくぼみを確認した。袖部には砂質土を多く含む明褐色土を使用しており(カマド９層)、崩落した天井部(２層)にも同様に見受けられる。８層は被熱した袖部が崩落したものである。

遺物は土師器坏（第106図４）、土師器鍋(第106図６)、フイゴの羽口（第106図５）が出土した。

ＳＩ1250(第71図)

ＮＧ26･27グリッドの第Ⅴ層で落ち込みとして確認した。平面形は長方形を呈し、長軸(北東－南西)2.73m、短軸(北西－南東)2.53m、確認面からの深さは0.16mである。床面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。

柱穴は床面（Ｐ２・Ｐ３・Ｐ４)、西隅（Ｐ１)、西壁下（Ｐ５）に位置する。南側とＰ１周辺に貼床部分を確認した。覆土は６層に分けられ、遺物は土師器片が出土した。

ＳＩ1330(第72図)

ＮＮ30･31･32、ＮＯ31グリッドの第Ⅳ層で方形の黒褐色土の広がりを確認した。ＳＤ1340･ＳＫ1481･ＳＫＰ1799に切られる。主軸方向はＮ－50 °－Ｗである。平面形は長方形を呈し、長軸(北西－南東)3.58m、短軸(北東－南西)3.2m、確認面からの深さは0.18mである。床面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。北側床面でカマドを構築したと思われる砂質明褐色土を確認した。

柱穴は、北隅(Ｐ９)･東隅(Ｐ10)･南隅(Ｐ13)･北東壁下(Ｐ14)･北西壁下(Ｐ５)･南西壁下(Ｐ３)･南東壁下(Ｐ２・Ｐ８・Ｐ12)･床面中央部(Ｐ１・Ｐ４・Ｐ６・Ｐ７・Ｐ11)に位置し、深さは0.08～0.38mである。壁溝は確認できなかった。

カマドは北東壁の東側に位置するが、上部構造は失われており、燃焼面のみ確認した。

遺物は土師器坏底部(第106図７)のほか、土師器坏片２点と土師器甕片３点が出土した。

ＳＩ1341(第71図)

ＯＧ15、ＯＨ15･16グリッドの第Ⅳ層で落ち込みとして確認した。平面形は長方形を呈し、長軸(北西－南東)3.8m、短軸(北東－南西)2.99m、確認面からの深さ0.24mである。床面は起伏があり、壁は急に立ち上がる。覆土は3層に分けられ、２･３層は貼床の可能性がある。

柱穴は、北隅(Ｐ３)･南隅(Ｐ１)･北側床面(Ｐ２)に位置し、深さは0.08～0.27mである。壁溝は確認できなかった。

カマドは確認できなかったが、南西壁西側に焼土ブロックを多く確認した。

遺物は土師器坏(第106図８)、土師器片、内面黒色処理された土師器坏片、須恵器片、流動滓2点、椀形鍛冶滓１点が出土した。

ＳＩ1342(第73図)

ＯＣ･ＯＤ･ＯＥ14･15グリッドの第Ⅳ層で落ち込みとして確認したが、北東側は農業用水路のため調査できなかった。また、南東壁が一部撹乱を受けている。平面形は方形を呈するものと思われ、長軸(北西－南東)3.22m以上、短軸(北東－南西)2.94m、確認面からの深さは0.1mである。床面は平坦で壁は垂直に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。

柱穴は、南西壁下(Ｐ1)･南東壁下(Ｐ３・Ｐ５)･南東側床面(Ｐ４・Ｐ６)･床面中央部(Ｐ２)･西側床面(Ｐ７)に位置する。壁溝及びカマドは確認できなかった。

遺物は土師器坏(第106図9、第107図１・２)、土師器片、須恵器片１点、礫２点のほか、Ｐ１から土師器片２点、Ｐ２・Ｐ４から土師器片１点がそれぞれ出土した。

ＳＩ1375(第74図、図版11－２)

ＯＡ・ＯＢ20・21グリッドの第Ⅴ層で、壁溝とカマドを確認した。ＳＡ712・ＳＫ2563・ＳＫＰ2567に切られている。主軸方向はＮ－45°－Wである。平面形は方形を呈するものと思われ、長軸(北東－南西)4.94m、短軸(北西－南東)4.7m以上、確認面からの深さは0.28mである。床面は平坦である。覆土は５層に分けられ、２層は第Ⅳ層に由来する暗褐色土である。

壁溝は幅0.45m・深さ0.15mである。柱穴は、北隅(Ｐ５)・西隅(Ｐ10・Ｐ26)・南隅(Ｐ13)・東隅(Ｐ20・Ｐ21)・北東壁下(Ｐ６・Ｐ７・Ｐ８・Ｐ９)・北西壁下(Ｐ２・Ｐ３)・南西壁下(Ｐ11・Ｐ12)・南東壁下(Ｐ14・Ｐ15・Ｐ16・Ｐ17・Ｐ18)・床面中央部(Ｐ23・Ｐ24・Ｐ25)・東側床面(Ｐ22)に位置し、深さは0.08～0.65mである。Ｐ１(長軸1.1m・短軸0.98m、床面からの深さ0.11m)とＰ４は(長軸1.6m・短軸1.5m、床面からの深さ0.28m)は楕円形の土坑である。

カマドは南東壁の南に位置し、上部構造は失われており、燃焼面のみを確認した。周辺から構築土と思われる被熱した褐色粘土塊を確認した。

遺物は土師器甕（第107図４～７)、須恵器片２点、鉄製品２点、軽石1点のほか、Ｐ８から土師器片２点、Ｐ１から土師器片１点、土師器坏底１点、Ｐ４から土師器甕、カマド周辺で土師器片14点、土師器坏片１点、土師器甕片15点が出土した。

ＳＩ1400(第75図)

ＯＬ・ＯＭ15・16グリッドの第Ⅳ層で落ち込みとして確認したが、南西側は撹乱を受けており、さらにＳＢ1395に切られている。主軸方向はＮ－46°－Wである。平面形は方形を呈するものと思われ、長軸(北西－南東)3.37m、短軸(北東－南西)2.74m以上、確認面からの深さは0.11mである。床面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は３層に分けられ、１・２層は第Ⅳ層に由来する暗褐色土である。

壁溝(Ｐ３・Ｐ４)は幅0.2m・深さ0.12～0.19mで、北西壁下(Ｐ４)・南西壁下(Ｐ３)で確認した。柱穴は、北隅(Ｐ８)・東隅(Ｐ６)・北東壁下(Ｐ７)・北西壁下(Ｐ１)・南東壁下(Ｐ２)・北側床面(Ｐ５)・南東側床面(Ｐ９)に位置し、深さは0.05～0.45mである。床面中央部に黒褐色土と地山ブロックの混合土で貼床が施されていた。

カマドは北東壁西側に位置する。上部は削平を受け、煙道部・袖部・支脚・燃焼面のみが残存しており、カマド中央の支脚には角礫を使用している。袖部は明褐色砂質土(カマド５層)を使用しており、内面(カマド３層)が被熱している。

遺物は土師器片、「王ゝ」と墨書された土師器坏(第107図８)のほか、Ｐ１・Ｐ２から土師器片、カマド覆土から土師器片７点以上が出土した。

ＳＩ1540(第76図)

ＮＥ・ＮＦ34グリッドの第Ⅳ層で落ち込みとして確認したが、南側と南西側は削平を受けている。ＳＫ1522・2958・2964・2967・ＳＫＰ2963・2965・2966・2968に切られている。平面形は方形を呈するものと思われ、長軸(北東－南西)2.1m以上、短軸(北西－南東)3.15m、確認面からの深さは0.08mである。床面は起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は３層に分けられた。

柱穴は、床面中央部(Ｐ３・Ｐ４・Ｐ５)・西壁下（Ｐ６・Ｐ７）・東壁下（Ｐ９）・北壁下（Ｐ８）に位置する。Ｐ１(長軸0.53m・短軸0.46m、床面からの深さ0.18m)とＰ２(長軸1.03m・短軸0.83

m、床面からの深さ0.08m)は楕円形を呈する土坑である。カマドは確認できなかったが、北東側床面に被熱による硬化面が確認された。

遺物は、住居覆土中から土師器片、Ｐ２からも土師器片が出土した。Ｐ１から出土した径８㎝の炭化穀物塊は、種実同定でイネ炭化胚乳、放射性年代測定ではＡＤ945～1000という結果を得ている。

ＳＩ1550(第77図、図版11－３)

ＮＪ32･ＮＫ32･33グリッドの第Ⅴ層で落ち込みとして確認し、ＳＮ1560･ＳＫＰ1553に切られている。主軸方向Ｎ－38 °－Wである。平面形は長方形を呈し、長軸(北西－南東)3.16m、短軸(北東－南西)2.86m、確認面からの深さは0.18mである。床面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は６層に分けられ、主に第Ⅳ層に由来する暗褐色土で、埋め戻された可能性がある。６層は地山土が多く混入する。

柱穴は、北隅(Ｐ８)･西隅(Ｐ６)･南隅(Ｐ3･Ｐ4･Ｐ17)･東隅(Ｐ10)･北東壁下(Ｐ９)･北西壁下(Ｐ７)･南西壁下(Ｐ５)･北西側床面(Ｐ16)･南東側床面(Ｐ13･Ｐ14･P15)に位置する。Ｐ15の覆土にはカマドに由来する焼土が混入していた。柱穴の深さは0.05～0.6mである。Ｐ11(長軸0.52m･短軸0.37m、床面からの深さ0.25m)とＰ19(長軸0.63m･短軸0.37m、床面からの深さ0.21m)は楕円形を呈する土坑である。壁溝は確認できなかった。

カマドは南東壁東側に位置し、上部構造は削平を受けているが、袖部･支脚･燃焼面を確認した。燃焼面は中央部がよく焼けており、支脚はカマドの中央部で確認した。カマド２層は構築に使用されたと思われる明黄褐色土で、袖部または天井部が崩落したものである。５層は第Ⅳ層に由来する暗褐色土である。

遺物は口縁部内面に煤状炭化物がついた土師器坏(第107図９)、支脚(第107図11)のほか、Ｐ16とカマド周辺から土師器片が出土した。

ＳＩ1670(第78図)

ＯＤ･ＯＥ13･14グリッドの第Ⅳ層で不整形のプランを確認したが、南側は農道のため調査できなかった。長軸(東－西)3.80m、短軸(北－南)1.4m以上、確認面からの深さは0.16mである。床面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は2層に分けられ、主に第Ⅲ層に由来すると思われる黒褐色土である。

柱穴は、床面中央部(Ｐ１･Ｐ２)に位置し、深さは0.05～0.07mである。カマド及び壁溝は確認できなかったが、東側床面に焼土を多く確認した。

遺物は土師器片、土師器坏（第107図12)、礫１点のほか、焼土周辺から土師器甕(第107図13)が出土した。

ＳＩ1760(第79･80図、図版12－１)

ＯＩ･ＯＪ21･22･23、ＯＫ21･22グリッドの第Ⅳ～Ⅴ層で落ち込みとして確認したが、北西側は調査区外にある。ＳＤ27に切られている。主軸方向はＮ－45 °－Wである。平面形は方形を呈するものと思われ、長軸(北西－南東)7.8m以上、短軸(北東－南西)7.44m、確認面からの深さは0.12mである。床面は平坦で、壁は垂直に立ち上がり、東側床面の一部が被熱している。覆土は２層に分けられ、２層は第Ⅳ層に由来する暗褐色土と思われる。

壁溝は、幅0.25m･深さ0.42mで、北東側･南東側･南西側に巡る。柱穴は東隅(Ｐ６)･西隅(Ｐ12)･南隅(Ｐ１)･北東壁下(Ｐ10･Ｐ11)･南西壁下(Ｐ17･Ｐ18)･南東壁下(Ｐ２･Ｐ５･Ｐ９･Ｐ15)

のほか、径の大きい柱穴が北側床面(Ｐ14)・西側床面(Ｐ13)・東側(Ｐ21・Ｐ23)に位置する。床面の径の大きい柱穴は深さ0.39～0.55m、そのほかの柱穴の深さは0.1～0.46mである。Ｐ20は長軸0.93m・短軸0.8m・床面からの深さ0.39mの楕円形を呈した土坑で、Ｐ20の覆土２層は炭化物層である。

カマドは南東壁南側に位置し、煙道部・袖部・支脚・燃焼面を確認した。煙道部は住居外へ向かって0.5mほど延びている。袖部は地山土とは異なる粘土塊を芯材にしており、地山土の褐色土と砂粒の多い黄橙土の混合土でカマドを構築している。この土は南側床面３ヵ所でも確認した。支脚はカマドの中央部に正立状態で確認され、支脚２は支脚１の上半部である。

床面直上から出土した炭化材の放射性炭素年代測定では、ＡＤ540～620という結果を得ている。

遺物は口縁部内面に油煙が付着した土師器坏(第108図８)、黒色処理した土師器坏(第108図10)、土師器坏(第108図１～７・９・11)、高台付皿(第108図12)、内面に自然釉がかかった須恵器甕(第108図13)、支脚(第108図14)のほか、鉄鏃１点が出土した。放射性年代測定の結果、ＡＤ540～620という結果を得ている。

ＳＩ1810(第78図、図版12－２)

ＮＮ・ＮＯ33・34グリッドの第Ⅳ層で落ち込みとして確認したが、北西側は調査区外にある。ＳＫ1809を切っており、ＳＤ1340・ＳＫ1811には切られている。平面形は方形を呈するものと思われ、長軸(北東－南西)5.4m、残存する短軸(北西－南東)2.45m以上、確認面からの深さは0.34mである。床面は平坦で壁は垂直に立ち上がる。覆土は２層に分けられ、２層は第Ⅳ層に由来する暗褐色土である。

壁溝は、幅0.13m、深さは0.06mで、北東壁下・南東壁下・南西壁下で確認した。柱穴は東隅(Ｐ４)・南隅(Ｐ２)・南西壁下(Ｐ１)・南東壁下（Ｐ３）に位置し、深さは0.13～0.51mである。Ｐ５は長軸1.0m・短軸0.46m・床面からの深さ0.18mの楕円形の土坑である。カマドは検出できなかったが、床面中央部に被熱面を確認した。

遺物は土師器坏(第109図１～３)、土師器台付皿(第109図４)、土錘(第109図５)のほか、土師器甕５点、須恵器片１点、椀形鍛冶滓２点、鉄鏃２点、棒状鉄製品３点、鎌の破片が１点出土した。

ＳＩ1820(第81・82図)

ＮＭ・ＮＮ32・33グリッド第Ⅳ層で落ち込みとして確認したが、北西側は削平を受けている。ＳＫ2488・2922・2923・2925を切っており、ＳＫ2924に切られている。主軸方向はＮ－58°－Ｗである。平面形は方形を呈するものと思われ、長軸(北東－南西)4.34m、短軸(北西－南東)3.04m以上、確認面からの深さは0.2mで、床面は平坦で壁は緩やかに立ち上がる。覆土は４層に分けられ、２層は地山ブロックが多く含まれる黒褐色土である。

柱穴は、南隅(Ｐ５)・北東壁下(Ｐ６)・南西壁下(Ｐ２・Ｐ３)・南東側床面(Ｐ７)・西側床面(Ｐ４)に位置し、深さは0.1～0.29mである。

Ｐ７は長軸0.46m・短軸0.41m、床面からの深さ0.17mの楕円形を呈する土坑である。Ｐ７の覆土１層はカマドに由来すると思われる焼土ブロック層である。東側床面に地山質のにぶい黄褐色土を使用した貼床を確認した。壁溝は確認できなかった。

カマドは南東壁東側に位置し、袖部・燃焼面を確認した。袖部の芯材には角礫が用いられていた。

遺物はカマドの東側Ｐ４・Ｐ５・Ｐ７で、土師器甕(第109図６・７・８)と土錘(第109図９)が出土した。その他、内面が黒色処理された土師器坏片２点、軽石１点が出土した。

ＳＩ1868(第83図)

ＮＳ・ＮＴ29・30グリッドの第Ⅴ層で、カマドと南西側壁溝と北東隅の柱穴を確認した。壁等の上部は削平されて失われているが、カマドの向きと壁溝の向きが一致することから、関連する１軒の住居跡と判断した。北西側は調査区外にある。主軸方向はＮ－61 °－Ｗである。長軸(北東－南西)4.18m、短軸(北西－南東)3.18m以上である。床面は平坦で、幅0.14m、深さ0.05mの壁溝及び柱穴の覆土は暗褐色土～黒褐色土の単一層である。

柱穴は北東隅(Ｐ１)のほか南西側床面(Ｐ３・Ｐ４・Ｐ５・Ｐ６)に位置し、深さは0.07～0.26mである。Ｐ２は長軸0.74m・短軸0.52m、床面からの深さ0.26mの土坑である。

カマドは南東壁南側に位置し、上部は削平を受けている。袖部と燃焼面を確認したが、砂質の多い褐色土をカマド袖部・天井部の構築土として使っており、カマド1層は袖部、カマド５層は袖部または天井部が崩落したものと思われる。

遺物はカマド周辺から土師器片５点が出土した。

ＳＩ1963(第84・85図、図版12－３)

ＯＡ・ＯＢ25・26グリッドの第Ⅴ層で確認した。北東側・南東側・南西側で壁溝を確認したが、南西側は削平を受けていた。ＳＢ1945に切られている。南東側の張り出し部は、土層観察から竪穴住居跡に伴うものと判断する。主軸方向はＮ－62 °－Ｗである。

平面形は隅丸方形を呈し、長軸(北西－南東)3.52m、短軸(北東－南西)3.06m、確認面からの深さは0.08mである。床面は東側は平坦であるが、西側は削平を受けているため不明である。壁は急に立ち上がる。覆土は第Ⅳ層に由来すると思われる暗褐色土の単一層である。東側床面に褐色土で構成された貼床部分を確認した。

壁溝は、幅0.24m・深さ0.18mで、柱穴は北隅(Ｐ８)・西隅(Ｐ７)・南隅(Ｐ５・Ｐ６)・東隅(Ｐ９)・南東壁下(Ｐ10)・床面中央部(Ｐ11・Ｐ12・Ｐ13・Ｐ14)に位置し、深さは0.06～0.57mである。

カマドは南東壁東側に位置し、煙道部・袖部・燃焼面を確認した。袖部は砂質土が多く混入する褐色土で構成され、内側が被熱しており、東側袖部と西側袖部が張り出し部に及んでいる。覆土のカマド２層は天井部が崩落したもの、カマド８層は天井部内側の被熱部分の可能性が高い。燃焼面直上のカマド７層は第Ⅳ層に由来すると思われる暗褐色土である。カマドの下から壁溝が確認されたことから、壁溝を掘ったあとでカマドを作ったことがわかる。

張り出し部は、方形を呈し、南西側床面に撹乱を受けているため壁の一部が確認できなかった。長軸(北東－南西)2.16m、短軸(北西－南東)1.5m、確認面からの深さ0.07mである。床面は平坦であり、東側床面に被熱痕を確認した。柱穴は北東隅(Ｐ１)・南東隅(Ｐ２)・南西壁下(Ｐ４)に位置し、Ｐ３は内面の一部が被熱している。カマドの出煙域に位置することから、煙を利用した作業に使用された可能性がある。

遺物は土師器坏(第109図10・12)、油煙の付いた土師器坏(第109図11)、土師器鍋(第110図１)、土師器甕のほかカマドから土師器片16点、カマド周辺の壁溝から土師器３点、Ｐ２・Ｐ７から土師器片が１点ずつ、Ｐ８から土師器片４点が出土した。

ＳＩ2390(第86・87図)

調査区南端部の緩斜面で、ＰＨ・ＰＩ・ＰＪ－５・－４・－３、ＰＫ－3グリッドの第Ⅴ層で、落ち込

み・東西に延びる壁溝・柱穴跡・燃焼面を確認した。ＳＫ2309・2314・2465を切っているが、ＳＫ2300・2302との新旧関係は不明である。ＳＤ2391・2395・ＳＫ2122に切られている。主軸方向はＮ－88°－Wと考えられる。平面形は方形を呈すると思われ、長軸(東－西)11.8m以上、短軸(北－南)7.24m以上、確認面からの深さ0.14mである。床面は南側に緩く傾斜し、貼床と思われる痕跡があり、東側床面で顕著である。北壁と東壁は緩やかに立ち上がり、覆土は暗褐色土を主とする。

壁溝は幅0.42m・深さ0.06mで東壁下・北壁下・西壁下で確認した。

床面東側でカマドの構築土と思われる砂粒の多い褐色土と燃焼面を確認した。

遺物は、土師器坏(第110図２～５)、土師器甕(第110図６～10)、砂底の土師器鍋(第110図12)のほか、Ｐ４から土師器片１点、Ｐ５から土師器片６点、燃焼面周辺で土師器片、内面を黒色処理した土師器坏片３点、須恵器片１点、刀子(第110図11)、縄文土器片14点、礫10点が出土した。

ＳＩ2539(第88・89図、図版13－１)

ＮＨ・ＮＩ31・32グリッドの第Ⅳ層で落ち込みとして確認したが、南東側では確認調査時のトレンチによる削平を受けている。ＳＫ2861・ＳＩ2540を切っており、ＳＫ2536・2560・ＳＫＰ2573・2579に切られている。主軸方向はＮ－51°－Wである。平面形は長方形を呈し、長軸(北東－南西)7.22m、短軸(北西－南東)5.82m、確認面からの深さは0.11mである。床面は概ね平坦で焼土が堆積しており、壁は垂直に立ち上がる。覆土は２層に分けられ、２層は第Ⅳ層に由来するものと思われる。

壁溝は、幅0.15m・深さ0.15mで、全ての壁下で確認した。柱穴は北隅(Ｐ21)・西隅(Ｐ19)・南隅(Ｐ14)・北東壁下(Ｐ22・Ｐ23・Ｐ24・Ｐ25・Ｐ26)・北西壁下(Ｐ20)・南西壁下(Ｐ15・Ｐ16・Ｐ17)・南東壁下(Ｐ５・Ｐ13)のほか、西側床面(Ｐ18)・南側床面(Ｐ１・Ｐ２・Ｐ３・Ｐ４・Ｐ５・Ｐ12)・東側床面(Ｐ９・Ｐ27)・北側床面(Ｐ10・Ｐ21)・床面中央部(Ｐ６・Ｐ７)で確認し、深さは0.07～0.62mである。

南東側床面に燃焼面とカマドの構築土と思われる黄色土を確認した。

遺物は土師器坏(第111図１～５)のほか、内面を黒色処理した土師器坏４点、土師器片、須恵器片１点、椀形鍛冶滓２点、軽石２点が出土した。

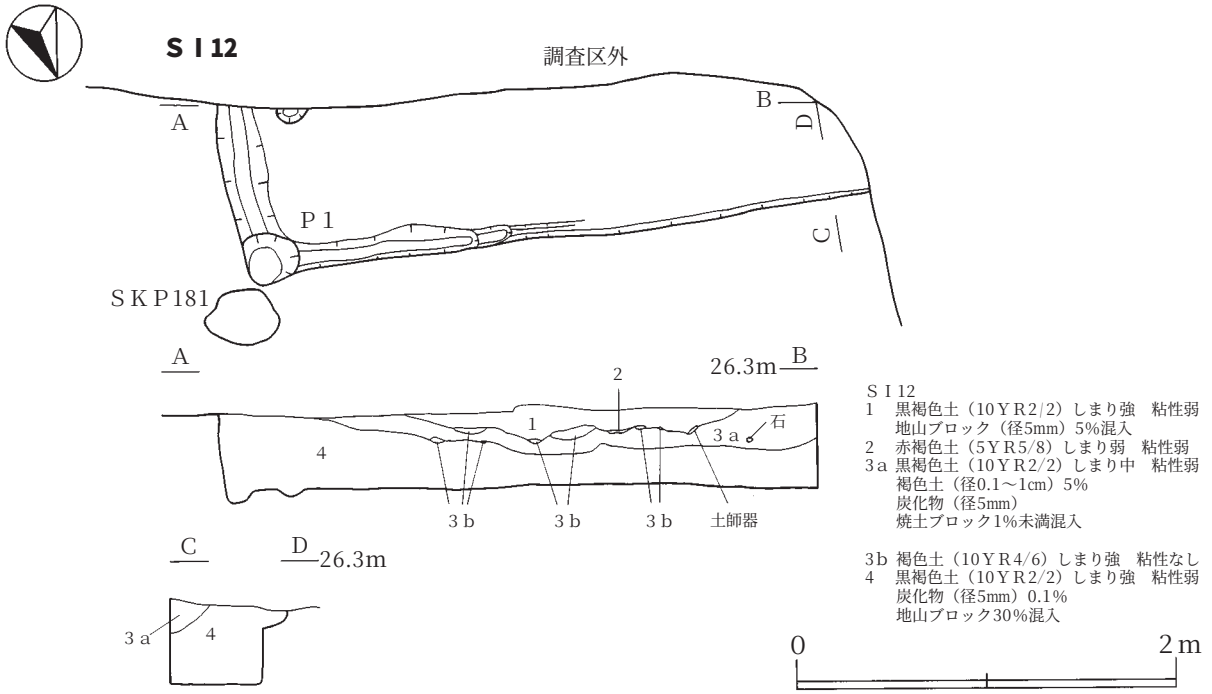
ＳＩ2540(第88・89図、図版13－1)

ＮＨ・ＮＩ31・32グリッドのＳＩ2539床面で落ち込みとして確認したが、北東側はトレンチによる削平を受けている。ＳＫ3014を切り、ＳＩ2539に切られている。主軸方向はＮ－51°－Wである。平面形は一辺約3.8mの正方形を呈し、確認面からの深さは0.25mである。床面は平坦で西側に被熱面があり、壁は垂直に立ち上がる。覆土は６層に分けられ、黒褐色土と暗褐色土を主体とする。

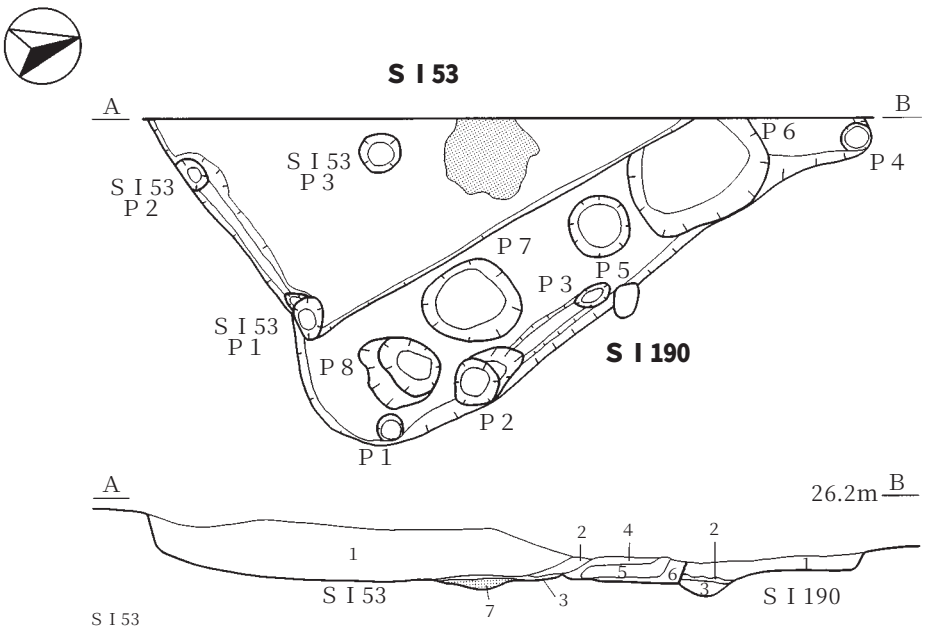
壁溝は幅0.15m・深さ0.2mで、北東・北西・南西で確認した。柱穴は北隅(Ｐ21)・西隅(Ｐ６)・東隅(Ｐ１)・南東壁下(Ｐ８)・北側床面(Ｐ５)・床面中央部(Ｐ３・Ｐ６)に位置し、深さは0.11～0.37mである。

カマドは南東壁南側に位置し、袖部と燃焼面を確認した。袖部は黄褐色土(カマド11層)・暗褐色土(カマド12層)・褐色土(カマド13層)で構築されている。カマド２層はカマド11層と同質のカマド構築土で、カマドの西側床面でも確認した。７層は第Ⅳ層に由来すると思われる暗褐色土である。

遺物は土師器坏(第111図6～8)、砥石(第111図10)、椀形鍛冶滓1点、鉄製品1点、礫2点のほか、カマドから支脚(第111図9)と土師器片30点以上が出土した。



ＳＩ12
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径5mm）5%混入
2　赤褐色土（5ＹＲ5/8）しまり弱　粘性弱
3a 黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり中　粘性弱
　褐色土（径0.1～1cm）5%
　炭化物（径5mm）
　焼土ブロック1%未満混入
3b 褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性なし
4　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性弱
　炭化物（径5mm）0.1%
　地山ブロック30%混入

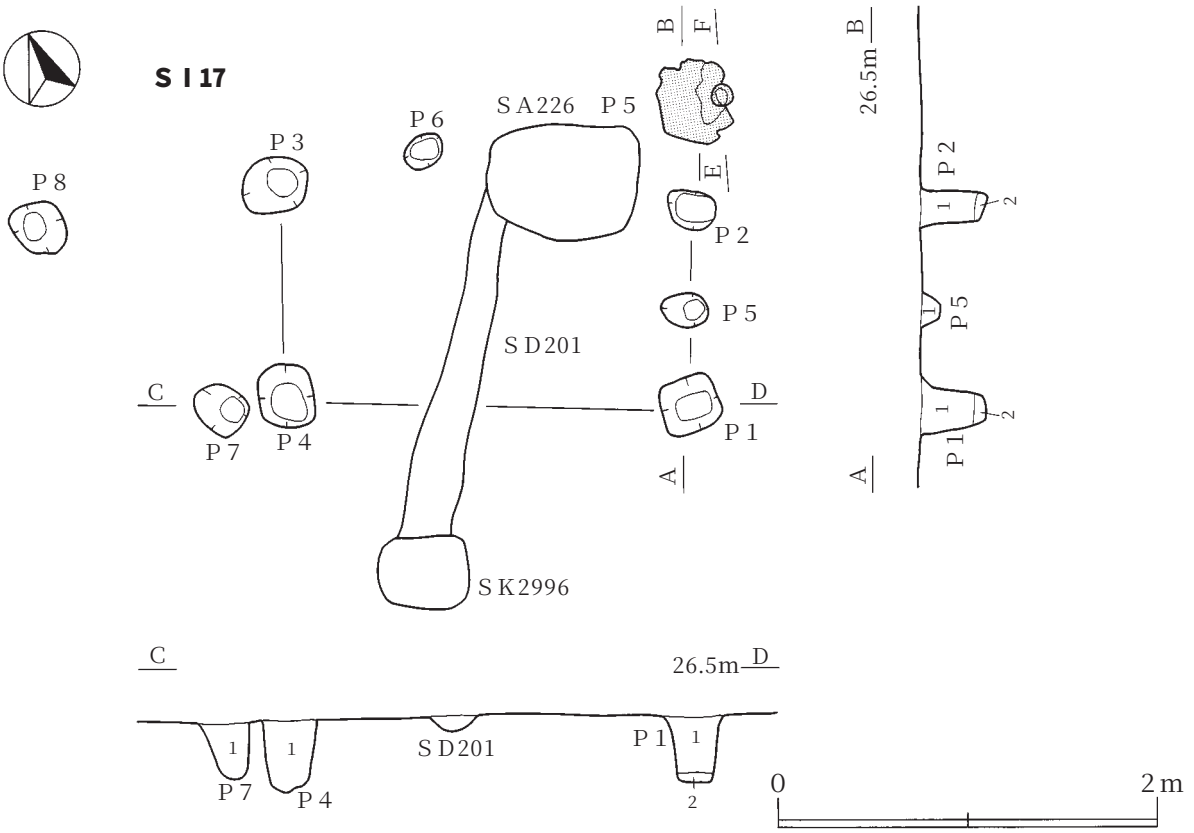


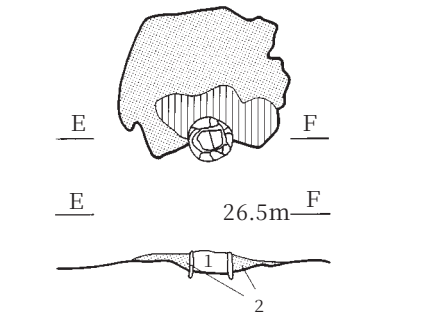
ＳＩ53
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性弱
　炭化物（径5mm）5%
　地山ブロック（径0.5～1cm）3%混入
2　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性弱
　焼土ブロック（径5mm）1%
　地山ブロック5%混入
3　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性弱
　炭化物3%　焼土ブロック5%混入
4　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性弱
　炭化物（径5mm）3%
　地山ブロック（径3cm）20%
5　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性弱
　炭化物（径0.5～3cm）15%
　焼土ブロック（径0.5～1cm）5%
　地山ブロック5%混入
6　明褐色土（7.5ＹＲ5/6）しまり中　粘性弱
　黒褐色土10%混入
7　被熱面

ＳＩ190
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり中　粘性弱
　炭化物（径5mm）1%
　地山ブロック（径3～20cm）20%混入
2　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり中　粘性弱
　焼土ブロック（径3cm）10%混入
3　明褐色土（7.5ＹＲ5/6）シルト　粘性弱
　黒褐色土15%混入

0　2ｍ

第23図　ＳＩ12・53・190竪穴住居跡





ＳＩ17カマド
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性なし
　炭化物（径1～5mm）3%
　焼土ブロック（径0.5～1cm）10%混入
2　焼土層

0　1m

ＳＩ17　Ｐ1
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性なし
　炭化物（径5mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径5mm）1%未満混入
　地山ブロック（径1cm）5%混入

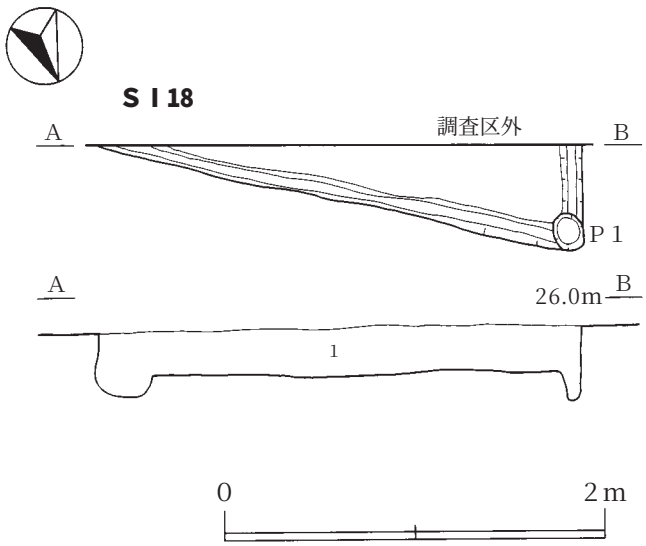
ＳＩ17　Ｐ2
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性なし
　炭化物（径5mm）1%混入
　地山ブロック1%未満混入
2　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり中　粘性弱
　炭化物（径5mm）25%混入
　焼土ブロック（径2cm）20%混入
　地山ブロック（径2cm）20%混入

ＳＩ17　Ｐ3
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性なし
　炭化物（径5mm）1%混入
　焼土ブロック（径5mm）1%混入
　地山ブロック（径0.5~ 1cm）1%混入

ＳＩ17　Ｐ4
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり中　粘性なし
　炭化物（径1mm）1%
　焼土ブロック（径1mm）1%
　地山ブロック（径1cm）1%混入

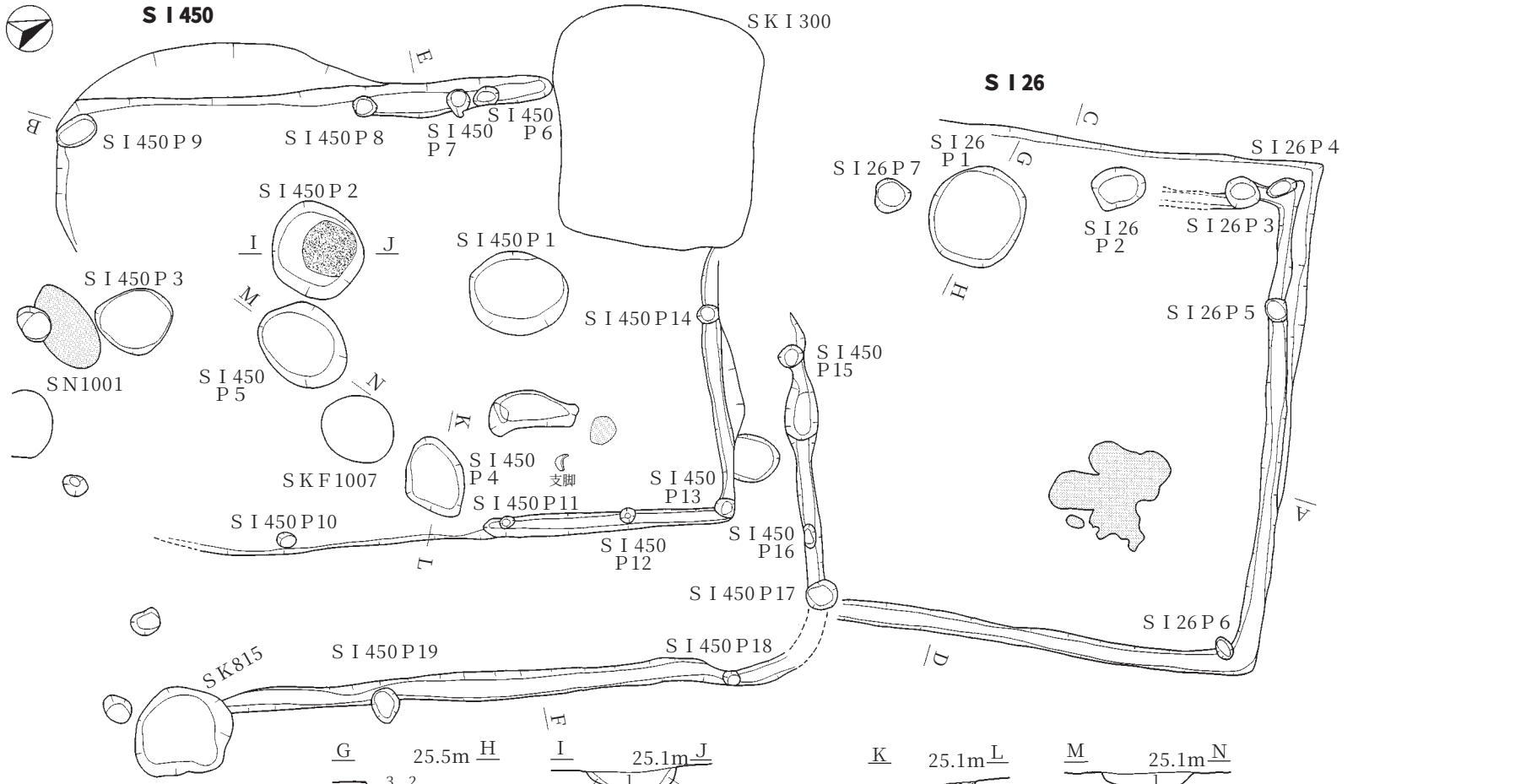
ＳＩ17　Ｐ5
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり中　粘性なし
　炭化物（径5mm）1%
　焼土ブロック（径5mm）1%
　地山ブロック1%未満混入

ＳＩ17　Ｐ7
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性なし
　炭化物（径5mm）1%
　焼土ブロック（径5mm）1%
　地山ブロック（径1cm）5%混入



ＳＩ18
1　暗褐色土（7.5ＹＲ3/3）しまり中　粘性弱
　地山ブロック（径0.5～3cm）5%混入

第24図　ＳＩ17・18竪穴住居跡



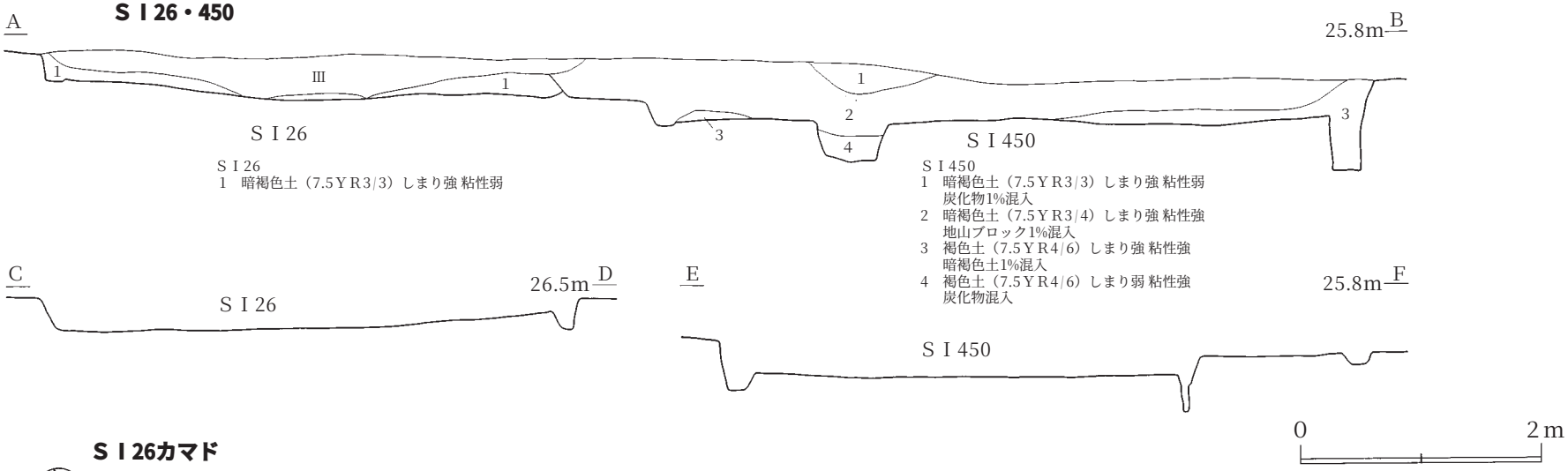
ＳＩ26　Ｐ1
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強 粘性強
　炭化物1%混入 地山ブロック30%混入
2　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり弱 粘性強
　炭化物30%混入 焼土ブロック３%混入
3　地山ブロック層
4　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強 粘性強
　炭化物1%混入 地山ブロック30%混入
5　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強 粘性強
　炭化物1%混入 地山ブロック３%混入

ＳＩ450 Ｐ2
1　暗褐色土（7.5ＹＲ3/4）しまり強 粘性強
　炭化物1%混入 地山ブロック2%混入
2　炭化物層 暗褐色土3%混入
3　炭化物層

ＳＩ450 Ｐ4
1　炭化物層
2　黄褐色土（10ＹＲ5/6）しまり中 粘性弱

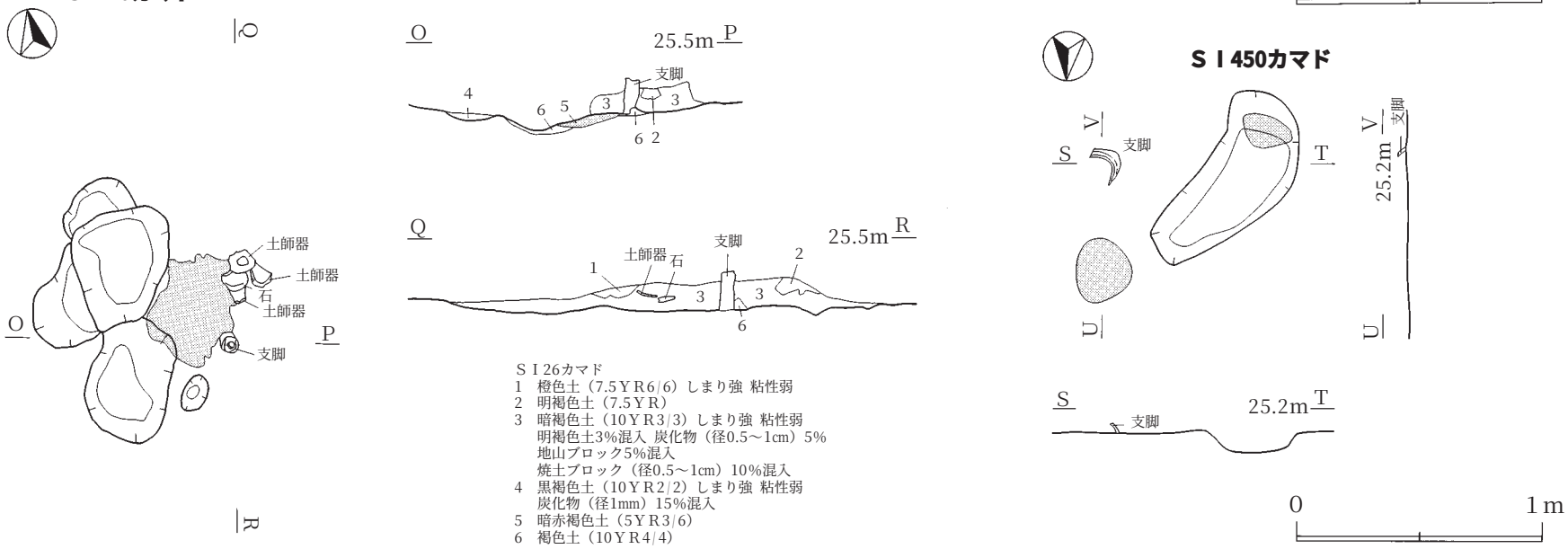
ＳＩ450 Ｐ5
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり弱 粘性弱
　炭化物1%混入 地山ブロック5%混入

第25図　ＳＩ26・450竪穴住居跡（1）



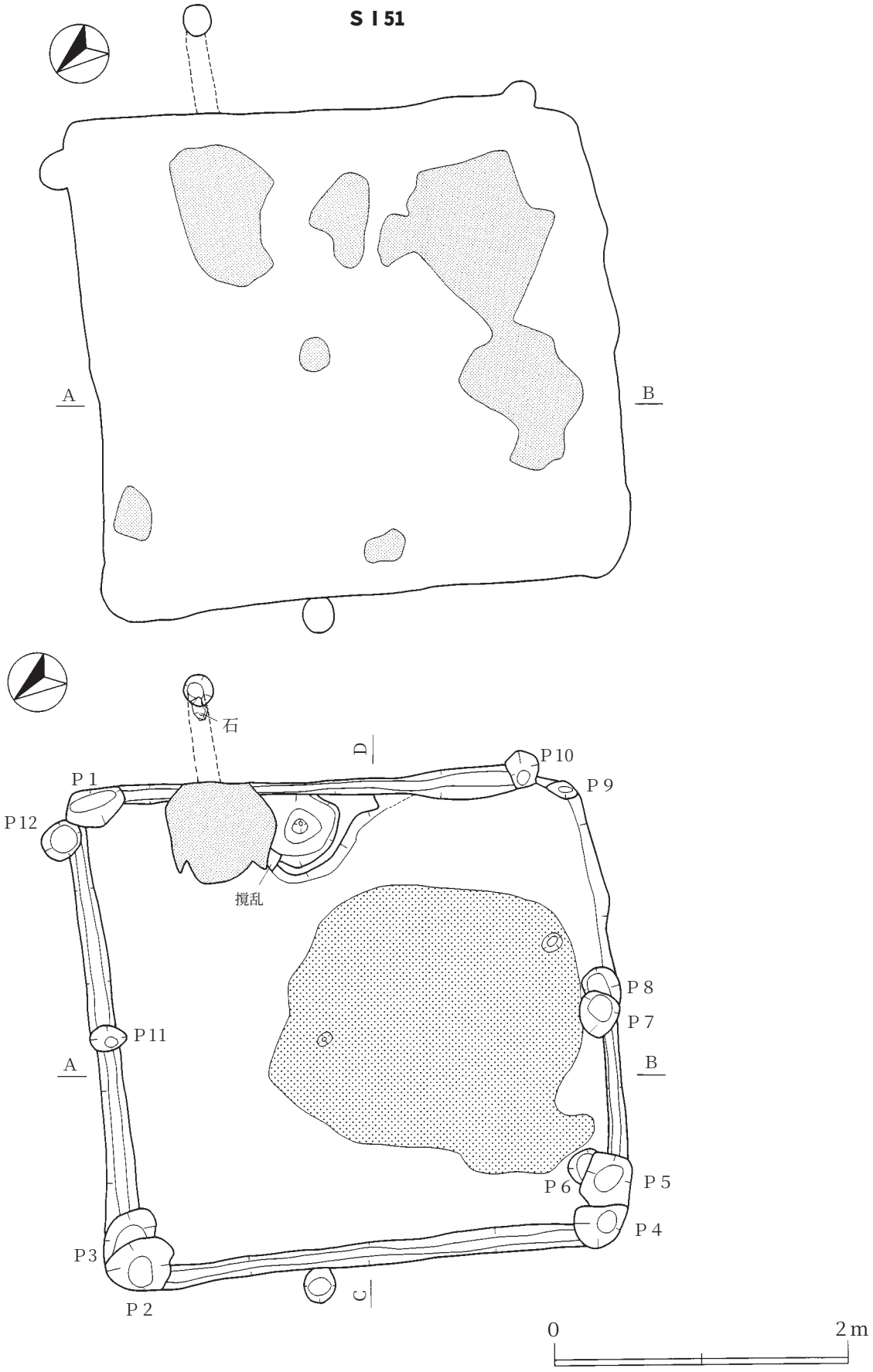
SＩ26
1　暗褐色土（7.5YR3/3）しまり強 粘性弱

SＩ450
1　暗褐色土（7.5YR3/3）しまり強 粘性弱
　炭化物1%混入
2　暗褐色土（7.5YR3/4）しまり強 粘性強
　地山ブロック1%混入
3　褐色土（7.5YR4/6）しまり強 粘性強
　暗褐色土1%混入
4　褐色土（7.5YR4/6）しまり弱 粘性強
　炭化物混入

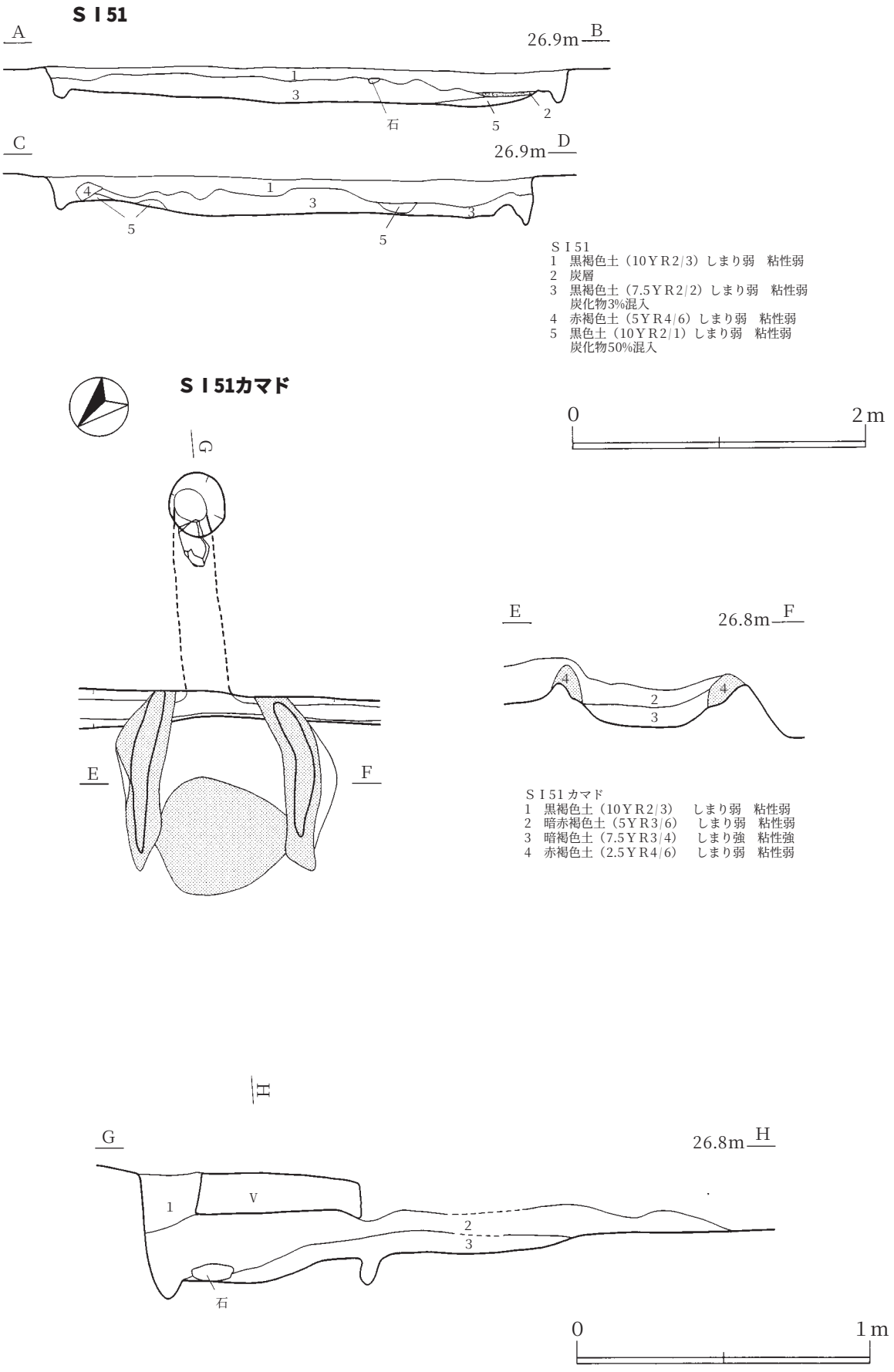


SＩ26カマド
1　橙色土（7.5YR6/6）しまり強 粘性弱
2　明褐色土（7.5YR）
3　暗褐色土（10YR3/3）しまり強 粘性弱
　明褐色土3%混入 炭化物（径0.5～1cm）5%
　地山ブロック5%混入
　焼土ブロック（径0.5～1cm）10%混入
4　黒褐色土（10YR2/2）しまり強 粘性弱
　炭化物（径1mm）15%混入
5　暗赤褐色土（5YR3/6）
6　褐色土（10YR4/4）

第26図　SＩ26・450竪穴住居跡（2）

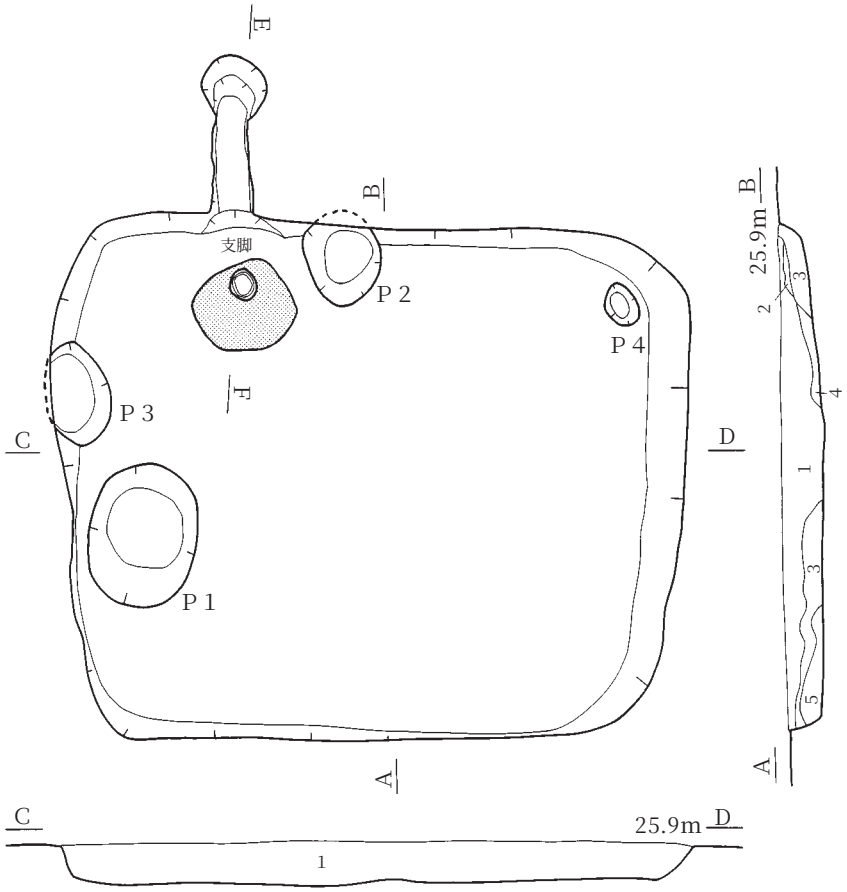


第27図　ＳＩ51竪穴住居跡（1）

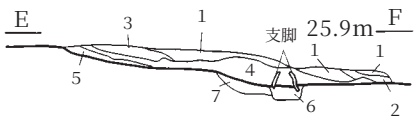


第28図　ＳＩ51竪穴住居跡（2）

ＳＩ90



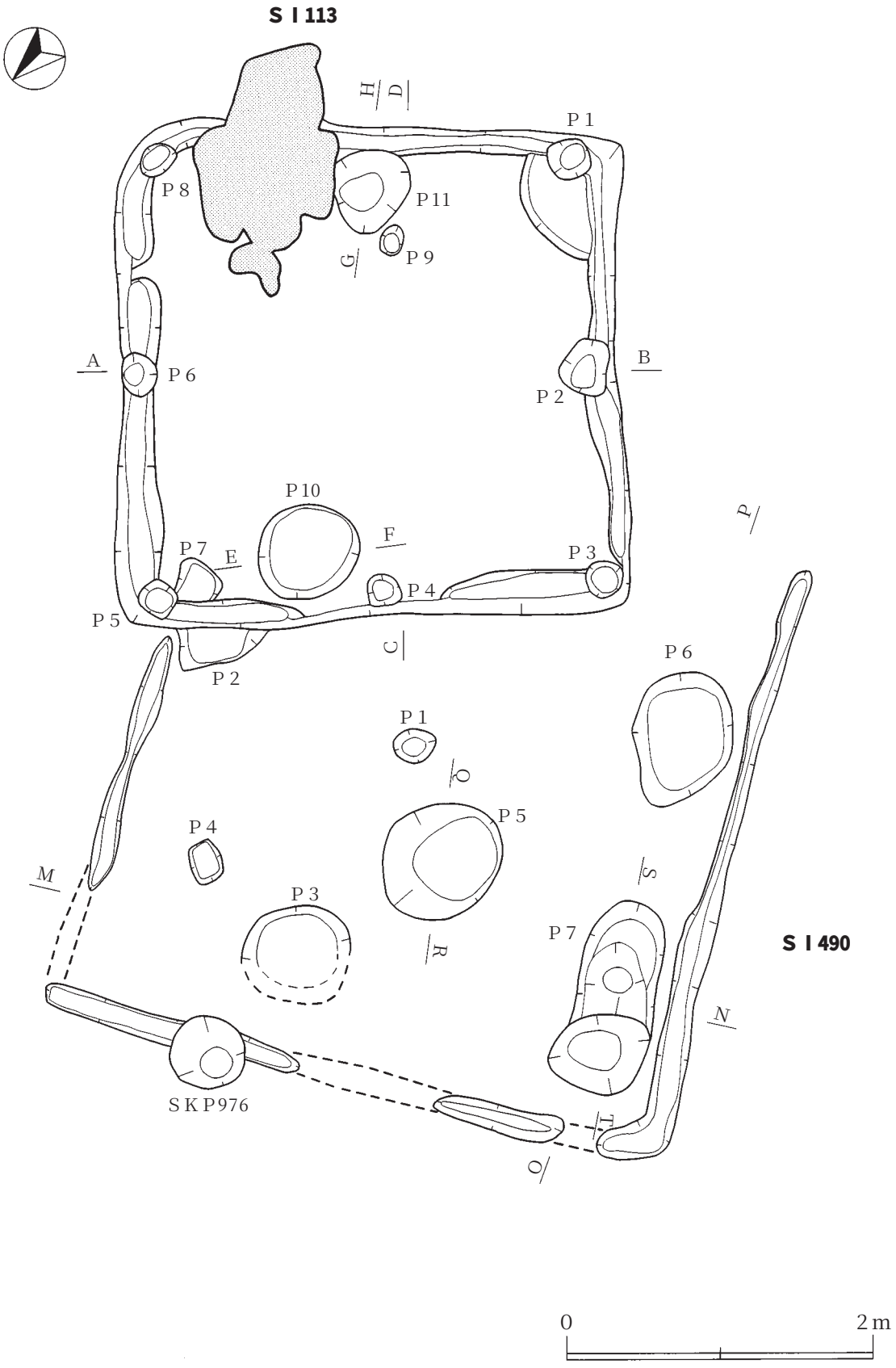
ＳＩ90カマド



ＳＩ90
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物1%　焼土ブロック1%混入
　地山ブロック15%混入
2　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入
3　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入　地山ブロック5%混入
4　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満　焼土ブロック1%
　地山ブロック（径0.1～10㎝）1%混入
5　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%混入　地山ブロック1%未満混入

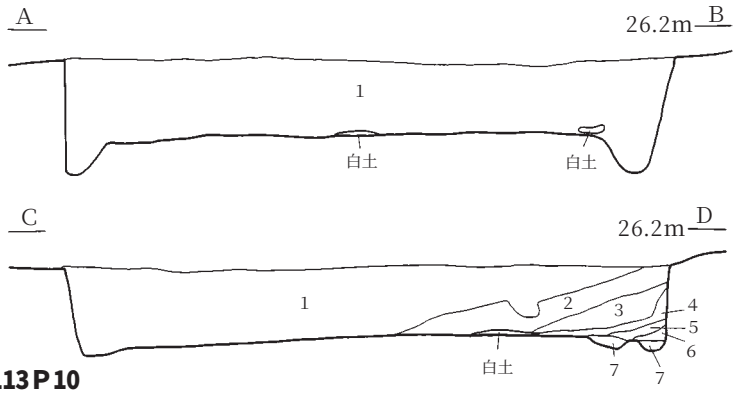
ＳＩ90カマド
1　褐色土（7.5ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入　焼土ブロック1%混入
2　にぶい赤褐色土（5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物3%混入　焼土ブロック5%混入
3　黒色土（10ＹＲ2/1）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入
4　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入
5　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入　焼土1%未満混入
6　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入
7　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強 粘性弱

第29図　ＳＩ90竪穴住居跡



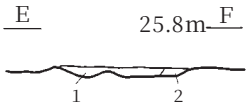
第30図　ＳＩ113・490竪穴住居跡（1）

ＳＩ113



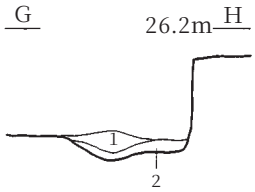
ＳＩ113
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径3～5cm）1%混入
　焼土ブロック（径0.5～1cm）1%混入
　地山ブロック（径0.1～2cm）30%混入
2　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径0.3～1cm）2%混入
　焼土ブロック（径1～5mm）1%混入
　地山ブロック（径0.1～7cm）10%混入
3　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径3～5cm）1%混入
　焼土ブロック（径0.5～1cm）1%混入
　地山ブロック（径0.1～2cm）30%混入
4　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径0.3～1cm）2%混入
　焼土ブロック（径1～5mm）1%混入
　地山ブロック（径0.1～7cm）10%混入
5　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　焼土ブロック（径0.5～1cm）2%混入
6　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径0.3～1cm）2%混入
　焼土ブロック（径1～5mm）1%混入
　地山ブロック（径0.1～7cm）10%混入
7　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径3～5cm）1%混入
　焼土ブロック（径0.5～1cm）1%混入
　地山ブロック（径0.1～2cm）30%混入

ＳＩ113Ｐ10



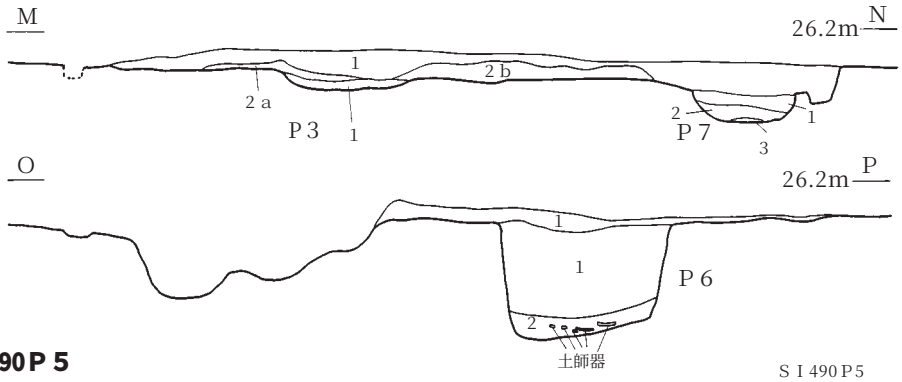
ＳＩ113Ｐ10
1　にぶい赤褐色土（5ＹＲ4/4）
　炭化物（径0.8～2cm）1%混入
　焼土ブロック（径0.5～3cm）15%混入
　にぶい橙色土（径0.5～5cm）5%混入
2　にぶい褐色土（10ＹＲ4/3）しまり強　粘性中
　炭化物（径0.8～2cm）2%混入
　にぶい赤褐色土（5ＹＲ4/4）10%混入

ＳＩ113Ｐ11



ＳＩ113Ｐ11
1　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）
　しまり強　粘性弱
　炭化物（径0.5～2cm）5%混入
　焼土ブロック（径0.1～3cm）30%混入
2　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　地山ブロック50%混入

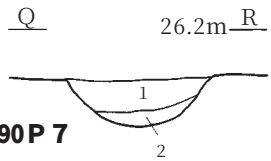
ＳＩ490



ＳＩ490
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～5mm）1%未満混入
　地山ブロック（径0.1～1cm）10%混入
2a暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性中
　地山ブロック（径0.5～8cm）30%混入
2b暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性中
　地山ブロック（径0.5～1.5cm）10%混入

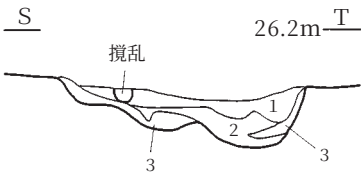
ＳＩ490Ｐ3
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～5mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径1～3mm）1%未満混入
　地山ブロック（径0.1～1.5cm）5%混入

ＳＩ490Ｐ5



ＳＩ490Ｐ5
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～5mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径1～3mm）1%未満混入
　地山ブロック（径0.1～1.5cm）5%混入
2　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり強　粘性中
　地山ブロック（径0.1～1cm）50%混入

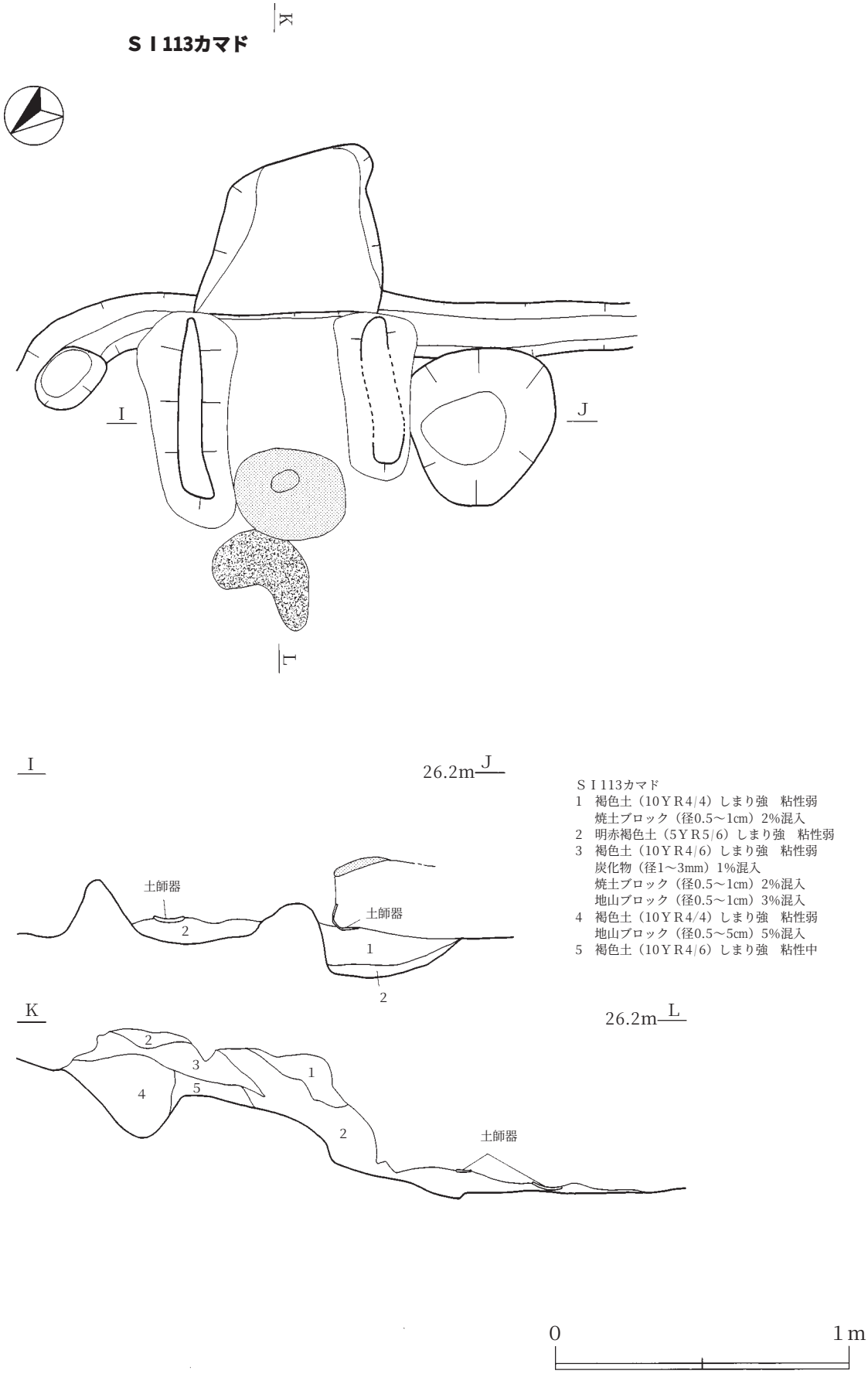
ＳＩ490Ｐ7



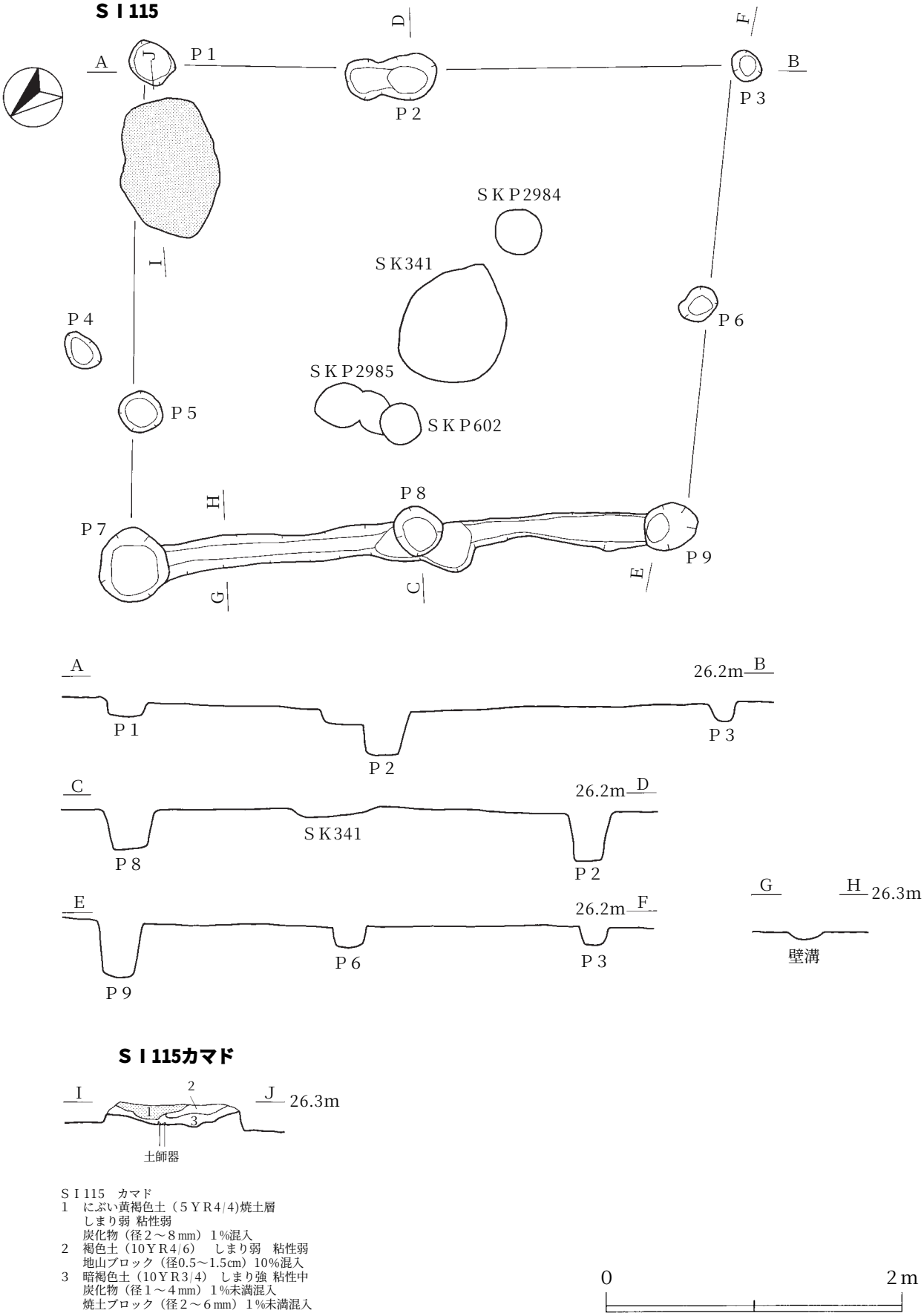
ＳＩ490Ｐ6
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径0.1～1.5cm）5%混入
2　黒褐色土（10ＹＲ2/1）しまり弱　粘性弱

ＳＩ490Ｐ7
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径0.5～2cm）1%混入
　焼土ブロック（径0.5～3cm）5%混入
　地山ブロック（径0.1～2cm）1%混入
2　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱
3　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱
　炭化物（径0.5～1cm）1%未満
　褐色土（10ＹＲ4/6）20%混入

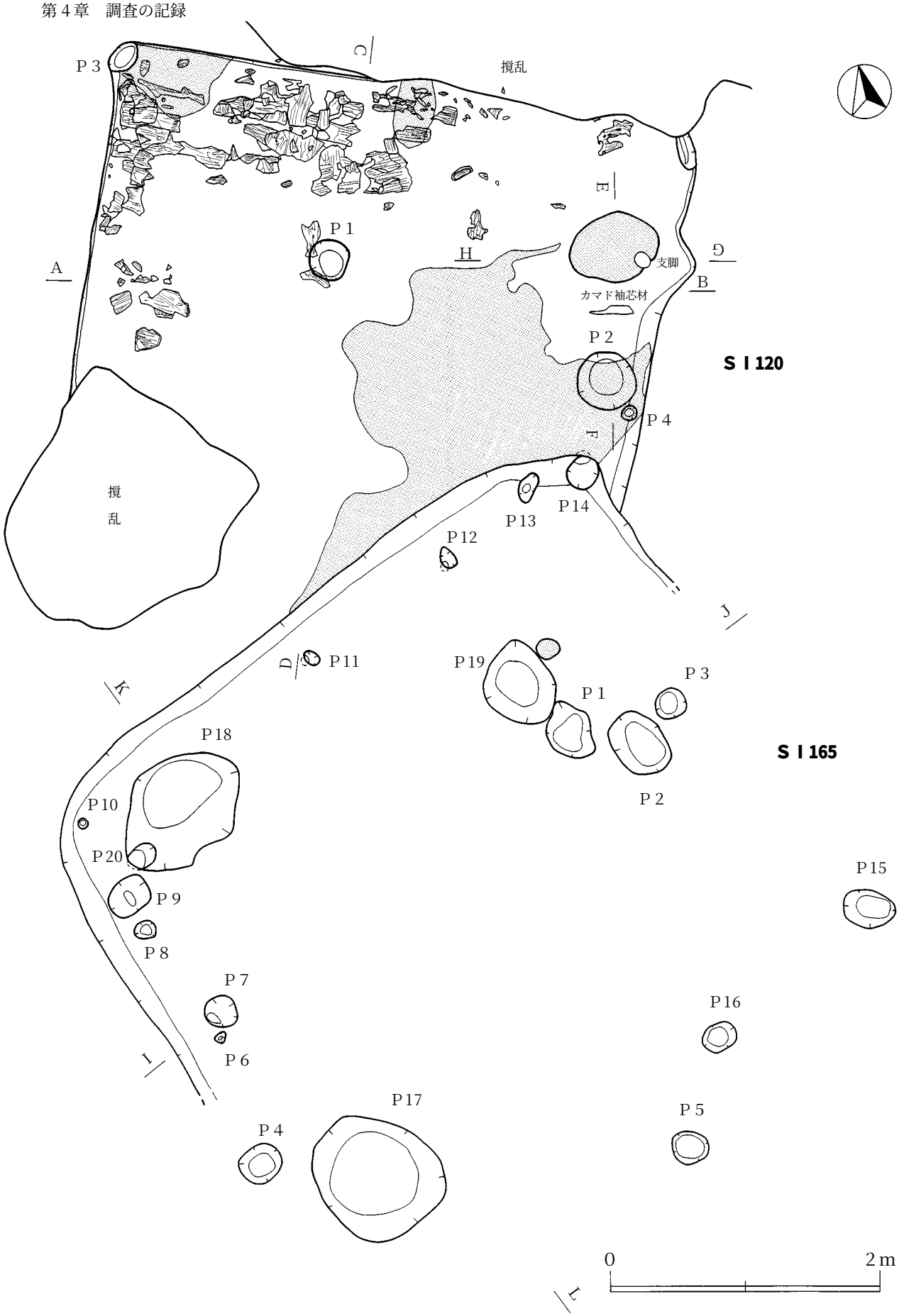
第31図　ＳＩ113・490竪穴住居跡（2）



第32図　ＳＩ113竪穴住居跡カマド

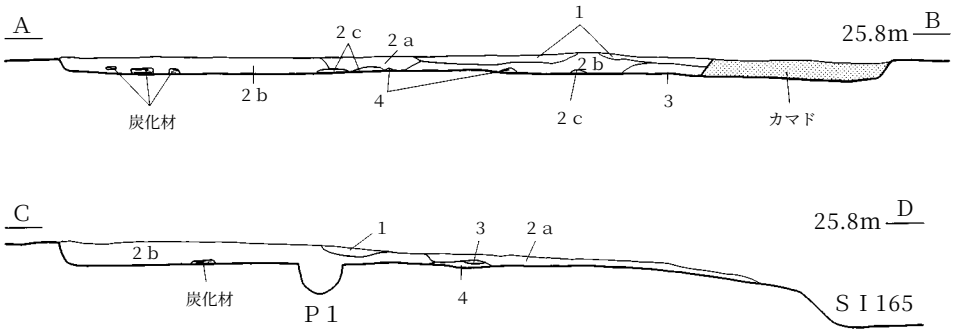


第33図　ＳＩ115竪穴住居跡

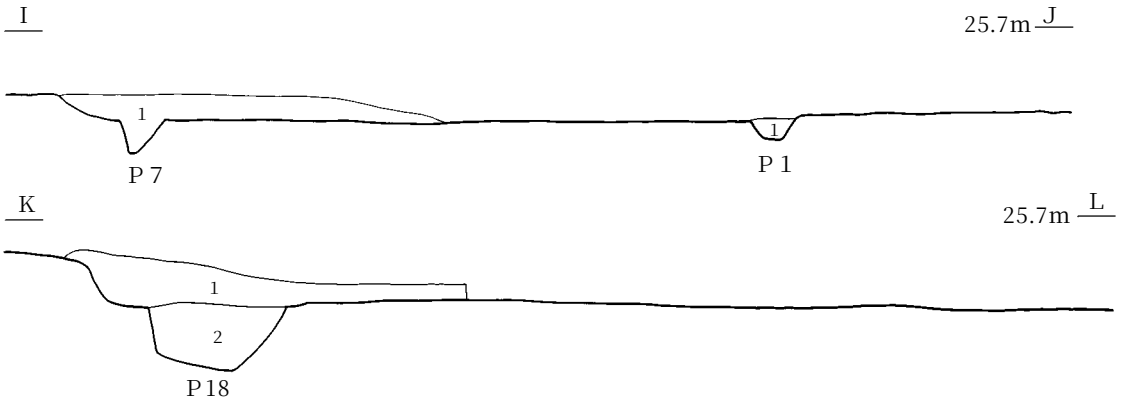


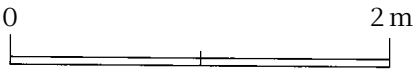
第34図　ＳＩ120・165竪穴住居跡（１）

ＳＩ120



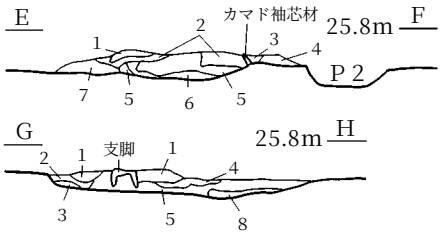
ＳＩ165





ＳＩ120
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強 粘性弱
　焼土ブロック（径0.3～1.5cm）7%混入
2a褐色土（10ＹＲ4/4）しまり強 粘性弱
　焼土ブロック（径1～5mm）7%
2b褐色土（10ＹＲ4/4）しまり強 粘性弱
　地山ブロック（径0.1～1.5mm）10%混入
2c暗褐色土（10ＹＲ4/3）しまり強 粘性弱
　炭化物（径1～2mm）1%未満
3　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり強 粘性弱
　焼土ブロック（径0.1～8cm）40%混入
4　地山ブロック層

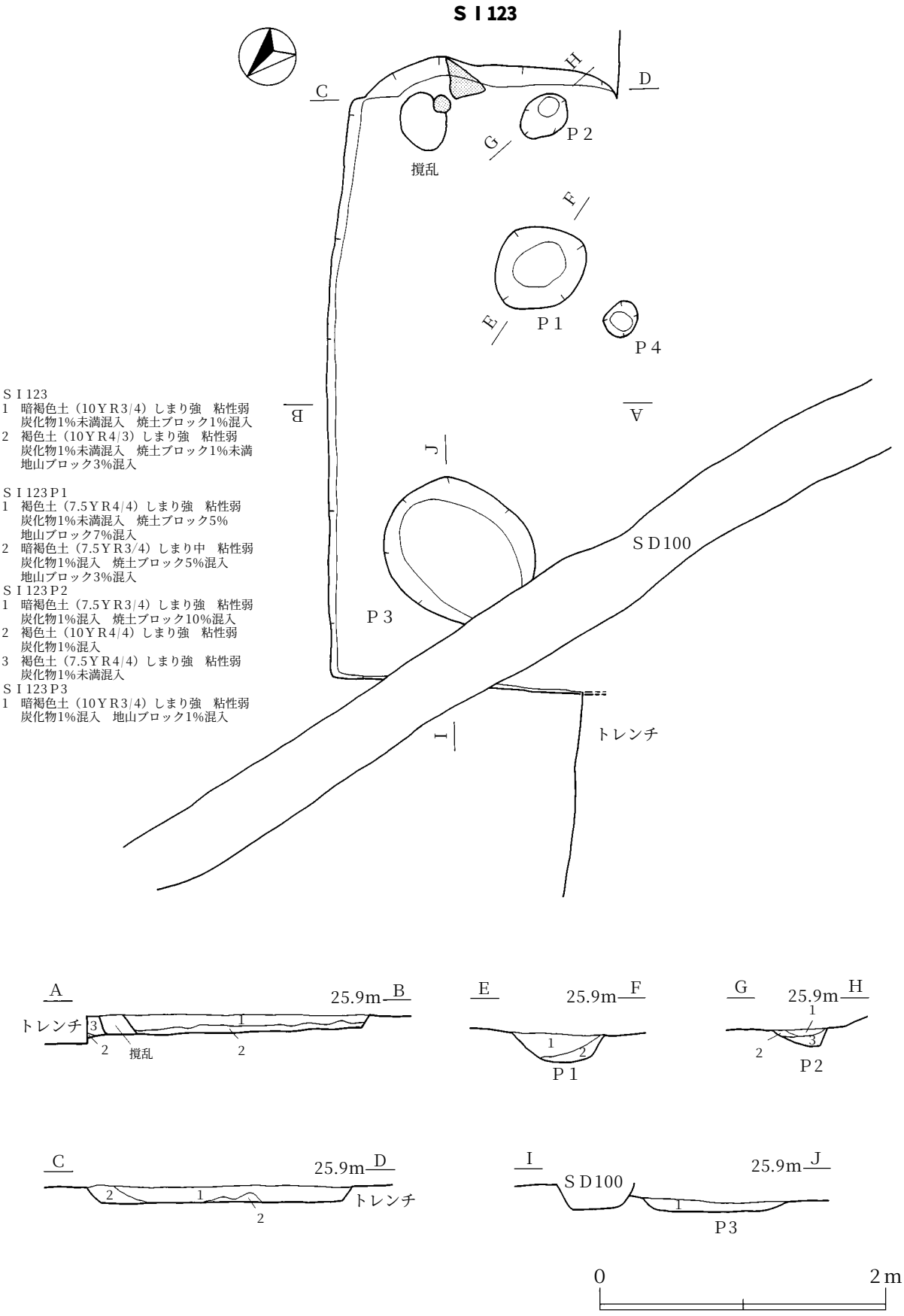
ＳＩ120カマド



ＳＩ120カマド
1　にぶい赤褐色土（5ＹＲ4/4）焼土層
2　暗赤褐色土（5ＹＲ3/6）暗褐色土1%混入
3　黒褐色土（10ＹＲ2/3）シルト しまり強 粘性中
　炭化物 褐色土10%混入
4　黒褐色土（10ＹＲ2/3）シルト しまり強 粘性中
　炭化物 暗褐色土混入
5　褐色土（7.5ＹＲ4/3）シルト
　炭化物 褐色土20%混入
6　褐色土（7.5ＹＲ4/3）シルト しまり中 粘性弱
　炭化物1%未満
7　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）シルト しまり中 粘性弱
　褐色土1% 炭化物（径0.1～1.5cm）
　地山ブロック（径0.8～1cm）1%未満混入
8　暗赤褐色土（5ＹＲ3/6）暗褐色土1%混入

ＳＩ165
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強 粘性弱
　炭化物1% 焼土ブロック5%混入

第35図　ＳＩ120・165竪穴住居跡（2）



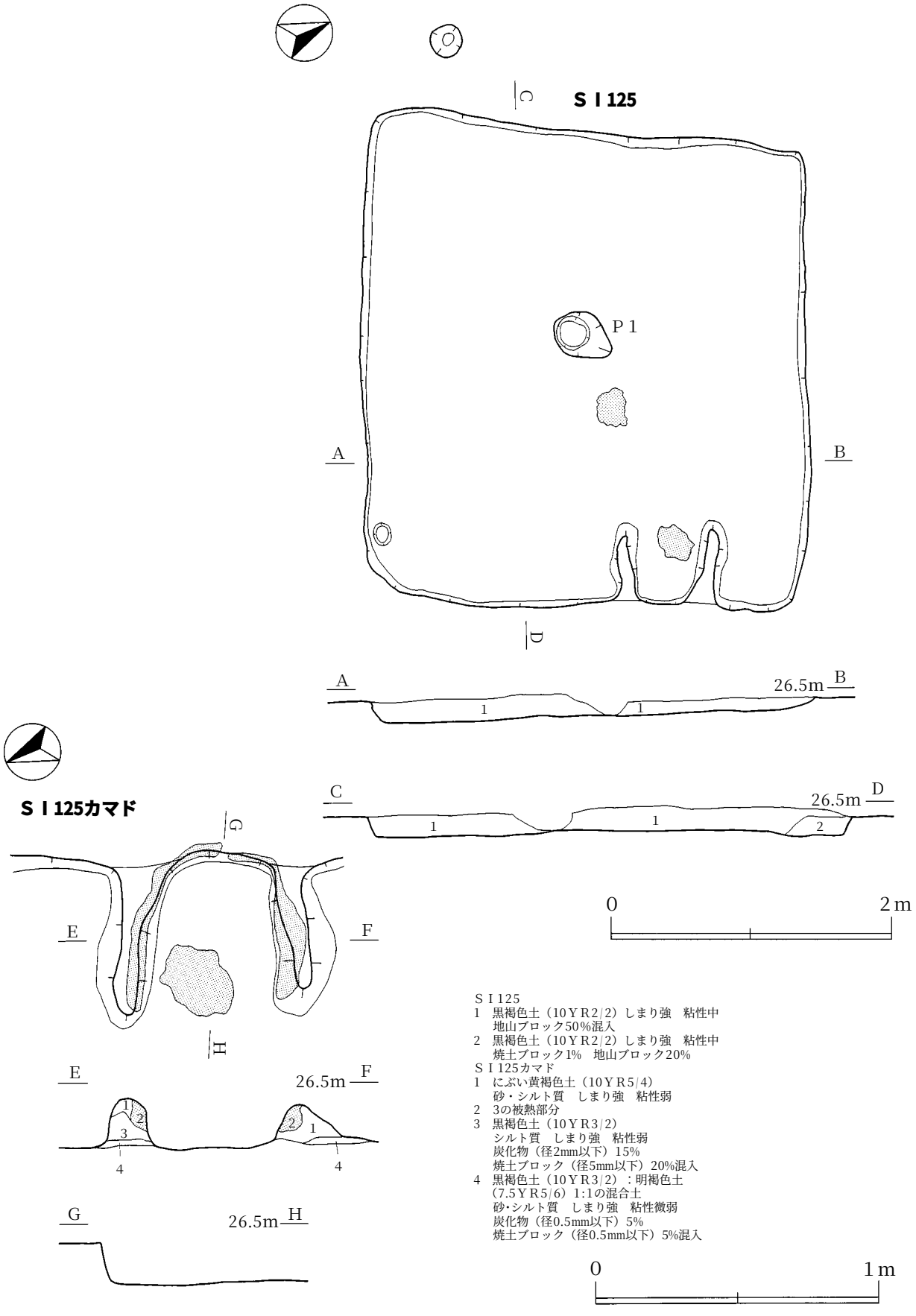
ＳＩ123
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入　焼土ブロック1%混入
2　褐色土（10ＹＲ4/3）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入　焼土ブロック1%未満
　地山ブロック3%混入

ＳＩ123Ｐ1
1　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入　焼土ブロック5%
　地山ブロック7%混入
2　暗褐色土（7.5ＹＲ3/4）しまり中　粘性弱
　炭化物1%混入　焼土ブロック5%混入
　地山ブロック3%混入

ＳＩ123Ｐ2
1　暗褐色土（7.5ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%混入　焼土ブロック10%混入
2　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%混入
3　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入

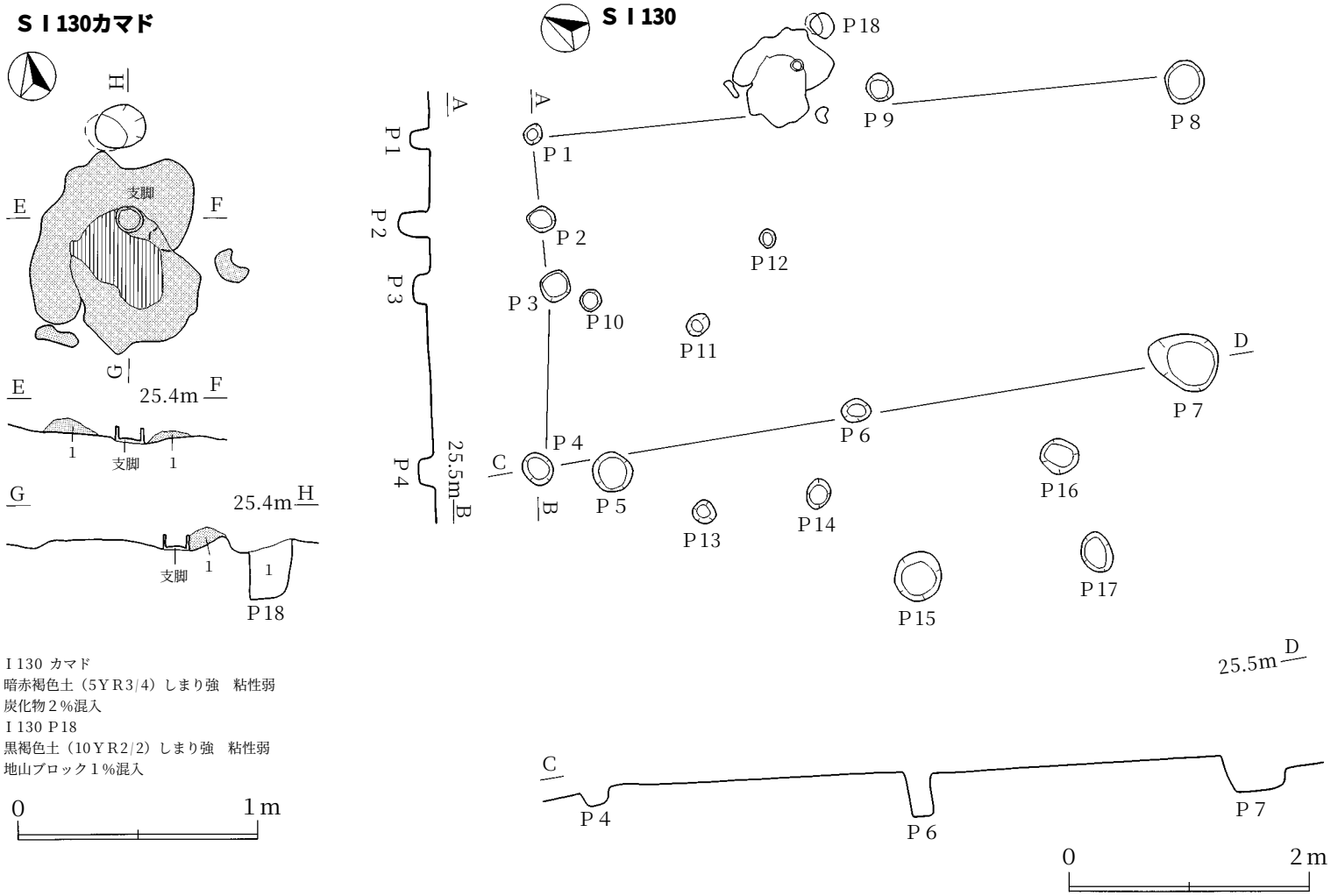
ＳＩ123Ｐ3
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%混入　地山ブロック1%混入

第36図　ＳＩ123竪穴住居跡



ＳＩ125
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性中
　地山ブロック50％混入
2　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性中
　焼土ブロック1%　地山ブロック20%
ＳＩ125カマド
1　にぶい黄褐色土（10ＹＲ5/4）
　砂・シルト質　しまり強　粘性弱
2　3の被熱部分
3　黒褐色土（10ＹＲ3/2）
　シルト質　しまり強　粘性弱
　炭化物（径2mm以下）15%
　焼土ブロック（径5mm以下）20%混入
4　黒褐色土（10ＹＲ3/2）：明褐色土
　（7.5ＹＲ5/6）1:1の混合土
　砂･シルト質　しまり強　粘性微弱
　炭化物（径0.5mm以下）5%
　焼土ブロック（径0.5mm以下）5%混入

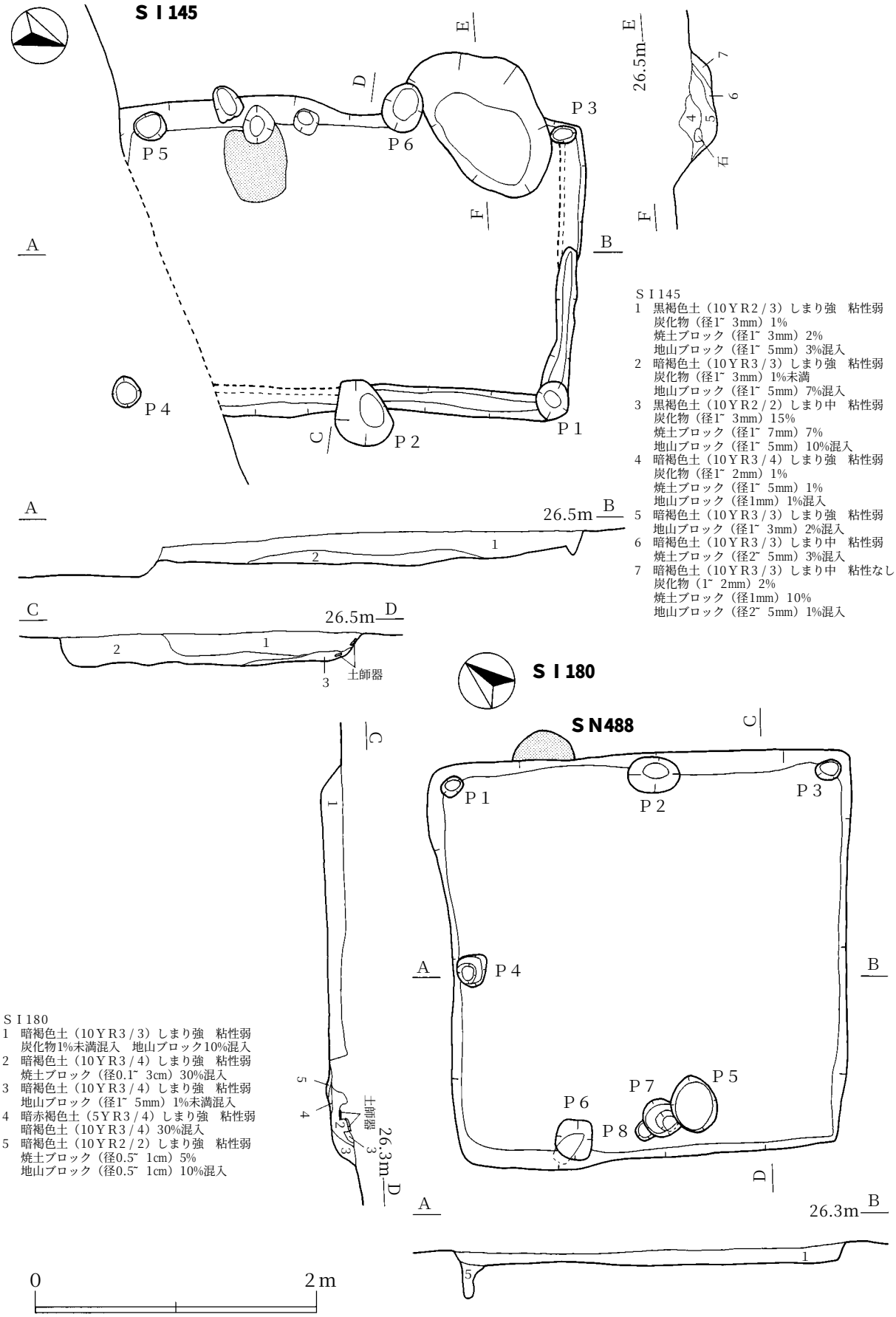
第37図　ＳＩ125竪穴住居跡



ＳＩ130 カマド
1 暗赤褐色土（5ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物２%混入
ＳＩ130 Ｐ18
1 黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性弱
　地山ブロック１%混入

0　1m

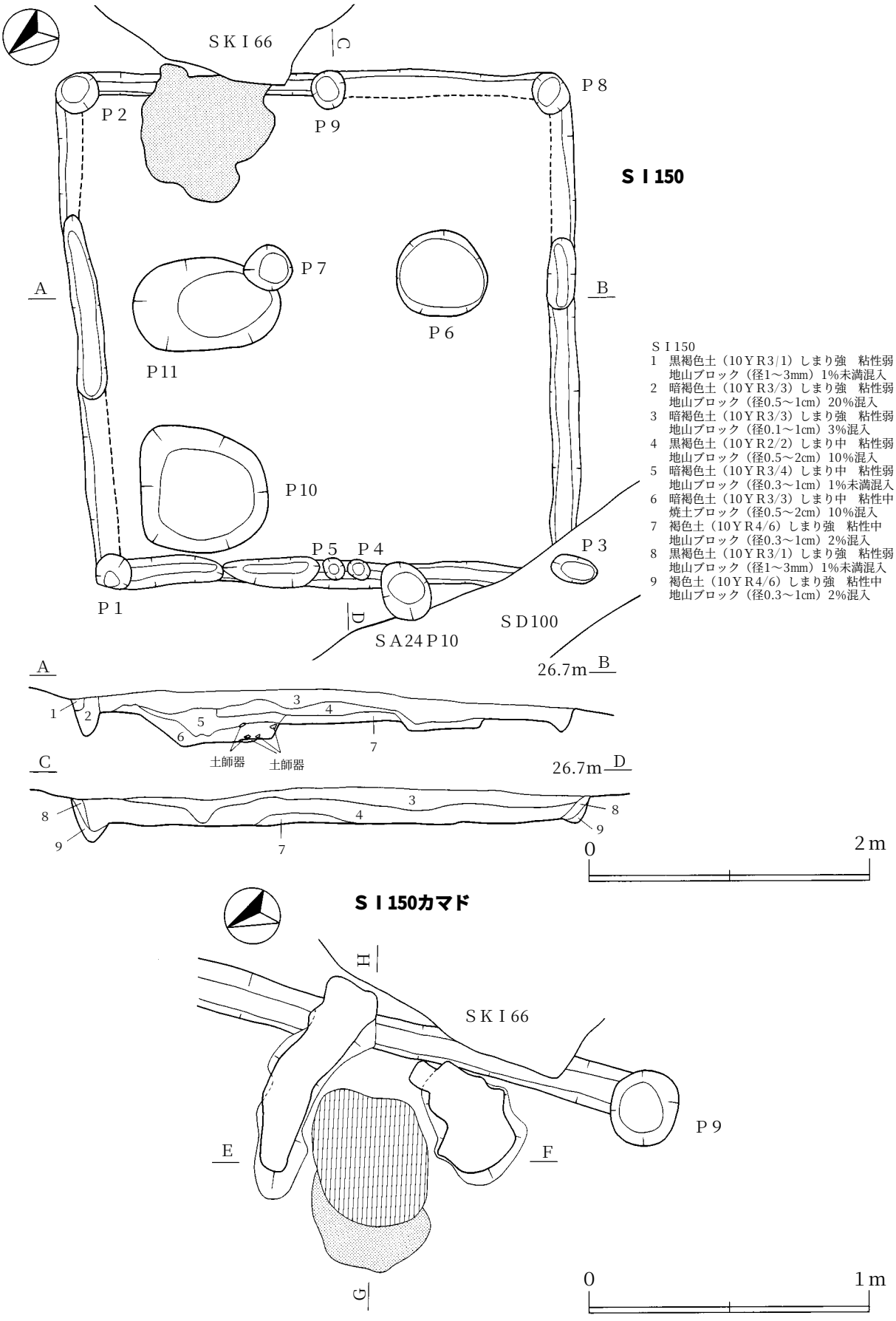
第38図　ＳＩ130竪穴住居跡



ＳＩ145
1　黒褐色土（10ＹＲ2／3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1˜ 3mm）1%
　焼土ブロック（径1˜ 3mm）2%
　地山ブロック（径1˜ 5mm）3%混入
2　暗褐色土（10ＹＲ3／3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1˜ 3mm）1%未満
　地山ブロック（径1˜ 5mm）7%混入
3　黒褐色土（10ＹＲ2／2）しまり中　粘性弱
　炭化物（径1˜ 3mm）15%
　焼土ブロック（径1˜ 7mm）7%
　地山ブロック（径1˜ 5mm）10%混入
4　暗褐色土（10ＹＲ3／4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1˜ 2mm）1%
　焼土ブロック（径1˜ 5mm）1%
　地山ブロック（径1mm）1%混入
5　暗褐色土（10ＹＲ3／3）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径1˜ 3mm）2%混入
6　暗褐色土（10ＹＲ3／3）しまり中　粘性弱
　焼土ブロック（径2˜ 5mm）3%混入
7　暗褐色土（10ＹＲ3／3）しまり中　粘性なし
　炭化物（1˜ 2mm）2%
　焼土ブロック（径1mm）10%
　地山ブロック（径2˜ 5mm）1%混入

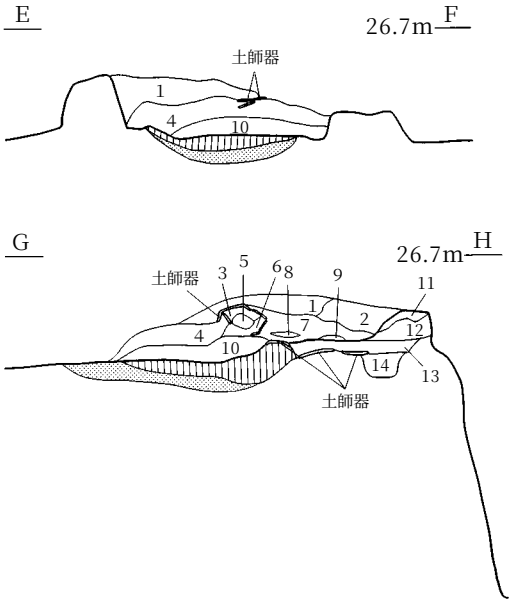
ＳＩ180
1　暗褐色土（10ＹＲ3／3）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入　地山ブロック10%混入
2　暗褐色土（10ＹＲ3／4）しまり強　粘性弱
　焼土ブロック（径0.1˜ 3cm）30%混入
3　暗褐色土（10ＹＲ3／4）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径1˜ 5mm）1%未満混入
4　暗赤褐色土（5ＹＲ3／4）しまり強　粘性弱
　暗褐色土（10ＹＲ3／4）30%混入
5　暗褐色土（10ＹＲ2／2）しまり強　粘性弱
　焼土ブロック（径0.5˜ 1cm）5%
　地山ブロック（径0.5˜ 1cm）10%混入

第39図　ＳＩ145・180竪穴住居跡　ＳＮ488焼土遺構



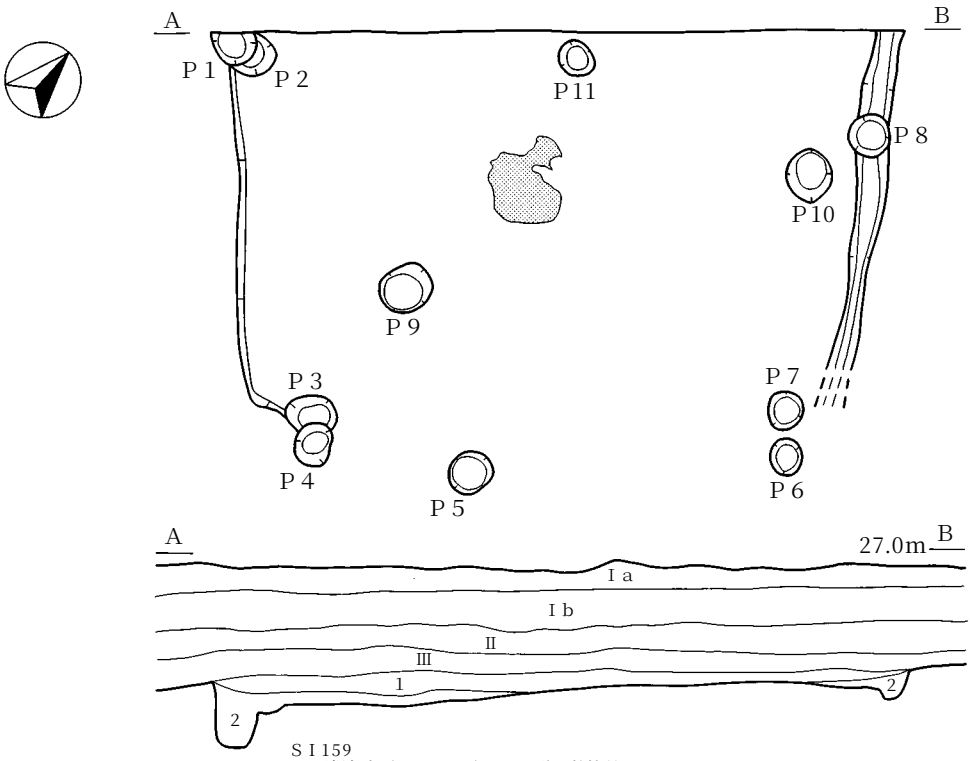
第40図　ＳＩ150竪穴住居跡

ＳＩ150カマド



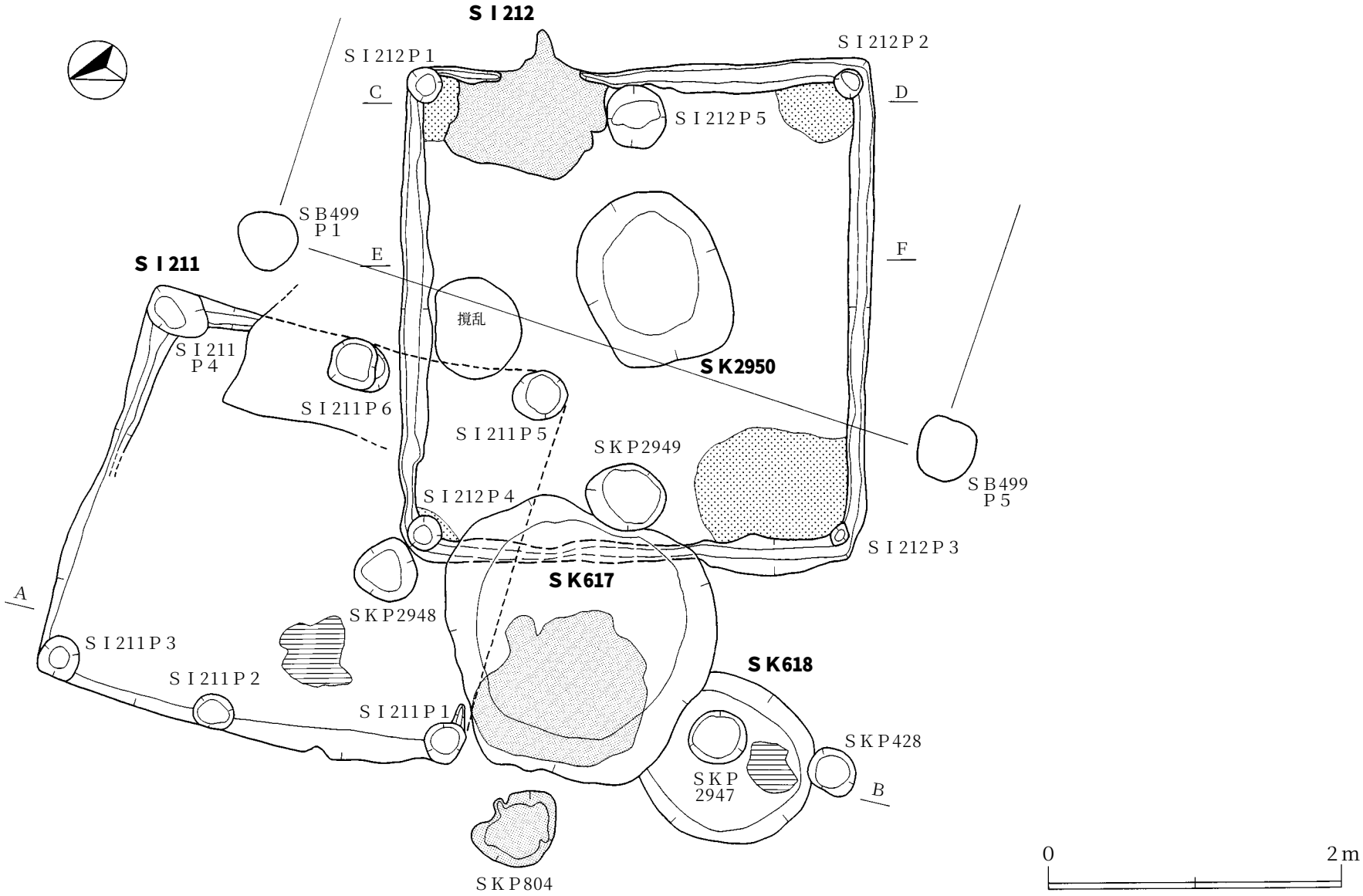
ＳＩ150 カマド
1　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性なし
　焼土ブロック（径1˜ 5mm）1%混入
　地山ブロック（径0.1˜ 1cm）1%混入
2　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性なし
　炭化物（径1˜ 5mm）1%混入
　焼土ブロック（径1˜ 3mm）3%混入
　地山ブロック（径0.1˜ 1cm）2%混入
3　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり中　粘性なし
　焼土ブロック（径0.1˜ 1cm）2%混入
4　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり強　粘性なし
　焼土ブロック（径1˜ 2mm）2%混入
　地山ブロック（径1˜ 2mm）2%混入
5　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり中　粘性弱
　焼土ブロック（径1˜ 2mm）2%混入
6　赤褐色土（5ＹＲ4/8)しまり強　粘性なし
7　暗褐色土(10ＹＲ3/4）しまり強　粘性なし
　炭化物（径1˜ 5mm）1%混入
　焼土ブロック（径2˜ 4mm）2%混入
　地山ブロック（径0.5˜ 1cm）1%混入
8　赤褐色土（5ＹＲ4/8）しまり強　粘性なし
　炭化物（径1˜ 2mm）1%混入
9　赤褐色土（5ＹＲ4/6）しまり強　粘性なし
10　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり中　粘性弱
　焼土ブロック（径1˜ 2mm）2%混入
11　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり強　粘性なし
12　褐色土（7.5R4/4）しまり強　粘性なし
　焼土ブロック（径0.1˜ 1cm）1%混入
　地山ブロック（径1˜ 2cm）1%混入
13　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性なし
　炭化物（径1˜ 2mm）1%混入
　焼土ブロック（径2˜ 5mm）3%混入
　地山ブロック（径0.2˜ 2cm）1%混入
14　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性中
　地山ブロック（径0.3˜ 1cm）2%混入

ＳＩ159

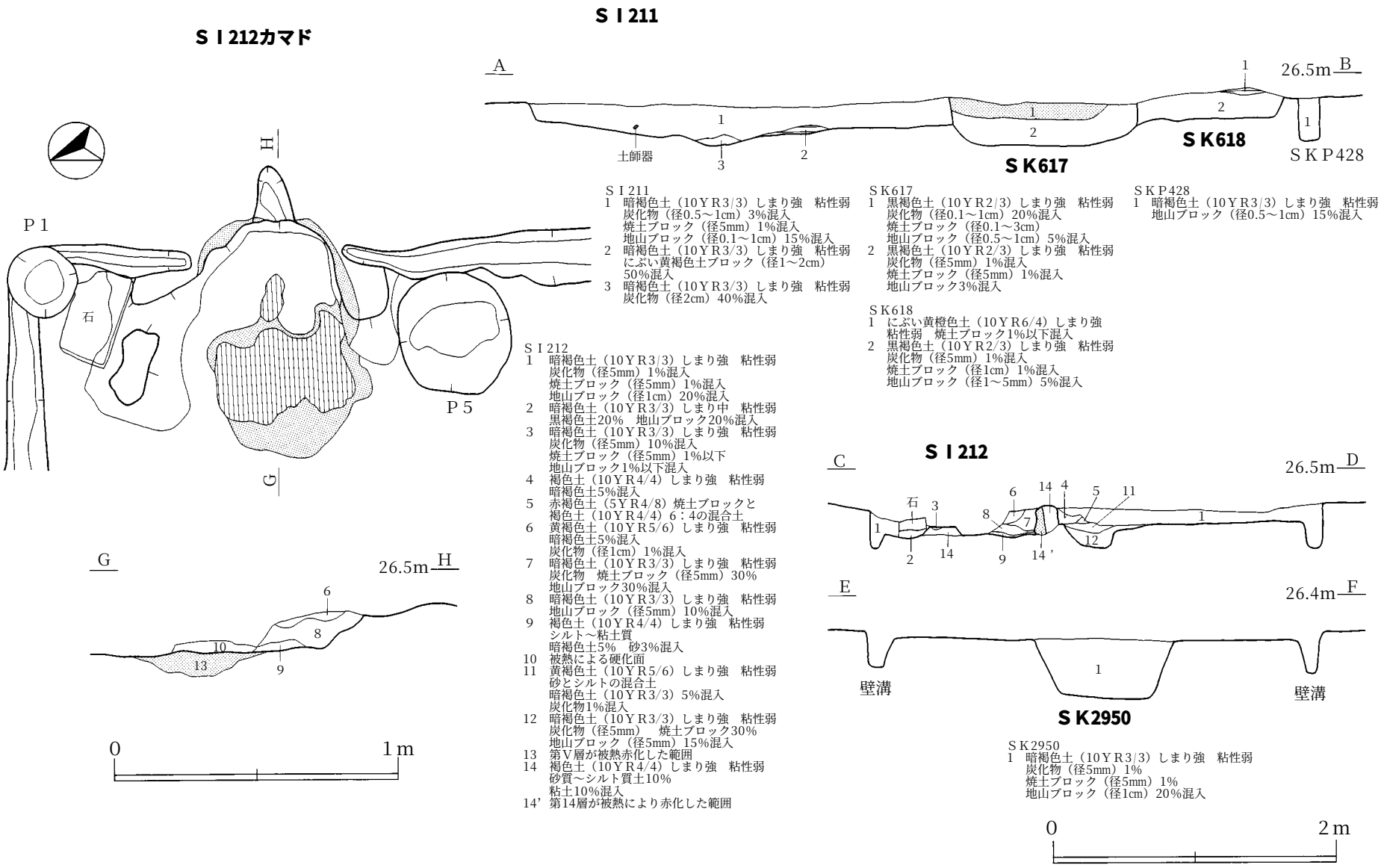


ＳＩ159
1　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径0.5˜ 1mm）1%未満
　焼土ブロック（径3˜ 5mm）2%
　地山ブロック（径1˜ 2mm）1%未満混入
2　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり強　粘性弱
　焼土ブロック（1.5˜ 2mm）1%未満
　地山ブロック（径1˜ 1.5cm）2%混入

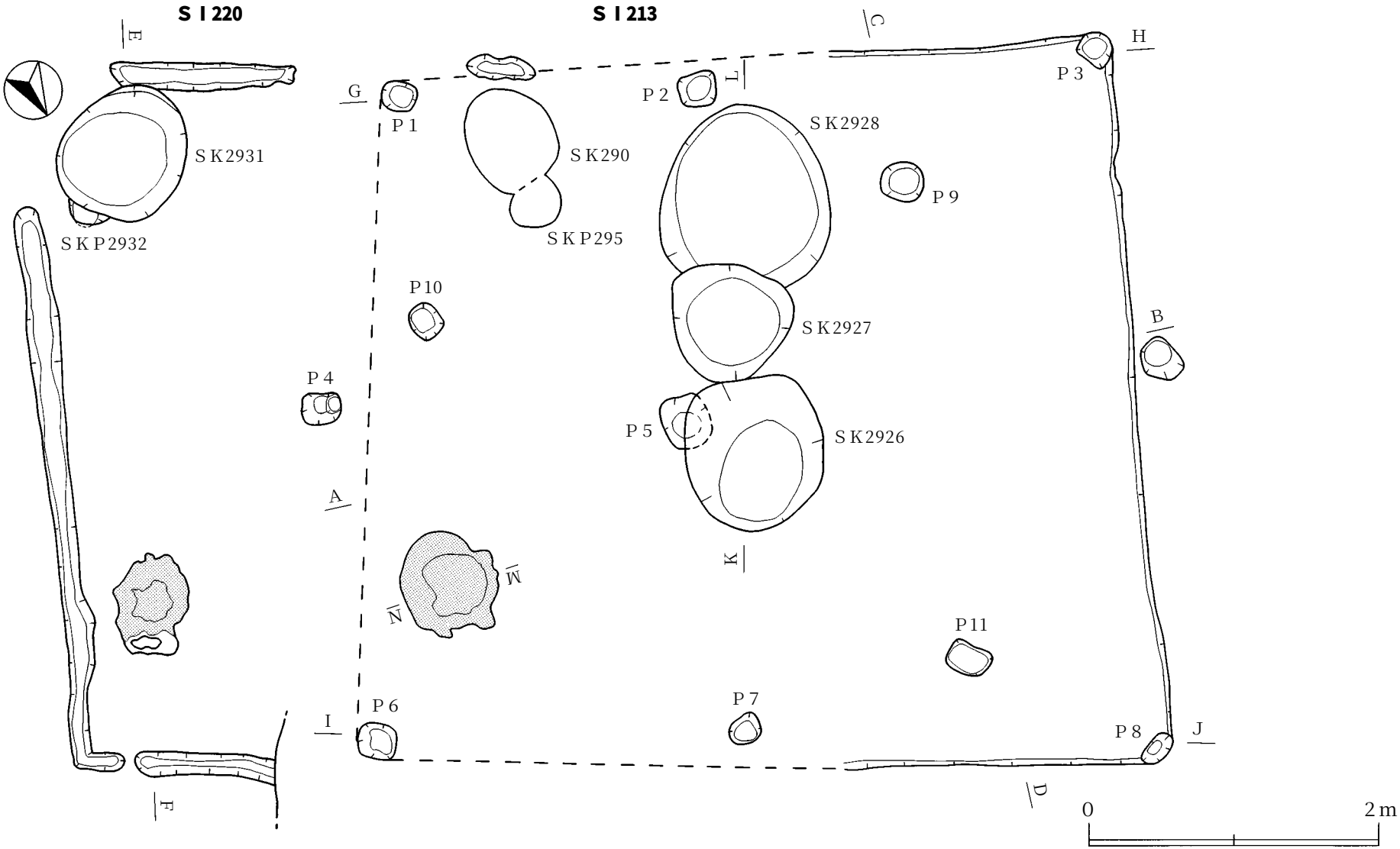
第41図　ＳＩ150竪穴住居跡カマド・ＳＩ159竪穴住居跡



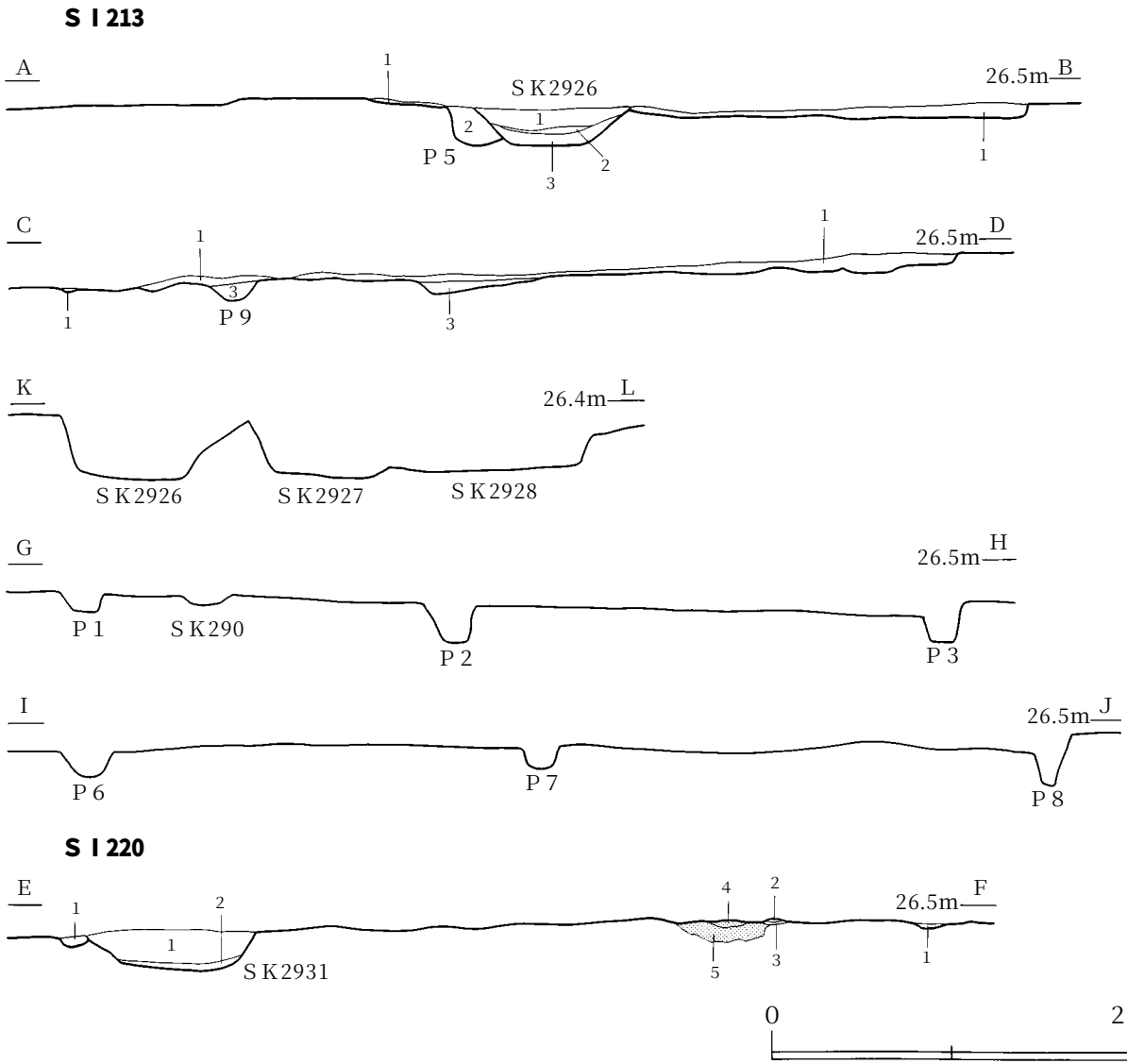
第42図　ＳＩ211・212竪穴住居跡　ＳＫ617・618・2950土坑（1）

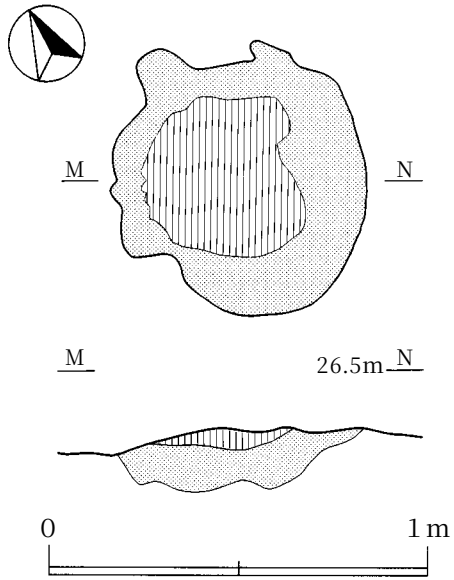


第43図　ＳＩ211・212竪穴住居跡　ＳＫ617・618・2950土坑（2）



第44図　ＳＩ213・220竪穴住居跡　ＳＫ2926・2927・2928・2931土坑（１）





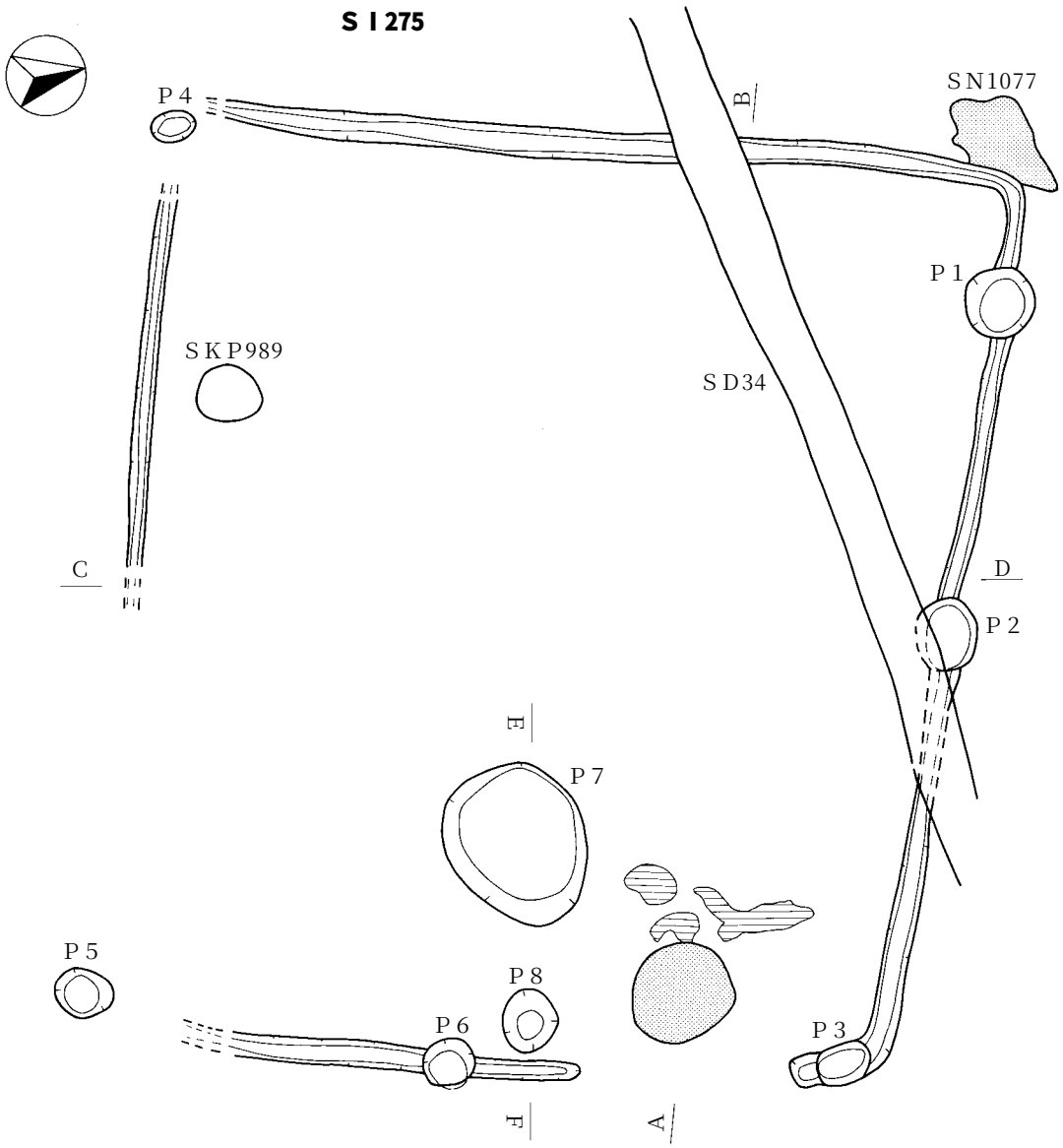
SI213
1 暗褐色土（10YR3/3）しまり強 粘性弱
炭化物（径2～5mm）1%未満
地山ブロック（径0.1～1cm）10%混入
2 黒褐色土（10YR3/2）しまり強 粘性弱
地山ブロック（径1cm）10%混入
3 暗褐色土（10YR3/3）しまり強 粘性弱
地山ブロック（径1～2cm）20%混入

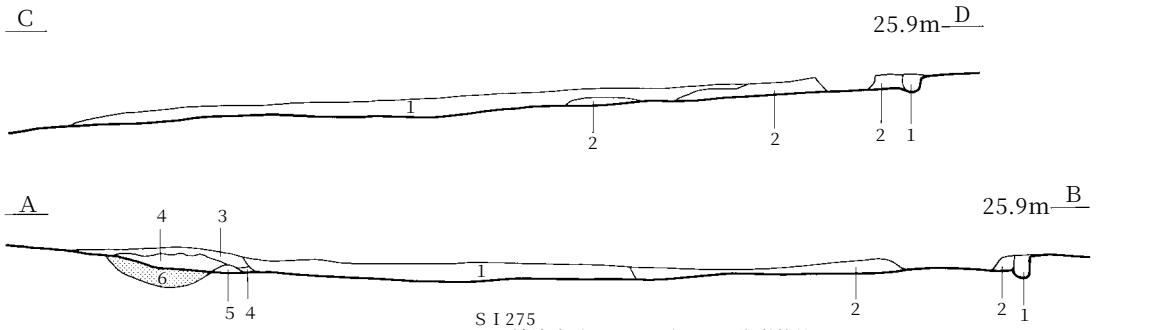
SK2926
1 黒褐色土（10YR3/2）しまり強 粘性弱
2 焼土と炭化物2：1
3 黒褐色土（10YR3/2）しまり強 粘性弱

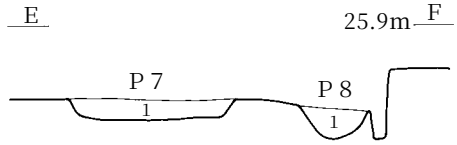
SI220
1 黒褐色土（10YR3/2）しまり強 粘性弱
地山ブロック（径1cm以下）20%
2 明赤褐色土（5YR5/6）しまり強 粘性弱
砂質混入シルト質被熱
3 黒褐色土（10YR3/2）しまり強 粘性弱
焼土ブロック（径5mm）10%混入
4 被熱硬化部
5 被熱赤化部

SK2931
1 暗褐色土(10YR3/3)しまり強 粘性弱
2 暗褐色土(10YR3/3)しまり強 粘性弱
炭化物 焼土ブロック混入

第45図　SI213・220竪穴住居跡　SK2926・2927・2928・2931土坑（2）





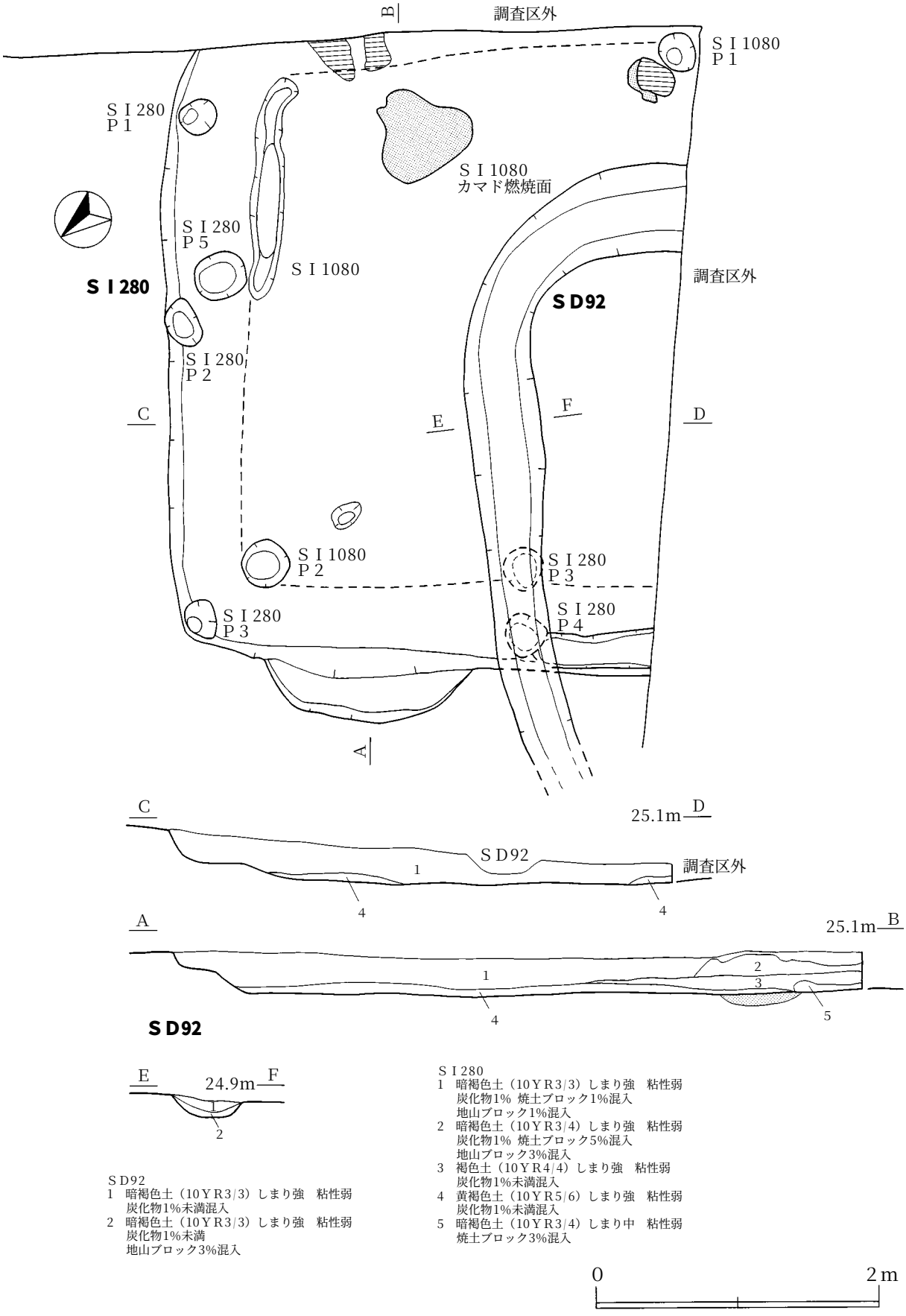


ＳＩ275Ｐ7
1　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強 粘性弱
　炭化物1%未満 焼土ブロック5%混入
　地山ブロック（径0.1～2cm）5%混入
ＳＩ275Ｐ8
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強 粘性弱
　炭化物1%未満混入

ＳＩ275
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強 粘性弱
　炭化物1%未満混入
　焼土ブロック1%未満混入
2　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）しまり強
　粘性弱 炭化物1%未満混入
　焼土ブロック1%混入
　地山ブロック5%混入
3　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強 粘性弱
　炭化物1%未満 焼土ブロック1%混入
　地山ブロック5%混入
4　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強 粘性弱
　炭化物1%未満 地山ブロック5%混入
5　黄褐色土（10ＹＲ5/6）しまり強 粘性弱
6　赤褐色土（5ＹＲ4/6）しまり強 粘性弱

0　2m

第46図　ＳＩ275竪穴住居跡

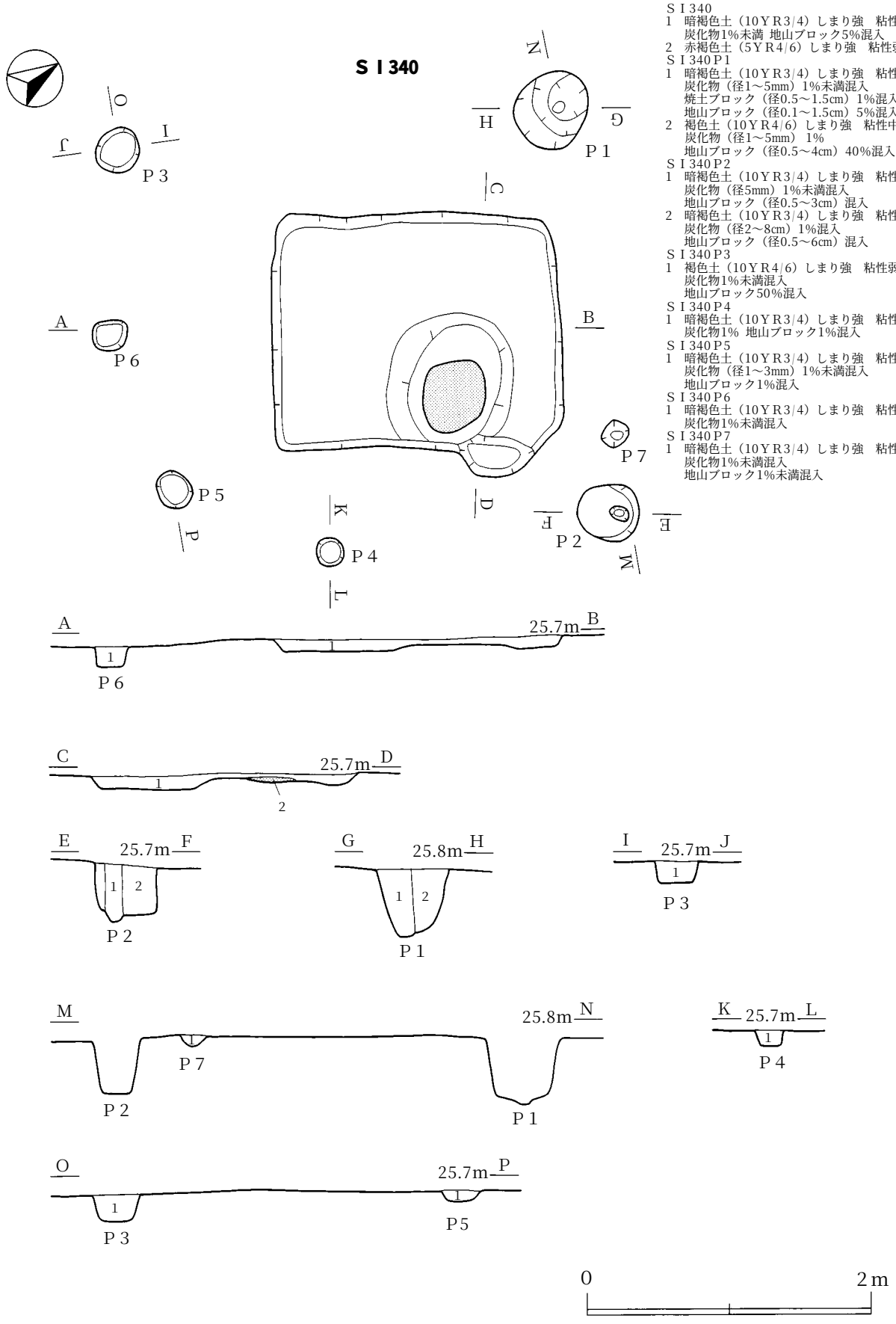


ＳＤ92
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入
2　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満
　地山ブロック3%混入

ＳＩ280
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物1%　焼土ブロック1%混入
　地山ブロック1%混入
2　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%　焼土ブロック5%混入
　地山ブロック3%混入
3　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入
4　黄褐色土（10ＹＲ5/6）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入
5　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり中　粘性弱
　焼土ブロック3%混入

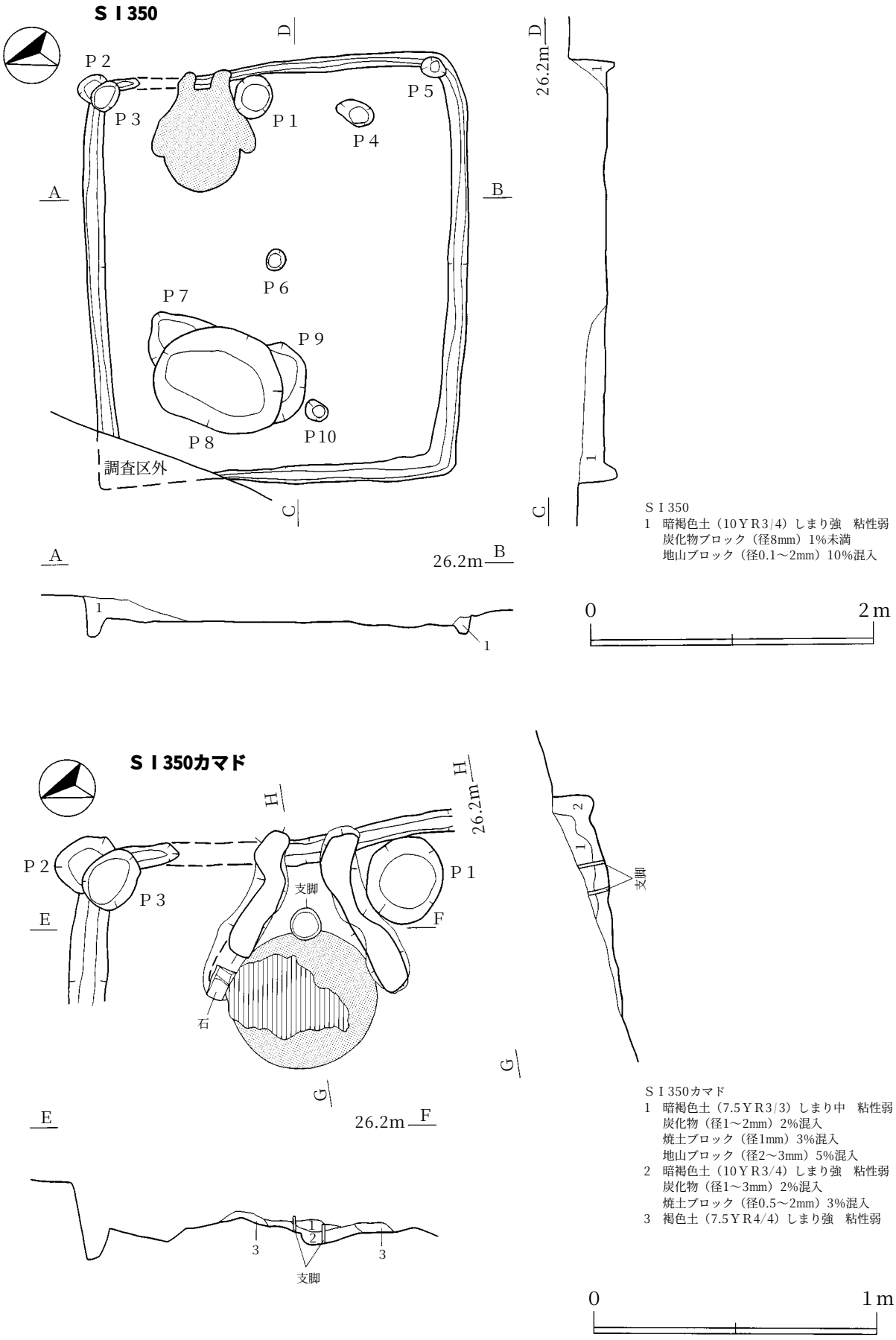
0　2m

第47図　ＳＩ280・1080竪穴住居跡　ＳＤ92溝跡

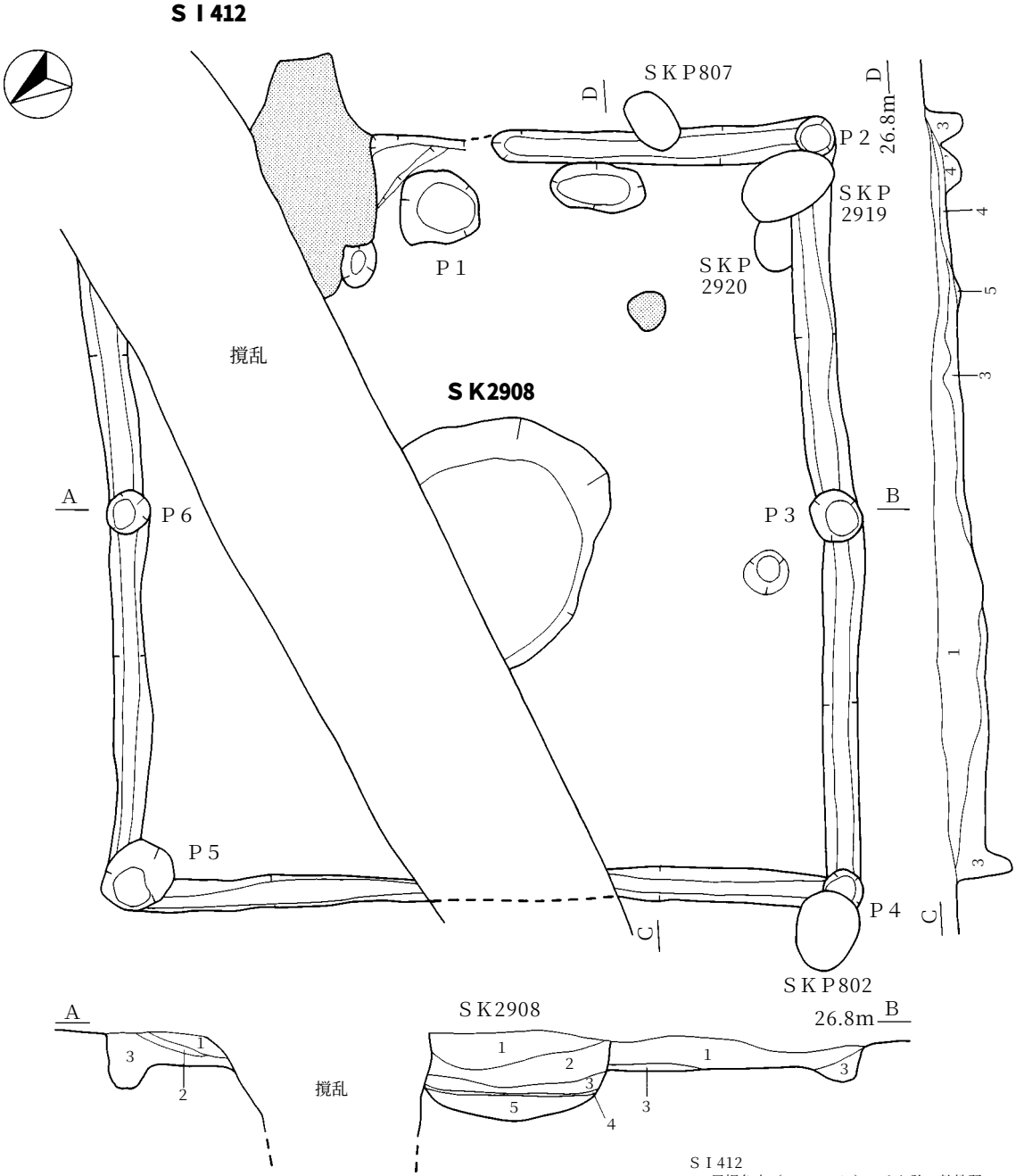


ＳＩ340
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満 地山ブロック5%混入
2　赤褐色土（5ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱
ＳＩ340Ｐ1
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性中
　炭化物（径1～5mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径0.5～1.5cm）1%混入
　地山ブロック（径0.1～1.5cm）5%混入
2　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性中
　炭化物（径1～5mm） 1%
　地山ブロック（径0.5～4cm）40%混入
ＳＩ340Ｐ2
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性中
　炭化物（径5mm）1%未満混入
　地山ブロック（径0.5～3cm）混入
2　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性中
　炭化物（径2～8cm）1%混入
　地山ブロック（径0.5～6cm）混入
ＳＩ340Ｐ3
1　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入
　地山ブロック50%混入
ＳＩ340Ｐ4
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1% 地山ブロック1%混入
ＳＩ340Ｐ5
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～3mm）1%未満混入
　地山ブロック1%混入
ＳＩ340Ｐ6
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入
ＳＩ340Ｐ7
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入
　地山ブロック1%未満混入

第48図　ＳＩ340竪穴住居跡



第49図　ＳＩ350竪穴住居跡



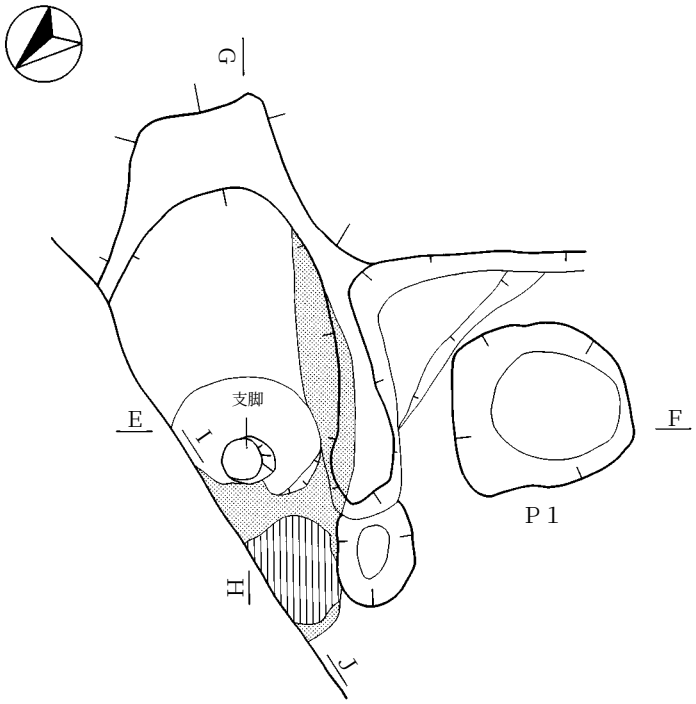
ＳＫ2908
1　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径0.5～1mm）2%混入
　地山ブロック（径0.5～5mm）2%混入
2　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～2mm）1%混入
　地山ブロック（径4～8mm）3%混入
3　暗褐色土（7.5ＹＲ3/4）しまり中　粘性弱
　炭化物（径4～5mm）10%混入
　焼土ブロック（径2～6mm）10%混入
　地山ブロック2%混入
4　炭化物層
5　暗褐色土（7.5ＹＲ3/4）しまり中　粘性弱
　炭化物（径1～2mm）2%混入
　焼土ブロック（径1～4mm）10%混入
　地山ブロック（径2～6mm）3%混入

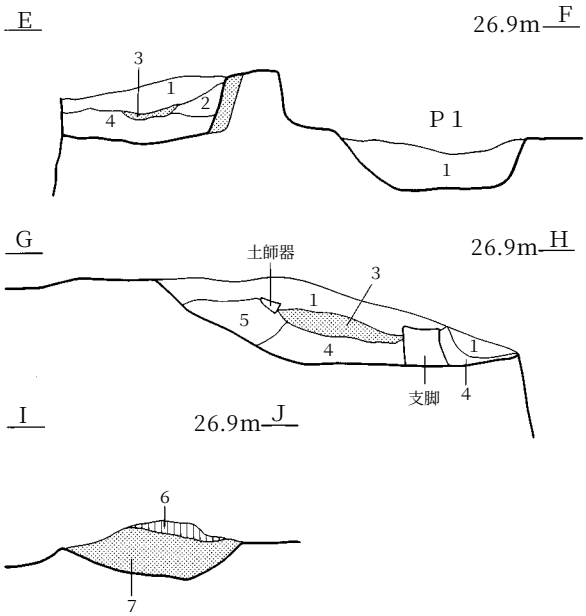
ＳＩ412
1　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径0.5～1mm）1%
　地山ブロック（径0.5～5mm）2%混入
2　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～2mm）1%
　地山ブロック（径4～8mm）3%混入
3　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径6～8mm）5%混入
4　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径2～3mm）1%混入
4’黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径2～3mm）1%
　焼土ブロック（径2～3mm）1%
　地山ブロック（径2～3mm）混入
5　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径2～3mm）1%
　焼土ブロック（径2～3mm）3%
　地山ブロック（径2～3mm）1%混入

0　2m

第50図　ＳＩ412竪穴住居跡（1）ＳＫ2908土坑

ＳＩ412カマド

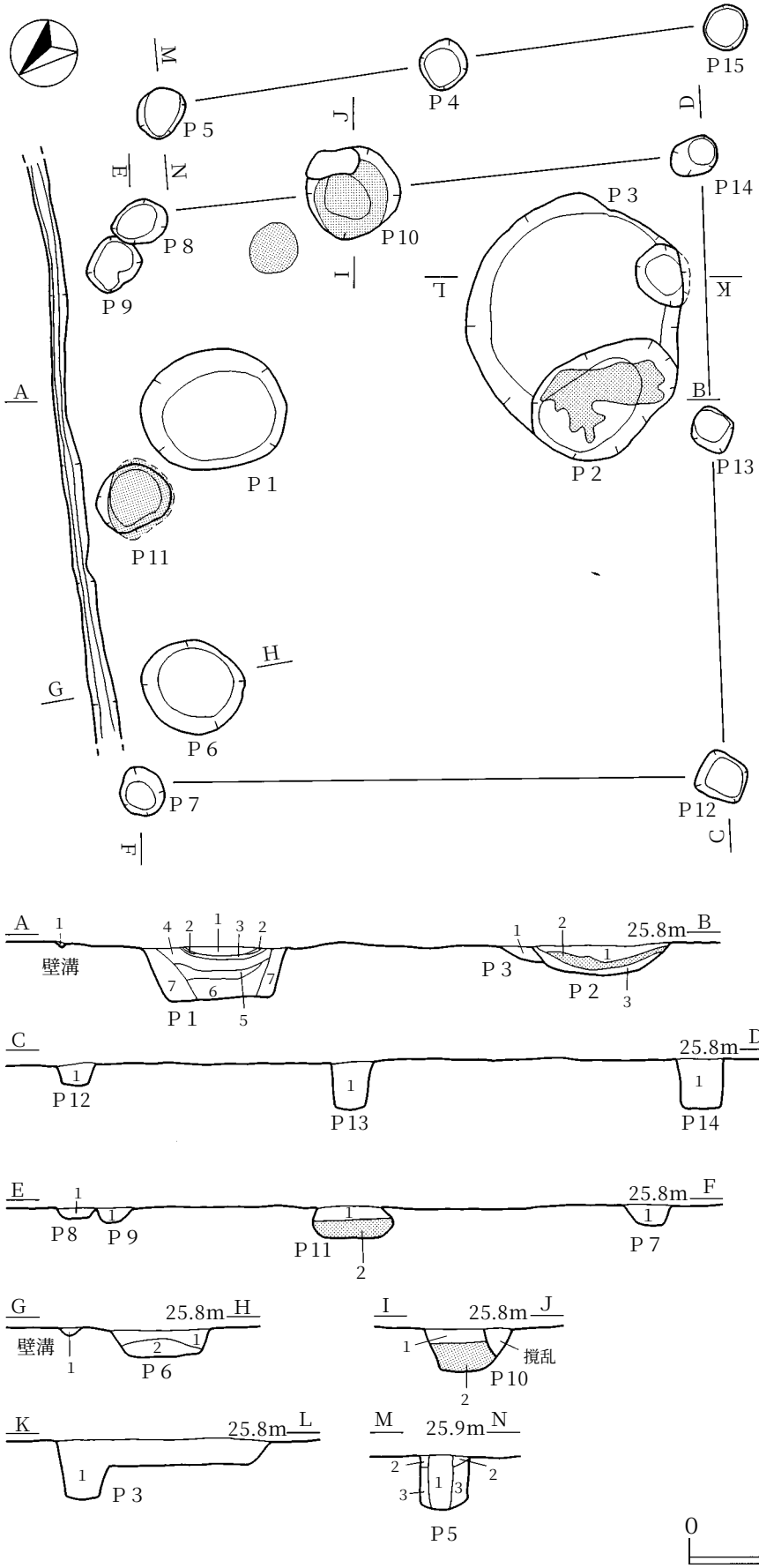




ＳＩ412カマド
1　褐色土（7.5ＹＲ4/6）しまり弱　粘性弱
2　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性強
　炭化物1%　焼土ブロック20%混入
3　明赤褐色土（5ＹＲ5/8）しまり強　粘性弱
4　暗褐色土（7.5ＹＲ）しまり弱　粘性強
　炭化物3%　焼土ブロック10%混入
5　暗褐色土（7.5ＹＲ3/4）しまり中　粘性弱
　炭化物5%　焼土ブロック30%混入
6　浅黄橙色土（7.5ＹＲ8/6）しまり強　粘性弱
7　赤褐色土（5ＹＲ4/8）しまり強　粘性弱

ＳＩ412Ｐ1
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり中　粘性中
　炭化物3%　地山ブロック30%混入

第51図　ＳＩ412竪穴住居跡（2）



S I 430
1　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入
　焼土ブロック1%混入
　地山ブロック1%未満混入

S I 430Ｐ1
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入
　地山ブロック（径0.1～1cm）3%混入
2　赤褐色土（5ＹＲ4/6）しまり中　粘性弱
3　明褐色土（7.5ＹＲ）しまり強　粘性弱
4　暗褐色土（7.5ＹＲ3/4）しまり中　粘性弱
　炭化物1%未満　焼土ブロック1%未満
　地山ブロック（径1～2mm）1%混入
5　明褐色土（7.5ＹＲ）しまり強　粘性弱
　炭化物7%　焼土ブロック3%混入
6　暗褐色土（7.5ＹＲ3/4）しまり中　粘性弱
　焼土ブロック1%混入
　地山ブロック1%未満混入
7　暗褐色土（7.5ＹＲ3/4）しまり中　粘性弱
　炭化物1%未満　焼土ブロック1%
　地山ブロック（径0.1～2cm）1%混入

S I 430Ｐ2
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%混入　地山ブロック5%混入
2　明赤褐色土（5ＹＲ5/6）しまり強　粘性弱
3　黒色（10ＹＲ1.7/1）しまり強　粘性弱
　焼土ブロック（径1～3mm）3%
　地山ブロック（径1～5mm）1%混入

S I 430Ｐ3
1　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　焼土ブロック1%未満混入

S I 430Ｐ5
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　焼土ブロック（径1～5mm）3%
　地山ブロック（径0.1～2cm）混入
2　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満
　焼土ブロック1%未満混入
3　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～5mm）1%

S I 430Ｐ6
1　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入
2　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱

S I 430Ｐ7
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径2～3mm）3%混入

S I 430Ｐ8
1　暗褐色土（7.5ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満
　焼土ブロック1%混入

S I 430Ｐ9
1　褐色土（7.5ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満
　焼土ブロック1%混入

S I 430Ｐ10
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～3mm）1%混入
2　赤褐色土（5ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入

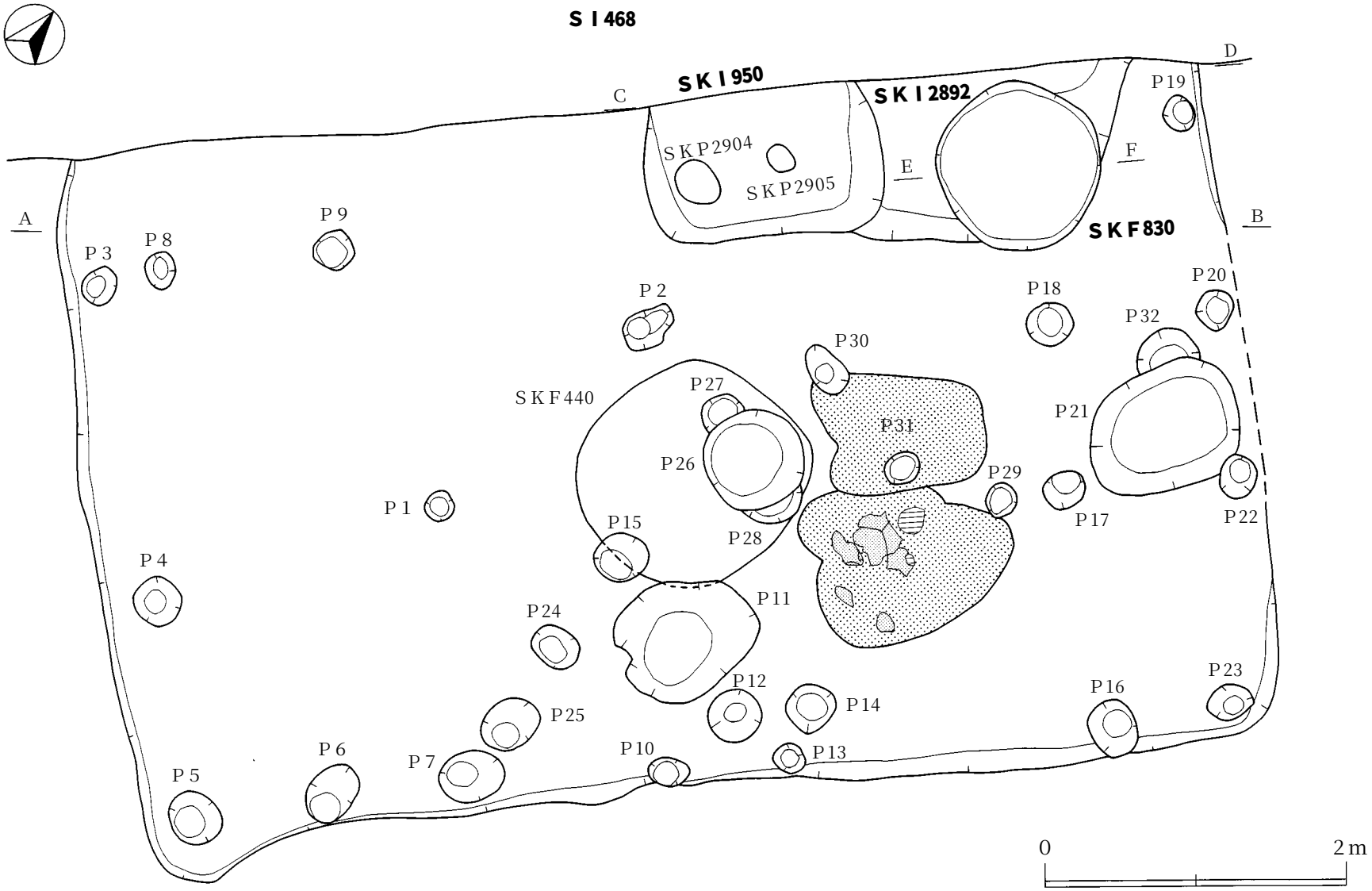
S I 430Ｐ11
1　赤褐色土（5ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱
　炭化物1%　地山ブロック20%混入
2　赤褐色土（5ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱
　炭化物1%混入

S I 430Ｐ12
1　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性強

S I 430Ｐ13
1　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性強

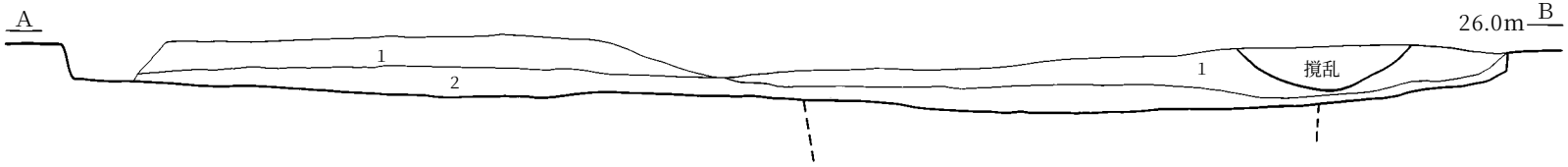
S I 430Ｐ14
1　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性強

第52図　ＳＩ430竪穴住居跡

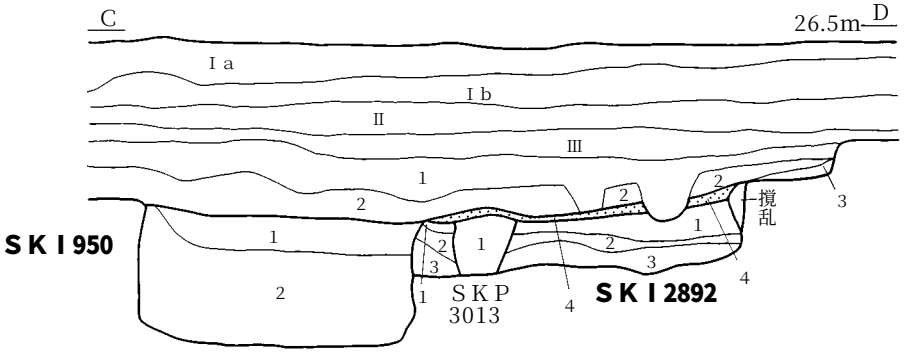


第53図　ＳＩ468竪穴住居跡　ＳＫＩ950・2892竪穴状遺構　ＳＫＦ830フラスコ状土坑（１）

ＳＩ468



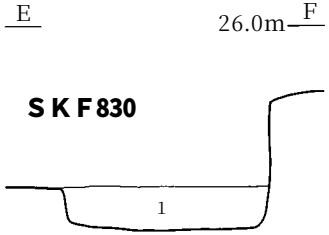
ＳＩ468
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%混入
　焼土ブロック（径1mm）1%混入
　地山ブロック10%混入
2　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり中　粘性弱
　炭化物（径1~ 2mm）1%混入
　地山ブロック（径3~ 5mm）3%混入
3　褐色土（径0.5~ 1.2mm）3%混入
4　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり中　粘性弱
　地山ブロック（径0.5~ 1cm）2%混入



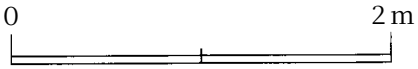
ＳＫＩ950
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性中
　地山ブロック50%混入
2　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり中　粘性中
　地山ブロック25%混入

ＳＫＩ2892
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり強　粘性弱
　炭化物(径5mm)1%混入
　焼土ブロック（径2mm以下）1%以下混入
　地山ブロック（径0.5～1cm）混入
2　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり中　粘性弱
　地山ブロック（径0.5～1cm）7%混入
3　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり強　粘性中
　地山ブロック（径0.5～1cm）5%混入

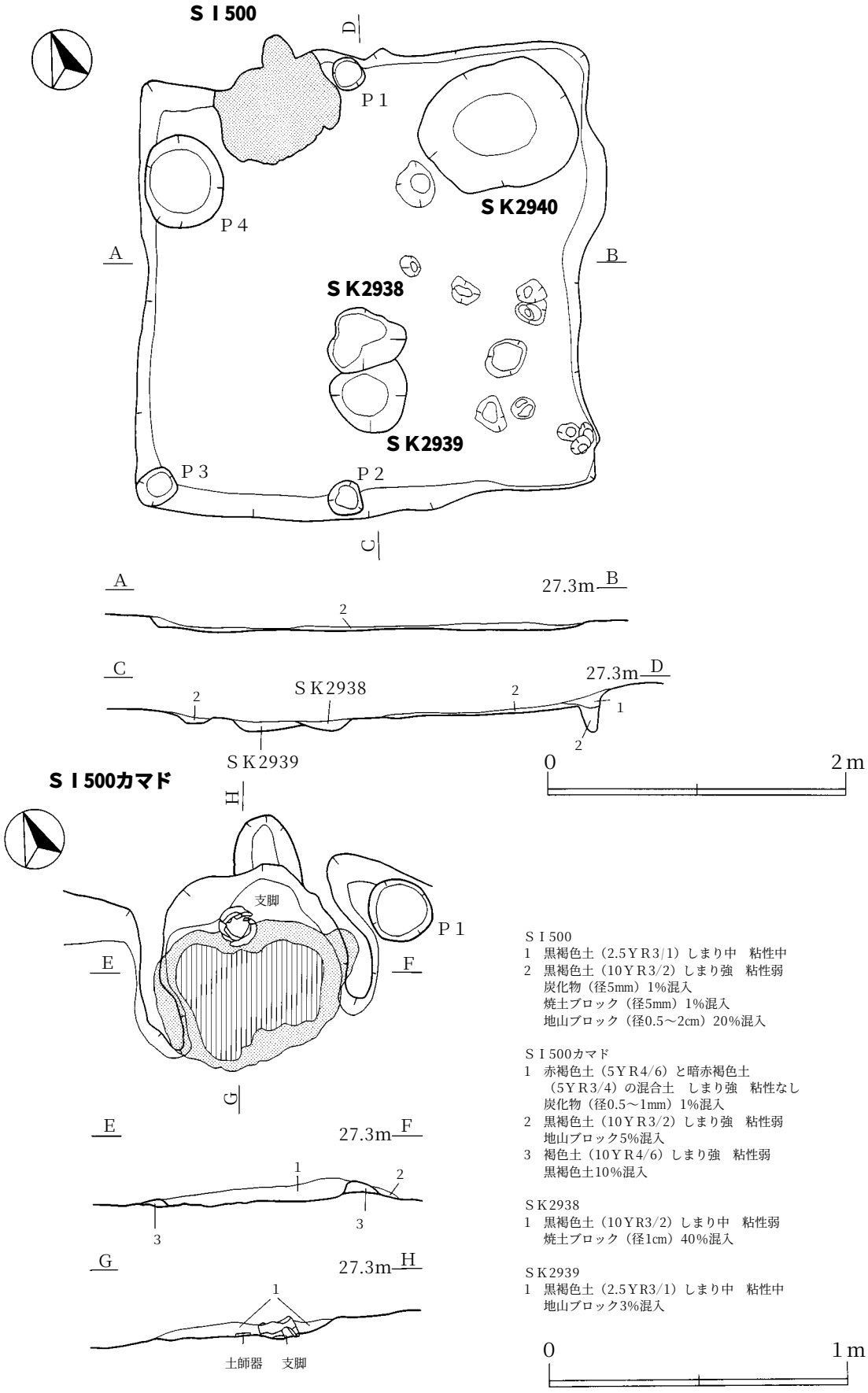
ＳＫＰ3013
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性中
　地山ブロック(径0.5～1cm)2% 混入



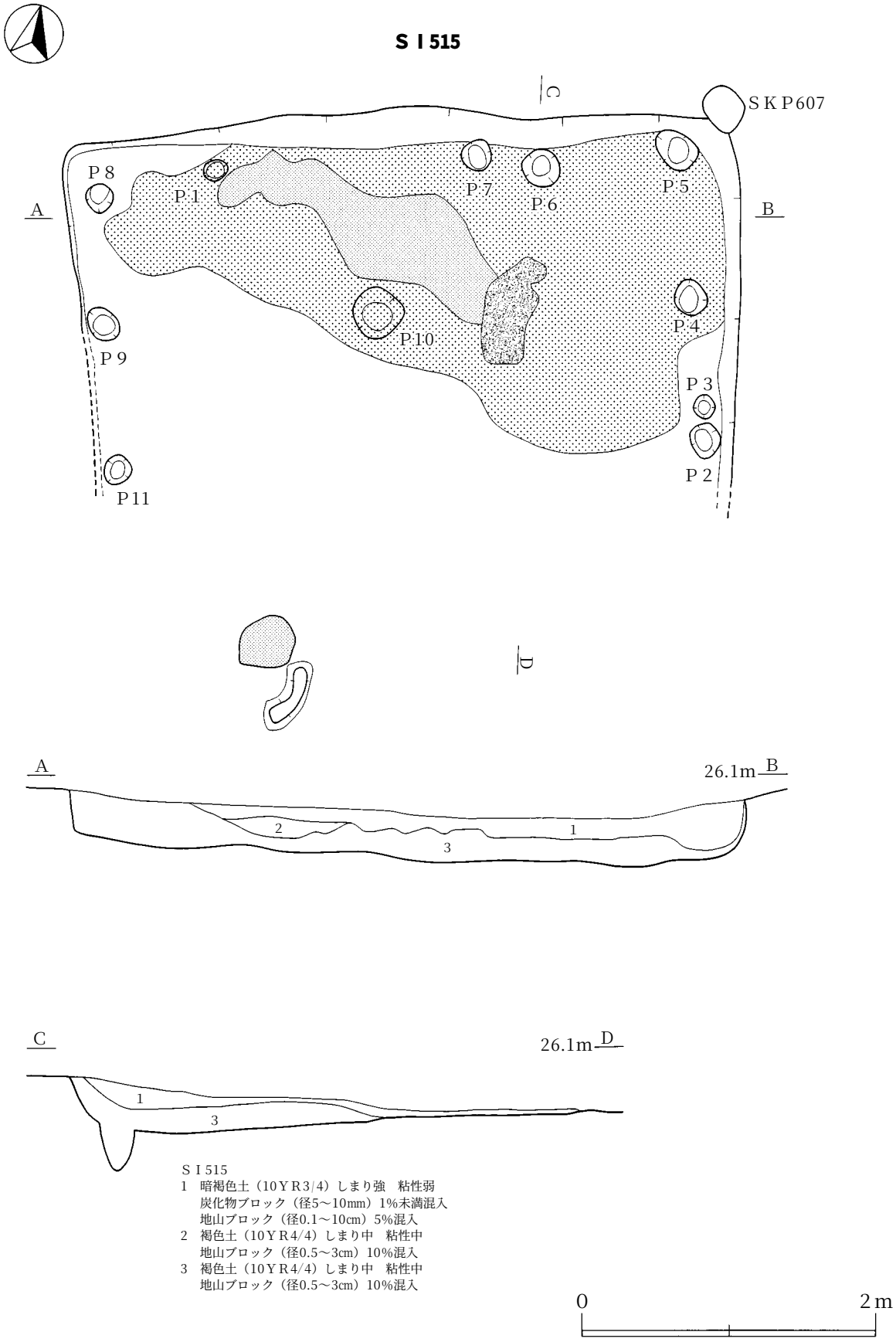
ＳＫＦ830
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性中
　炭化物（径1mm）1%
　地山ブロック（径5mm）3%混入



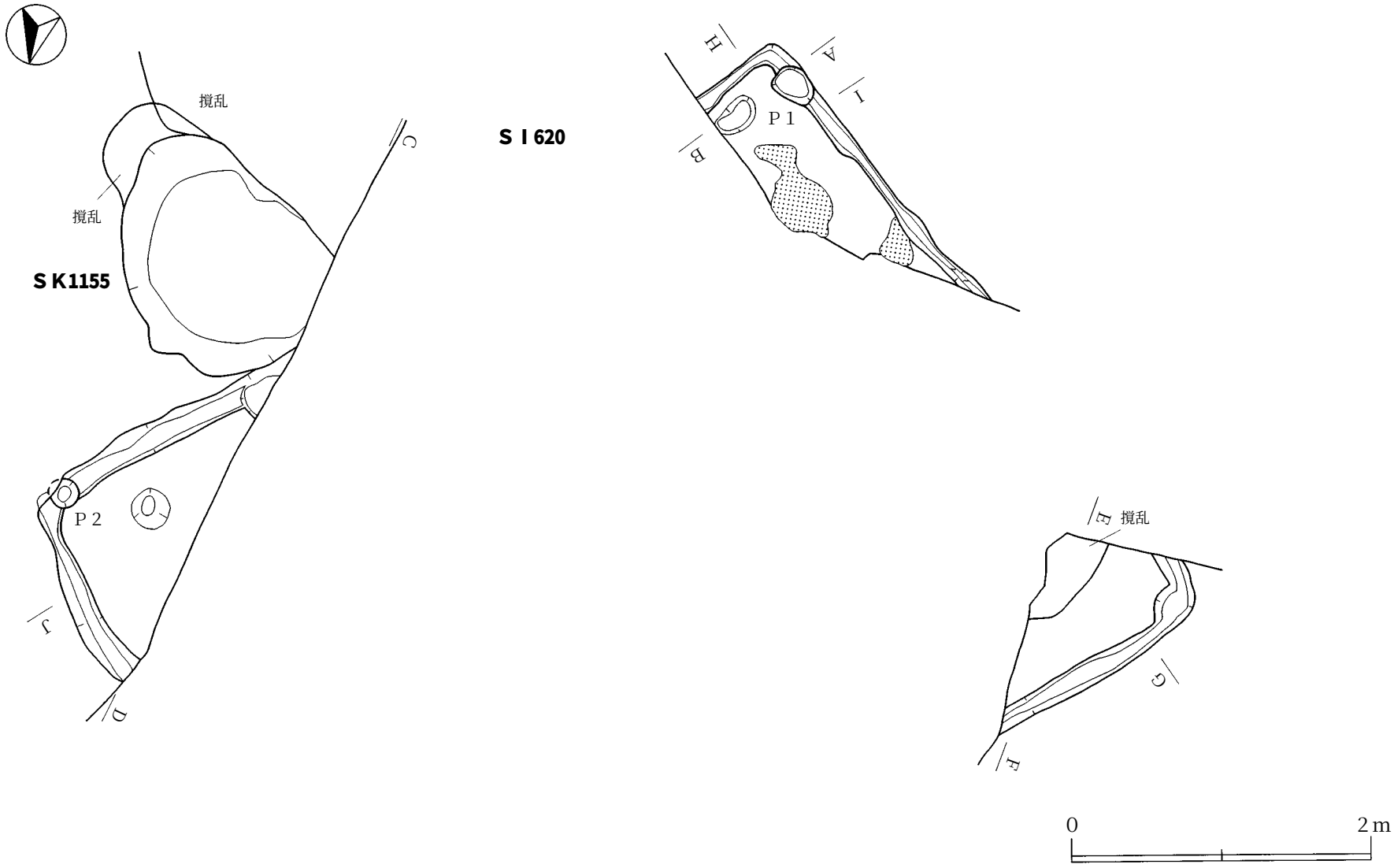
第54図　ＳＩ468竪穴住居跡　ＳＫＩ950・2892竪穴状遺構　ＳＫＦ830フラスコ状土坑（2）



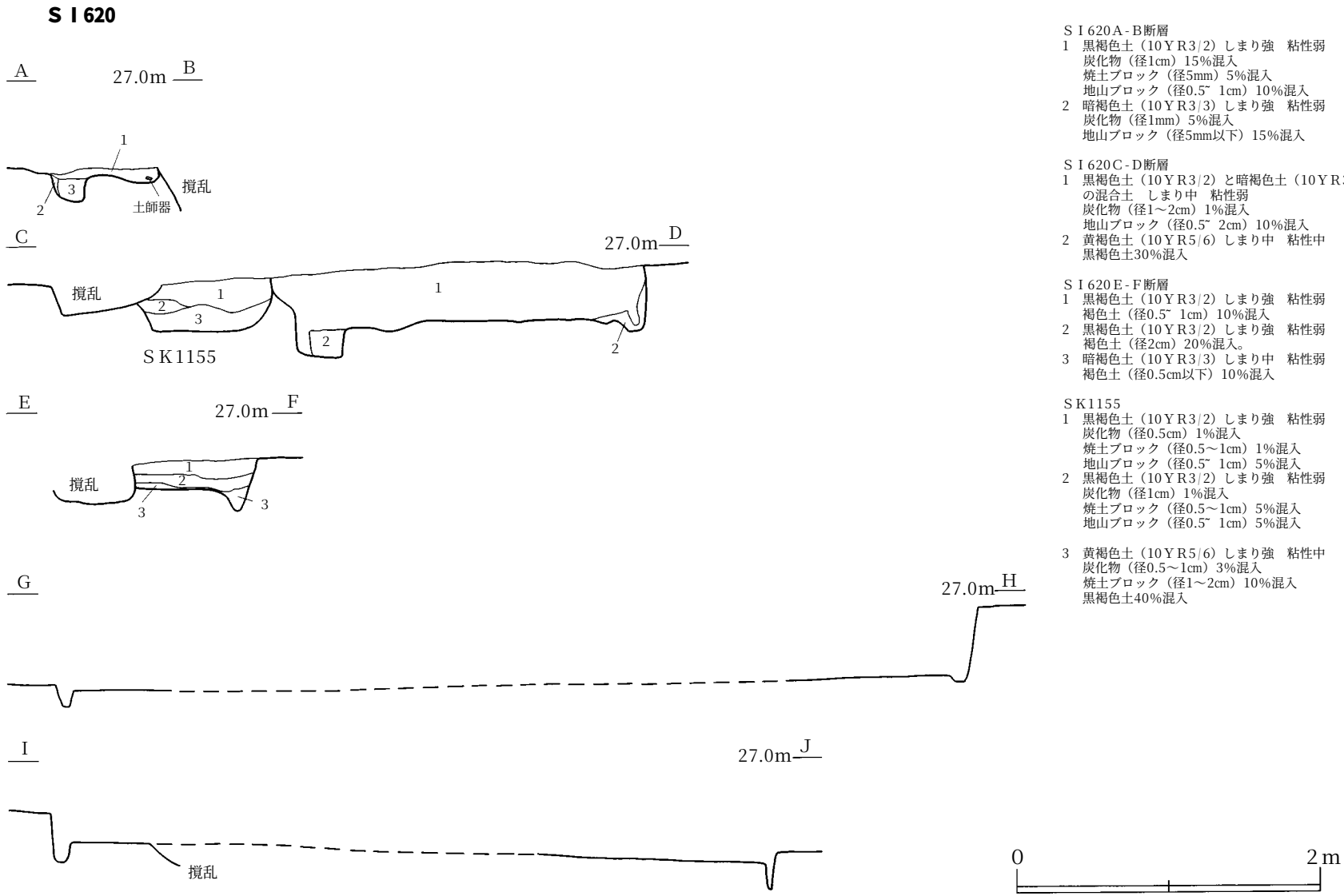
第55図　ＳＩ500竪穴住居跡　ＳＫ2938・2939・2940土坑



第56図　S I 515竪穴住居跡



第57図　ＳＩ620竪穴住居跡　ＳＫ1155土坑（1）



ＳＩ620Ａ-Ｂ断層
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1cm）15%混入
　焼土ブロック（径5mm）5%混入
　地山ブロック（径0.5~ 1cm）10%混入
2　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1mm）5%混入
　地山ブロック（径5mm以下）15%混入

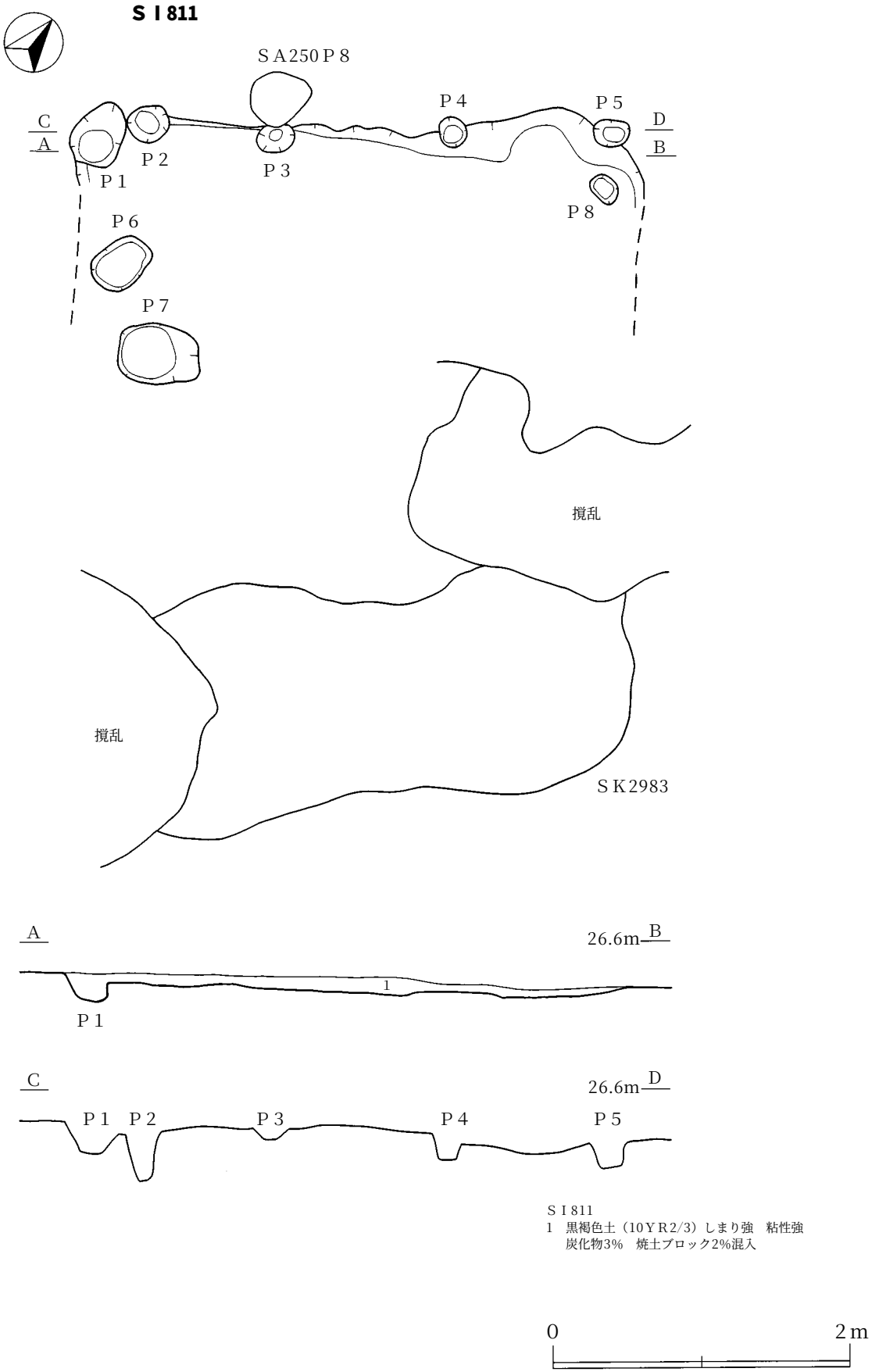
ＳＩ620Ｃ-Ｄ断層
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）と暗褐色土（10ＹＲ3/3）
　の混合土　しまり中　粘性弱
　炭化物（径1～2cm）1%混入
　地山ブロック（径0.5~ 2cm）10%混入
2　黄褐色土（10ＹＲ5/6）しまり中　粘性中
　黒褐色土30%混入

ＳＩ620Ｅ-Ｆ断層
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり強　粘性弱
　褐色土（径0.5~ 1cm）10%混入
2　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり強　粘性弱
　褐色土（径2cm）20%混入。
3　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり中　粘性弱
　褐色土（径0.5cm以下）10%混入

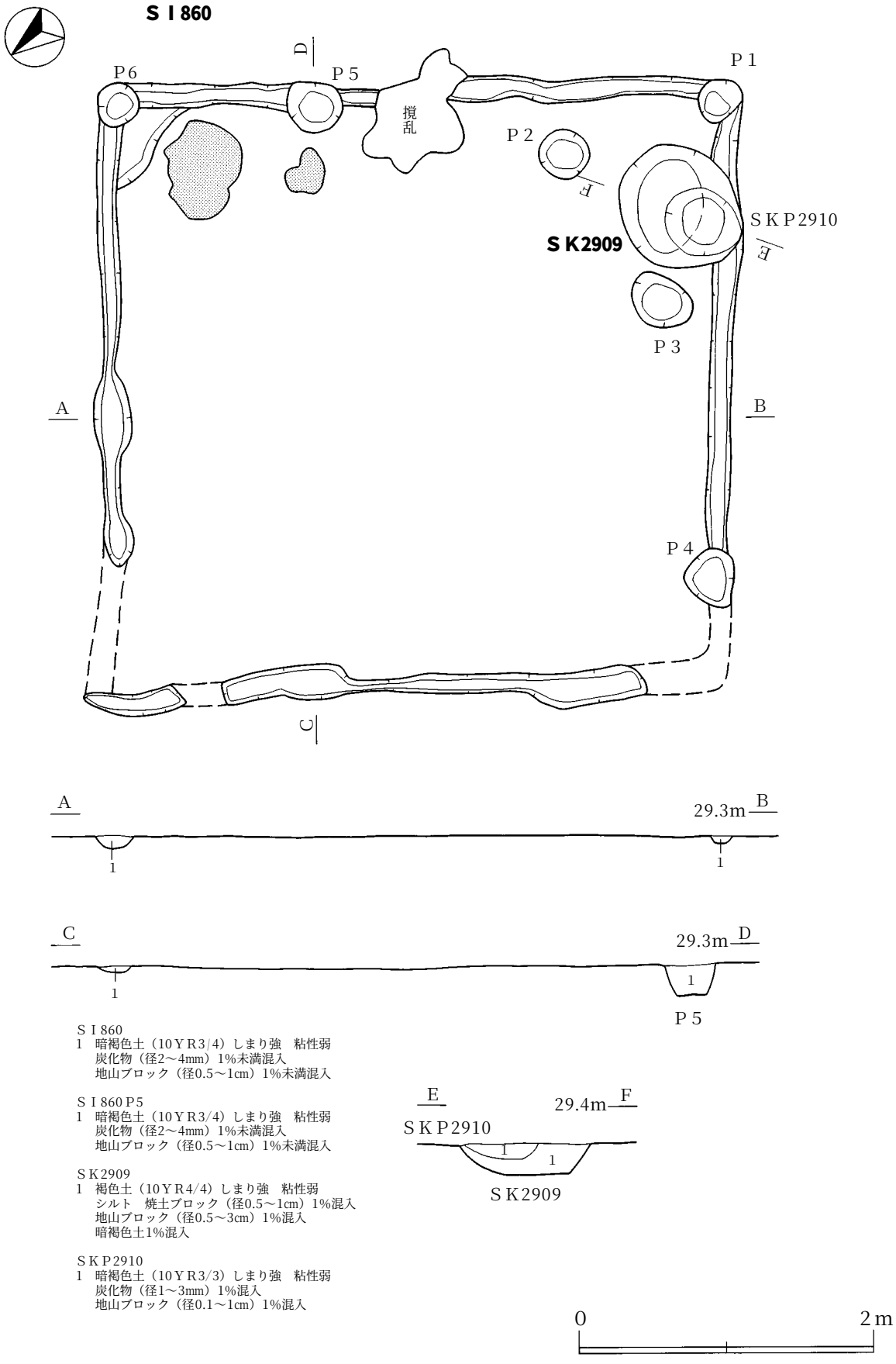
ＳＫ1155
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり強　粘性弱
　炭化物（径0.5cm）1%混入
　焼土ブロック（径0.5～1cm）1%混入
　地山ブロック（径0.5~ 1cm）5%混入
2　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1cm）1%混入
　焼土ブロック（径0.5～1cm）5%混入
　地山ブロック（径0.5~ 1cm）5%混入

3　黄褐色土（10ＹＲ5/6）しまり強　粘性中
　炭化物（径0.5～1cm）3%混入
　焼土ブロック（径1～2cm）10%混入
　黒褐色土40%混入

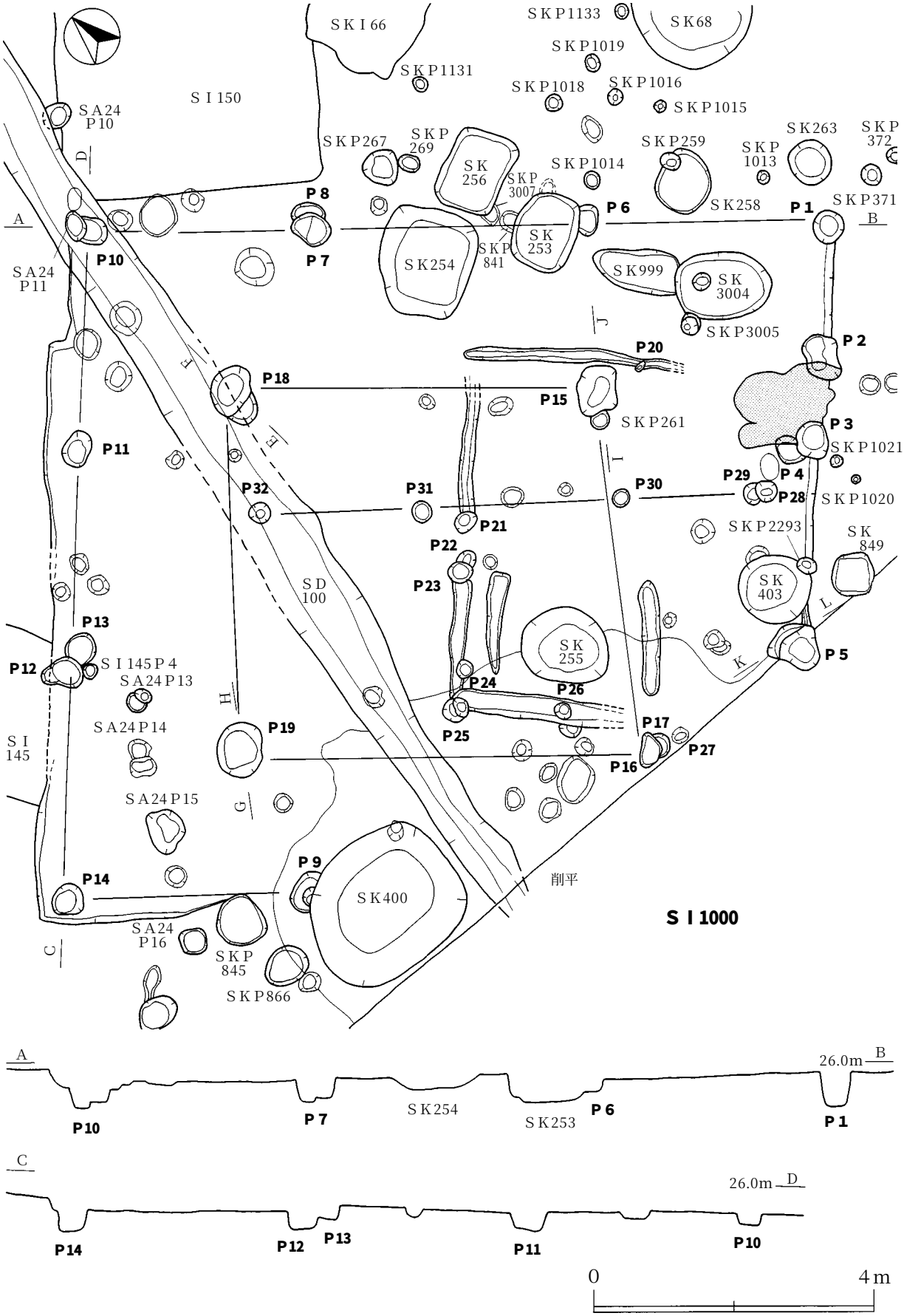
第58図　ＳＩ620竪穴住居跡　ＳＫ1155土坑（2）



第59図　ＳＩ811竪穴住居跡

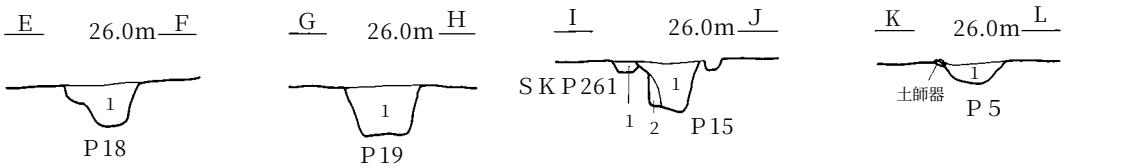


第60図　ＳＩ860竪穴住居跡　ＳＫ2909土坑



第61図　ＳＩ1000竪穴住居跡（1）

ＳＩ1000



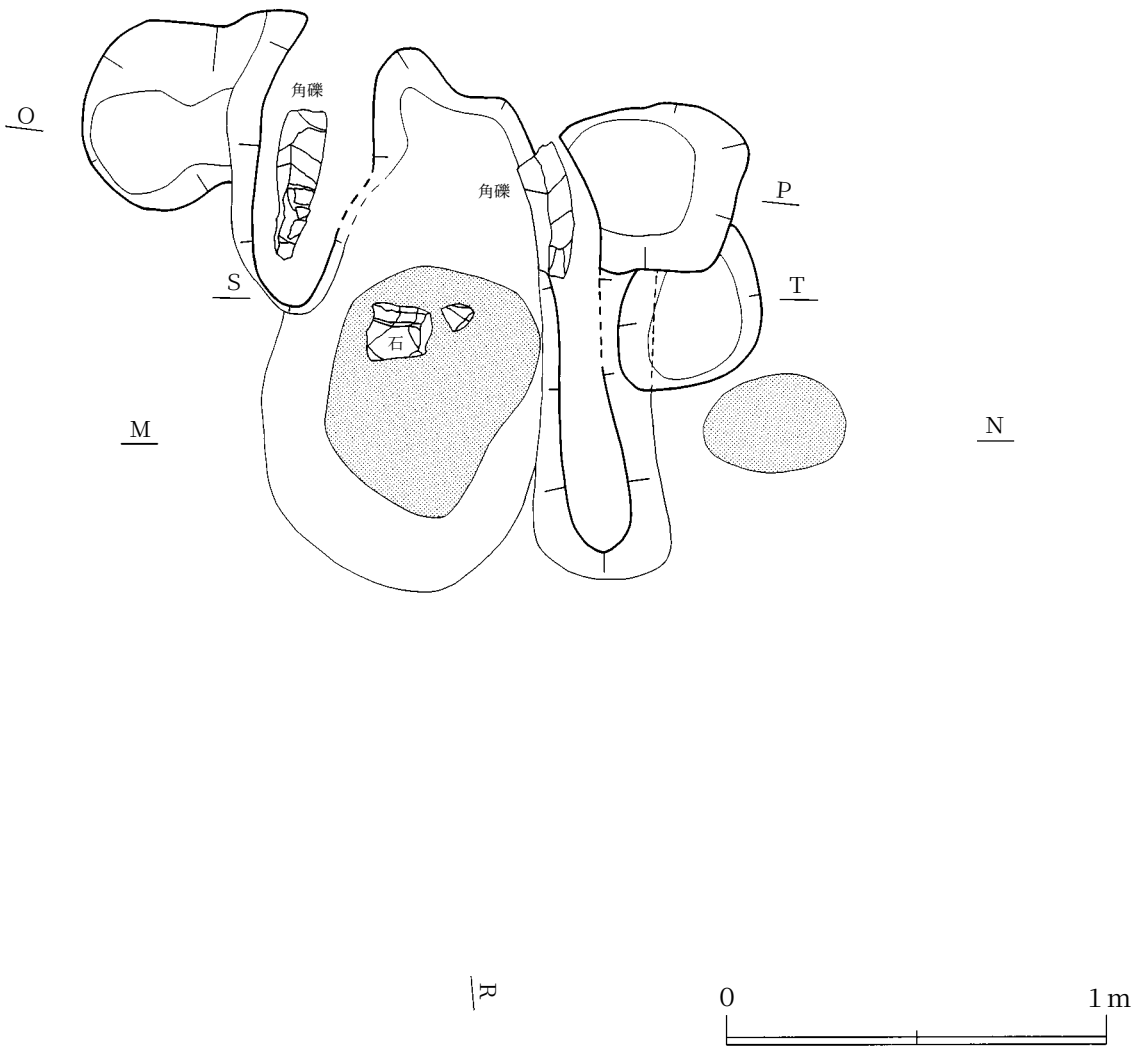
ＳＩ1000Ｐ18
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり弱　粘性中
　炭化物（径2mm）1%混入
　底部に地山ブロック

ＳＩ1000Ｐ19
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり中　粘性弱
　地山ブロック（径0.1～2cm）5%混入

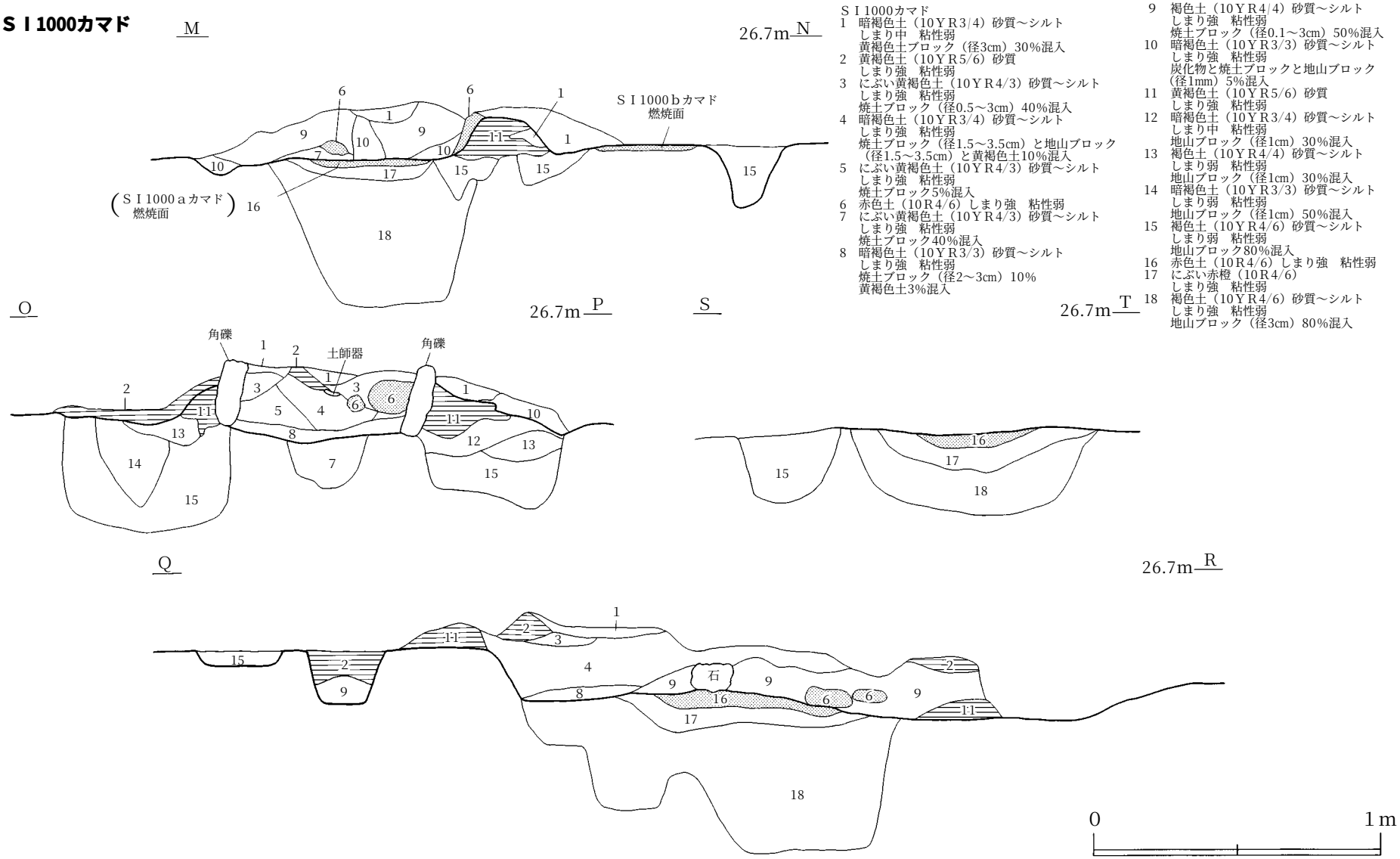
ＳＩ1000Ｐ15
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり中　粘性弱
　炭化物（径2mm）1%混入
2　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり弱　粘性中

ＳＩ1000Ｐ5
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%混入
　焼土ブロック（径2mm）1%混入
　地山ブロック（径1cm）5%混入

ＳＩ1000カマド



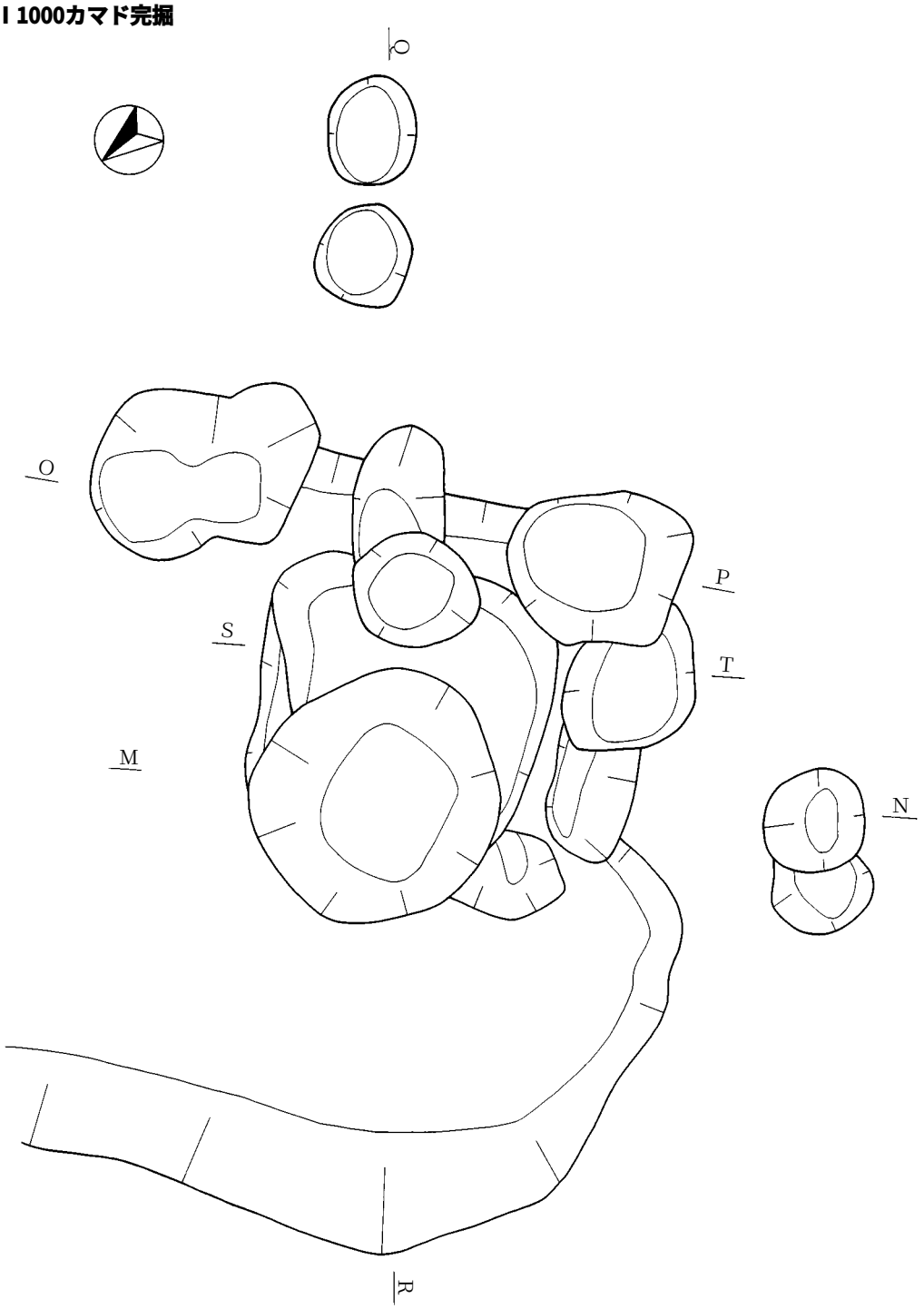
第62図　ＳＩ1000竪穴住居跡（2）



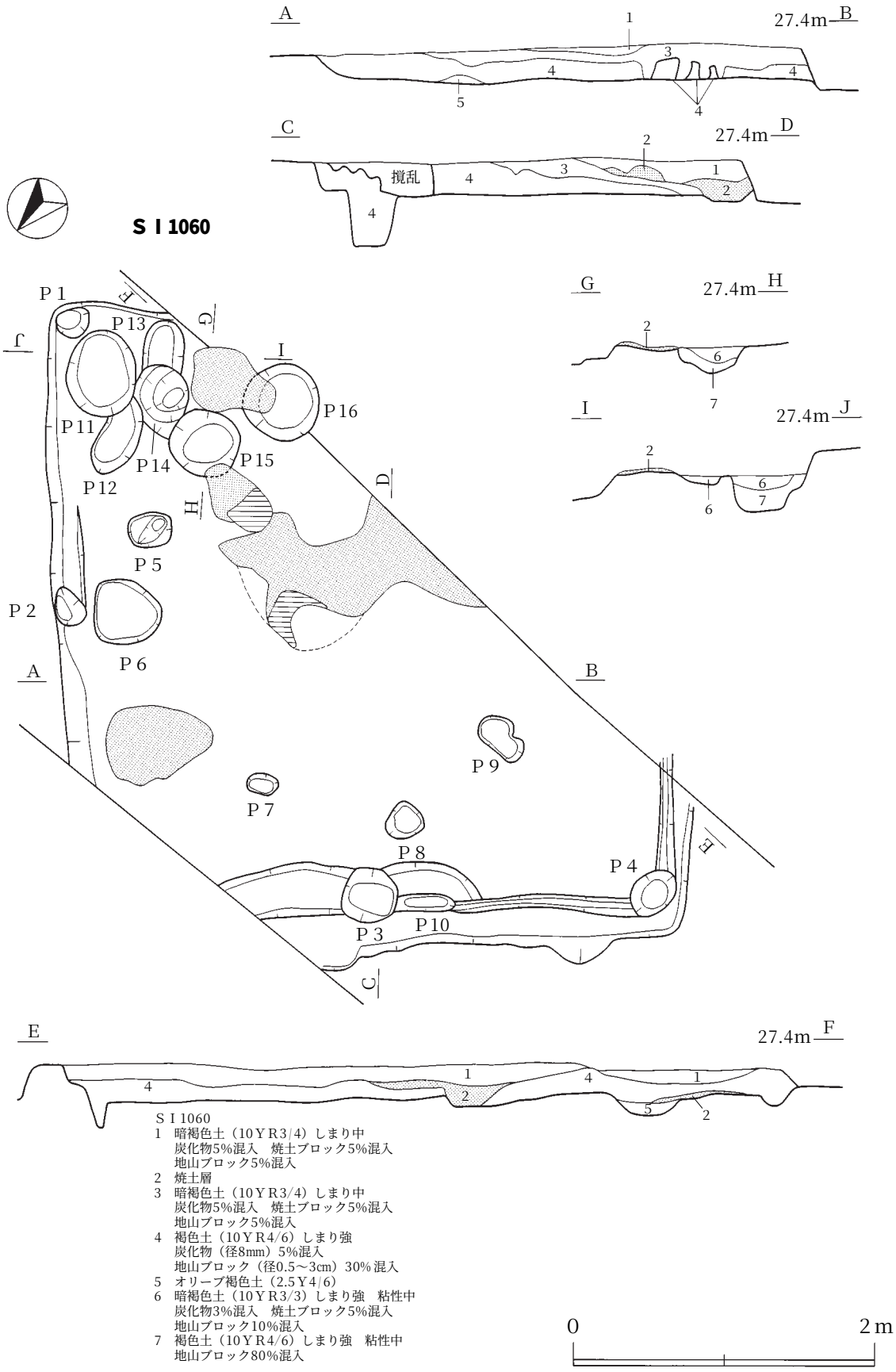
ＳＩ1000カマド
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）砂質～シルト
　しまり中　粘性弱
　黄褐色土ブロック（径3cm）30%混入
2　黄褐色土（10ＹＲ5/6）砂質
　しまり強　粘性弱
3　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）砂質～シルト
　しまり強　粘性弱
　焼土ブロック（径0.5～3cm）40%混入
4　暗褐色土（10ＹＲ3/4）砂質～シルト
　しまり強　粘性弱
　焼土ブロック（径1.5～3.5cm）と地山ブロック
　（径1.5～3.5cm）と黄褐色土10%混入
5　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）砂質～シルト
　しまり強　粘性弱
　焼土ブロック5%混入
6　赤色土（10Ｒ4/6）しまり強　粘性弱
7　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）砂質～シルト
　しまり強　粘性弱
　焼土ブロック40%混入
8　暗褐色土（10ＹＲ3/3）砂質～シルト
　しまり強　粘性弱
　焼土ブロック（径2～3cm）10%
　黄褐色土3%混入
9　褐色土（10ＹＲ4/4）砂質～シルト
　しまり強　粘性弱
　焼土ブロック（径0.1～3cm）50%混入
10　暗褐色土（10ＹＲ3/3）砂質～シルト
　しまり強　粘性弱
　炭化物と焼土ブロックと地山ブロック
　（径1mm）5%混入
11　黄褐色土（10ＹＲ5/6）砂質
　しまり強　粘性弱
12　暗褐色土（10ＹＲ3/4）砂質～シルト
　しまり中　粘性弱
　地山ブロック（径1cm）30%混入
13　褐色土（10ＹＲ4/4）砂質～シルト
　しまり弱　粘性弱
　地山ブロック（径1cm）30%混入
14　暗褐色土（10ＹＲ3/3）砂質～シルト
　しまり弱　粘性弱
　地山ブロック（径1cm）50%混入
15　褐色土（10ＹＲ4/6）砂質～シルト
　しまり弱　粘性弱
　地山ブロック80%混入
16　赤色土（10Ｒ4/6）しまり強　粘性弱
17　にぶい赤橙（10Ｒ4/6）
　しまり強　粘性弱
18　褐色土（10ＹＲ4/6）砂質～シルト
　しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径3cm）80%混入

第63図　ＳＩ1000竪穴住居跡（3）

ＳＩ1000カマド完掘

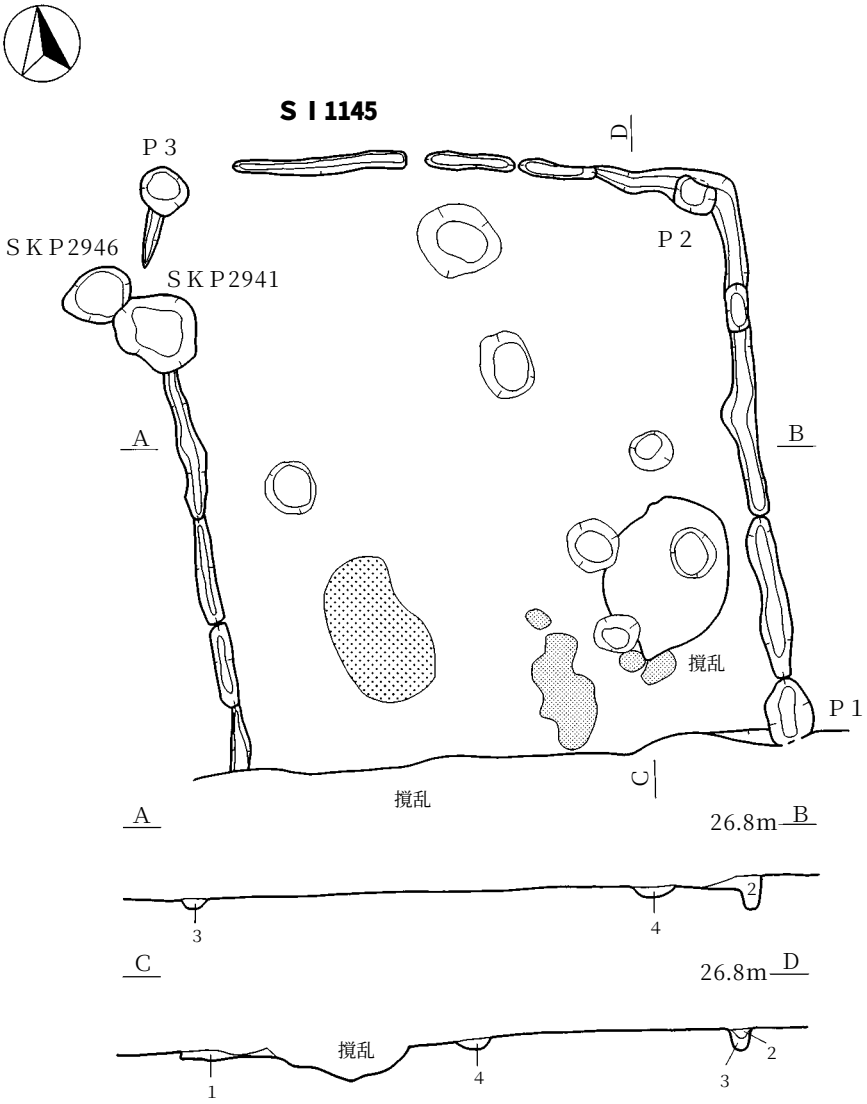


第64図　ＳＩ1000竪穴住居跡（４）



S I 1060
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり中
　炭化物5%混入　焼土ブロック5%混入
　地山ブロック5%混入
2　焼土層
3　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり中
　炭化物5%混入　焼土ブロック5%混入
　地山ブロック5%混入
4　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強
　炭化物（径8mm）5%混入
　地山ブロック（径0.5～3cm）30%混入
5　オリーブ褐色土（2.5Ｙ4/6）
6　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性中
　炭化物3%混入　焼土ブロック5%混入
　地山ブロック10%混入
7　褐色土（10ＹＲ4/6）しまり強　粘性中
　地山ブロック80%混入

第65図　ＳＩ1060竪穴住居跡

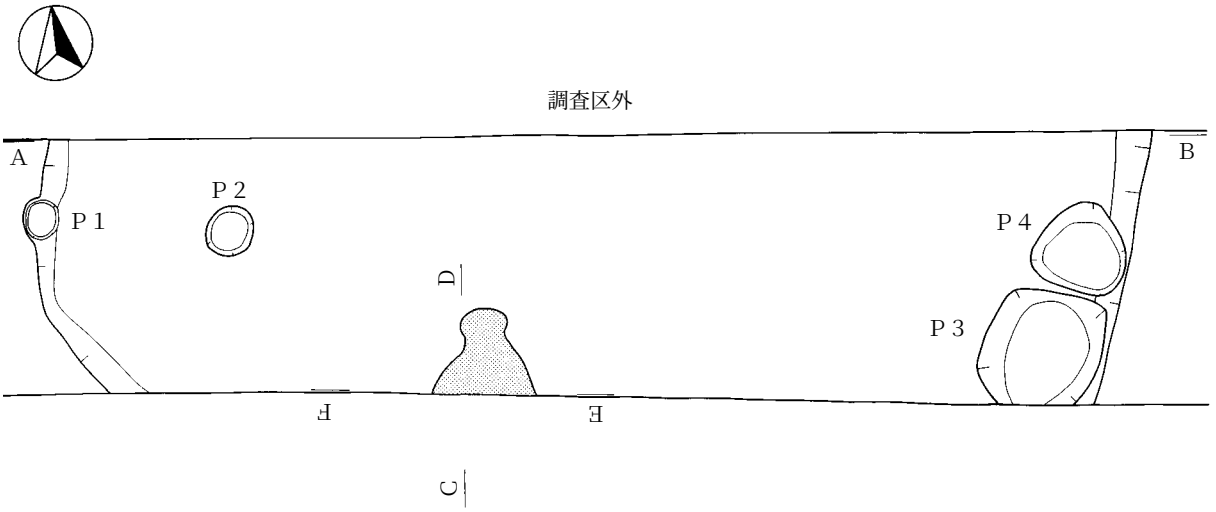


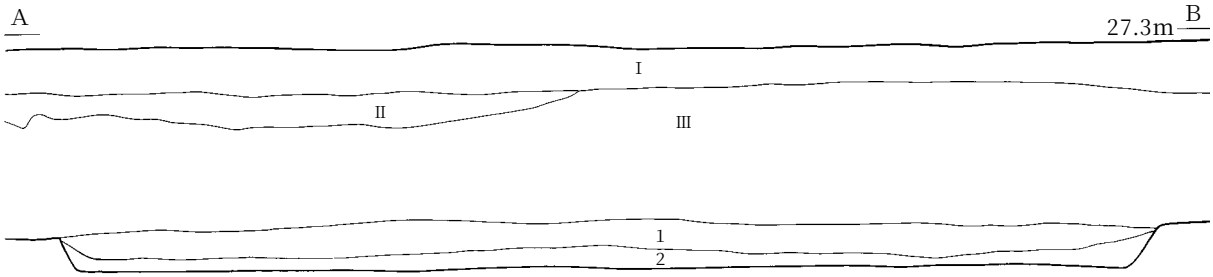
ＳＩ1145
1　暗褐色土（10ＹＲ3/2）しまり強　粘性弱
　炭化物（径5mm）1%未満混入
　地山ブロック10%混入
2　暗褐色土（10ＹＲ3/2）しまり強　粘性弱
　地山ブロック10%混入
3　暗褐色土（10ＹＲ3/2）しまり強　粘性弱
　地山ブロック30%混入
4　暗褐色土（10ＹＲ3/2）しまり強　粘性弱
　地山ブロック10%混入

0　2m

第66図　ＳＩ1145竪穴住居跡

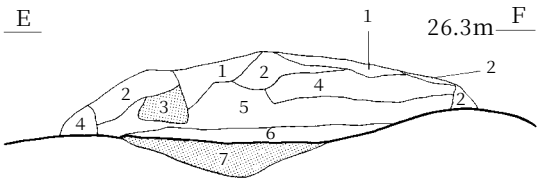
ＳＩ1200

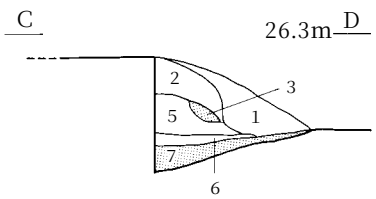




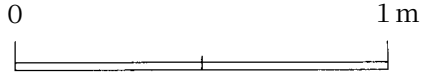
ＳＩ1200
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり強　粘性弱
　炭化物1%
　地山ブロック（径0.3～4cm）5%混入
2　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%
　地山ブロック（径0.1～1cm）10%混入

ＳＩ1200カマド

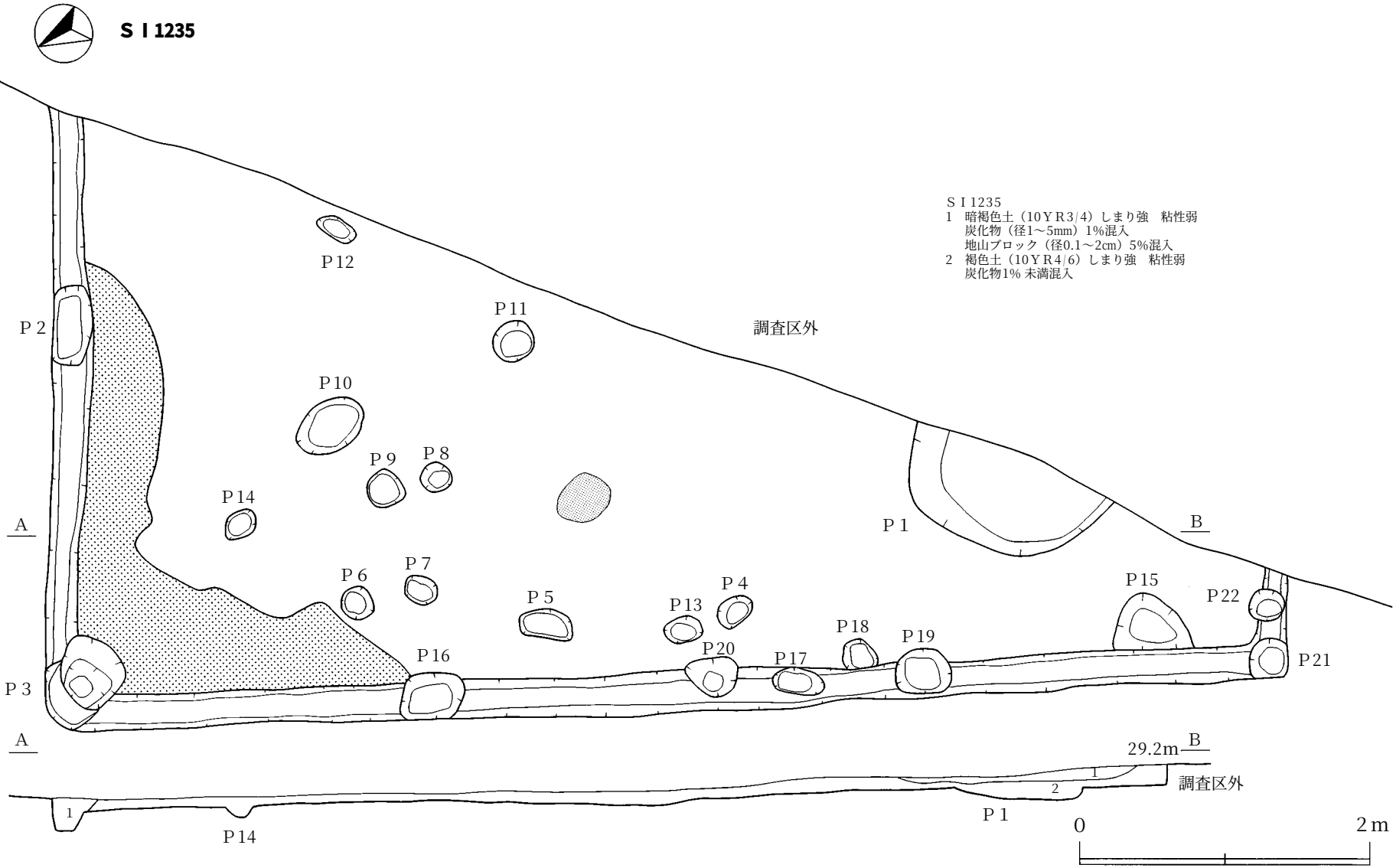




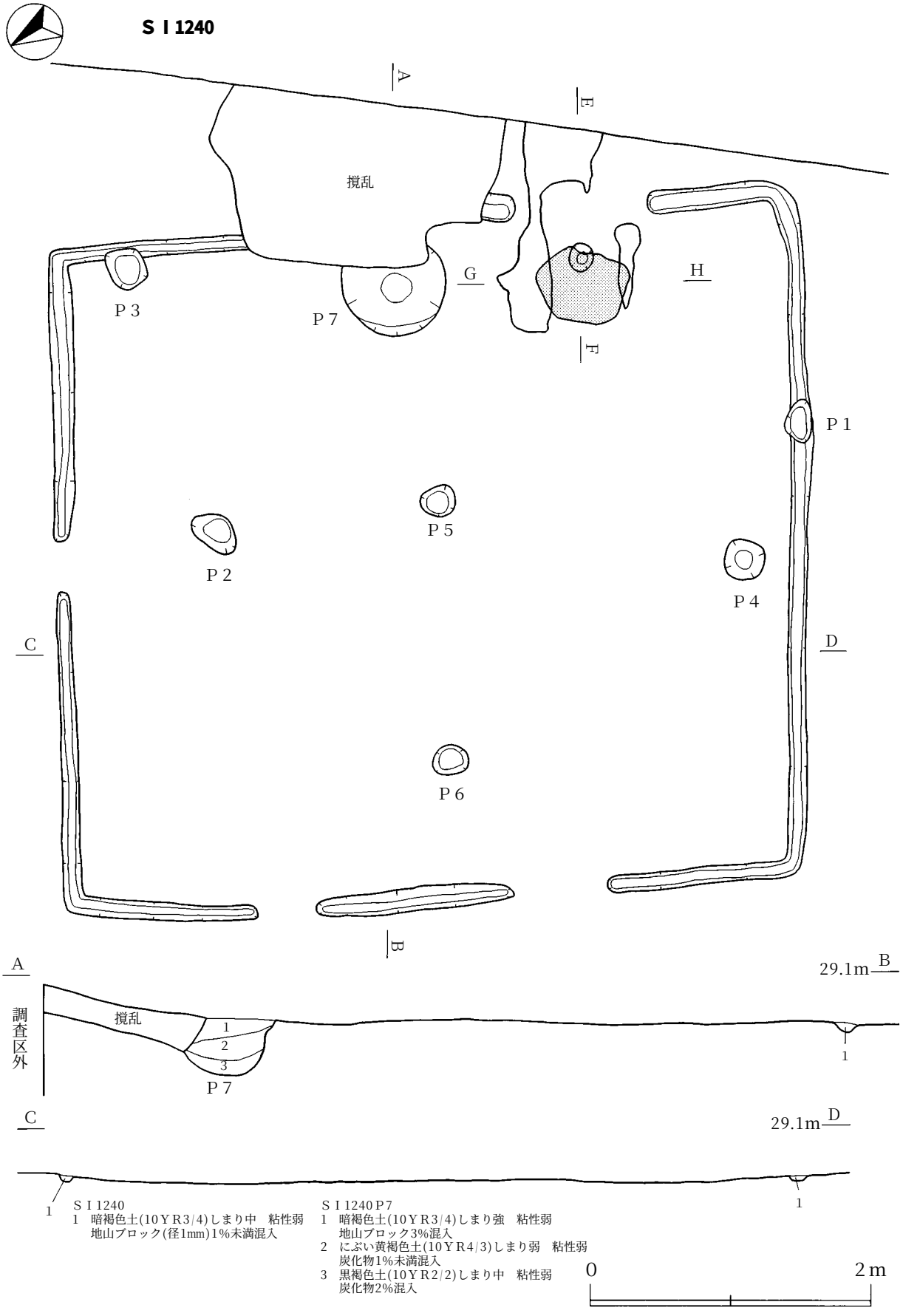
ＳＩ1200カマド
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入
　地山ブロック（径0.3～4cm）混入
2　明褐色土（7.5ＹＲ5/6）しまり中　粘性弱
　炭化物1%未満混入
3　赤褐色土（5ＹＲ4/6）しまり中　粘性弱
　炭化物1%未満混入
4　暗赤褐色土（5ＹＲ3/4）しまり弱　粘性弱
　炭化物1%未満混入
5　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり弱　粘性弱
　炭化物1%未満混入
　焼土ブロック（径1～3mm）1%混入
6　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入
　焼土ブロック1%未満混入
7　赤褐色土（2.5ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱



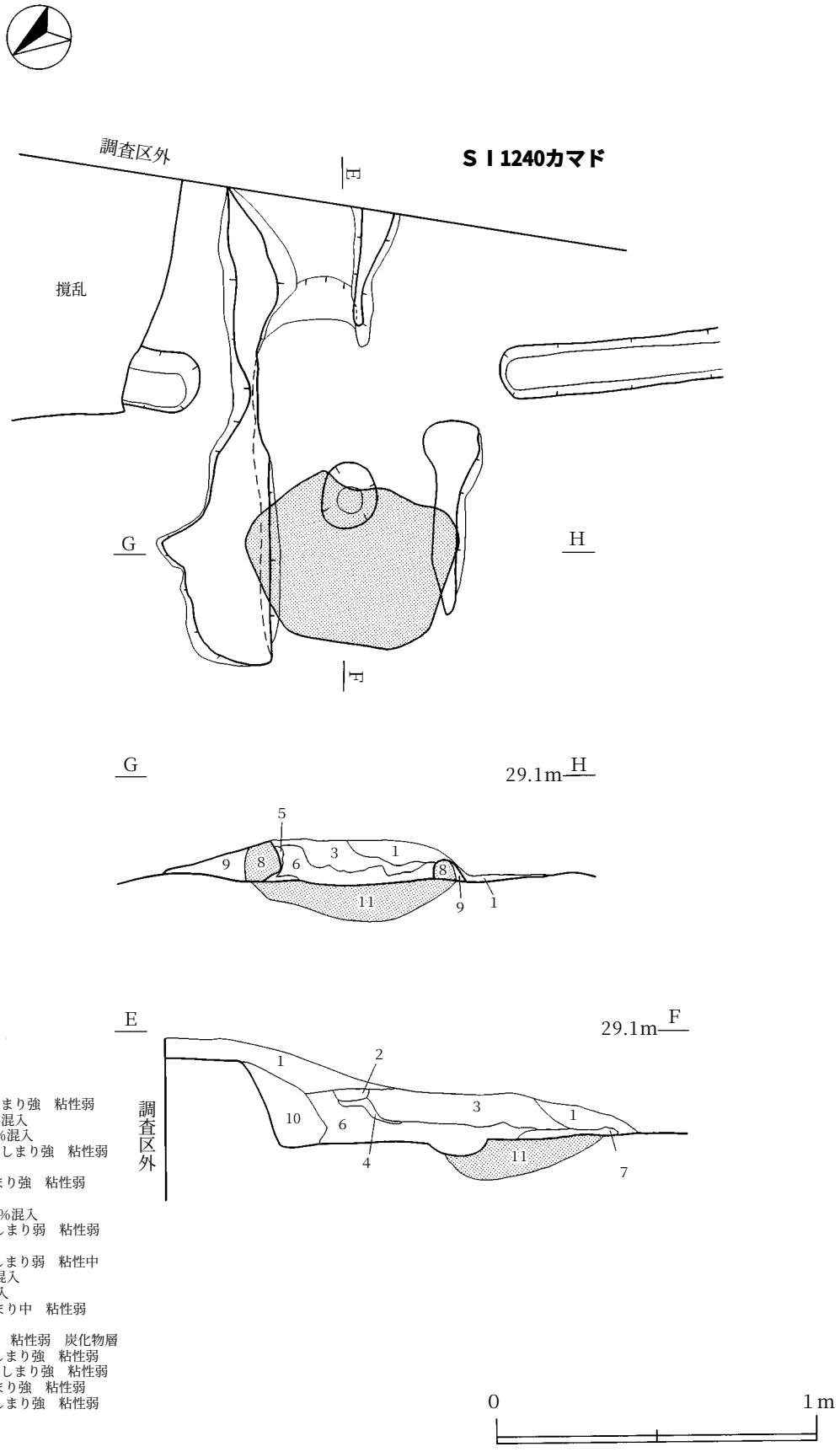
第67図　ＳＩ1200竪穴住居跡



第68図　ＳＩ1235竪穴住居跡

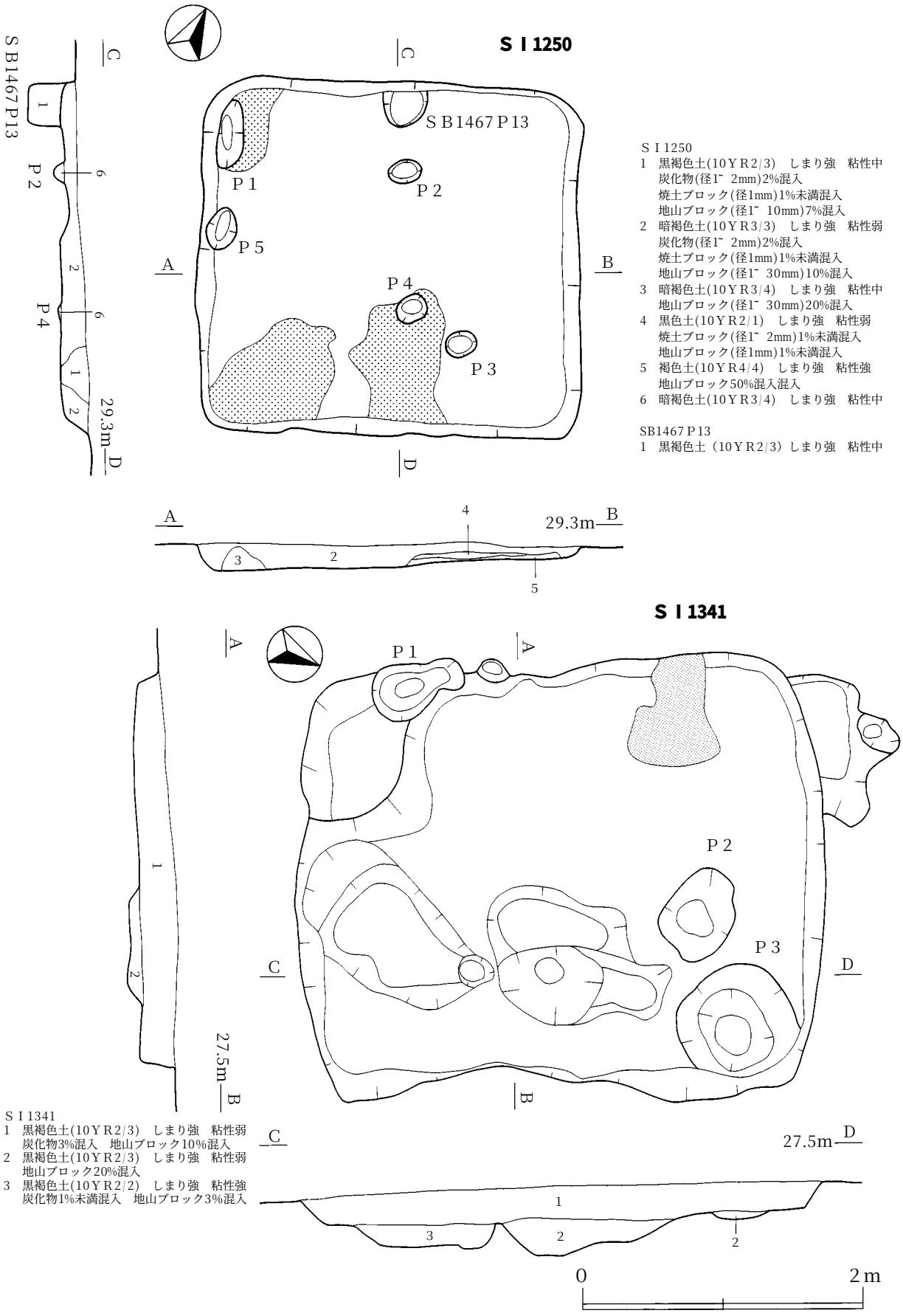


第69図　ＳＩ1240竪穴住居跡（1）

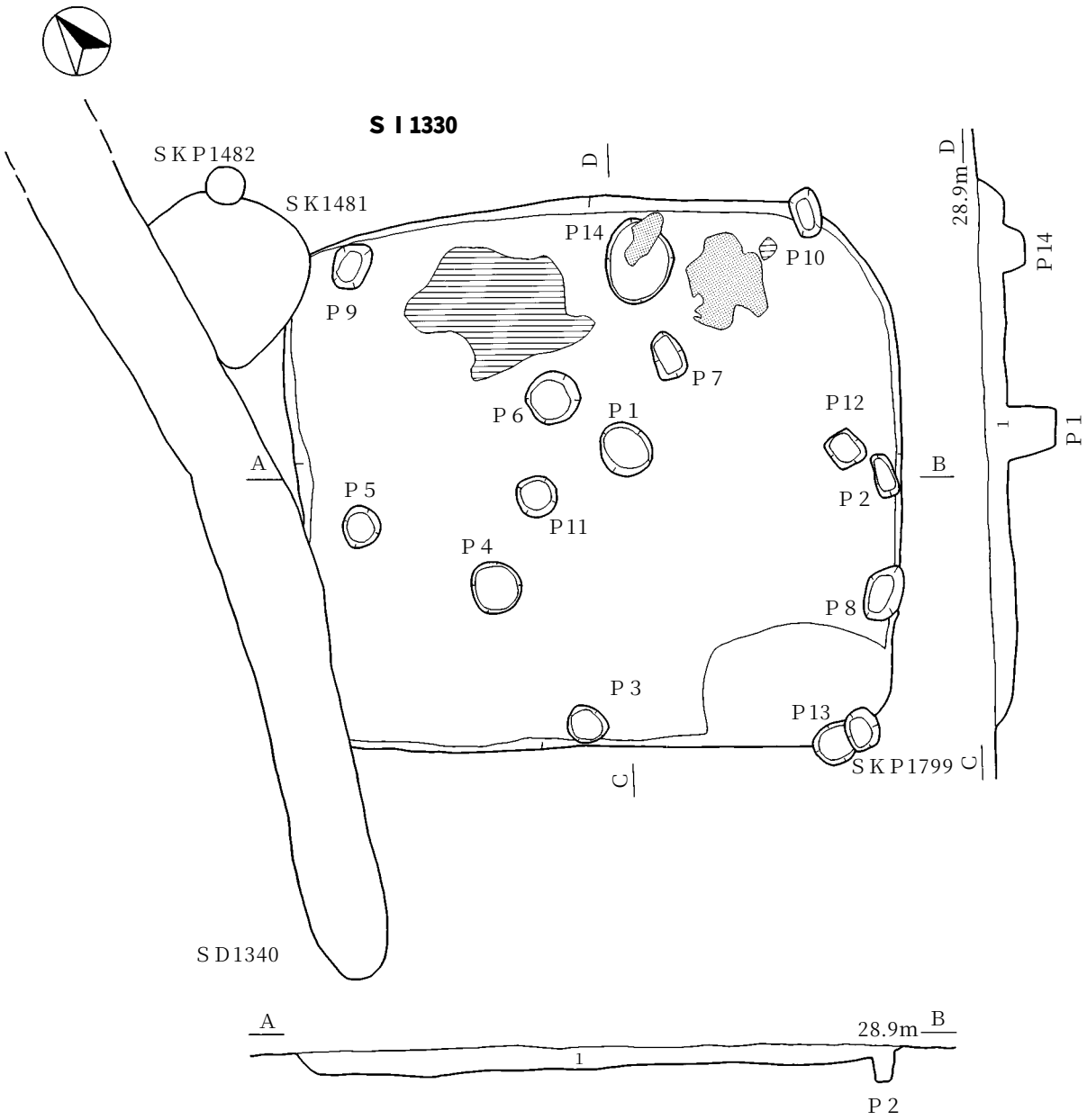


ＳＩ1240カマド
1　暗褐色土(10ＹＲ3/3)しまり強　粘性弱
　炭化物(径0.1～2cm)1%混入
　焼土ブロック(径2cm)2%混入
2　明黄褐色土(10ＹＲ5/6)しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入
3　褐色土(7.5ＹＲ4/4)しまり強　粘性弱
　炭化物(径1mm)1%混入
　焼土ブロック(径2mm)1%混入
4　暗赤褐色土(5ＹＲ3/6)しまり弱　粘性弱
　炭化物1%未満混入
5　黒褐色土(7.5ＹＲ3/2)しまり弱　粘性中
　炭化物(径1～3mm)1%混入
　焼土ブロック1%未満混入
6　赤褐色土(5ＹＲ4/6)しまり中　粘性弱
　炭化物1%混入
7　黒色土(N2/0)しまり弱　粘性弱　炭化物層
8　赤褐色土(2.5ＹＲ4/6)しまり強　粘性弱
9　明黄褐色土(10ＹＲ6/6)しまり強　粘性弱
10　褐色土(7.5ＹＲ4/6)しまり強　粘性弱
11　赤褐色土(2.5ＹＲ4/6)しまり強　粘性弱

第70図　ＳＩ1240竪穴住居跡（2）

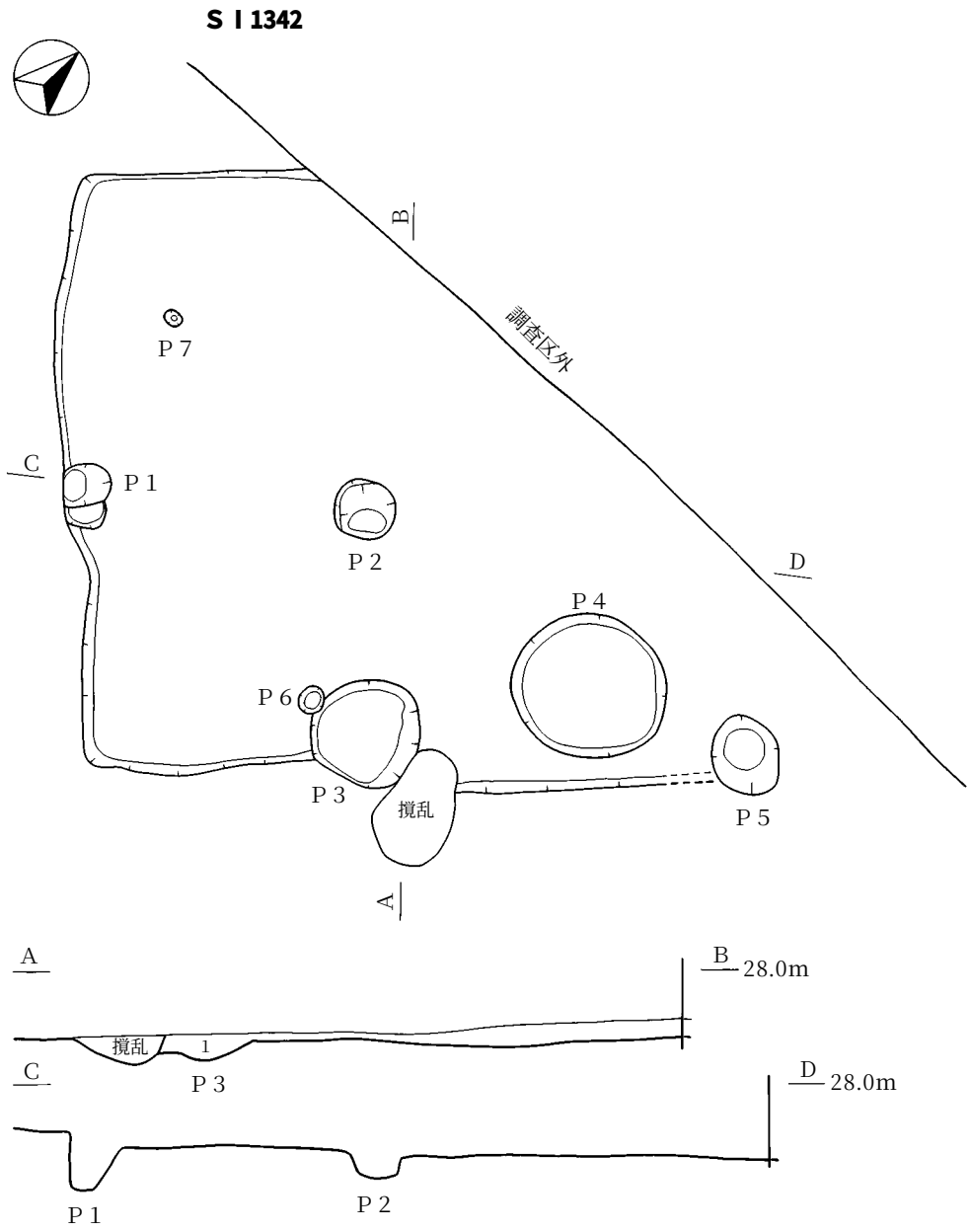


第71図　S I 1250・1341竪穴住居跡

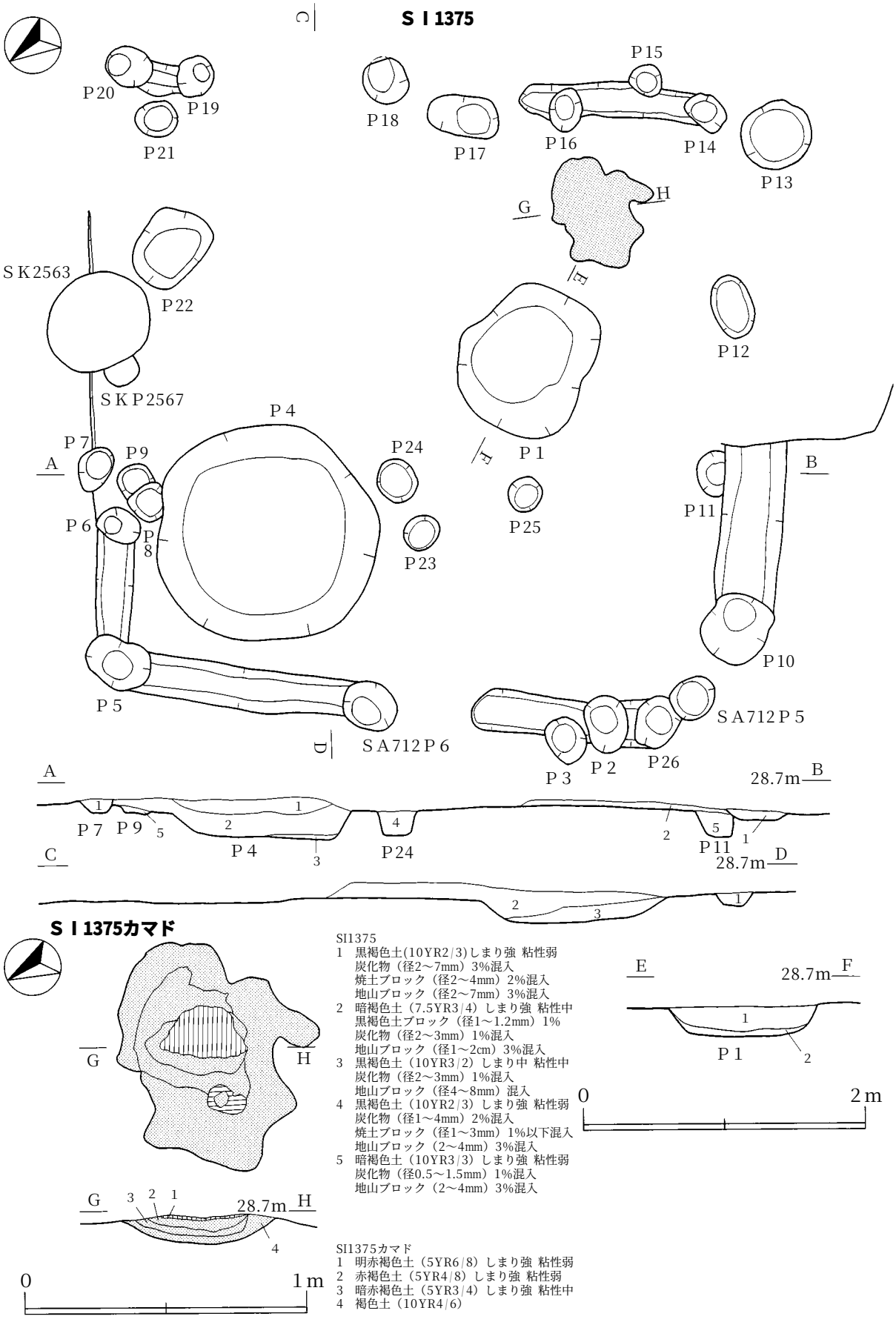


ＳＩ1330
1　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり強　粘性中
　　地山ブロック1%未満混入

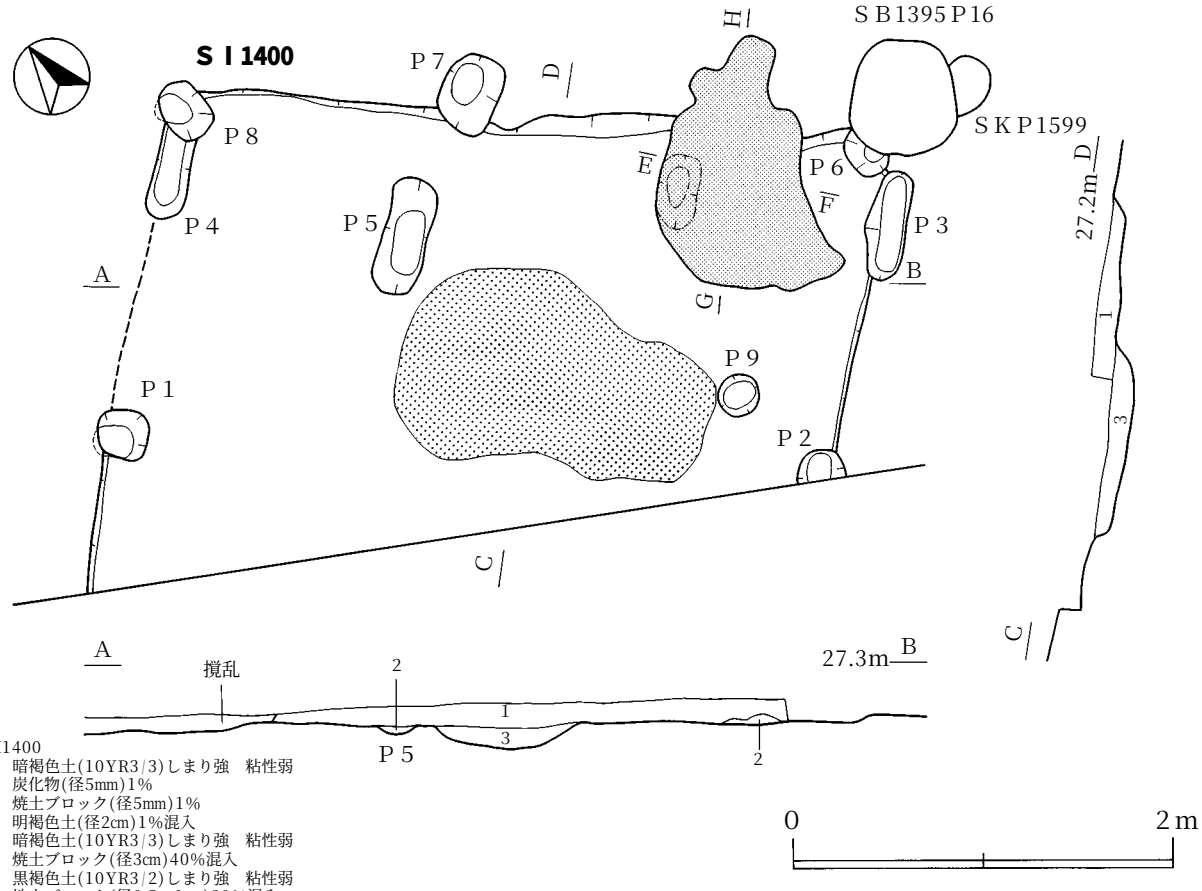
第72図　ＳＩ1330竪穴住居跡

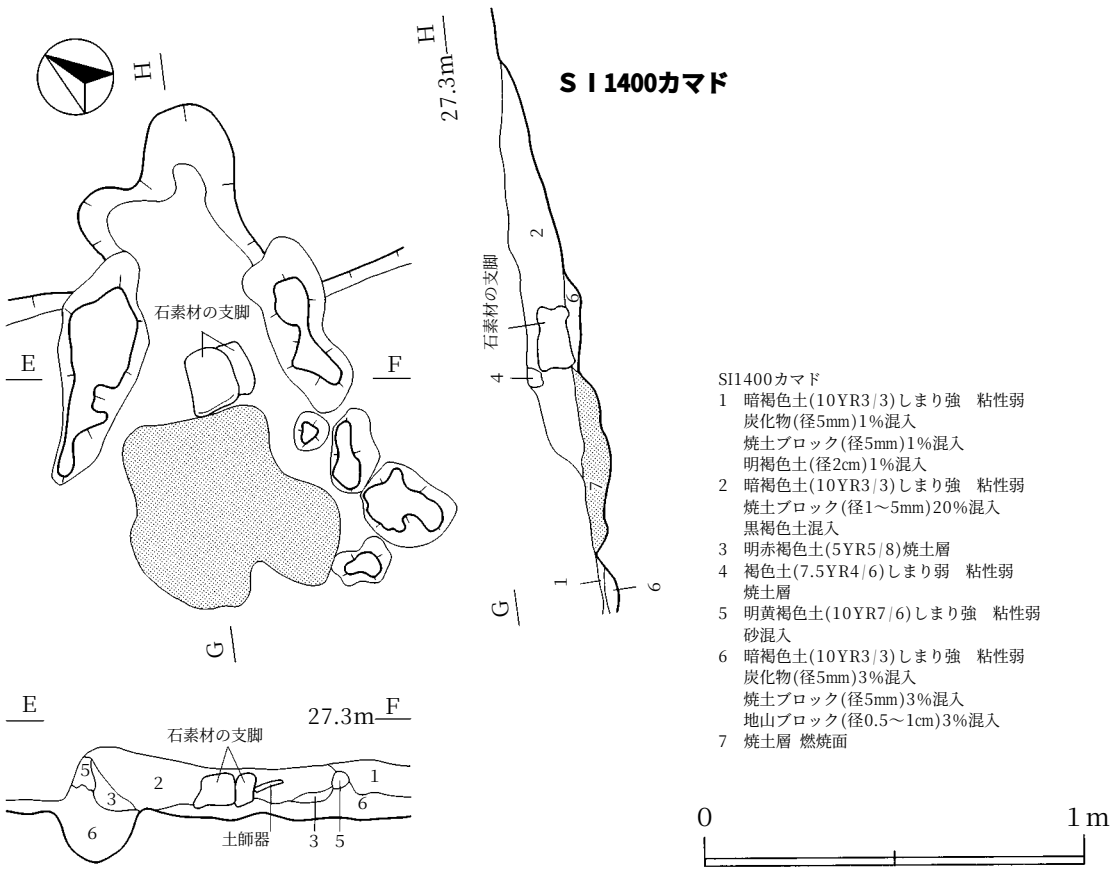


第73図　ＳＩ1342竪穴住居跡

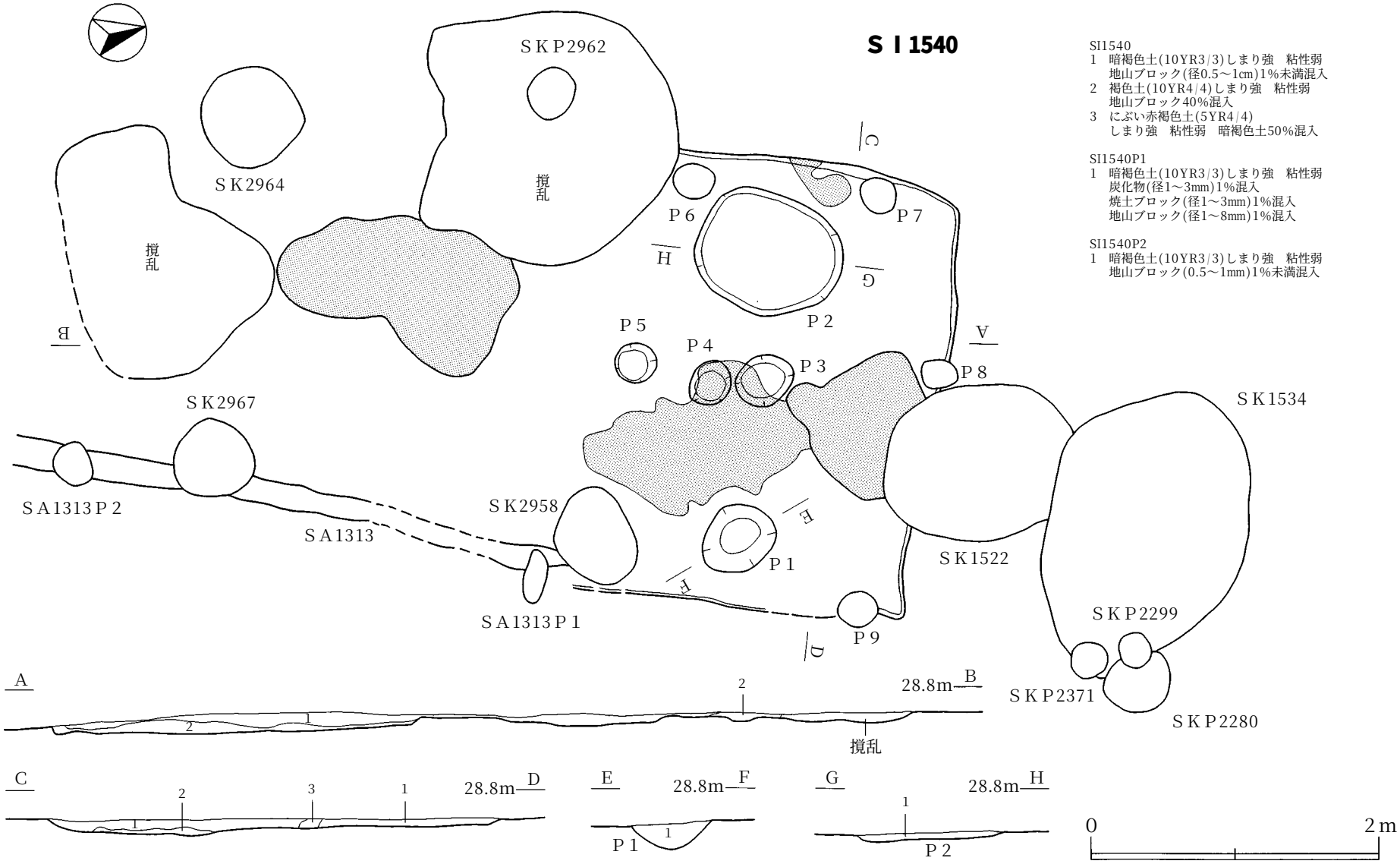


第74図　ＳＩ1375竪穴住居跡





第75図　ＳＩ1400竪穴住居跡

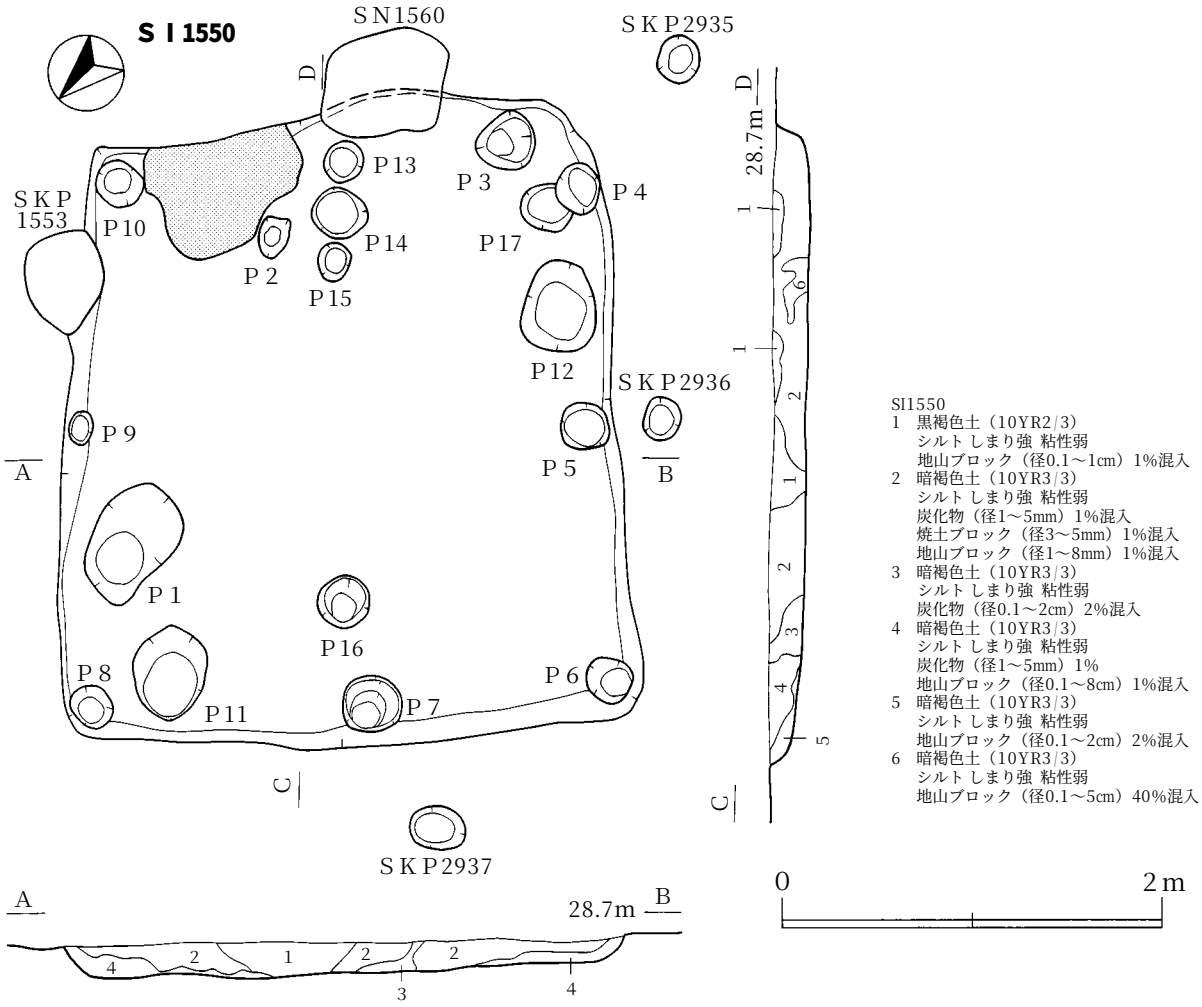


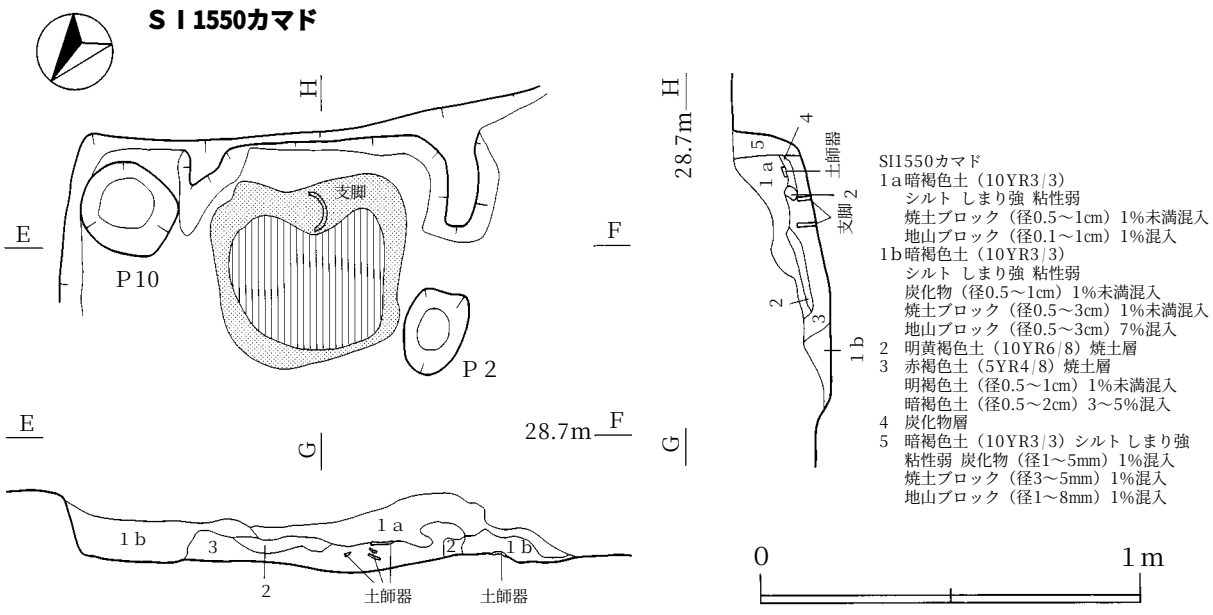
SI1540
1　暗褐色土(10YR3/3)しまり強　粘性弱
　地山ブロック(径0.5～1cm)1%未満混入
2　褐色土(10YR4/4)しまり強　粘性弱
　地山ブロック40%混入
3　にぶい赤褐色土(5YR4/4)
　しまり強　粘性弱　暗褐色土50%混入

SI1540P1
1　暗褐色土(10YR3/3)しまり強　粘性弱
　炭化物(径1～3mm)1%混入
　焼土ブロック(径1～3mm)1%混入
　地山ブロック(径1～8mm)1%混入

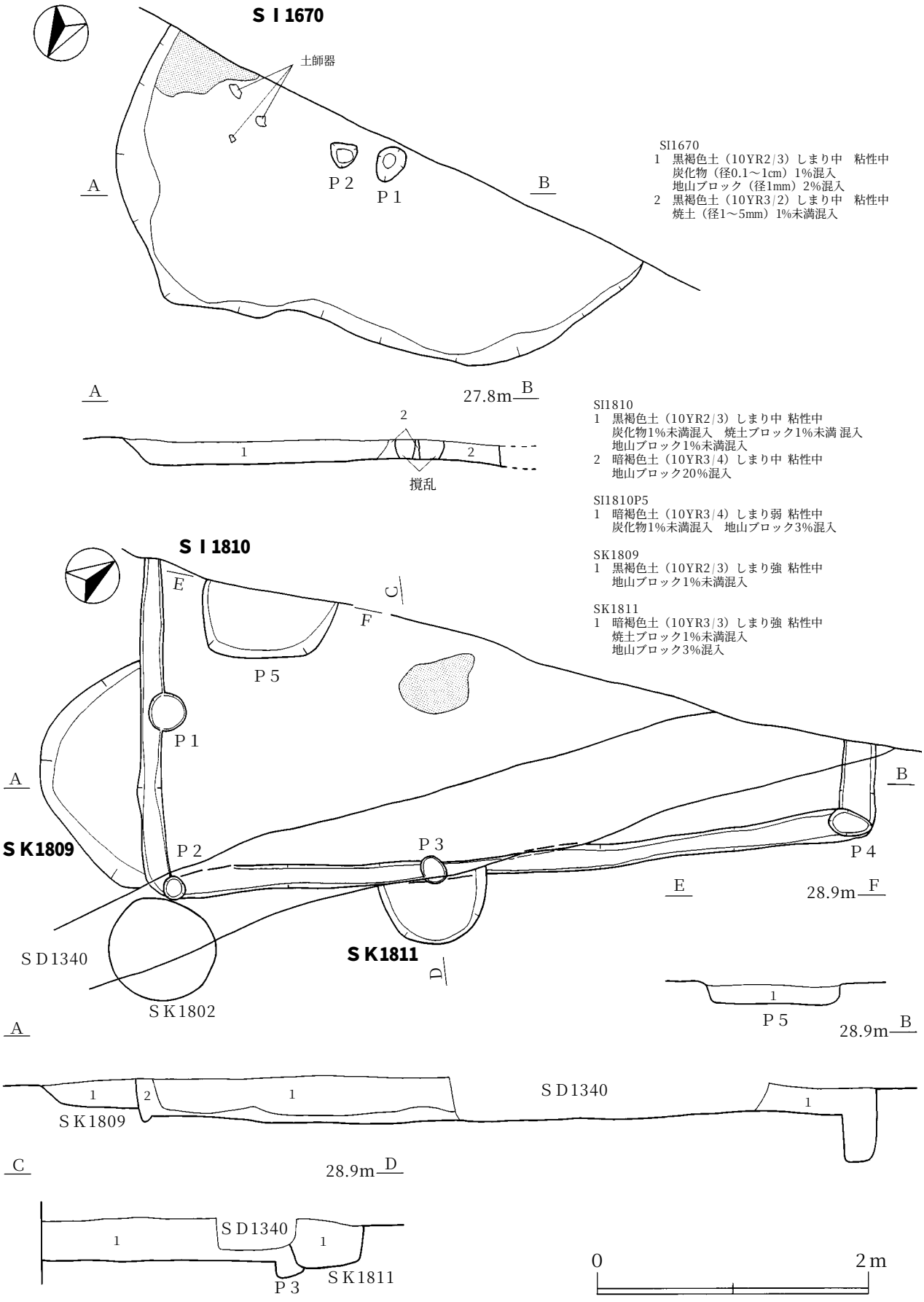
SI1540P2
1　暗褐色土(10YR3/3)しまり強　粘性弱
　地山ブロック(0.5～1mm)1%未満混入

第76図　ＳＩ1540竪穴住居跡

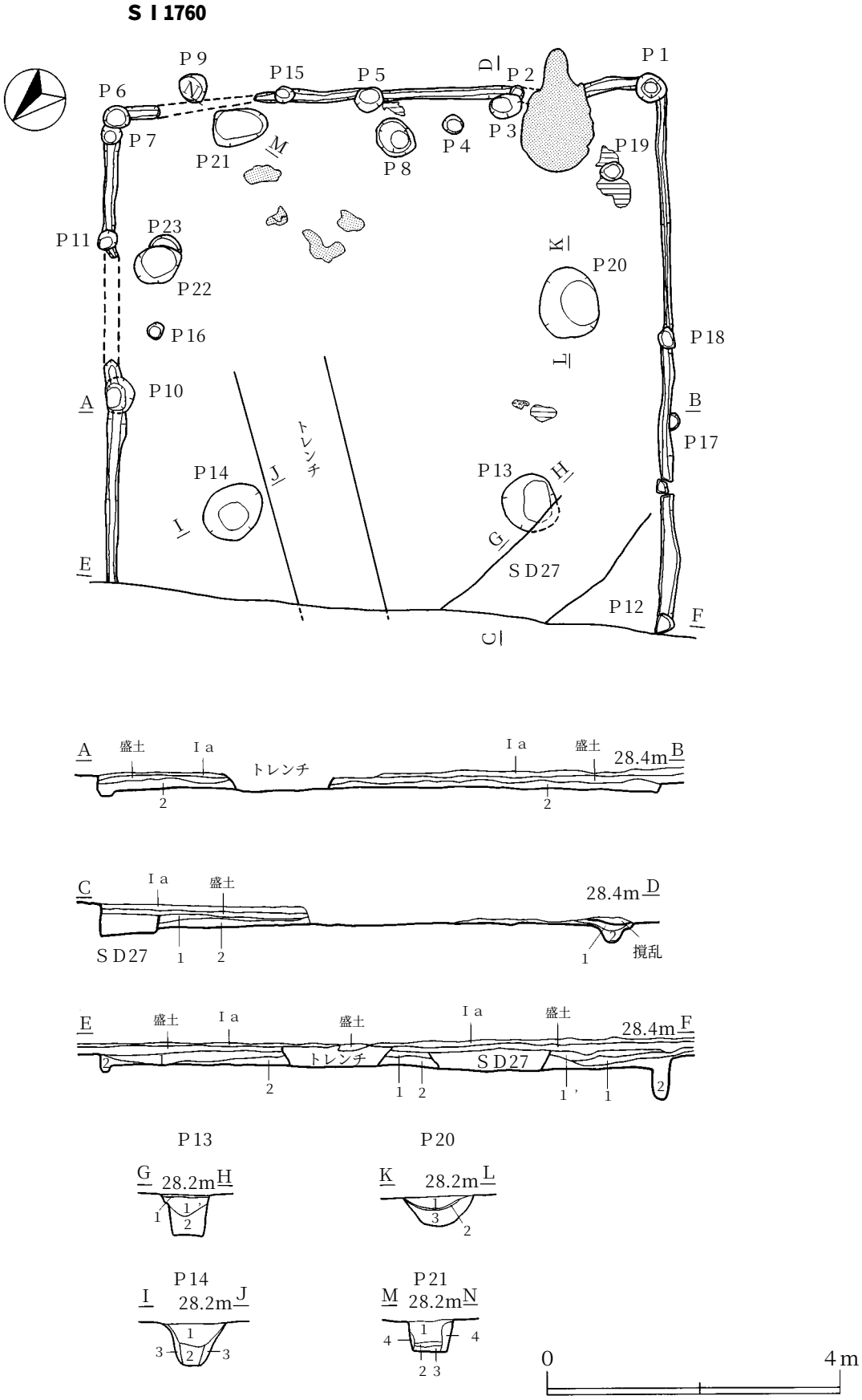




第77図　ＳＩ1550竪穴住居跡

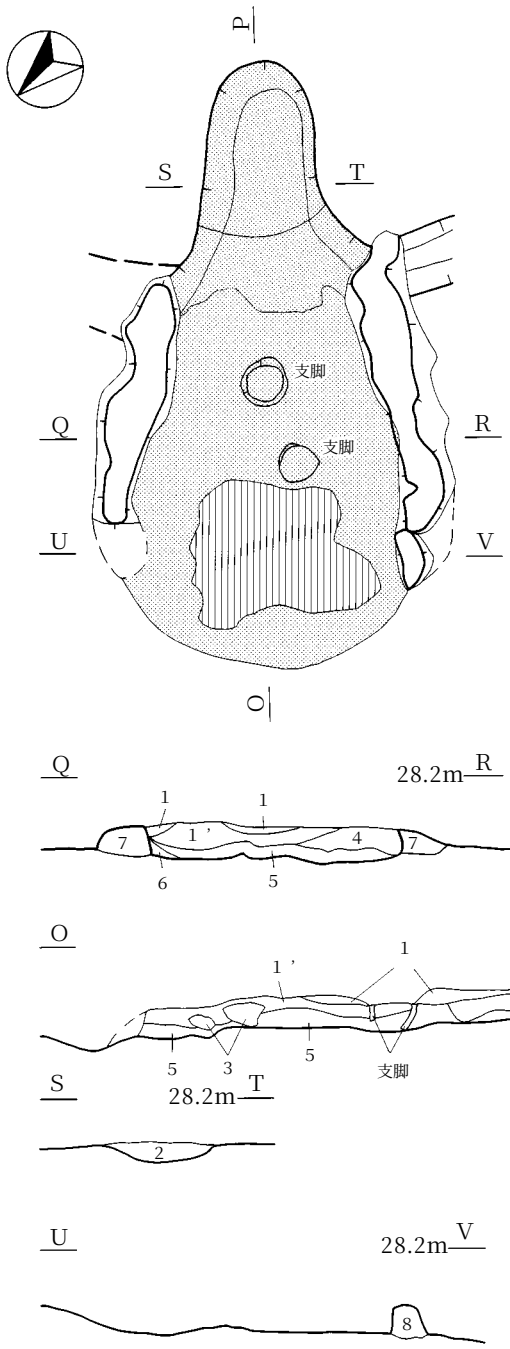


第78図　ＳＩ1670・1810竪穴住居跡　ＳＫ1809・1811土坑



第79図　ＳＩ1760竪穴住居跡（1）

ＳＩ1760カマド



SI1760
1　黒褐色土(10YR2/2)しまり強　粘性弱
　地山ブロック(径0.3～1.5mm)10%混入
1’黒褐色土(10YR2/2)しまり強　粘性弱
　地山ブロック(径0.3～1.5mm)10%混入
　焼土ブロック(径3～8mm)2%混入
2　暗褐色土(10YR3/3)しまり強　粘性弱
　炭化物(径1～2.5mm)1%混入
　焼土ブロック(径1～2mm)1%以下混入
　地山ブロック(径0.3～1cm)7%混入

SI1760P13
1　暗褐色土(10YR3/3)しまり中 粘性弱
　炭化物(径1mm)2%混入　黄褐色土1%混入
　地山ブロック(径2～7mm)10%混入
1’暗褐色土(10YR3/3)しまり中 粘性弱
　炭化物(径1mm)2%混入
　地山ブロック(径3～5mm)10%混入
2　褐色土(10YR4/6)しまり中　粘性中

SI1760P14
1　暗褐色土(10YR3/3)しまり強　粘性弱
　地山ブロック(径3～7mm)7%混入
2　暗褐色土(10YR3/4)しまり弱　粘性弱
　地山ブロック(径4～8mm)10%混入
3　褐色土(10YR4/6)しまり中　粘性中

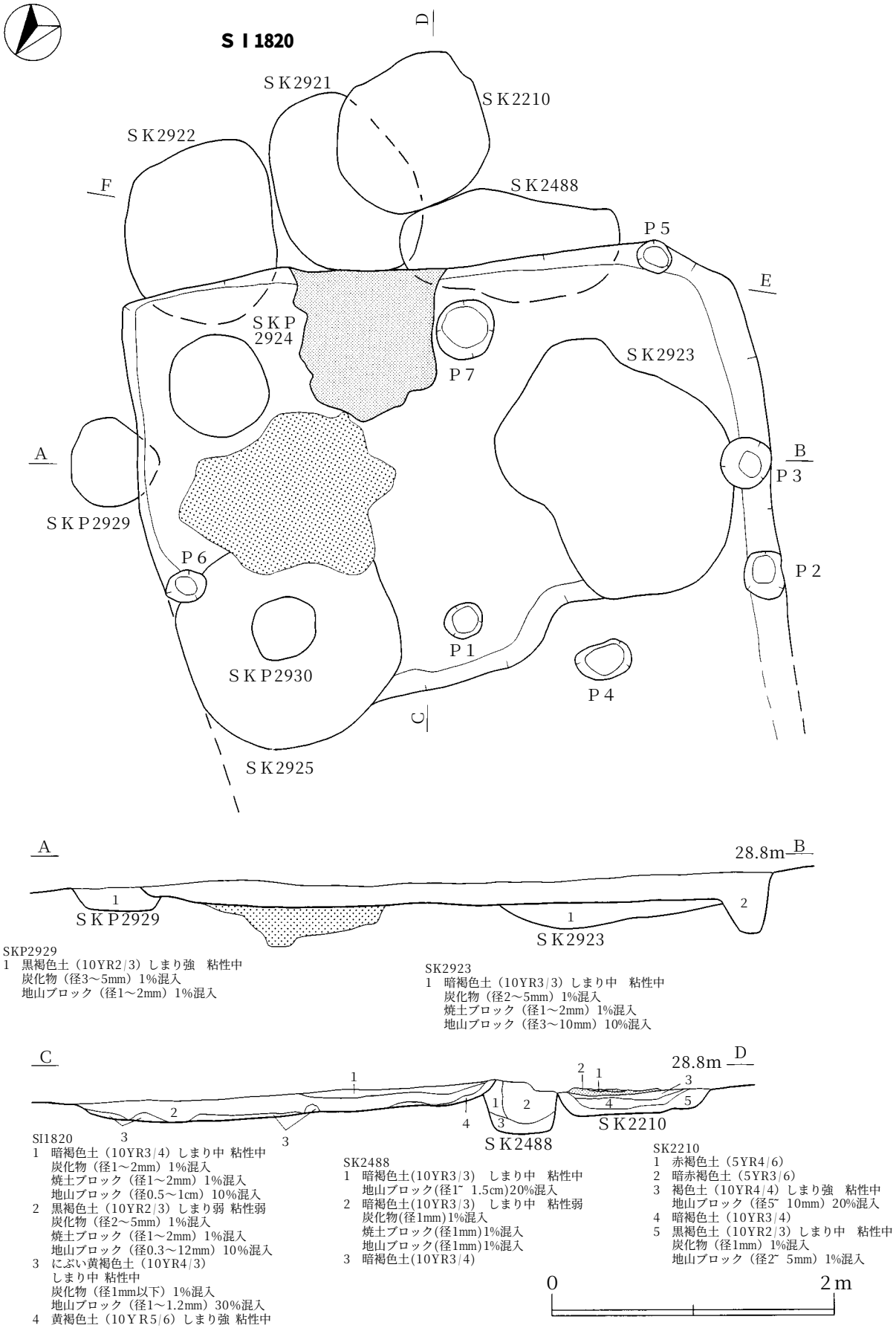
SI1760P20
1　黒褐色土(10YR2/3)しまり強　粘性弱
　炭化物(径2～6mm)3%混入
　焼土ブロック(径1cm)1%混入
　地山ブロック(径1～6mm)7%混入
2　炭化物層
3　黒褐色土(10YR2/2)しまり強　粘性弱
　炭化物(径1～2mm)1%混入
　地山ブロック(径1～3mm)3%以下混入

SI1760P21
1　黒褐色土(10YR2/3)しまり強　粘性弱
　地山ブロック(径4～8mm)3%混入
2　暗褐色土(10YR3/3)しまり強　粘性弱
　地山ブロック(径2～3mm)20%混入
3　暗褐色土(10YR3/3)しまり強　粘性弱
　地山ブロック(径2～4mm)1%混入
4　褐色土(10YR4/6)しまり中　粘性中

SI1760カマド
1　暗褐色土(10YR3/3)しまり強　粘性弱
　黄土ブロック(10YR5/6)(径1～1.5cm)3%混入
　焼土ブロック(径1～1.2cm)1%混入
1’暗褐色土(10YR3/3)しまり強　粘性弱
　黄土ブロック(10YR5/6)(径1～1.5cm)3%混入
　焼土ブロック(径3～8mm)2%混入
2　にぶい黄褐色土(5YR4/6)
　しまり強　粘性弱
　黄褐色土ブロック(径5～7mm)1%以下混入
　焼土ブロック(径3～5mm)1%混入
　地山ブロック(径3～4mm)1%以下混入
3　暗赤褐色土(5YR3/6)しまり強　粘性弱
　黄土ブロック(5YR5/6)(径3～5mm)1%混入
4　暗赤褐色土(5YR3/6)しまり強　粘性弱
　焼土ブロック(径1～1.5cm)3%混入
5　暗褐色土(7.5YR3/3)しまり強　粘性弱
　焼土ブロック(径3～6mm)7%混入
6　赤褐色土(5YR4/6)しまり強　粘性弱
7　褐色土(10YR4/6)しまり強　粘性弱
8　褐色土(10YR5/6)しまり強　粘性弱

0　1m

第80図　ＳＩ1760竪穴住居跡（2）



SKP2929
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性中
　炭化物（径3～5mm）1%混入
　地山ブロック（径1～2mm）1%混入

SK2923
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性中
　炭化物（径2～5mm）1%混入
　焼土ブロック（径1～2mm）1%混入
　地山ブロック（径3～10mm）10%混入

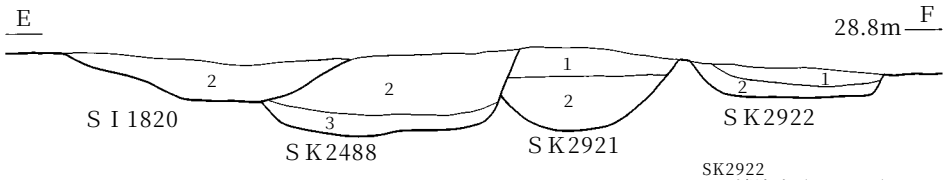
SI1820
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり中 粘性中
　炭化物（径1～2mm）1%混入
　焼土ブロック（径1～2mm）1%混入
　地山ブロック（径0.5～1cm）10%混入
2　黒褐色土（10YR2/3）しまり弱 粘性弱
　炭化物（径2～5mm）1%混入
　焼土ブロック（径1～2mm）1%混入
　地山ブロック（径0.3～12mm）10%混入
3　にぶい黄褐色土（10YR4/3）
　しまり中 粘性中
　炭化物（径1mm以下）1%混入
　地山ブロック（径1～1.2mm）30%混入
4　黄褐色土（10YR5/6）しまり強 粘性中

SK2488
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまり中　粘性中
　地山ブロック(径1～1.5cm)20%混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまり中　粘性弱
　炭化物(径1mm)1%混入
　焼土ブロック(径1mm)1%混入
　地山ブロック(径1mm)1%混入
3　暗褐色土(10YR3/4)

SK2210
1　赤褐色土（5YR4/6）
2　暗赤褐色土（5YR3/6）
3　褐色土（10YR4/4）しまり強　粘性中
　地山ブロック（径5～10mm）20%混入
4　暗褐色土（10YR3/4）
5　黒褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性中
　炭化物（径1mm）1%混入
　地山ブロック（径2～5mm）1%混入

第81図　ＳＩ1820竪穴住居跡（1）　ＳＫ2925土坑

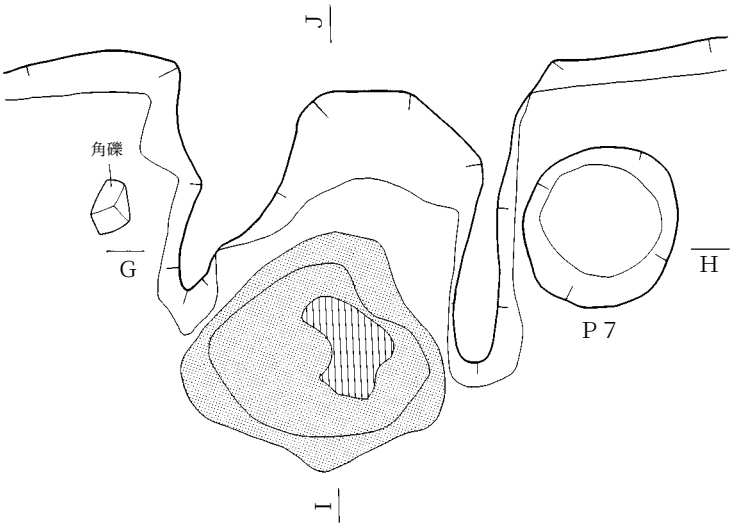
ＳＩ1820

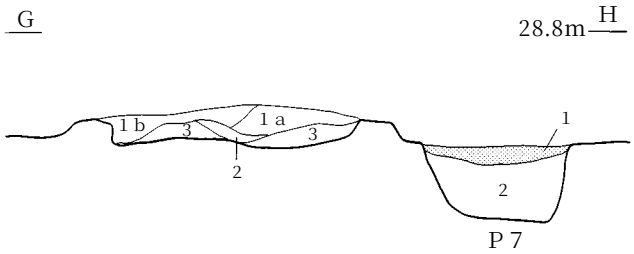


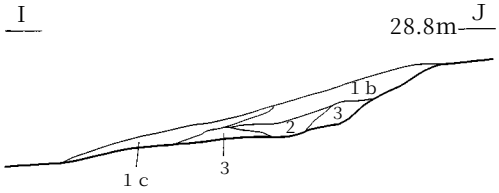
SK2921
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり弱　粘性弱
　炭化物（径1˜ 2mm）1%混入
　焼土ブロック（径1˜ 2mm）2%混入
　地山ブロック（径1mm）1%混入
2　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性中
　炭化物（径1˜ 2mm）1%混入
　地山ブロック（径2～10mm）3%混入

SK2922
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%混入
　焼土ブロック（径1mm）1%混入
　地山ブロック（径2˜ 5mm）3%混入
2　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径2˜ 5mm）2%混入
　焼土ブロック（径2˜ 5mm）2%混入
　地山ブロック（径2˜ 10mm）5%混入

ＳＩ1820カマド

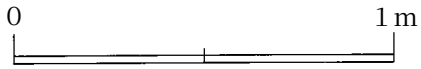




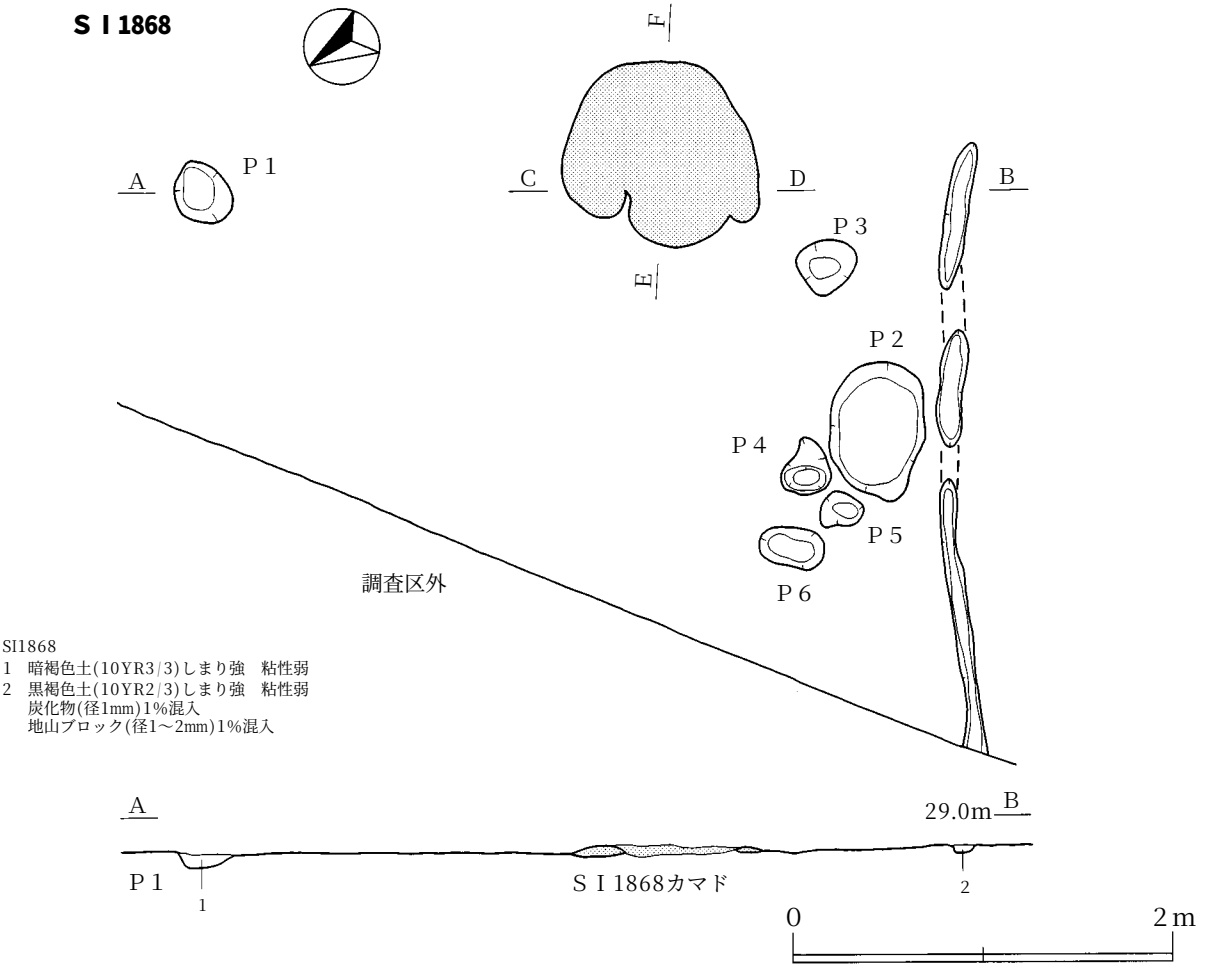


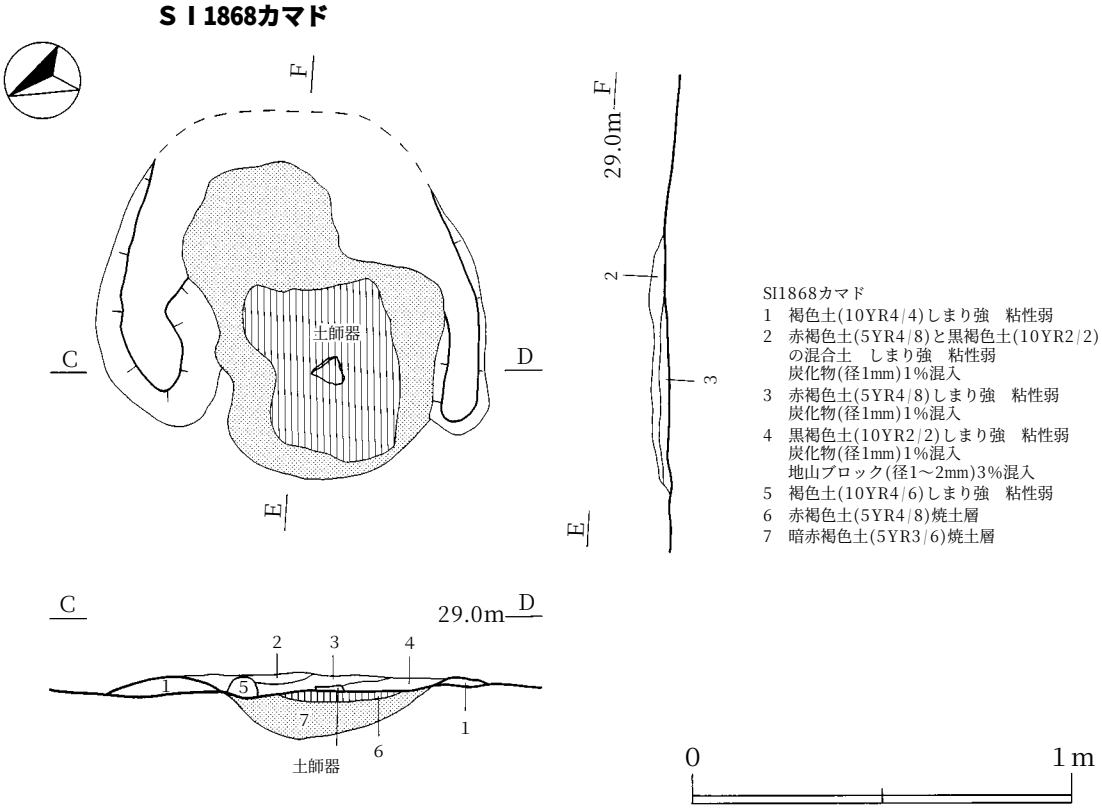
SI1820P7
1　焼土層
2　暗褐色土（10YR3/4）
　シルト しまり弱 粘性弱
　炭化物（径1～5mm）2%混入
　地山ブロック（径0.5～1cm）7%混入

SI1820カマド
1a暗褐色土（10YR3/4）しまり中 粘性中
　炭化物（径1～2mm）1%混入
　焼土ブロック（径2～3mm）7%混入
　地山ブロック（径0.5～1cm）10%混入
1b暗褐色土（10YR3/4）しまり中 粘性中
　炭化物（径1～2mm）1%混入
　焼土ブロック（径2～3mm）3%混入
　地山ブロック（径0.5～1cm）10%混入
1c暗褐色土（10YR3/4）しまり中 粘性中
　炭化物（径1～3mm）1%混入
　焼土ブロック（径1～3mm）1%混入
　地山ブロック（径1～5mm）5%混入
2　黒褐色土（10YR2/3）しまり弱 粘性弱
　炭化物（径5cm）10%混入
　焼土ブロック（3～5mm）10%混入
　地山ブロック（径0.5～1cm）10%混入
3　にぶい黄褐色土（10YR4/3）
　しまり中　粘性中
　炭化物1%混入
　焼土ブロック2%混入
　地山ブロック30%混入

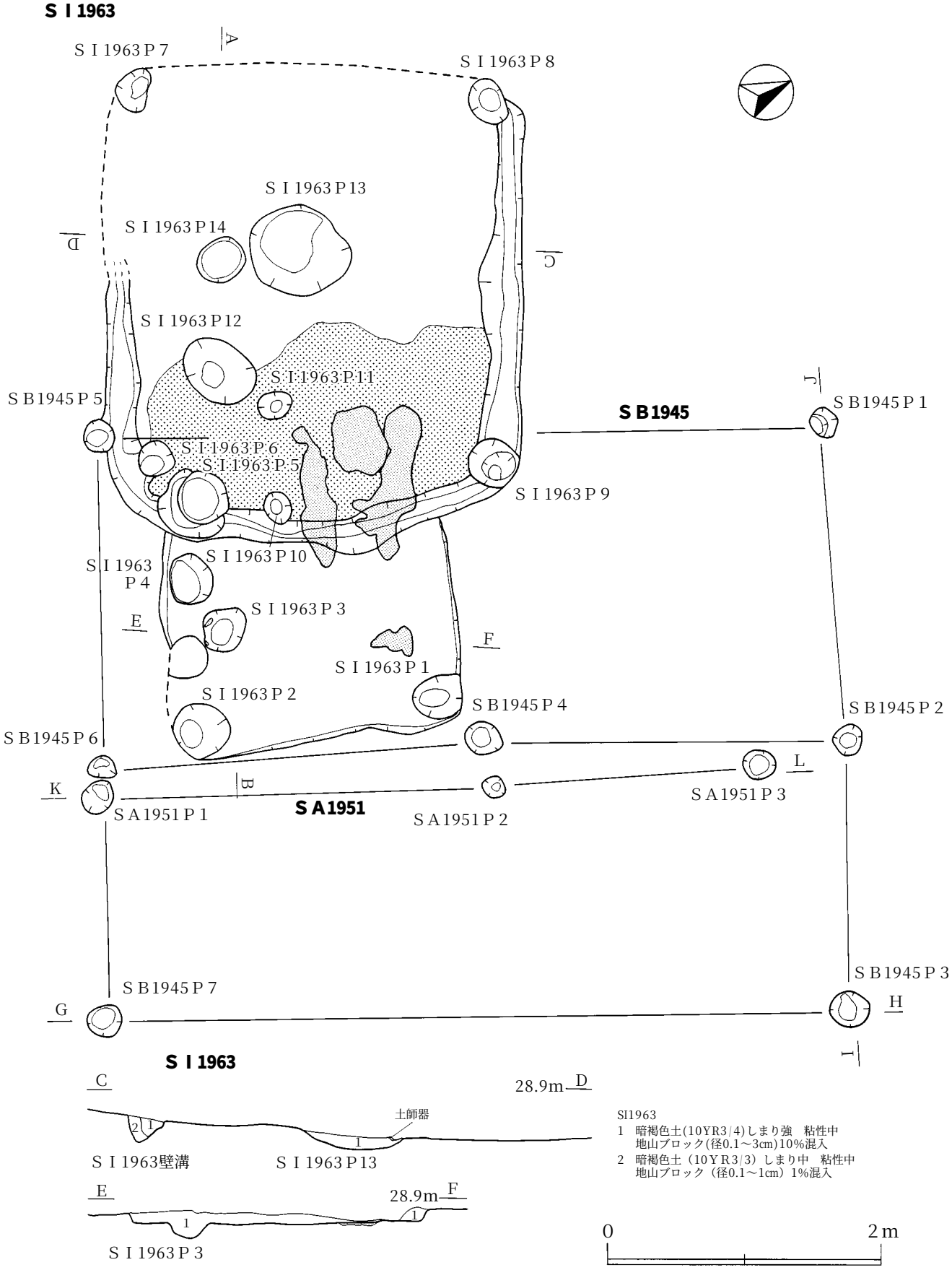


第82図　ＳＩ1820竪穴住居跡（2）

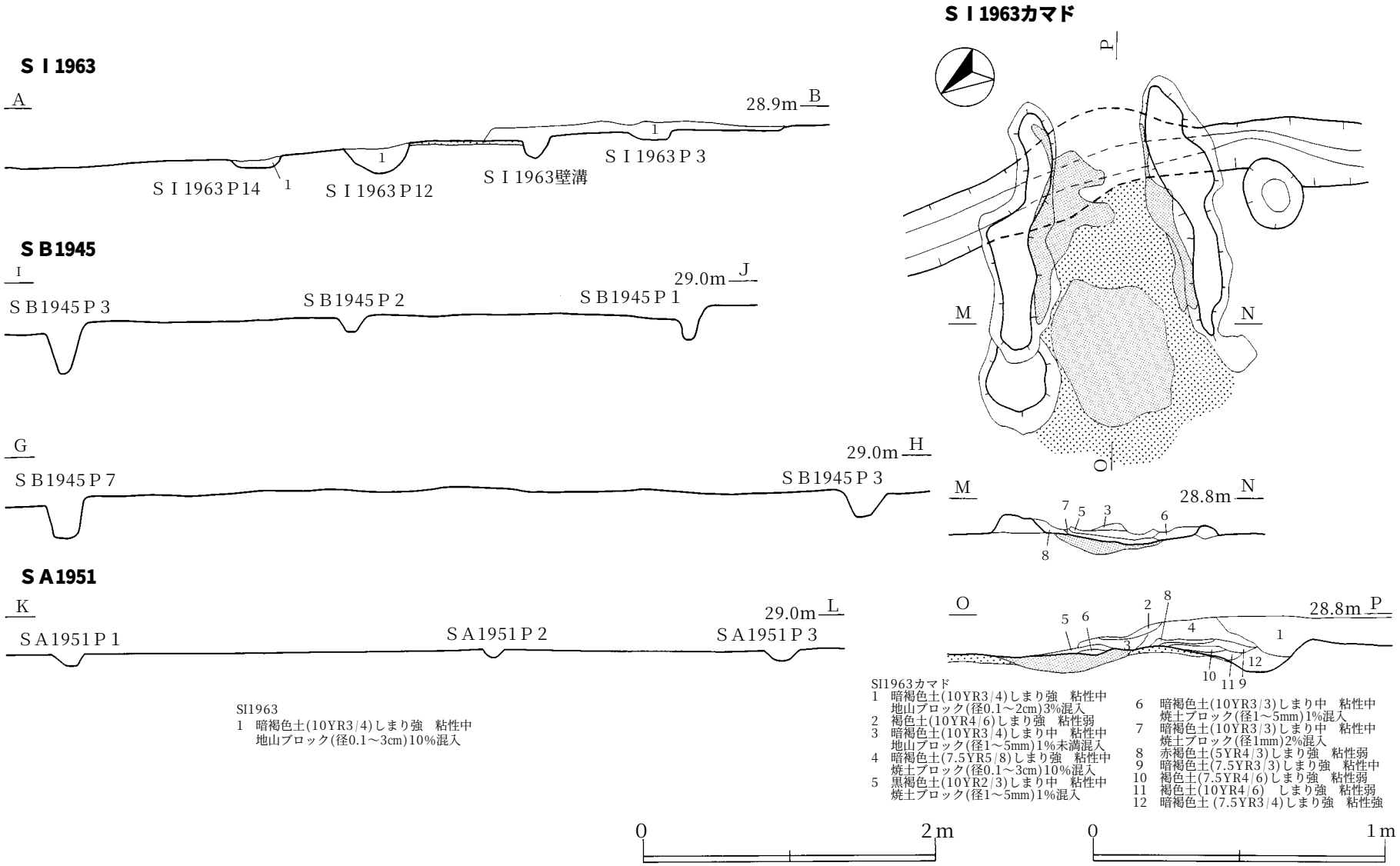




第83図　ＳＩ1868竪穴住居跡



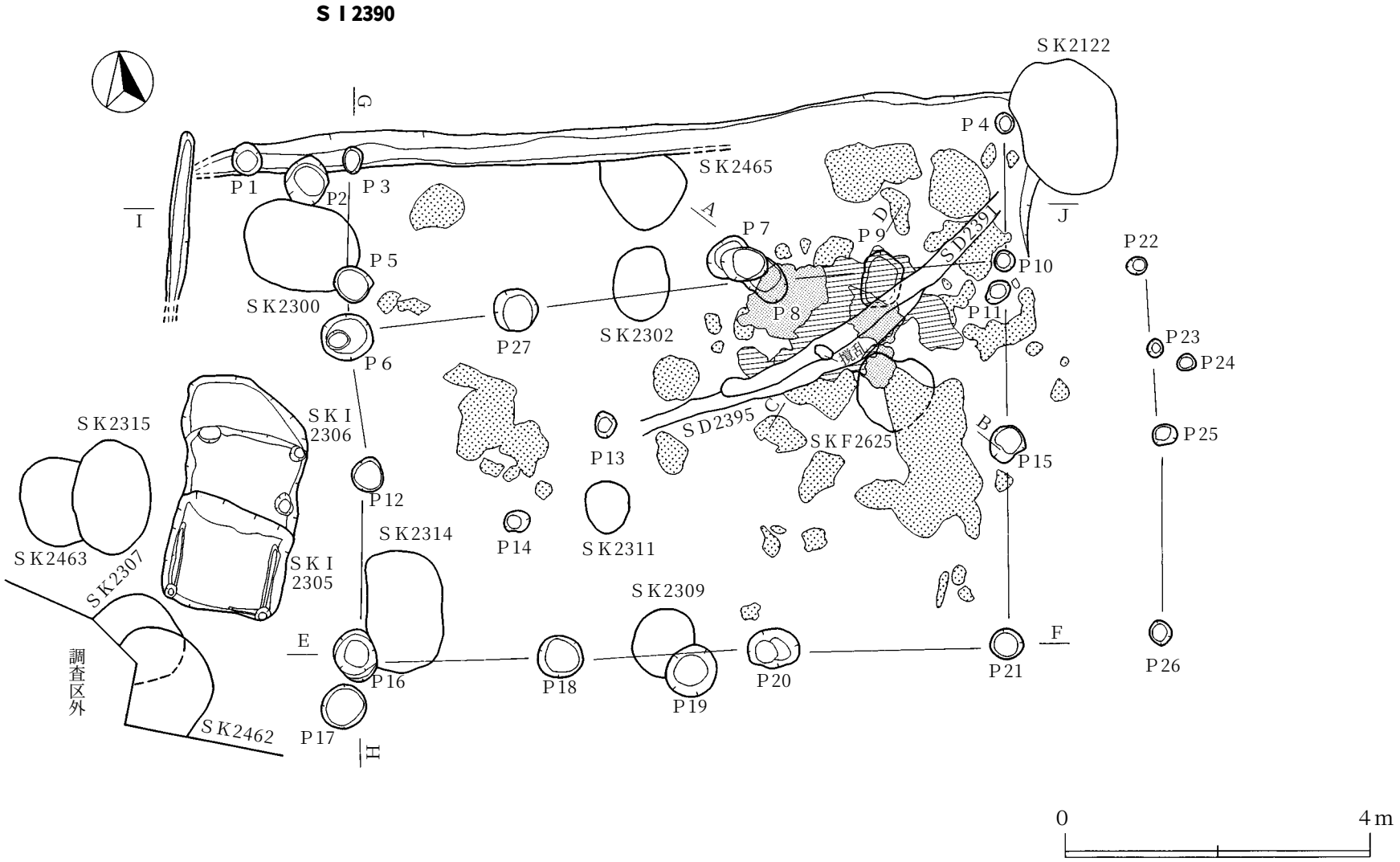
第84図　ＳＩ1963竪穴住居跡　ＳＢ1945掘立柱建物跡　ＳＡ1951柱穴列（1）



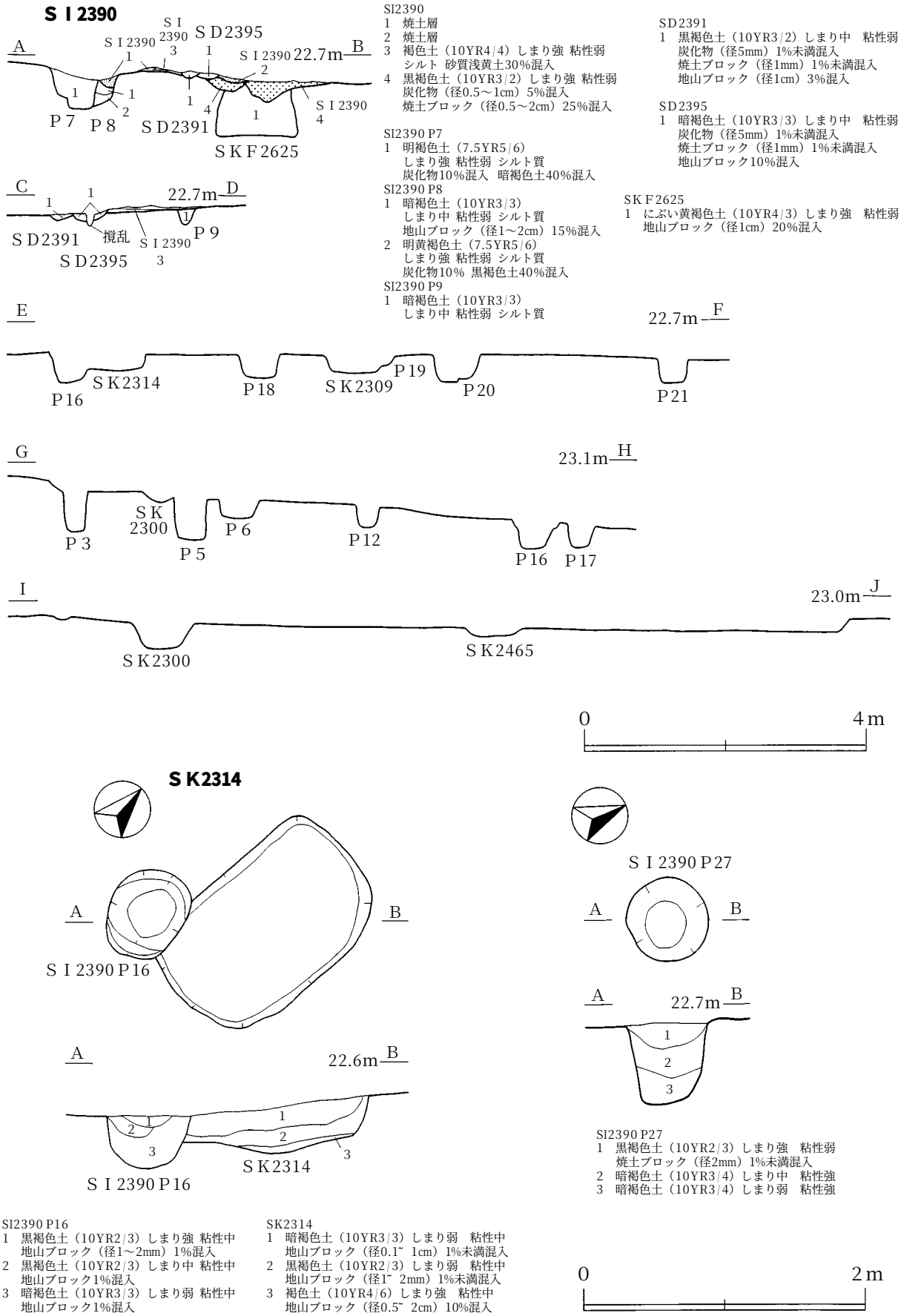
SI1963
1　暗褐色土(10YR3/4)しまり強　粘性中
　地山ブロック(径0.1～3cm)10%混入

SI1963カマド
1　暗褐色土(10YR3/4)しまり強　粘性中
　地山ブロック(径0.1～2cm)3%混入
2　褐色土(10YR4/6)しまり強　粘性弱
3　暗褐色土(10YR3/4)しまり中　粘性中
　地山ブロック(径1～5mm)1%未満混入
4　暗褐色土(7.5YR5/8)しまり強　粘性中
　焼土ブロック(径0.1～3cm)10%混入
5　黒褐色土(10YR2/3)しまり中　粘性中
　焼土ブロック(径1～5mm)1%混入
6　暗褐色土(10YR3/3)しまり中　粘性中
　焼土ブロック(径1～5mm)1%混入
7　暗褐色土(10YR3/3)しまり中　粘性中
　焼土ブロック(径1mm)2%混入
8　赤褐色土(5YR4/3)しまり強　粘性弱
9　暗褐色土(7.5YR3/3)しまり強　粘性中
10　褐色土(7.5YR4/6)しまり強　粘性弱
11　褐色土(10YR4/6)　しまり強　粘性弱
12　暗褐色土 (7.5YR3/4)しまり強　粘性強

第85図　ＳＩ1963竪穴住居跡　ＳＢ1945掘立柱建物跡　ＳＡ1951柱穴列（２）



第86図　ＳＩ2390竪穴住居跡（１）　ＳＤ2391・2395溝跡



SI2390
1　焼土層
2　焼土層
3　褐色土（10YR4/4）しまり強 粘性弱
　シルト 砂質浅黄土30%混入
4　黒褐色土（10YR3/2）しまり強 粘性弱
　炭化物（径0.5～1cm）5%混入
　焼土ブロック（径0.5～2cm）25%混入

SI2390 P7
1　明褐色土（7.5YR5/6）
　しまり強 粘性弱 シルト質
　炭化物10%混入 暗褐色土40%混入

SI2390 P8
1　暗褐色土（10YR3/3）
　しまり中 粘性弱 シルト質
　地山ブロック（径1～2cm）15%混入
2　明黄褐色土（7.5YR5/6）
　しまり強 粘性弱 シルト質
　炭化物10% 黒褐色土40%混入

SI2390 P9
1　暗褐色土（10YR3/3）
　しまり中 粘性弱 シルト質

SD2391
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり中　粘性弱
　炭化物（径5mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径1mm）1%未満混入
　地山ブロック（径1cm）3%混入

SD2395
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性弱
　炭化物（径5mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径1mm）1%未満混入
　地山ブロック10%混入

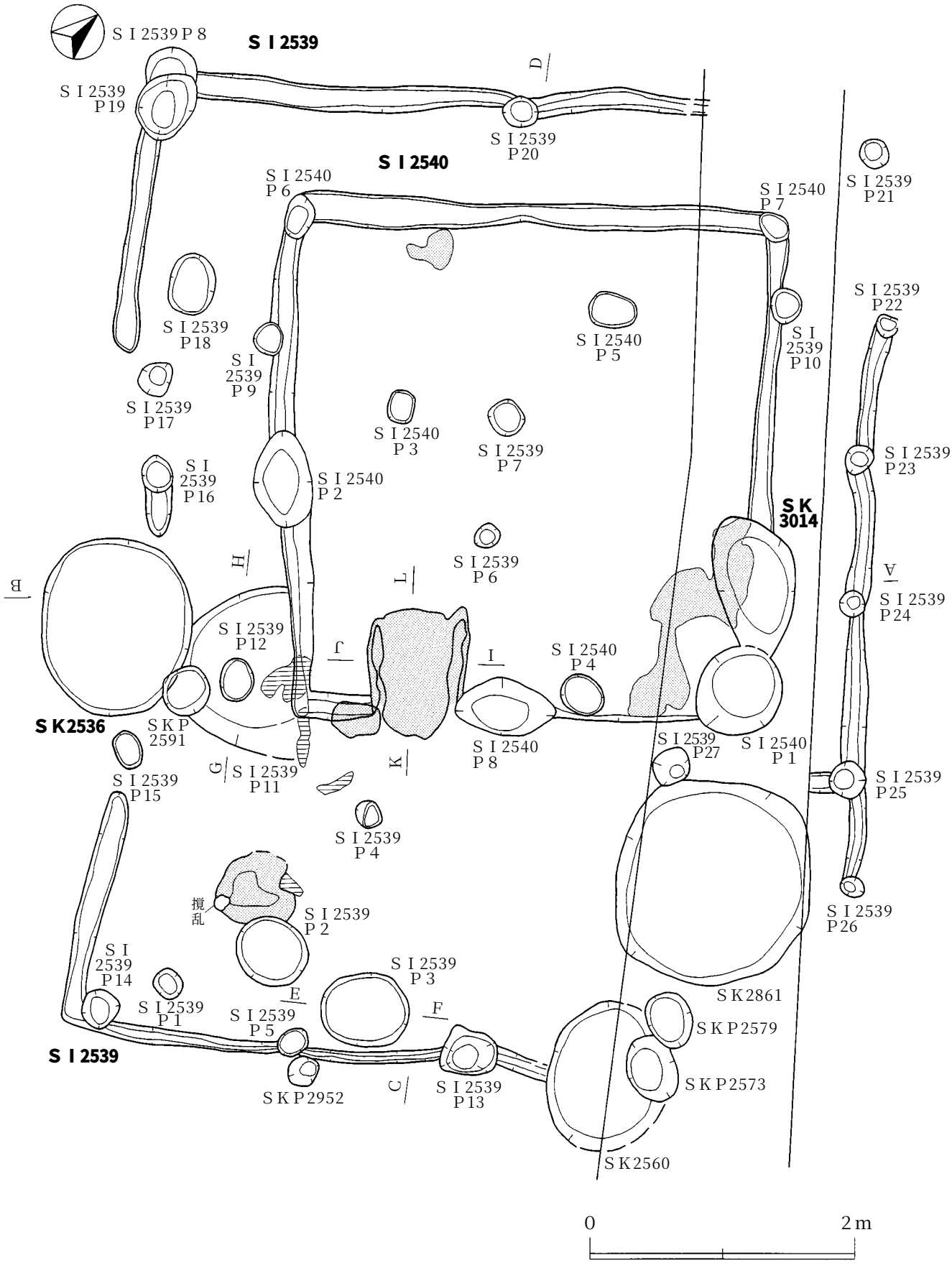
SKF2625
1　にぶい黄褐色土（10YR4/3）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径1cm）20%混入

SI2390 P27
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性弱
　焼土ブロック（径2mm）1%未満混入
2　暗褐色土（10YR3/4）しまり中　粘性強
3　暗褐色土（10YR3/4）しまり弱　粘性強

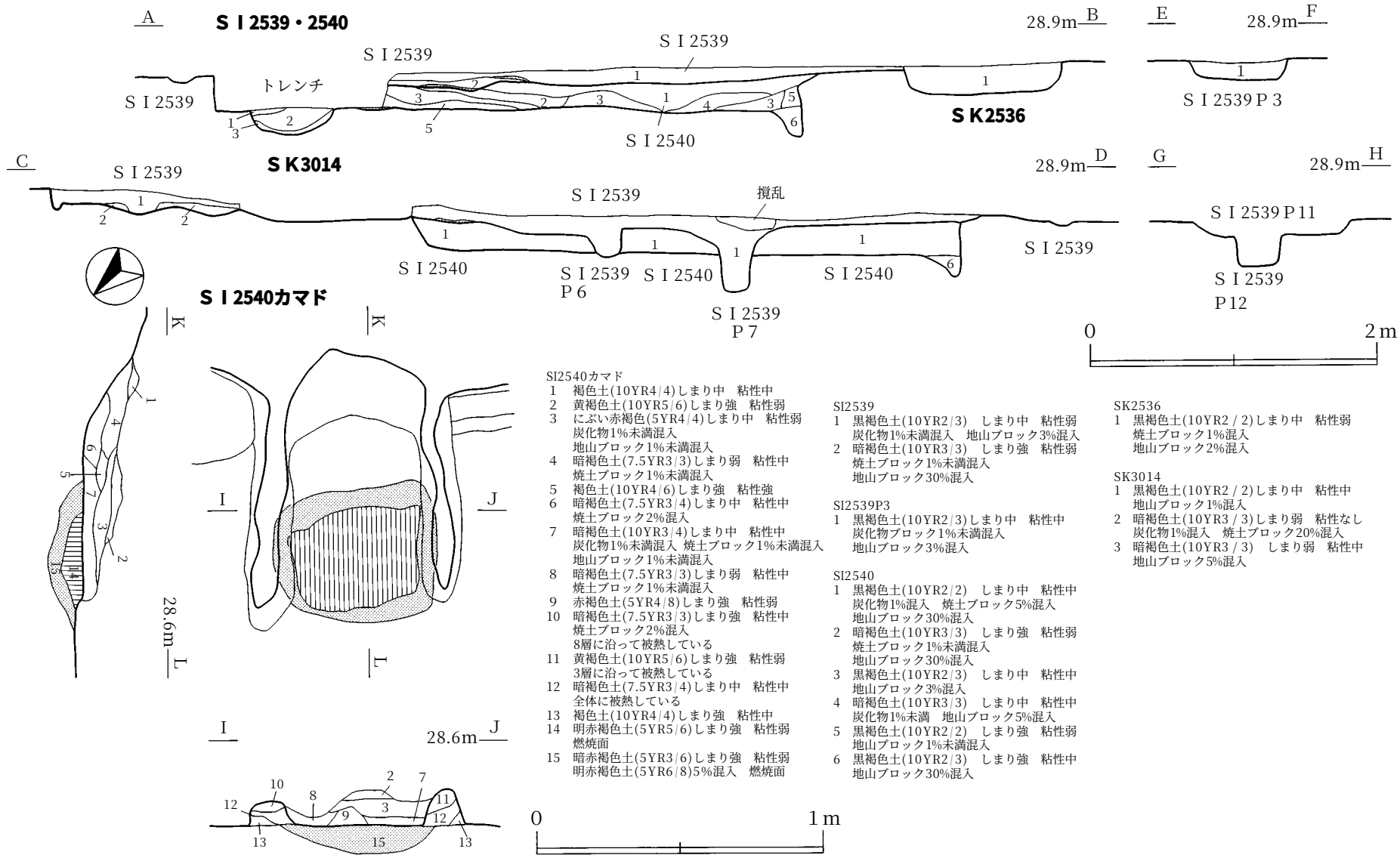
SI2390 P16
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり強 粘性中
　地山ブロック（径1～2mm）1%混入
2　黒褐色土（10YR2/3）しまり中 粘性中
　地山ブロック1%混入
3　暗褐色土（10YR3/3）しまり弱 粘性中
　地山ブロック1%混入

SK2314
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり弱　粘性中
　地山ブロック（径0.1~ 1cm）1%未満混入
2　黒褐色土（10YR2/3）しまり弱　粘性中
　地山ブロック（径1~ 2mm）1%未満混入
3　褐色土（10YR4/6）しまり強　粘性中
　地山ブロック（径0.5~ 2cm）10%混入

第87図　ＳＩ2390竪穴住居跡（2）ＳＫ2314土坑　ＳＤ2391・2395溝跡



第88図　ＳＩ2539・2540竪穴住居跡　ＳＫ2536・3014土坑（1）



SI2540カマド
1　褐色土(10YR4/4)しまり中　粘性中
2　黄褐色土(10YR5/6)しまり強　粘性弱
3　にぶい赤褐色(5YR4/4)しまり中　粘性弱
　炭化物1%未満混入
　地山ブロック1%未満混入
4　暗褐色土(7.5YR3/3)しまり弱　粘性中
　焼土ブロック1%未満混入
5　褐色土(10YR4/6)しまり強　粘性強
6　暗褐色土(7.5YR3/4)しまり中　粘性中
　焼土ブロック2%混入
7　暗褐色土(10YR3/4)しまり中　粘性中
　炭化物1%未満混入 焼土ブロック1%未満混入
　地山ブロック1%未満混入
8　暗褐色土(7.5YR3/3)しまり弱　粘性中
　焼土ブロック1%未満混入
9　赤褐色土(5YR4/8)しまり強　粘性弱
10　暗褐色土(7.5YR3/3)しまり強　粘性中
　焼土ブロック2%混入
　8層に沿って被熱している
11　黄褐色土(10YR5/6)しまり強　粘性弱
　3層に沿って被熱している
12　暗褐色土(7.5YR3/4)しまり中　粘性中
　全体に被熱している
13　褐色土(10YR4/4)しまり強　粘性中
14　明赤褐色土(5YR5/6)しまり強　粘性弱
　燃焼面
15　暗赤褐色土(5YR3/6)しまり強　粘性弱
　明赤褐色土(5YR6/8)5%混入　燃焼面

SI2539
1　黒褐色土(10YR2/3)　しまり中　粘性弱
　炭化物1%未満混入　地山ブロック3%混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまり強　粘性弱
　焼土ブロック1%未満混入
　地山ブロック30%混入

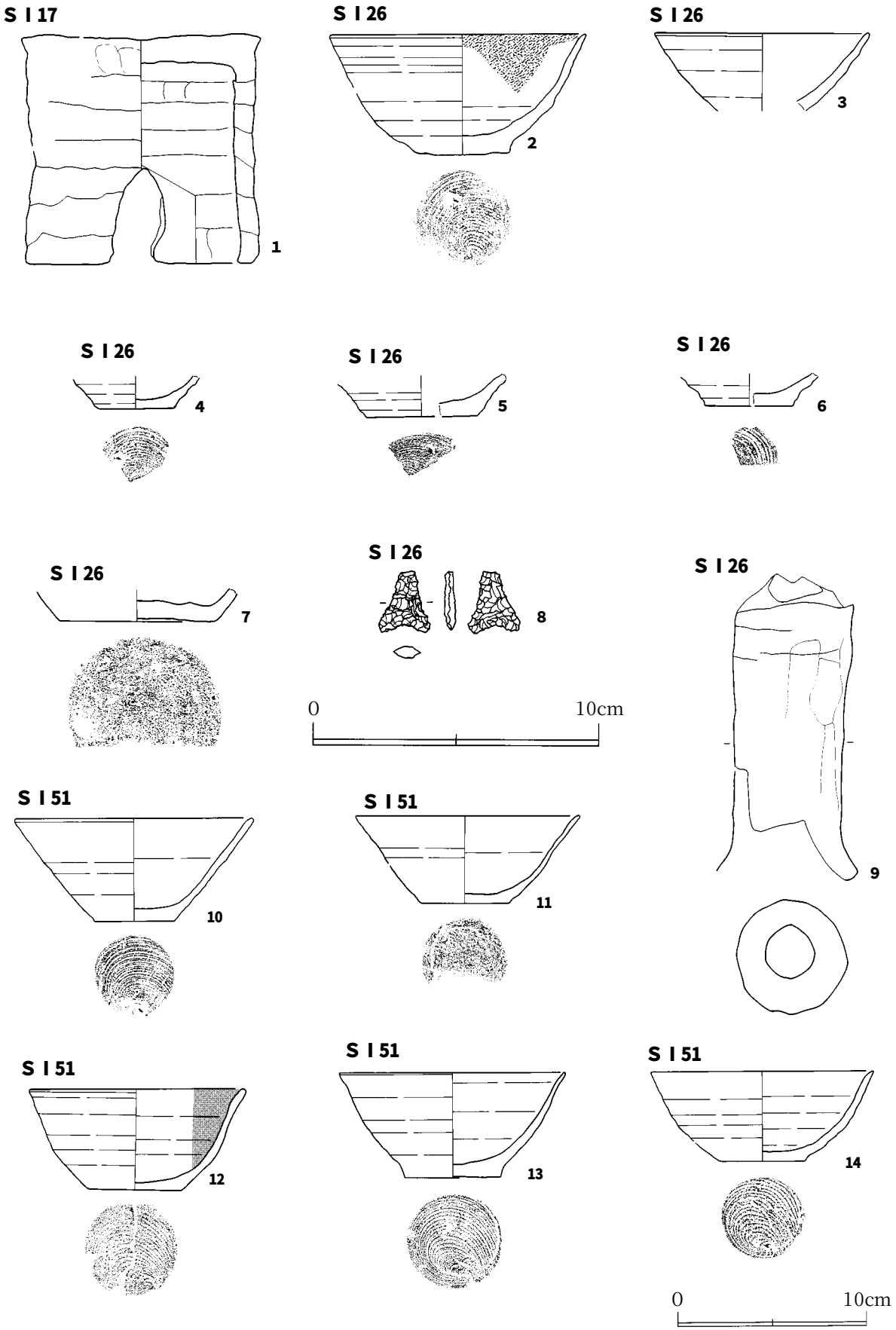
SI2539P3
1　黒褐色土(10YR2/3)しまり中　粘性中
　炭化物ブロック1%未満混入
　地山ブロック3%混入

SI2540
1　黒褐色土(10YR2/2)　しまり中　粘性中
　炭化物1%混入　焼土ブロック5%混入
　地山ブロック30%混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまり強　粘性弱
　焼土ブロック1%未満混入
　地山ブロック30%混入
3　黒褐色土(10YR2/3)　しまり中　粘性中
　地山ブロック3%混入
4　暗褐色土(10YR3/3)　しまり中　粘性中
　炭化物1%未満　地山ブロック5%混入
5　黒褐色土(10YR2/2)　しまり強　粘性弱
　地山ブロック1%未満混入
6　黒褐色土(10YR2/3)　しまり強　粘性中
　地山ブロック30%混入

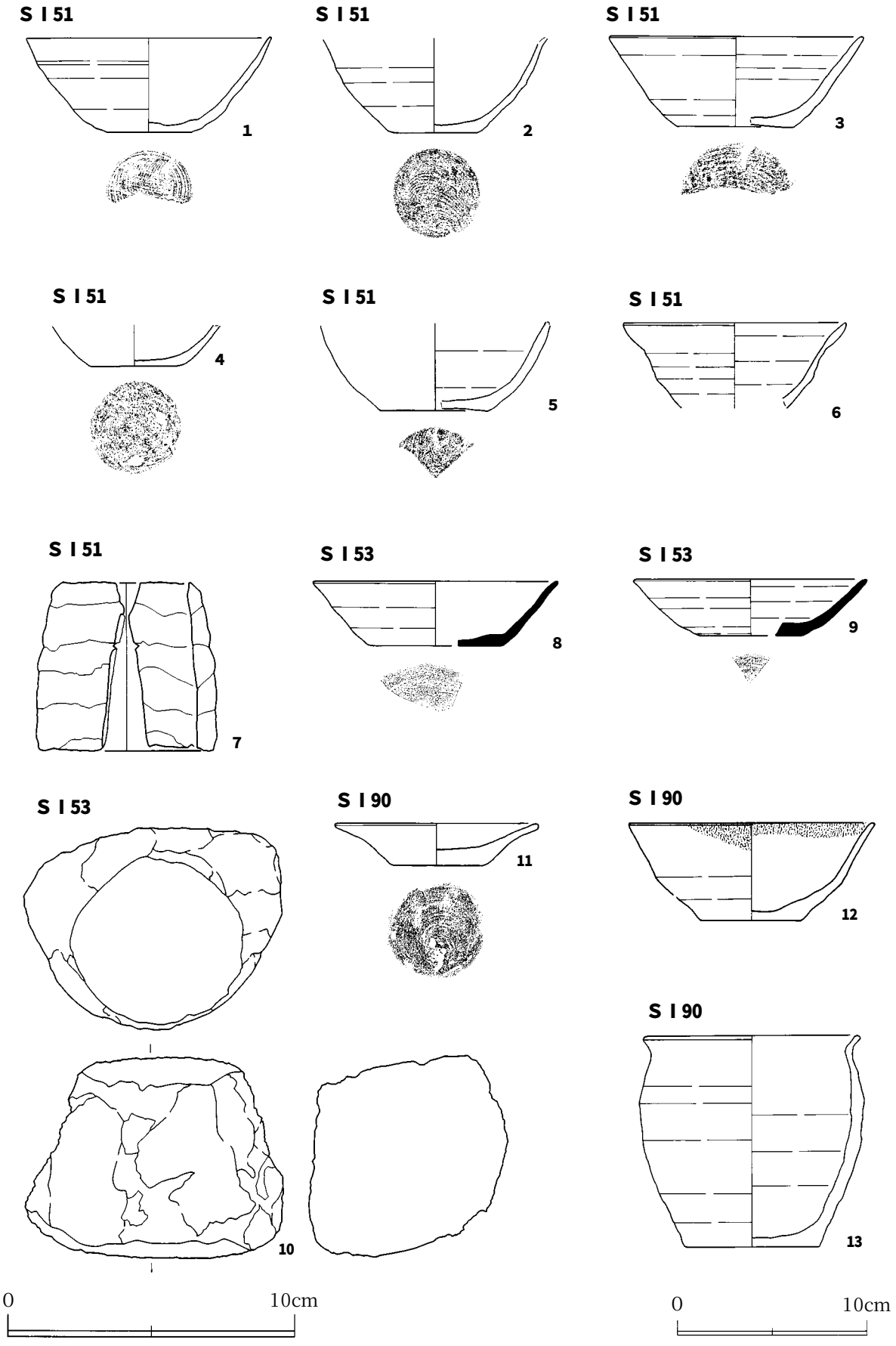
SK2536
1　黒褐色土(10YR2/2)しまり中　粘性弱
　焼土ブロック1%混入
　地山ブロック2%混入

SK3014
1　黒褐色土(10YR2/2)しまり中　粘性中
　地山ブロック1%混入
2　暗褐色土(10YR3/3)しまり弱　粘性なし
　炭化物1%混入　焼土ブロック20%混入
3　暗褐色土(10YR3/3)　しまり弱　粘性中
　地山ブロック5%混入

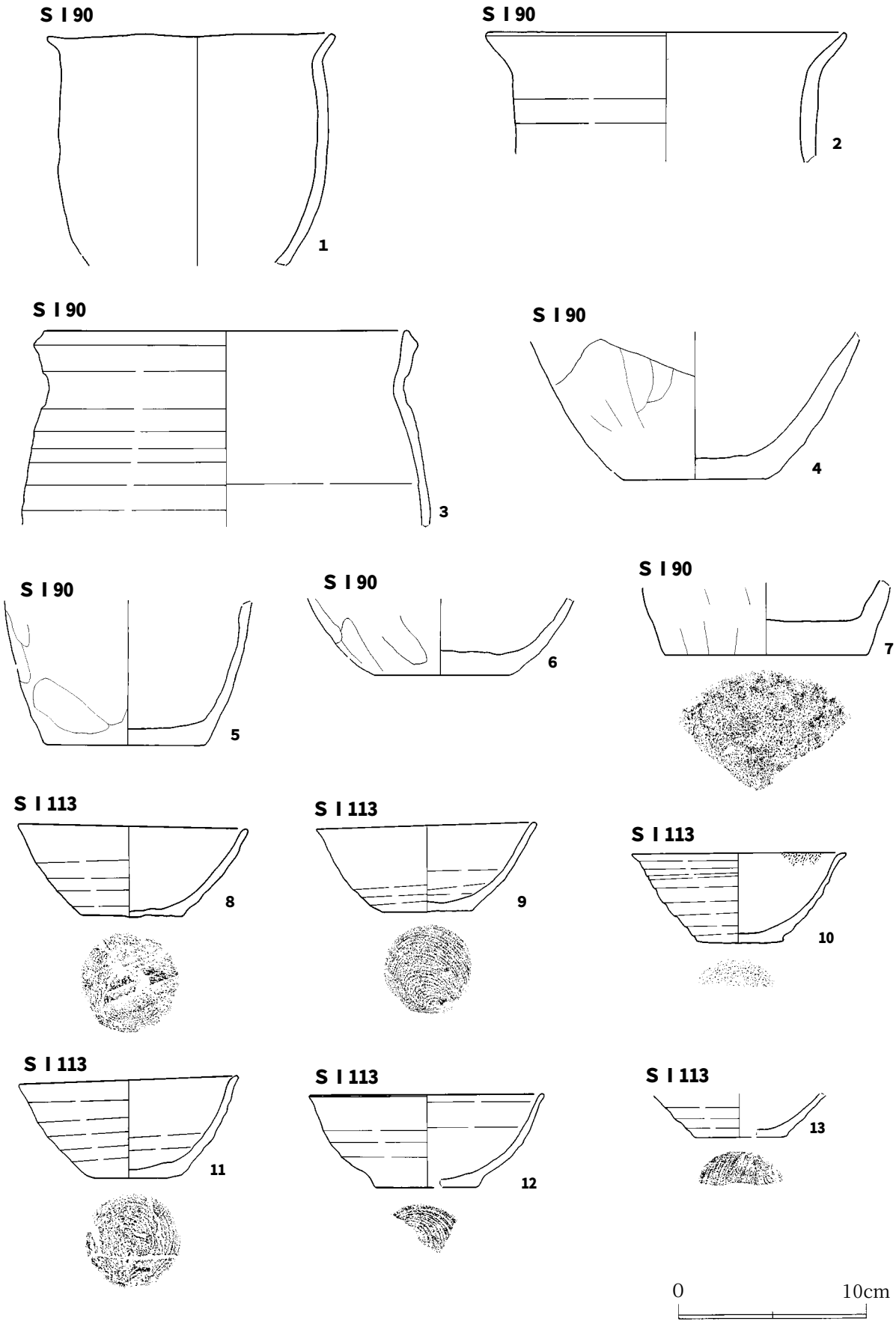
第89図　ＳＩ2539・2540竪穴住居跡　ＳＫ2536・3014土坑（２）



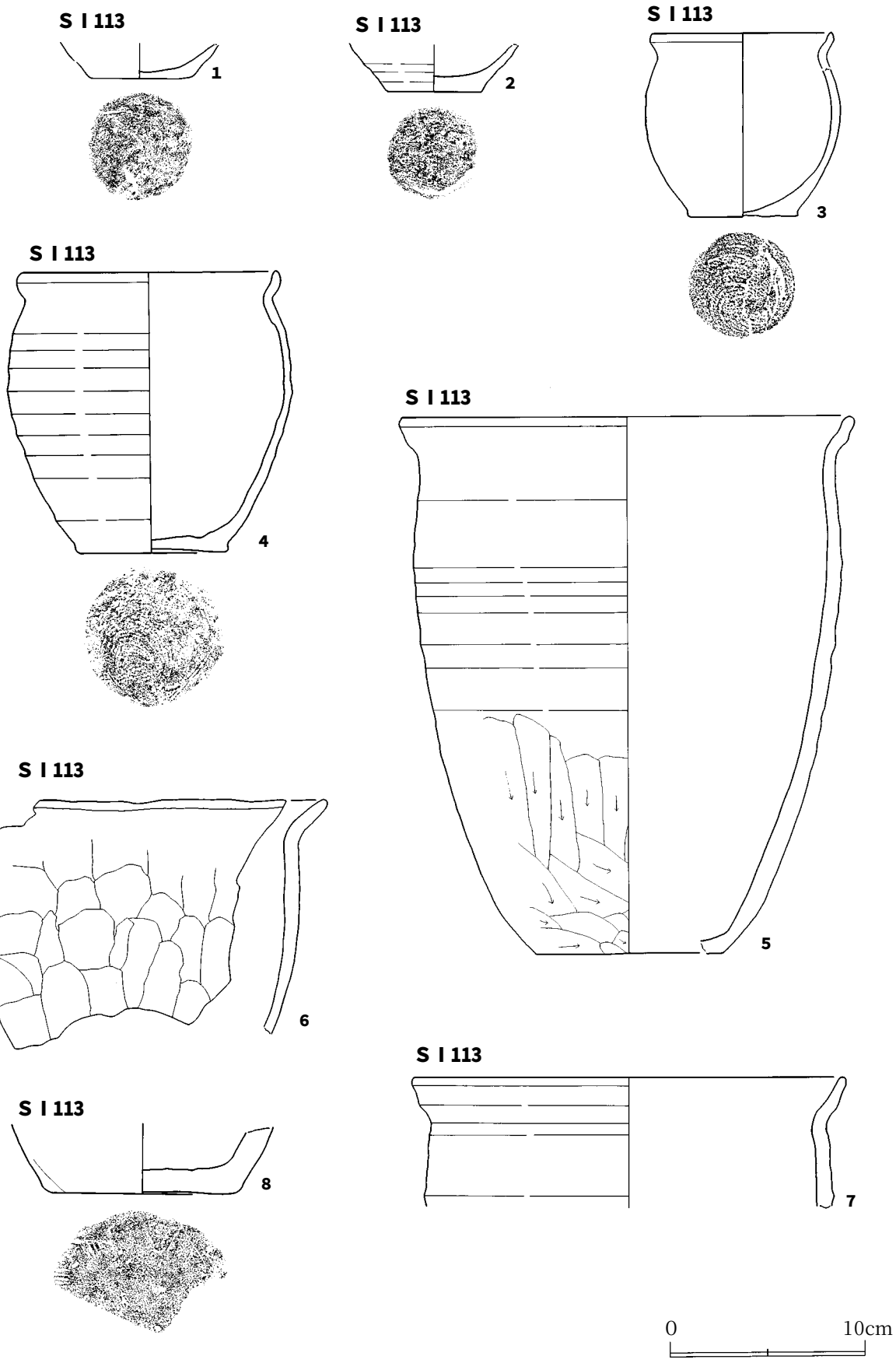
第90図　遺構内出土遺物（４）（S I 17・26・51）



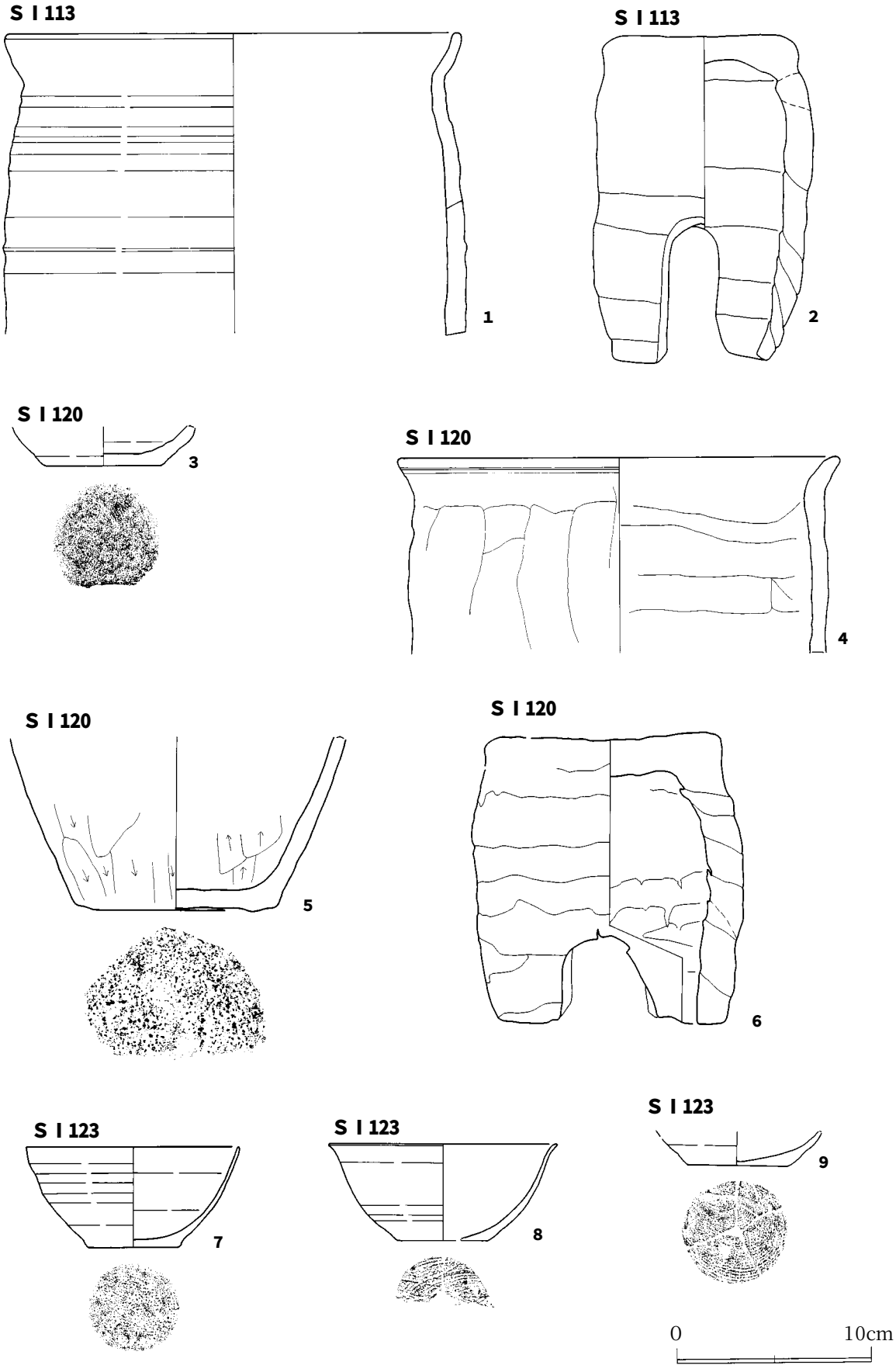
第91図　遺構内出土遺物（５）（ＳＩ51・53・90）



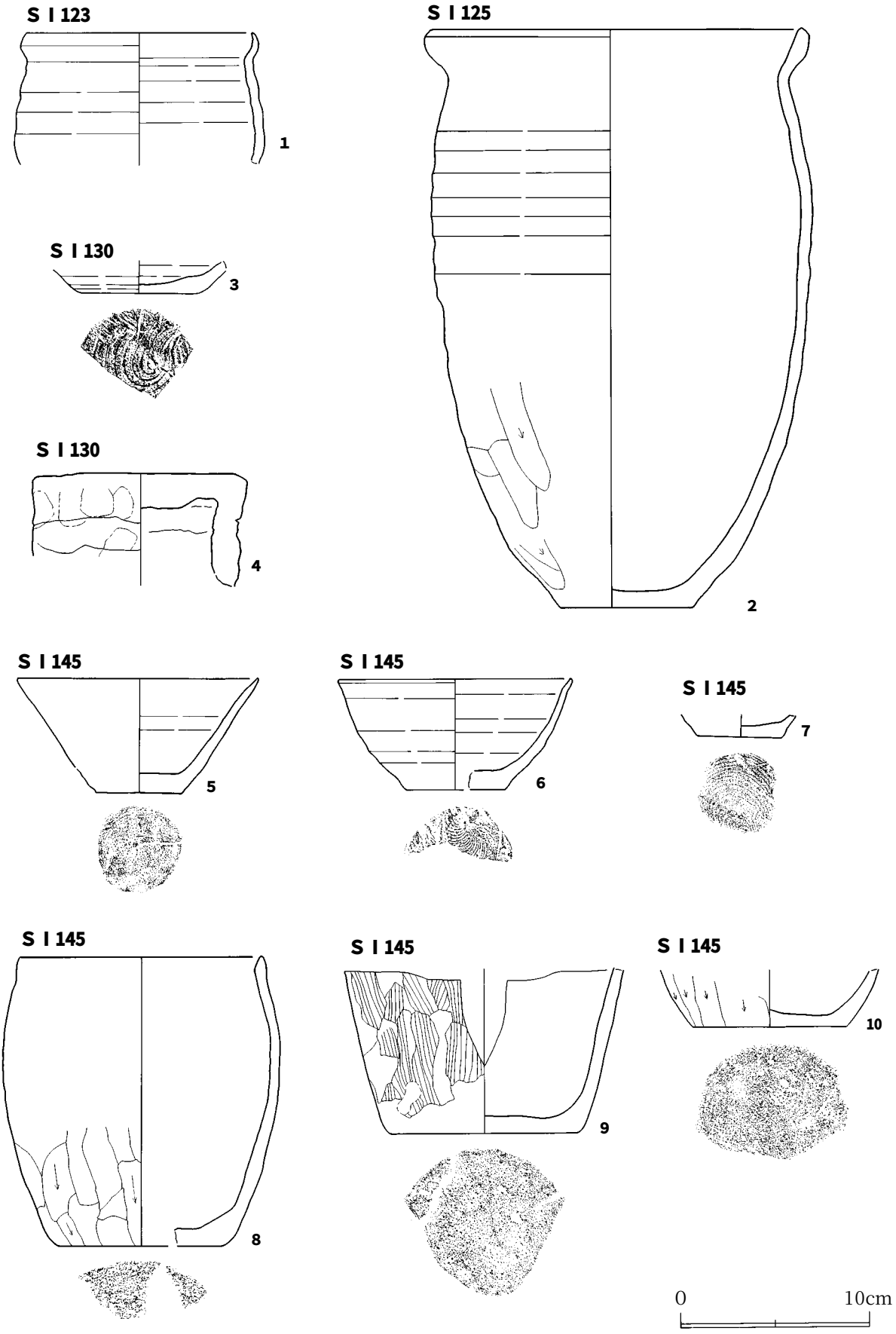
第92図　遺構内出土遺物（６）（ＳＩ90・113）



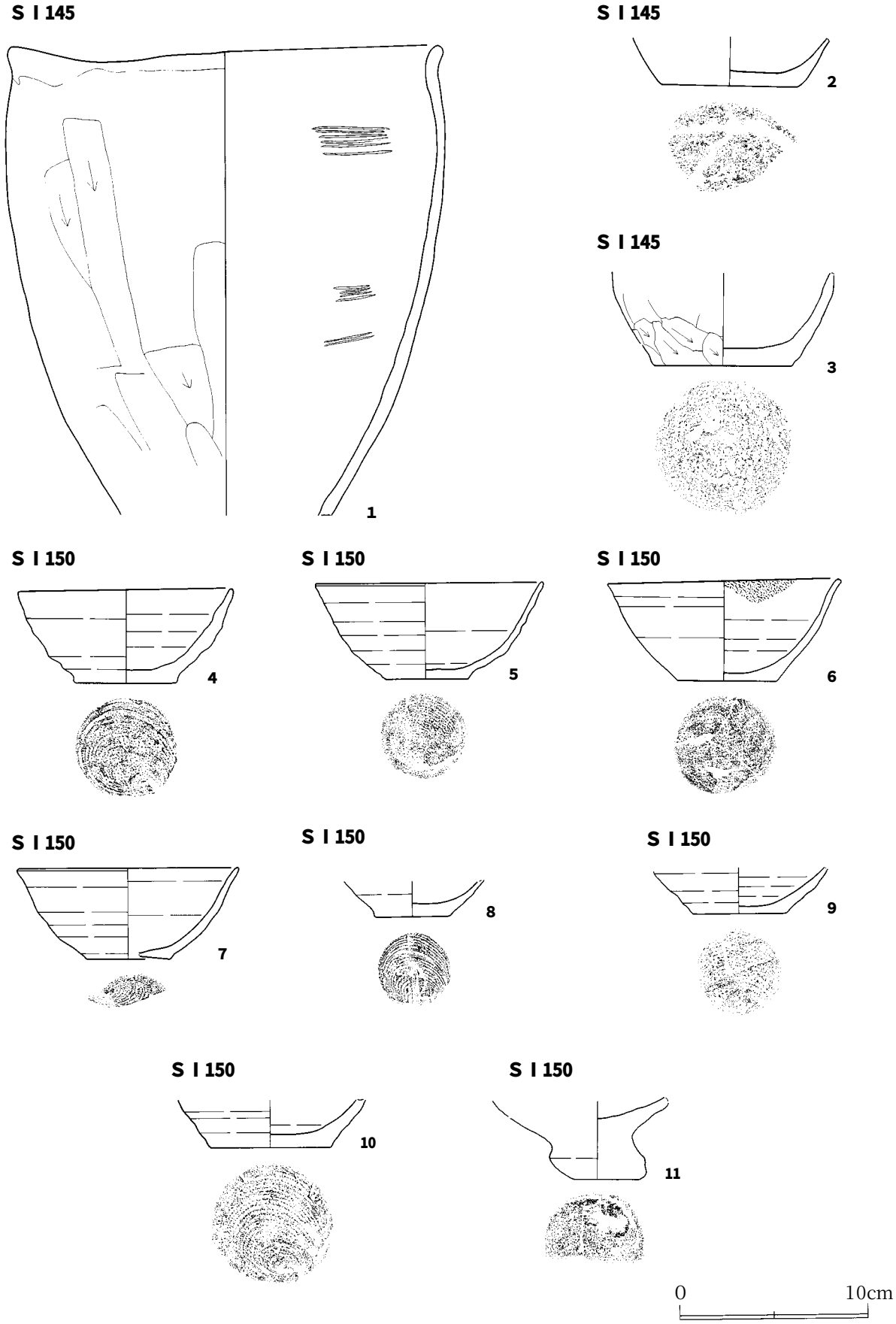
第93図　遺構内出土遺物（7）（S I 113）



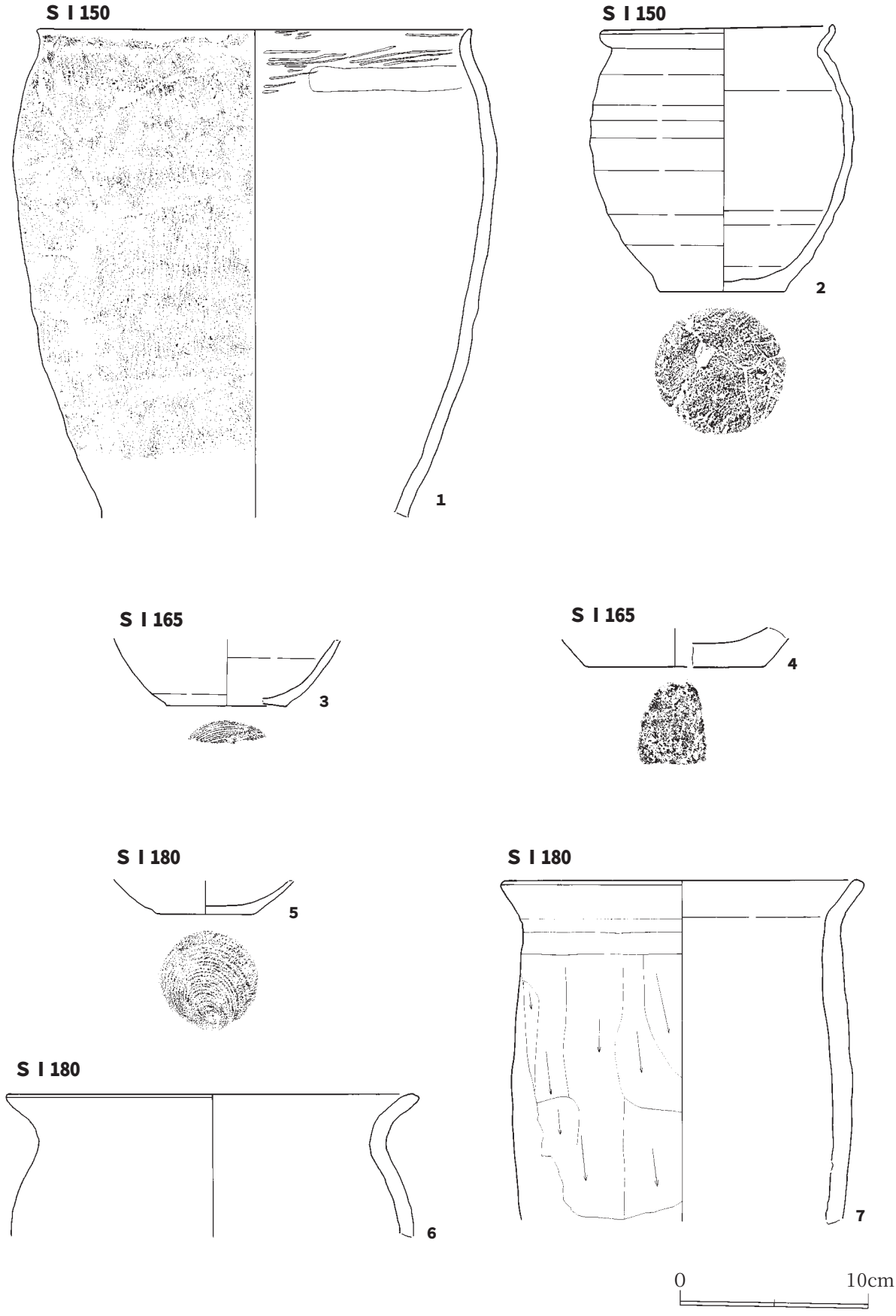
第94図　遺構内出土遺物（８）（ＳＩ113・120・123）



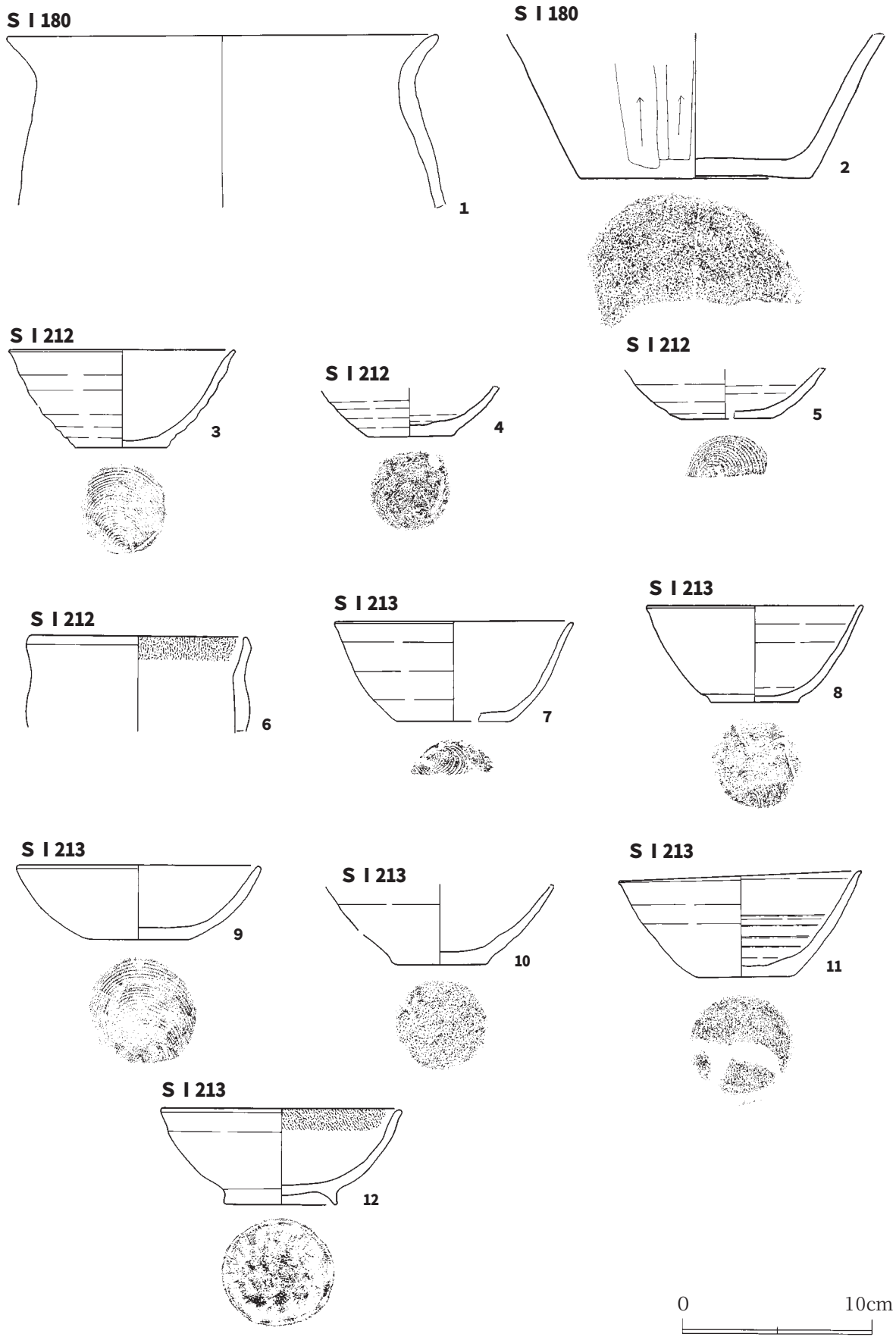
第95図　遺構内出土遺物（9）（S I 123・125・130・145）



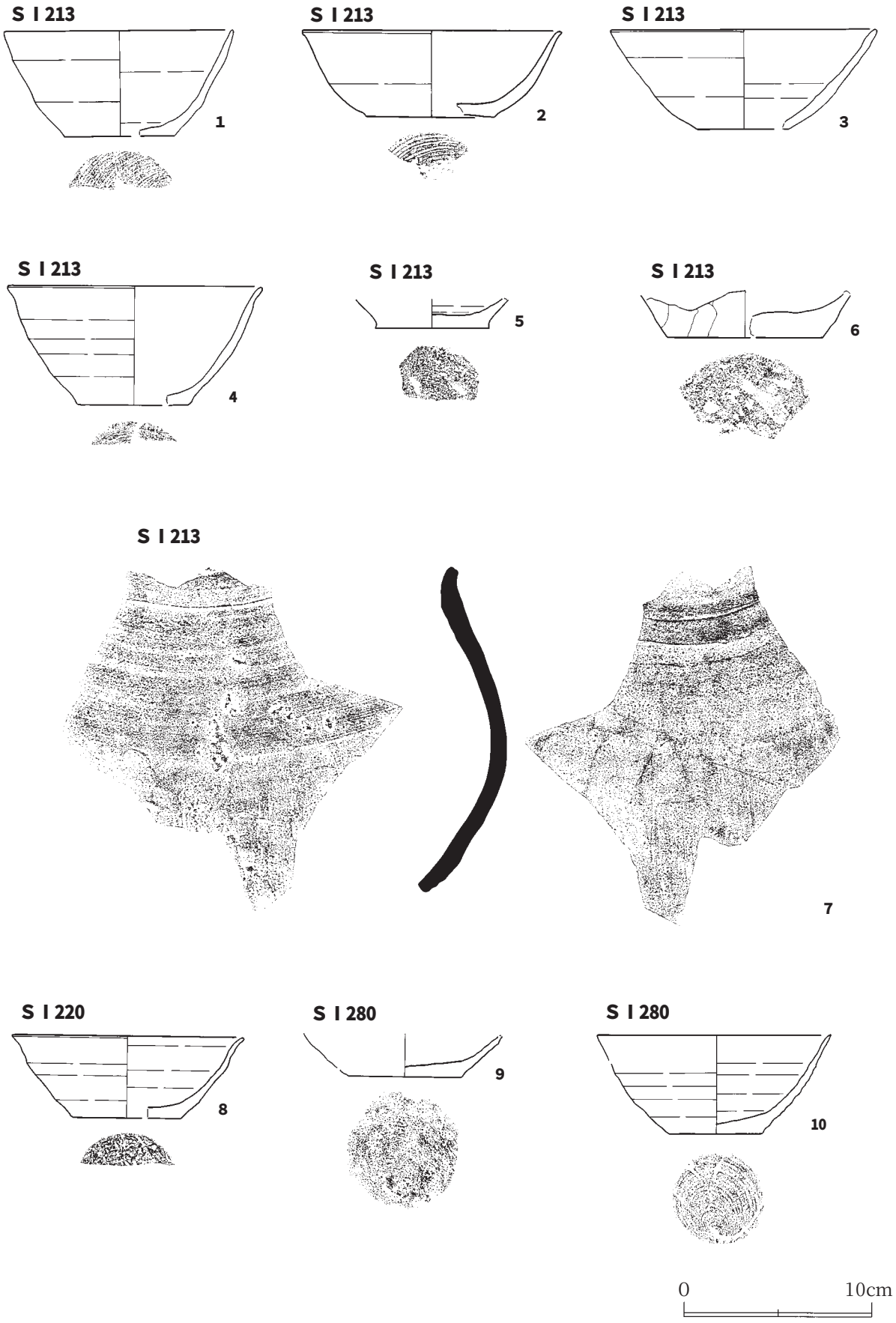
第96図　遺構内出土遺物（10）（S I 145・150）



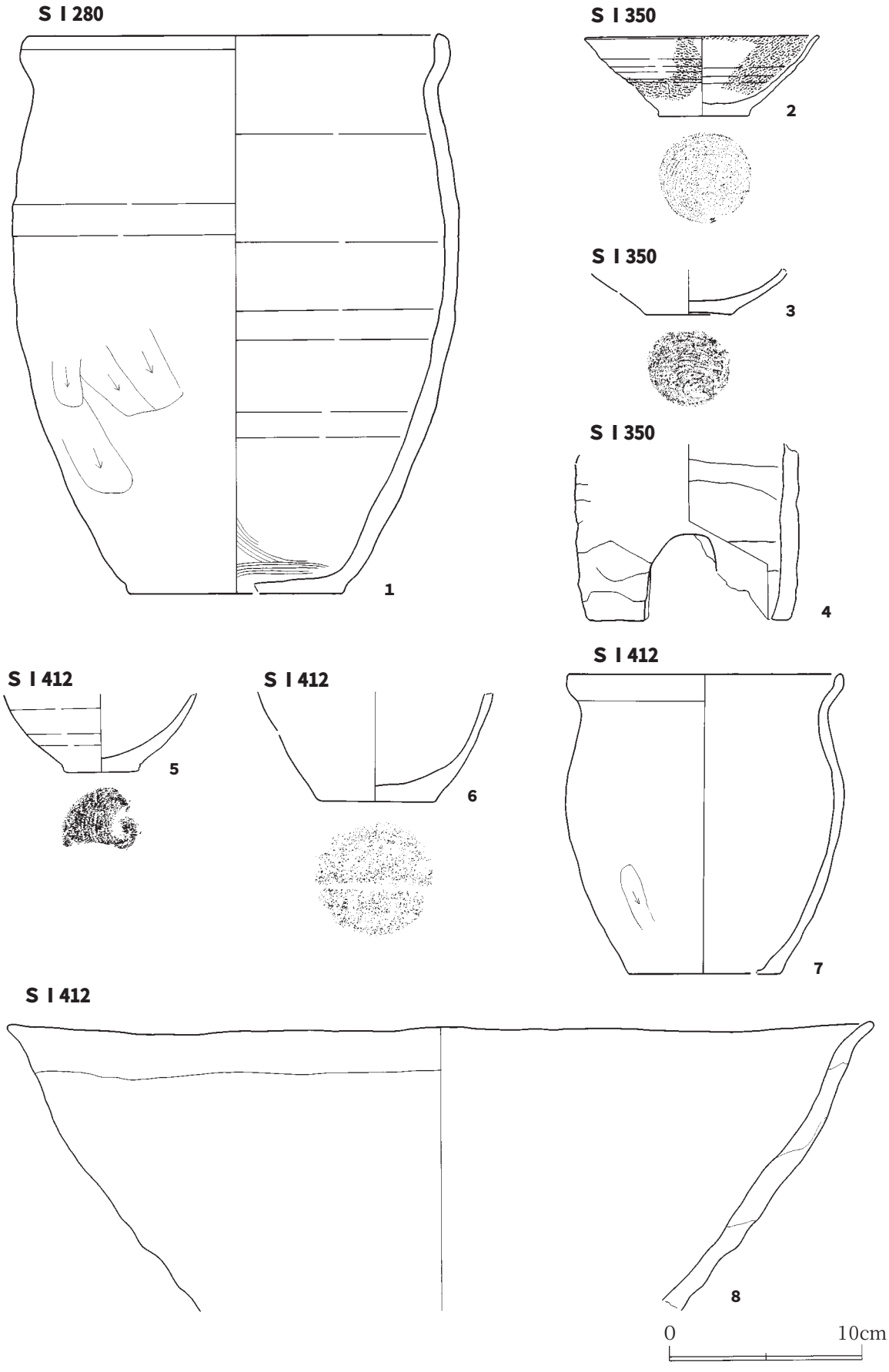
第97図　遺構内出土遺物（11）（ＳＩ150・165・180）



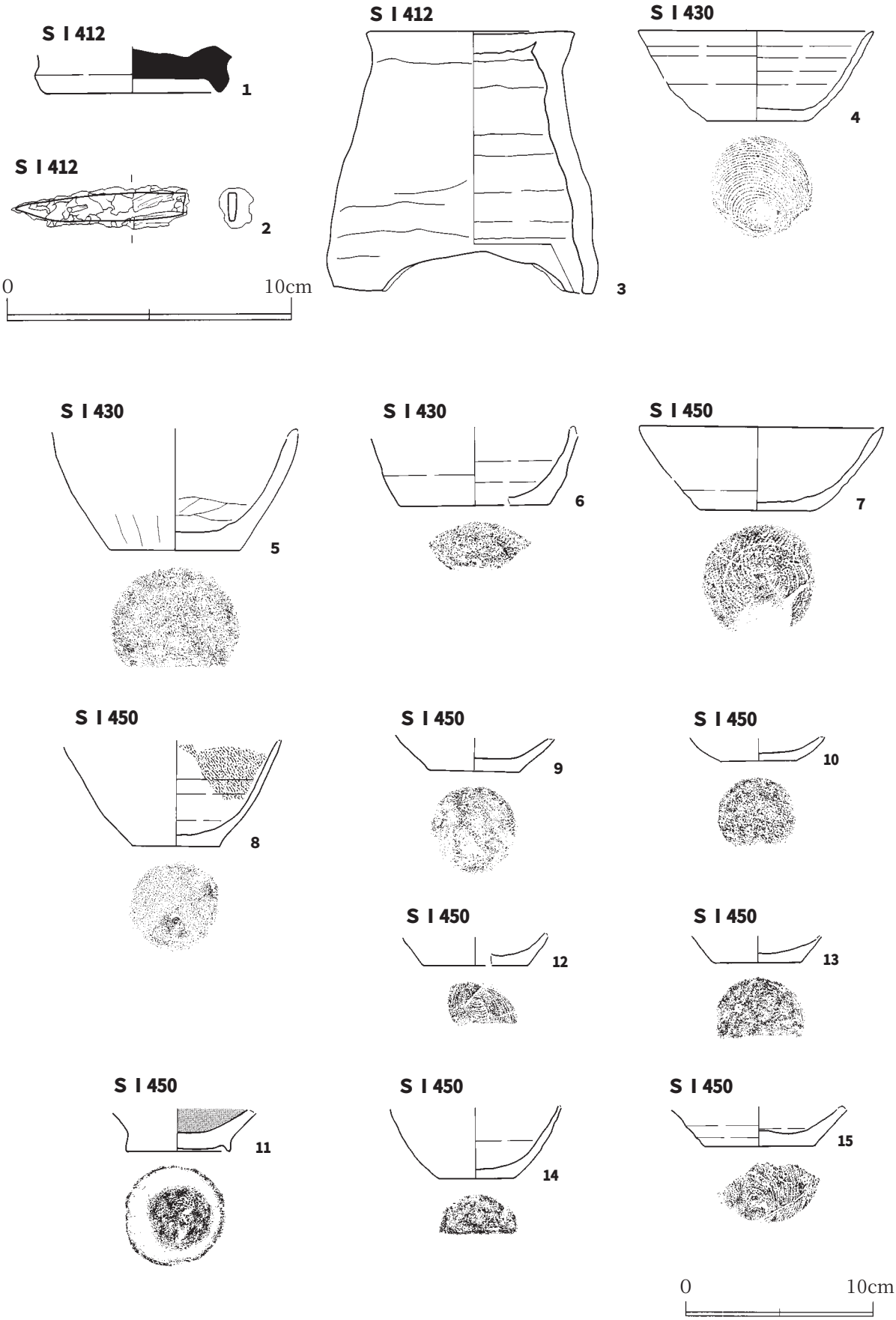
第98図　遺構内出土遺物（12）（S I 180・212・213）



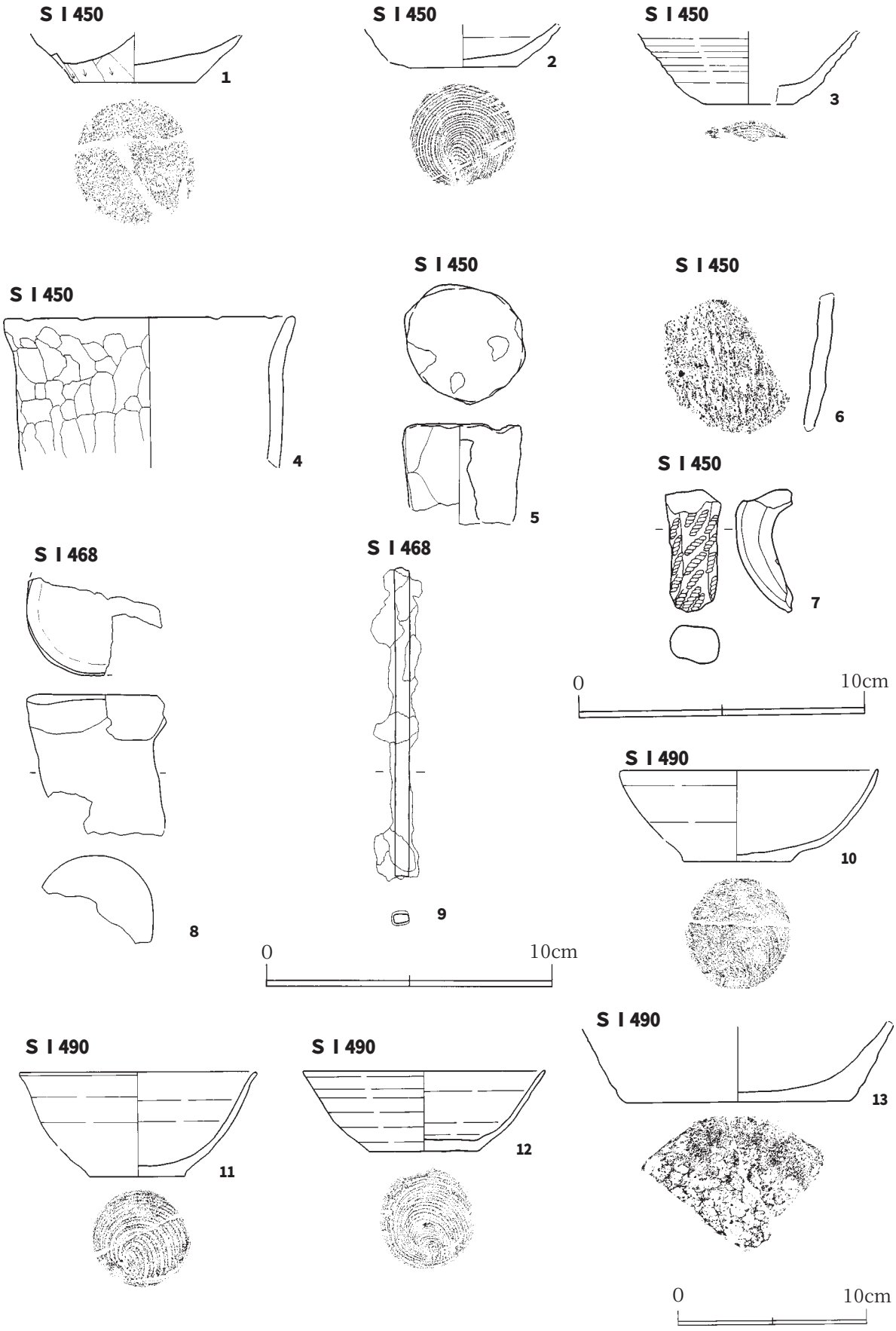
第99図　遺構内出土遺物（13）（ＳＩ213・220・280）



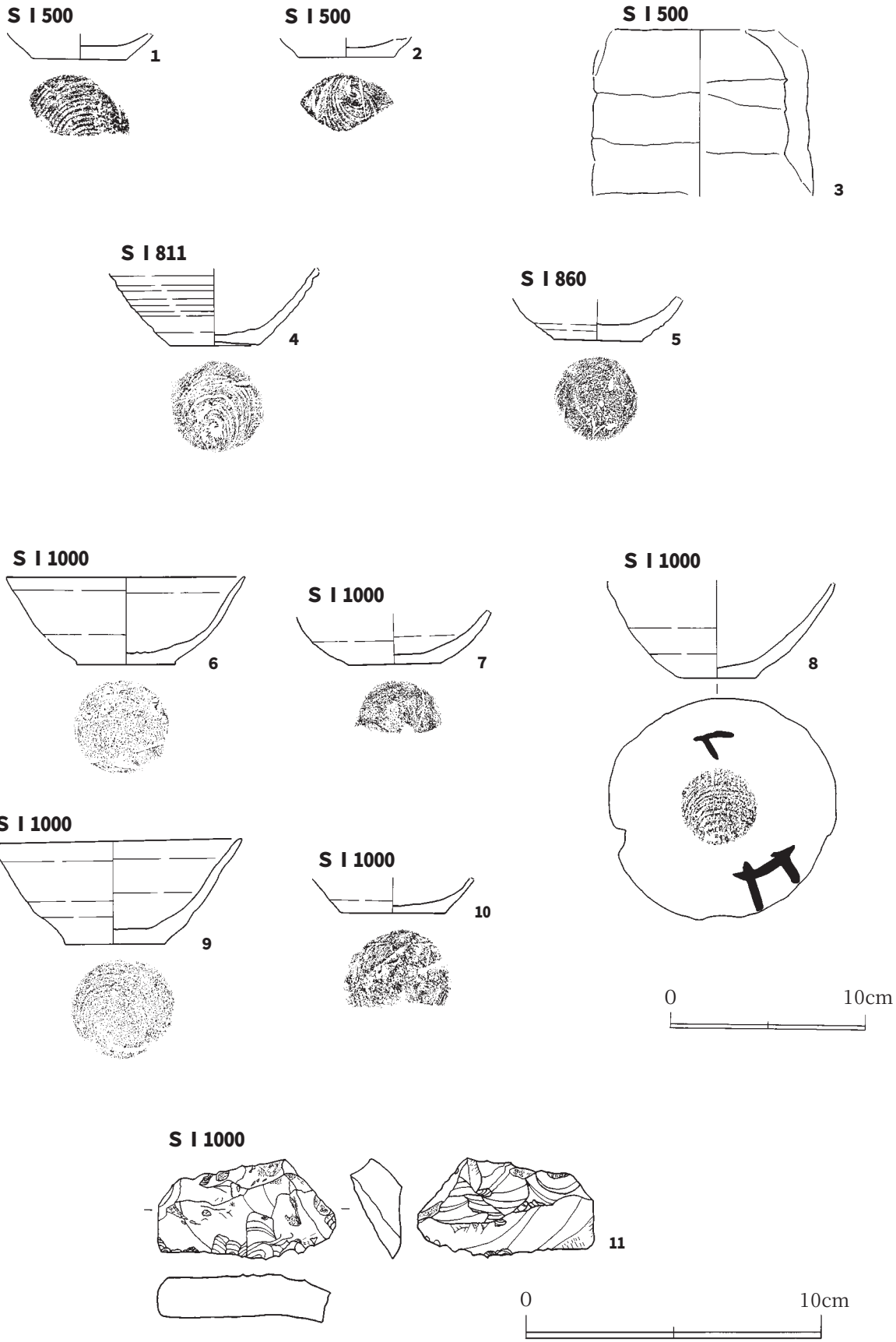
第100図　遺構内出土遺物（14）（S I 280・350・412）



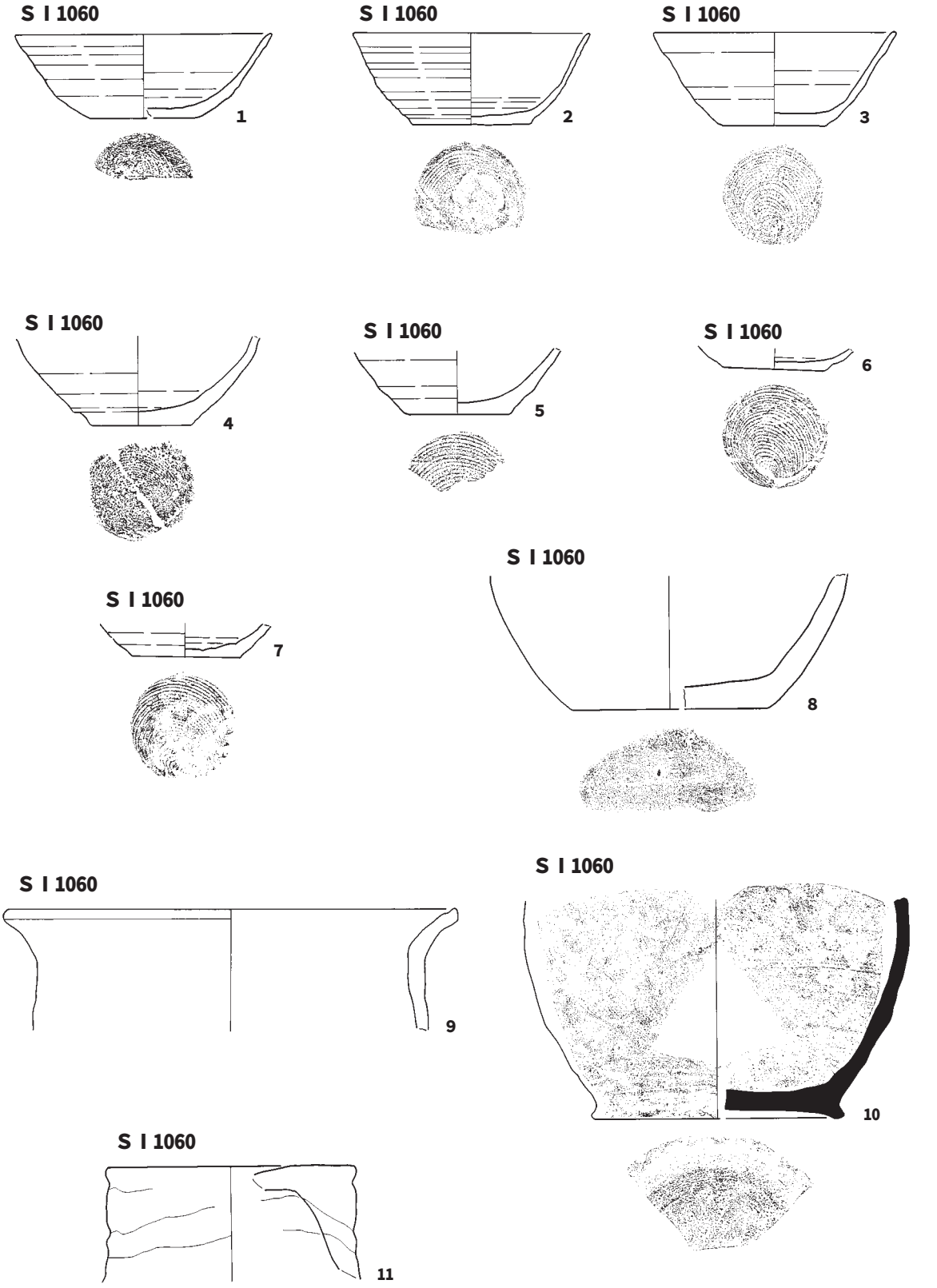
第101図　遺構内出土遺物（15）（ＳＩ412・430・450）



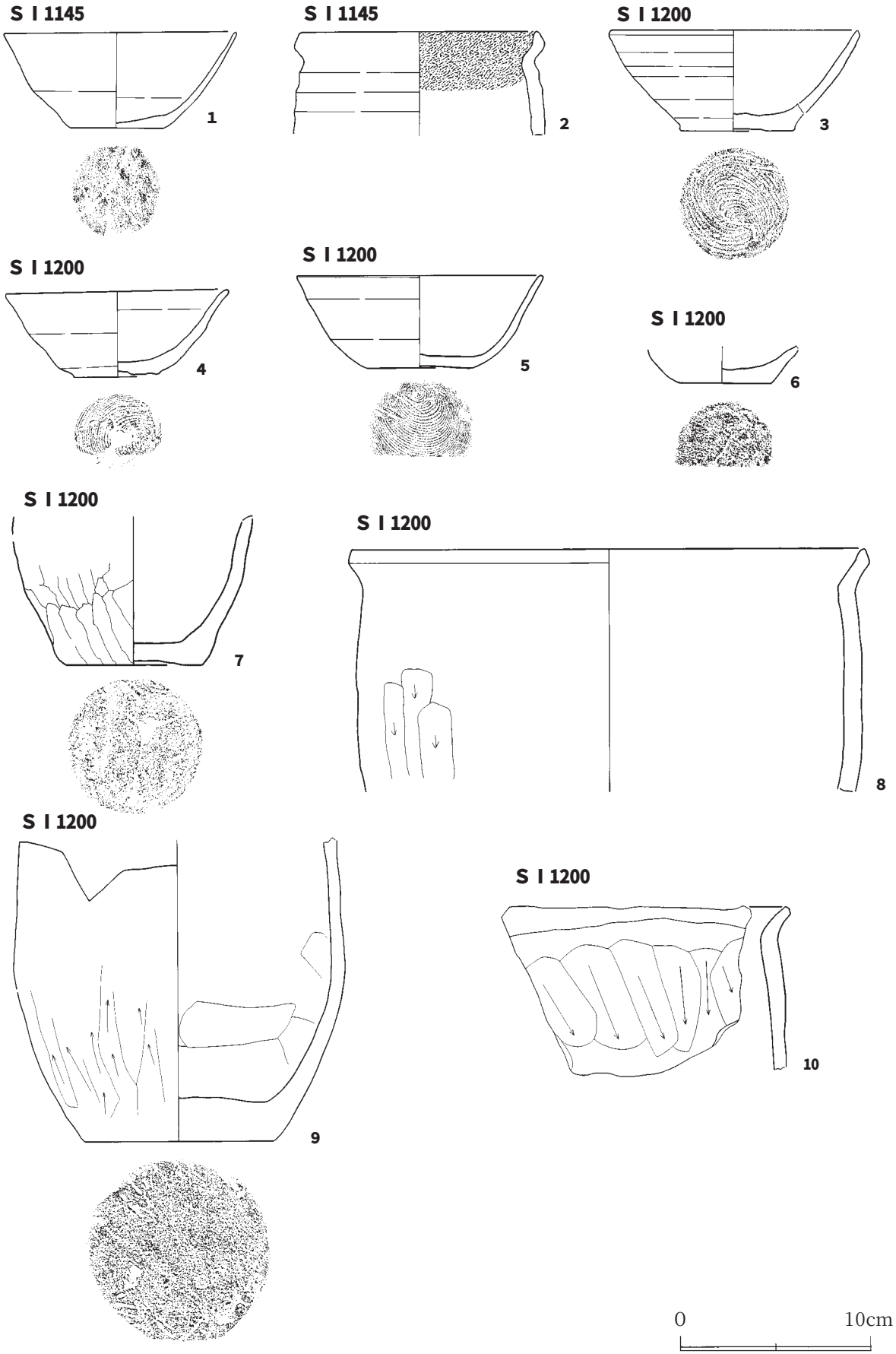
第102図　遺構内出土遺物（16）（S I 450・468・490）



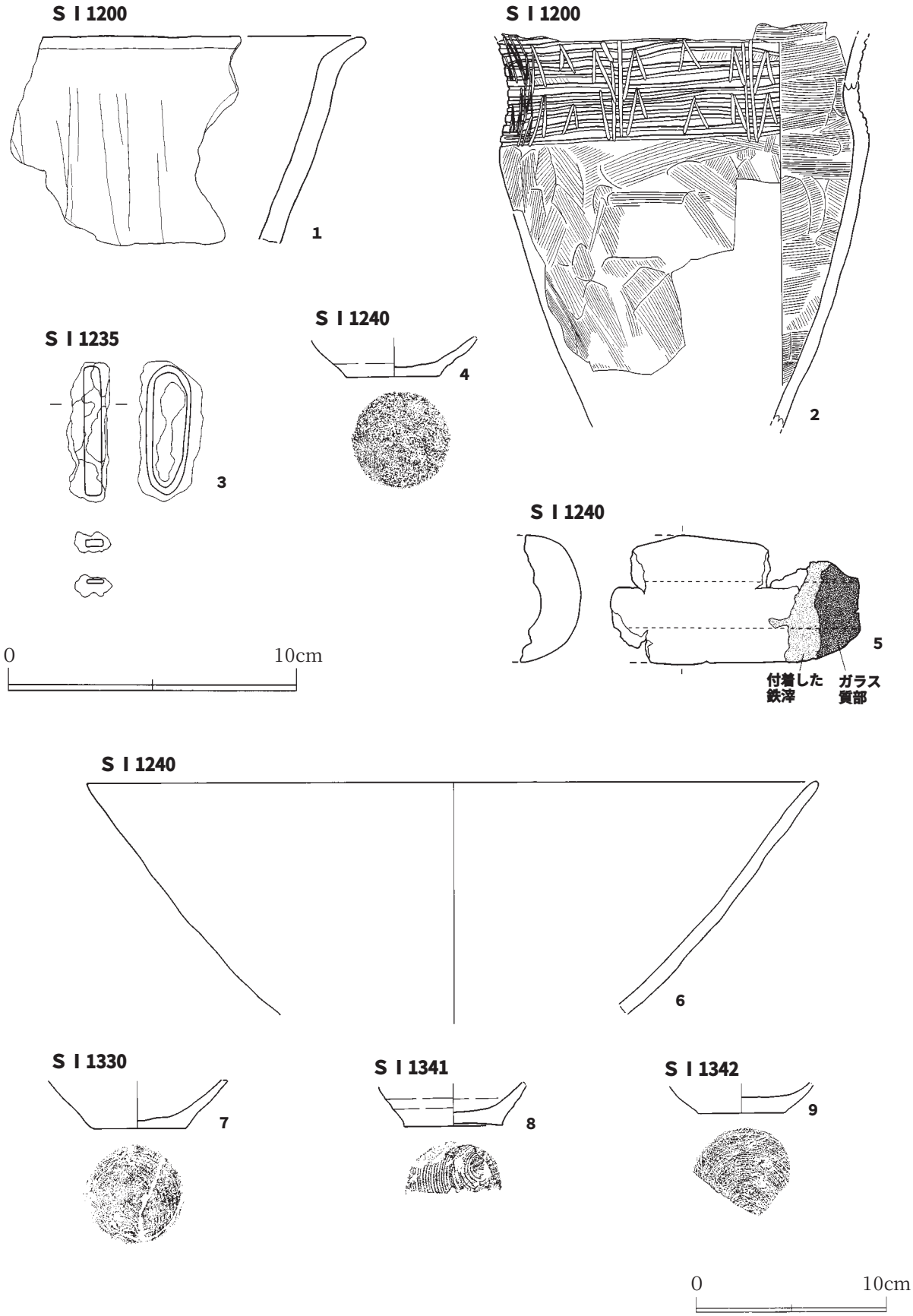
第103図　遺構内出土遺物（17）（ＳＩ500・811・860・1000）



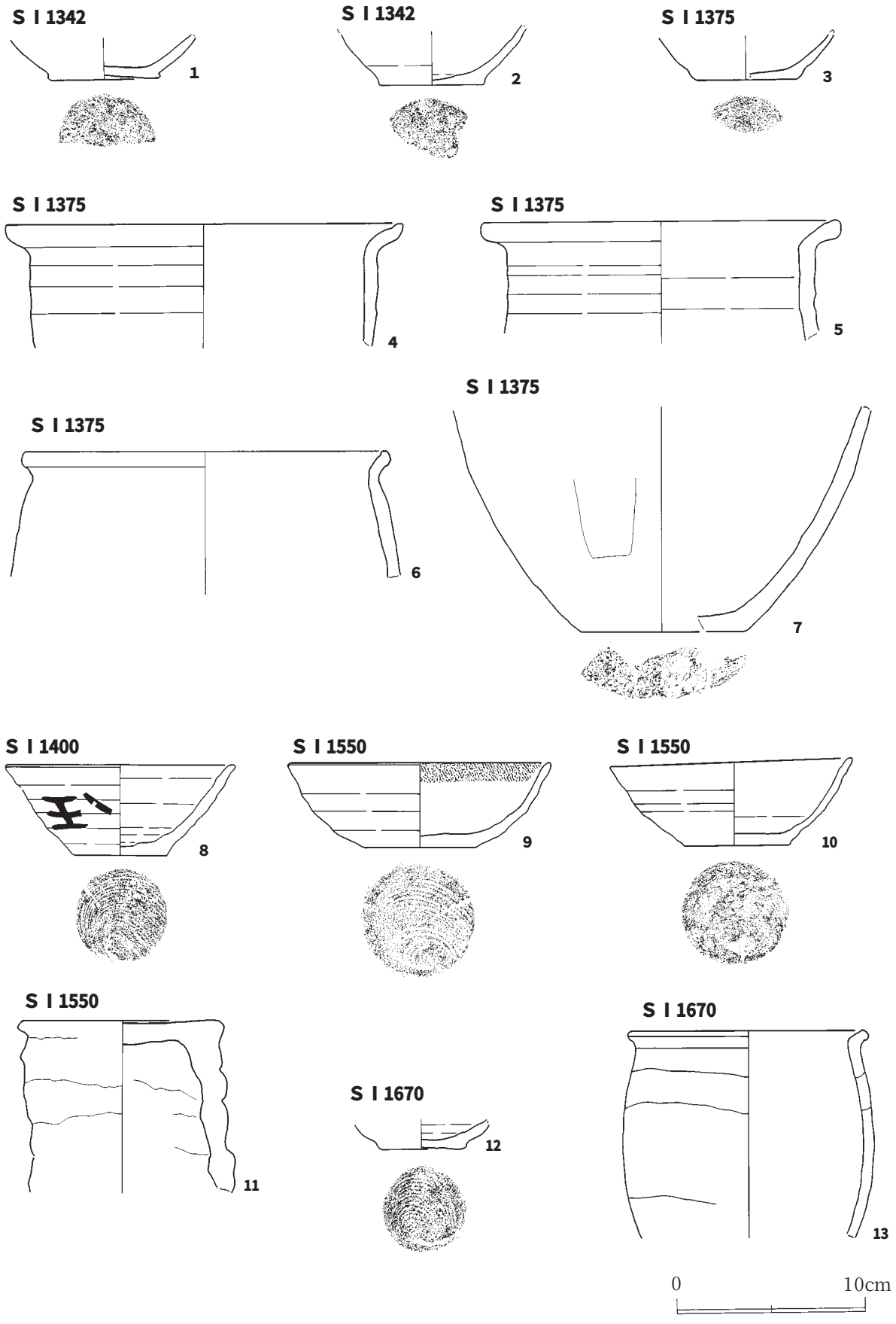
第104図　遺構内出土遺物（18）（ＳＩ1060）



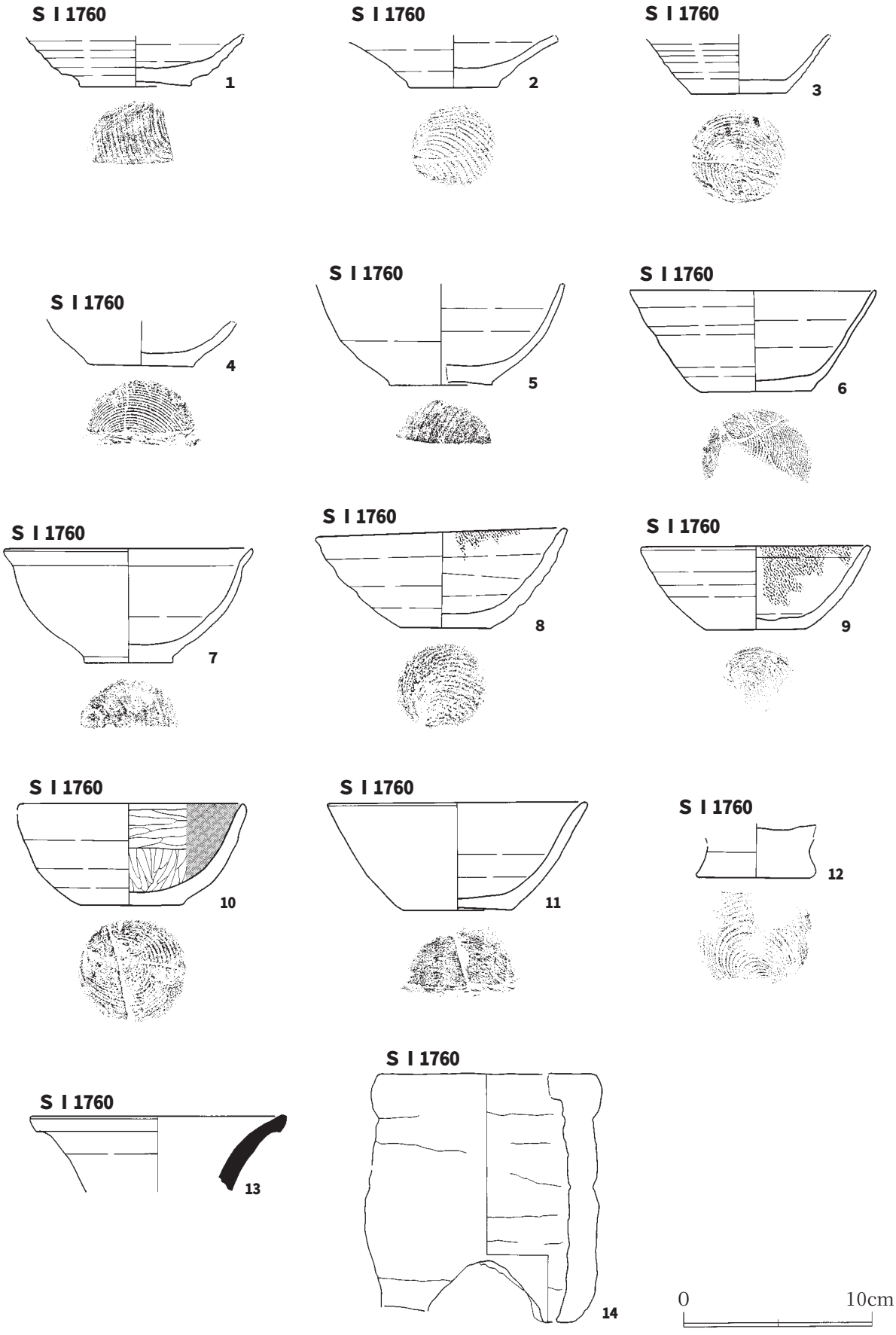
第105図　遺構内出土遺物（19）（ＳＩ1145・1200）



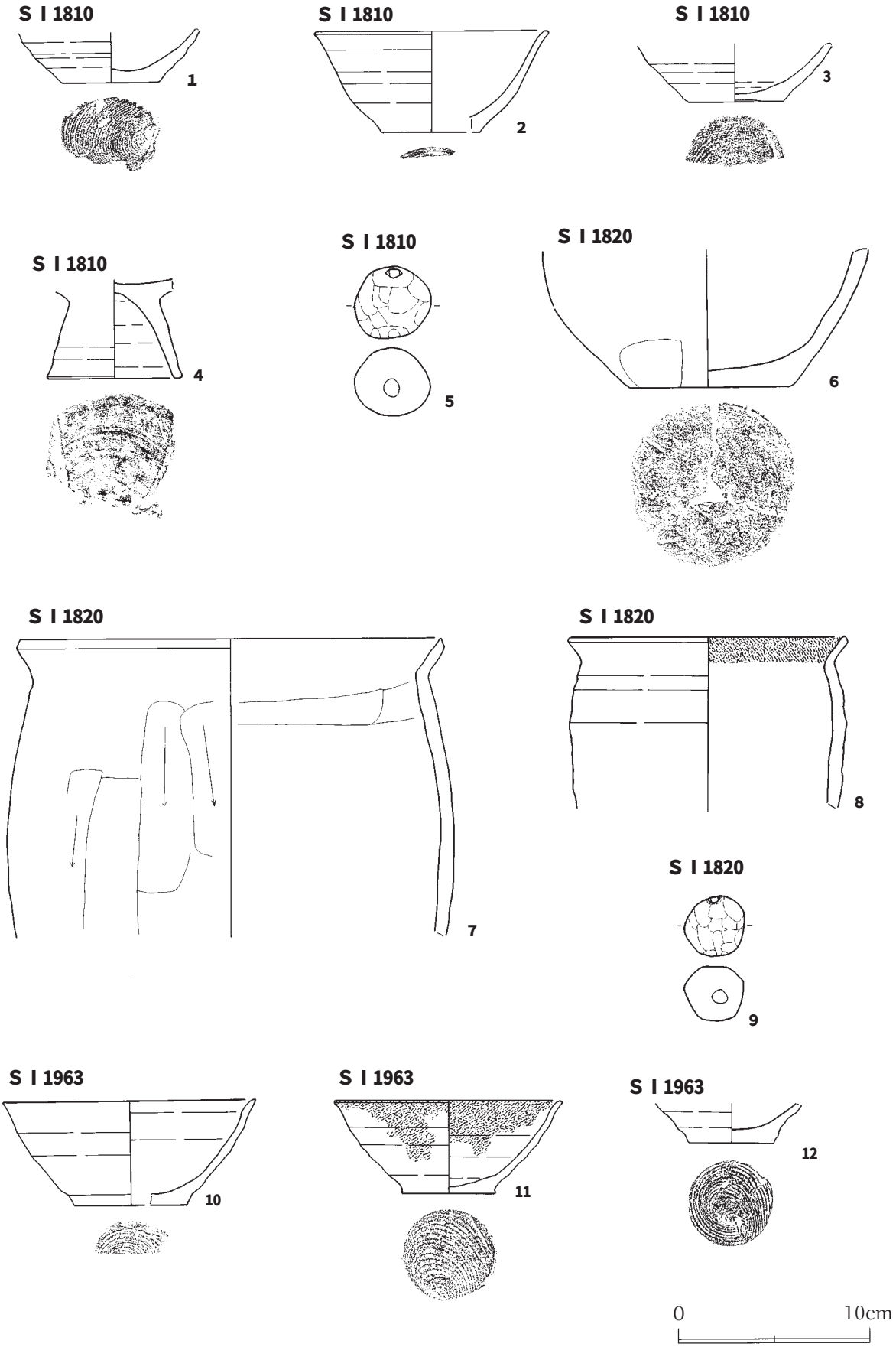
第106図　遺構内出土遺物（20）（ＳＩ1200・1235・1240・1330・1341・1342）



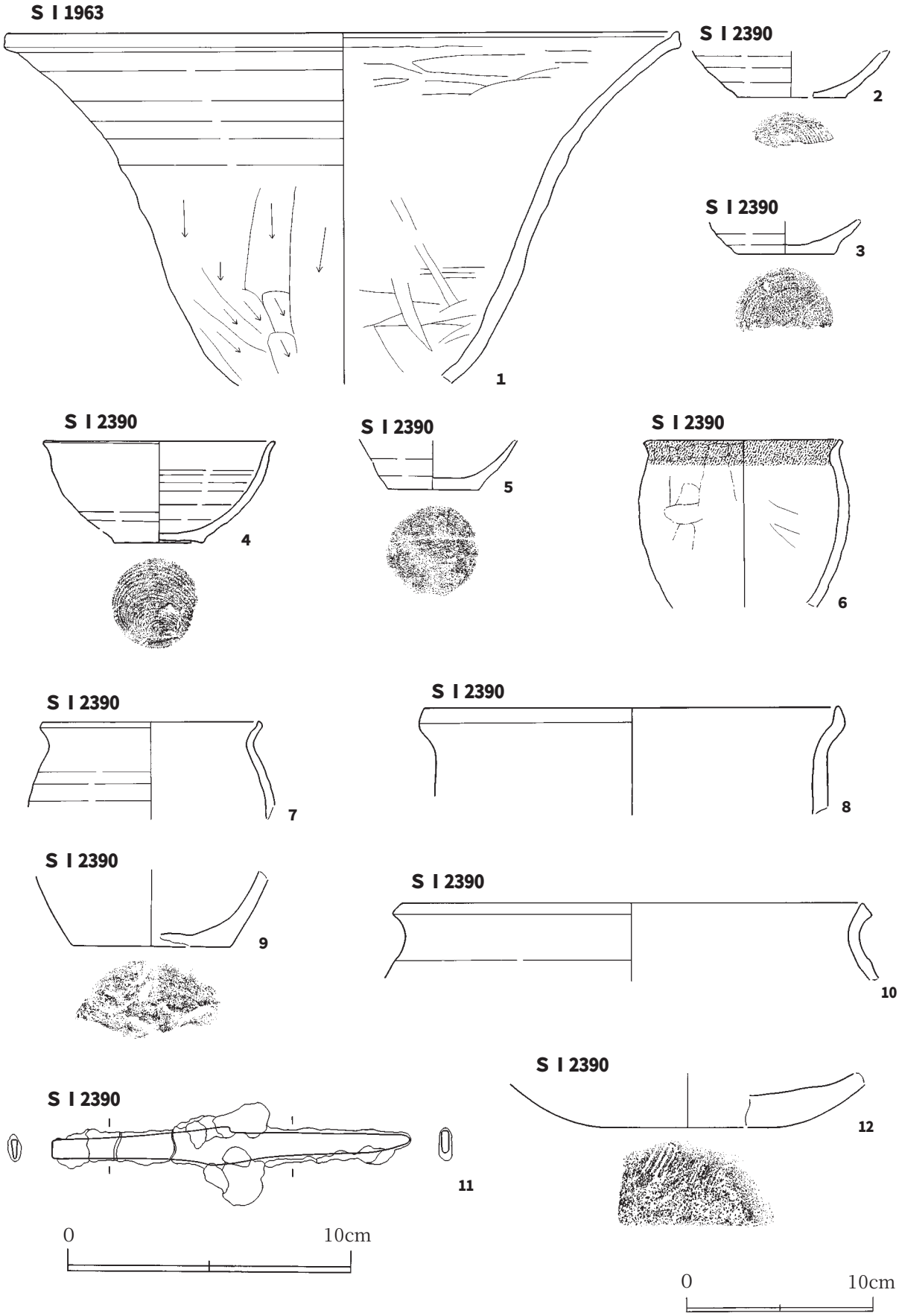
第107図　遺構内出土遺物（21）（ＳＩ1342・1375・1400・1550・1670）



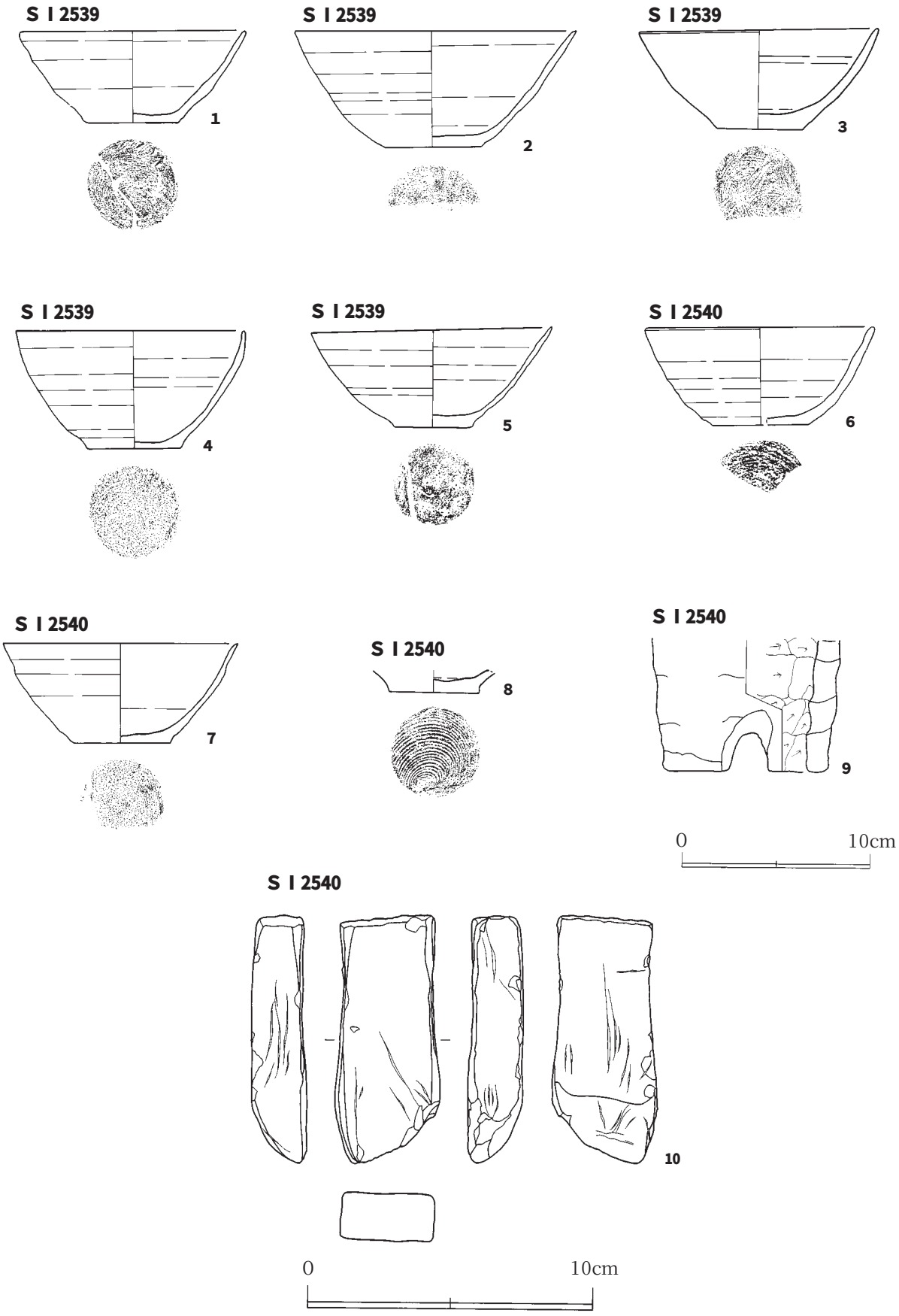
第108図　遺構内出土遺物（22）（ＳＩ1760）



第109図　遺構内出土遺物（23）（ＳＩ1810・1820・1963）



第110図　遺構内出土遺物（24）（S I 1963・2390）



第111図　遺構内出土遺物（25）（ＳＩ2539・2540）

挿図番号	図版番号	出土地点	種別	器種	部位	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	外底部	器面特徴	胎土	備考
第90図２		ＳＩ26	土師	坏	口縁部～底部	〔13.4〕	6.3	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	口縁部内面に油煙
第90図３		ＳＩ26	土師	坏	口縁部～体部	〔11.2〕	－	－	－	ロクロ成形	緻密	
第90図４		ＳＩ26	土師	坏	底部	－	－	4.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第90図５		ＳＩ26	土師	坏	底部	－	－	〔5.6〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第90図６		ＳＩ26	土師	坏	底部	－	－	〔4.6〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第90図７		ＳＩ26	土師	甕	底部	－	－	8.2	非ロクロ	非ロクロ	0.5㎜以下の砂粒混入	
第90図10		ＳＩ51	土師	坏	口縁部～底部	〔12.4〕	5.4	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第90図11		ＳＩ51	土師	坏	口縁部～底部	〔11.7〕	4.6	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第90図12	23－5	ＳＩ51	土師	坏	完形	12.3	5.4	4.8	回転糸切り	ロクロ成形 内面：黒色処理	緻密	
第90図13		ＳＩ51	土師	坏	口縁部～底部	〔11.8〕	5.5	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第90図14		ＳＩ51	土師	坏	口縁部～底部	〔11.6〕	4.7	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第91図１		ＳＩ51	土師	坏	口縁部～底部	〔12.8〕	4.9	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第91図２		ＳＩ51	土師	坏	体部～底部	－	－	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第91図３		ＳＩ51	土師	坏	口縁部～底部	〔13.2〕	4.7	〔6.0〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第91図４		ＳＩ51	土師	坏	体部～底部	－	－	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第91図５		ＳＩ51	土師	坏	体部～底部	－	－	〔5.8〕	回転糸切り	ロクロ成形	0.5㎜の砂粒混入	
第91図６		ＳＩ51	土師	坏	口縁部～体部	〔11.6〕	－	－	－	ロクロ成形	緻密	
第91図８		ＳＩ53	須恵	坏	口縁部～底部	〔12.8〕	3.4	〔6.8〕	回転ヘラ切り	ロクロ成形	緻密	
第91図９		ＳＩ53	須恵	坏	口縁部～底部	〔12.2〕	3.0	〔5.4〕	回転ヘラ切り	ロクロ成形	緻密	
第91図11		ＳＩ90	土師	皿	口縁部～底部	〔10.6〕	2.2	4.8	回転糸切り	摩滅	緻密	
第91図12		ＳＩ90	土師	坏	口縁部～底部	〔12.8〕	5.1	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	口縁部内外面に煤
第91図13	23－6	ＳＩ90	土師	甕	口縁部～底部	〔11.3〕	11.0	7.0	回転糸切り	ロクロ成形	0.5㎜の砂粒混入	
第92図１	23－7	ＳＩ90	土師	甕	口縁部～体部	〔15.2〕	－	－	－	非ロクロ	0.5㎜の砂粒混入	
第92図２		ＳＩ90	土師	甕	口縁部	〔19.0〕	－	－	－	ロクロ成形	1㎜の砂粒混入	
第92図３		ＳＩ90	土師	甕	口縁部	〔18.2〕	－	－	－	ロクロ成形	1㎜以上の砂粒混入	
第92図４		ＳＩ90	土師	甕	体部～底部	－	－	7.4	非ロクロ	外面：ケズリ	0.5㎜の砂粒混入	
第92図５		ＳＩ90	土師	甕	体部～底部	－	－	8.5	非ロクロ	外面：ケズリ	0.5㎜の砂粒混入	
第92図６		ＳＩ90	土師	甕	体部～底部	－	－	7.2	非ロクロ	外面：ケズリ	1㎜の砂粒混入	
第92図７		ＳＩ90	土師	甕	底部	－	－	10.6	砂底	外面：ケズリ	0.5㎜以下の砂粒混入	
第92図８		ＳＩ113	土師	坏	完形	12.1	5.0	5.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第92図９	23－8	ＳＩ113	土師	坏	完形	11.6	4.7	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第92図10	24－1	ＳＩ113	土師	坏	完形	11.3	4.8	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	口縁部に油煙 内面に煤
第92図11		ＳＩ113	土師	坏	完形	11.7	5.4	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	0.5㎜以下の砂粒混入	
第92図12		ＳＩ113	土師	坏	口縁部～底部	〔12.4〕	4.9	〔5.4〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第92図13		ＳＩ113	土師	坏	体部～底部	－	－	〔4.6〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第93図１		ＳＩ113	土師	坏	底部	－	－	5.2	摩滅	摩滅	緻密	
第93図２		ＳＩ113	土師	坏	体部～底部	－	－	4.8	摩滅	ロクロ成形	緻密	
第93図３	24－2	ＳＩ113	土師	甕	口縁部～底部	〔9.0〕	9.3	5.6	回転糸切り	ロクロ成形	粗い胎土	
第93図４	24－3	ＳＩ113	土師	甕	口縁部～底部	〔13.0〕	14.3	7.5	回転糸切り	ロクロ成形	緻密な胎土に1㎜の砂粒混入	
第93図５	24－4	ＳＩ113	土師	甕	口縁部～底部	〔23.0〕	27.2	〔9.6〕		外面：ロクロ成形→ケズリ	緻密な胎土に1㎜の砂粒混入	
第93図６		ＳＩ113	土師	甕	口縁部～体部	－	－	－	－	ケズリ	1～2㎜の砂粒混入	
第93図７		ＳＩ113	土師	甕	口縁部	〔11.0〕	－	－	－	ロクロ成形	0.5㎜の砂粒混入	
第93図８		ＳＩ113	土師	甕	底部	－	－	10.0	下敷き痕	外面：ケズリ	緻密な胎土に1㎜の砂粒混入	
第94図１		ＳＩ113	土師	甕	口縁部	〔23.0〕	－	－	－	ロクロ成形	0.5㎜以上の砂粒混入	
第94図３		ＳＩ120	土師	坏	体部～底部	－	－	5.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第94図４		ＳＩ120	土師	甕	口縁部	〔22.4〕	－	－	－	外面：ケズリ 内面：ナデ	2～3㎜以上の礫混入	
第94図５		ＳＩ120	土師	甕	体部～底部	－	－	10.0	砂底	ケズリ	1～2㎜の砂粒混入	
第94図７	25－1	ＳＩ123	土師	坏	口縁部～底部	〔10.8〕	5.1	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第94図８		ＳＩ123	土師	坏	口縁部～底部	〔11.6〕	4.9	〔4.6〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第94図９		ＳＩ123	土師	坏	底部	－	－	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第95図１		ＳＩ123	土師	甕	口縁部～体部	〔11.8〕	－	－	－	ロクロ成形	緻密	
第95図２	25－2	ＳＩ125	土師	甕	口縁部～底部	〔20.2〕	30.3	7.8		外面：ロクロ成形→ケズリ	2～3㎜以上の礫混入	
第95図３		ＳＩ130	土師	坏	底部	－	－	6.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第95図５		ＳＩ145	土師	坏	口縁部～底部	〔13.6〕	6.0	4.5	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	

第５表　竪穴住居跡（古代）出土遺物一覧表（１）

挿図番号	図版番号	出土地点	種別	器種	部位	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	外底部	器面特徴	胎土	備考
第95図６		ＳＩ145	土師	坏	口縁部～底部	〔12.2〕	5.8	〔5.2〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第95図７		ＳＩ145	土師	坏	底部	－	－	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第95図８		ＳＩ145	土師	甕	口縁部～底部	〔12.6〕	15.1	〔8.6〕	非ロクロ	外面：ケズリ	粗い胎土に0．5㎜の砂粒混入	
第95図９	25－３	ＳＩ145	土師	甕	体部～底部	－	－	10.0	非ロクロ	外面：縦方向に刷毛目	緻密な胎土に1～3㎜の砂粒混入	
第95図10		ＳＩ145	土師	甕	底部	－	－	8.0	籾殻の圧痕	外面：ケズリ	緻密な胎土に0．5㎜の砂粒混入	
第96図１	25－４	ＳＩ145	土師	甕	口縁部～体部	〔22.8〕	－	－	－	外面：ケズリ 内面：刷毛目	緻密	
第96図２		ＳＩ145	土師	甕	底部	－	－	7.0			粗い	
第96図３		ＳＩ145	土師	甕	体部～底部	－	－	7.2	非ロクロ	外面：ケズリ	粗い胎土に0.5㎜の砂粒混入	
第96図４	25－５	ＳＩ150	土師	坏	完形	11.2	5.0	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第96図５		ＳＩ150	土師	坏	口縁部～底部	〔11.8〕	5.0	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第96図６	25－６	ＳＩ150	土師	坏	完形	12.2	5.4	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	燈明皿 内面に煤
第96図７		ＳＩ150	土師	坏	口縁部～底部	〔11.6〕	4.8	〔4.4〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第96図８		ＳＩ150	土師	坏	底部	－	－	3.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第96図９		ＳＩ150	土師	坏	体部～底部	－	－	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第96図10		ＳＩ150	土師	甕	底部	－	－	6.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第97図１	26－１	ＳＩ150	土師	甕	口縁部～体部	〔22.8〕	－	－	－	外面：口縁部折り返し 体部縦方向に刷毛目 内面：口縁部刷毛目→ナデ	緻密	
第97図２	26－２	ＳＩ150	土師	甕	完形	12.2	13.9	6.8		ロクロ成形	緻密	
第97図３		ＳＩ165	土師	坏	体部～底部	－	－	6.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第97図４		ＳＩ165	土師	甕	底部	－	－	〔9.2〕			1㎜の砂粒混入	
第97図５		ＳＩ180	土師	坏	体部～底部	－	－	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第97図６		ＳＩ180	土師	甕	口縁部～体部	〔21.6〕	－	－	－	－	緻密な胎土に1㎜の砂粒混入	
第97図７		ＳＩ180	土師	甕	口縁部～体部	〔19.0〕	－	－	－	外面：ナデ→ケズリ	0.5㎜の砂粒混入	
第98図１		ＳＩ180	土師	甕	口縁部～体部	〔22.6〕	－	－	－		粗い胎土に0.5㎜以上の砂粒混入	
第98図２		ＳＩ180	土師	甕	体部～底部	－	－	12.0	砂底	外面：ケズリ	緻密な胎土に0.5㎜の砂粒混入	
第98図３		ＳＩ212	土師	坏	口縁部～底部	〔11.8〕	5.1	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第98図４		ＳＩ212	土師	坏	体部～底部	－	－	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	0.5㎜以下の砂粒混入	
第98図５		ＳＩ212	土師	坏	体部～底部	－	－	〔4.8〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第98図６		ＳＩ212	土師	甕	口縁部	〔11.2〕	－	－	－		0.5㎜以下の砂粒混入	口縁部内面に煤
第98図７		ＳＩ213	土師	坏	口縁部～底部	〔12.4〕	5.2	〔6.0〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密な胎土に2～3㎜の砂粒混入	
第98図８	26－３	ＳＩ213	土師	坏	完形	11.2	5.0	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第98図９		ＳＩ213	土師	坏	口縁部～底部	〔12.8〕	3.9	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第98図10		ＳＩ213	土師	坏	体部～底部	－	－	4.8	摩滅	ロクロ成形	緻密	
第98図11	26－４	ＳＩ213	土師	坏	完形	12.6	5.5	5.1	摩滅	ロクロ成形	緻密	
第98図12		ＳＩ213	土師	坏	口縁部～底部	〔12.4〕	5.0	5.8	高台	ロクロ成形	緻密	口縁部内面に煤
第99図１		ＳＩ213	土師	坏	口縁部～底部	〔12.0〕	5.5	〔5.8〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第99図２		ＳＩ213	土師	坏	口縁部～底部	〔13.6〕	4.5	〔6.6〕	回転糸切り	ロクロ成形	1㎜の砂粒混入	
第99図３		ＳＩ213	土師	坏	口縁部～底部	〔14.0〕	5.3	〔4.8〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第99図４		ＳＩ213	土師	坏	口縁部～底部	〔12.2〕	4.3	〔5.8〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第99図５		ＳＩ213	土師	坏	底部	－	－	6.0	回転糸切り	ロクロ成形	0.5㎜以下の砂粒混入	
第99図６		ＳＩ213	土師	甕	底部	－	－	〔4.2〕	非ロクロ	外面：ケズリ	0.5㎜以下の砂粒混入	
第99図７		ＳＩ213	須恵	壺	体部	－	－	－	－	内外面：ロクロ成形→ケズリ	緻密	外面に自然釉
第99図８		ＳＩ220	土師	坏	口縁部～底部	〔13.4〕	6.3	〔5.8〕	摩滅	ロクロ成形	緻密	
第99図９		ＳＩ280	土師	坏	底部	－	－	6.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密な胎土に0.5㎜の砂粒混入	
第99図10	26－５	ＳＩ280	土師	坏	口縁部～底部	〔12.3〕	5.2	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第100図１		ＳＩ280	土師	甕	口縁部～底部	〔21.0〕	28.6	〔11.0〕		外面：ロクロ成形→ケズリ 内面：ロクロ成形　刷毛目	緻密な胎土に2～3㎜の砂粒混入	
第100図２		ＳＩ350	土師	坏	口縁部～底部	〔12.0〕	4.1	4.7	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	内外面に油煙および煤
第100図３		ＳＩ350	土師	坏	体部～底部	－	－	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第100図５		ＳＩ412	土師	坏	体部～底部	－	－	3.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	

第６表　竪穴住居跡（古代）出土遺物一覧表（２）

挿図番号	図版番号	出土地点	種別	器種	部位	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	外底部	器面特徴	胎土	備考
第100図６		ＳＩ412	土師	甕	体部～底部	－	－	6.0	砂底	非ロクロ	0．5㎜以上の砂粒混入	
第100図７		ＳＩ412	土師	甕	口縁部～底部	〔14.2〕	15.4	〔7.8〕	非ロクロ	外面：ケズリ	0．5㎜以上の砂粒混入	
第100図８	27－１	ＳＩ412	土師	鍋	口縁部～体部	〔44.2〕	－	－	－	非ロクロ	緻密な胎土に1㎜の砂粒混入	
第101図１		ＳＩ412	須恵	甕	底部	－	－	9.2	高台	ロクロ成形	緻密	外面底部に火ぶくれ
第101図４		ＳＩ430	土師	坏	口縁部～底部	〔12.4〕	4.7	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密な胎土に0．5㎜の砂粒混入	
第101図５		ＳＩ430	土師	坏	体部～底部	－	－	6.8	非ロクロ	外面：ケズリ 内面：ナデ	粗い胎土に0．5㎜の砂粒混入	
第101図６		ＳＩ430	土師	甕	体部～底部	－	－	〔8.0〕	砂底	ロクロ成形	1～3㎜の砂粒混入	
第101図７		ＳＩ450	土師	坏	口縁部～底部	〔12.8〕	4.4	6.0	回転糸切り	ロクロ成形	0．5㎜程の砂粒混入	
第101図８		ＳＩ450	土師	坏	体部～底部	－	－	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	0．5㎜程の砂粒混入	燈明皿 内面に煤
第101図９		ＳＩ450	土師	坏	底部	－	－	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第101図10		ＳＩ450	土師	坏	底部	－	－	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第101図11		ＳＩ450	土師	坏	底部	－	－	5.4	高台	内面：黒色処理	緻密	
第101図12		ＳＩ450	土師	坏	底部	－	－	〔5.6〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第101図13		ＳＩ450	土師	坏	底部	－	－	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第101図14		ＳＩ450	土師	坏	体部～底部	－	－	4.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第101図15		ＳＩ450	土師	坏	底部	－	－	6.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第102図１		ＳＩ450	土師	甕	底部	－	－	6.4	非ロクロ	外面：ケズリ	1㎜以上の砂粒混入	
第102図２		ＳＩ450	土師	坏	底部	－	－	5.5	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第102図３		ＳＩ450	土師	坏	底部	－	－	〔4.8〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第102図４		ＳＩ450	土師	甕	口縁部～体部	〔15.2〕	－	－	－	外面：ケズリ	緻密	
第102図10		ＳＩ490	土師	坏	口縁部～底部	〔13.6〕	4.8	5.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第102図11		ＳＩ490	土師	坏	口縁部～底部	〔12.4〕	5.5	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第102図12		ＳＩ490	土師	坏	口縁部～底部	〔12.6〕	4.2	5.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第102図13		ＳＩ490	土師	甕	底部	－	－	12.0			1㎜の砂粒混入	
第103図１		ＳＩ500	土師	坏	底部	－	－	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第103図２		ＳＩ500	土師	坏	底部	－	－	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第103図４		ＳＩ811	土師	坏	体部～底部	－	－	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第103図５		ＳＩ860	土師	坏	体部～底部	－	－	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第103図６		ＳＩ1000	土師	坏	口縁部～底部	〔12.0〕	4.4	4.9	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第103図７		ＳＩ1000	土師	坏	体部～底部	－	－	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第103図８	27－４	ＳＩ1000	土師	坏	体部～底部	－	－	4.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	外面に墨書「廾」
第103図９		ＳＩ1000	土師	坏	完形	12.8	5.3	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第103図10		ＳＩ1000	土師	坏	底部	－	－	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第104図１		ＳＩ1060	土師	坏	口縁部～底部	〔12.6〕	4.1	〔5.0〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第104図２		ＳＩ1060	土師	坏	口縁部～底部	〔11.8〕	4.5	5.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第104図３		ＳＩ1060	土師	坏	口縁部～底部	〔12.0〕	4.6	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第104図４		ＳＩ1060	土師	坏	体部～底部	－	－	4.9	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第104図５		ＳＩ1060	土師	坏	体部～底部	－	－	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第104図６		ＳＩ1060	土師	坏	底部	－	－	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第104図７		ＳＩ1060	土師	坏	底部	－	－	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第104図８		ＳＩ1060	土師	甕	体部～底部	－	－	〔9.6〕			2～3㎜の砂粒混入	
第104図９		ＳＩ1060	土師	甕	口縁部	〔12.2〕	－	－	－	ロクロ成形	緻密	
第104図10		ＳＩ1060	須恵	長頸瓶	体部～底部	－	－	〔12.4〕	砂底　高台	外面：ロクロ成形→ケズリ 内面：ロクロ成形	緻密な胎土に2～3㎜の砂粒混入	
第105図１		ＳＩ1145	土師	坏	口縁部～底部	〔12.1〕	5.6	4.8	摩滅	ロクロ成形	0．5㎜の砂粒混入	
第105図２		ＳＩ1145	土師	甕	口縁部	〔12.4〕	－	－	－	ロクロ成形	0．5㎜の砂粒混入	口縁部内面に煤
第105図３		ＳＩ1200	土師	坏	口縁部～底部	〔13.0〕	5.2	6.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第105図４	27－５	ＳＩ1200	土師	坏	口縁部～底部	11.6	4.5	〔4.5〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第105図５		ＳＩ1200	土師	坏	口縁部～底部	12.8	4.8	〔5.5〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第105図６		ＳＩ1200	土師	坏	底部	－	－	5.2	摩滅	摩滅	緻密	
第105図７		ＳＩ1200	土師	甕	体部～底部	－	－	7.2	非ロクロ	外面：ケズリ	緻密	
第105図８		ＳＩ1200	土師	甕	口縁部～体部	〔27.0〕	－	－	－	外面：ケズリ	0．2～1㎜の砂粒混入	
第105図９		ＳＩ1200	土師	甕	体部～底部	－	－	〔9.8〕	非ロクロ	外面：ケズリ 内面：ナデ	緻密な胎土に0．5㎜の砂粒混入	
第105図10		ＳＩ1200	土師	甕	口縁部～体部	－	－	－	－	外面：ケズリ	緻密な胎土に0．5㎜の砂粒混入	
第106図１		ＳＩ1200	土師	鍋	口縁部	－	－	－	－	外面：ケズリ	緻密な胎土に0．2～1㎜の砂粒混入	

第７表　竪穴住居跡（古代）出土遺物一覧表（３）

挿図番号	図版番号	出土地点	種別	器種	部位	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	外底部	器面特徴	胎土	備考
第106図２	巻頭図版1	ＳＩ1200	撚文土器	甕	口縁部～体部	－	－	－	－	外面：全面に刷毛目→上半部を磨り消し→横走沈線→針葉樹文　内面：刷毛目	緻密	
第106図４		ＳＩ1240	土師	坏	底部	－	－	4.8	摩滅	ロクロ成形	緻密	
第106図６		ＳＩ1240	土師	鍋	口縁部～体部	〔37.8〕	－	－	－	非ロクロ	緻密	
第106図７		ＳＩ1330	土師	坏	底部	－	－	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第106図８		ＳＩ1341	土師	坏	底部	－	－	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第106図９		ＳＩ1342	土師	坏	底部	－	－	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第107図１		ＳＩ1342	土師	坏	体部～底部	－	－	5.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第107図２		ＳＩ1342	土師	坏		－	－	5.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第107図３		ＳＩ1375	土師	坏	体部～底部	－	－	〔5.2〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第107図４		ＳＩ1375	土師	甕	口縁部	〔20.8〕	－	－	－	外面：ロクロ	0.5㎜以上の砂粒混入	
第107図５		ＳＩ1375	土師	甕	口縁部	〔18.8〕	－	－	－	ロクロ成形	緻密	
第107図６		ＳＩ1375	土師	甕	口縁部	〔19.0〕	－	－	－		0.5㎜の砂粒混入	
第107図７		ＳＩ1375	土師	甕	体部～底部	－	－	〔8.6〕	非ロクロ	外面：ケズリ	緻密	
第107図８	28－2	ＳＩ1400	土師	坏	口縁部～底部	〔12.0〕	4.7	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	外面に墨書「王ゝ」
第107図９		ＳＩ1550	土師	坏	口縁部～底部	〔13.8〕	4.4	5.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	内面に煤
第107図10	28－3	ＳＩ1550	土師	坏	完形	12.6	4.5	5.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第107図12		ＳＩ1670	土師	坏	底部	－	－	4.5	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第107図13		ＳＩ1670	土師	甕	口縁部～体部	〔12.6〕	－	－	－	外面：粘土積み上げ痕	2～3㎜の砂粒混入	
第108図１		ＳＩ1760	土師	坏	体部～底部	－	－	5.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第108図２		ＳＩ1760	土師	坏	体部～底部	－	－	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第108図３		ＳＩ1760	土師	坏	体部～底部	－	－	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第108図４		ＳＩ1760	土師	坏	底部	－	－	5.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第108図５		ＳＩ1760	土師	坏	体部～底部	－	－	〔5.4〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第108図６		ＳＩ1760	土師	坏	口縁部～底部	12.8	5.4	〔6.0〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第108図７		ＳＩ1760	土師	坏	口縁部～底部	〔13.0〕	6.0	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第108図８	28－4	ＳＩ1760	土師	坏	完形	13.1	5.3	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	口縁部内面に油煤
第108図９		ＳＩ1760	土師	坏	口縁部～底部	〔11.7〕	4.4	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	内面に煤
第108図10	28－5	ＳＩ1760	土師	坏	口縁部～底部	〔11.9〕	5.3	5.6	回転糸切り	外面:ロクロ成形 内面:ミガキ　黒色処理	緻密	
第108図11		ＳＩ1760	土師	坏	口縁部～底部	〔13.6〕	5.6	5.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第108図13		ＳＩ1760	須恵	甕	口縁部	〔13.4〕	－	－	－	ロクロ成形	緻密	内面に自然釉
第109図１		ＳＩ1810	土師	坏	体部～底部	－	－	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	粗い	
第109図２		ＳＩ1810	土師	坏	口縁部～底部	〔12.0〕	5.2	〔5.0〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第109図３		ＳＩ1810	土師	坏	体部～底部	－	－	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第109図６		ＳＩ1820	土師	甕	体部～底部	－	－	8.0	砂底	外面：ケズリ	0.5㎜以上の砂粒混入	
第109図７		ＳＩ1820	土師	甕	口縁部～体部	〔21.7〕	－	－	－	外面：ケズリ 内面：ナデ	緻密	
第109図８		ＳＩ1820	土師	甕	口縁部～体部	〔14.4〕	－	－	－	ロクロ成形	緻密	口縁部内面に煤
第109図10		ＳＩ1963	土師	坏	口縁部～底部	〔13.0〕	5.4	〔5.8〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第109図11	29－1	ＳＩ1963	土師	坏	完形	11.8	4.8	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	燈明皿 内外面に煤
第109図12		ＳＩ1963	土師	坏	底部	－	－	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第110図１	29－2	ＳＩ1963	土師	鍋	口縁部～体部	〔35.6〕	－	－	－	外面：ロクロ成形→ケズリ 内面：ナデ	緻密	
第110図２		ＳＩ2390	土師	坏	体部～底部	－	－	〔5.6〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第110図３		ＳＩ2390	土師	坏	体部～底部	－	－	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第110図４		ＳＩ2390	土師	坏	口縁部～底部	〔12.2〕	5.4	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第110図５		ＳＩ2390	土師	坏	体部～底部	－	－	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第110図６		ＳＩ2390	土師	甕	口縁部～体部	〔10.6〕	－	－	－	外面：指押さえ 内面：ナデ	0．5㎜の砂粒混入	内外面に煤
第110図７		ＳＩ2390	土師	甕	口縁部	〔11.6〕	－	－	－	ロクロ成形	0.5㎜以下の砂粒混入	
第110図８		ＳＩ2390	土師	甕	口縁部	〔22.4〕	－	－	－		緻密	
第110図９		ＳＩ2390	土師	甕	底部	－	－	〔8.4〕			0.5㎜以下の砂粒混入	
第110図10		ＳＩ2390	土師	甕	口縁部	〔24.2〕	－	－	－	外面：ロクロ	0.5㎜以上の砂粒混入	
第110図12		ＳＩ2390	土師	鍋	底部	－	－	〔9.6〕	砂底	非ロクロ	0.5㎜以下の砂粒混入	
第111図１		ＳＩ2539	土師	坏	口縁部～底部	〔11.8〕	4.8	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	0.5㎜以上の砂粒混入	
第111図２	29－4	ＳＩ2539	土師	坏	口縁部～底部	〔14.8〕	6.1	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	0.5㎜以上の砂粒混入	
第111図３	29－5	ＳＩ2539	土師	坏	口縁部～底部	12.6	5.4	〔4.6〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第111図４		ＳＩ2539	土師	坏	口縁部～底部	〔12.1〕	6.2	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	0.5㎜以上の砂粒混入	

第８表　竪穴住居跡（古代）出土遺物一覧表（４）

挿図番号	図版番号	出土地点	種別	器種	部位	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	外底部	器面特徴	胎土	備考
第111図５	29－６	ＳＩ2539	土師	坏	口縁部～底部	〔12.6〕	5.3	4.0	回転糸切り	ロクロ成形	0．5㎜以上の砂粒混入	
第111図６		ＳＩ2540	土師	坏	口縁部～底部	〔12.0〕	5.1	〔5.0〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第111図７		ＳＩ2540	土師	坏	口縁部～底部	〔12.4〕	5.2	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	0．5㎜以上の砂粒混入	
第111図８		ＳＩ2540	土師	坏	底部	－	－	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	

挿図番号	図版番号	出土地点	種別	器種	部位	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	台高（cm）	外底部	器面特徴	胎土	備考
第96図11		ＳＩ150	土師	高台付皿	体部～底部	－	－	4.4	2.5	柱状高台 回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第108図12		ＳＩ1760	土師	高台付皿	底部～高台	－	－	6.2	1.5	柱状高台 回転糸切り	ロクロ成形	緻密な胎土に 0．5㎜の砂粒混入	
第109図４		ＳＩ1810	土師	高台付皿	底部	－	－	7.0	4.0	ロクロ成形の高台	ロクロ成形	緻密	

挿図番号	図版番号	出土地点	器種	部位	天井部径（cm）	器高（cm）	下端部径（cm）	器面特徴	胎土	備考
第90図１	23－１	ＳＩ17	支脚	天井部～下端部	〔12.4〕	12.0	11.7	外面：粘土積み上げ痕　指押さえ 内面：粘土積み上げ痕	0.5㎜の砂粒混入	
第90図９	23－２	ＳＩ26	支脚	体部	－	－	－	外面：粘土積み上げ痕　ケズリ	緻密	
第91図７		ＳＩ51	支脚	体部～下端部	－	－	8.8	内外面粘土積み上げ痕	1～２㎜の砂粒混入	
第94図２	24－５	ＳＩ113	支脚	完形	10.0	16.5	8.0	内外面粘土積み上げ痕	0.5㎜の砂粒混入	
第94図６	24－６	ＳＩ120	支脚	天井部～下端部	〔12.0〕	14.8	11.7	内外面粘土積み上げ痕	0.5㎜の砂粒混入	
第95図４		ＳＩ130	支脚	天井部	11.2	－	－	外面：指押さえ	緻密	
第100図４	26－６	ＳＩ350	支脚	体部～下端部	－	－	10.0	内外面粘土積み上げ痕	0.5㎜の砂粒混入	
第101図３	27－３	ＳＩ412	支脚	完形	10.9	12.8	14.2	内外面粘土積み上げ痕	緻密	
第102図５	23－３	ＳＩ450	支脚	天井部	6.2	－	－	外面：ケズリ	緻密	
第102図８	23－４	ＳＩ468	支脚	天井部	7.4	－	－	外面：粘土積み上げ痕	緻密	柱状の支脚
第103図３		ＳＩ500	支脚	天井部～体部	－	－	－	内外面粘土積み上げ痕	緻密	
第104図11		ＳＩ1060	支脚	天井部～体部	12.2	－	－	内外面粘土積み上げ痕	0.5㎜の砂粒混入	
第107図11		ＳＩ1550	支脚	天井部～体部	10.4	－	－	内外面粘土積み上げ痕	緻密	
第108図14	28－６	ＳＩ1760	支脚	天井部～下端部	〔11.2〕	13.0	9.2	内外面粘土積み上げ痕	緻密な胎土に1㎜の砂粒混入	
第111図９	30－１	ＳＩ2540	支脚	体部～下端部	－	－	8.2	外面：粘土積み上げ痕 内面：粘土積み上げ痕　指押さえ	緻密	

挿図番号	図版番号	出土地点	器種	最大長×最大幅×最大厚（cm）	備考
第101図２	27－２	ＳＩ412	刀子	1.6×6.4×1.0	木部残存
第102図９		ＳＩ468	ヤリガンナ	1.8×11.1×0.5	
第106図３	27－６	ＳＩ1235	鉸具	4.9×1.5×0.6	
第106図５	28－１	ＳＩ1240	フイゴの羽口	6.7×13.0×3.0	
第110図11	29－３	ＳＩ2390	刀子	3.7×12.8×1.3	

挿図番号	図版番号	出土地点	器種	最大長×最大幅（cm）	孔径（ｃｍ）	備考
第109図５		ＳＩ1810	土錘	3.2×3.9	0.8	
第109図９		ＳＩ1820	土錘	2.6×3.1	0.8	

挿図番号	図版番号	出土地点	器種	最大長×最大幅×最大厚（cm）	重量（g）	備考
第91図10		ＳＩ53	石製品	7.0×9.0×7.0	87.9	軽石素材
第111図10		ＳＩ2540	砥石	8.7×3.7×2.0	81.0	

挿図番号	図版番号	出土地点	器種	最大長×最大幅×最大厚（cm）	重量（g）
第90図８	19－15	ＳＩ26	石鏃	2.2×1.8×0.4	0.9
第103図11	19－20	ＳＩ1000	二次加工のある剥片	6.0×3.4×1.7	26.2

挿図番号	図版番号	出土遺構	器種	部位	器面特徴	胎土	色調
第102図６		ＳＩ450	深鉢	胴部	線条痕あり	砂粒	10YR5/3
第102図７		ＳＩ450		橋状把手	RL縄文	緻密	10YR7/4

第９表　竪穴住居跡（古代）出土遺物一覧表（５）

2.　掘立柱建物跡

ＳＢ499（第112図）

ＯＰ10、ＯＱ9･10･11、ＯＲ10･11、ＯＳ10グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＩ212･ＳＮ411･ＳＫ491･492･616･ＳＫＰ3008･3009･3010･3011との新旧関係は不明である。２間×１間の掘立柱建物跡で、中央に柱穴(Ｐ４)がある。Ｎ－52°－Ｗ方向を向き桁行総間7.4m、梁行総間5.31mで、桁行方向の柱間は2.56～2.6m、梁行方向の柱間は3.2～3.24mである。柱穴の径は0.35～0.58mで、確認面からの深さは0.16～0.52mである。柱穴の覆土は黒褐色土である。遺物は土師器片３点と土師器坏（第123図１・２）のほか剥片１点が出土した。

ＳＢ1395（第113･114図、図版13－２）

ＯＫ･ＯＬ15～18、ＯＭ16～18グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＤ100に切られ、ＳＩ1400･ＳＫ1392を切る。４間×２間の掘立柱建物跡で、柱間(Ｐ１－Ｐ２、Ｐ２－Ｐ４、Ｐ３－Ｐ４、Ｐ４－Ｐ５、Ｐ５－Ｐ８)に幅0.16mの溝が伴う。Ｎ－43°－Ｗ方向を向き、桁行総間11.0～11.07m、梁行6.95～7.25mである。桁行方向の柱間は、Ｐ２－Ｐ４間は3.7m、Ｐ４－Ｐ５、Ｐ５－Ｐ７、Ｐ７－Ｐ11間は2.32～2.55mである。柱穴の径は0.49～0.78mで、確認面からの深さは0.3～0.73mである。Ｐ１～Ｐ６、Ｐ８～Ｐ９、Ｐ11、Ｐ13では黒褐色土の柱痕を確認した。柱穴から見つかった黄褐色土には分析の結果、十和田中掫を起源とした噴出年代約5,500年前の火山ガラスが混入していることがわかった。遺物はＰ１で土師器４点、Ｐ２で土師器片1点、Ｐ４で鉄製品２点、Ｐ６から土師器片、Ｐ７から土師器坏（第123図３）、溝からは土師器片１点が出土した。

ＳＢ1467（第115図）

ＮＦ28･29、ＮＧ27･28･29･30、ＮＨ27･28グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＩ1250に切られ、ＳＫ1441･1443･1461、ＳＫＰ1442･1454、ＳＡ1492と切り合うが新旧関係は不明である。５間×２間の総柱の掘立柱建物跡で、Ｎ－31°－Ｅ方向を向いている。桁行総間9.44m、梁行総間3.56mで、桁行方向の柱間は1.76～2.0m、梁行方向の柱間は1.76～1.8mである。柱穴の径は0.32～0.82m、確認面からの深さは0.17～0.47mである。柱穴の覆土は黒褐色土である。遺物は土師器片が出土した。

ＳＢ1530ａ・ｂ（第116図、巻頭図版2－2、図版13－3）

ＮＦ･ＮＧ･ＮＨ34･35グリッドの第Ⅳ層で、幅0.38m･深さ0.32mの溝で囲まれた掘立柱建物跡を確認した。Ｎ－71°－Ｗ方向を向いているが、北側が調査区外にあることから詳細は不明である。ＳＮ1527･ＳＫ2914･2915･2916を切り、ＳＮ1525･1526･ＳＫ2913との新旧関係は不明である。遺物は土師器片、土師器坏(第123図４～９)、須恵器片１点、礫１点、Ｐ１･Ｐ３･Ｐ５･Ｐ７から土師器片、Ｐ２から土師器片４点、Ｐ４から土師器片３点、鉄鏃（第123図10）、棒状鉄製品２点、壁溝から土師器片と須恵器片1点が出土した。東側で切り合う溝を観察したところ、内側の溝が新しいことから、建物を縮小させた可能性がある。時期が新しいＳＢ1530ａ、古いＳＢ1530ｂに分けて記述する。

《ＳＢ1530ａ》

ＮＦ35、ＮＧ･ＮＨ34･35グリッドの第Ⅳ層で溝で囲まれた掘立柱建物跡として確認した。桁行×梁

行が1間以上×梁行１間で西側に庇が付く建物跡と判断される。Ｐ２～Ｐ４の総間は5.36mであり、それぞれの柱間は1.8～3.3mである。柱穴の径は0.24～0.48mで、確認面からの深さは0.33～0.67mである。柱穴と溝の覆土は第Ⅲ層に由来する黒褐色土である。

《ＳＢ1530ｂ》

ＮＦ・ＮＧ・ＮＨ34・35グリッドの第Ⅳ層で、溝で囲まれた掘立柱建物跡として確認した。桁行(長軸)×梁行(短軸)が3間×1間以上である。Ｐ４～Ｐ８の総間は7.0mであり、それぞれの柱間は1.5～3.3mである。柱穴の径は0.19～0.48mで、確認面からの深さは0.14～0.67mである。柱穴と溝の覆土は第Ⅲ層に由来する黒褐色土である。

ＳＢ1945（第84・85図、図版14－１）

ＮＴ25・26、ＯＡ24・25・26、ＯＢ25グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＩ1963を切る。ＳＡ1951との新旧関係は不明である。長軸はＮ－62°－W方向を向く、２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行総間5.77m、梁行総間4.56m、桁行方向の柱間1.9～2.45mである。柱穴の径は0.12～0.3mで、確認面からの深さは0.18～0.28mである。柱穴の覆土は黒褐色土～暗褐色土を主とする。遺物は出土しなかった。

ＳＢ1954（第117図）

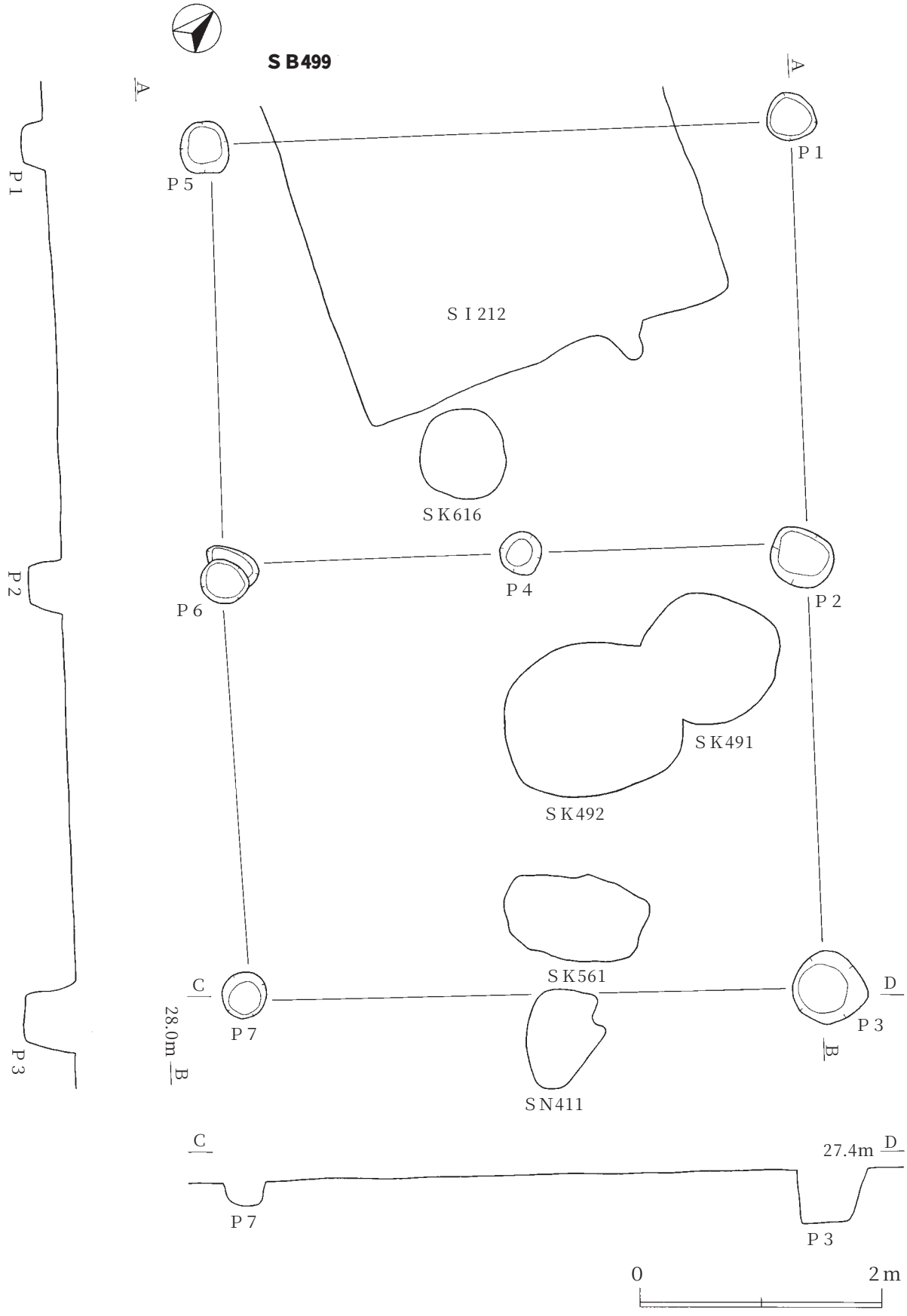
ＮＰ・ＮＱ29・30グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ1727・1863との新旧関係は不明である。長軸が真北方向を向く、２間×１間の掘立柱建物跡である。桁行総間2.88～3.14m、梁行総間1.84～2.01m、桁行方向の柱間は1.2～1.64mである。柱穴の径は0.2～0.39mで、確認面からの深さは0.08～0.3mである。柱穴の覆土は黒褐色土である。遺物は出土しなかった。

ＳＢ2171（第118図、図版14－２）

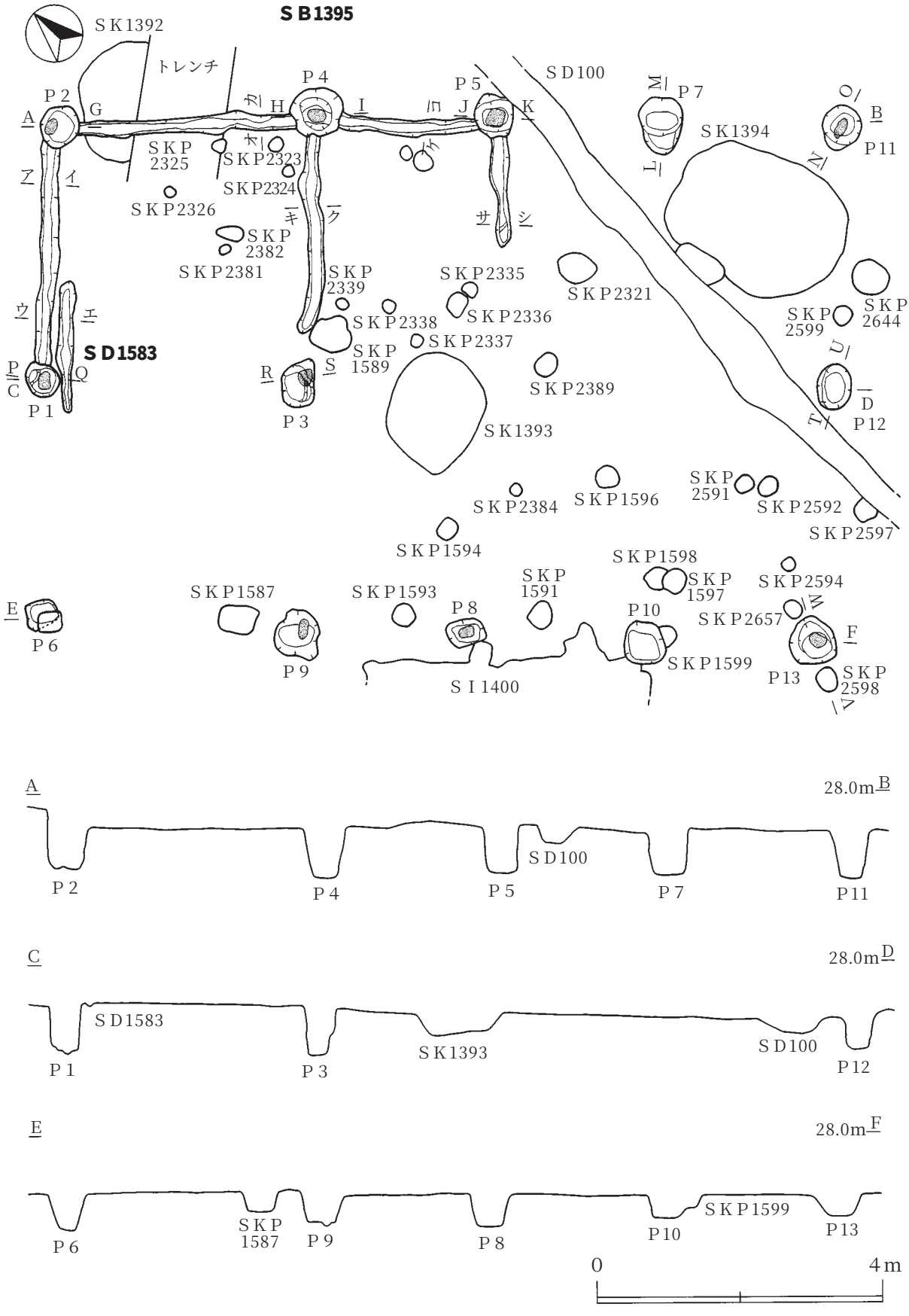
ＮＯ22、ＮＰ21・22、ＮＱ22グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ2502・2178との新旧関係は不明である。長軸がＮ－46°－W方向を向く、２間×２間の掘立柱建物跡である。桁行総間は4.12m、梁行総間3.88m、桁行方向の柱間は1.62～1.68mであり梁行方向の柱間は1.6～1.62mである。Ｐ１・Ｐ３・Ｐ６・Ｐ８は径0.5～0.94m・深さ0.4～0.47m、Ｐ２・Ｐ４・Ｐ５・Ｐ７・Ｐ９は径0.28～0.46m、深さ0.13～0.18mである。Ｐ３・Ｐ６で黒褐色土の柱痕を確認した。遺物は出土しなかった。

ＳＢ2580（第119図）

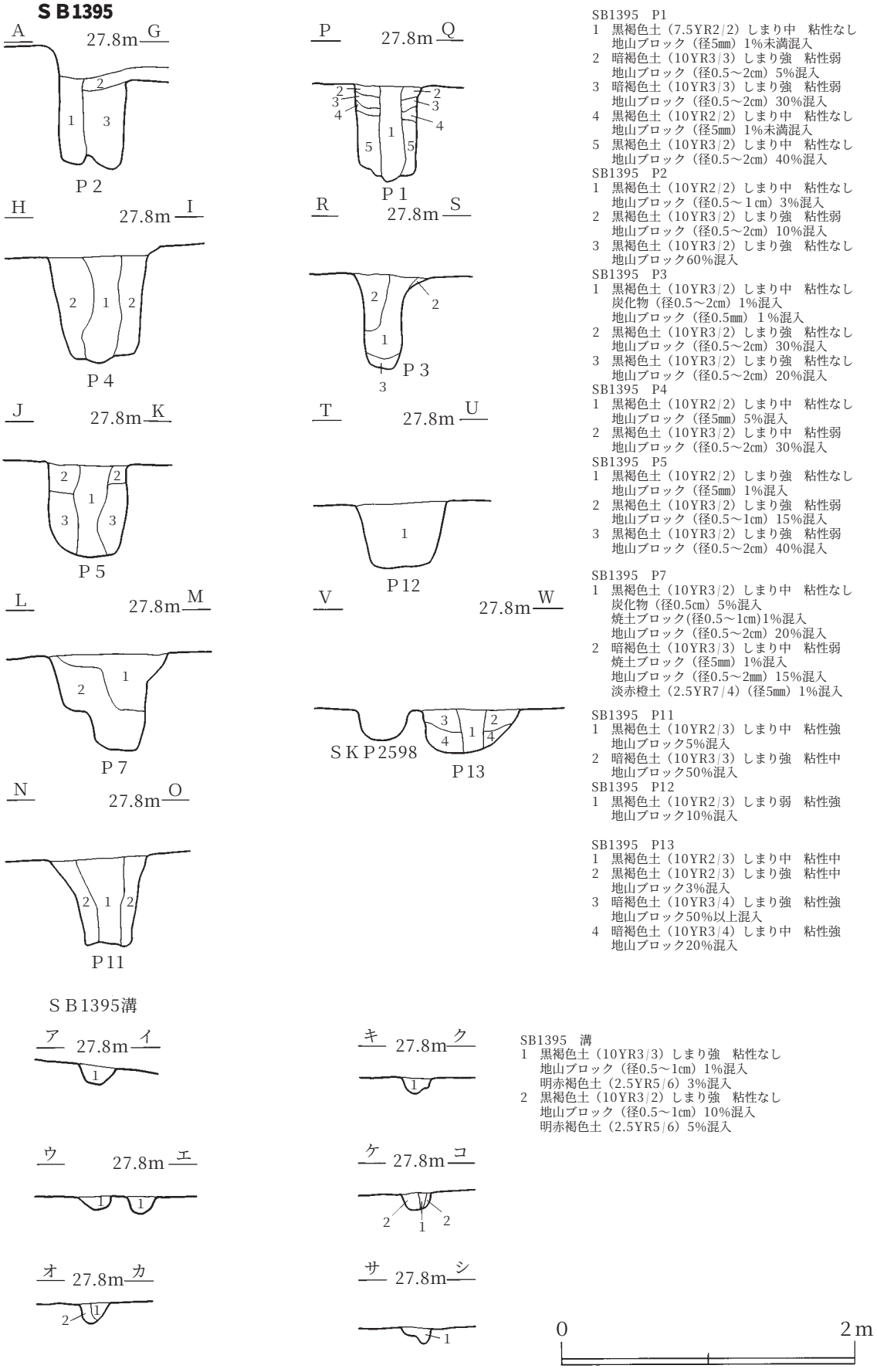
ＮＫ30・31、ＮＬ・ＮＭ31・32グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＡ1538・ＳＫ1537に切られる。ＳＡ2188との新旧関係は不明である。長軸がＮ－60°－W方向を向く７間×４間の掘立柱建物跡と思われる。桁行総間は10.24～10.54m、梁行総間は3.0～3.32mである。桁行方向の柱間（Ｐ９～Ｐ10・Ｐ10～Ｐ11・Ｐ11～Ｐ12・Ｐ22～Ｐ23・Ｐ23～Ｐ24）は0.76～0.9mである。梁行方向の柱間は0.44～1.0mである。柱穴の径は0.2～0.46mで、確認面からの深さは0.09～0.28mである。中央部にＰ15、中央部南側にＰ18・Ｐ19・Ｐ20が桁行方向に平行して位置する。柱穴の覆土は黒褐色土である。桁行方向Ｐ６－Ｐ７間・Ｐ７－Ｐ８間・Ｐ１－Ｐ22間にも柱穴があった可能性がある。遺物は内面を黒色処理した土師器坏（第123図11）１点、土師器片１点が出土した。



第112図　ＳＢ499掘立柱建物跡



第113図　ＳＢ1395掘立柱建物跡　ＳＤ1583溝跡（1）



SB1395　P1
1　黒褐色土（7.5YR2/2）しまり中　粘性なし
　地山ブロック（径5㎜）1%未満混入
2　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径0.5～2㎝）5%混入
3　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径0.5～2㎝）30%混入
4　黒褐色土（10YR2/2）しまり中　粘性なし
　地山ブロック（径5㎜）1%未満混入
5　黒褐色土（10YR3/2）しまり中　粘性なし
　地山ブロック（径0.5～2㎝）40%混入

SB1395　P2
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり中　粘性なし
　地山ブロック（径0.5～１㎝）3%混入
2　黒褐色土（10YR3/2）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径0.5～2㎝）10%混入
3　黒褐色土（10YR3/2）しまり強　粘性なし
　地山ブロック60%混入

SB1395　P3
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり中　粘性なし
　炭化物（径0.5～2㎝）1%混入
　地山ブロック（径0.5㎜）１%混入
2　黒褐色土（10YR3/2）しまり強　粘性なし
　地山ブロック（径0.5～2㎝）30%混入
3　黒褐色土（10YR3/2）しまり強　粘性なし
　地山ブロック（径0.5～2㎝）20%混入

SB1395　P4
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり中　粘性なし
　地山ブロック（径5㎜）5%混入
2　黒褐色土（10YR3/2）しまり中　粘性弱
　地山ブロック（径0.5～2㎝）30%混入

SB1395　P5
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり強　粘性なし
　地山ブロック（径5㎜）1%混入
2　黒褐色土（10YR3/2）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径0.5～1㎝）15%混入
3　黒褐色土（10YR3/2）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径0.5～2㎝）40%混入

SB1395　P7
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり中　粘性なし
　炭化物（径0.5㎝）5%混入
　焼土ブロック(径0.5～1㎝)1%混入
　地山ブロック（径0.5～2㎝）20%混入
2　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性弱
　焼土ブロック（径5㎜）1%混入
　地山ブロック（径0.5～2㎜）15%混入
　淡赤橙土（2.5YR7/4）（径5㎜）1%混入

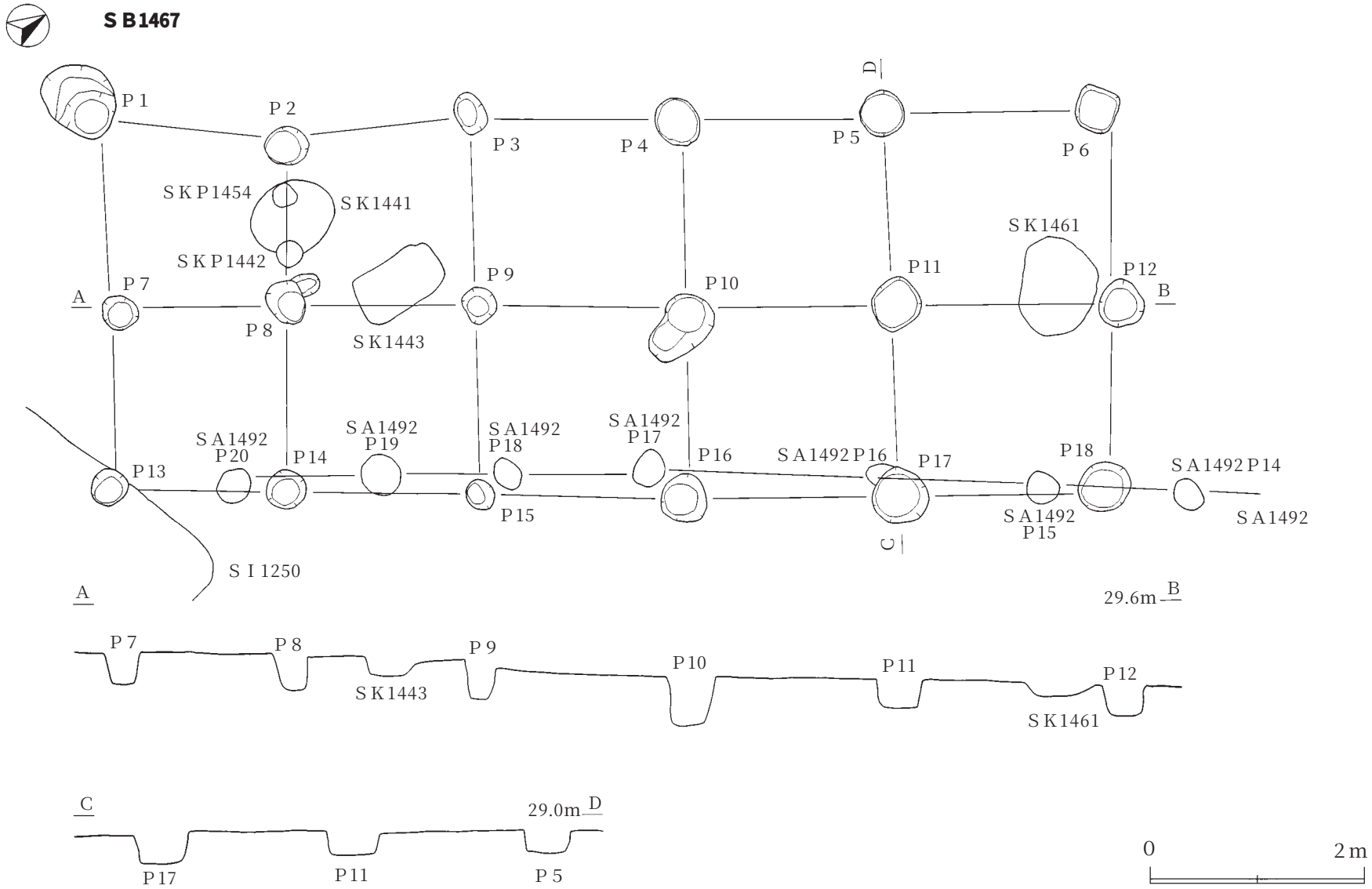
SB1395　P11
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性強
　地山ブロック5%混入
2　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性中
　地山ブロック50%混入

SB1395　P12
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり弱　粘性強
　地山ブロック10%混入

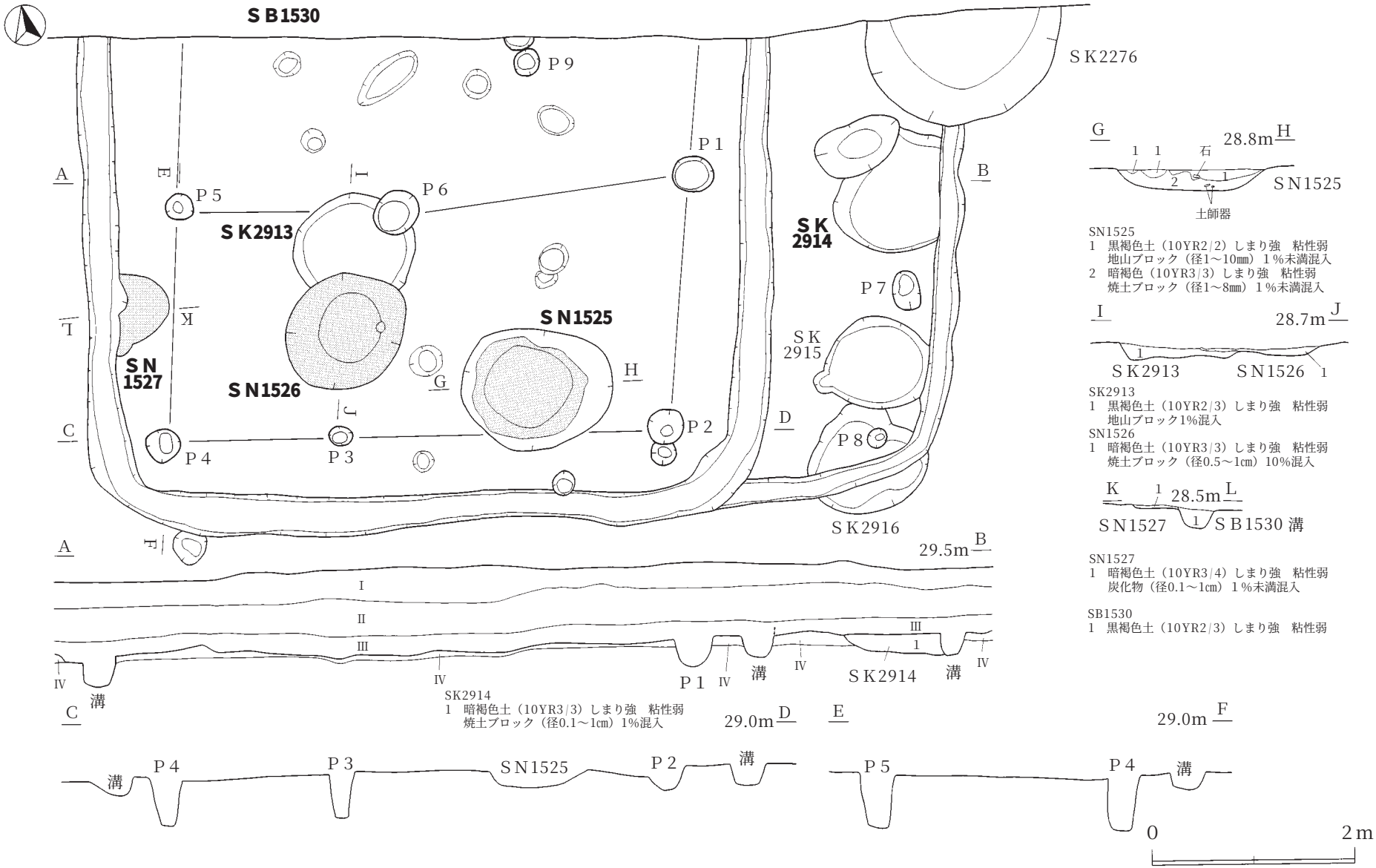
SB1395　P13
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性中
2　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性中
　地山ブロック3%混入
3　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性強
　地山ブロック50%以上混入
4　暗褐色土（10YR3/4）しまり中　粘性強
　地山ブロック20%混入

SB1395　溝
1　黒褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性なし
　地山ブロック（径0.5～1㎝）1%混入
　明赤褐色土（2.5YR5/6）3%混入
2　黒褐色土（10YR3/2）しまり強　粘性なし
　地山ブロック（径0.5～1㎝）10%混入
　明赤褐色土（2.5YR5/6）5%混入

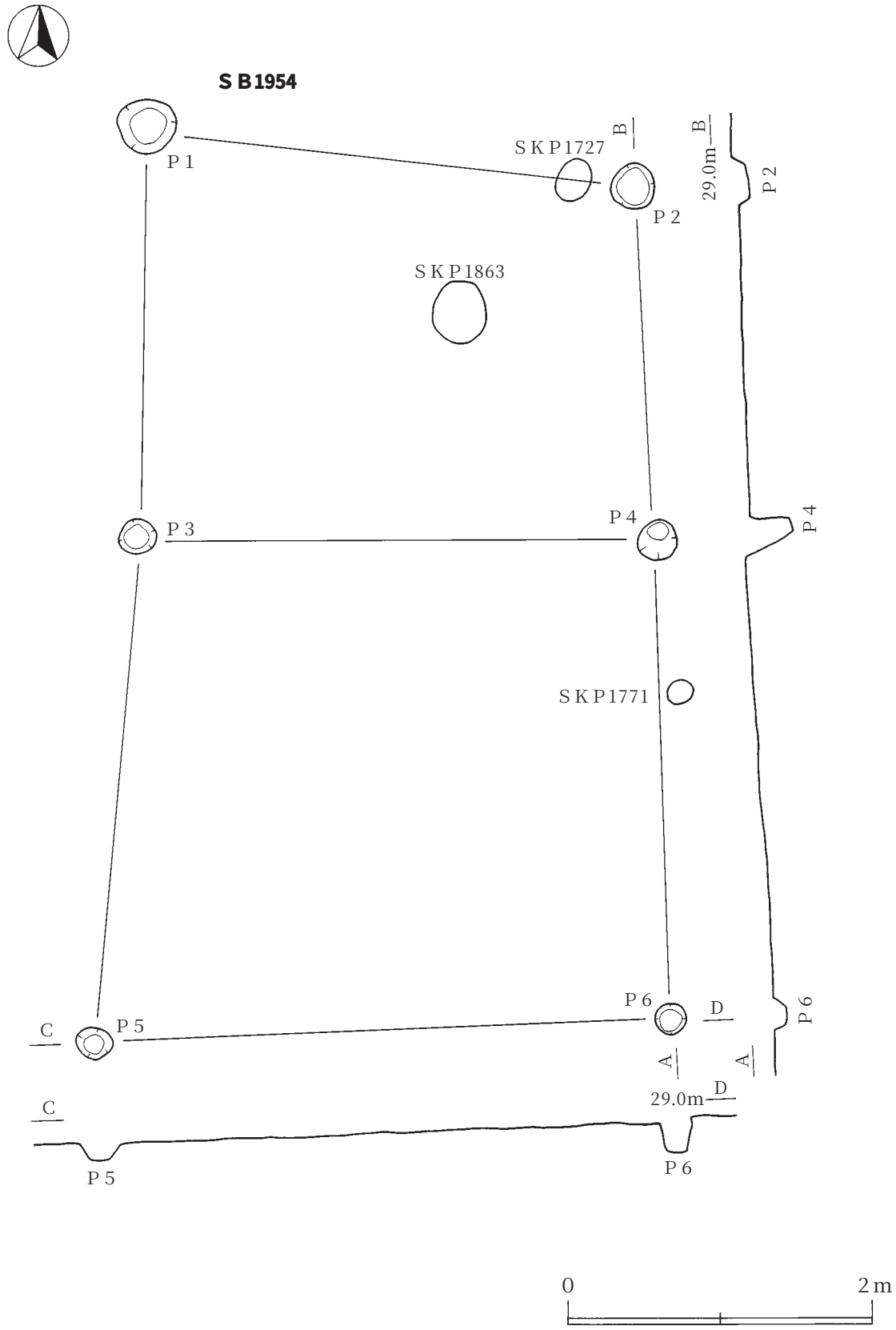
第114図　ＳＢ1395掘立柱建物跡　ＳＤ1583溝跡（2）



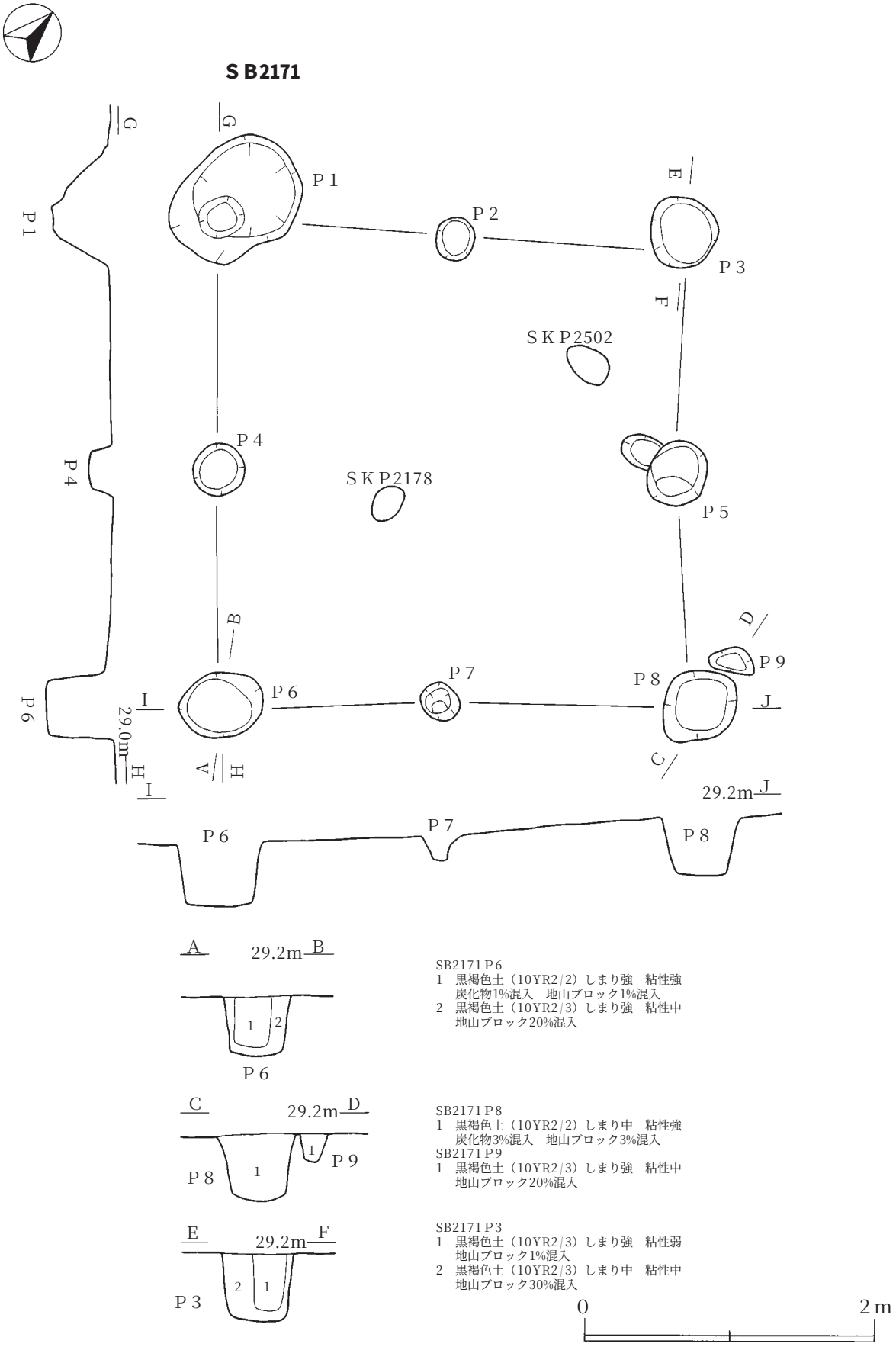
第115図　ＳＢ1467掘立柱建物跡



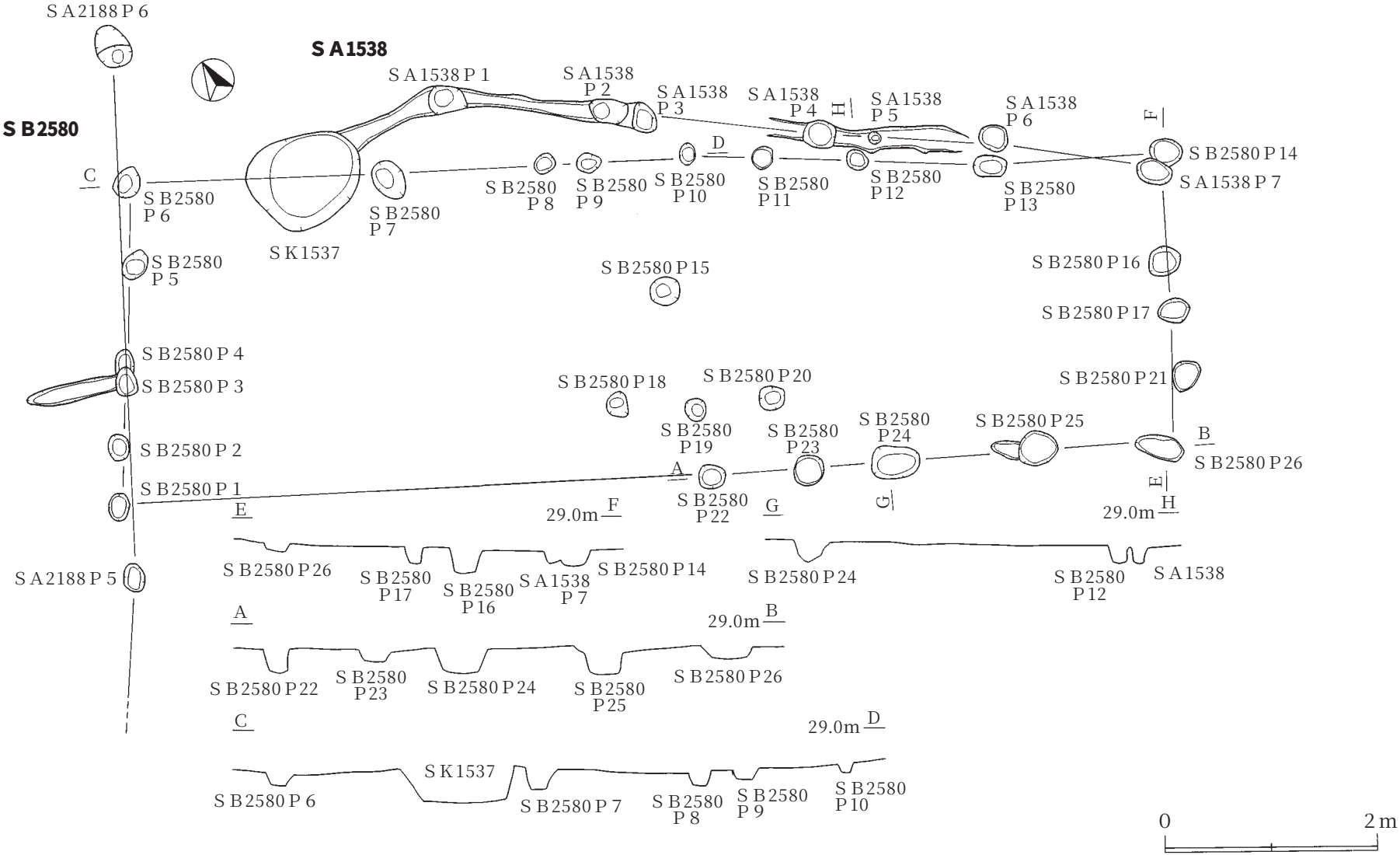
第116図　ＳＢ1530掘立柱建物跡　ＳＫ2913・2914土坑　ＳＮ1525・1526・1527焼土遺構



第117図　ＳＢ1954掘立柱建物跡



第118図　ＳＢ2171掘立柱建物跡



第119図　ＳＢ2580掘立柱建物跡　ＳＡ1538柵列

SB 499

	平面形	長軸（m）	短軸（m）	深さ（m）	底面標高（m）
Ｐ１	円形	0.40	0.38	0.19	27.05
Ｐ２	楕円形	0.53	0.45	0.26	26.95
Ｐ３	円形	0.58	0.57	0.42	26.82
Ｐ４	円形	0.35	0.35	0.16	27.03
Ｐ５	楕円形	0.41	0.38	0.23	26.82
Ｐ６	不整楕円形	0.45	0.38	0.32	26.89
Ｐ７	円形	0.37	0.35	0.52	26.97

SB1395

	平面形	長軸（m）	短軸（m）	深さ（m）	底面標高（m）
Ｐ１	円形	0.53	0.45	0.65	26.85
Ｐ２	円形	0.63	0.53	0.64	26.93
Ｐ３	楕円形	0.73	0.49	0.64	26.73
Ｐ４	円形	0.75	0.72	0.73	26.82
Ｐ５	円形	0.59	0.58	0.63	26.87
Ｐ６	不整円形	0.49	0.46	0.50	26.84
Ｐ７	楕円形	0.78	0.61	0.66	26.72
Ｐ８	楕円形	0.59	0.41	0.46	26.72
Ｐ９	不整円形	0.72	0.74	0.43	26.80
Ｐ１０	不整円形	0.64	0.62	0.33	26.80
Ｐ１１	円形	0.65	0.61	0.61	26.78
Ｐ１２	楕円形	0.64	0.47	0.43	26.72
Ｐ１３	円形	0.67	0.65	0.30	26.81

SB1467

	平面形	長軸（m）	短軸（m）	深さ（m）	底面標高（m）
Ｐ１	楕円形	0.82	0.60	0.42	28.74
Ｐ２	楕円形	0.42	0.38	0.31	28.77
Ｐ３	楕円形	0.40	0.28	0.21	28.79
Ｐ４	円形	0.46	0.44	0.31	28.60
Ｐ５	円形	0.42	0.40	0.21	28.65
Ｐ６	隅丸方形	0.40	0.40	0.25	28.60
Ｐ７	円形	0.34	0.34	0.47	28.68
Ｐ８	楕円形	0.44	0.32	0.38	28.80
Ｐ９	円形	0.32	0.32	0.28	28.70
Ｐ１０	楕円形	0.72	0.52	0.47	28.48
Ｐ１１	円形	0.46	0.44	0.26	28.63
Ｐ１２	円形	0.44	0.43	0.21	28.66
Ｐ１３	円形	0.36	0.36	0.34	28.77
Ｐ１４	円形	0.40	0.38	0.29	28.77
Ｐ１５	円形	0.38	0.36	0.44	28.73
Ｐ１６	円形	0.48	0.44	0.41	28.58
Ｐ１７	円形	0.52	0.52	0.29	28.53
Ｐ１８	円形	0.48	0.46	0.17	28.61

SB1530a･b

	平面形	長軸（m）	短軸（m）	深さ（m）	底面標高（m）
Ｐ１	楕円形	0.40	0.34	0.33	28.20
Ｐ２	円形	0.38	0.36	0.67	27.88
Ｐ３	楕円形	0.24	0.20	0.44	25.06
Ｐ４	楕円形	0.36	0.32	0.53	27.92
Ｐ５	円形	0.28	0.28	0.50	27.92
Ｐ６	楕円形	0.48	0.40	0.40	28.09
Ｐ７	楕円形	0.38	0.26	0.14	28.46
Ｐ８	円形	0.19	0.19	0.35	28.27

SB1945

	平面形	長軸（m）	短軸（m）	深さ（m）	底面標高（m）
Ｐ１	楕円形	0.12	0.18	0.25	28.59
Ｐ２	円形	0.21	0.21	0.07	28.65
Ｐ３	楕円形	0.30	0.26	0.18	28.44
Ｐ４	円形	0.26	0.25	0.19	28.62
Ｐ５	円形	0.24	0.22	0.13	28.57
Ｐ６	円形	0.18	0.16	0.12	28.65
Ｐ７	円形	0.26	0.24	0.28	28.60

SB1954

	平面形	長軸（m）	短軸（m）	深さ（m）	底面標高（m）
Ｐ１	円形	0.39	0.36	0.80	28.76
Ｐ２	円形	0.31	0.28	0.11	28.74
Ｐ３	円形	0.24	0.24	0.27	28.57
Ｐ４	円形	0.26	0.26	0.30	28.59
Ｐ５	楕円形	0.24	0.20	0.11	28.75
Ｐ６	円形	0.20	0.21	0.22	28.66

SB2171

	平面形	長軸（m）	短軸（m）	深さ（m）	底面標高（m）
Ｐ１	楕円形	0.94	0.56	0.40	28.55
Ｐ２	円形	0.30	0.26	0.13	28.88
Ｐ３	楕円形	0.50	0.46	0.47	28.66
Ｐ４	円形	0.36	0.34	0.18	28.79
Ｐ５	楕円形	0.46	0.38	0.22	28.93
Ｐ６	楕円形	0.57	0.46	0.40	28.47
Ｐ７	円形	0.28	0.26	0.18	28.78
Ｐ８	不整円形	0.58	0.50	0.44	28.63
Ｐ９	不整楕円形	0.30	0.18	0.21	28.86

SB2580

	平面形	長軸（m）	短軸（m）	深さ（m）	底面標高（m）
Ｐ1	楕円形	0.28	0.18	0.15	28.57
Ｐ2	楕円形	0.23	0.18	0.18	28.50
Ｐ3	楕円形	0.26	0.20	0.19	28.45
Ｐ4	楕円形	0.28	0.20	0.20	28.48
Ｐ5	楕円形	0.18	－	0.13	28.48
Ｐ6	楕円形	0.31	0.21	0.21	28.37
Ｐ7	楕円形	0.30	0.26	0.15	28.52
Ｐ8	円形	0.20	0.18	0.12	28.49
Ｐ9	楕円形	0.23	0.16	0.11	28.55
Ｐ10	楕円形	0.22	0.14	0.09	28.60
Ｐ11	円形	0.22	0.20	0.13	28.56
Ｐ12	円形	0.20	0.18	0.15	28.55
Ｐ13	楕円形	0.31	0.20	0.11	28.55
Ｐ14	楕円形	0.33	0.24	0.13	28.55
Ｐ15	円形	0.28	0.28	0.20	28.49
Ｐ16	楕円形	0.32	0.26	0.24	28.49
Ｐ17	楕円形	0.31	0.20	0.16	28.60
Ｐ18	楕円形	0.24	0.20	0.19	28.58
Ｐ19	円形	0.21	0.20	0.15	28.59
Ｐ20	円形	0.22	0.21	0.13	28.60
Ｐ21	楕円形	0.30	0.26	0.13	28.60
Ｐ22	円形	0.25	0.22	0.23	28.54
Ｐ23	円形	0.31	0.28	0.12	28.65
Ｐ24	楕円形	0.46	0.30	0.24	28.53
Ｐ25	円形	0.35	0.33	0.28	28.52
Ｐ26	楕円形	0.46	0.20	0.12	28.70

第10表 掘立柱建物跡柱穴一覧表

３．　竪穴状遺構

ＳＫＩ66（第120図、図版14－３）

ＯＫ８グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＩ150を切る。平面形は方形を呈し長軸（北－南）1.68m、短軸（東－西）1.46m、確認面からの深さは0.92mである。底面は平坦で壁は垂直に立ち上がる。覆土は黒褐色土を主としており、5層に分けられた。第5層は壁の崩落土の可能性がある。遺物は土師器片のほか羽口片２点、軽石２点、礫２点が出土した。

ＳＫＩ122（第120図、図版15－１）

ＯＳ・ＯＴ５・６グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は一辺2.6mの隅丸方形を呈し、確認面からの深さは0.13mである。床面は平坦で壁は緩やかに立ち上がる。覆土は3層に分けられた。

柱穴は10基で、北隅（Ｐ11）、西隅（Ｐ１・Ｐ２・Ｐ３）のほか、南東壁（Ｐ８・Ｐ９・Ｐ10）、床面（Ｐ４・Ｐ５・Ｐ７）に位置する。柱穴Ｐ１～Ｐ５・Ｐ７～Ｐ11の深さは0.05～0.34mである。Ｐ６は楕円形の土坑で長軸0.92m、短軸0.78m、床面からの深さ0.24mである。遺物は出土しなかった。

ＳＫＩ231（第120図）

ＯＲ13グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は方形を呈し、長軸（北東－南西）1.2m、短軸（北西－南東）1.07m、確認面からの深さは0.34mである。底面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は3層に分けられ、第2層に地山ブロックが多く混入している。遺物は土師器片8点、鉄滓1点が出土した。

ＳＫＩ300（第121図、図版15－２）

ＰＫ２グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＩ26･450を切る。平面形は隅丸方形を呈し、長軸（北西－南東）2.06m、短軸（北東－南西）1.68m、確認面からの深さ1.2mである。底面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は4層に分けられ、第2･3層は壁の崩落土と思われる。遺物は土師器坏（第123図12・13）、須恵器１点、内面を黒色処理された土師器１点、縄文土器３点が出土した。

ＳＫＩ950（第53・54図）

ＰＥ８・９グリッドのＳＩ468床面で確認した。北西側は調査区外に達する。ＳＩ468に切られ、ＳＫＩ2892を切る。平面形は隅丸方形を呈するものと思われ、長軸（北東－南西）1.6m以上、短軸（北西－南東）0.98m以上、確認面からの深さは0.7mである。底面は平坦で壁は垂直に立ち上がる。覆土は３層に分けられ、第１層はＳＩ468の貼床の可能性がある。遺物は土師器片が出土した。

ＳＫＩ1100（第121図）

ＰＨ･ＰＩ17･18グリッドの第Ⅴ層で確認した。農業用水路が上部を通っていたため未調査区域がある。パイプライン埋め立てのため削平を受けている。平面形は不整方形を呈すると思われ、長軸（北西－南東）2.28m以上、短軸（北東－南西）1.32m以上、確認面からの深さは0.15mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。中央部に底面からの深さが0.15mの土坑が検出された。覆土は３層に分けられた。遺物は土師器坏（第123図14）のほか、土師器片１点と鍛冶滓が１点出土した。

ＳＫＩ1394（第122図）

ＯＪ･ＯＫ16･17グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＤ100に切られる。平面形は不整隅丸方形を呈し、開口部の長軸（北－南）2.55m、短軸（東－西）1.92m、確認面からの深さは1.07mである。底面は

平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は７層に分けられた。第６層・第７層は地山ブロックが多く混入する暗褐色土で壁の崩落土と思われる。遺物は土師器片のほか、須恵器片５点、フイゴの羽口が１点出土している。

ＳＫＩ2305（第122図、図版15－３）

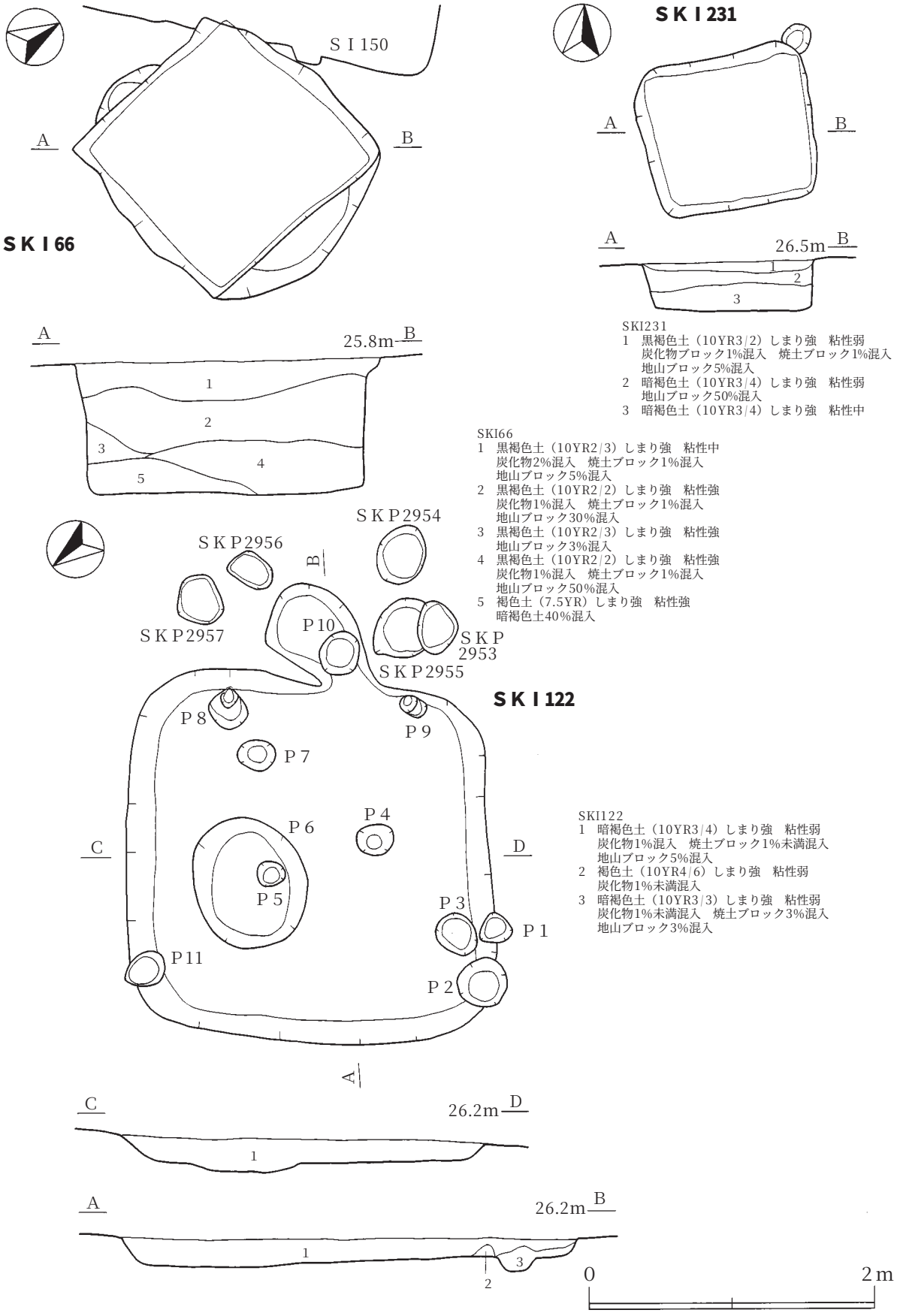
ＰＪ・ＰＫ－4グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＩ2306を切る。平面形は一辺1.6mの隅丸方形を呈し、確認面からの深さは0.6mである。底面は平坦で、南側が深くなっており、壁は垂直に立ち上がる。覆土は６層に分けられた。第４層は壁が崩落したもので、第５層は壁に立てた板材の痕跡の可能性がある。底面からは壁溝と南東隅・南西隅に柱穴を検出した。遺物は土師器坏（第123図15）のほか、鉄製品が１点出土した。

ＳＫＩ2306（第122図、図版15－３）

ＰＪ・ＰＫ－４グリッドの第Ⅴ層で確認した。北側は撹乱され、ＳＫＩ2305に切られる。平面形は不整方形を呈するものと思われ、長軸（北東－南西）1.6m以上、短軸（北西－南東）1.5m以上、確認面からの深さは0.38mである。底面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は褐色土の単一層である。底面からは、北東隅・北西隅・東側に柱穴を検出した。遺物は出土しなかった。

ＳＫＩ2892（第53・54図）

ＰＥ８・９グリッドのＳＩ468床面で確認した。北西側は調査区外に達する。ＳＫＰ3013・ＳＫＰ3015・ＳＫＩ950・ＳＩ468に切られ、ＳＫＦ830を切る。平面形は方形を呈するものと思われ、長軸（北西－南東）1.58m以上、短軸（北東－南西）1.08m以上、確認面からの深さ0.32mである。底面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は４層に分けられた。第１層はＳＩ468の貼床の可能性がある。



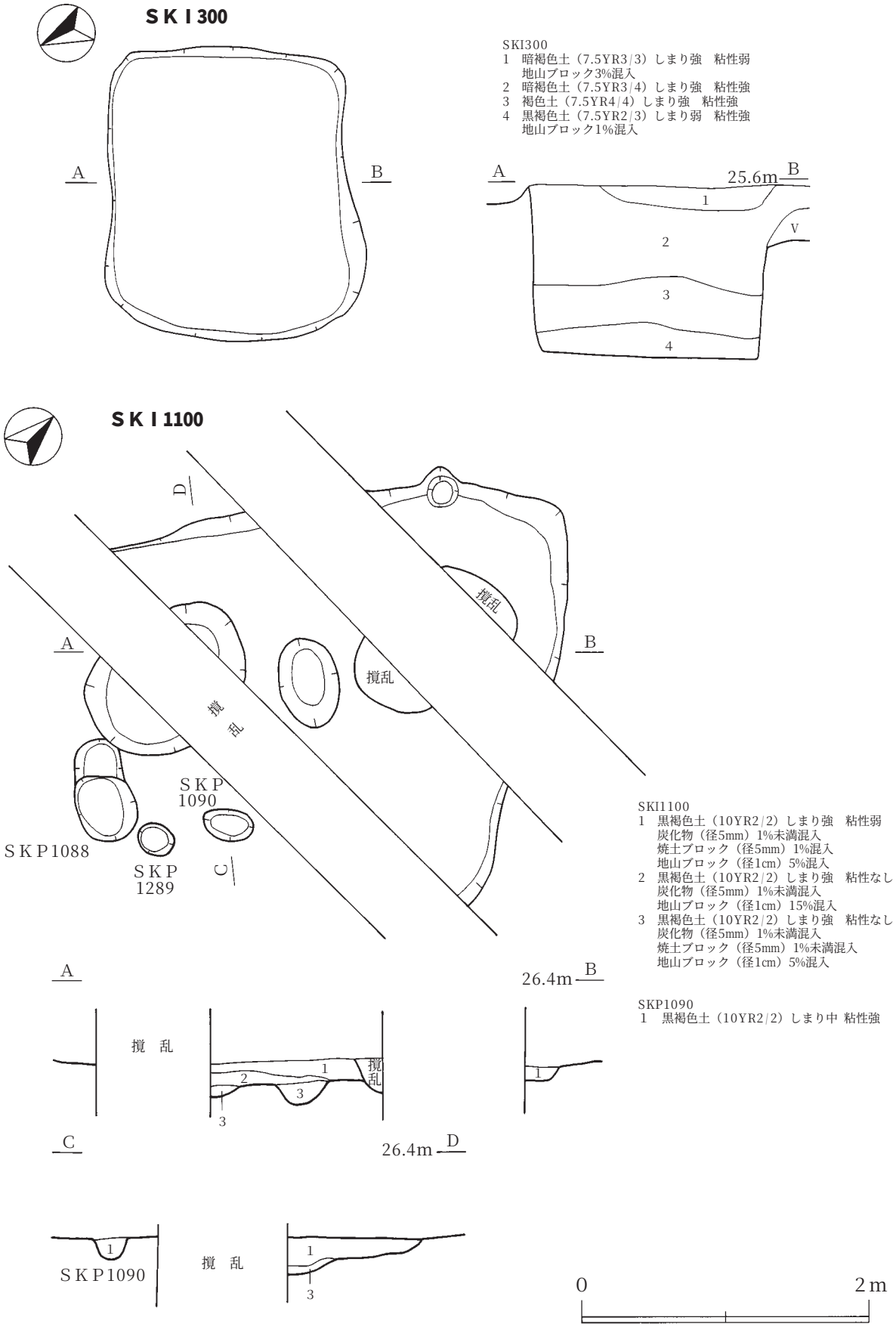
SKI231
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり強　粘性弱
　炭化物ブロック1%混入　焼土ブロック1%混入
　地山ブロック5%混入
2　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性弱
　地山ブロック50%混入
3　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性中

SKI66
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性中
　炭化物2%混入　焼土ブロック1%混入
　地山ブロック5%混入
2　黒褐色土（10YR2/2）しまり強　粘性強
　炭化物1%混入　焼土ブロック1%混入
　地山ブロック30%混入
3　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性強
　地山ブロック3%混入
4　黒褐色土（10YR2/2）しまり強　粘性強
　炭化物1%混入　焼土ブロック1%混入
　地山ブロック50%混入
5　褐色土（7.5YR）しまり強　粘性強
　暗褐色土40%混入

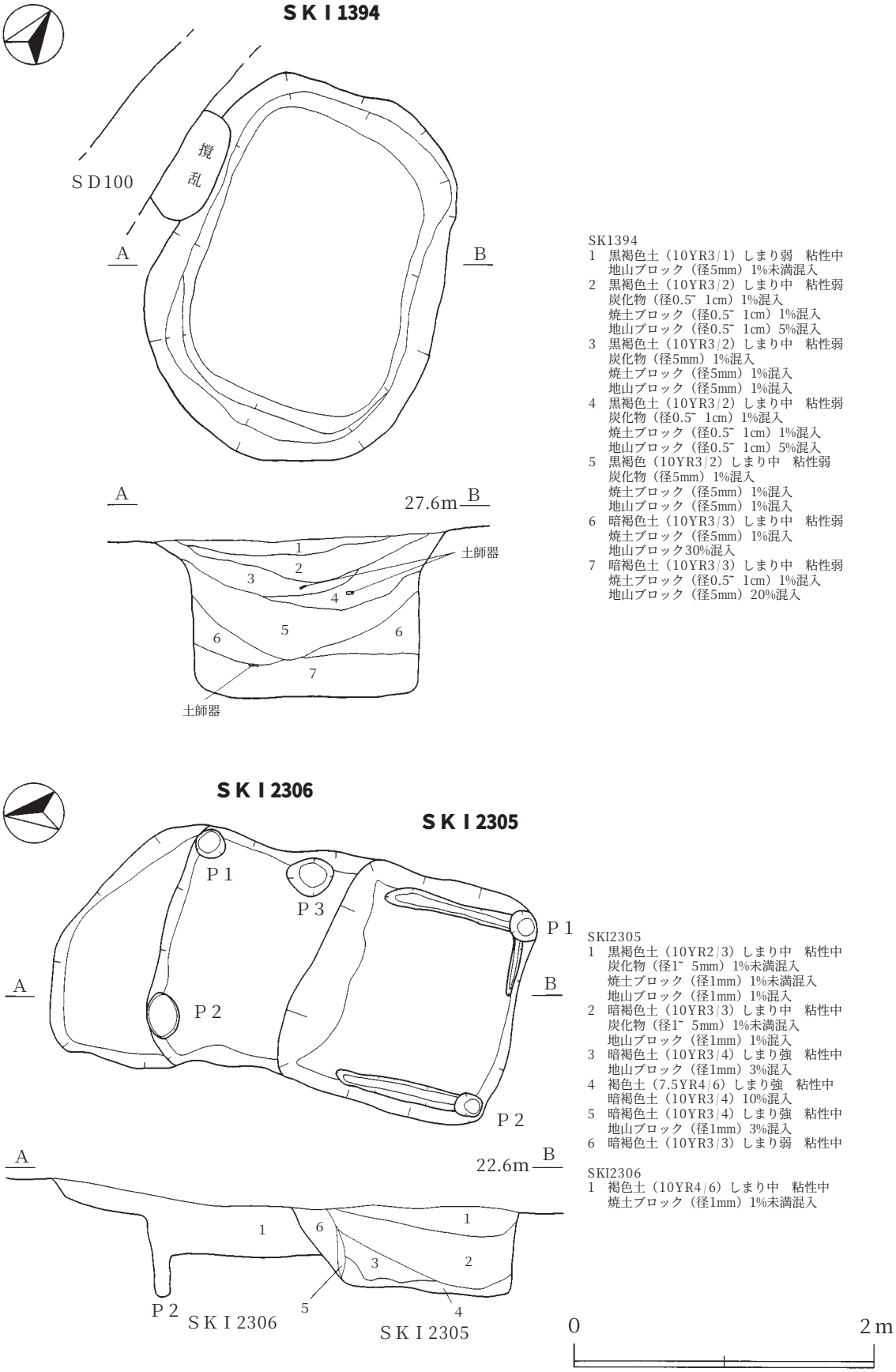
SKI122
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%混入　焼土ブロック1%未満混入
　地山ブロック5%混入
2　褐色土（10YR4/6）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入
3　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入　焼土ブロック3%混入
　地山ブロック3%混入

0　2m

第120図　ＳＫＩ66・122・231竪穴状遺構



第121図　ＳＫＩ300・1100竪穴状遺構

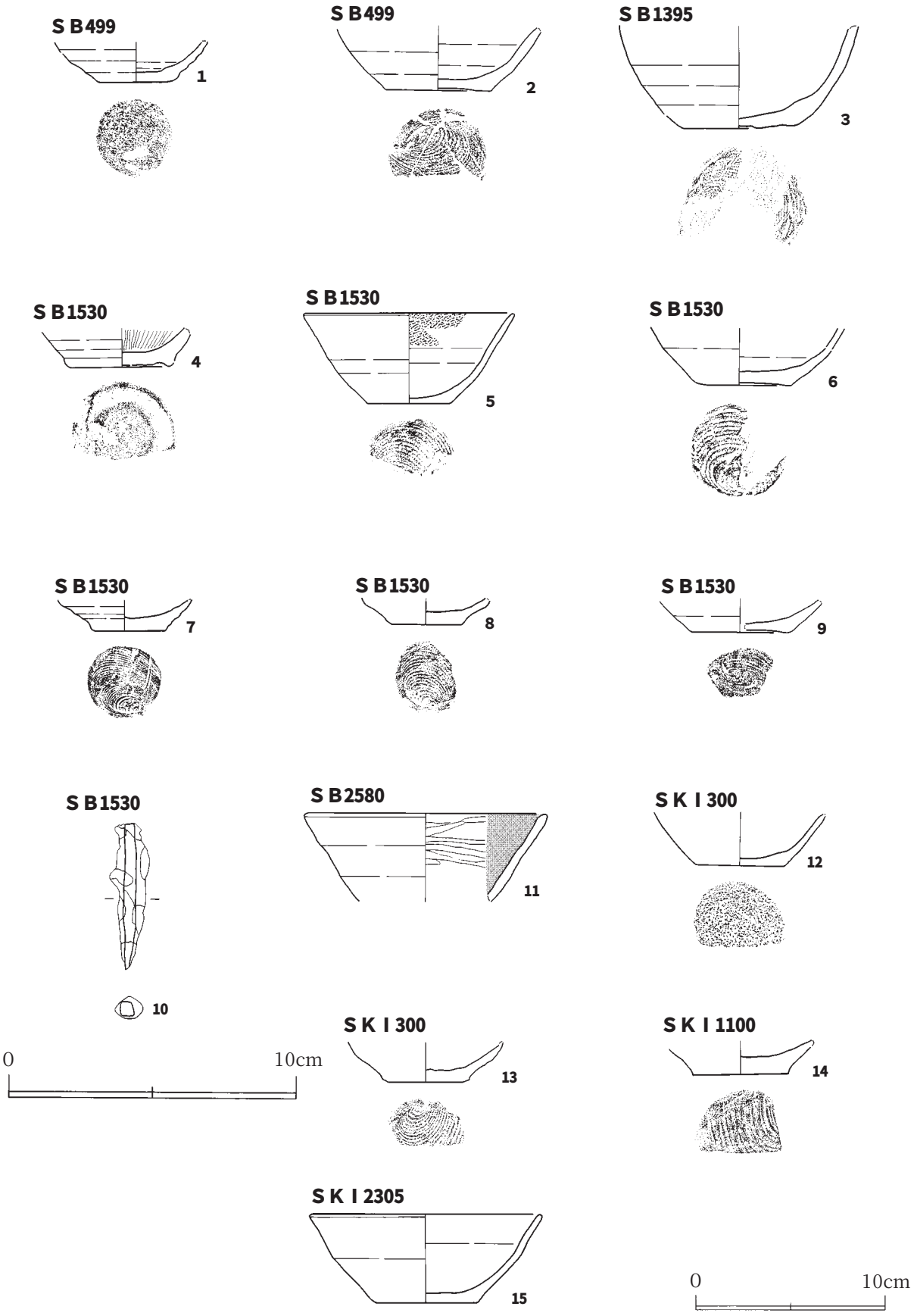


SK1394
1　黒褐色土（10YR3/1）しまり弱　粘性中
　地山ブロック（径5mm）1%未満混入
2　黒褐色土（10YR3/2）しまり中　粘性弱
　炭化物（径0.5~ 1cm）1%混入
　焼土ブロック（径0.5~ 1cm）1%混入
　地山ブロック（径0.5~ 1cm）5%混入
3　黒褐色土（10YR3/2）しまり中　粘性弱
　炭化物（径5mm）1%混入
　焼土ブロック（径5mm）1%混入
　地山ブロック（径5mm）1%混入
4　黒褐色土（10YR3/2）しまり中　粘性弱
　炭化物（径0.5~ 1cm）1%混入
　焼土ブロック（径0.5~ 1cm）1%混入
　地山ブロック（径0.5~ 1cm）5%混入
5　黒褐色（10YR3/2）しまり中　粘性弱
　炭化物（径5mm）1%混入
　焼土ブロック（径5mm）1%混入
　地山ブロック（径5mm）1%混入
6　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性弱
　焼土ブロック（径5mm）1%混入
　地山ブロック30%混入
7　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性弱
　焼土ブロック（径0.5~ 1cm）1%混入
　地山ブロック（径5mm）20%混入

SKI2305
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性中
　炭化物（径1~ 5mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径1mm）1%未満混入
　地山ブロック（径1mm）1%混入
2　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性中
　炭化物（径1~ 5mm）1%未満混入
　地山ブロック（径1mm）1%混入
3　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性中
　地山ブロック（径1mm）3%混入
4　褐色土（7.5YR4/6）しまり強　粘性中
　暗褐色土（10YR3/4）10%混入
5　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性中
　地山ブロック（径1mm）3%混入
6　暗褐色土（10YR3/3）しまり弱　粘性中

SKI2306
1　褐色土（10YR4/6）しまり中　粘性中
　焼土ブロック（径1mm）1%未満混入

第122図　ＳＫＩ1394・2305・2306竪穴状遺構



第123図　遺構内出土遺物（26）（ＳＢ499・1395・1530・2580・ＳＫＩ300・1100・2305）

挿図番号	図版番号	出土地点	種別	器種	部位	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	外底部	器面特徴	胎土	備考
第123図１		SB499	土師	坏	体部～底部	－	－	4.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第123図２		SB499	土師	坏	体部～底部	－	－	5.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第123図３		SB1395P7	土師	甕	体部～底部	－	－	〔6.0〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密な胎土に0.5㎜の砂粒混入	
第123図４		SB1530	土師	坏	底部	－	－	〔5.2〕	回転糸切り→ケズリ出し高台	外面：ロクロ成形 内面：ミガキ	緻密	
第123図５		SB1530	土師	坏	口縁部～底部	〔11.0〕	4.7	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	口縁部に煤
第123図６		SB1530	土師	坏	体部～底部	－	－	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第123図７		SB1530	土師	坏	底部	－	－	3.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第123図８		SB1530	土師	坏	底部	－	－	3.6	回転糸切り		緻密	
第123図９		SB1530	土師	坏	底部	－	－	〔5.0〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第123図11		SB2580	土師	坏	口縁部～体部	〔12.6〕	－	－		外面：ロクロ成形 内面：ミガキ→黒色処理	0.5㎜の砂粒混入	
第123図12		SKI300	土師	坏	体部～底部	－	－	4.6	回転糸切り		粗い胎土に0.5㎜以下の砂粒混入	
第123図13		SKI300	土師	坏	体部～底部	－	－	6.0	回転糸切り		緻密	
第123図14		SKI1100	土師	坏	底部	－	－	5.0	回転糸切り		緻密	
第123図15		SKI2305	土師	坏	口縁部～底部	〔12.1〕	4.6	5.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	

挿図番号	図版番号	出土地点	器種	最大長×最大幅×最大厚（cm）	備考
第123図10		SB1530	鉄鏃	5.2×1.5×0.5	

第11表　掘立柱建物跡・竪穴状遺構出土遺物一覧表

４　土坑

ＳＫ７（第124図）

ＯＨ･ＯＩ11グリッドの第Ⅴ層で確認した。南東側を確認調査のトレンチで削平され、西側は撹乱を受けている。平面形は不整形を呈するものと思われ、長軸（北西－南東）1.86m以上、短軸（北東－南西）0.82m以上、確認面からの深さは0.21mである。底面はわずかに起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は、暗褐色土の炭化物を含んだ単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ８（第124図）

ＯＧ10･11グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北－南）1.5m、短軸（東－西）1.22m、確認面からの深さ0.11mである。底面はわずかに起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層で、底面付近に微量の焼土・炭化物・明黄褐色土が混入する。遺物は土師器坏(第168図２)が底面から出土している。

ＳＫ９（第124図）

ＯＨ10グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＡ22Ｐ5～Ｐ７に切られる。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）2.76m、短軸（北西－南東）1.44m、確認面からの深さは0.25mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は、暗褐色土の単一層で中位に焼土ブロックが混入する。遺物は土師器坏(第168図３～５)のほか、刀子１点が出土している。

ＳＫ13（第124図）

ＰＤ15グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸(北西－南東）0.71m、短軸（北東－南西）0.61m、確認面からの深さは0.3mである。底面は起伏があり、壁は急に立ち上がる。覆土は、黒褐色土の単一層で、地山ブロックが混入する。遺物は土師器片1点が出土している。

ＳＫ19（第124図）

ＰＦ15グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北－南）0.93m、短軸（東－西）0.75m、確認面からの深さは0.2mである。底面は平坦で南側に深さ0.3mのくぼみがあり、壁は急に立ち上がる。覆土は、黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片のほか刀子1点が出土している。

ＳＫ29（第124図）

ＯＦ･ＯＧ8グリッドの第Ⅳ層で確認した。南西側を確認調査のトレンチによって削平されている。平面形は円形を呈するものと思われ、径0.4m、確認面からの深さは0.38mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第2層に地山ブロックが混入する。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ30（第125図）

ＯＳ2グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）1.36m、短軸（北西－南東）1.22m、確認面からの深さ0.36mである。底面は、全体に平坦で南東側にくぼみがあり、壁は、底面から緩やかに立ち上がる。覆土は、暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片１点が出土している。

ＳＫ31（第125図）

ＯＮ０、ＯＯ0･1グリッドの第Ⅴ層で確認した。北側をＳＫ94に切られる。平面形は楕円形を呈し、

長軸（北西－南東）1.69m、短軸（北東－南西）1.46m、確認面からの深さは0.2mである。底面は全体に平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ32（第125図）

ＯＯ0･1グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸(東－西）1.9m、短軸(北－南）1.52m、確認面からの深さは0.13mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は土師器坏（第168図６・７）、土師器甕（第168図８）が出土した。

ＳＫ38（第125図）

ＯＩ９グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.79m、短軸（北東－南西）1.36m、確認面からの深さは0.36mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土を主として２層に分けられた。第２層は地山ブロックが多く混入している。土師器坏（第168図９）が出土した。

ＳＫ39（第125図）

ＯＩ８･９グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）1.67m、短軸（北西－南東）1.52m、確認面からの深さは0.18mである。底面は起伏があり、北東部と南東部にくぼみがある。壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片のほか礫２点が出土した。

ＳＫ50（第125図）

ＰＣ16グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ185を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）1.28m、短軸（北－南）0.98m、確認面からの深さ0.34mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層で地山ブロックが混入している。遺物は土師器坏(第168図10･11）が出土している。

ＳＫ58（第126図）

ＯＴ13グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は隅丸長方形である。長軸（北東－南西）1.18m、短軸（北西－南東）1.04m、確認面からの深さは0.12mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。
覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ59（第126図）

ＰＤ16グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）0.6m、短軸（北西－南東）0.53m、確認面からの深さは0.19mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第２層に地山ブロック、明褐色土、軽石、鉄錆が混入している。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ68（第126図）

ＯＪ7･8グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＤ2978を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）1.72m、短軸（北西－南東）1.58m、確認面からの深さは0.29mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層で、中位に焼土ブロックがある。遺物は土師器甕（第168図12）と須恵器片１点が出土している。

ＳＫ69（第126図）

ＯＩ･ＯＪ6グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＤ73を切る。平面形は径1.8mの円形を呈し、確認面か

らの深さは0.18mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は、暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ70（第127図）

ＯＩ8グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.86m、短軸（北東－南西）1.3m、確認面からの深さ0.18mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は、暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土した。

ＳＫ77（第127図）

ＯＧ･ＯＨ６グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は円形を呈し、長軸（東－西）1.24m、短軸（北－南）1.18m、確認面からの深さは0.4mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は、２層に分けられた。遺物は、土師器坏(第168図13～15)と椀形鍛冶滓1点が出土している。

ＳＫ78（第127図）

ＯＧ６･７グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＮ199に切られる。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.58m、短軸(北東－南西）1.26m、確認面からの深さは0.18mである。底面は平坦で、南東側壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は、土師器片と須恵器片のほか礫１点が出土している。

ＳＫ79（第127図）

ＯＨ8グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ85・88･89を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.61m、短軸（北東－南西）0.92m、確認面からの深さは0.34mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は、黒褐色土の単一層で、地山ブロックが下位に混入している。遺物は、土師器片と須恵器３点が出土している。

ＳＫ85（第127図）

ＯＧ･ＯＨ8グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ79に切られる。平面形は径0.81mの円形を呈し、確認面からの深さは0.37mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は３層に分けられた。第１層は上位から中位にかけて炭化物が混入する暗褐色土で、第2層との境に炭化材が認められた。堆積状況から第２･３層は埋め戻しによるものと判断した。遺物は土師器坏(第168図16･17)のほか、須恵器甕片(第169図１)が出土している。

ＳＫ88（第127図）

ＯＨ8グリッドの第Ⅳ層で確認した。南東側をＳＫ79に切られる。平面形は一辺1.31mの円形を呈し、確認面からの深さは0.18mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ89（第127図）

ＯＨ８グリッドの第Ⅳ層で確認した。北西側をＳＫ79に切られる。平面形は円形を呈し、長軸（北西－南東）0.57m、短軸（北東－南西）0.29m、確認面からの深さは0.19mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第２層は地山ブロックが混入している。遺物は土師器片８点が出土している。

ＳＫ91（第128図）

ＯＲ３グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）2.14m、短軸（北

西－南東）1.56m、確認面からの深さは0.38mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は覆土の上位から中位にかけて土師器片と須恵器片が出土している。

ＳＫ94（第125図）

ＯＮ・ＯＯ0グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ31を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）0.96m、短軸（北西－南東）0.5m、確認面からの深さは0.46mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は垂直に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層で、上位から中位にかけて地山ブロックが混入している。遺物は出土しなかった。

ＳＫ103（第128図）

ＰＤ８グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫＰ2971に切られ、ＳＫＰ2970を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）1.62m、短軸（北西－南東）1.26m、確認面からの深さ0.1mである。底面は平坦で壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第２層に炭化物が多く混入している。遺物は土師器片と須恵器、椀形鍛冶滓１点が出土している。

ＳＫ104（第128図）

ＰＣ15グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は不整方形を呈し、長軸（北東－南西）1.96m、短軸（北西－南東）1.76m、確認面からの深さ0.23mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒色土の単一層であり、地山ブロックが混入している。遺物は土師器坏（第169図２・３）が出土し、その他須恵器片１点、鍛冶滓１点、椀形鍛冶滓２点が出土している。

ＳＫ105（第128図）

ＰＣ14グリッドの第Ⅴ層で確認した。北側は調査区外に達する。平面形は円形を呈するものと思われ、長軸（北西－南東）1.14m、短軸（北東－南西）0.46m以上、確認面からの深さは0.7mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第１層に炭化物、第２層に地山ブロックが多く混入している。遺物は土師器片２点が出土している。

ＳＫ109（第128図）

ＯＨ６・７グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫＰ448に切られる。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.44m、短軸（北東－南西）1.07m、確認面からの深さは0.38mである。底面は平坦で、壁は北東側が急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層で、地山ブロックが混入しており、埋め戻された可能性がある。底面中央部に炭化物が固まって出土したほか、遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ121（第129図）

ＰＥ２・ＰＦ２・３グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.06m、短軸（北東－南西）0.94m、確認面からの深さ0.12mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層で、中央下位に地山ブロックが混入している。遺物は土師器片１点、鉄滓１点が出土している。

ＳＫ124（第129図）

ＯＳ・ＯＴ4グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は径0.72mの円形を呈し、確認面からの深さは0.1mである。底面はほぼ平坦で壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片７点が出土している。

ＳＫ126（第129図）

ＯＴ４グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸(北西－南東)0.64m、短軸（北東－南西）0.52m、確認面からの深さは0.1m、底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層で、底面付近に地山ブロックが混入している。遺物は土師器片２点が出土している。

ＳＫ127（第191図）

ＰＢ３グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ128、ＳＤ129に切られる。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）1.16m、短軸(北－南）0.68m、確認面からの深さは0.11mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器坏（第169図４）のほか土師器片３点が出土している。

ＳＫ128（第191図）

ＰＢ２･３グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ127・ＳＤ129を切る。南側は削平を受けているので、規模形状は不明である。確認面からの深さは0.28mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片７点のほか礫１点が出土している。

ＳＫ131（第129図）

ＯＬ９グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）1.51m、短軸(北西－南東）1.27m、確認面からの深さ0.09mである。底面はやや起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片のほか礫１点が出土している。

ＳＫ132（第129図）

ＯＭ８・９グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は不整円形を呈し、長軸（東－西）1.1m、短軸（北－南）1.07m、確認面からの深さは0.1mである。底面は、やや起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は、暗褐色土の単一層である。遺物は、底面から土師器甕(第169図５）が出土している。

ＳＫ133（第129図）

ＯＭ８グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（北－南）1.56m、短軸（東－西）1.0m、確認面からの深さは0.11mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ134（第129図）

ＯＭ９グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫＰ471・477を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.46m、短軸（北東－南西）1.16m、確認面からの深さは0.11mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は、暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ151（第128図）

ＯＨ６グリッドの第Ⅳ層で確認した。北東側をＳＮ80に切られる。平面形は径1.08mの円形を呈し、確認面からの深さは0.23mである。底面は平坦で、壁は北西側が緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。

ＳＫ154（第129図）

ＯＧ７グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は径1.11mの円形を呈し、確認面からの深さは0.31mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第１層から土器片･炭化物が多く出土している。第２層に地山ブロックが混入している。遺物は土師器坏（第169図６）のほか、土師器

坏片３点が出土している。

ＳＫ156（第129図）

ＰＥ７グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＤ98を切る。平面形は径0.7mの円形を呈し、確認面からの深さは0.18mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は、黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片３点のほか、砥石(第169図７)が出土している。

ＳＫ157（第130図）

ＰＣ９グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ526・ＳＤ99に切られる。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北－南）1.02m以上、短軸（東－西）0.87m以上、確認面からの深さは0.48mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は7層に分けられ、第２層は焼土層、第３層は灰褐色土層で、全体的に自然な堆積を示す。遺物は土師器甕（第169図８）、土師器片が出土し、その他縄文土器３点、椀形鍛冶滓２点が出土している。

ＳＫ158（第130図）

ＰＫ０グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は径0.64mの円形を呈し、確認面からの深さは0.08mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層で、西側に地山ブロックが多く混入している。遺物は土師器片１点が出土している。

ＳＫ161（第130図）

ＯＳ４グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は隅丸方形を呈し、長軸（北－南）1.42m、短軸（東－西）0.84m、確認面からの深さは0.18mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層で、地山ブロックが全体に点在し、上位に焼土が多く混入する。遺物は土師器片と須恵器片２点が出土している。

ＳＫ162（第130図）

ＯＱ４グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸(北東－南西）1.34m、短軸（北西－南東）1.0m、確認面からの深さは0.2mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層で、地山ブロックが混入している。遺物は、土師器片が南東側で多く見つかり、土師器坏(第170図１)、砂底の土師器甕(第170図２)が出土している。

ＳＫ163（第130図）

ＯＮ１グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＤ100に切られる。平面形は不整楕円形を呈するものと思われ、長軸（北西－南東）0.96m以上、短軸（北東－南西）1.02m、確認面からの深さは0.13mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は、暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ164（第130図）

ＰＡ4グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は径0.77mの円形を呈し、確認面からの深さは0.11mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は褐色土の単一層で、地山ブロックが混入している。遺物は土師器片１点とフイゴの羽口片１点が出土している。

ＳＫ167（第131図）

ＰＡ7グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は径0.58mの不整円形を呈し、確認面からの深さは0.33mである。底面は東側に向かって緩く傾斜し、壁は垂直に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層で、上

位に地山ブロックが混入している。遺物は土師器片１点が出土している。

ＳＫ168（第131図）

ＯＳ９グリッドの第Ⅳ層で確認したが、北側は削平を受けて失っている。平面形は径1.35mの円形を呈し、確認面からの深さ0.17mである。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片４点が出土している。

ＳＫ173（第131図）

ＯＬ･ＯＭ11グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は径2.52mの不整円形を呈し、確認面からの深さは0.19mである。底面は全体に平坦で、東側にくぼみがあり、壁は北側が急に立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は土師器坏（第170図３・４）、土師器片6点が出土し、須恵器片１点、石器１点が出土している。

ＳＫ185（第125図）

ＰＣ16グリッドの第Ⅴ層で確認した。南側は調査区外に達し、北側をＳＫ50に切られる。平面形は径1.12mの円形を呈するものと思われ、確認面からの深さは0.29mである。覆土は、黒褐色土を主として３層に分けられた。遺物は、土師器片と須恵器片１点が出土している。

ＳＫ193（第131図）

ＯＨ･ＯＩ7グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫＰ2982を切る。平面形は径1.08mの不整円形を呈し、確認面からの深さは0.33mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は2層に分けられ、第１層に焼土ブロックと炭化物が多く混入し、第２層に地山ブロックが混入している。遺物は土師器片と焼けた礫１点が出土している。

ＳＫ205（第131図）

ＰＡ14グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は径0.85mの円形を呈し、確認面からの深さは0.15mである。底面は西側に緩く傾斜し、壁は東側が緩やかに、西側が急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ215（第131図）

ＯＪ･ＯＫ９グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）0.97m、短軸（北東－南西）0.71m、確認面からの深さは0.21mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土はにぶい黄褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ216（第131図）

ＯＪ９グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北－南）0.78m、短軸（東－西）0.66m、確認面からの深さは0.32mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は穿孔された土師器皿(第170図5)、土師器坏(第170図６・８・９)、内面の底部と口縁部に煤が付着した土師器坏(第170図７)が出土している。

ＳＫ222(第132図)

ＰＢ･ＰＣ15･16グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ223・ＳＫ225を切る。平面形は径1.14mの不整円形を呈し、確認面からの深さは0.55mである。底面は中央に向かって緩やかに傾斜し、壁は急に立ち上がる。覆土は３層に分けられ、第１層は地山ブロックが多く混入し、第２層は炭化物が多く混入している。遺物は土師器坏（第170図10）と須恵器１点、椀形鍛冶滓１点、鉄製品１点が出土している。

ＳＫ223(第132図)

ＰＢ15･16グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ222に切られる。平面形は径0.69mの不整円形を呈し、確認面からの深さは0.41mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層で、地山ブロックが混入している。遺物は出土しなかった。

ＳＫ224(第132図)

ＰＢ･ＰＣ16グリッドの第Ⅴ層で確認した。北側は農道に達する。平面形は長方形を呈すると思われ、長軸（北西－南東）1.25m以上、短軸（北東－南西）1.31m、確認面からの深さは0.38mである。底面は平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第２層に地山ブロックが多く混入する。遺物は土師器片と須恵器片１点が出土している。

ＳＫ225(第132図)

ＰＣ15グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ222に切られる。平面形は径0.86m以上の不整円形を呈するものと思われ、確認面からの深さは0.34mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第２層に地山ブロックが多く混入する。遺物は出土しなかった。

ＳＫ232(第132図)

ＯＳ15グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は径1.32mの円形を呈し、確認面からの深さ0.3mである。底面はやや起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は５層に分けられ、第５層は地山質でシルトと砂の混合土である。遺物は、第２層と第３層から多く出土し、高台付皿(第170図11)、土師器坏のほか鉄製品１点、椀形鍛冶滓1点が出土している。

ＳＫ233(第132図)

ＯＲ15グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（北西－南東）0.61m、短軸（北東－南西）0.46m、確認面からの深さは0.29mである。底面は平坦であるが、東側が浅くなっており、壁は袋状にオーバーハングする。覆土は、黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ234（第133図）

ＯＲ14グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は径0.9mの不整円形を呈し、確認面からの深さは0.19mである。底面は平坦で中央部にくぼみがあり、壁は垂直に立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第２層に地山ブロックが多く混入している。

ＳＫ235（第133図）

ＯＲ･ＯＳ13･14グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ612に切られる。平面形は楕円形を呈し、長軸（北－南）1.76m、短軸（東－西）1.58m、確認面からの深さ0.2mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第２層に炭化物が多く混入している。遺物は土師器坏（第170図12）、土師器坏８点のほか、椀形鍛冶滓１点が出土した。

ＳＫ236（第133図）

ＯＴ６・７グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（東－西）1.86m、短軸（北－南）1.68m、確認面からの深さは0.16mである。底面は起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ253（第133図）

ＯＫ７グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＩ1000Ｐ６・ＳＫＰ841を切る。平面形は隅丸方形を呈し、

長軸（北東－南西）1.1m、短軸（北西－南東）0.9m、確認面からの深さは0.36mである。底面は平坦で壁は垂直に立ち上がる。覆土は4層に分けられ、第4層に暗褐色土が混入している。遺物は出土しなかった。

ＳＫ254（第134図）

ＯＫ･ＯＬ７･8グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は隅丸方形を呈し、長軸（北東－南西）1.54m、短軸（北西－南東）1.35m、確認面からの深さは0.25mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器坏（第170図13）のほか、須恵器１点が出土している。

ＳＫ255（第134図）

ＯＬ６グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸(北東－南西）1.26m、短軸（北西－南東）1.07m、確認面からの深さは0.11mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は褐色土の単一層である。遺物は土師器片のほか鉄滓２点が出土している。

ＳＫ256（第133図）

ＯＫ７･8グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は隅丸方形を呈し、長軸(北東－南西）1.18m、短軸（北西－南東）0.88m、確認面からの深さは0.41mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は土師器片1点が出土している。

ＳＫ258（第134図）

ＯＪ･ＯＫ７グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ259に切られる。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）0.91m、短軸（北西－南東）0.78m、確認面からの深さは0.05mである。底面は平坦で壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ263（第134図）

ＯＪ７グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は径0.62mの円形を呈し、確認面からの深さは0.18mである。底面は西側に向かって傾斜し、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ273（第134図）

ＯＱ３グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＮ274に切られる。平面形は不整楕円形を呈し、長軸(西－東）1.9m、短軸（北－南）1.26m、確認面からの深さは0.2mである。底面は平坦であるが、東側が浅くなっており、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第１層は焼土層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ277（第134図）

ＯＳ５グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は不整楕円形を呈し、長軸(北東－南西)1.36m、短軸(北西－南東)1.16m、確認面からの深さは0.09mである。底面は北から南にかけて緩やかに傾斜する。壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は出土しなかった。

ＳＫ278（第135図）

ＰＡ４グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ279に切られる。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）1.06m、短軸（北－南）0.92m、確認面からの深さは0.13mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ279（第135図）

ＰＡ・ＰＢ4グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ278を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）1.0m、短軸（北－南）0.65m、確認面からの深さは0.2mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ290（第135図）

ＯＱ13グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＩ213・ＳＫＰ295と切り合うが、新旧関係は不明である。平面形は楕円形を呈し、長軸（北－南）0.72m、短軸（東－西）0.58m、確認面からの深さは0.16mである。底面は平坦で壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層で、地山ブロックが混入している。遺物は底面から土師器坏(第170図14)が出土している。

ＳＫ301（第135図）

ＰＥ７グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は径１.0mの円形を呈し、確認面からの深さは0.1mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第１層は焼土層である。遺物は、土師器片３点、縄文土器２点、鉄滓２点が出土している。

ＳＫ303（第135図）

ＯＲ６・７グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ308に切られる。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北－南）0.74m以上、短軸（東－西）1.27m、確認面からの深さは0.12mである。底面はやや起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ308（第135図）

ＯＲ6グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ303を切る。平面形は径0.89mの円形を呈し、確認面からの深さは0.33mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は３層に分けられた。遺物は土師器片のほか、被熱した礫が２点出土している。

ＳＫ323（第135図）

ＯＱ・ＯＲ７グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は径1.64mの円形を呈し、確認面からの深さは0.14mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器坏(第171図１・２)が出土している。

ＳＫ330（第135図）

ＯＱ・ＯＲ６・７グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＮ315に切られる。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北－南）0.95m、短軸(東－西）0.65m以上、確認面からの深さは0.28mである。底面は起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片７点が出土している。

ＳＫ333（第135図）

ＯＳ12グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）0.6m、短軸(北西－南東）0.52m、確認面からの深さ0.14mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ341（第136図）

ＯＳ8グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＩ115と切り合うが、新旧関係は不明である。平面形は楕円形を呈し、長軸(北－南）0.82m、短軸(東－西）0.79m、確認面からの深さは0.1mである。覆土は暗褐

色土の単一層である。遺物は土師器片５点が出土している。

ＳＫ342（第136図）

ＰＡ５グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）0.64m、短軸(北東－南西）0.56m、確認面からの深さは0.1mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は褐色土の単一層である。

ＳＫ343（第136図）

ＯＱ４グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）0.84m、短軸（北－南）0.62m、確認面からの深さは0.16mである。底面は平坦で壁は急に立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第２層に地山ブロックが多く混入している。遺物は、高台付皿（第171図３）のほか、石器１点が出土している。

ＳＫ346（第136図）

ＯＳ4グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北－南）0.46m、短軸（東－西）0.3m、確認面からの深さは0.12mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第１層は焼土層、第２層は黒色土である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ400（第136図）

ＯＭ６グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＩ1000Ｐ９を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）2.22m、短軸(北－南）1.96m、確認面からの深さは0.36mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は３層に分けられた。遺物は土師器坏（第171図４～７）が出土している。

ＳＫ403（第136図）

ＯＫ６グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫＰ2293に切られる。平面形は径1.02mの円形を呈し、確認面からの深さは0.24mである。覆土は３層に分けられ、第２層は焼土層、第３層が暗褐色土である。遺物は土師器坏（第171図８）のほか、須恵器片２点が出土している。

ＳＫ415（第137図）

ＰＣ９グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＤ99を切る。平面形は径0.8mの不整円形を呈し、確認面からの深さ0.14mである。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ420（第137図）

ＯＯ・ＯＰ０グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は径1.22mの円形を呈し、確認面からの深さは0.32mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器坏(第171図９～11・13・14)、高台付坏(第171図12)、土師器甕（第171図15）のほか、須恵器片１点、黒曜石を素材とする剥片１点が出土している。

ＳＫ427（第137図）

ＯＳ４グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ983・988に切られる。平面形は不整楕円形を呈し、長軸(北東－南西）1.3m、短軸（北西－南東）0.94m、確認面からの深さは0.18mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片２点が出土している。

ＳＫ491（第137図）

ＯＱ10・11グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ492を切る。平面形は径1.09mの円形を呈し、確認面からの深さは0.12mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。

遺物は土師器片のほか、礫１点が出土している。

ＳＫ492（第137図）

ＯＱ10グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ491を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）1.47m、短軸（北西－南東）1.3m、確認面からの深さは0.2mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ526（第130図）

ＰＣ９グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ417に切られ、ＳＫ157・ＳＤ455・ＳＫＰ416を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）0.95m、短軸(北東－南西)0.58m、確認面からの深さは0.64mである。底面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ561（第137図）

ＯＱ10グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は不整方形を呈し、長軸（北東－南西）1.17m、短軸（北西－南東）0.71m、確認面からの深さは0.3mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層で、地山ブロックが多く混入している。遺物は土師器坏（第171図16）、土師器片６点が出土している。

ＳＫ566（第138図）

ＯＴ４・５グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は不整方形を呈し、長軸（北東－南西）1.42m、短軸（北西－南東）1.4m、確認面からの深さは0.19mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片10点が出土している。

ＳＫ601（第138図）

ＯＰ７グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫＰ398に切られ、ＳＡ250Ｐ16を切る。平面形は径0.7mの円形を呈し、確認面からの深さは0.23mである。底面は平坦で壁は急に立ち上がる。覆土は３層に分けられ、第２層に地山ブロックが多く混入している。遺物は出土しなかった。

ＳＫ616（第138図）

ＯＲ10グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＢ616との新旧関係は不明である。平面形は径0.72mの円形を呈し、確認面からの深さは0.1mである。底面は平坦で壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層で地山ブロックが混入している。遺物は土師器片１点が出土している。

ＳＫ617(第42・43図)

ＯＳ11グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＩ212を切る。平面形は径1.8mの円形を呈し、確認面からの深さ0.3mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は２層に分けられた。黒褐色土を主とする。

ＳＫ618（第42・43図）

ＯＳ11グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ617に切られる。平面形は楕円形を呈すると思われ、残存する長軸（北西－南東）1.13m、短軸（北東－南西）1.01m、確認面からの深さは0.21mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は２層に分けられた。第１層は火山灰質と思われる褐色土、第２層は黒褐色土である。

ＳＫ685（第138図）

ＯＢ・ＯＣ19・20グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）1.31m、

短軸（北西－南東）1.09m、確認面からの深さは0.33mである。底面は平坦で、北側にくぼみがあり、壁は急に立ち上がる。覆土は３層に分けられた。遺物は土師器片のほか、刀子(第172図１)、鉄製品１点が出土している。

ＳＫ687（第138図）

ＯＥ・ＯＦ17グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は隅丸方形を呈し、長軸（北東－南西）1.46m、短軸（北西－南東）1.09m、確認面からの深さ0.2mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片のほか、須恵器片３点が出土している。

ＳＫ721（第138図）

ＯＡ18グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫＰ1718を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）0.59m、短軸（北－南）0.49m、確認面からの深さは0.08mである。底面は平坦で、東側に0.16mのくぼみがある。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ821（第138図）

ＰＧ7グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（北東－南西）0.95m、短軸（北西－南東）0.65m、確認面からの深さは0.36mである。底面は起伏があり、壁は垂直に立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は土師器片のほか、須恵器片１点、石器１点、礫３点が出土している。

ＳＫ831（第138図）

ＯＪ・ＯＫ８・９グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.25m、短軸（北東－南西）0.97m、確認面からの深さは0.14mである。底面は起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ844（第138図）

ＯＮ６・７グリッドの第Ⅳ層で確認した。西側は削平され失っている。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北－南）1.08m、短軸（東－西）0.52m以上、確認面からの深さは0.22mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片6点、須恵器片１点、椀形鍛冶滓1点が出土している。

ＳＫ849（第139図）

ＯＫ６グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は方形を呈し、長軸（東－西）0.68m、短軸（北－南）0.66m、確認面からの深さは0.28mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ851（第139図）

ＯＢ・ＯＣ23グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ2042・2141に切られ、ＳＫＰ2077・2078・2142を切る。平面形は不整方形を呈し、長軸（東－西）1.91m、短軸（北－南）1.32m、確認面からの深さは0.22mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は土師器片のほか、礫2点が出土している。

ＳＫ852（第139図）

ＯＣ23グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（北東－南西）1.09m、短軸（北西－南東）0.85m、確認面からの深さは0.04mである。底面は平坦で北東側がくぼむ。壁は北東側が急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片５点、須恵器片１点が出土している。

ＳＫ853（第139図）

ＯＤ24グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ854・855を切る。平面形は不整楕円形を呈し、長軸(東－西)1.69m、短軸（北－南）1.66m、確認面からの深さは0.11mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片のほか、ＳＫ1700出土の破片と接合した須恵器甕(第172図２)が出土した。

ＳＫ854（第139図）

ＯＤ24グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ853に切られる。平面形は円形を呈するものと思われ、長軸（北東－南西）0.98m、短軸（北西－南東）0.58m以上、確認面からの深さは0.09mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ855（第139図）

ＯＤ24グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ853に切られる。平面形は円形を呈するものと思われ、長軸（東－西）0.84m、短軸（北－南）0.4m以上、確認面からの深さは0.13mである。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ857（第139図）

ＯＤ・ＯＥ22グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ2264に切られる。平面形は楕円形を呈し、長軸（北－南）1.33m、短軸（東－西）1.15m、確認面からの深さは0.11mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片11点が出土している。

ＳＫ858（第140図）

ＯＤ・ＯＥ22グリッドの第Ⅴ層で確認した。西側が削平されている。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北－南）1.38m、短軸（東－西）1.03m、確認面からの深さは0.18mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器坏（第172図３）が出土している。

ＳＫ859（第140図）

ＯＤ21・22グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ861、ＳＮ2293、ＳＫＰ2294、ＳＫＰ2297を切る。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（東－西）1.93m、短軸（北－南）1.67m、確認面からの深さは0.3mである。底面は平坦で西側にくぼみがあり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は３層に分けられた。遺物は土師器坏（第172図４）と高台のある土師器坏（第172図５）が出土している。

ＳＫ861（第140図）

ＯＤ21グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ859に切られる。平面形は不整楕円形を呈するものと思われ、長軸（北西－南東）0.88m、短軸（北東－南西）0.59m、確認面からの深さは0.31mである。底面は平坦で北東側が深くなっており、壁は南西側が緩やかに立ち上がる。覆土は３層に分けられた。遺物は土師器坏（第172図６～９）のほか、口縁部内面に煤が付着した土師器甕(第172図10)が出土している。

ＳＫ942（第140図）

ＰＢ11グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ943に切られる。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（北東－南西）0.94m、短軸（北西－南東）0.77m、確認面からの深さは0.35mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ952（第140図）

ＰＪ３グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸(北西－南東）1.42m、短軸（北東－南西）1.2m、確認面からの深さ0.75mである。底面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は５層に分けられ、底面で白色土を確認した。遺物は土師器片が多く出土し、土師器坏(第172図11)のほか椀形鍛冶滓１点、炉壁１点、剥片１点が出土している。

ＳＫ955（第140図）

ＰＫ３グリッドの第Ⅴ層で確認した。北側は調査区外に達する。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北西－南東）0.89m、短軸（北東－南西）0.35m以上、確認面からの深さ0.62mである。底面は平坦で、壁は南西側は垂直に､北東側は急に立ち上がる。覆土は３層に分けられた。遺物は出土しなかった。

ＳＫ960（第141図）

ＰＩ・ＰＪ２・３グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.39m、短軸（北東－南西）1.1m、確認面からの深さ0.11mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器坏(第172図12・13)、鍛冶滓２点、縄文土器片２点が出土している。

ＳＫ967（第141図）

ＰＦ・ＰＧ７グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は径0.77mの円形を呈し、確認面からの深さは0.3mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ985（第141図）

ＯＰ４グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）0.83m、短軸（北－南）0.62m、確認面からの深さは0.17mである。底面は平坦で、壁は西側が急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片のほか、黒曜石の剥片１点が出土している。

ＳＫ986（第141図）

ＰＡ3・４グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）0.8m、短軸（北東－南西）0.64m、確認面からの深さは0.24mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は3層に分けられ、第1層は粘性のない明黄褐色土である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ999（第141図）

ＯＫ７グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ3004に切られる。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.29m、確認面からの深さは0.12mである。底面は起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は３層に分けられ、第１層に焼土ブロックが多く混入し、第２層は炭化物層で、第３層は炭化物が多く混入している。遺物は出土しなかった。

ＳＫ1006（第141図）

ＰＩ４・５グリットの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）0.79m、短軸（北西－南東）0.59m、確認面からの深さは0.61mである。底面は平坦で、南西側にくぼみがあり、壁は垂直に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片４点が出土している。

ＳＫ1072（第141図）

ＰＡ4グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北－南）0.88m、短軸（東－西）0.74m、確認面からの深さは0.37mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は一部撹乱を受けており、４層に分けられた。遺物は土師器片１点、鍛冶滓１点が出土している。

ＳＫ1075（第141図）

ＯＳ４グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は径0.52mの円形を呈し、確認面からの深さは0.18mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は急に立ち上がる。覆土は４層に分けられ、第４層は焼土層で、底面は焼けている。遺物は出土しなかった。

ＳＫ1081（第142図）

ＰＨ17グリッドの第Ⅴ層で確認した。北側は確認調査のトレンチに切られる。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北東－南西）は0.9m以上、短軸（北西－南東）は1.31m、確認面からの深さは0.16mである。底面は起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ1082（第142図）

ＰＧ･ＰＨ17グリッドの第Ⅴ層で確認した。南西側を確認調査のトレンチに切られる。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北東－南西）は1.74m以上、短軸（北西－南東）1.45m、確認面からの深さは0.17mである。底面は起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ1092（第142図）

ＰＥ16･17グリッドの第Ⅴ層で確認した。南側を確認調査のトレンチに切られる。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（東－西）0.62m、短軸（北－南）1.38m以上、確認面からの深さは0.09mである。底面は平坦で、中央に深さ0.16mのくぼみがあり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ1099（第142図）

ＰＩ18グリッドの第Ⅴ層で確認した。中央部を排水溝に切られる。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北東－南西）1.33m、短軸（北西－南東）0.78m、確認面からの深さは0.22mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第２層に地山ブロックが多く混入している。遺物は土師器片が３点出土している。

ＳＫ1126（第142図）

ＯＩ10グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（北東－南西）0.84m、短軸（北西－南東）0.62m、確認面からの深さは0.11mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第１層に焼土ブロックが多く混入している。遺物は土師器片３点が出土している。

ＳＫ1150（第143図）

ＯＴ16グリッドの第Ⅴ層で確認した。南側に削平を受けており、ＳＡ226Ｐ２を切る。平面形は不整円形を呈するものと思われ、長軸（東－西）1.46m、短軸（北－南）1.0m以上、確認面からの深さは0.38mである。底面は平坦で、西側が浅くなっており、壁は垂直に立ち上がる。覆土は２層に分けられ

た。遺物は土師器坏（第173図１）のほか、土師器片３点が出土している。

ＳＫ1152（第143図）

ＯＲ17グリッドの第Ⅴ層で確認した。北側を確認調査のトレンチに、南東側をＳＫＰ1154に切られる。平面形は円形を呈するものと思われ、長軸（東－西）1.64m、短軸（北－南）0.66m以上、確認面からの深さは0.18mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は５層に分けられ、第１層は近年の耕作土で、第２層に焼土ブロックが多く混入し、第４・５層に地山ブロックが多く混入している。遺物は土師器片７点が出土している。

ＳＫ1153（第143図）

ＯＱ・ＯＲ16・17グリッドの第Ⅴ層で確認した。北側を現代の排水溝に切られる。平面形は円形を呈するものと思われ、長軸（北西－南東）2.24m、短軸（北東－南西）1.6m以上、確認面からの深さは0.22mである。覆土は４層に分けられ、第１層は近年の耕作土、第４層に地山ブロックが混入している。遺物は土師器坏(第173図2～9)、土師器甕（第173図10・11）のほか、椀形鍛冶滓2点が出土している。

ＳＫ1155（第57・58図）

ＯＯ15・16グリッドの第Ⅴ層で確認した。西側は調査区外に達する。南側に撹乱を受けている。ＳＩ620を切る。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北東－南西）1.69m、短軸（北西－南東）1.52m、確認面からの深さは0.23mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は３層に分けられ、第２層は人為的に埋められたものである。遺物は土師器坏（第173図12）が出土している。

ＳＫ1231（第143図）

ＭＲ32グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ1233を切る。平面形は径0.91mの円形を呈し、確認面からの深さは0.16mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片のほか、須恵器片１点が出土している。

ＳＫ1232（第143図）

ＮＢ30・31グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）0.84m、短軸（北－南）0.76m、確認面からの深さは0.26mである。底面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第２層は地山ブロックが混入している。遺物は出土しなかった。

ＳＫ1233（第143図）

ＭＲ32グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ1231に切られる。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北－南）0.44m以上、短軸（東－西）0.82m、確認面からの深さは0.2mである。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ1242（第144図）

ＮＤ29・30グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は径1.42mの円形を呈し、確認面からの深さは0.24mである。底面は起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ1245（第144図）

ＮＥ26・27グリッドの第Ⅴ層で確認した。南東側は調査区外に達する。平面形は隅丸方形を呈するものと思われ、長軸（北西－南東）1.49m以上、短軸（北東－南西）1.4m、確認面からの深さは0.22mである。床面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は６層に分けられた。遺物は土師器坏(第173図

13～17)のほか、椀形鍛冶滓４点、フイゴの羽口片１点、軽石を素材とした石製品（第174図１）が出土している。

ＳＫ1246（第144図）

ＮＤ・ＮＥ30・31グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）2.57m、短軸（北東－南西）1.12m、確認面からの深さは0.05mである。底面は平坦で壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片１点が出土した。

ＳＫ1276（第144図）

ＮＯ・ＮＰ32グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ1331に切られる。平面形は方形を呈し、長軸（北－南）1.09m、短軸（東－西）0.77m、確認面からの深さは0.3mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片5点が出土している。

ＳＫ1314（第144図）

ＮＧ29グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＤ1313とＳＫＰ1609を切る。平面形は径1.34mの円形を呈し、確認面からの深さは0.11mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片のほか、石器1点が出土している。

ＳＫ1325（第144図）

ＮＯ・ＮＰ33グリッドの第Ⅴ層で確認した。北側は調査区外に達する。ＳＫＰ1333に切られる。平面形は円形を呈し、長軸（北東－南西）1.96m、短軸（北西－南東）0.93m以上、確認面からの深さは0.2mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器甕底部５点と土師器坏（第174図４）が出土している。

ＳＫ1334（第145図）

ＮＰ31グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ1335・1339に切られる。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）1.04m、短軸（北－南）0.85m、確認面からの深さ0.09mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ1336（第145図）

ＮＭ・ＮＮ33・34グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北－南）1.01m、短軸（東－西）0.8m、確認面からの深さは0.42mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、北東側は浅くなっている。壁は垂直に立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は土師器坏片２点のほか、吊手金具(第174図２)、鉸具(第174図３)、棒状鉄製品１点が出土している。

ＳＫ1337（第145図）

ＮＭ33・34グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ1338を切る。平面形は径0.69mの円形を呈し、確認面からの深さ0.41mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は内面を黒色処理された土師器片、須恵器片1点のほか、投げ込まれたと思われる礫5点が出土している。

ＳＫ1338（第145図）

ＮＬ・ＮＭ33・34グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ1337に切られる。平面形は不整楕円形を呈するものと思われ、長軸（北－南）0.68m以上、短軸（東－西）0.84m、確認面からの深さは0.14mである。底面は起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片12点のほか、内面を黒色処理された土師器片２点が出土している。

ＳＫ1343（第145図）

ＯＦ14グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は不整方形を呈し、長軸（東－西）1.56m、短軸（北－南）1.32m、確認面からの深さは0.28mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は土師器片７点のほか、土師器坏（第174図５）が出土している。

ＳＫ1344（第145図）

ＯＦ・ＯＧ14グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）0.82m、短軸（北－南）0.72m、確認面からの深さは0.09mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ1345（第146図）

ＯＧ14グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北－南）1.39m、短軸（東－西）1.21m、確認面からの深さは0.09mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ1377（第145図）

ＮＳ16グリッドの第Ⅳ層で確認した。南東側は調査区外に達し、ＳＫＰ1512に切られ、ＳＫＰ1376を切る。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北東－南西）1.8m、短軸（北西－南東）0.65m以上、確認面からの深さ0.23mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器坏（第174図６・７）が出土している。

ＳＫ1392（第146図）

ＯＬ18グリッドの第Ⅳ層で確認した。南西側を確認調査のトレンチに削平され、ＳＢ1395に切られる。平面形は不整円形を呈するものと思われ、長軸（北東－南西）1.7m、短軸（北西－南東）0.87m以上、確認面からの深さは0.13mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ1393（第146図）

ＯＬ17グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（北東－南西）1.72m、短軸（北西－南東）1.4m、確認面からの深さは0.27mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は３層に分けられ、第２層に地山ブロックが多く混入し、第３層は遺構の壁面が崩落したものと思われる。遺物は土師器片12点が出土している。

ＳＫ1397（第146図）

ＯＫ17･18グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＤ100に切られ、ＳＫ1398を切る。平面形は不整楕円形を呈するものと思われ、長軸（北東－南西）0.88m以上、短軸（北西－南東）0.97m、確認面からの深さは0.26mである。底面は起伏があり、南西側にくぼみがあり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片12点のほか、礫１点が出土している。

ＳＫ1398（第146図）

ＯＫ18グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＤ100･ＳＫ1397に切られる。平面形は不整楕円形を呈するものと思われ、長軸（北西－南東）1.7m以上、短軸（北東－南西）1.17m、確認面からの深さは0.14mである。底面は起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片15点が出土している。

ＳＫ1441（第147図）

ＮＧ･ＮＨ28グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ1442に切られ、ＳＫＰ2988を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北－南）0.8m、短軸（東－西）0.45m以上、確認面からの深さは0.12mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片２点が出土している。

ＳＫ1443（第147図）

ＮＧ28グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は方形を呈し、長軸（北－南）0.84m、短軸（東－西）0.49m、確認面からの深さは0.11mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ1461（第147図）

ＮＦ･ＮＧ29グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）0.94m、短軸（北西－南東）0.72m、確認面からの深さは0.15mである。底面は起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は４層に分けられ、中位に焼土が混入している。遺物は土師器片４点が出土している。

ＳＫ1480（第147図）

ＮＰ32グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ1738に切られる。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.18m、短軸（北東－南西）0.72m、確認面からの深さは0.22mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第２層に地山ブロックが多く混入している。遺物は出土しなかった。

ＳＫ1481（第147図）

ＮＮ･ＮＯ31･32グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＤ1340･ＳＫＰ1482に切られ、ＳＩ1330を切る。平面形は不整楕円形を呈するものと思われ、長軸（北東－南西）1.0m、短軸（北西－南東）0.82m、確認面からの深さは0.12mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ1484（第147図）

ＮＯ32･33グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ1487に切られ、ＳＫ1485を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）2.48m、短軸（北－南）1.55m、確認面からの深さは0.25mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器坏（第174図8～10）が出土している。

ＳＫ1485（第147図）

ＮＯ32･33グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ1484に切られる。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）2.48m、短軸（北－南）1.55m、確認面からの深さは0.25mである。底面は概ね平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土を主として６層に分けられた。遺物は土師器坏（第174図11、第175図１～６）、内面を黒色処理された土師器坏４点のほか、鉄製品１点が出土している。

ＳＫ1489（第148図）

ＮＭ34グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は径0.55mの円形を呈し、底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片２点が出土している。

ＳＫ1495（第148図）

ＮＰ・ＮＱ31・32グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＮ1500に切られる。平面形は方形を呈し、長軸（北東－南西）2.6m、短軸（北西－南東）1.24m、確認面からの深さは0.46mである。底面は平坦で、北東側・中央部・南西側にくぼみがある。壁は北東側が垂直に立ち上がり、南西側は緩やかに立ち上がる。覆土は５層に分けられ、第１層ににぶい黄褐色の粘土が混入しており、第２層は地山土を主とする層である。遺物は土師器坏（第175図７）、須恵器片４点、椀形鍛冶滓２点、羽口溶解物１点、礫１点が出土している。

ＳＫ1513（第148図）

ＯＦ14グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ1514に切られ、ＳＫＰ2227を切る。平面形は径1.49mの不整円形を呈し、確認面からの深さは0.21mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層で、上位に黄褐色土が混入している。遺物は土師器片のほか、刀子１点が出土している。

ＳＫ1514（第148図）

ＯＦ14グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ1513・ＳＫＰ2568を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）0.69m、短軸（北西－南東）0.53m、確認面からの深さは0.08mである。底面は平坦で、壁は北東側が急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ1522（第149図）

ＮＥ34グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ1534に切られ、ＳＩ1540を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北－南）1.4m、短軸（東－西）1.12m以上、確認面からの深さ0.04mである。底面は起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層で、地山ブロックが混入している。遺物は出土しなかった。

ＳＫ1529（第149図）

ＮＩ34グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北－南）0.66m、短軸（東－西）0.46m、確認面からの深さは0.35mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ1534（第149図）

ＮＥ34・35グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫＰ2279・ＳＫＰ2280・ＳＫＰ2371に切られ、ＳＫ1522を切る。ＳＫＰ2372との新旧関係は不明である。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北西－南東）2.12m、短軸（北東－南西）1.4m、確認面からの深さ0.2mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ1537（第149図）

ＮＬ32グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＡ1538を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.01m、短軸（北東－南西）0.91m、確認面からの深さは0.29mである。底面は平坦で、壁は急激に立ち上がる。覆土は５層に分けられ、第３層に地山ブロックが多く混入している。遺物は土師器片のほか、縄文土器片が出土している。

ＳＫ1539（第149図）

ＮＭ・ＮＮ23グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は不整方形を呈し、長軸（北東－南西）1.96m、

短軸（北西－南東）1.65m、確認面からの深さは0.16mである。底面は平坦で、南東側にくぼみがある。壁は北側が急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層で、地山ブロックが多く混入している。遺物は土師器片と須恵器片が出土している。

ＳＫ1541（第149図）

ＮＬ33グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は径0.73mの円形を呈し、確認面からの深さ0.16mである。底面は、平坦で東側が深くなっている。壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ1690（第150図）

ＯＣ14グリッドの第Ⅳ層で確認した。南側は削平されている。平面形は円形を呈するものと思われ、長軸（北－南）0.33m以上、短軸（北東－南西）0.47m、確認面からの深さは、0.32mである。底面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第２層に地山ブロックが多く混入している。遺物は土師器坏（第175図８）９点が出土している。

ＳＫ1700（第150図）

ＮＱ18グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ2001を切る。平面形は径0.71mの不整円形を呈し、確認面からの深さは0.13mである。底面は平坦で、南西側が深くなっている。壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は、内面を黒色処理した土師器坏(第175図９)と須恵器片が出土している。

ＳＫ1740（第150図）

ＮＬ33グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ1794に切られる。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）0.74m、短軸（北－南）0.7m、確認面からの深さは0.43mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土を主として、２層に分けられた。遺物は土師器坏底部１点、甕口縁部１点、須恵器片２点のほか、砥石(第175図11)、棒状鉄製品1点が出土している。

ＳＫ1758（第150図）

ＮＴ16グリッドの第Ⅴ層で確認した。南東側は調査区外に達する。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北東－南西）1.2m、短軸（北西－南東）0.41m以上、確認面からの深さは0.32mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は４層に分けられ、第２層が炭化物層である。遺物は土師器片と縄文土器片が出土している。

ＳＫ1800（第150図）

ＮＮ･ＮＯ30･31グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ3001･3002･3003に切られる。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（北西-南東）1.48m、短軸（北東-南西）1.18m、確認面からの深さは0.1mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第１層は焼土が多く混入している。土師器坏（第176図１）と縄文土器２点が出土している。

ＳＫ1801（第151図）

ＮＮ32グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ2290を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）0.8m、短軸（北東－南西）0.62m、確認面からの深さは0.26mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片２点のほか、土錘(第176図２)が出土している。

ＳＫ1802（第151図）

ＮＮ33グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＤ1340に切られる。平面形は径0.78mの円形を呈し、確認面からの深さは0.3mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は３層に分けられ、第２層に地山ブロックが多く混入している。遺物は出土しなかった。

ＳＫ1803（第151図）

ＮＭ34グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は径0.75mの円形を呈し、確認面からの深さは0.23mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片５点が出土している。

ＳＫ1805（第151図）

ＮＰ・ＮＱ30・31グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ1955を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）1.67m、短軸（北西－南東）1.32m、確認面からの深さ0.13mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は土師器片と砥石片が出土している。

ＳＫ1806（第151図）

ＮＮ32・33グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は径0.6mの円形を呈し、確認面からの深さは0.08mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ1808（第151図）

ＮＱ31グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）0.8m、短軸（北西－南東）0.68m、確認面からの深さは0.12mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は３層に分けられ、第２層に地山ブロックが多く混入している。遺物は土師器甕(第176図３)と須恵器片２点が出土している。

ＳＫ1809（第78図）

ＮＮ・ＮＯ33グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＩ1810・ＳＤ1340に切られる。平面形は円形を呈するものと思われ、長軸（北西－南東）1.6m、短軸（北東－南西）0.74m以上、確認面からの深さは0.19mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片２点が出土している。

ＳＫ1811（第78図、図版18－３）

ＮＮ33グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＤ1340に切られ、ＳＩ1810を切る。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北西－南東）0.82m以上、短軸（北東－南西）0.48m、確認面からの深さは0.35mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片と鉄刀（第176図4）が出土している。刀の刃部は西を向いて南側の底面付近で見つかった。

ＳＫ1817（第152図）

ＮＮ33グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ1819・2925に切られる。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）0.98m、短軸（北東－南西）0.54m以上、確認面からの深さは0.12mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。遺物は出土しなかった。

ＳＫ1818（第152図）

ＮＮ33グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ1819を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）

1.16m、短軸（北西－南東）0.56m、確認面からの深さは0.26mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層で、中位から下位にかけて、地山ブロックが多く混入している。遺物は土師器片のほか、軽石が出土している。

ＳＫ1819（第152図）

ＮＮ33グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ1818に切られ、ＳＫ1817を切る。平面形は径0.92mの円形を呈し、確認面からの深さは0.26mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ1841（第152図）

ＯＴ17･18グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ1895を切る。平面形は径0.71mの円形を呈し、確認面からの深さは0.18mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第２層は地山ブロックが多く混入している。遺物は土師器片４点が出土している。

ＳＫ1842（第152図）

ＯＴ17グリッドの第Ⅴ層で確認した。南側は調査区外に達する。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（東－西）0.82m、短軸（北－南）0.55m、確認面からの深さは0.19mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片５点が出土している。

ＳＫ1843（第152図）

ＯＲ16グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は径0.77mの円形を呈し、確認面からの深さは0.08mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片が２点出土している。

ＳＫ1844（第152図）

ＯＲ17グリッドの第Ⅴ層で確認した。南側は調査区外に達する。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（東－西）1.47m、短軸（北－南）0.55m以上、確認面からの深さは0.13mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ1883（第152図）

ＯＱ17グリッドの第Ⅴ層で確認した。南側は調査区外に達する。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（東－西）1.41m、短軸（北－南）0.39m以上、確認面からの深さは0.28mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ1915（第153図）

ＰＫ17グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は隅丸方形を呈する。長軸（北東－南西）0.83m、短軸（北西－南東）0.72m、確認面からの深さ0.07mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられた。土師器片２点が出土した。

ＳＫ1961（第153図）

ＯＡ26グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北－南）1.05m、短軸（東－西）0.72m、確認面からの深さは0.1mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ1962（第153図）

ＮＲ23グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北－南）0.71m、短軸（東－西）

0.56m、確認面からの深さは0.1mである。底面は起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ1969（第153図）

ＯＡ25グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）0.68m、短軸（北東－南西）0.57m、確認面からの深さは0.3mである。底面は起伏があり、壁は急に立ち上がる。覆土は５層に分けられ、全体に地山ブロックが混入する。遺物は土師器片１点が出土している。

ＳＫ1992（第153図）

ＯＥ24･25グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（東－西）1.12m、短軸（北－南）0.95m、確認面からの深さは0.27mである。底面は平坦で、壁は東側が急に立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第2層には地山ブロックが多く混入している。遺物は土師器片2点が出土している。

ＳＫ2001（第150図）

ＮＱ18グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ1700に切られる。平面形は不整方形を呈し、長軸（北東－南西）2.03m、短軸（北西－南東）1.6m、確認面からの深さは0.14mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第１層に地山ブロックが多く混入している。遺物は土師器片４点が出土している。

ＳＫ2002（第154図）

ＮＰ･ＮＱ19･20グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ2003に切られる。平面形は楕円形を呈し、長軸(北－南)1.56m、短軸(東－西)1.33m、確認面からの深さは0.06mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器坏(第176図5･6)のほか、礫１点が出土している。

ＳＫ2003（第154図）

ＮＰ20グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ2002を切る。平面形は径0.58mの円形で、確認面からの深さは0.49mである。底面は北側に向かって緩く傾斜し、壁は垂直に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ2007（第153図）

ＮＯ･ＮＰ19グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（北－南）0.86m、短軸（東－西）0.81m、確認面からの深さは0.51mである。底面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器坏(第176図７～９・11)のほか、高台付皿(第176図12)が出土している。

ＳＫ2024（第153図）

ＮＴ25グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は径1.96mの不整円形を呈し、確認面からの深さは0.15mである。底面は起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は３層に分けられ、中位に焼土ブロックが混入している。遺物は土師器坏(第176図13)、土師器甕(第176図10)のほか、礫２点が出土している。

ＳＫ2060（第154図）

ＯＥ23グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ2071に切られる。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）0.84m、短軸（北東－南西）0.53m以上、確認面からの深さは0.11mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ2071（第154図）

ＯＥ23グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ2072に切られ、ＳＫ2060を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）0.83m、短軸（北東－南西）0.7m、確認面からの深さは0.22mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ2078（第139図）

ＯＣ23グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ851に切られる。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（北東－南西）0.42m以上、短軸（北西－南東）0.74m、確認面からの深さは0.23mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2120（第155図）

ＰＫ・ＰＬ・ＰＭ－３・－２グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＮ2531に切られ、ＳＫＰ2321・ＳＫＰ2322・ＳＫＰ2986を切る。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（北東－南西）6.06m、短軸（北西－南東）3.92m、確認面からの深さは0.81mである。底面は北側がやや深くなっており、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は７層に分けられた。遺物は土師器坏（第177図１）、高台坏皿（第177図２）が出土している。

ＳＫ2122（第154図）

ＰＨ－３グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＩ2390を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.86m、短軸（北東－南西）1.38m、確認面からの深さは0.52mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は４層に分けられ、第４層に地山ブロックが多く混入している。遺物は土師器坏(第177図３～７)のほか、縄文土器片２点、石器４点、鉄製品１点、羽口溶解物１点、礫３点が出土している。

ＳＫ2123（第154図）

ＰＧ－３グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（東－西）0.98m、短軸（北－南）0.87m、確認面からの深さは0.1mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片のほか、鍛冶滓１点が出土している。

ＳＫ2131（第158図）

ＰＧ－１・０グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（北東－南西）1.53m、短軸（北西－南東）1.25m、確認面からの深さは0.2mである。底面は平坦で、壁は東側の壁が急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片のほか、礫1点が出土している。

ＳＫ2132（第158図）

ＰＧ－３グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.23m、短軸（北東－南西）1.04m、確認面からの深さは0.35mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は５層に分けられ、第５層に地山ブロックが多く混入している。遺物は土師器片のほか、須恵器片2点が出土している。

ＳＫ2136（第158図）

ＰＥ0グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（東－西）0.98m、短軸（北－南）0.48m、確認面からの深さは0.13mである。底面は平坦で、東側が深くなっており、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ2137（第158図）

ＰＥ－３グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ2226を切る。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（北東－南西）1.76m、短軸（北西－南東）1.56m、確認面からの深さは0.24mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片２点と縄文土器片が出土している。

ＳＫ2140（第156～157図、図版17－３）

ＰＥ･ＰＦ－４･－３グリッドの第Ⅴ層で確認した。南側は調査区外に達する。ＳＤ2139を切る。平面は、不整形を呈し、長軸（北－南）6.44m、短軸（東－西）4.9mである。確認面からの深さは0.3～1.26mである。底面は起伏があり、東側がもっとも深くなっている。壁は北側が緩やかに立ち上がり、北東側にオーバーハングするところがある。覆土は９層に分けられ、第２－ａ層・第３－ａ層・第３－ｂ層は第Ⅳ層に由来し、第２－ｂ層･第４層は壁の崩落土の可能性がある。遺物は土師器片が第２－ｂ層で出土している。本遺構は粘土採掘坑の可能性があり、少なくとも４回の採掘があったと思われる。遺物は土師器坏(第177図8～13)、土師器甕(第177図14)、高台付皿(第177図15・16)、縄文土器（第178図１・２・３）が出土した。

ＳＫ2194（第158図）

ＮＬ34グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫＰ2274に切られる。平面形は径0.6mの円形を呈し、確認面からの深さは0.12mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片１点が出土している。

ＳＫ2210（第164図）

ＮＭ32グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ2921を切る。平面形は径1.06mの不整円形を呈し、確認面からの深さは0.2mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は第１～３層は被熱し、第1･2層は硬化している。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2211（第159図）

ＮＯ23グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）0.74m、短軸（北東－南西）0.6m、確認面からの深さ0.08mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2212（第159図）

ＮＮ･ＮＯ23･24グリッドの第Ⅴ層で確認した。南西側が撹乱されている。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）0.88m、短軸（北東－南西）0.78m、確認面からの深さは0.62mである。底面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は３層に分けられた。遺物は土師器片１点が出土している。

ＳＫ2226（第158図）

ＰＥ－３･－２グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ2137に切られる。平面形は径1.29mの不整円形を呈し、確認面からの深さは0.6mである。底面は起伏があり、壁は急に立ち上がる。覆土は３層に分けられた。遺物は第１層から土師器坏(第178図４)のほか、棒状鉄製品が３点出土している。

ＳＫ2230（第159図）

ＯＣ20グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は径1.4mの円形を呈し、確認面からの深さは0.31mである。底面は起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片のほか、須恵器片１点が出土している。

ＳＫ2269（第159図）

ＯＥ21グリッドの第Ⅴ層で確認した。西側は確認調査のトレンチにより削平される。平面形は不整方形を呈するものと思われ、長軸（北西－南東）0.77m、短軸（北東－南西）0.59m、確認面からの深さは0.09mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片２点が出土している。

ＳＫ2276（第159図）

ＮＦ35グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＩ1530を切り、北側は調査区外に達する。平面形は円形を呈するものと思われ、長軸（東－西）1.93m、短軸（北－南）1.11m以上、確認面からの深さは0.42mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は５層に分けられた。遺物は土師器坏(第178図６)が出土している。

ＳＫ2277（第159図）

ＮＥ34･35グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）0.76m、短軸（北東－南西）0.61m、確認面からの深さは0.04mである。底面は平坦で、北西側にくぼみがある。壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2290（第151図）

ＮＮ32グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＤ1340･ＳＫ1801に切られる。ＳＫＰ2289との新旧関係は不明である。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（東－西）0.6m以上、短軸（北－南）0.82m、確認面からの深さは0.16mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2292（第159図）

ＯＤ･ＯＥ21グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）0.69m、短軸（北－南）0.6m、確認面からの深さは0.17mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は土師器坏(第178図７)が出土している。

ＳＫ2300（第160図）

ＰＪ－３グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＩ2300Ｐ２・Ｐ５に切られる。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.54m、短軸（北東－南西）1.14m、確認面からの深さは0.33mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は３層に分けられた。遺物は土師器片のほか、須恵器片１点が出土している。

ＳＫ2302（第160図）

ＰＩ－４･－３グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＩ2390との新旧関係は不明である。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）0.99m、短軸（北西－南東）0.76m、確認面からの深さは0.1mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ2307（第160図）

ＰＫ－４グリッドの第Ⅴ層で確認した。南西側が調査区外に達し、ＳＫ2462に切られている。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北東－南西）0.77m以上、短軸（北西－南東）1.23m以上、確認面からの深さは0.28mである。底面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2309（第160図）

ＰＩ－５グリッドのＳＩ2390床面で確認した。ＳＩ2390Ｐ19に切られる。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南東）0.92m、短軸（北西－南東）0.76m以上、確認面からの深さは0.25mである。底面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は３層に分けられた。遺物は土師器片２点のほか、石核２点、剥片２点が出土している。

ＳＫ2311（第160図）

ＰＩ－４グリッドのＳＩ2390床面で確認した。ＳＩ2390との新旧関係は不明である。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）0.68m、短軸（北西－南東）0.59m、確認面からの深さは0.3mである。底面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は３層に分けられた。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2314（第87図）

ＰＪ－５グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＩ2390Ｐ16に切られる。平面形は隅丸方形を呈し、長軸（北－南）1.57m、短軸（東－西）0.99m、確認面からの深さは0.33mである。底面は起伏があり、壁は急に立ち上がる。覆土は３層に分けられ、第３層は地山ブロックが多く混入している。遺物は土師器坏(第178図８～11)のほか、椀形鍛冶滓１点、鍛冶滓１点、羽口溶解物１点、礫２点が出土している。

ＳＫ2315（第161図）

ＰＫ－４グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ2463を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北－南）1.5m、短軸（東－西）1.06m、確認面からの深さは0.26mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は５層に分けられ、第２層は白灰が混入している。遺物は土師器坏（第178図12）が出土している。

ＳＫ2318（第161図）

ＰＧ－２・－１グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＡ2543Ｐ3に切られ、ＳＫ2624を切る。平面形は径1.36mの円形を呈し、確認面からの深さは0.4mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は緩やかに立ちあがる。覆土は３層に分けられ、第１層は地山ブロックが多く混入している。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2462（第160図）

ＰＫ－５・－４グリッドの第Ⅴ層で確認した。南西側が調査区外に達し、ＳＫ2307を切る。平面形は不整楕円形を呈するものと思われ、長軸（北東－南東）1.31m以上、短軸（北西－南東）1.05m以上、確認面からの深さは0.12mである。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片のほか、縄文土器片が出土している。

ＳＫ2463（第161図）

ＰＫ－４グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ2315に切られる。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北－南）1.15m、短軸（東－西）0.63m以上、確認面からの深さは0.1mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は焼土が混入した単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ2465（第163図）

ＰＩ－３グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＩ2390に切られる。平面形は不整楕円形を呈するものと思われ、長軸（北西－南東）1.06m、短軸（北東－南西）0.98m、確認面からの深さは0.19mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は土師器坏(第178図13～16)

が出土している。

ＳＫ2470（第163図）

ＯＣ24グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は径0.62mの円形を呈し、確認面からの深さは0.08mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器坏(第179図１)が出土している。

ＳＫ2471（第163図）

ＯＣ24グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）0.82m、短軸（北－南）0.72m、確認面からの深さは0.03mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2476（第163図）

ＯＡ24グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は径1.08mの円形を呈し、確認面からの深さは0.16mである。底面は中央に向かって緩やかに傾斜し、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は３層に分けられた。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ2488（第164図）

ＮＭ･ＮＮ32グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＩ1820に切られ、ＳＫ2921を切る。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北東－南西）1.58m、短軸（北西－南東）0.54m以上、確認面からの深さは0.5mである。底面は平坦で、壁は南西側が緩やかに立ち上がる。覆土は３層に分けられ、第１層はＳＩ1820のカマドを構築するために、埋められた可能性がある。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ2525（第163図）

ＮＭ･ＮＮ30グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）0.98m、短軸（北西－南東）0.91m、確認面からの深さは0.1mである。底面は平坦で、壁は北側が垂直に立ち上がる。覆土は３層に分けられ、第２・３層に焼土ブロックが混入する。遺物は第１層から土師器片が出土している。

ＳＫ2536（第88・89図）

ＮＩ31グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫＰ2591に切られ、ＳＩ2539を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.31m、短軸（北東－南西）1.13m、確認面からの深さは0.19mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器坏(第179図２～５)のほか椀形鍛冶滓が２点、鉄鏃(第179図６)が３点、棒状鉄製品１点が出土している。

ＳＫ2537（第163図）

ＮＨ30グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ2572に切られる。ＳＩ2539との新旧関係は不明である。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）0.85m、短軸（北東－南西）0.60m、確認面からの深さは0.1mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片のほか鉄製品１点が出土している。

ＳＫ2545（第163図）

ＰＦ－１グリッドの第Ⅴ層で確認した。南西側は削平を受けている。平面形は不整形を呈し、長軸（北西－南東）1.69m以上、短軸（北東－南西）0.78m以上、確認面からの深さは0.09mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は褐色土の単一層で、地山ブロックが混入している。遺物は出土

しなかった。

ＳＫ2546（第163図）

ＰＥ・ＰＦ－２グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＡ2106を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.08m、短軸（北東－南西）0.72m、確認面からの深さは0.2mである。底面は平坦で、壁は南東側が急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層で、地山ブロックが混入している。遺物は土師器片１点が出土している。

ＳＫ2548（第162図）

ＰＨ0グリッドの第Ⅴ層で確認した。上部に撹乱を受け、ＳＫ2549を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）1.96m、短軸（北西－南東）1.46m、確認面からの深さは0.6mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2549（第162図）

ＰＨ0グリッドの第Ⅴ層で確認した。東側が撹乱を受け、ＳＫ2548に切られる。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北東－南西）1.38m、短軸（北西－南東）0.91m以上、確認面からの深さは0.2mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第２層に地山ブロックが多く混入する。遺物は土師器１点、鉄滓１点が出土している。

ＳＫ2560（第162図）

ＮＧ・ＮＨ31グリッドの第Ⅳ層で確認した。東側は確認調査のトレンチにより削平を受けている。ＳＫＰ2537・2539に切られ、ＳＩ2539を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.97m、短軸（北東－南西）0.94m、確認面からの深さは0.28mである。覆土は黒色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2563（第162図）

ＯＡ21グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＩ1375・ＳＫＰ2567を切る。平面形は径0.68mの円形を呈し、確認面からの深さは0.18mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2570（第162図）

ＯＣ22グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は径1.13mの円形を呈し、確認面からの深さは0.38mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は3層に分けられ、第２ｂ層は炭化物が多く混入する。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ2584（第162図）

ＯＨ・ＯＩ17・18グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ2594に切られる。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（北東－南西）1.25m、短軸（北西－南東）0.94m、確認面からの深さは0.1mである。底面は平坦で壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられた。

ＳＫ2585（第164図）

ＯＦ・ＯＧ17グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.62m、短軸（北東－南西）1.47m、確認面からの深さ0.37mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土を主とし、５層に分けられた。第３層は地山質で東側壁の崩落土と思われる。遺物は投げ込まれた状態で見つかり、土師器皿(第179図７)、土師器杯（第179図８～14）、土師器甕(第179図15)、

須恵器甕(第180図１)のほか、軽石を素材とした石製品(第180図２・３、第181図１)が出土した。須恵器甕片(第180図１)はＳＫ2595から出土した須恵器甕の破片と接合することが出来た。

ＳＫ2586（第165図）

ＯＨ16グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）1.07m、短軸（北西－南東）0.86m、確認面からの深さ0.12mである。底面は平坦で壁は緩やかに立ち上がる。覆土は３層に分けられた。第３層は焼土層である。遺物は土師器坏(第181図２)が出土している。

ＳＫ2589（第165図）

ＯＧ･ＯＨ17･18グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.86m、短軸（北東－南西）1.68m、確認面からの深さは0.24mである。床面は平坦で、壁は北西側が急に立ち上がり、南東側は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土を主として３層に分けられた。遺物は土師器坏(第181図３～７・９)、須恵器甕(第181図８・10)のほか、流動滓３点、鍛冶系炉壁１点、椀形鍛冶滓１点、羽口溶解物３点が出土している。

ＳＫ2590（第165図）

ＯＨ･ＯＩ17グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は径0.54mの円形を呈し、確認面からの深さは0.24mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は５層に分けられ、第２層は焼土層である。遺物は土師器坏(第182図１･２)、フイゴの羽口片１点、鍛冶系炉壁１点が出土している。

ＳＫ2595（第162図）

ＯＩ18グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ2584を切る。平面形は径0.53mの円形を呈し、確認面からの深さは0.11mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。出土した須恵器甕の破片はＳＫ2585から出土した須恵器甕の破片と接合することが出来た。

ＳＫ2599（第165図）

ＯＤ20グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ2611を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）0.82m、短軸（北－南）0.63m、確認面からの深さは0.08mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層で、焼土ブロックが混入する。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2611（第165図）

ＯＤ20グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫ2599に切られる。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）0.8m、短軸（北西－南東）0.37m以上、確認面からの深さは0.08mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2621（第165図）

ＰＥ－２グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は径1.21mの円形を呈し、確認面からの深さは0.27mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2622（第165図）

ＰＦ０グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は径0.52mの不整円形を呈し、確認面からの深さは0.24mである。底面は起伏があり、壁は急に立ち上がる。遺物は土師器坏(第182図３～６)のほか、須恵器

片１点が出土している。

ＳＫ2665（第165図）

ＮＦ・ＮＧ32グリッドの第Ⅳ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸（北－南）1.34m、短軸（東－西）1.22m、確認面からの深さは0.16mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は内面を黒色処理した土師器坏片２点のほか、土師器片が出土している。

ＳＫ2681（第165図）

ＯＩ19グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は、楕円形を呈し、長軸（北西－南東）0.55m、短軸（北東－南西）0.3m、確認面からの深さは0.19mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2861（第166図）

ＮＨ31・32グリッドの第Ⅳ層で確認した。確認調査のトレンチに上部を切られ、ＳＩ2539に切られる。平面形は径1.58mの円形を呈し、確認面からの深さは0.06mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2908（第50図）

ＯＭ13グリッドのＳＩ412覆土内で確認した。北側に撹乱を受ける。ＳＩ412を切る。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（東－西）1.43m、短軸（北－南）0.52m、確認面からの深さ0.52mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土を主として、５層に分けられた。第４層は炭化物層である。

ＳＫ2909（第60図）

ＮＬ21グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ2910に切られ、ＳＩ860を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）0.9m、短軸（北－南）0.8m、確認面からの深さ0.2mである。底面は平坦で、壁は西側が緩やかに、東側は急に立ち上がる。覆土は褐色土の単一層である。

ＳＫ2913（第116図、図版18－２）

ＮＧ・ＮＨ35グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＩ1530・ＳＮ1526に切られる。平面形は円形を呈するものと思われ、長軸（北西－南東）1.16m、短軸（北東－南西）0.82m以上、確認面からの深さは0.09mである。底面は起伏があり、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ2914（第116図）

ＮＦ34・35グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＢ1530に切られる。平面形は径0.99mの不整円形を呈するものと思われ、確認面からの深さは0.18mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。

ＳＫ2915（第166図）

ＮＦ・ＮＧ34グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＢ1530に切られ、ＳＫ2916を切る。平面形は径0.96mの円形を呈し、確認面からの深さは0.15mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。

ＳＫ2916（第166図）

ＮＦ・ＮＧ34グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＢ1530・ＳＫ2915に切られる。平面形は径0.99mの不

整円形を呈し、確認面からの深さは0.14mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。

ＳＫ2921（第164図）

ＮＭ32グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ2210・2488に切られる。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北西－南東）1.36m、短軸（北東－南西）0.82m以上、確認面からの深さは0.5mである。底面は平坦で、東側が浅くなっている。壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられた。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2922（第164図）

ＮＭ32グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＩ1820に切られる。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北東－南西）1.06m以上、短軸（北西－南東）1.0m、確認面からの深さは0.16mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は２層に分けられ、第１層に地山ブロックが多く混入している。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2923（第166図）

ＮＮ32グリッドのＳＩ1820の床面で確認した。ＳＩ1820に切られる。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（北西－南東）1.94m、短軸（北東－南西）1.36m、確認面からの深さは0.2mである。底面は平坦で、西側が浅くなっており、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層で、地山ブロックが多く混入している。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2924（第166図）

ＮＭ32グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＩ1820を切る。平面形は径0.7mの円形を呈し、確認面からの深さは0.22mである。底面は平坦で、北西側が浅くなっている。壁は急に立ち上がる。覆土は３層に分けられ、第２層に地山ブロックが多く混入している。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ2925（第152図）

ＮＭ・ＮＮ32・33グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＩ1820に切られ、ＳＫＰ2930を切る。平面形は円形を呈するものと思われ、長軸（北東－南西）1.6m、短軸（北西－南東）1.34m以上、確認面からの深さは0.2mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2926（第44・45図）

ＯＱ12・13グリッドのＳＩ213床面で確認した。ＳＩ213・ＳＫ2927との新旧関係は不明である。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）1.1m、短軸（北西－南東）1.01m、確認面からの深さは0.35mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土を主として、３層に分けられた。第２層は焼土と炭化物の混合層である。

ＳＫ2927（第44・45図）

ＯＱ12グリッドのＳＩ213床面で確認した。ＳＩ213・ＳＫ2926・ＳＫ2928との新旧関係は不明である。平面形は径0.84mの不整円形を呈し、確認面からの深さは0.33mである。底面は平坦で壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土を主とする。

ＳＫ2928（第44・45図）

ＯＱ12グリッドのＳＩ213床面で確認した。ＳＩ213・ＳＫ2927との新旧関係は不明である。平面形は楕円形を呈するものと思われ、長軸（北東－南西）1.13m以上、短軸（北西－南東）1.18m、確認面

からの深さは0.3mである。底面は平坦で壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土を主とする。

ＳＫ2931（第44・45図）

ＯＰ･ＯＱ11･12グリッドのＳＩ220床面で確認した。ＳＩ220･ＳＫＰ2932を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（北東－南西）0.94m、短軸（北西－南東）0.9m、確認面からの深さは0.22mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土を主とし、第２層は炭化物･焼土ブロックが多く混入する。

ＳＫ2938（第55図）

ＯＮ17グリッドのＳＩ500確認プラン上で確認した。ＳＩ500を切る。ＳＫ2939との新旧関係は不明である。平面形は不整楕円形を呈し、長軸（東－西）0.54m、短軸（北－南）0.43m、確認面からの深さは0.11mである。

ＳＫ2939（第55図）

ＯＮ17グリッドのＳＩ500確認プラン上で確認した。ＳＩ500を切る。ＳＫ2938との新旧関係は不明である。平面形は不整楕円形を呈するものと思われ、長軸（東－西）0.48m、短軸（北－南）0.45m、確認面からの深さは0.08mである。

ＳＫ2940（第166図）

ＯＮ17･18グリッドのＳＩ500の床面で確認した。ＳＩ500に切られる。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）1.06m、短軸（北－南）0.85m、確認面からの深さは0.22mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層で、地山ブロックが混入している。遺物は出土しなかった。

ＳＫ2950（第42・43図）

ＯＲ11グリッドのＳＩ212内で確認した。ＳＩ212との新旧関係は不明である。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）1.19m、短軸（北－南）0.96m、確認面からの深さは0.4mである。底面は平坦で壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層で、地山ブロックが多く混入している。

ＳＫ2958（第167図）

ＮＥ33･34グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＩ1540を切る。平面形は楕円形を呈し、長軸（東－西）0.72m、短軸（北－南）0.56m、確認面からの深さ0.3mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は炭化米が出土している。

ＳＫ2964（第167図）

ＮＦ33グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＩ1540を切る。平面形は径0.7mの円形を呈し、確認面からの深さは0.46mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。

ＳＫ2967（第167図）

ＮＥ･ＮＦ33グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＩ1540･ＳＤ1313を切る。平面形は径0.56mの円形を呈し、確認面からの深さ0.38mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ2983（第167図）

ＯＯ･ＯＰ10グリッドの第Ⅳ層で確認した。北東側と南西側を撹乱されている。平面形は不整形を呈し、長軸（北東－南西）2.87m以上、短軸（北西－南東）1.33m、確認面からの深さは0.32mである。

覆土は褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ2996（第184図）

ＰＡ・ＰＢ14グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＤ201を切る。平面形は方形を呈し、長軸（東－西）0.48m、短軸（南－北）0.38m、確認面からの深さは0.3mである。底面は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土している。

ＳＫ3004（第141図）

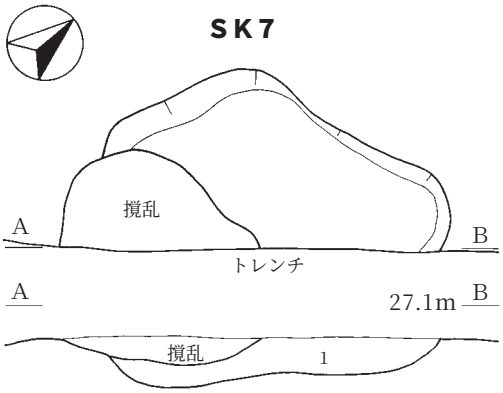
ＯＫ７グリットの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ999を切り、ＳＫＰ1012・ＳＫＰ3005に切られる。平面形は、楕円形を呈するものと思われ、残存する長軸（北西－南東）は1.4m、短軸（北東－南西）0.96m、確認面からの深さは0.23mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。遺物は出土しなかった。

ＳＫ3014（第88・89図）

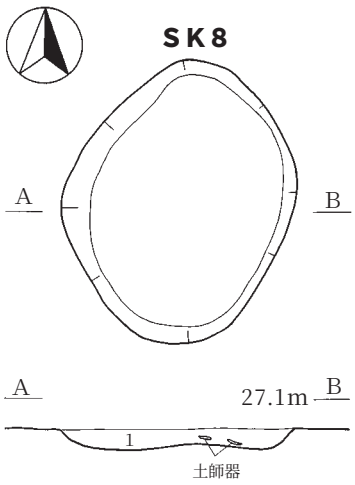
ＮＨ32グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＩ2540に切られる。平面形は楕円形を呈し、長軸（北－南）1.08m、短軸（東－西）0.6m、確認面からの深さは0.18mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は３層に分けられ、第２層の暗褐色土は焼土ブロックが多く混入している。

ＳＫ3020（第154図）

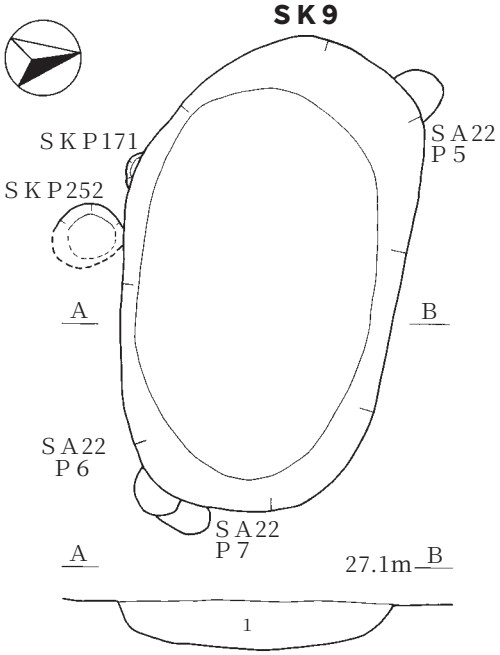
ＮＰ19グリッドの第Ⅴ層で確認した。平面形は楕円形を呈し、長軸(北東－南西)0.84m、短軸(北西－南東)0.69m、確認面からの深さは0.24mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。



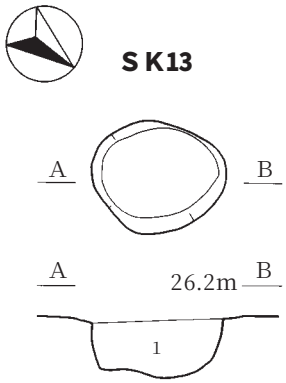
SK7
1　暗褐色土（10YR3 / 3）しまり中　粘性弱
　炭化物（径2mm）1%混入
　焼土ブロック（径1～2mm）1%混入
　地山ブロック（径0.2～2cm）2%混入



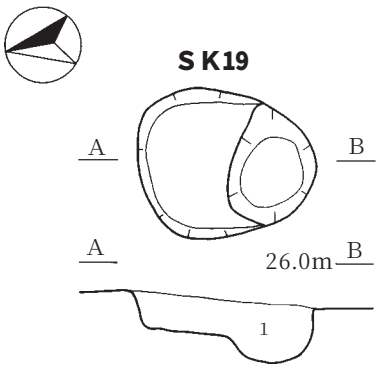
SK8
1　暗褐色土（10YR3 / 3）しまり中　粘性弱
　地山ブロック2%混入



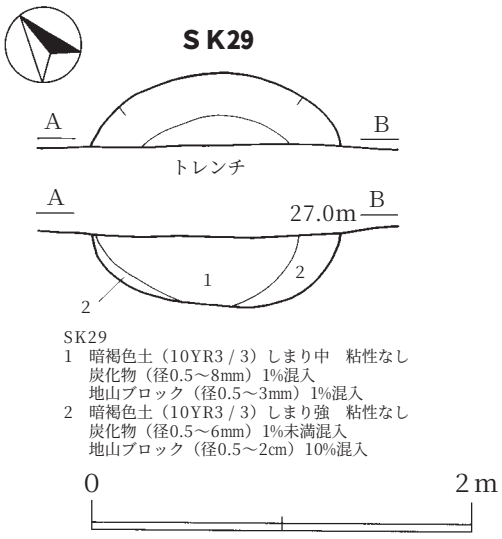
SK9
1　暗褐色土（10YR3 / 3）しまり強　粘性弱
　炭化物1%混入　焼土ブロック1%混入
　地山ブロック1%混入



SK13
1　黒褐色土（10YR2 / 2）しまり中　粘性なし
　炭化物（径1cm）1%未満混入
　地山ブロック（径3cm）10%混入

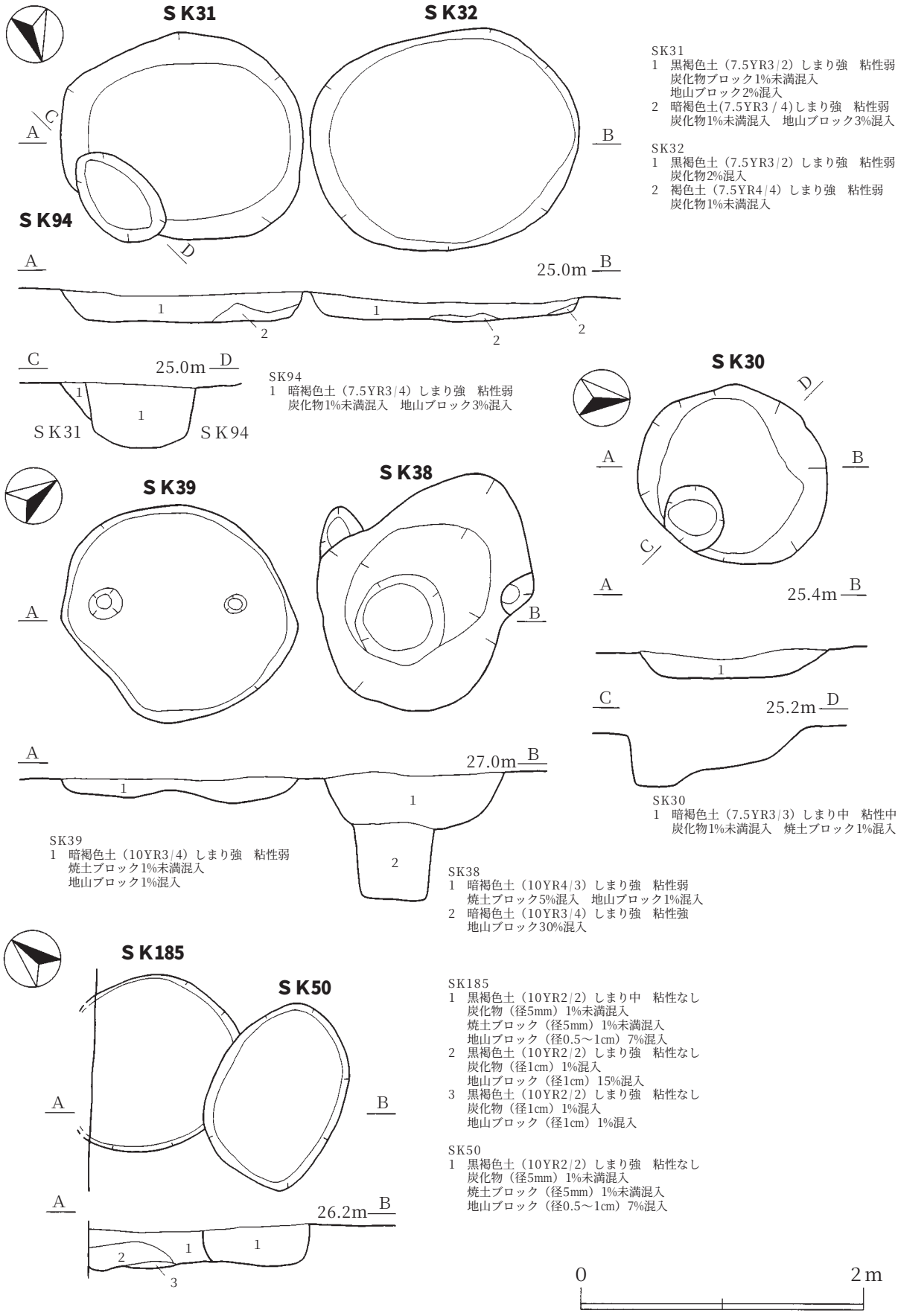


SK19
1　黒褐色土（10YR3 / 2）しまり弱　粘性なし
　炭化物1%未満混入
　焼土ブロック1%未満混入
　地山ブロック1%混入

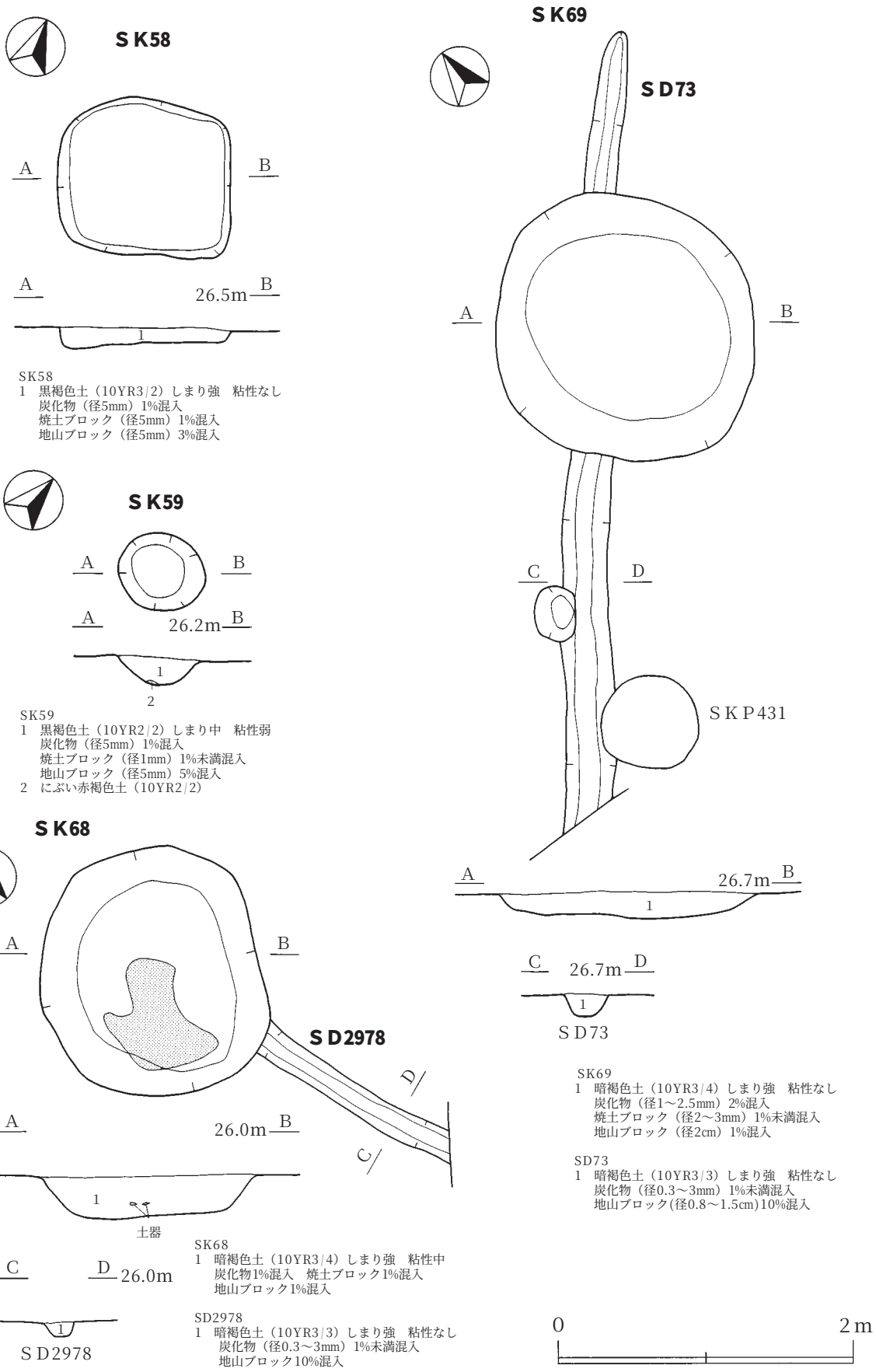


SK29
1　暗褐色土（10YR3 / 3）しまり中　粘性なし
　炭化物（径0.5～8mm）1%混入
　地山ブロック（径0.5～3mm）1%混入
2　暗褐色土（10YR3 / 3）しまり強　粘性なし
　炭化物（径0.5～6mm）1%未満混入
　地山ブロック（径0.5～2cm）10%混入

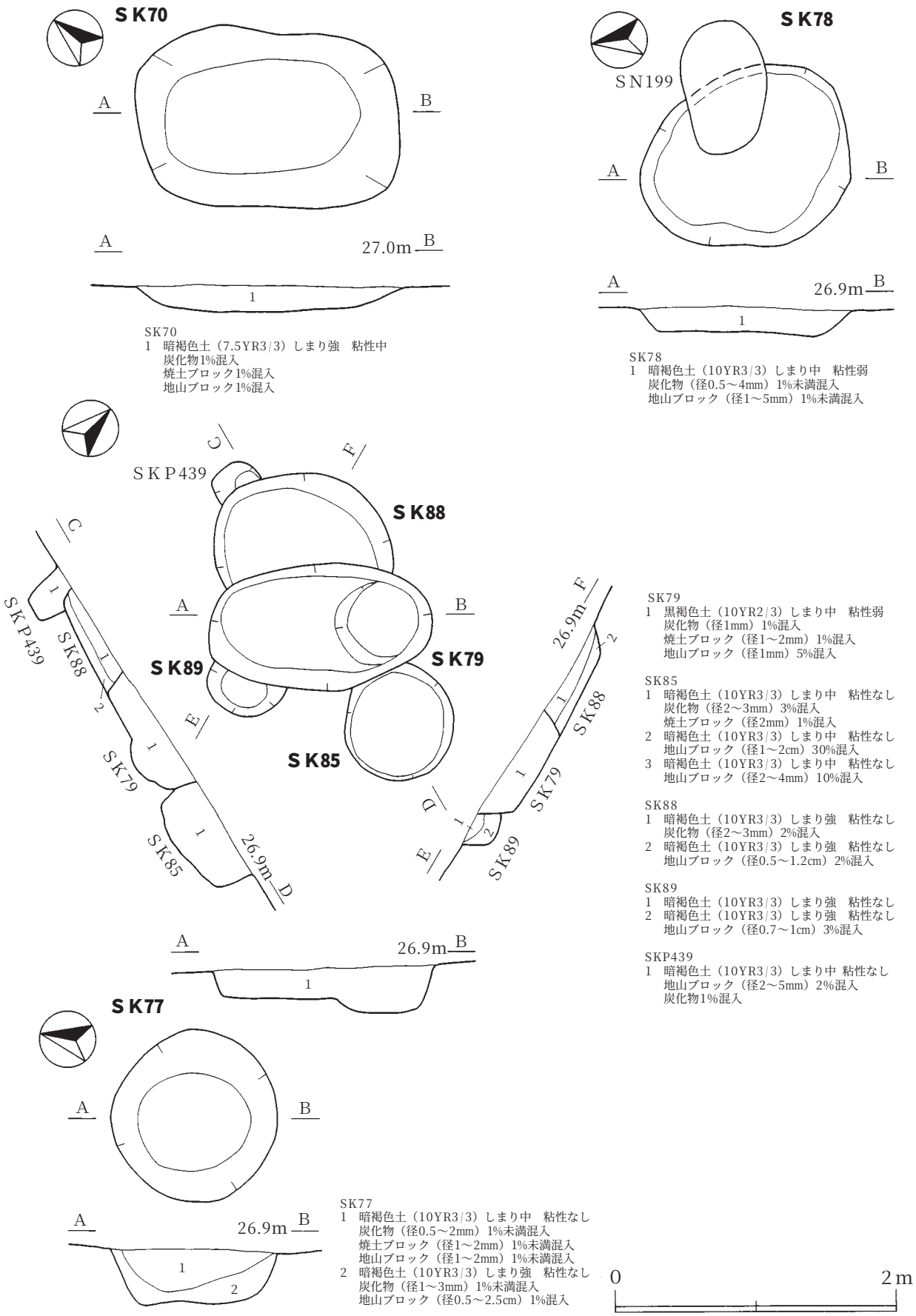
第124図　ＳＫ７・８・９・13・19・29土坑



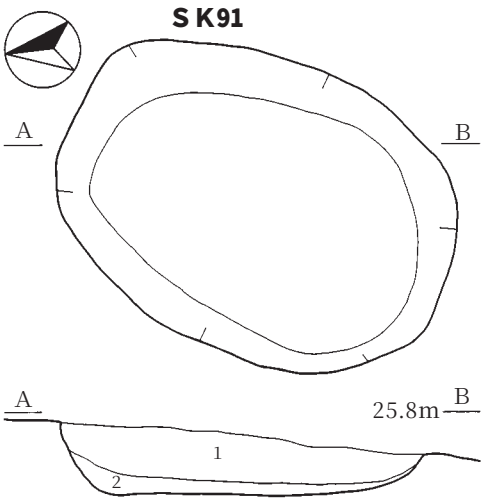
第125図　S K30・31・32・38・39・50・94・185土坑



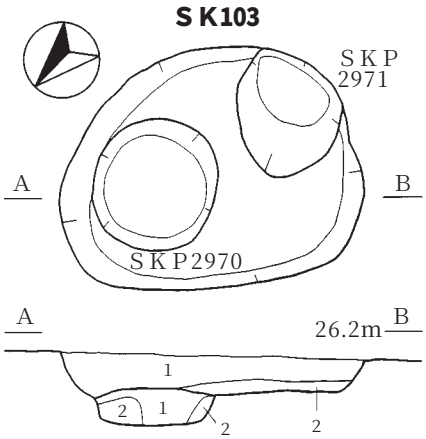
第126図　ＳＫ58・59・68・69土坑　ＳＤ73・2978溝跡



第127図　ＳＫ70・77・78・79・85・88・89土坑

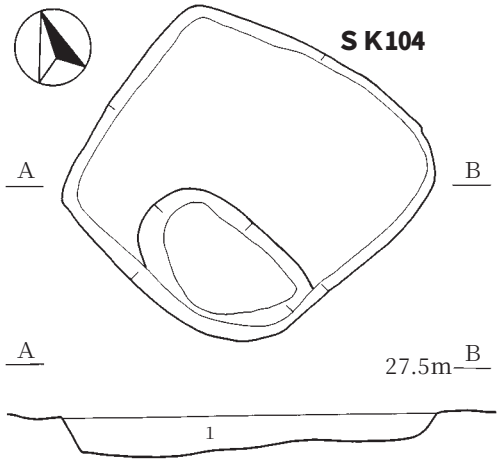


SK91
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり強　粘性なし
　炭化物1%未満混入
　地山ブロック1%混入
2　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性なし

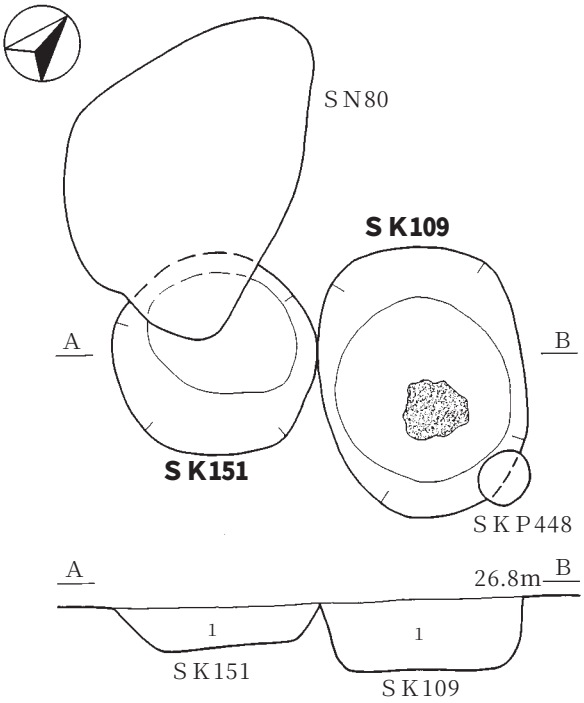


SK103
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり強　粘性中
　炭化物ブロック1%混入
2　黒褐色土（10YR2/2）しまり弱　粘性中
　炭化物ブロック5%混入
　地山ブロック1% 混入

SKP2970
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり弱　粘性強
2　黒褐色土（10YR2/2）しまり弱　粘性強
　炭化物20%混入

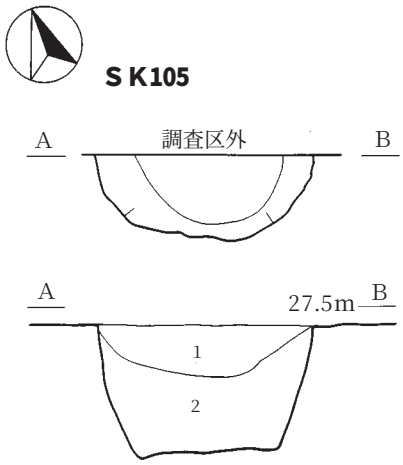


SK104
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり強　粘性なし
　炭化物（径5mm）1%混入
　焼土ブロック（径5mm）1%混入
　地山ブロック（径1cm）10%混入



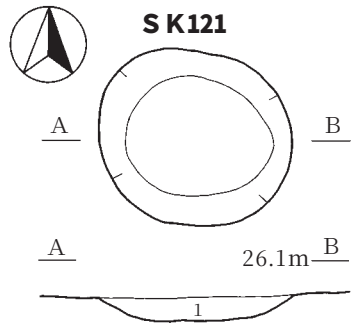
SK109
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性なし
　炭化物（径0.5～2cm）1%混入
　地山ブロック（径0.1～2cm）10%混入

SK151
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性なし
　炭化物（径0.5～3mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径1mm）1%未満混入
　地山ブロック（径3～5mm）1%混入

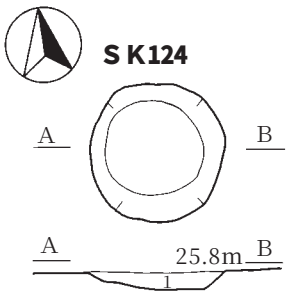


SK105
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり強　粘性なし
　炭化物5%　地山ブロック5%混入
2　黒褐色土（10YR2/2）しまり弱　粘性弱
　地山ブロック（径5mm）50%混入

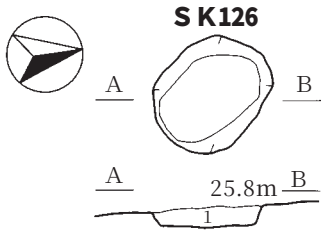
第128図　ＳＫ91・103・104・105・109・151土坑



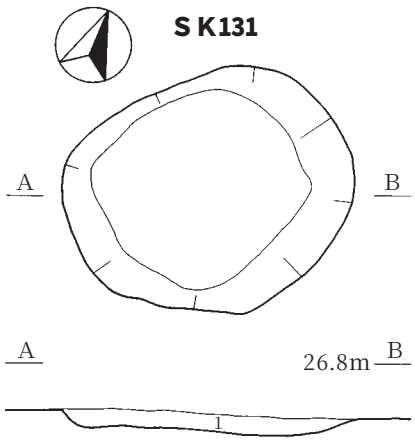
SK121
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり中　粘性弱
　炭化物ブロック1%未満混入
　地山ブロック1%未満混入



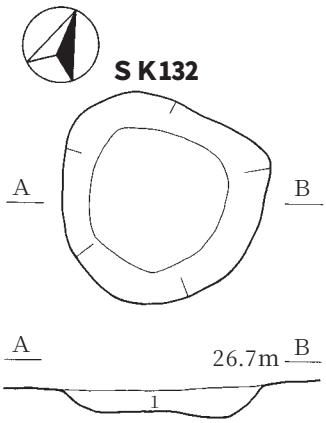
SK124
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入



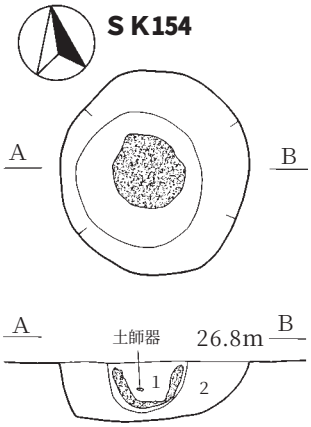
SK126
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり強　粘性なし
　炭化物1%未満混入
　焼土ブロック1%未満混入
　地山ブロック3%混入



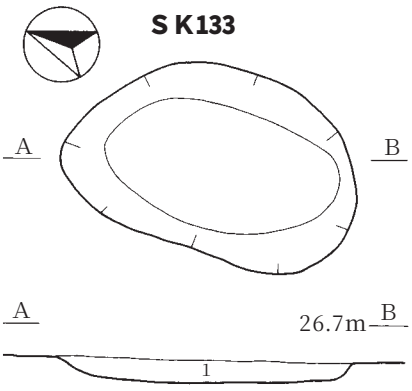
SK131
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性なし
　炭化物（径3mm）1%混入
　焼土ブロック（径1～3mm）1%混入
　地山ブロック（径1～5mm）1%混入



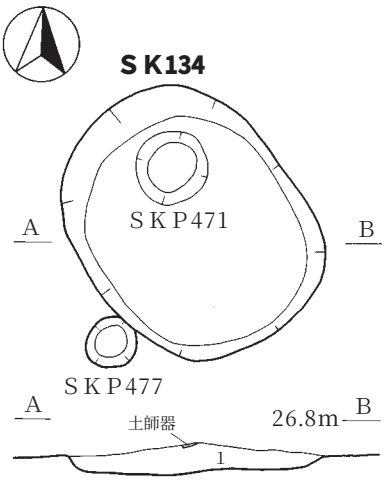
SK132
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性中
　炭化物（径1～2mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径1～2mm）1%未満混入
　地山ブロック（径1～5mm）1%未満混入



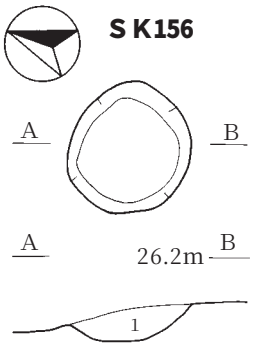
SK154
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性なし
　炭化物（径0.2～2.5cm）10%混入
　焼土ブロック1%混入
　地山ブロック（径2～7mm）2%混入
2　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性なし
　炭化物（径3mm）1%未満混入
　地山ブロック（径0.2～1cm）10%混入



SK133
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性弱

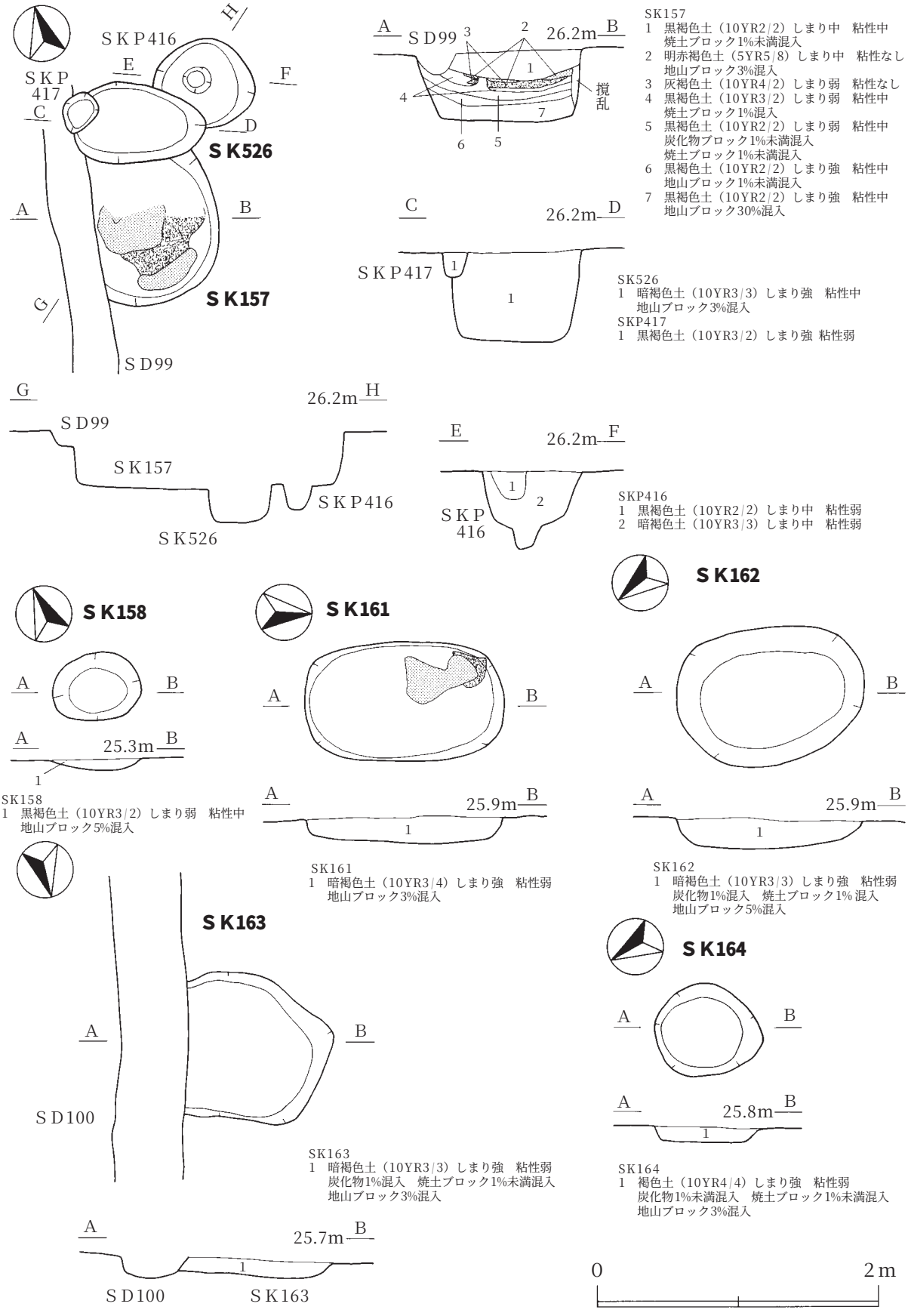


SK134
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性弱

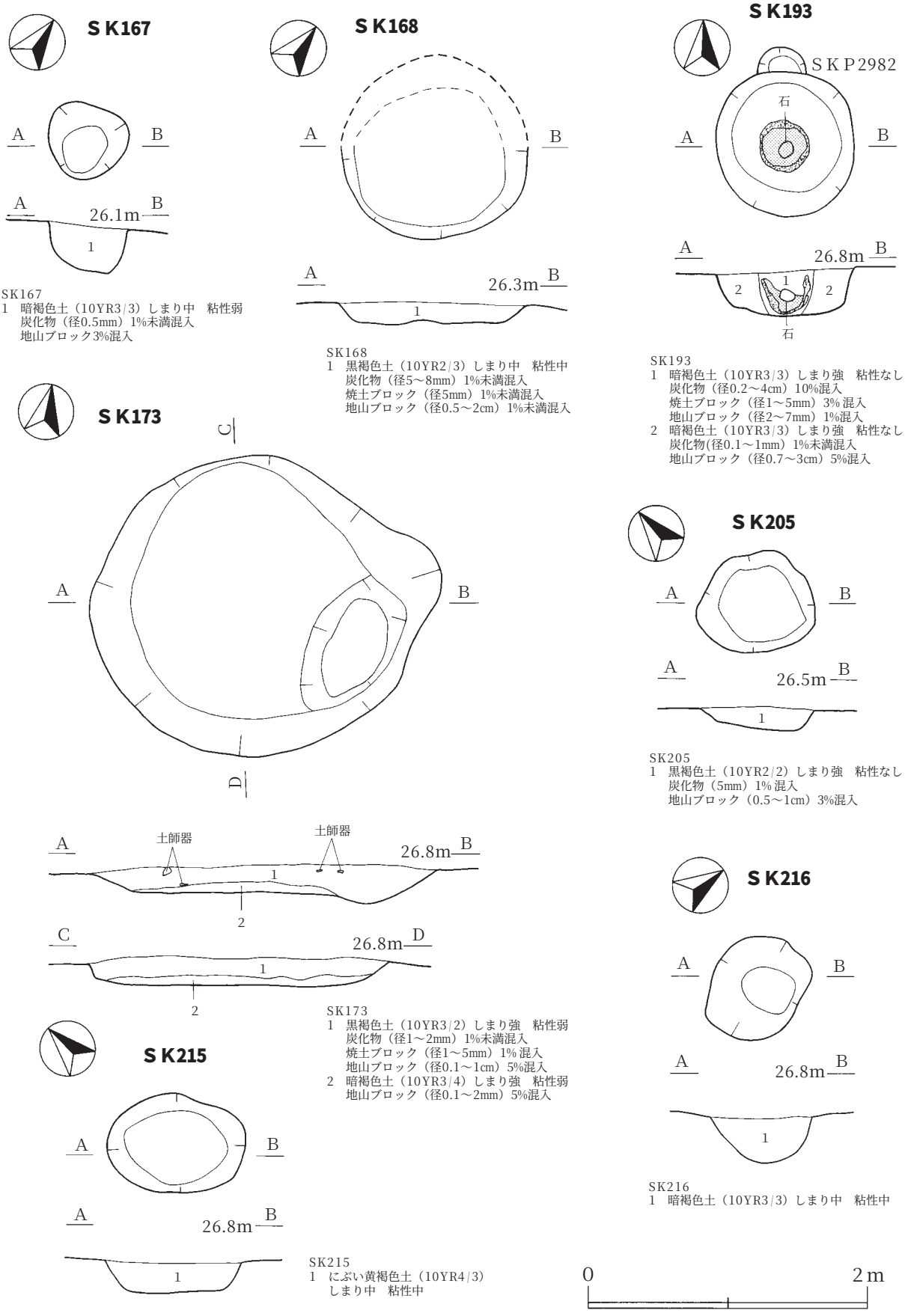


SK156
1　黒色土（10YR2/1）しまり弱　粘性中
　地山ブロック1%未満混入

第129図　ＳＫ121・124・126・131・132・133・134・154・156土坑



第130図　ＳＫ157・158・161・162・163・164・526土坑



SK167
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性弱
　炭化物（径0.5mm）1%未満混入
　地山ブロック3%混入

SK168
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性中
　炭化物（径5～8mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径5mm）1%未満混入
　地山ブロック（径0.5～2cm）1%未満混入

SK193
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性なし
　炭化物（径0.2～4cm）10%混入
　焼土ブロック（径1～5mm）3%混入
　地山ブロック（径2～7mm）1%混入
2　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性なし
　炭化物(径0.1～1mm）1%未満混入
　地山ブロック（径0.7～3cm）5%混入

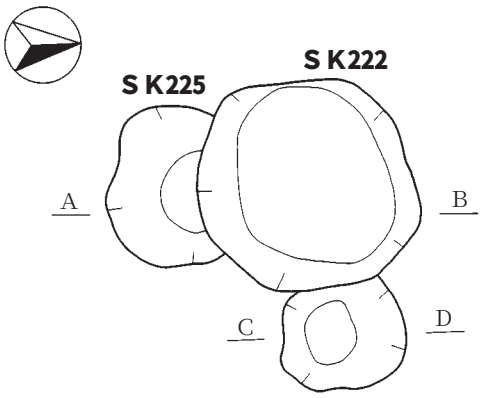
SK205
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり強　粘性なし
　炭化物（5mm）1%混入
　地山ブロック（0.5～1cm）3%混入

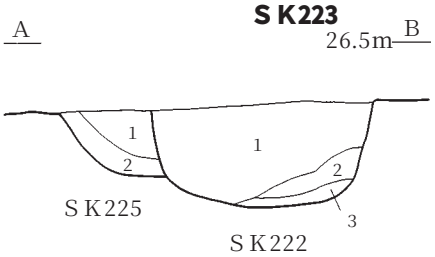
SK173
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～2mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径1～5mm）1%混入
　地山ブロック（径0.1～1cm）5%混入
2　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径0.1～2mm）5%混入

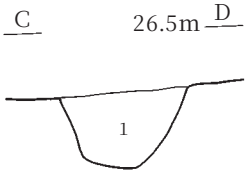
SK216
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性中

SK215
1　にぶい黄褐色土（10YR4/3）
　しまり中　粘性中

第131図　S K167・168・173・193・205・215・216土坑



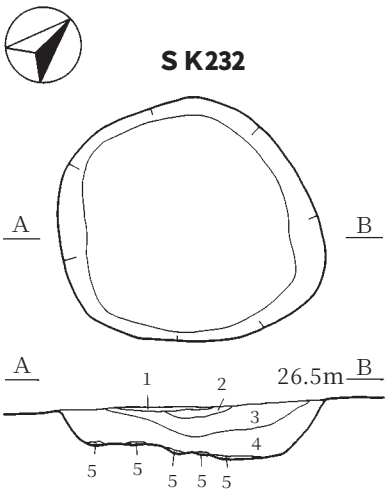




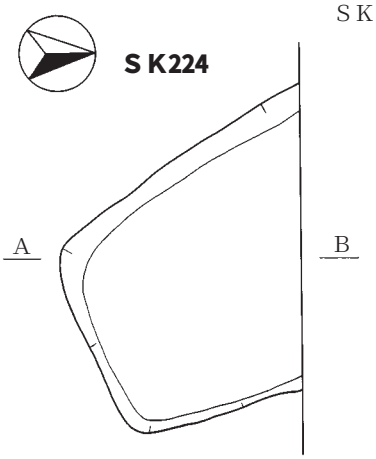
SK222
1　黒褐色土(10YR2/2)しまり強　粘性なし
　炭化物(径5mm)10%混入
　焼土ブロック(径5mm)1%混入
　地山ブロック(径0.5～2cm)10%混入
2　黒褐色土(10YR2/2)しまり強　粘性なし
　炭化物(径5mm)5%混入
　焼土ブロック(径5mm)1%混入
　地山ブロック1%混入
3　黒褐色土(10YR2/2)しまり強　粘性なし
　炭化物(径5mm)1%未満混入
　焼土ブロック(径5mm)1%混入
　地山ブロック(径5mm)1%混入

SK223
1　黒褐色土(10YR2/2)しまり強 粘性なし
　炭化物(径5mm)1%混入
　焼土ブロック(径5mm)1%混入
　地山ブロック(径0.5～2cm)10%混入

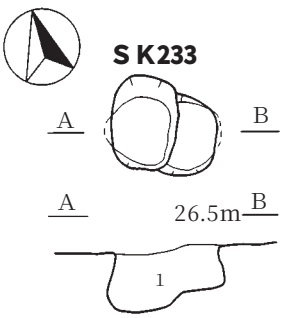
SK225
1　黒褐色土(10YR2/2)しまり強　粘性なし
　炭化物(径5mm)1%混入
　焼土ブロック(径5mm)1%混入
　地山ブロック(径0.5～2cm)10%混入
2　黒褐色土(10YR2/2)しまり中　粘性なし
　炭化物(径5mm)1%混入
　明褐色土(7.5YR5/6)50%混入



SK232
1　黒褐色土(10YR2/2)しまり中　粘性なし
　炭化物50%混入
2　黒褐色土(10YR2/2)しまり中　粘性なし
　炭化物ブロック5%混入　焼土ブロック10%混入
　地山ブロック10%混入
3　黒褐色土(10YR2/2)しまり強　粘性なし
　炭化物ブロック5%混入　焼土ブロック5%混入
　地山ブロック20%混入
4　黒褐色土(10YR2/2)しまり強　粘性なし
　炭化物1%混入　焼土ブロック3%混入
5　明黄褐色土(10YR6/6)しまり中　粘性弱

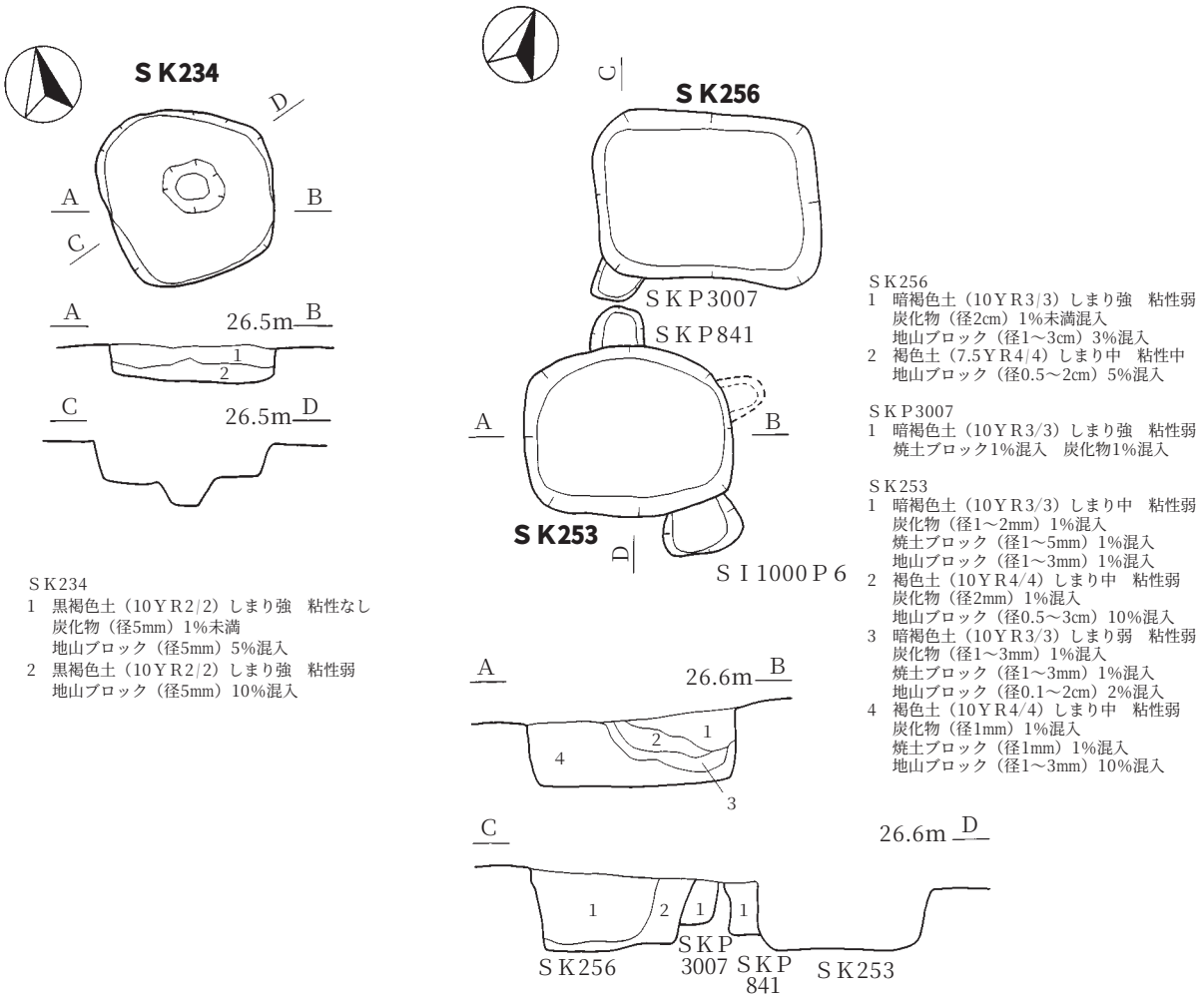


SK224
1　黒褐色土(10YR2/2)しまり強　粘性なし
　炭化物(径5mm)1%混入
　焼土ブロック(径5mm)1%混入
　地山ブロック(径0.5～2cm)10%混入
2　黒褐色土(10YR2/2)しまり中　粘性なし
　炭化物(径5mm)1%混入
　明褐色土(7.5YR5/6)50%混入



SK233
1　黒褐色土(10YR3/2)しまり強　粘性なし
　炭化物(径5mm)1%混入
　焼土ブロック(径5mm)1%混入
　地山ブロック(径1cm)1%混入

第132図　S K222・223・224・225・232・233土坑

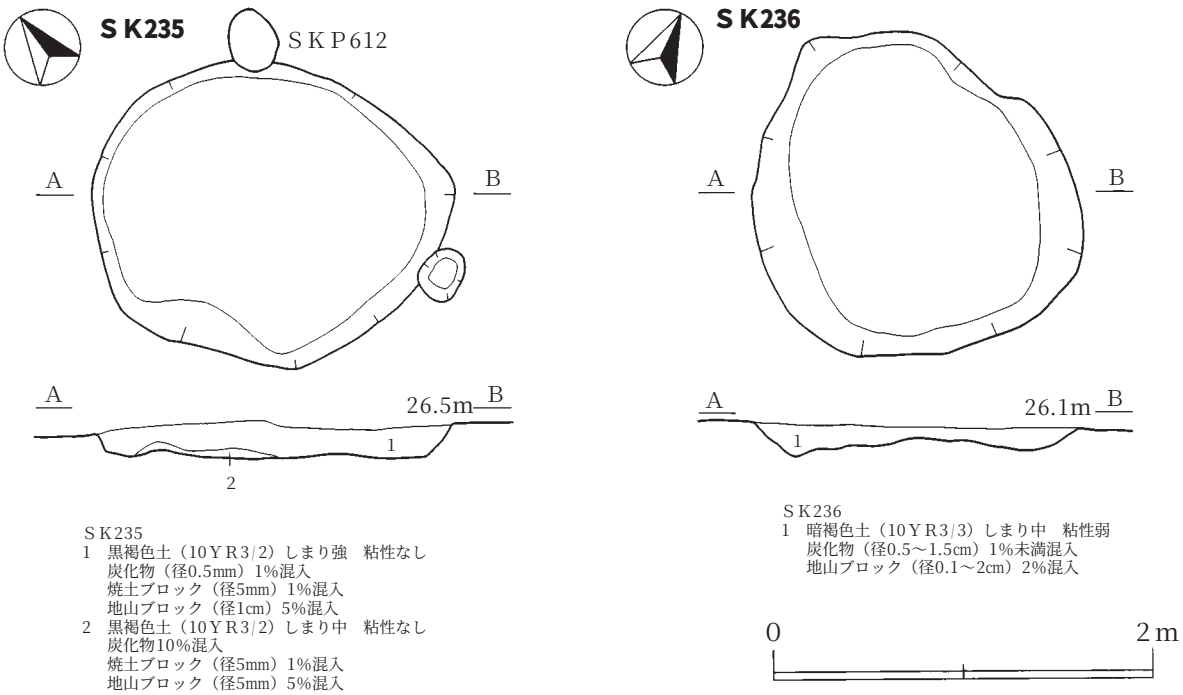


S K234
1　黒褐色土（10Ｙ R2/2）しまり強　粘性なし
　炭化物（径5mm）1%未満
　地山ブロック（径5mm）5%混入
2　黒褐色土（10Ｙ R2/2）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径5mm）10%混入

S K256
1　暗褐色土（10Ｙ R3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径2cm）1%未満混入
　地山ブロック（径1～3cm）3%混入
2　褐色土（7.5Ｙ R4/4）しまり中　粘性中
　地山ブロック（径0.5～2cm）5%混入

S K P3007
1　暗褐色土（10Ｙ R3/3）しまり強　粘性弱
　焼土ブロック1%混入　炭化物1%混入

S K253
1　暗褐色土（10Ｙ R3/3）しまり中　粘性弱
　炭化物（径1～2mm）1%混入
　焼土ブロック（径1～5mm）1%混入
　地山ブロック（径1～3mm）1%混入
2　褐色土（10Ｙ R4/4）しまり中　粘性弱
　炭化物（径2mm）1%混入
　地山ブロック（径0.5～3cm）10%混入
3　暗褐色土（10Ｙ R3/3）しまり弱　粘性弱
　炭化物（径1～3mm）1%混入
　焼土ブロック（径1～3mm）1%混入
　地山ブロック（径0.1～2cm）2%混入
4　褐色土（10Ｙ R4/4）しまり中　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%混入
　焼土ブロック（径1mm）1%混入
　地山ブロック（径1～3mm）10%混入

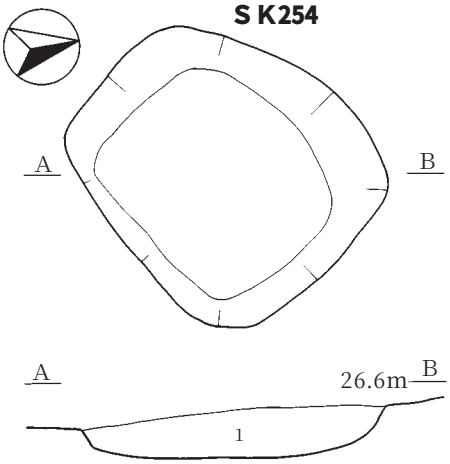


S K235
1　黒褐色土（10Ｙ R3/2）しまり強　粘性なし
　炭化物（径0.5mm）1%混入
　焼土ブロック（径5mm）1%混入
　地山ブロック（径1cm）5%混入
2　黒褐色土（10Ｙ R3/2）しまり中　粘性なし
　炭化物10%混入
　焼土ブロック（径5mm）1%混入
　地山ブロック（径5mm）5%混入

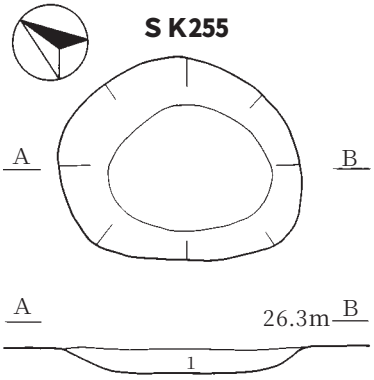
S K236
1　暗褐色土（10Ｙ R3/3）しまり中　粘性弱
　炭化物（径0.5～1.5cm）1%未満混入
　地山ブロック（径0.1～2cm）2%混入

0　2m

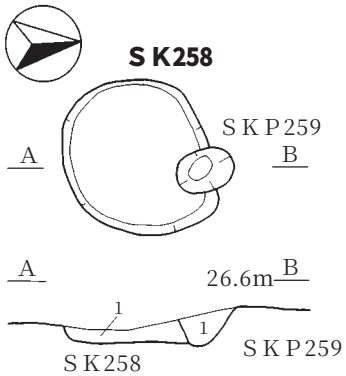
第133図　S K234・235・236・253・256土坑



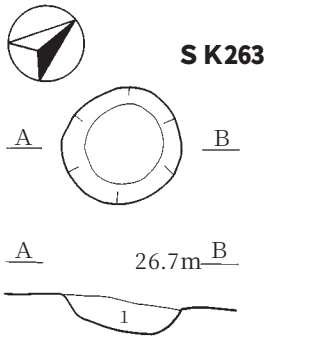
SK254
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性弱
　炭化物(径1～3mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径1～3mm）1%未満混入
　地山ブロック（径0.1～2cm）3%混入



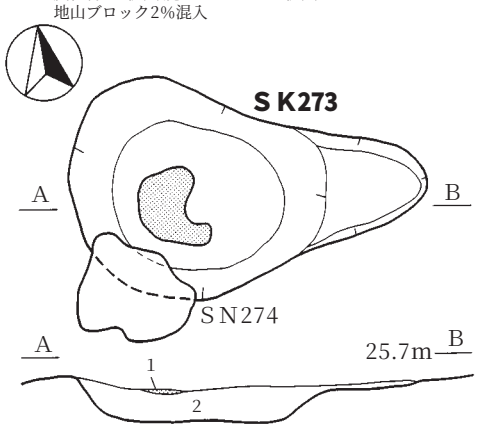
SK255
1　褐色土(10YR4/4）しまり強　粘性中
　炭化物（径1mm）1%混入
　焼土ブロック（径5mm）1%混入
　地山ブロック（径0.5～1cm）混入



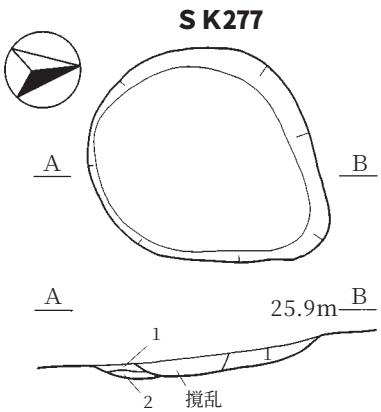
SK258
1　暗褐色土(10YR3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%混入
　焼土ブロック（径5mm）1%混入
　地山ブロック（径1cm）2%混入
SKP259
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物1%混入 焼土ブロック1%混入
　地山ブロック2%混入



SK263
1　暗褐色土（10YR4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物(径0.1～3cm）1%混入
　焼土ブロック（径0.1～1cm）1%混入
　地山ブロック(径0.2～1cm）2%混入

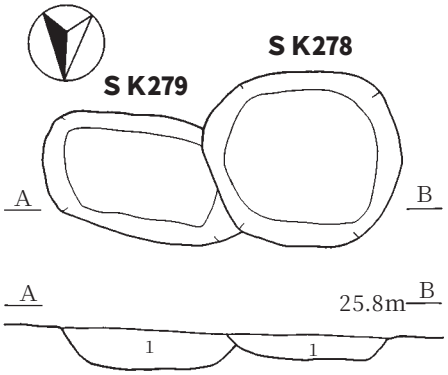


SK273
1　暗赤褐色土（5YR3/6）しまり中　粘性弱
2　暗褐色土（10YR3/4）しまり中　粘性中
　炭化物（径1mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径1mm）1%混入



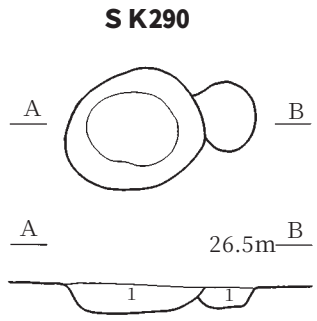
SK277
1　黒褐色土(10YR2/2)しまり弱　粘性弱
　炭化物2%混入　焼土ブロック3%混入
2　暗褐色土（10YR3/4）しまり強 粘性弱
　地山ブロック3%混入

第134図　ＳＫ254・255・258・263・273・277土坑

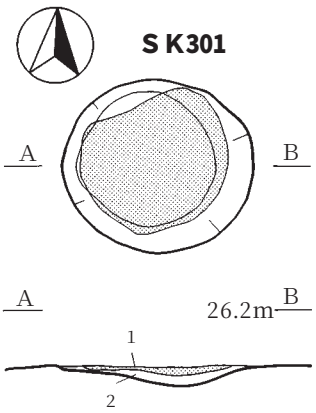


SK278
1　暗褐色土(10YR3/4)しまり強　粘性弱
　炭化物(径0.8～1cm)1%未満混入

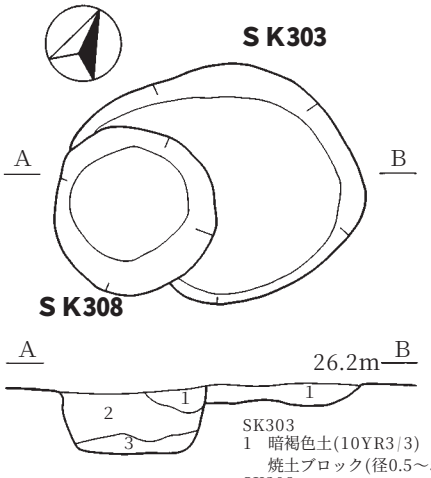
SK279
1　褐色土(10YR4/6)　しまり強　粘性中
　地山ブロック(径0.5～3cm)5%混入



SK290
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまり強　粘性弱
　炭化物(径1cm)10%混入
　焼土ブロック(径5mm)5%混入
　地山ブロック(径0.5～2cm)15%混入

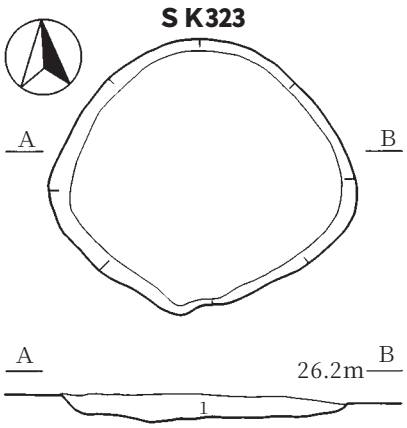


SK301
1　暗赤褐色土(5YR3/6)　しまり強　粘性中
　炭化物1%混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまり強　粘性中

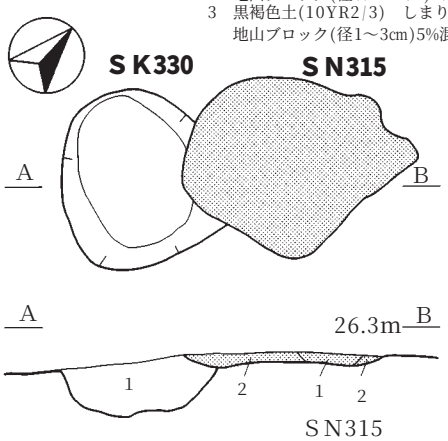


SK303
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまり弱　粘性強
　焼土ブロック(径0.5～5cm)1%未満混入

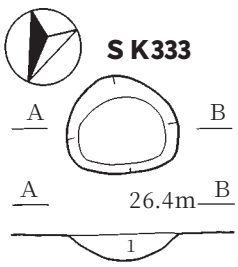
SK308
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまり弱　粘性中
　焼土ブロック(径0.5～4mm)1%未満混入
　地山ブロック(径0.1～3cm)1%混入
2　黒褐色土(10YR2/3)　しまり弱　粘性中
　地山ブロック(径0.1～2cm)1%未満混入
3　黒褐色土(10YR2/3)　しまり弱　粘性中
　地山ブロック(径1～3cm)5%混入



SK323
1　黒褐色土(10YR2/3)　しまり中　粘性弱
　地山ブロック(径0.5～1cm)1%混入



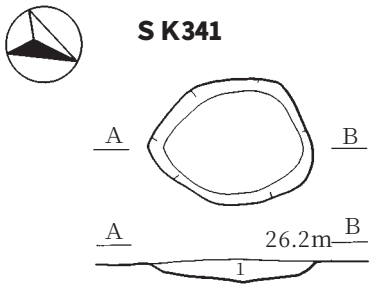
SK330
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまり中　粘性弱
　炭化物(径1～8mm)1%未満混入
　焼土ブロック(径0.1～1cm)1%未満混入
　地山ブロック(径0.1～2.5cm)2%混入



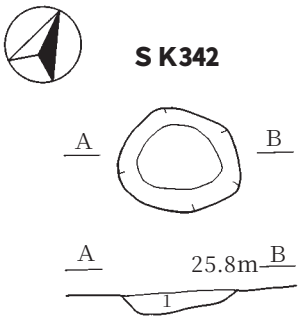
SK333
1　黒褐色土(10YR2/2)しまり強　粘性なし

SN315
1　赤褐色土(2.5YR4/6)しまり弱　粘性なし
2　暗褐色土(10YR3/4)　しまり中　粘性弱
　焼土ブロック(径0.1～3cm)5%混入

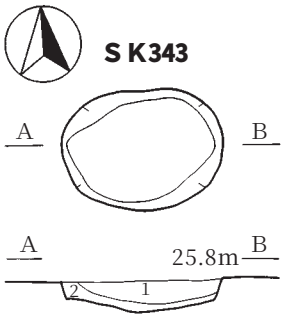
第135図　S K278・279・290・301・303・308・323・330・333土坑　S N315焼土遺構



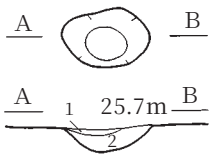
SK341
1　暗褐色土(10YR3/4)



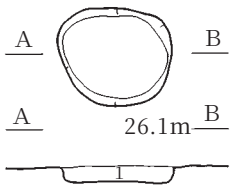
SK342
1　褐色土(10YR4/4)　しまり強　粘性弱
　地山ブロック5%混入



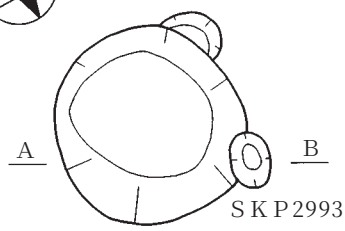
SK343
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入　焼土ブロック1%未満混入
　地山ブロック1%未満混入
2　褐色土(10YR4/4)　しまり強　粘性中
　地山ブロック(径0.5～2cm)15%混入



SK346
1　赤褐色土(5YR4/8)　しまり弱　粘性なし
　地山ブロック50%混入
2　黒色土(10YR1.7/1)　しまり弱　粘性なし
　地山ブロック(径0.5～2cm)2%混入

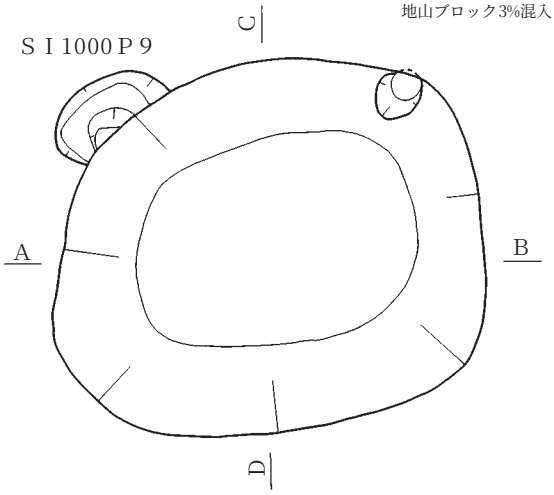


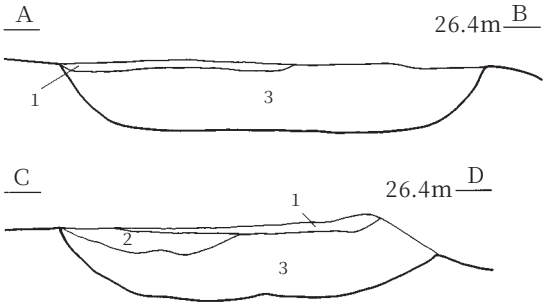
SK383
1　黒褐色土(10YR2/2)　しまり中　粘性中
　地山ブロック3%混入



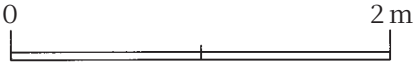
SK403
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまり強　粘性弱
　炭化物(径2mm)2%混入
2　赤褐色土(5YR4/8)　しまり強　粘性弱
　炭化物(径0.1～1cm)2%混入
　暗褐色土混入
3　褐色土(7.5YR4/4)　しまり強　粘性中
　炭化物(径2～5mm)1%
　焼土ブロック(径5mm)2%混入

SKP2993
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまり中　粘性弱

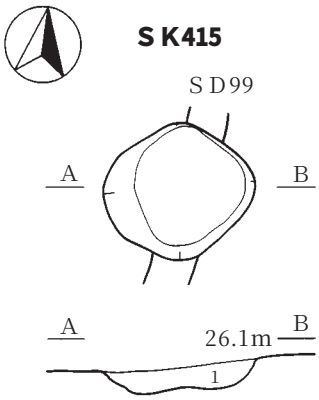




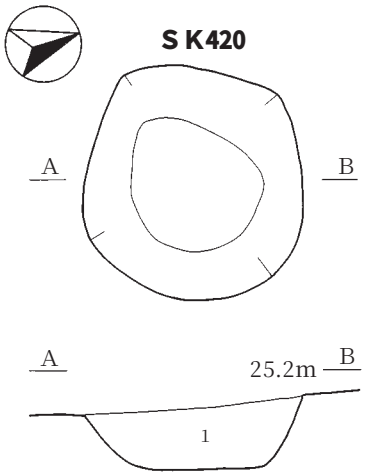
SK400
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまり強　粘性弱
　炭化物(径1mm)2%混入
　焼土ブロック(径1～5mm)2%混入
　地山ブロック(径1mm)2%混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまり強　粘性弱
3　暗褐色土(10YR3/3)　しまり中　粘性弱
　炭化物(径1mm)1%混入
　焼土ブロック(径1～2mm)1%混入
　地山ブロック(径0.1～2cm)1%混入



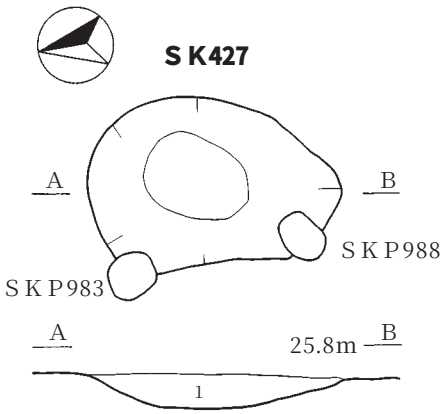
第136図　ＳＫ341・342・343・346・383・400・403土坑



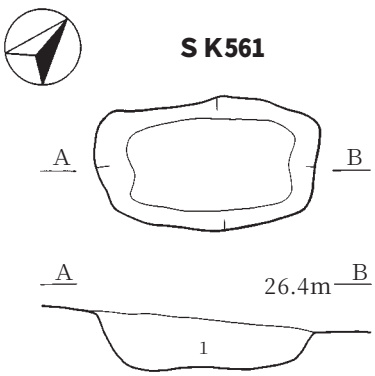
SK415
1　暗褐色土(10YR3/3)しまり強　粘性なし



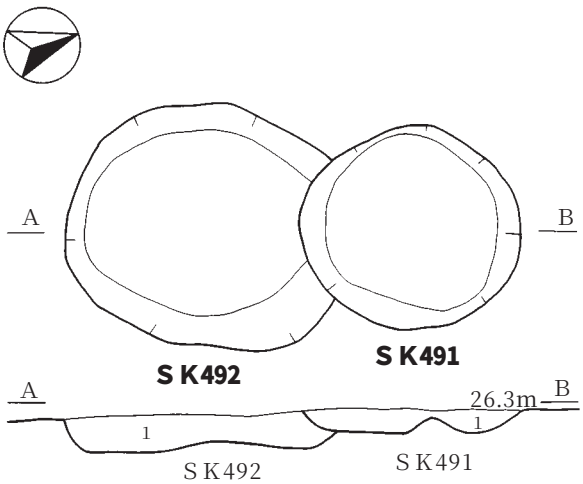
SK420
1　黒褐色土(10YR3/2)　しまり強　粘性弱
　炭化物(径1～5mm)1%未満混入
　焼土ブロック(径1～5mm)2%混入



SK427
1　暗褐色土(10YR3/4)しまり中　粘性なし
　炭化物1%混入　地山ブロック1%混入

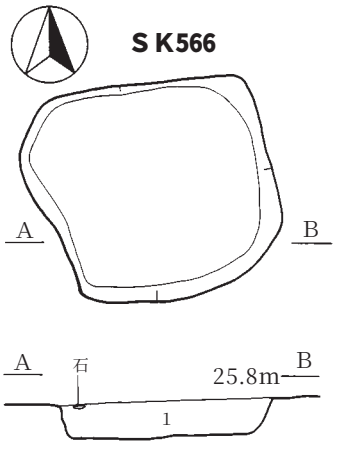


SK561
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまり強　粘性中
　地山ブロック(径0.5～4cm)50%混入

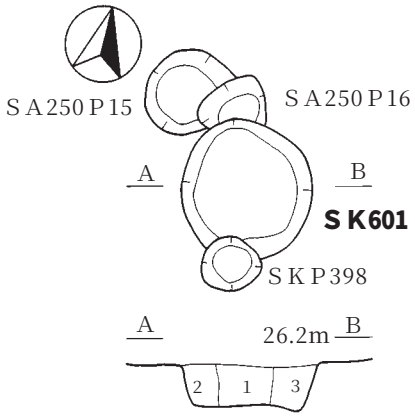


SK491
1　黒褐色土(10YR2/3)　しまり中　粘性弱
　地山ブロック(径0.5～1cm)1%未満混入
SK492
1　黒褐色土(10YR2/3)　しまり中　粘性中
　炭化物(径5～8mm)1%混入
　地山ブロック(径0.1～1cm)1%混入

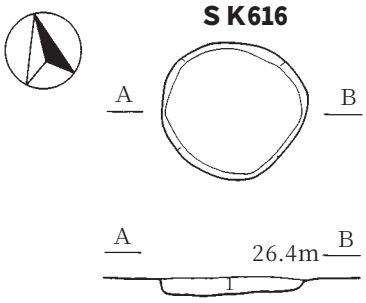
第137図　ＳＫ415・420・427・491・492・561土坑



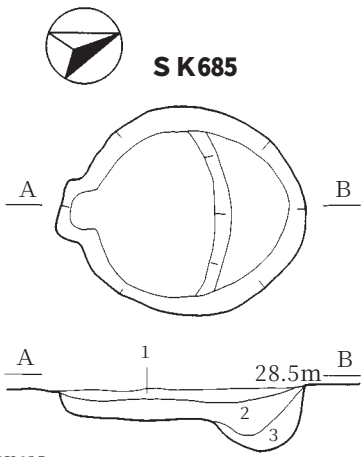
SK566
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径0.5～１cm）1%未満混入
　焼土ブロック（径2～5mm）1%混入



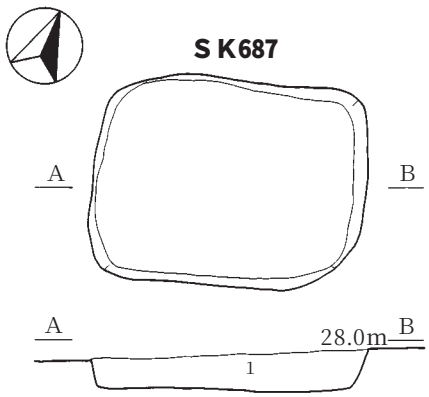
SK601
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまり強　粘性弱
　地山ブロック(径1～5mm)1%混入
2　褐色土(10YR4/4)　しまり強　粘性中
　地山ブロック50%混入
3　暗褐色土(10YR3/4)　しまり強　粘性弱
　地山ブロック(径1～5mm)1%未満混入



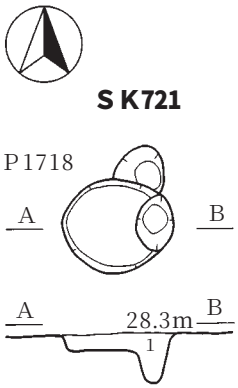
SK616
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性なし
　炭化物（径5mm）5%混入
　焼土ブロック（径0.5cm）20%混入
　地山ブロック（径0.5～2cm）20%混入



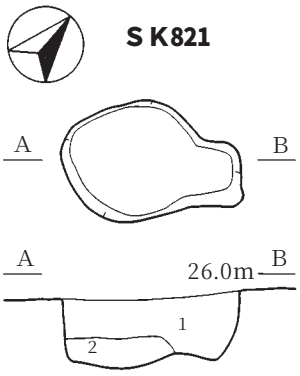
SK685
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまり強　粘性弱
　炭化物(径0.2～0.5mm)1%混入
　焼土ブロック(径1～4mm)1%混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまり強　粘性弱
　炭化物(径2～3mm)1%混入
　焼土ブロック(径2～4mm)2%混入
　地山ブロック(径3～5mm)2%混入
3　暗褐色土(10YR3/3)　しまり強　粘性弱
　地山ブロック(径2～3mm)1%未満混入



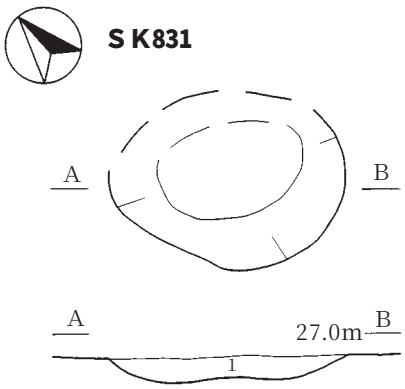
SK687
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまり中　粘性弱
　地山ブロック(径0.1～1cm)10%混入



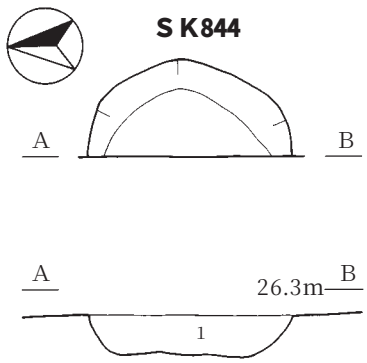
SK721
1　黒褐色土(10YR2/3)　しまり強　粘性弱
　地山ブロック(径0.1～4cm)5%混入



SK821
1　黒褐色土(10YR2/2)　しまり強　粘性中
　地山ブロック1%未満混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまり中　粘性中
　炭化物ブロック1%未満混入
　地山ブロック3%混入

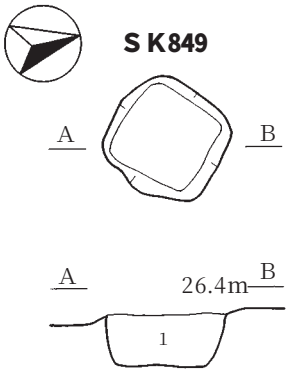


SK831
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性中
　地山ブロック（径1～2mm）1%混入

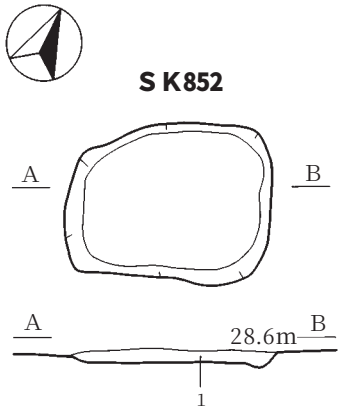


SK844
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまり強　粘性弱
　炭化物(1～5mm)1%混入
　焼土ブロック(1mm)1%混入
　地山ブロック(1～10mm)2%混入

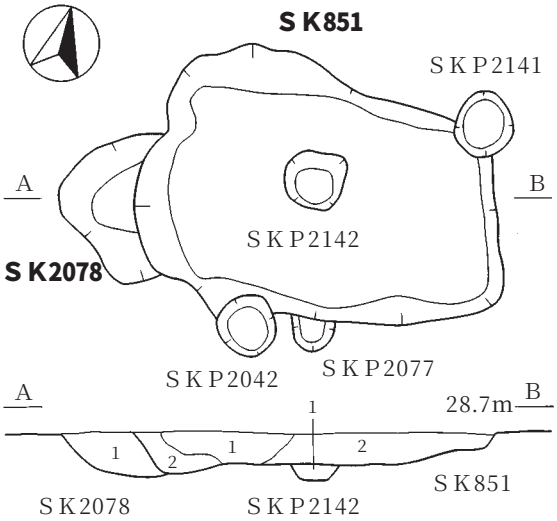
第138図　ＳＫ566・601・616・685・687・721・821・831・844土坑



SK849
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまり中　粘性弱
　地山ブロック(1～10mm)混入
　焼土ブロック(1mm)1%以下混入



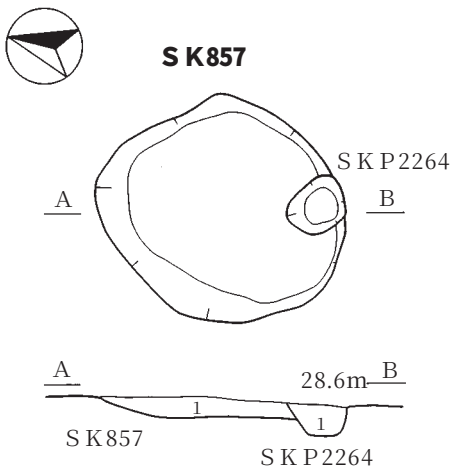
SK852
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまり強　粘性中
　地山ブロック(径0.1～2cm)1%混入



SK851
1　黒褐色土(10YR2/2)　しまり強　粘性中
　炭化物(径1mm)1%未満混入
　地山ブロック(径1～5mm)1%未満混入
2　黒褐色土(10YR2/3)　しまり強　粘性中
　地山ブロック(径0.1～1cm)5%混入

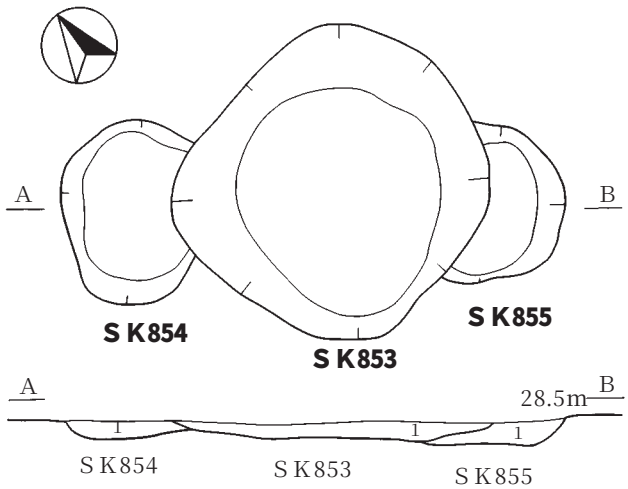
SK2078
1　黒褐色土(10YR2/2)　しまり中　粘性中
　地山ブロック(径1～2mm)1%混入

SKP2142
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり中 粘性中
　地山ブロック１%混入



SK857
1　黒褐色土(10YR2/3)　しまり強　粘性弱
　炭化物(径1mm)1%混入
　地山ブロック(径1～2mm)3%未満混入

SKP2264
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり強 粘性中
　炭化物1%混入　地山ブロック3%混入

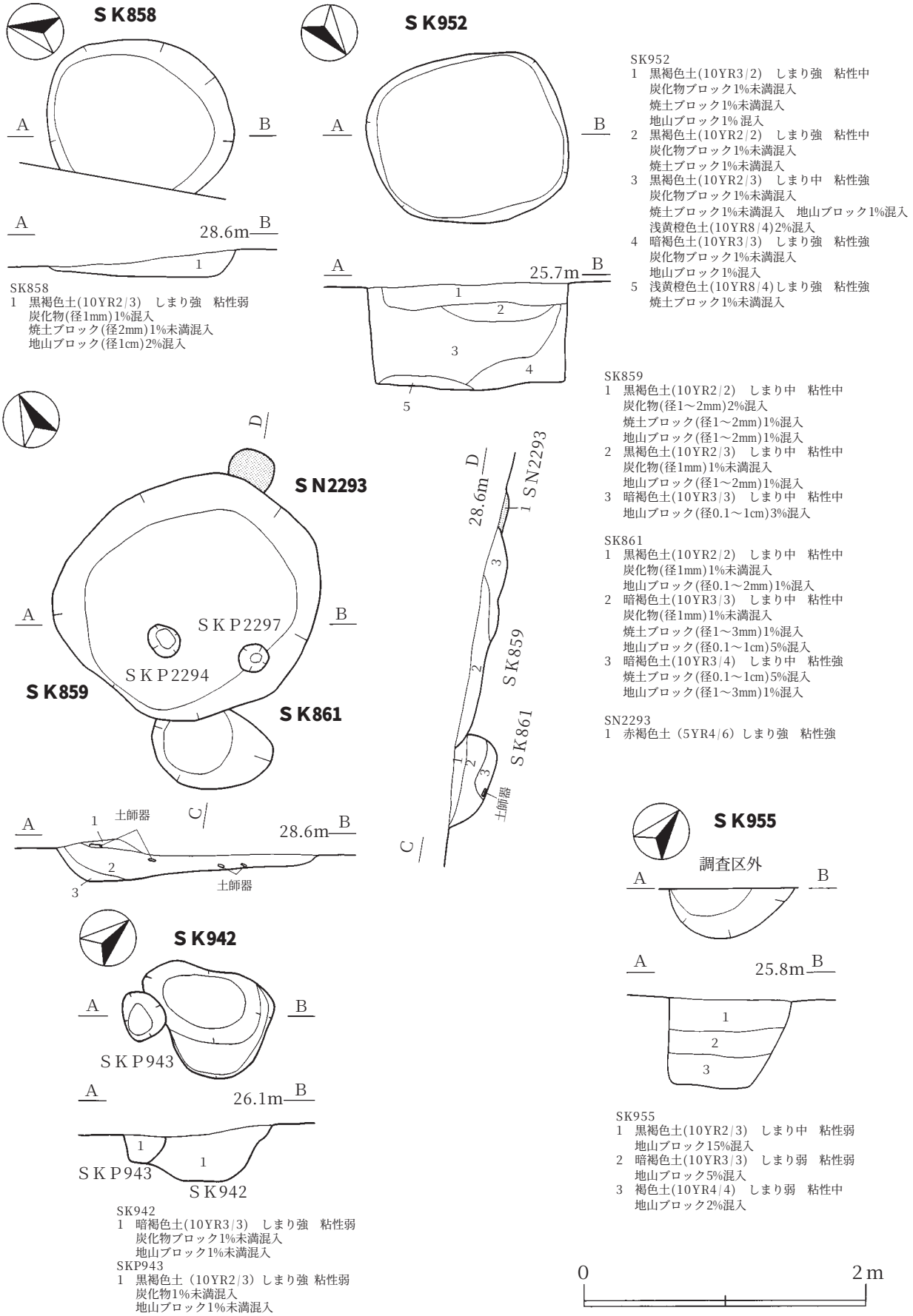


SK853
1　黒褐色土(10YR2/2)　しまり強　粘性中
　炭化物(径1mm)1%混入
　地山ブロック(径0.1～1cm)5%混入

SK854
1　暗褐色土(10YR3/3)しまり強　粘性中
　地山ブロック(径0.2～1cm)3%混入

SK855
1　黒褐色土(10YR2/3)　しまり強　粘性中
　地山ブロック(径1～2mm)1%混入

第139図　ＳＫ849・851・852・853・854・855・857・2078土坑



SK858
1　黒褐色土(10YR2/3)　しまり強　粘性弱
　炭化物(径1mm)1%混入
　焼土ブロック(径2mm)1%未満混入
　地山ブロック(径1cm)2%混入

SK952
1　黒褐色土(10YR3/2)　しまり強　粘性中
　炭化物ブロック1%未満混入
　焼土ブロック1%未満混入
　地山ブロック1%混入
2　黒褐色土(10YR2/2)　しまり強　粘性中
　炭化物ブロック1%未満混入
　焼土ブロック1%未満混入
3　黒褐色土(10YR2/3)　しまり中　粘性強
　炭化物ブロック1%未満混入
　焼土ブロック1%未満混入　地山ブロック1%混入
　浅黄橙色土(10YR8/4)2%混入
4　暗褐色土(10YR3/3)　しまり強　粘性強
　炭化物ブロック1%未満混入
　地山ブロック1%混入
5　浅黄橙色土(10YR8/4)しまり強　粘性強
　焼土ブロック1%未満混入

SK859
1　黒褐色土(10YR2/2)　しまり中　粘性中
　炭化物(径1～2mm)2%混入
　焼土ブロック(径1～2mm)1%混入
　地山ブロック(径1～2mm)1%混入
2　黒褐色土(10YR2/3)　しまり中　粘性中
　炭化物(径1mm)1%未満混入
　地山ブロック(径1～2mm)1%混入
3　暗褐色土(10YR3/3)　しまり中　粘性中
　地山ブロック(径0.1～1cm)3%混入

SK861
1　黒褐色土(10YR2/2)　しまり中　粘性中
　炭化物(径1mm)1%未満混入
　地山ブロック(径0.1～2mm)1%混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまり中　粘性中
　炭化物(径1mm)1%未満混入
　焼土ブロック(径1～3mm)1%混入
　地山ブロック(径0.1～1cm)5%混入
3　暗褐色土(10YR3/4)　しまり中　粘性強
　焼土ブロック(径0.1～1cm)5%混入
　地山ブロック(径1～3mm)1%混入

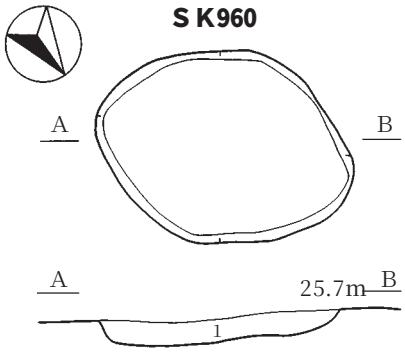
SN2293
1　赤褐色土（5YR4/6）しまり強　粘性強

SK942
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまり強　粘性弱
　炭化物ブロック1%未満混入
　地山ブロック1%未満混入

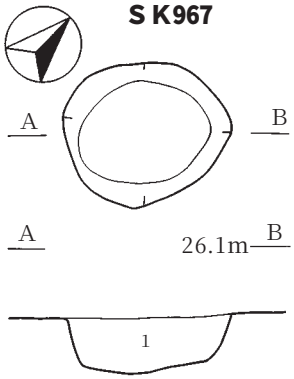
SKP943
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり強 粘性弱
　炭化物1%未満混入
　地山ブロック1%未満混入

SK955
1　黒褐色土(10YR2/3)　しまり中　粘性弱
　地山ブロック15%混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまり弱　粘性弱
　地山ブロック5%混入
3　褐色土(10YR4/4)　しまり弱　粘性中
　地山ブロック2%混入

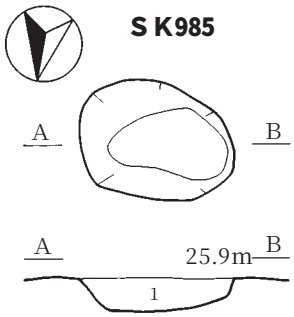
第140図　ＳＫ858・859・861・942・952・955土坑　ＳＮ2293焼土遺構



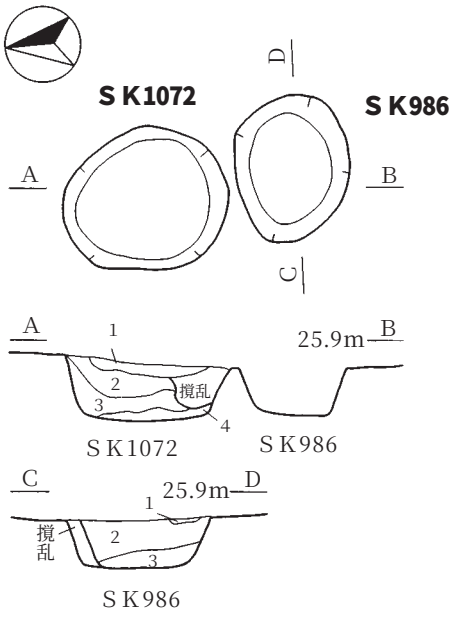
SK960
1　暗褐色土(10YR3/3)しまり強　粘性なし
　地山ブロック3%混入



SK967
1　暗褐色土(10YR3/3)しまり強　粘性中
　炭化物ブロック1%未満混入
　地山ブロック2%混入

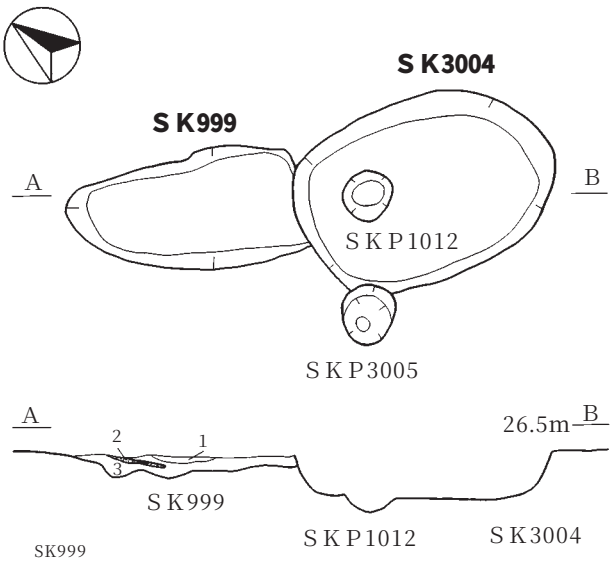


SK985
1　黒褐色土(10YR2/2)　しまり強　粘性弱
　炭化物(径1～3mm)1%混入
　地山ブロック(径1～3mm)2%混入

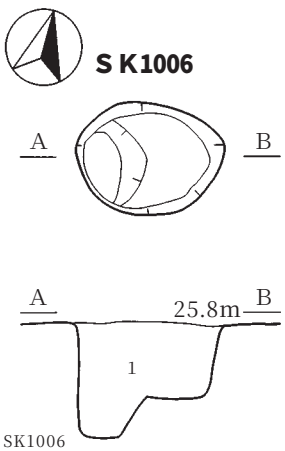


SK986
1　明黄褐色土(10YR5/6)しまり強粘性なし
2　暗褐色土(10YR3/4)　しまり強　粘性弱
　炭化物(径0.1mm)1% 混入
　焼土ブロック1%未満混入
3　褐色土(7.5YR4/4)　しまり中　粘性なし
　地山ブロック(径1～5mm)1%混入

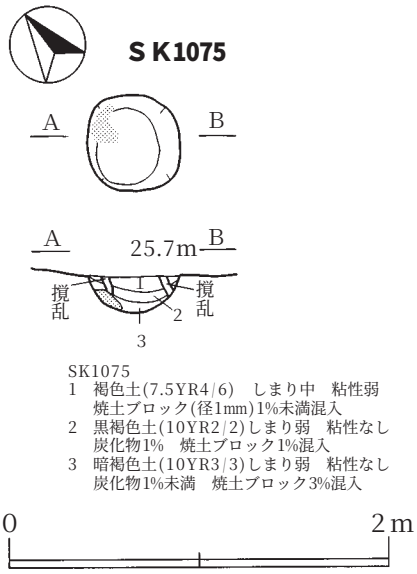
SK1072
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまり中　粘性弱
　炭化物1%未満混入
2　暗褐色土(10YR3/4)しまり中　粘性なし
　炭化物1%混入　焼土ブロック1%未満混入
3　褐色土(10YR4/4)　しまり中　粘性弱
　炭化物1%未満混入
　焼土ブロック1%未満混入
4　暗褐色土(10YR3/3)　しまり弱　粘性弱
　炭化物1%未満混入



SK999
1　明赤褐色焼土ブロック(5YR5/8)
　褐色土(7.5YR4/4)混入
2　炭化物層
3　暗褐色土(7.5YR3/3)混入
　炭化物(径10mm)が多量に混入

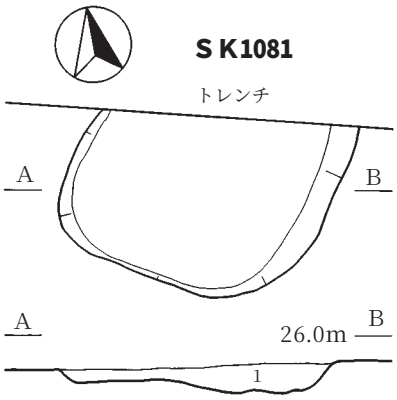


SK1006
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり中 粘性中
　炭化物（径1～5mm）1%混入
　地山ブロック（径0.5～1cm）1%混入

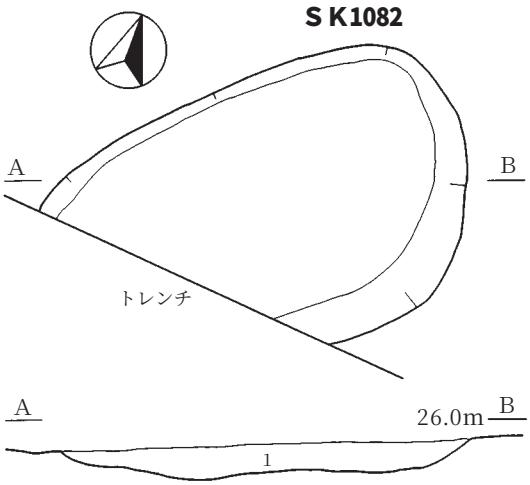


SK1075
1　褐色土(7.5YR4/6)　しまり中　粘性弱
　焼土ブロック(径1mm)1%未満混入
2　黒褐色土(10YR2/2)しまり弱　粘性なし
　炭化物1%　焼土ブロック1%混入
3　暗褐色土(10YR3/3)しまり弱　粘性なし
　炭化物1%未満　焼土ブロック3%混入

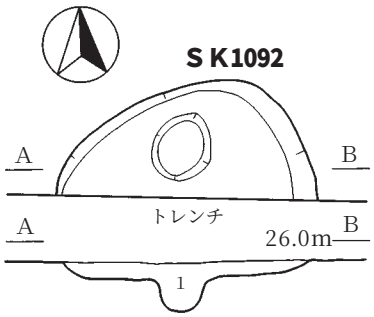
第141図　ＳＫ960・967・985・986・999・1006・1072・1075・3004土坑



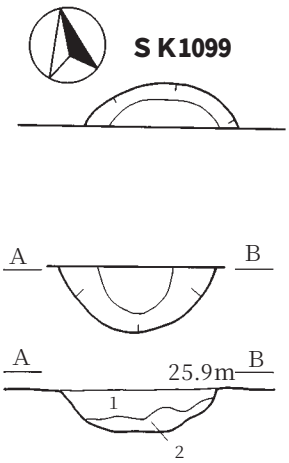
SK1081
1　黒褐色土(10YR2/2)　しまり強　粘性強



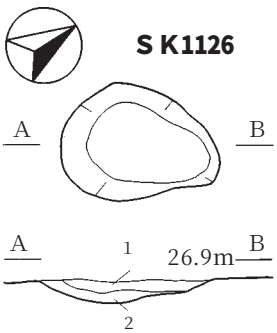
SK1082
1　黒褐色土(10YR2/2)　しまり強　粘性強
　地山ブロック1%混入



SK1092
1　黒褐色土(10YR2/2)　しまり強　粘性強
　地山ブロック2%混入

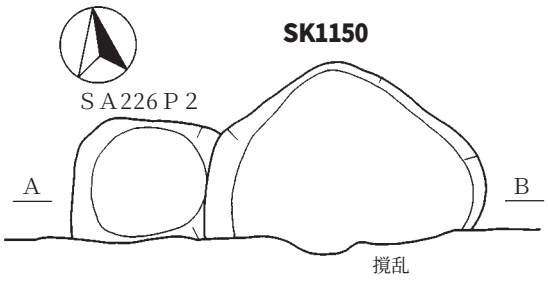


SK1099
1　黒褐色土(10YR2/2)しまり中　粘性なし
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまり強　粘性弱
　地山ブロック40%混入



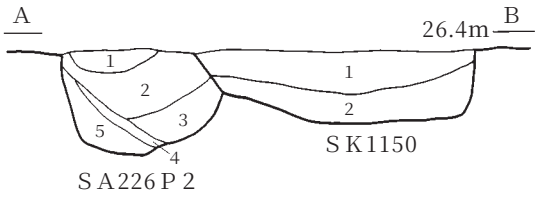
SK1126
1　黒褐色土(10YR2/2)　しまり中　粘性中
　炭化物(径5mm)1%未満
　焼土ブロック(径1~ 2cm)10%
　地山ブロック(径0.5~ 2cm)5%混入
2　暗褐色土(10YR3/4)　しまり中　粘性中
　地山ブロック(径1~ 2mm)1%混入

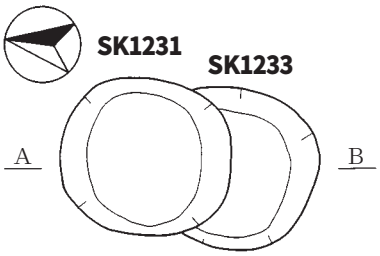
第142図　ＳＫ1081・1082・1092・1099・1126土坑

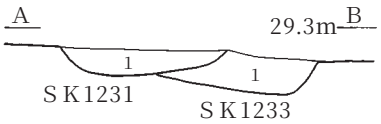


SK1150
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまり強　粘性弱
　炭化物(径５mm)１%未満
　焼土ブロック(径５mm)１%
　地山ブロック(径１cm)　３%混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまり強　粘性弱
　地山ブロック(径１cm)20%混入

SA226　P2
1　黒褐色土(10YR3/2)しまり中　粘性弱
　地山ブロック(径１cm)5%混入
2　黒褐色土(10YR3/2)しまり中　粘性弱
　炭化物１%未満　焼土ブロック１%未満
　地山ブロック(径１cm)５%混入
3　黒褐色土(10YR3/2)しまり中　粘性弱
　地山ブロック20%混入
4　黒褐色土(10YR3/2)しまり中　粘性弱
　炭化物１%未満　焼土ブロック１%未満
　地山ブロック(径１cm)５%混入
5　黒褐色土(10YR3/2)しまり中　粘性弱
　地山ブロック20%混入



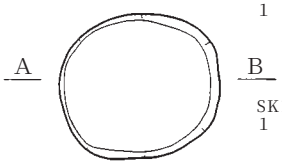


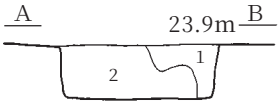


SK1152

SK1152
1　黒褐色土(10YR2/2)　しまり強　粘性弱
　地山ブロック(径0.5~　3cm)1%混入
2　黒褐色土(10YR3/2)　しまり強　粘性弱
　炭化物(径５mm)５%
　焼土ブロック(径0.5~　1cm)20%
3　黒褐色土(10YR3/2)　しまり強　粘性弱
　地山ブロック(径0.5~　3cm)1%混入
4　黒褐色土(10YR3/2)　しまり強　粘性弱
　炭化物30%
　地山ブロック(径0.5~　1cm)20%混入
5　黒褐色土(10YR3/2)　しまり強　粘性弱
　地山ブロック(径0.5~　1cm)20%混入

SK1232



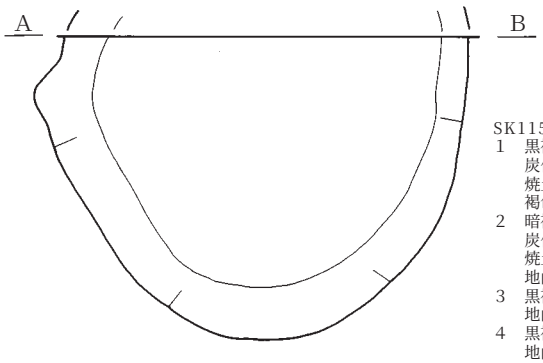


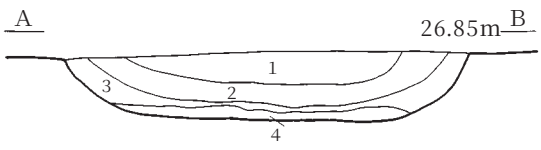
SK1231
1　黒褐色土(10YR3/2)しまり中　粘性なし
　炭化物(径0.1~　2cm)１%混入

SK1233
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまり中　粘性弱
　炭化物１%
　地山ブロック(径0.1~　1cm)３%混入

SK1232
1　黒褐色土(10YR3/2)　しまり弱　粘性なし
　焼土ブロック１%未満
　地山ブロック(径５mm)１%混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまり中　粘性なし
　地山ブロック(径0.1~　3cm)20%混入

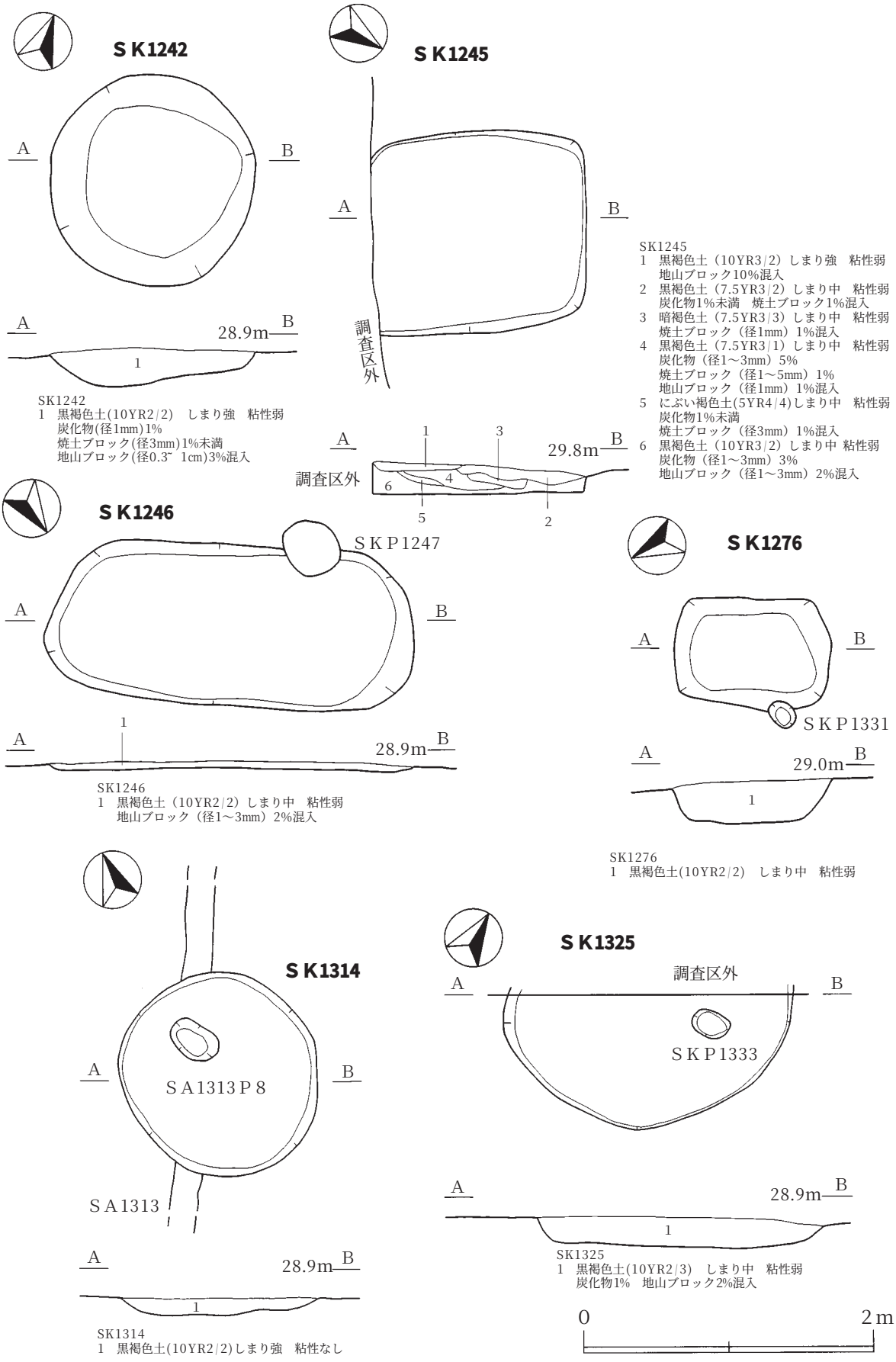
SK1153



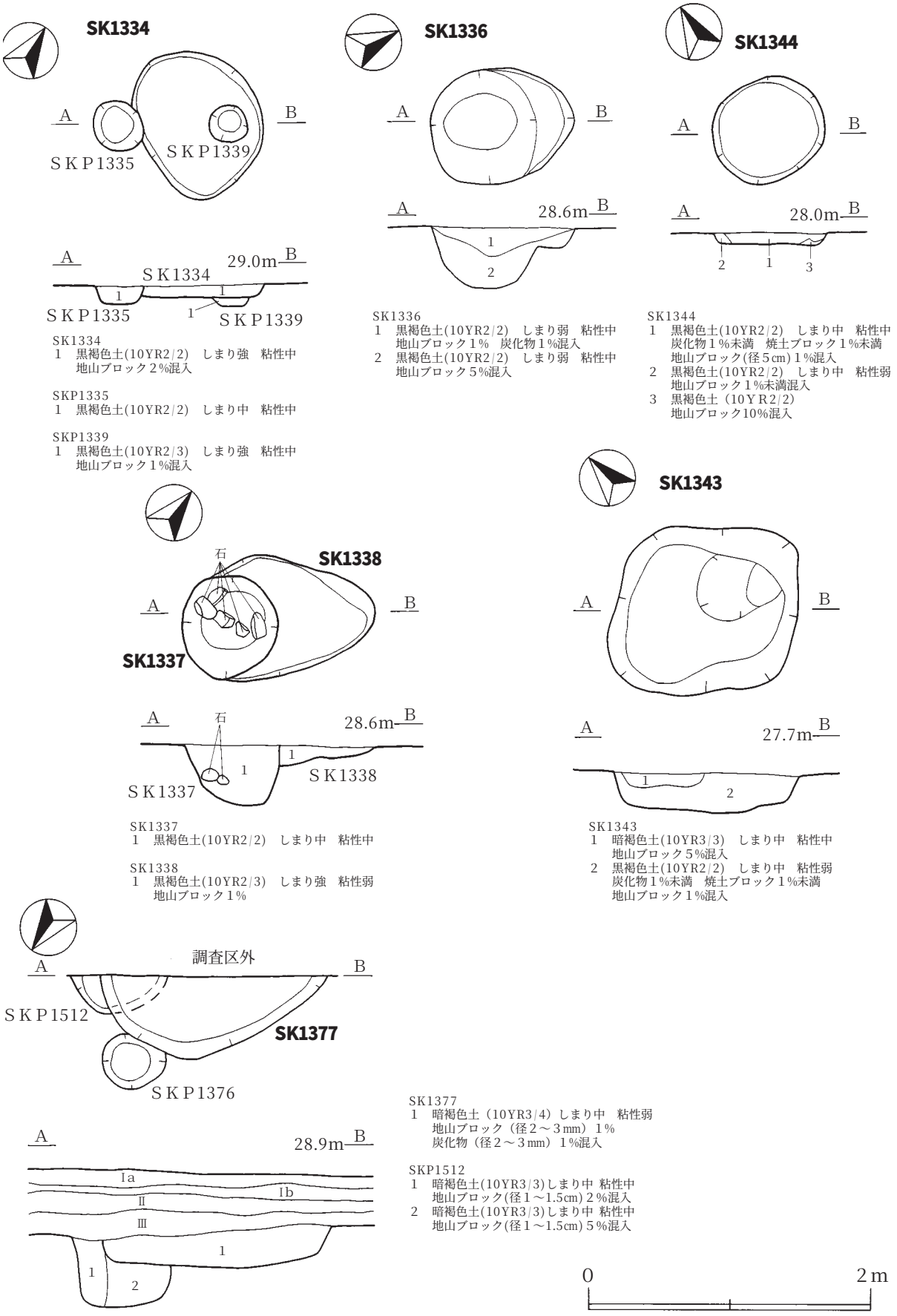


SK1153
1　黒褐色土(10YR2/2)　しまり強　粘性弱
　炭化物(径５mm)１%
　焼土ブロック(径５mm)１%
　褐色土(10YR4/6)５%混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまり強　粘性弱
　炭化物(径１cm)１%
　焼土ブロック(径１cm)１%
　地山ブロック(径５mm)10%混入
3　黒褐色土(10YR2/2)　しまり強　粘性弱
　地山ブロック(径５mm)３%混入
4　黒褐色土(10YR2/2)　しまり強　粘性弱
　地山ブロック(径５mm)10%混入

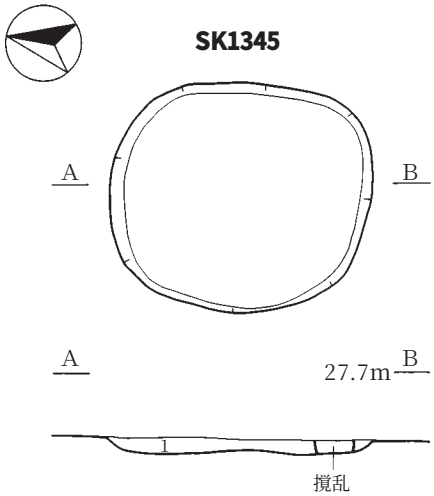
第143図　ＳＫ1150・1152・1153・1231・1232・1233土坑



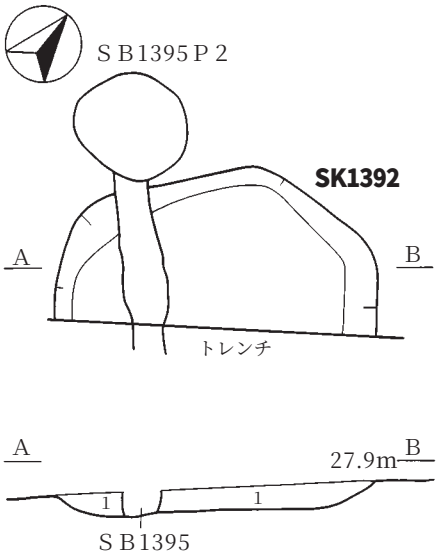
第144図　ＳＫ1242・1245・1246・1276・1314・1325土坑



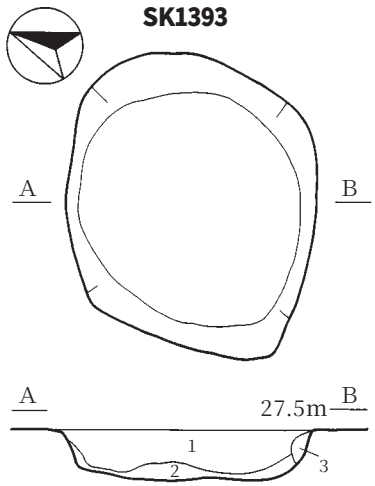
第145図　ＳＫ1334・1336・1337・1338・1343・1344・1377土坑



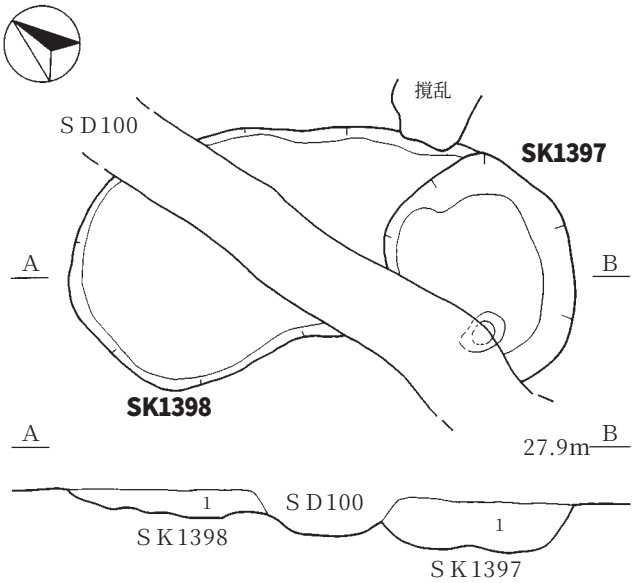
SK1345
1　黒褐色土(10YR3/2)　しまり中　粘性中
　焼土ブロック１%未満
　地山ブロック２%混入



SK1392
1　黒褐色土(10YR3/2)しまり強　粘性弱
　炭化物(径５mm)１%　地山ブロック１%混入

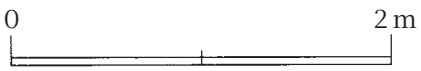


SK1393
1　黒褐色土(10YR2/2)　しまり中　粘性中
　炭化物(径５mm)１%未満
　焼土ブロック(径５mm)１%未満
　地山ブロック(径５mm)１%混入
2　暗褐色土(10YR3/3)しまり強 粘性弱
　地山ブロック(径１cm)30%混入
3　褐色土(10YR4/4)しまり中 粘性弱

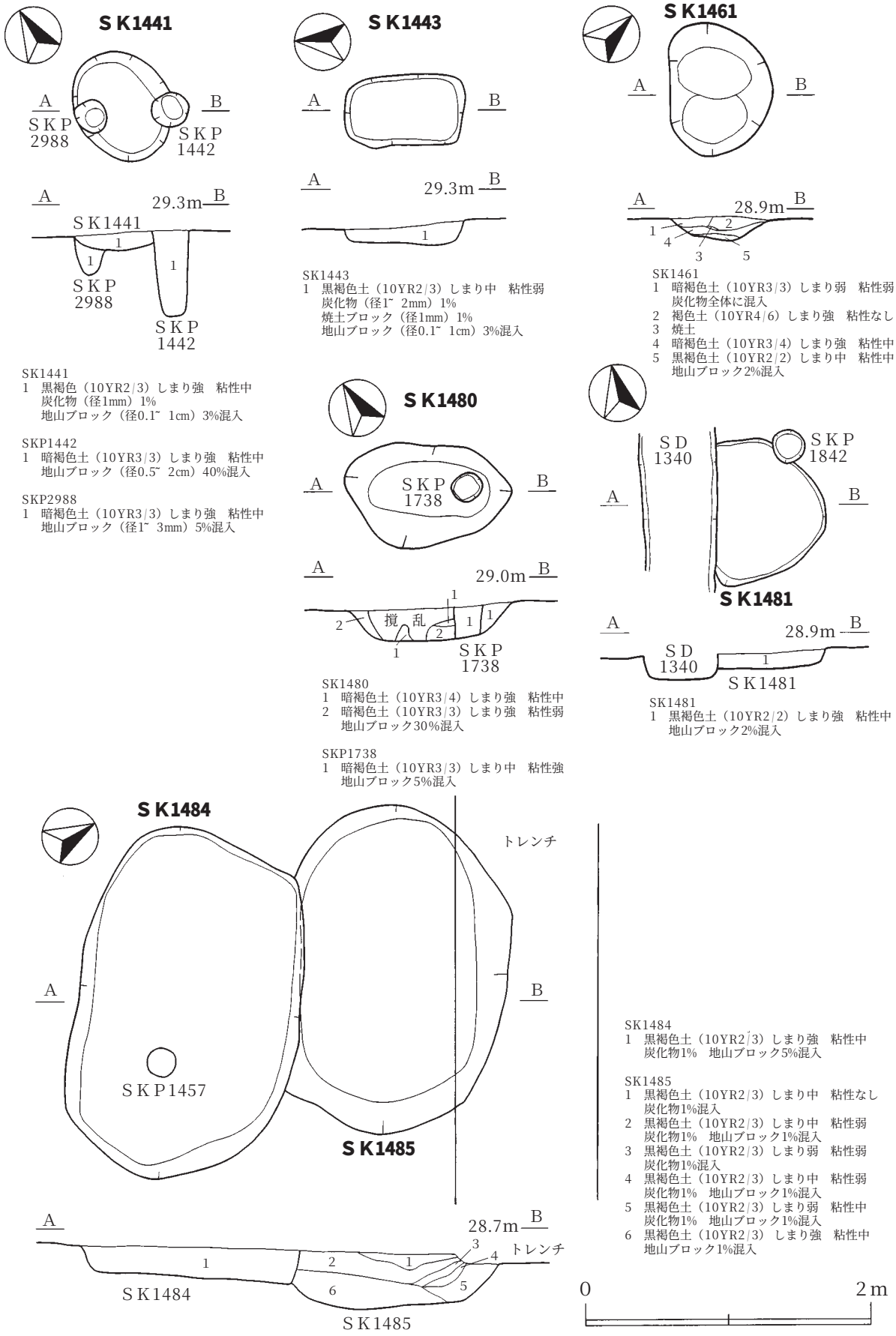


SK1397
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり強 粘性弱
　炭化物（径５mm）１%未満
　焼土ブロック１%　地山ブロック１%混入

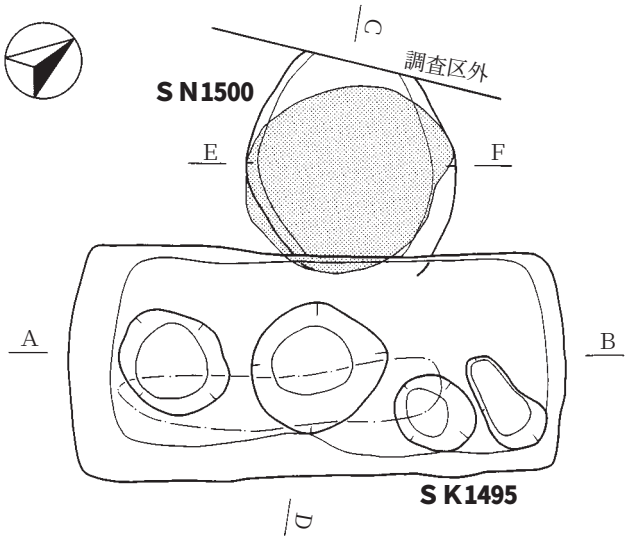
SK1398
1　暗褐色土(10YR3/3)しまり強　粘性なし
　炭化物(径５mm)１%
　焼土ブロック(径5mm)１%
　明黄褐色土(10YR7/6)(径５mm)１%
　地山ブロック(径５mm)５%混入



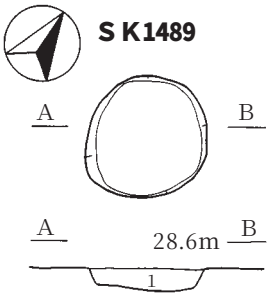
第146図　ＳＫ1345・1392・1393・1397・1398土坑



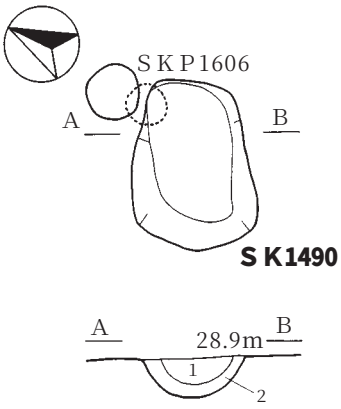
第147図　ＳＫ1441・1443・1461・1480・1481・1484・1485土坑



SN1500
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性中
　炭化物2%混入
2　赤褐色土（5YR4/8）しまり強　粘性なし
3　暗赤褐色土（5YR3/4）しまり強　粘性中
　地山ブロック2%混入

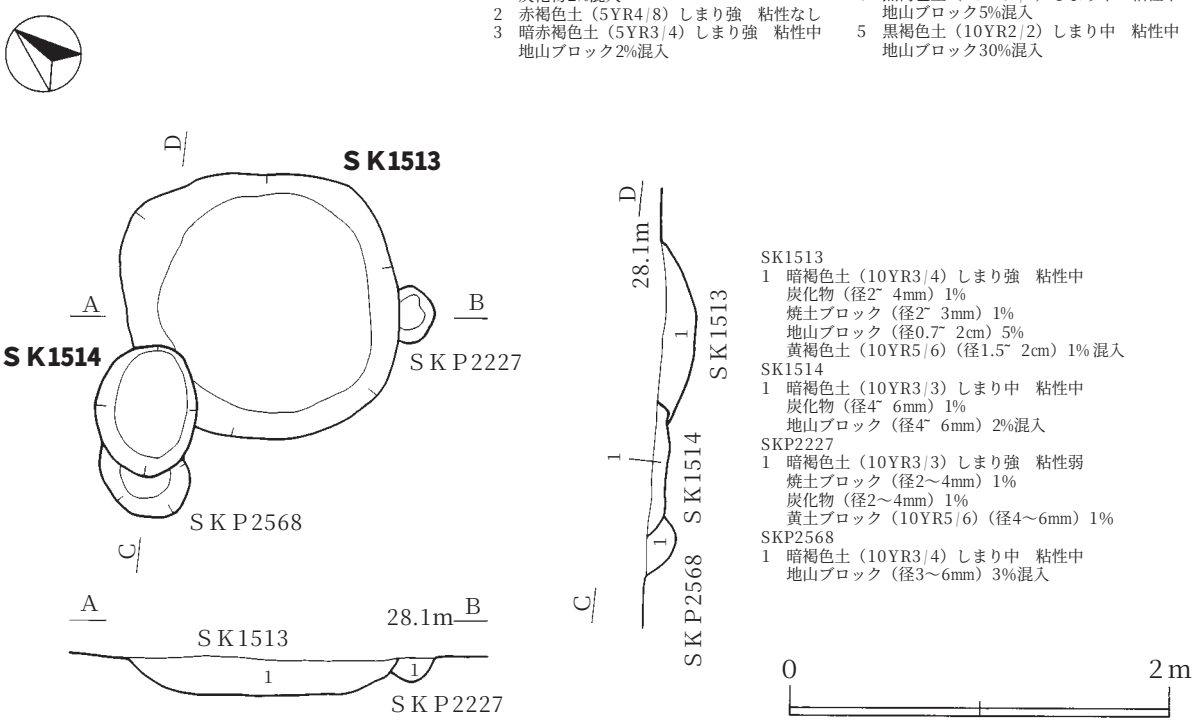


SK1489
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり強　粘性弱
　地山ブロック1%混入



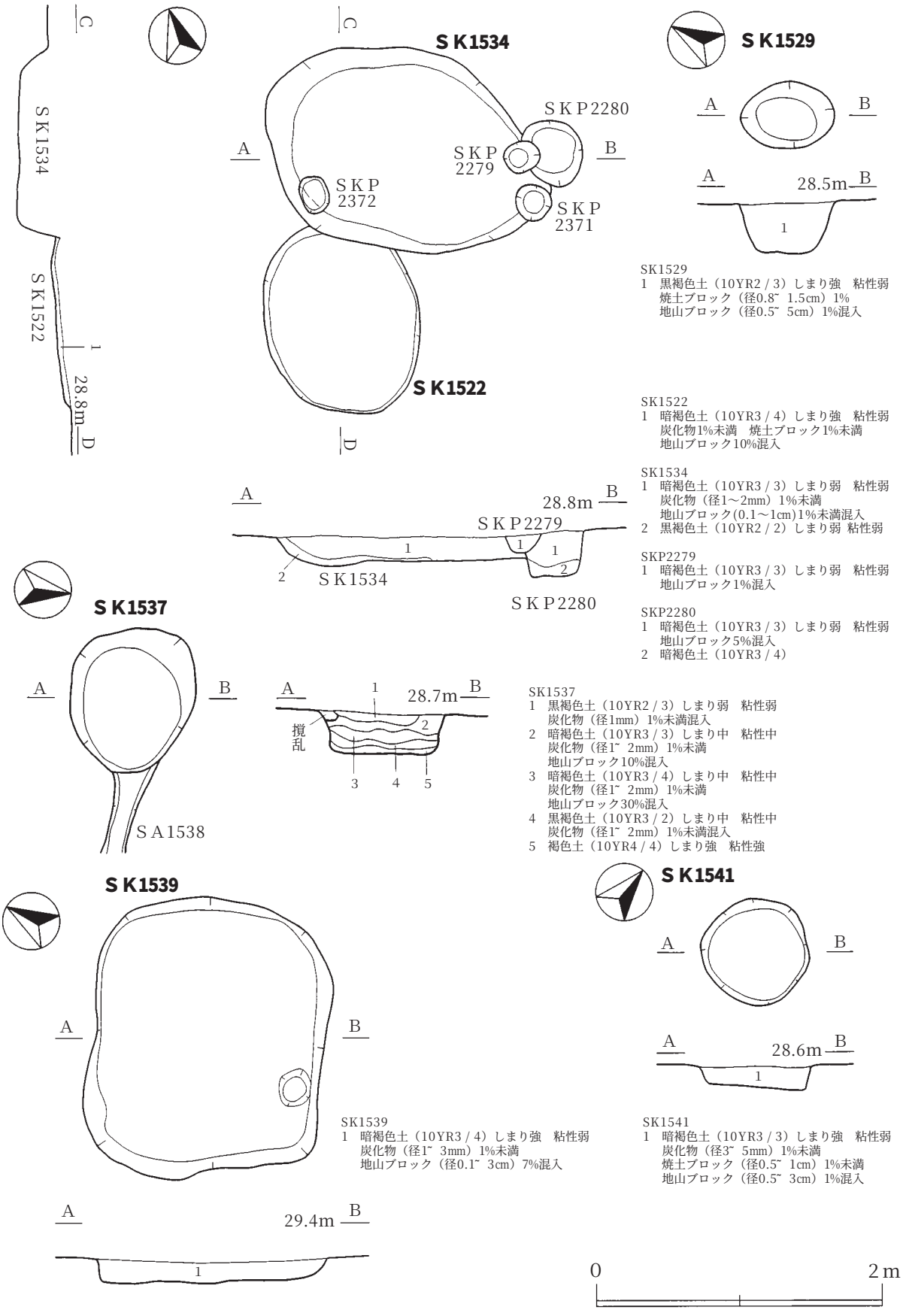
SK1490
1　黒褐色土（10YR2/3）
2　暗褐色土（10YR3/3）

SK1495
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性なし
　炭化物1%　焼土ブロック1%
　にぶい黄褐色土（10YR7/4）20%混入
2　明褐色土（7.5YR5/6）しまり強　粘性なし
　炭化物1%　焼土ブロック1%混入
3　黒褐色土（10YR2/2）しまり強　粘性中
　炭化物2%　地山ブロック3%混入
4　黒褐色土（10YR2/2）しまり中　粘性中
　地山ブロック5%混入
5　黒褐色土（10YR2/2）しまり中　粘性中
　地山ブロック30%混入



SK1513
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性中
　炭化物（径2~ 4mm）1%
　焼土ブロック（径2~ 3mm）1%
　地山ブロック（径0.7~ 2cm）5%
　黄褐色土（10YR5/6）（径1.5~ 2cm）1%混入
SK1514
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性中
　炭化物（径4~ 6mm）1%
　地山ブロック（径4~ 6mm）2%混入
SKP2227
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性弱
　焼土ブロック（径2～4mm）1%
　炭化物（径2～4mm）1%
　黄土ブロック（10YR5/6）（径4～6mm）1%
SKP2568
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり中　粘性中
　地山ブロック（径3～6mm）3%混入

第148図　ＳＫ1489・1490・1495・1513・1514土坑　ＳＮ1500焼土遺構



SK1529
1　黒褐色土（10YR2 / 3）しまり強　粘性弱
　焼土ブロック（径0.8~ 1.5cm）1%
　地山ブロック（径0.5~ 5cm）1%混入

SK1522
1　暗褐色土（10YR3 / 4）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満　焼土ブロック1%未満
　地山ブロック10%混入

SK1534
1　暗褐色土（10YR3 / 3）しまり弱　粘性弱
　炭化物（径1～2mm）1%未満
　地山ブロック(0.1～1cm)1%未満混入
2　黒褐色土（10YR2 / 2）しまり弱 粘性弱

SKP2279
1　暗褐色土（10YR3 / 3）しまり弱　粘性弱
　地山ブロック1%混入

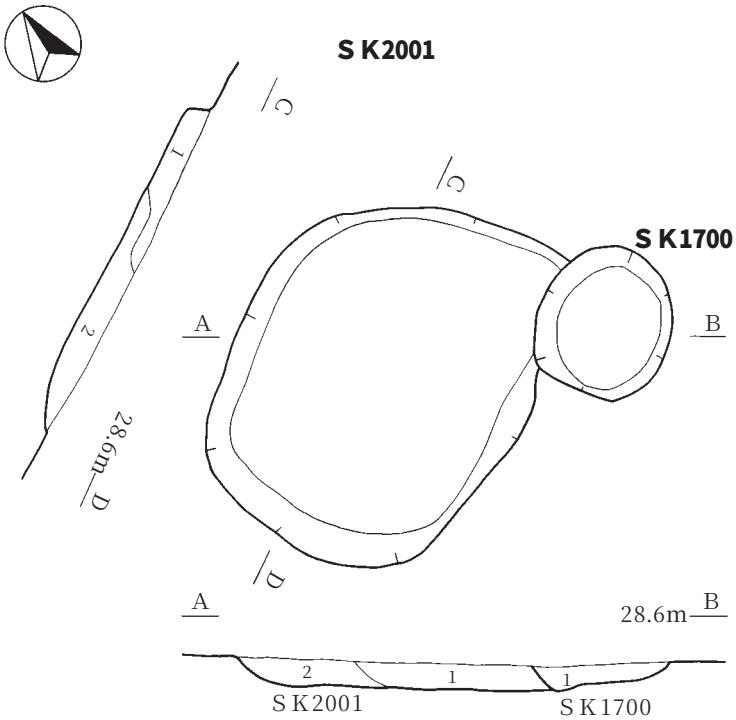
SKP2280
1　暗褐色土（10YR3 / 3）しまり弱　粘性弱
　地山ブロック5%混入
2　暗褐色土（10YR3 / 4）

SK1537
1　黒褐色土（10YR2 / 3）しまり弱　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%未満混入
2　暗褐色土（10YR3 / 3）しまり中　粘性中
　炭化物（径1~ 2mm）1%未満
　地山ブロック10%混入
3　暗褐色土（10YR3 / 4）しまり中　粘性中
　炭化物（径1~ 2mm）1%未満
　地山ブロック30%混入
4　黒褐色土（10YR3 / 2）しまり中　粘性中
　炭化物（径1~ 2mm）1%未満混入
5　褐色土（10YR4 / 4）しまり強　粘性強

SK1539
1　暗褐色土（10YR3 / 4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1~ 3mm）1%未満
　地山ブロック（径0.1~ 3cm）7%混入

SK1541
1　暗褐色土（10YR3 / 3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径3~ 5mm）1%未満
　焼土ブロック（径0.5~ 1cm）1%未満
　地山ブロック（径0.5~ 3cm）1%混入

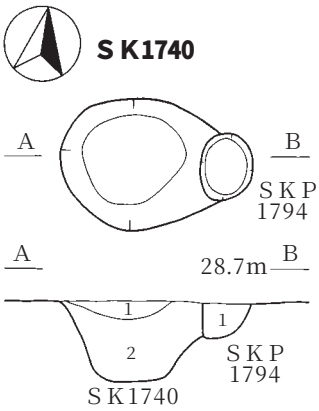
第149図　ＳＫ1522・1529・1534･1537・1539・1541土坑



SK1690
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性弱
　炭化物（径1~ 5mm）1%未満
　焼土ブロック（径0.1~ 1cm）1%
　地山ブロック（径0.1~ 1cm）1%混入
2　暗褐色土（10YR3/3）しまり弱　粘性弱
　炭化物（径0.1~ 2cm）1%
　焼土ブロック（径0.1~ 2cm）2%
　地山ブロック（径0.1~ 1cm）10%混入

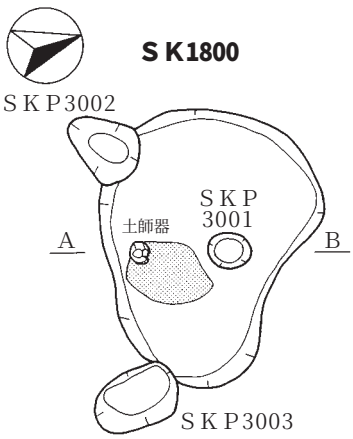
SK1700
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり中　粘性中
　焼土ブロック（径0.1~ 1cm）1%未満
　地山ブロック（径0.1~ 1cm）2%混入

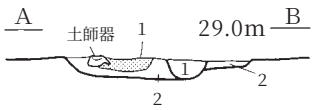
SK2001
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性弱
　炭化物（径0.1~ 5cm）1%
　地山ブロック（径0.1~ 2cm）10%混入
2　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性弱
　焼土ブロック（径0.1~ 5cm）1%未満
　地山ブロック（径0.1~ 1cm）1%混入



SK1740
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性弱
　炭化物1%　地山ブロック1%混入
2　黒褐色土（10YR2/3）しまり弱　粘性弱
　焼土ブロック2%　地山ブロック3%混入

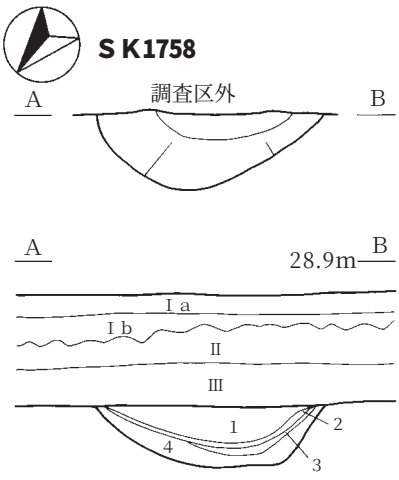
SKP1794
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性弱



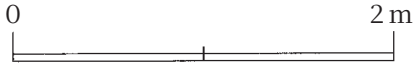


SK1800
1　暗赤褐色土（5YR3/4）しまり弱　粘性弱
　暗褐色土（10YR3/4）50%混入
2　褐色土（7.5YR4/4）しまり弱　粘性弱
　炭化物（径1~ 2mm）1%未満
　焼土ブロック（径2~ 5mm）1%未満混入

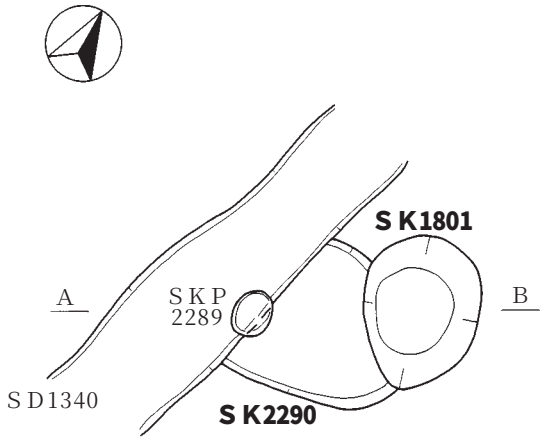
SKP3001
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり弱　粘性弱
　炭化物（径2~ 5mm）1%
　焼土ブロック2%混入

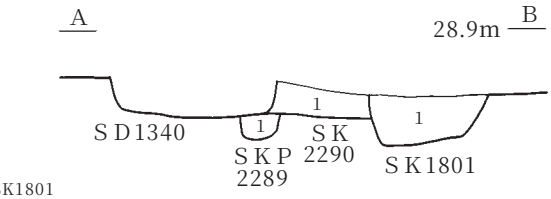


SK1758
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性中
　地山ブロック（4~ 10mm）1%
　焼土ブロック（2~ 4mm）1%
　炭粒（2~ 4mm）1%混入
2　炭化物層
3　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径4~ 8mm）40%混入
4　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径4~ 8mm）1%
　焼土ブロック（2~ 3mm）1%未満混入

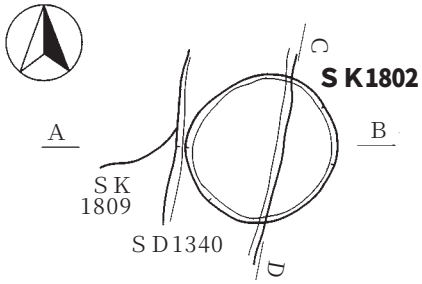


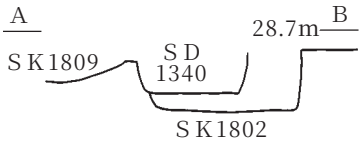
第150図　ＳＫ1690・1700・1740・1758・1800・2001土坑

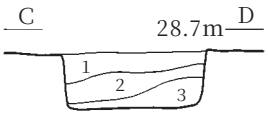




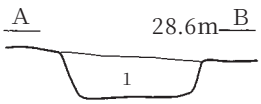
SK1801
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性中
　地山ブロック1%未満混入
SKP2289
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり弱　粘性あり
　地山ブロック10%混入
SK2290
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性中
　地山ブロック2%混入



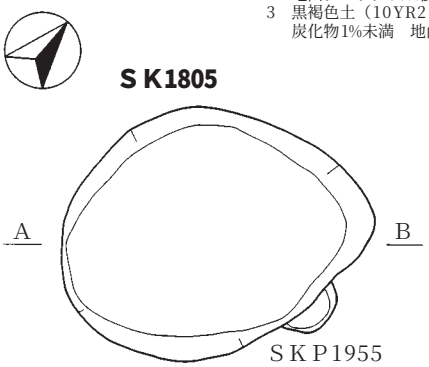




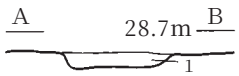
SK1802
1　黒暗褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性中
　地山ブロック1%混入
2　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性中
　地山ブロック30%混入
3　黒褐色土（10YR2/3）しまり弱　粘性中
　炭化物1%未満　地山ブロック1%混入



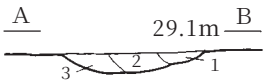
SK1803
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性中
　炭化物1%　地山ブロック2%混入



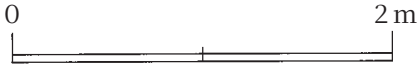
SK1805
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性中
　炭化物（径1mm）1%混入
2　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性中
　地山ブロック（径1~2mm）1%混入



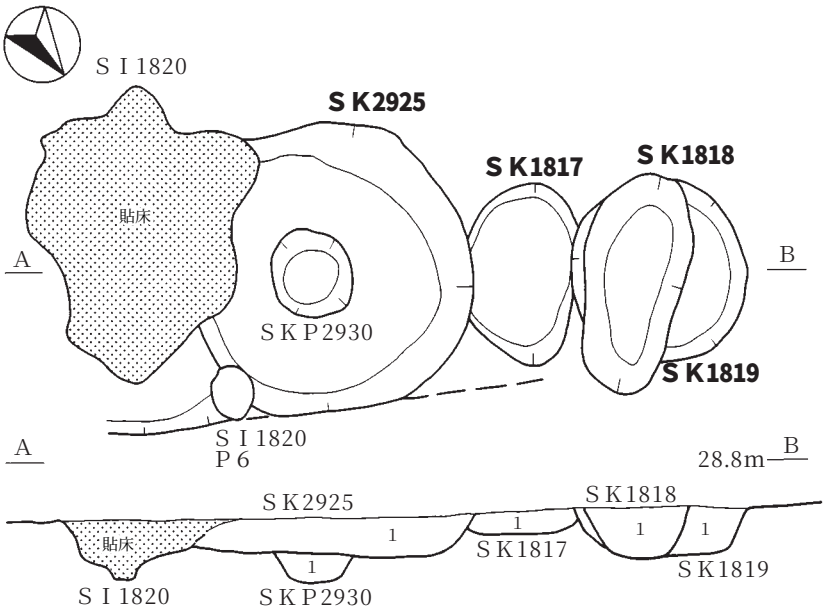
SK1806
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性中
　地山ブロック1%混入



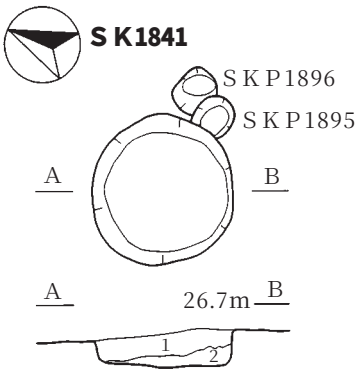
SK1808
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり強　粘性弱
2　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性弱
　地山ブロック50%混入
3　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性弱



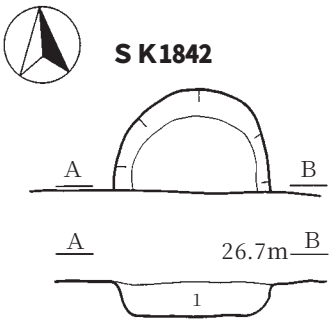
第151図　S K1801・1802・1803・1805・1806・1808・2290土坑



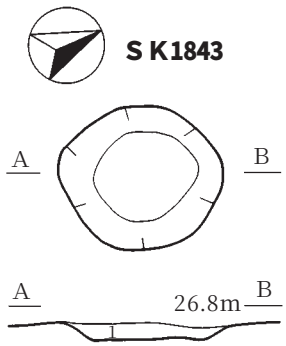
SI1820貼床
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性中
　焼土ブロック1%混入
　地山ブロック10%混入
SK1817
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性中
　炭化物（径1~ 2mm）１%混入
　焼土ブロック（径2~ 5mm）1%混入
　地山ブロック（径1~ 2mm）1%混入
SK1818
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり中　粘性中
　炭化物（径1~ 2mm）1%混入
　焼土ブロック（径2~ 5mm）1%混入
　地山ブロック（径2~ 5mm）3%混入
SK1819
1　暗褐色土（7.5YR3/3）しまり中　粘性中
　地山ブロック（径3~ 8mm）7%混入
SK2925
1　黒褐色土（10YR3/2）
SKP2930
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性中
　炭化物（径1～2mm）1%混入
　焼土ブロック（径2～5mm）2%混入
　地山ブロック（径1～2mm）1%混入



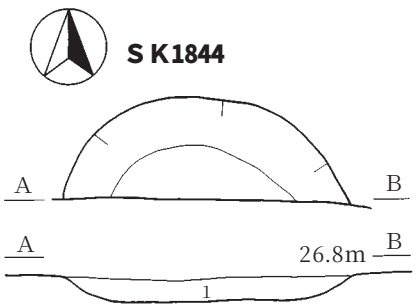
SK1841
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性中
　炭化物（径1mm）1%混入
　焼土ブロック（径1mm）1%混入
　地山ブロック（径0.5~ 2cm）3%混入
2　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径1~ 3mm）20%混入



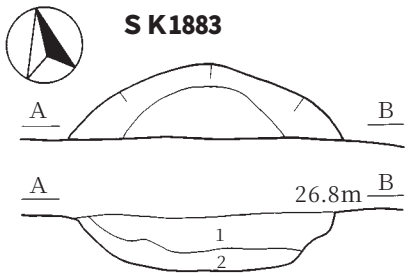
SK1842
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径1~ 3mm）1%混入
　地山ブロック（径0.1~ 2cm）1%混入



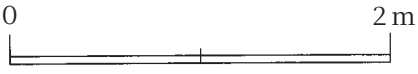
SK1843
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径2mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径1~ 3mm）2%混入
　地山ブロック（径1~ 5mm）3%混入



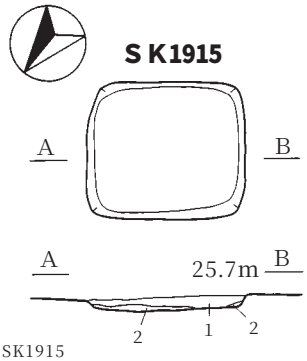
SK1844
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性弱
　炭化物（径1~ 3mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径1~ 3mm）1%混入
　地山ブロック（径0.1~ 1cm）1%混入



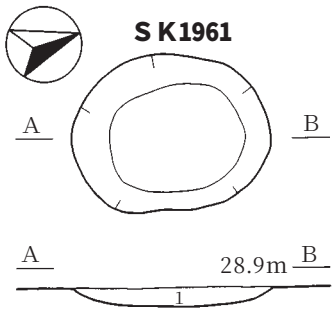
SK1883
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1~ 2mm）1%混入
　地山ブロック（径1mm）3%混入
2　暗褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径1~ 3mm）3%混入



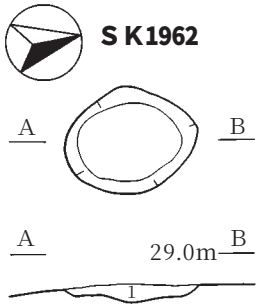
第152図　ＳＫ1817・1818・1819・1841・1842・1843・1844・1883・2925土坑



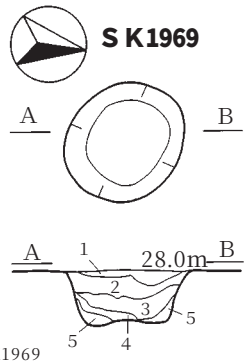
SK1915
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり中 粘性弱
　炭化物（径1～3mm）2%混入
　焼土ブロック（径1mm）1%混入
　地山ブロック（径0.1～1cm）3%混入。
2　暗褐色土（10YR3/4）しまり強 粘性弱
　地山ブロック（径0.1～2cm）10%混入。



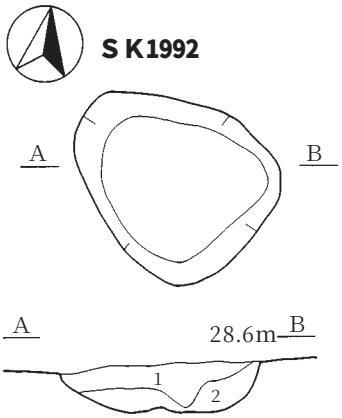
SK1961
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性中
　地山ブロック（径0.1~ 1cm）5%混入



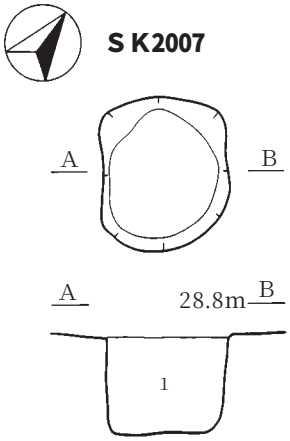
SK1962
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり強　粘性中
　地山ブロック（径0.1~ 1cm）5%混入



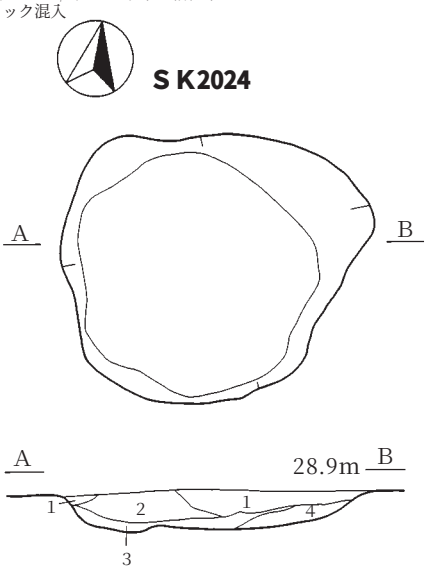
SK1969
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性中
　地山ブロック（径0.1~ 2cm）10%混入
2　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性中
　地山ブロック（径1~ 2mm）2%混入
3　黒褐色土（10YR3/2）しまり中　粘性中
　地山ブロック（径0.1~ 3mm）5%混入
4　暗褐色土（10YR3/4）しまり中　粘性中
　地山ブロック混入
5　褐色土（10YR4/4）しまり中　粘性中
　地山ブロック混入



SK1992
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり中　粘性弱
　炭化物（径１mm）1%未満混入
　地山ブロック（径1～2mm）1%混入
2　褐色土（10YR4/6）しまり中　粘性弱
　地山ブロック　黒褐色土混入

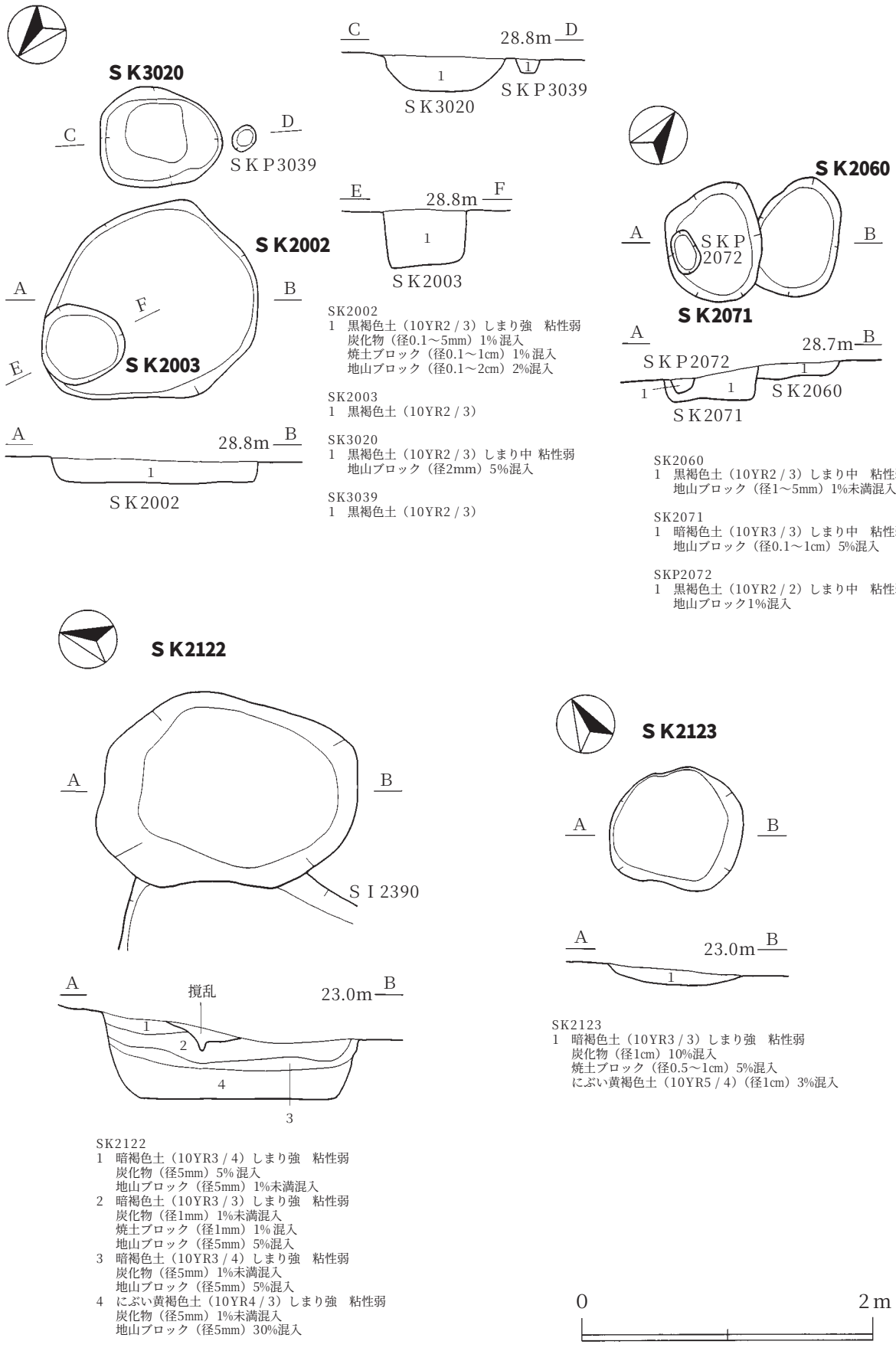


SK2007
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性中
　炭化物1%　地山ブロック7%混入



SK2024
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径0.1～1cm）5%混入
2　黒色土（10YR2/1）しまり中　粘性中
　炭化物1%未満混入
　焼土ブロック（径0.1～1cm）2% 混入
　地山ブロック（径0.1～1cm）1%混入
3　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性中
　地山ブロック混入
4　褐色土（10YR4/6）しまり強 粘性中
　暗褐色土混入

第153図　ＳＫ1915・1961・1962・1969・1992・2007・2024土坑



SK2002
1　黒褐色土（10YR2 / 3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径0.1～5mm）1% 混入
　焼土ブロック（径0.1～1cm）1% 混入
　地山ブロック（径0.1～2cm）2%混入

SK2003
1　黒褐色土（10YR2 / 3）

SK3020
1　黒褐色土（10YR2 / 3）しまり中 粘性弱
　地山ブロック（径2mm）5%混入

SK3039
1　黒褐色土（10YR2 / 3）

SK2060
1　黒褐色土（10YR2 / 3）しまり中　粘性弱
　地山ブロック（径1～5mm）1%未満混入

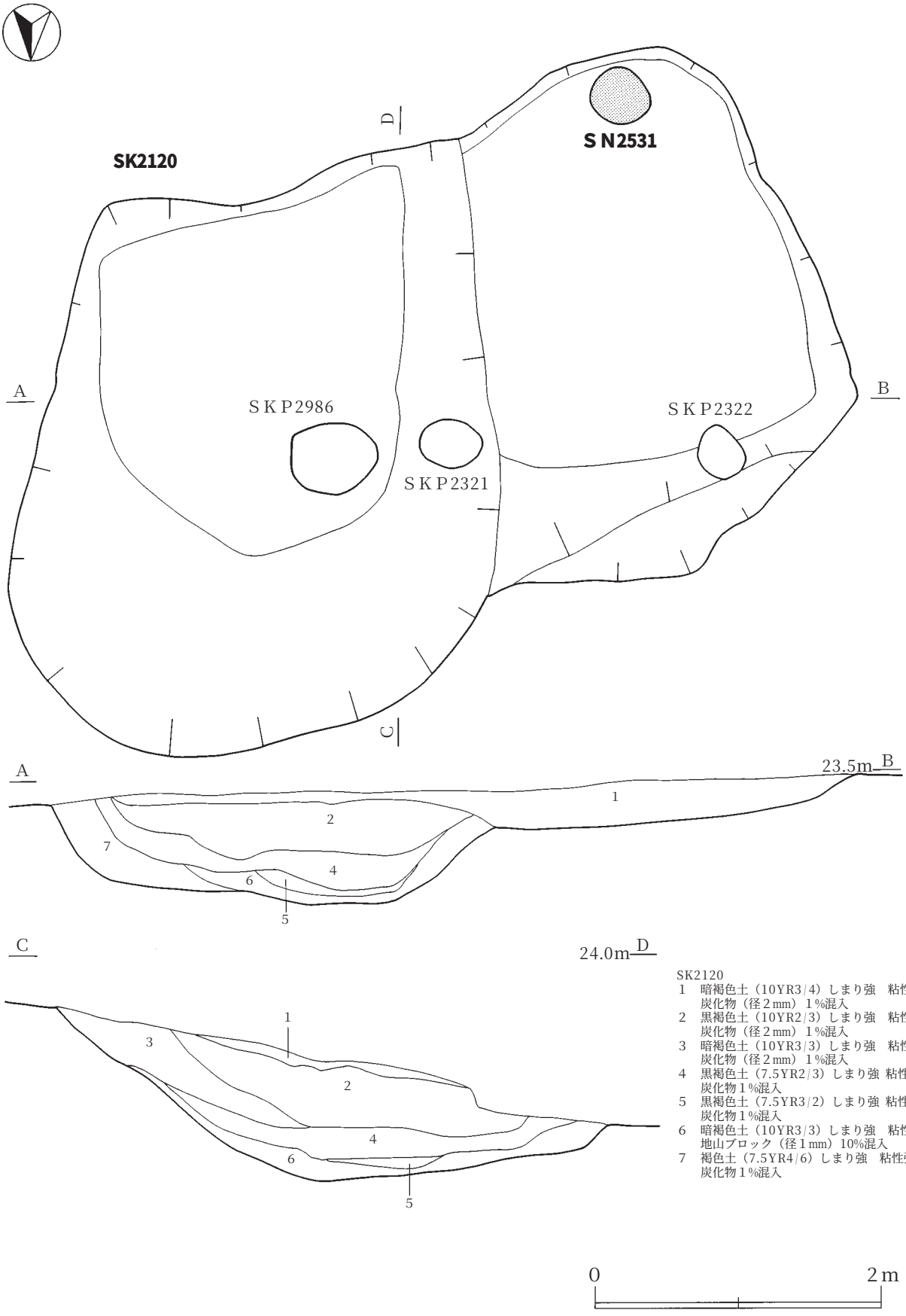
SK2071
1　暗褐色土（10YR3 / 3）しまり中　粘性弱
　地山ブロック（径0.1～1cm）5%混入

SKP2072
1　黒褐色土（10YR2 / 2）しまり中　粘性弱
　地山ブロック1%混入

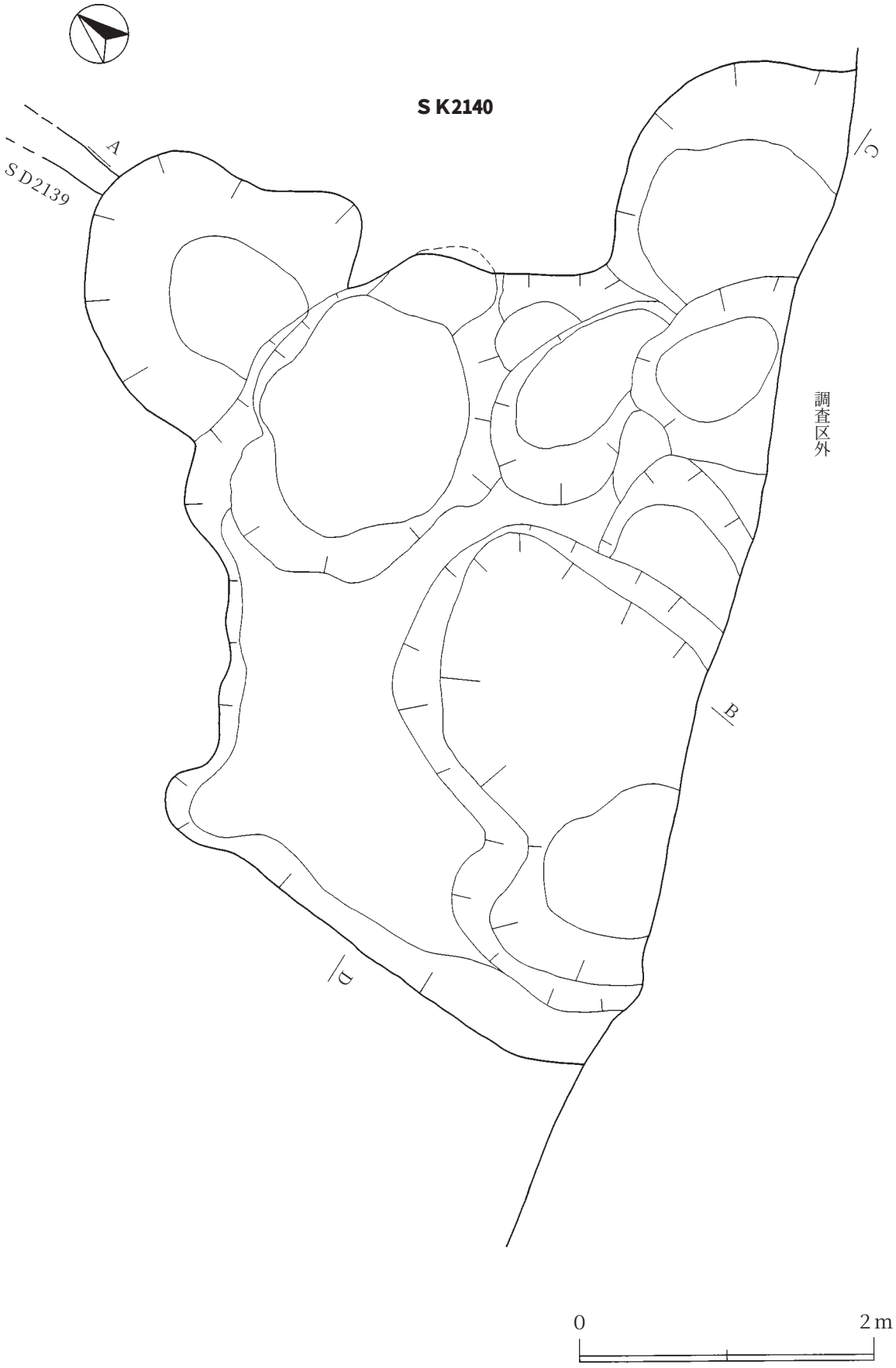
SK2122
1　暗褐色土（10YR3 / 4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径5mm）5% 混入
　地山ブロック（径5mm）1%未満混入
2　暗褐色土（10YR3 / 3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径1mm）1% 混入
　地山ブロック（径5mm）5%混入
3　暗褐色土（10YR3 / 4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径5mm）1%未満混入
　地山ブロック（径5mm）5%混入
4　にぶい黄褐色土（10YR4 / 3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径5mm）1%未満混入
　地山ブロック（径5mm）30%混入

SK2123
1　暗褐色土（10YR3 / 3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1cm）10%混入
　焼土ブロック（径0.5～1cm）5%混入
　にぶい黄褐色土（10YR5 / 4）（径1cm）3%混入

第154図　ＳＫ2002・2003・2060・2071・2122・2123・3020土坑



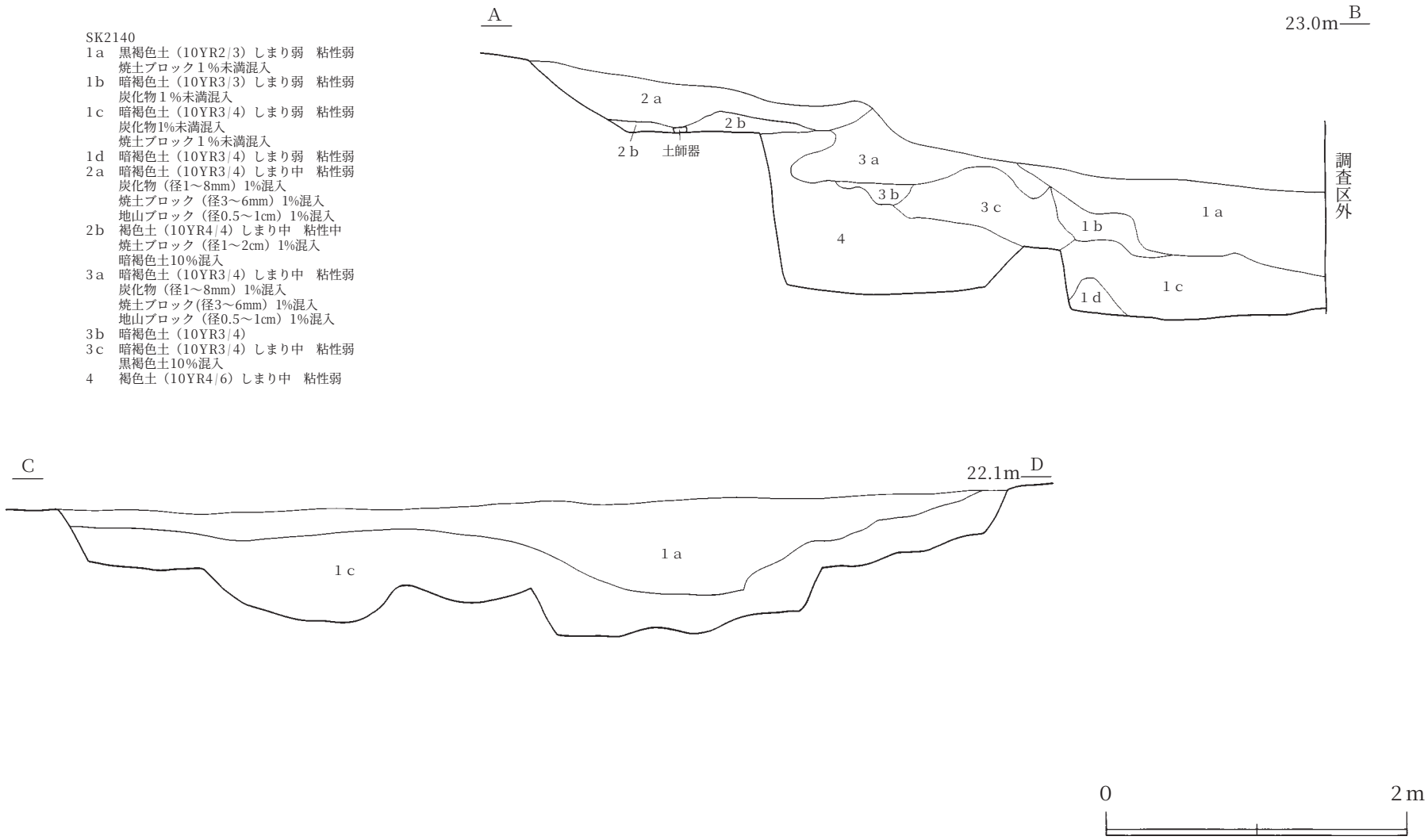
第155図　ＳＫ2120土坑　ＳＮ2531焼土遺構



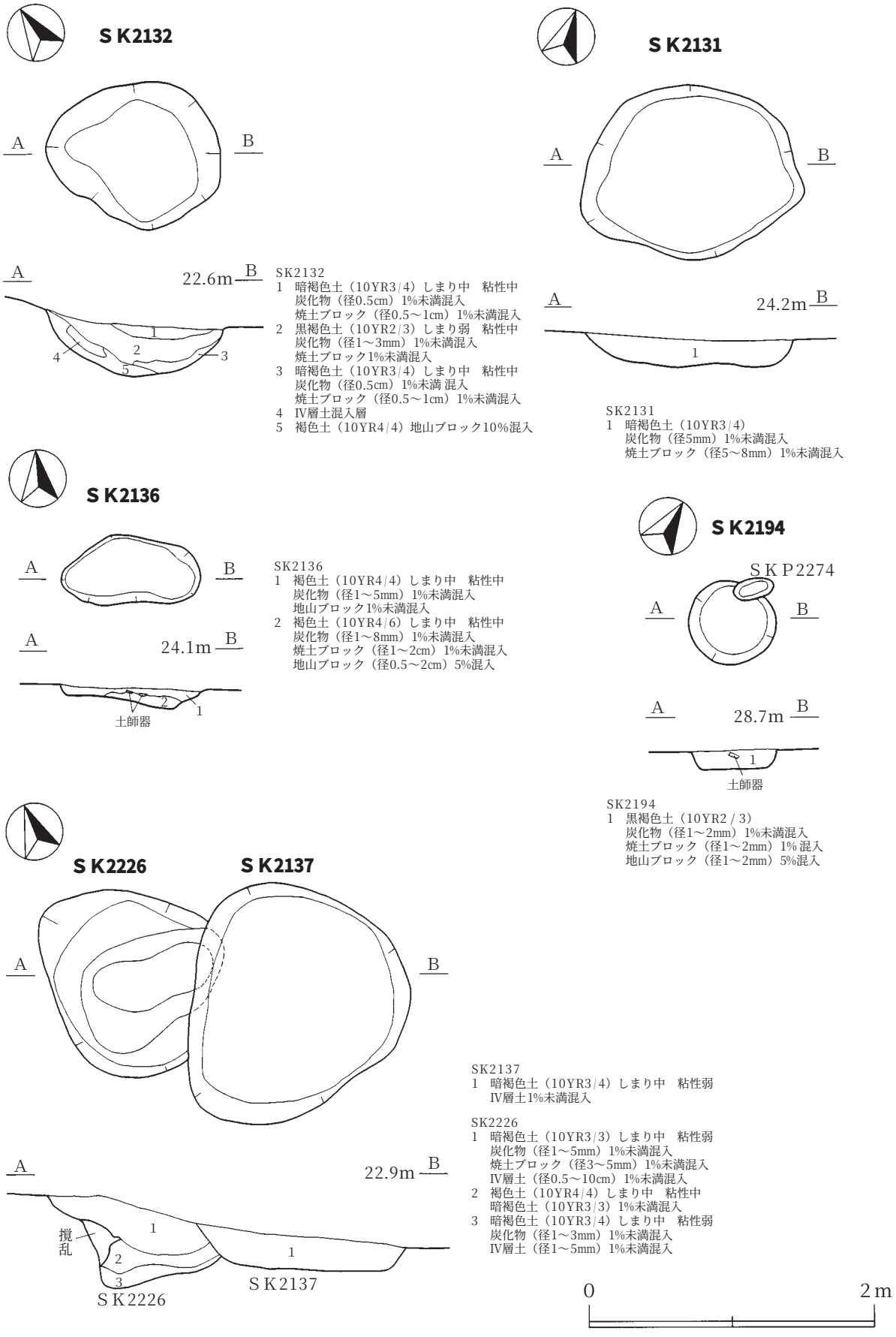
第156図　ＳＫ2140土坑（１）

ＳＫ2140

SK2140
1a　黒褐色土（10YR2/3）しまり弱　粘性弱
　　焼土ブロック１％未満混入
1b　暗褐色土（10YR3/3）しまり弱　粘性弱
　　炭化物１％未満混入
1c　暗褐色土（10YR3/4）しまり弱　粘性弱
　　炭化物1%未満混入
　　焼土ブロック１％未満混入
1d　暗褐色土（10YR3/4）しまり弱　粘性弱
2a　暗褐色土（10YR3/4）しまり中　粘性弱
　　炭化物（径1～8mm）1%混入
　　焼土ブロック（径3～6mm）1%混入
　　地山ブロック（径0.5～1cm）1%混入
2b　褐色土（10YR4/4）しまり中　粘性中
　　焼土ブロック（径1～2cm）1%混入
　　暗褐色土10%混入
3a　暗褐色土（10YR3/4）しまり中　粘性弱
　　炭化物（径1～8mm）1%混入
　　焼土ブロック(径3～6mm）1%混入
　　地山ブロック（径0.5～1cm）1%混入
3b　暗褐色土（10YR3/4）
3c　暗褐色土（10YR3/4）しまり中　粘性弱
　　黒褐色土10%混入
4　　褐色土（10YR4/6）しまり中　粘性弱

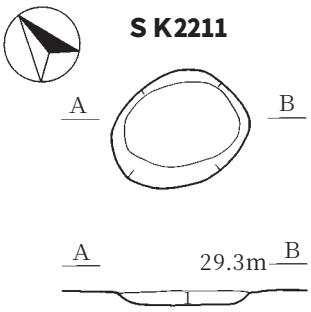


第157図　ＳＫ2140土坑（2）



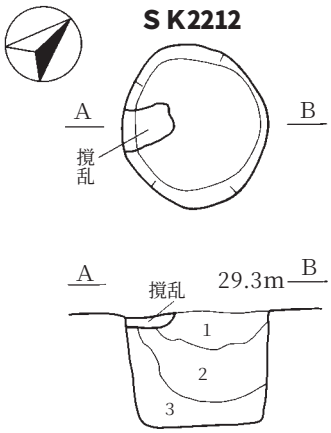
第158図　S K2131・2132・2136・2137・2194・2226土坑

S K2211



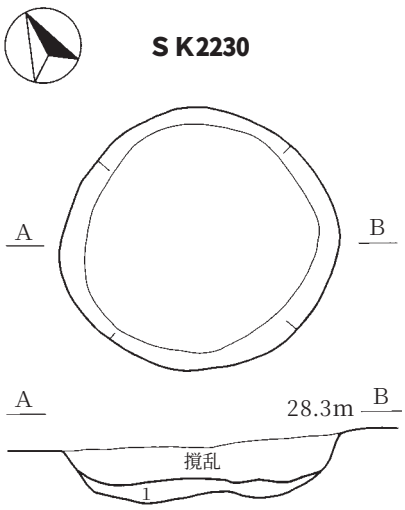
SK2211
1　褐色土（10YR4/6）しまり弱　粘性強
　焼土ブロック（径5cm）10%混入
　地山ブロック（径0.5～3cm）10%混入

S K2212



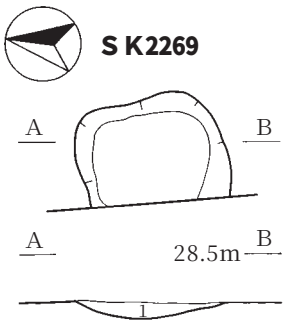
SK2212
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性弱
　焼土ブロック（径2～5mm）1%未満混入
　地山ブロック（径0.1～1cm）10%混入
2　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径0.5～5cm）1%混入
　焼土ブロック（径0.1～2cm）1% 混入
　地山ブロック（径0.1～6cm）10%混入
3　褐色土（10YR4/6）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径0.1～5cm）1%混入

S K2230



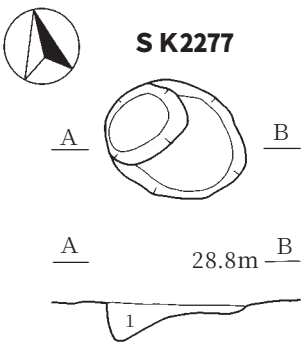
SK2230
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性弱
　焼土ブロック（2～3mm）1%
　地山ブロック（2～3mm）2%混入

S K2269



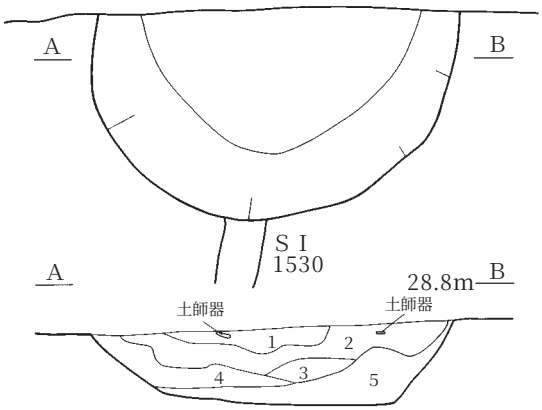
SK2269
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり中　粘性中
　炭化物（径1～2mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径2～5mm）1%未満混入
　地山ブロック（径1～2mm）1%混入

S K2277



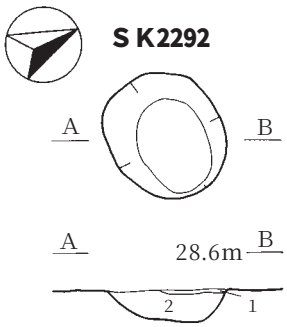
SK2277
1　黒褐色（10YR2/3）しまり中　粘性中
　地山ブロック3%混入

S K2276



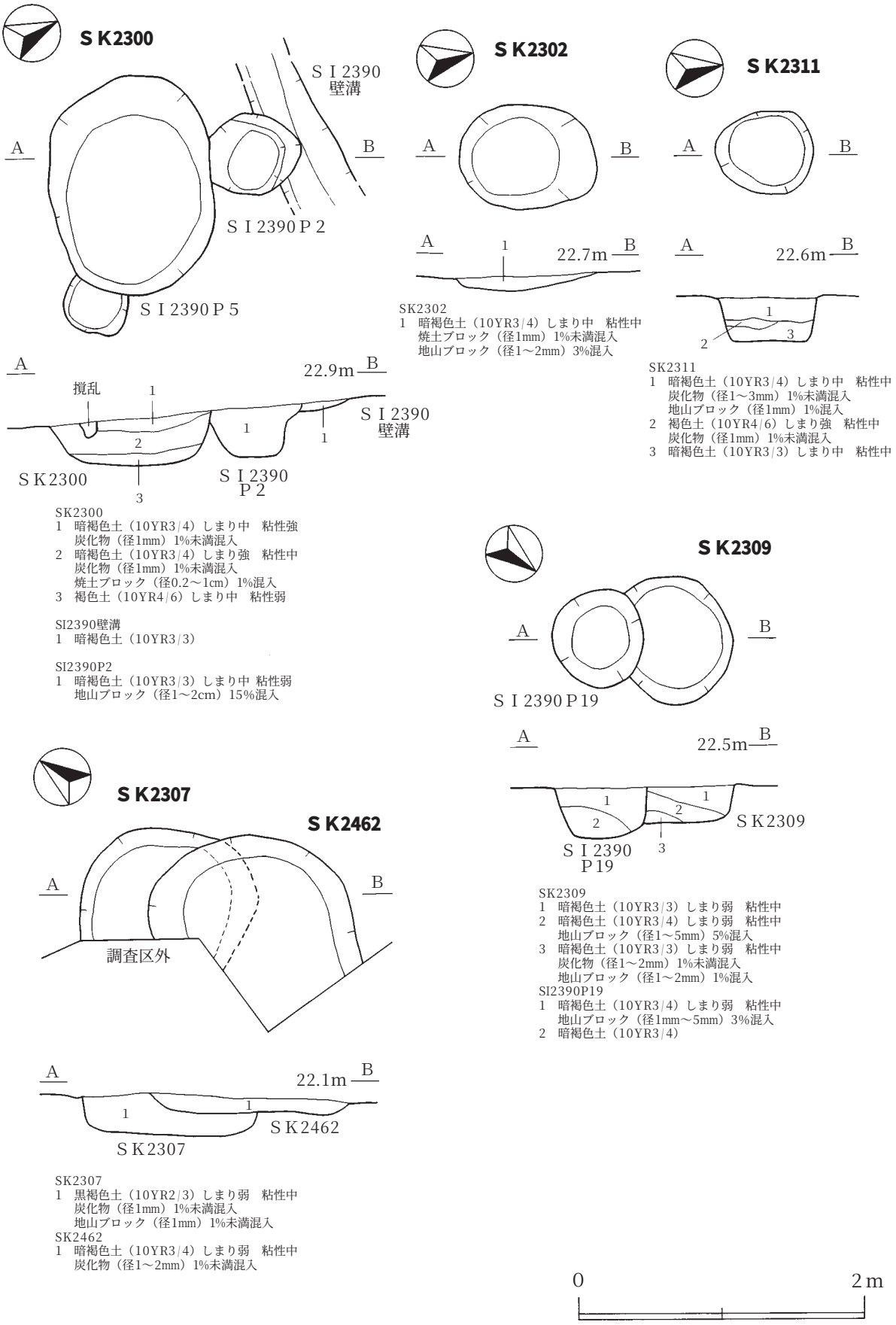
SK2276
1　黒色土（10YR2/1）しまり弱　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径1mm）1%混入
2　黒褐色土（10YR2/2）しまり弱　粘性弱
　炭化物（径1～2mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径1～2mm）1%未満混入
3　黒褐色土（10YR2/2）しまり中　粘性弱
　炭化物（径1～2mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径2～5mm）1%未満混入
　地山ブロック5%混入
4　黒褐色土（10YR2/2）しまり中　粘性中
　地山ブロック1%混入
5　黒褐色土（10YR2/2）しまり中　粘性中
　地山ブロック2%混入

S K2292



SK2292
1　褐色土（10YR4/6）しまり強　粘性なし
　炭化物（径1mm）1%未満混入
2　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性中
　炭化物（径1mm）１%未満混入
　焼土ブロック（径1～2mm）1%混入
　地山ブロック（径1～3cm）10%混入

第159図　S K2211・2212・2230・2269・2276・2277・2292土坑



SK2300
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり中　粘性強
　炭化物（径1mm）1%未満混入
2　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性中
　炭化物（径1mm）1%未満混入
　焼土ブロック（径0.2～1cm）1%混入
3　褐色土（10YR4/6）しまり中　粘性弱

SI2390壁溝
1　暗褐色土（10YR3/3）

SI2390P2
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり中 粘性弱
　地山ブロック（径1～2cm）15%混入

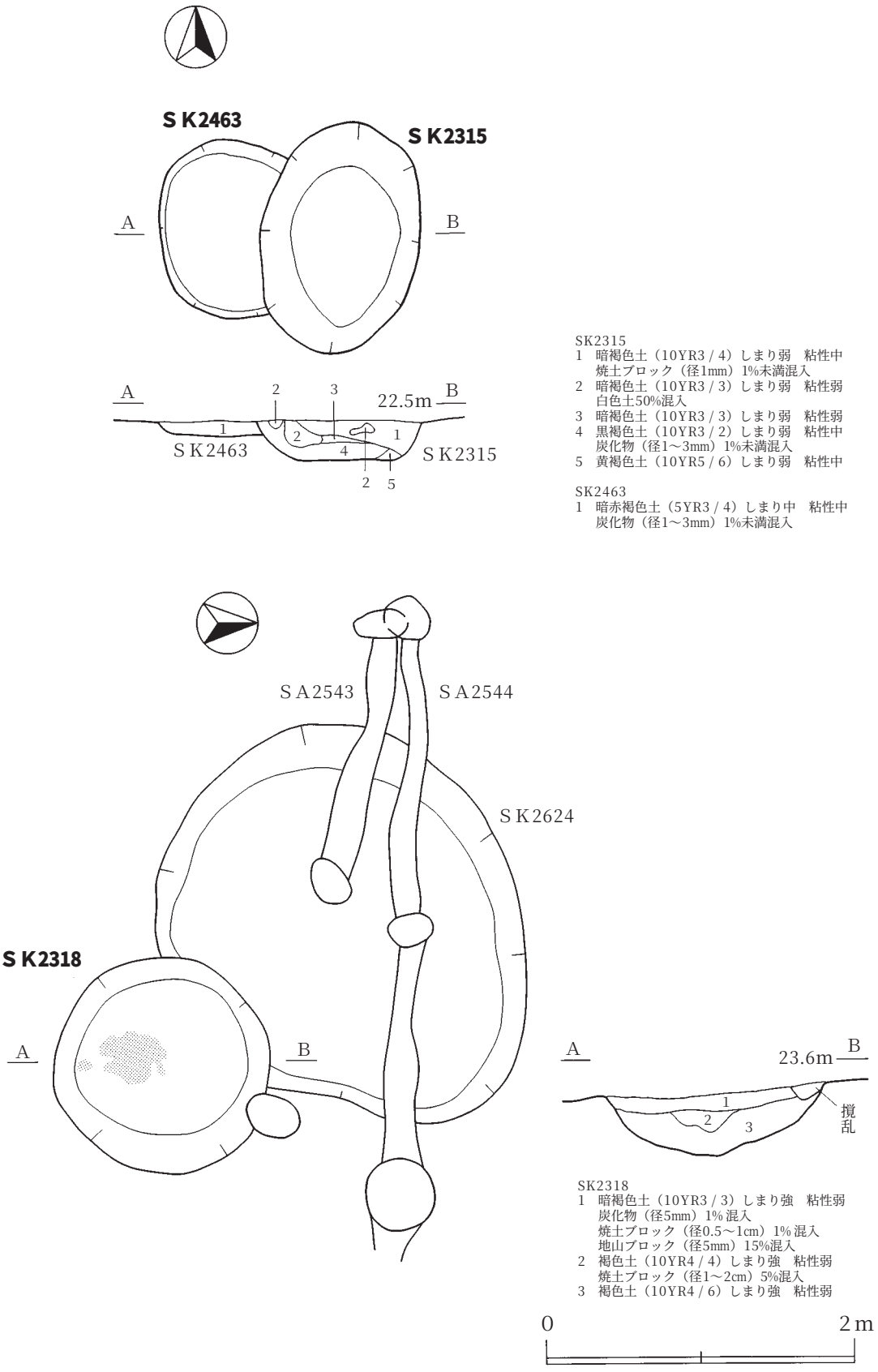
SK2302
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり中　粘性中
　焼土ブロック（径1mm）1%未満混入
　地山ブロック（径1～2mm）3%混入

SK2311
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり中　粘性中
　炭化物（径1～3mm）1%未満混入
　地山ブロック（径1mm）1%混入
2　褐色土（10YR4/6）しまり強　粘性中
　炭化物（径1mm）1%未満混入
3　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性中

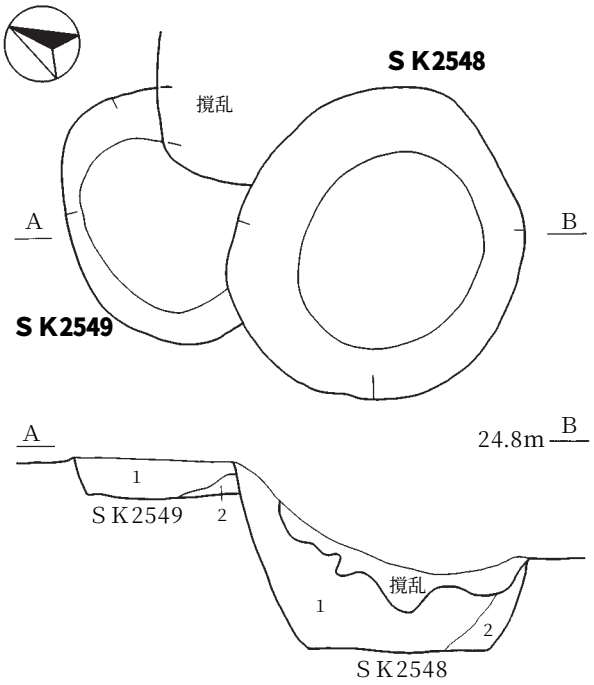
SK2309
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり弱　粘性中
2　暗褐色土（10YR3/4）しまり弱　粘性中
　地山ブロック（径1～5mm）5%混入
3　暗褐色土（10YR3/3）しまり弱　粘性中
　炭化物（径1～2mm）1%未満混入
　地山ブロック（径1～2mm）1%混入
SI2390P19
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり弱　粘性中
　地山ブロック（径1mm～5mm）3%混入
2　暗褐色土（10YR3/4）

SK2307
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり弱　粘性中
　炭化物（径1mm）1%未満混入
　地山ブロック（径1mm）1%未満混入
SK2462
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり弱　粘性中
　炭化物（径1～2mm）1%未満混入

第160図　S K2300・2302・2307・2309・2311・2462土坑

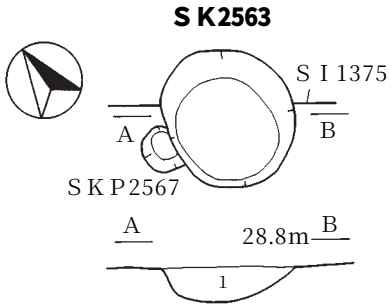


第161図　S K2315・2318・2463土坑

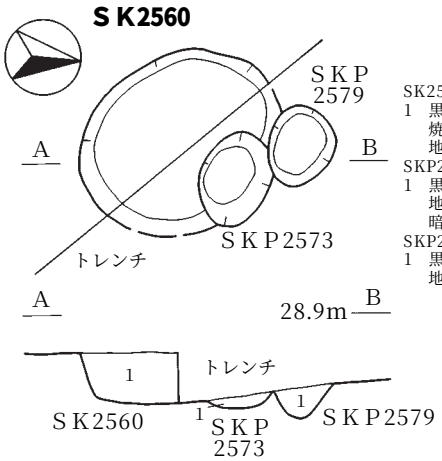


SK2548
1　褐色土（10YR4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径5mm）1%未満混入
　地山ブロック10%混入
2　褐色土（7.5YR4/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径0.5mm）1%混入
　褐色土（10YR4/4）30%混入
　白色土1%未満混入

SK2549
1　褐色土（10YR4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径0.5cm）3%混入
　地山ブロック（径0.5cm）5%混入
2　褐色土（10YR4/4）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径0.5cm）40%混入



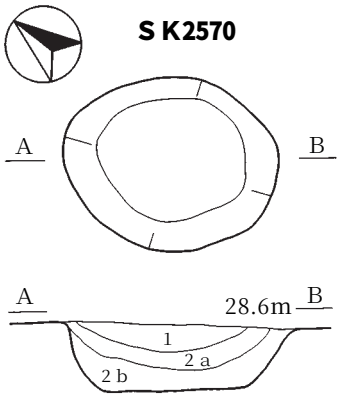
SK2563
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径2～4mm）2%混入
　焼土ブロック（径3～6mm）1%混入
　地山ブロック(径0.1～2cm)5%混入



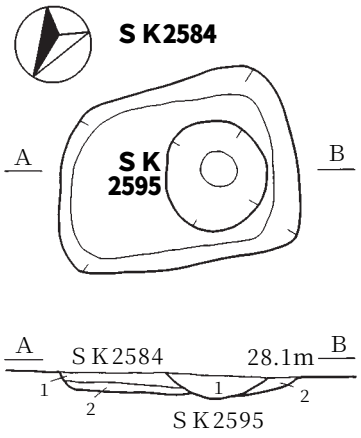
SK2560
1　黒色土（10YR2/1）しまり弱　粘性弱
　焼土ブロック1%未満混入
　地山ブロック1%混入

SKP2573
1　黒色土（10YR2/1）しまり弱　粘性弱
　地山ブロック1%未満混入
　暗褐色土1%未満混入

SKP2579
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり中　粘性中
　地山ブロック1%未満混入



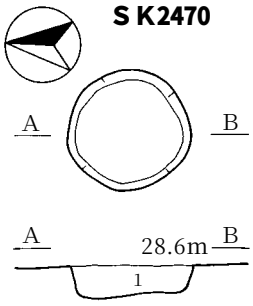
SK2570
1　　黒褐色土（10YR2/2）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～2mm）1%混入
　地山ブロック（径0.8～1.2cm）7%混入
2a　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～2mm）1%混入
　焼土ブロック（径1～2mm）10%混入
　地山ブロック（径0.6～1.5mm）7%混入
2b　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～3mm）10%混入
　地山ブロック（径0.7～1.2cm）5%混入



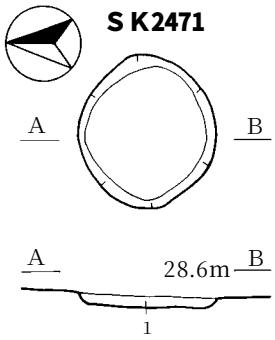
SK2584
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性弱
　炭化物1%未満混入
　地山ブロック（径3～5mm）1%混入
2　褐色土（10YR4/4）しまり強　粘性弱
　地山ブロック（径1～5mm）1%混入

SK2595
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性弱
　炭化物1%未満混入
　地山ブロック（径1mm）1%未満混入

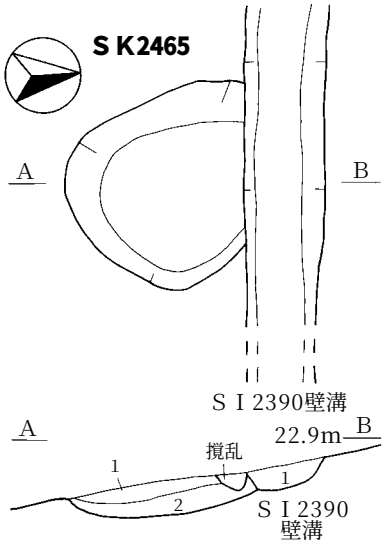
第162図　ＳＫ2548・2549・2560・2563・2570・2584・2595土坑



SK2470
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性中
　地山ブロック（径1～2mm）1%混入
　焼土ブロック（径1～2mm）1%混入
　炭化物ブロック（径1～2mm）1%混入

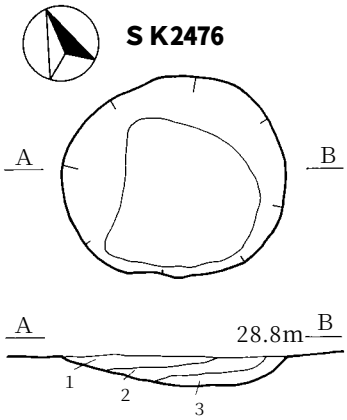


SK2471
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり弱　粘性中
　地山ブロック（径1～2mm）1%混入

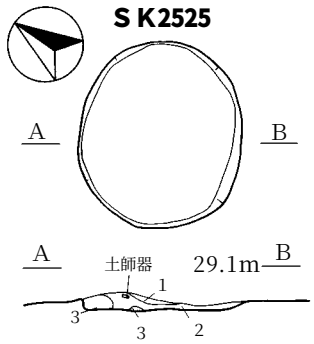


SI2390壁溝
1　暗褐色土（10YR3/3）

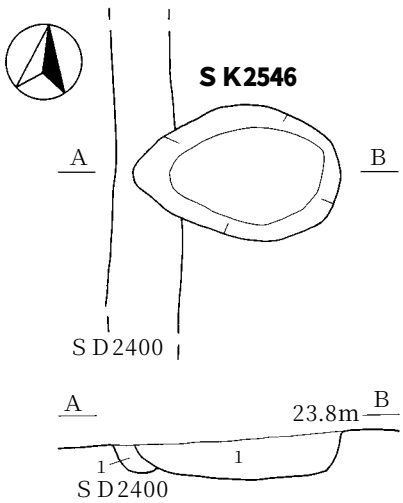
SK2465
1　暗褐色土（10YR3/3）　しまり弱　粘性中
　地山ブロック（径0.1～1cm）3%混入
2　黄褐色土（10YR5/8）しまり強　粘性中



SK2476
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性弱
　地山ブロック（径1～3mm）2%混入
2　黒褐色土（10YR2/2）しまり弱　粘性中
　地山ブロック（径1～3mm）1%混入
3　暗褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性中
　地山ブロック（径1～3mm）2%混入

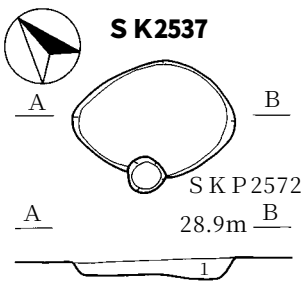


SK2525
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり弱　粘性弱
2　黒褐色土（10YR2/3）しまり弱　粘性弱
　焼土ブロック混入
3　褐色土（10YR4/6）しまり弱　粘性なし
　焼土ブロック10%混入

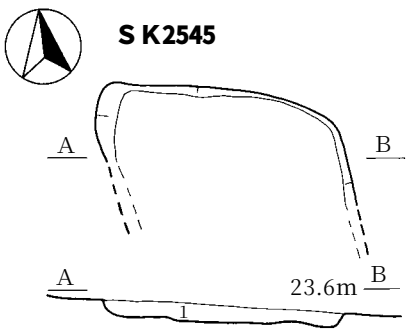


SK2546
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり強　粘性弱
　炭化物（径5mm）1%混入
　地山ブロック（径0.1～1cm）40%混入

SD2400
1　にぶい黄褐色土（10YR4/3）しまり強 粘性弱
　炭化物（径5mm）1%混入
　地山ブロック（径0.5～1cm）25%混入

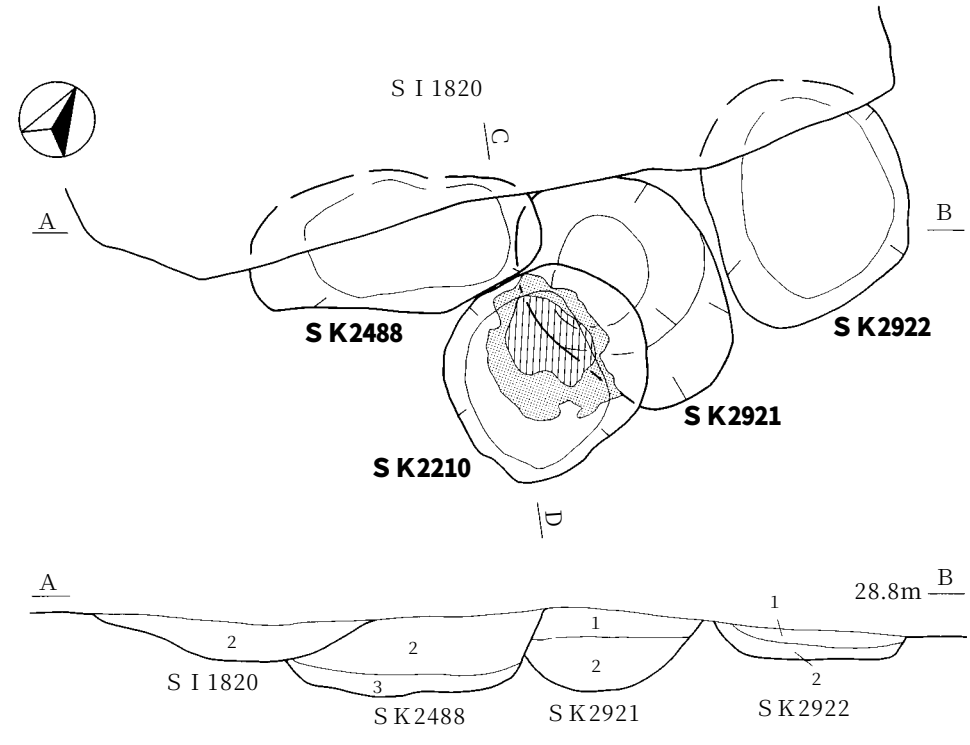


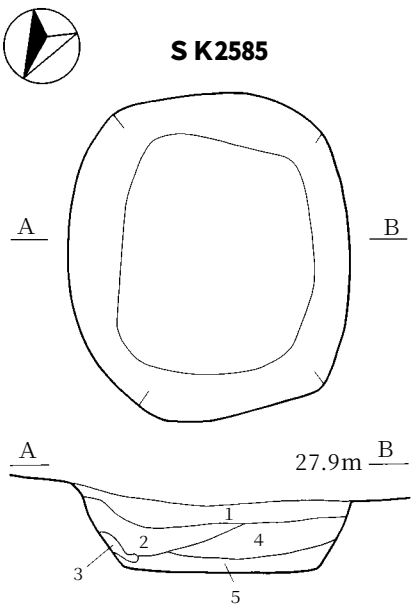
SK2537
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性中
　地山ブロック2%混入



SK2545
1　褐色土（10YR4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径5mm）1%混入
　地山ブロック（径0.5～1cm）20%混入

第163図　S K2465・2470・2471・2476・2525・2537・2545・2546土坑





SI1820
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり中　粘性中
　炭化物（径1～2mm）1%混入
　焼土ブロック（径1～2mm）1%混入
　地山ブロック（径0.5～1cm）10%混入
2　黒褐色土（10YR2/3）しまり弱　粘性弱
　炭化物（径2～5mm）1%混入
　焼土ブロック（径1～2mm）1%混入
　地山ブロック（径0.3～12mm）10%混入
3　にぶい黄褐色土（10YR4/3）しまり中　粘性中
　炭化物（径1mm以下）1%混入
　地山ブロック（径1～1.2mm）30%混入
4　黄褐色土（10ＹR5/6）しまり強　粘性中

SK2488
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性中
　地山ブロック（径1~ 1.5cm）20%混入
2　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%混入
　焼土ブロック（径1mm）1%混入
　地山ブロック（径1mm）1%混入
3　暗褐色土（10YR3/4）

SK2585
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性弱
　焼土ブロック1%未満混入
　地山ブロック（径1～3mm）1%混入
2　暗褐色土（10YR3/4）しまり中　粘性弱
　焼土ブロック1%未満混入
　地山ブロック5%混入
3　褐色土（10ＹR4/6）しまり強　粘性弱
4　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性弱
　炭化物1%未満混入
　地山ブロック1%（径1～3mm）混入
5　暗褐色土（10YR3/4）しまり中　粘性弱
　地山ブロック1%混入

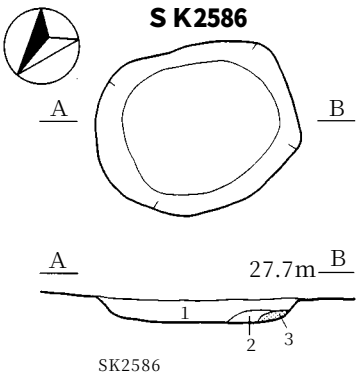
SK2921
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり弱　粘性弱
　炭化物（径1~ 2mm）1%混入
　焼土ブロック（径1~ 2mm）2%混入
　地山ブロック（径1mm）1%混入
2　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性中
　炭化物（径1~ 2mm）1%混入
　地山ブロック（径2～10mm）3%混入

SK2922
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1mm）1%混入
　焼土ブロック（径1mm）1%混入
　地山ブロック（径2~ 5mm）3%混入
2　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径2~ 5mm）2%混入
　焼土ブロック（径2~ 5mm）2%混入
　地山ブロック（径2~ 10mm）5%混入

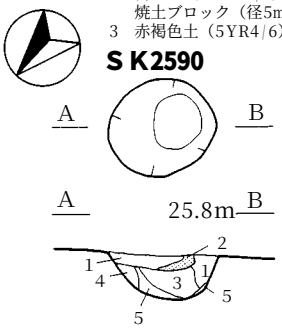
SK2210
1　赤褐色土（5YR4/6）
2　暗赤褐色土（5YR3/6）
3　褐色土（10YR4/4）しまり強　粘性中
　地山ブロック（径5~ 10mm）20%混入
4　暗褐色土（10YR3/4）
5　黒褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性中
　炭化物（径1mm）1%混入
　地山ブロック（径2~ 5mm）1%混入

0　2m

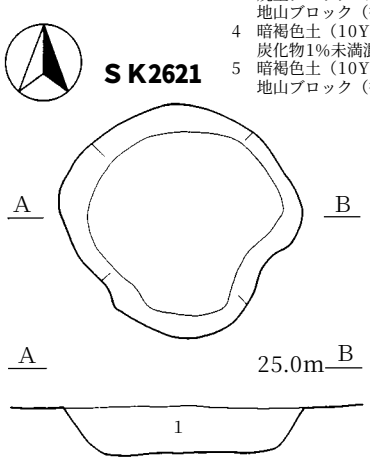
第164図　ＳＫ2210・2488・2585・2921・2922土坑



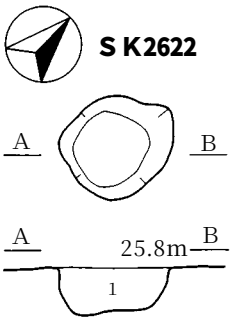
SK2586
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり中　粘性弱
　焼土ブロック（径1mm）1%混入
2　褐色土（10YR4/4）しまり弱　粘性弱
　焼土ブロック（径5mm）1%混入
3　赤褐色土（5YR4/6）しまり中　粘性中



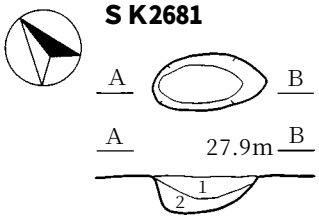
SK2590
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり中　粘性弱
　焼土ブロック2%混入
2　赤褐色土（5YR4/6）粘性なし
3　暗褐色土（10YR 3/3）しまり中 粘性なし
　焼土ブロック1%混入
　地山ブロック（径1～3mm）1%混入
4　暗褐色土（10YR3/4）しまり中　粘性なし
　炭化物1%未満混入
5　暗褐色土（10YR3/4）しまり中　粘性なし
　地山ブロック（径0.1～1cm）2%混入



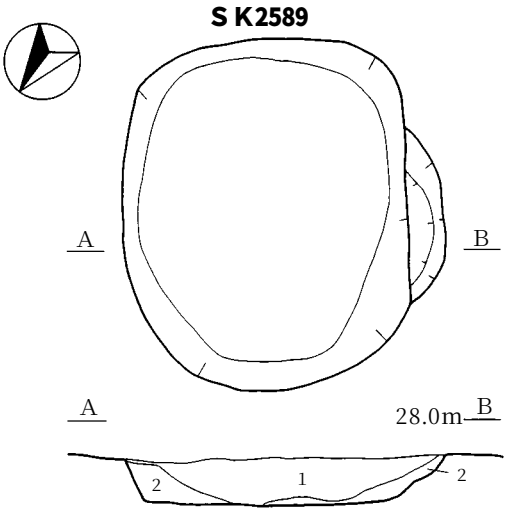
SK2621
1　暗褐色土（10YR3/4）



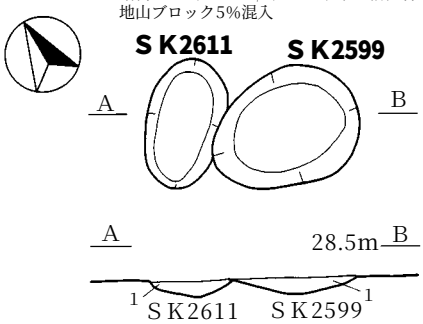
SK2622
1　褐色土（10YR4/6）しまり中　粘性中
　焼土ブロック（径0.5～1cm）1%未満混入
　地山ブロック（径1～5cm）1%混入



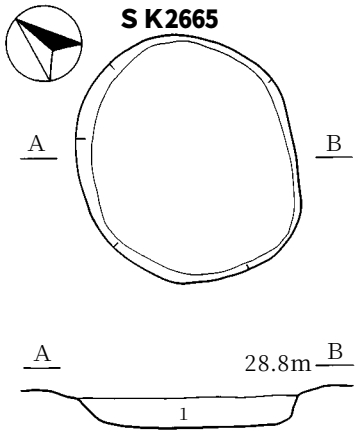
SK2681
1　黒褐色土（10YR3/2）しまり中　粘性弱
　地山ブロック2%混入
2　黒褐色土（10YR2/3）しまり中　粘性弱
　地山ブロック1%混入



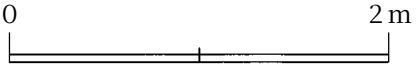
SK2589
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり中　粘性弱
　炭化物1%未満混入
　焼土ブロック1%未満混入
2　暗褐色土（10YR3/4）しまり中　粘性弱
　地山ブロック5%混入



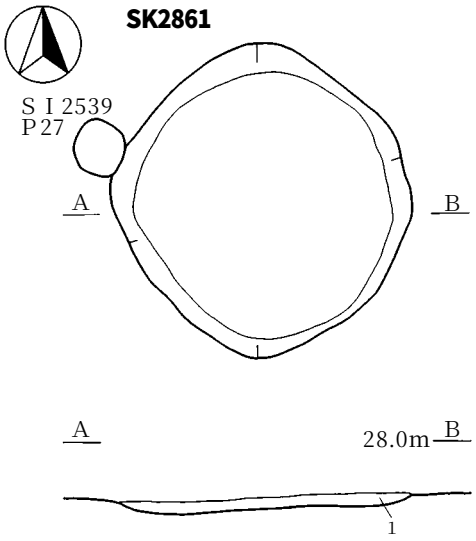
SK2599
1　暗褐色土（10YR3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径2～5mm）2%混入
　焼土ブロック（径3～7mm）7%混入
　地山ブロック（径2～5mm）2%混入
SK2611
1　黒褐色土（10YR2/3）しまり強　粘性弱
　炭化物（径1～3mm）2%混入
　焼土ブロック（径3～5mm）5%混入
　地山ブロック（径2mm）3%混入



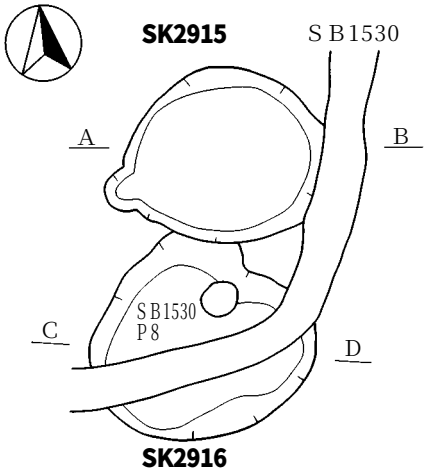
SK2665
1　黒褐色土（10YR2/2）しまり中　粘性中
　炭化物3%　地山ブロック2%混入

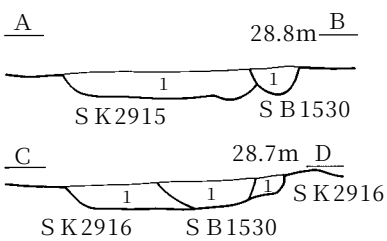


第165図　S K2586・2589・2590・2599・2611・2621・2622・2665・2681土坑



SK2861
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまり強　粘性弱
　　地山ブロック７%混入

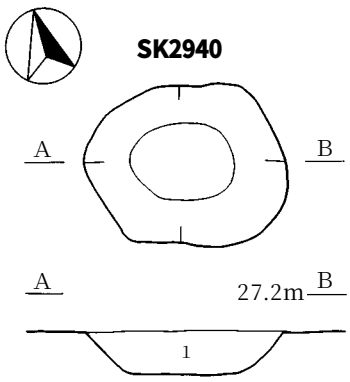




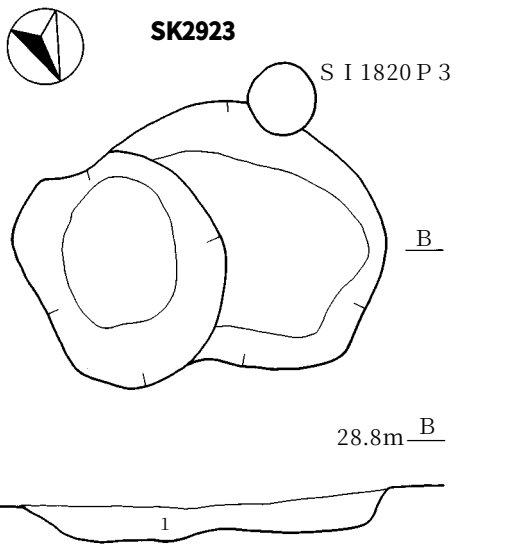
SB1530
1　暗褐色土(10YR3/4)しまり強　粘性弱
　　炭化物(径0.1～１cm)１%未満混入

SK2915
1　暗褐色土(10YR3/3)しまり強　粘性弱
　　炭化物(径１～５mm)１%混入
　　地山ブロック１%未満混入

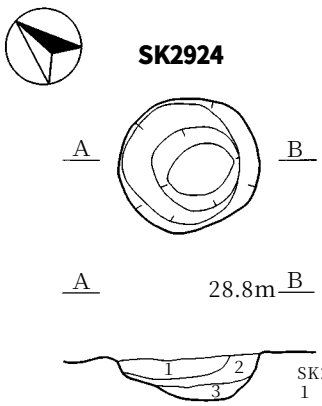
SK2916
1　褐色土(10YR4/4)しまり強　粘性弱



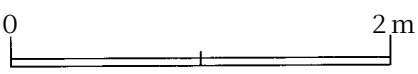
SK2940
1　黒褐色土(10YR3/2)　しまり強　粘性なし
　　炭化物(径２cm)３%混入
　　焼土ブロック(径１cm)１%混入
　　地山ブロック(径２cm)30%混入



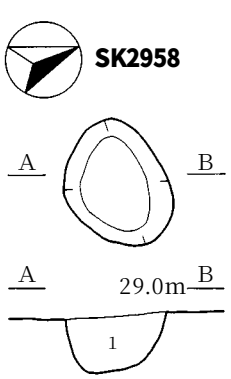
SK2923
1　暗褐色土(10YR3/3)　しまり中　粘性中
　　炭化物(径２～５mm)１%混入
　　焼土ブロック(径１～２mm)１%混入
　　地山ブロック(径３～10mm)10%混入



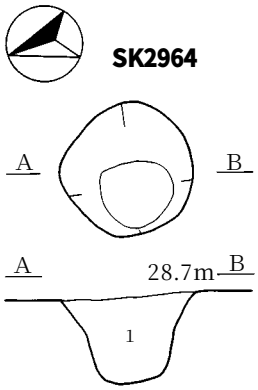
SK2924
1　黒褐色土(10YR3/2)　しまり中　粘性弱
　　炭化物(径１～５mm)１%混入
　　焼土ブロック(径0.5～１mm)１%未満
　　地山ブロック(径１～３mm)１%混入
2　暗褐色土(10YR3/3)　しまり中　粘性中
　　炭化物(径２～５mm)１%混入
　　焼土ブロック(径２～５mm)１%混入
　　地山ブロック(径４～10mm)１%混入
3　暗褐色土(10YR3/4)　しまり強　粘性中
　　炭化物(径１mm)１%未満混入
　　焼土ブロック(径１mm)１%未満混入
　　地山ブロック(径２～５mm)３%混入



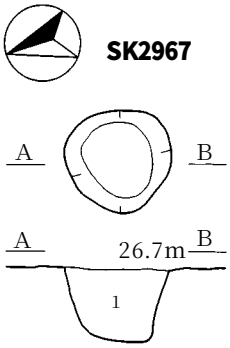
第166図　ＳＫ2861・2915・2916・2923・2924・2940土坑



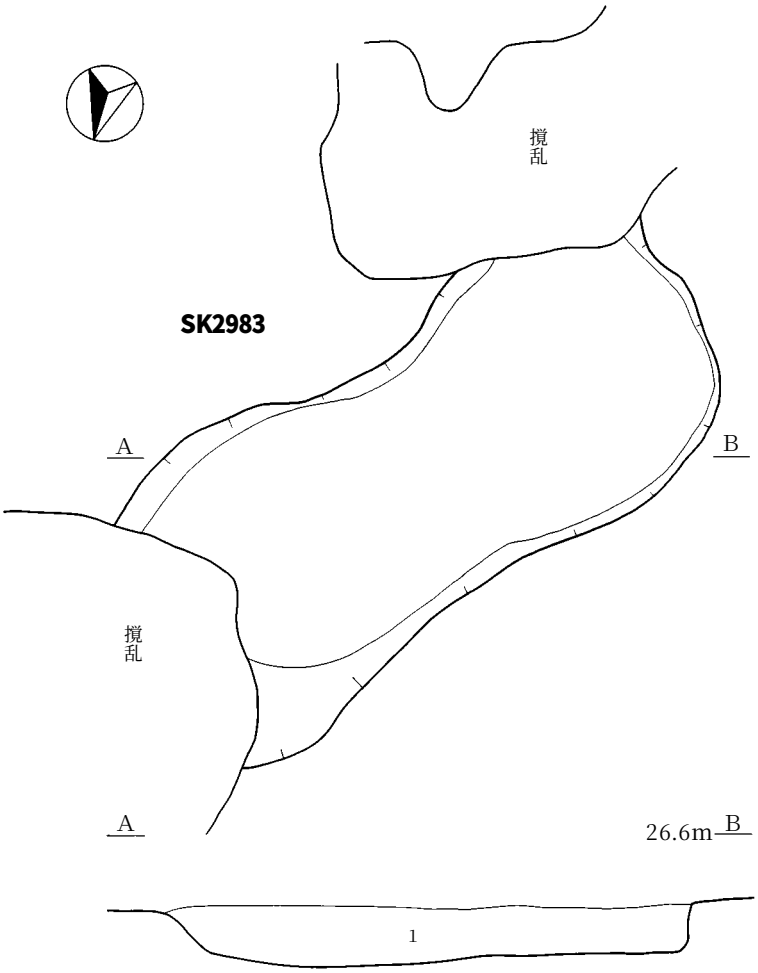
SK2958
1　黒褐色土(10YR2/3)　しまり強　粘性弱
　炭化物ブロック１%未満混入
　焼土ブロック１%未満混入
　地山ブロック１%混入



SK2964
1　暗褐色土（10YR3/4）しまり弱 粘性強
　炭化物（径１～３mm）１%未満混入



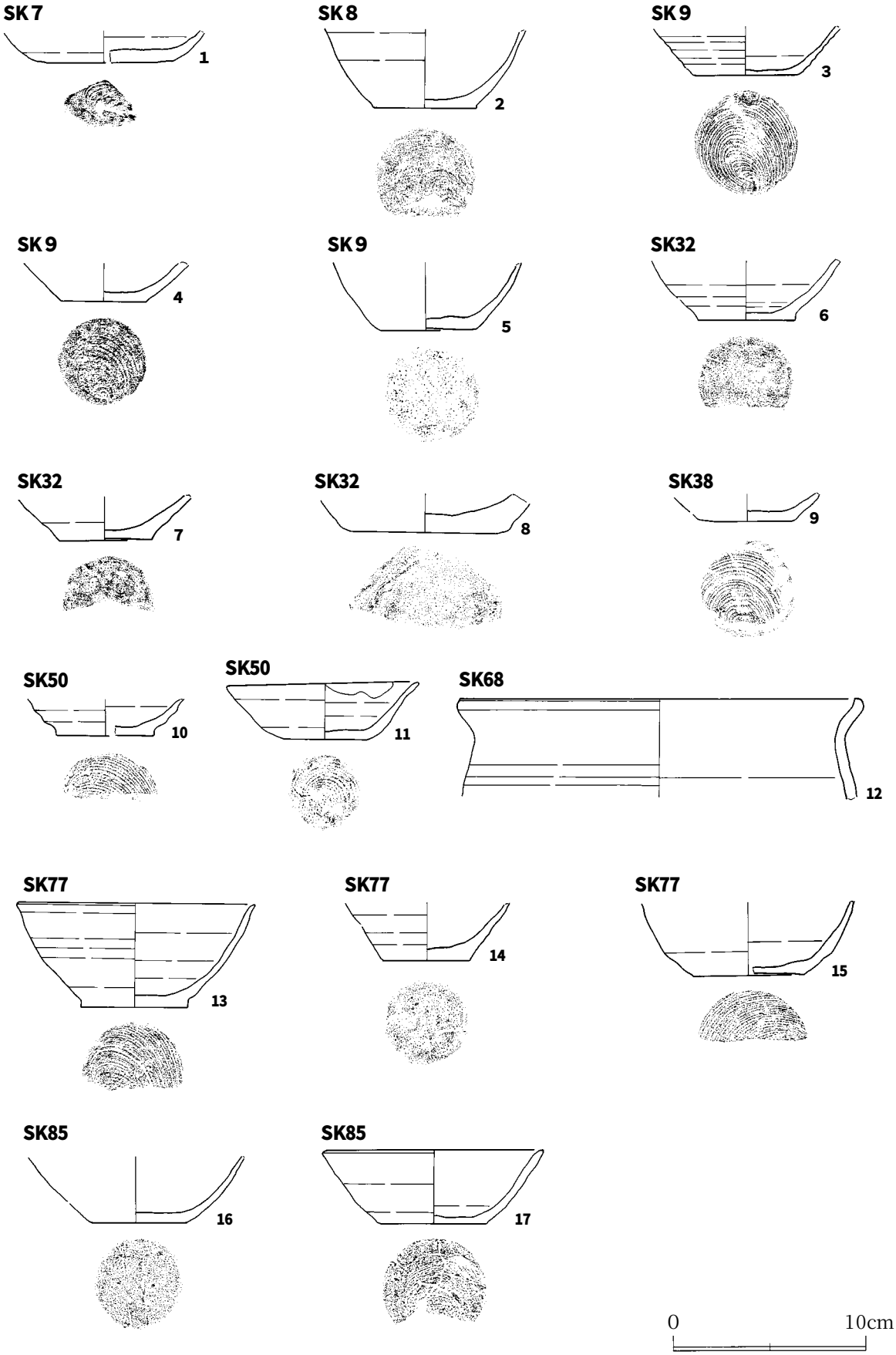
SK2967
1　暗褐色土(10YR3/4)　しまり強　粘性弱
　炭化物ブロック１%未満混入
　焼土ブロック１%未満混入
　地山ブロック５%混入



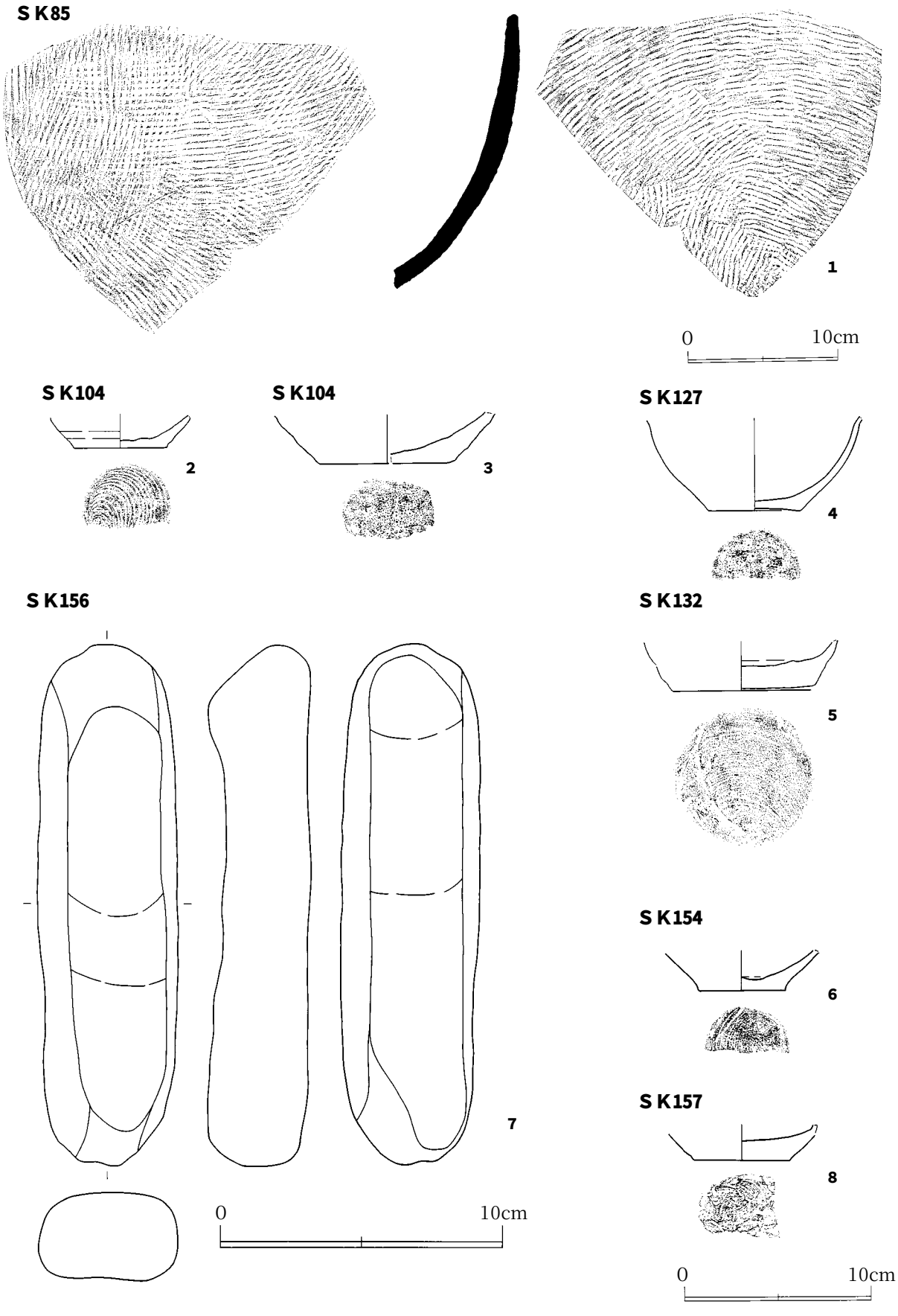
SK2983
1　褐色土(10YR4/4)　しまり強　粘性中
　炭化物３%　焼土ブロック１%混入

0　2m

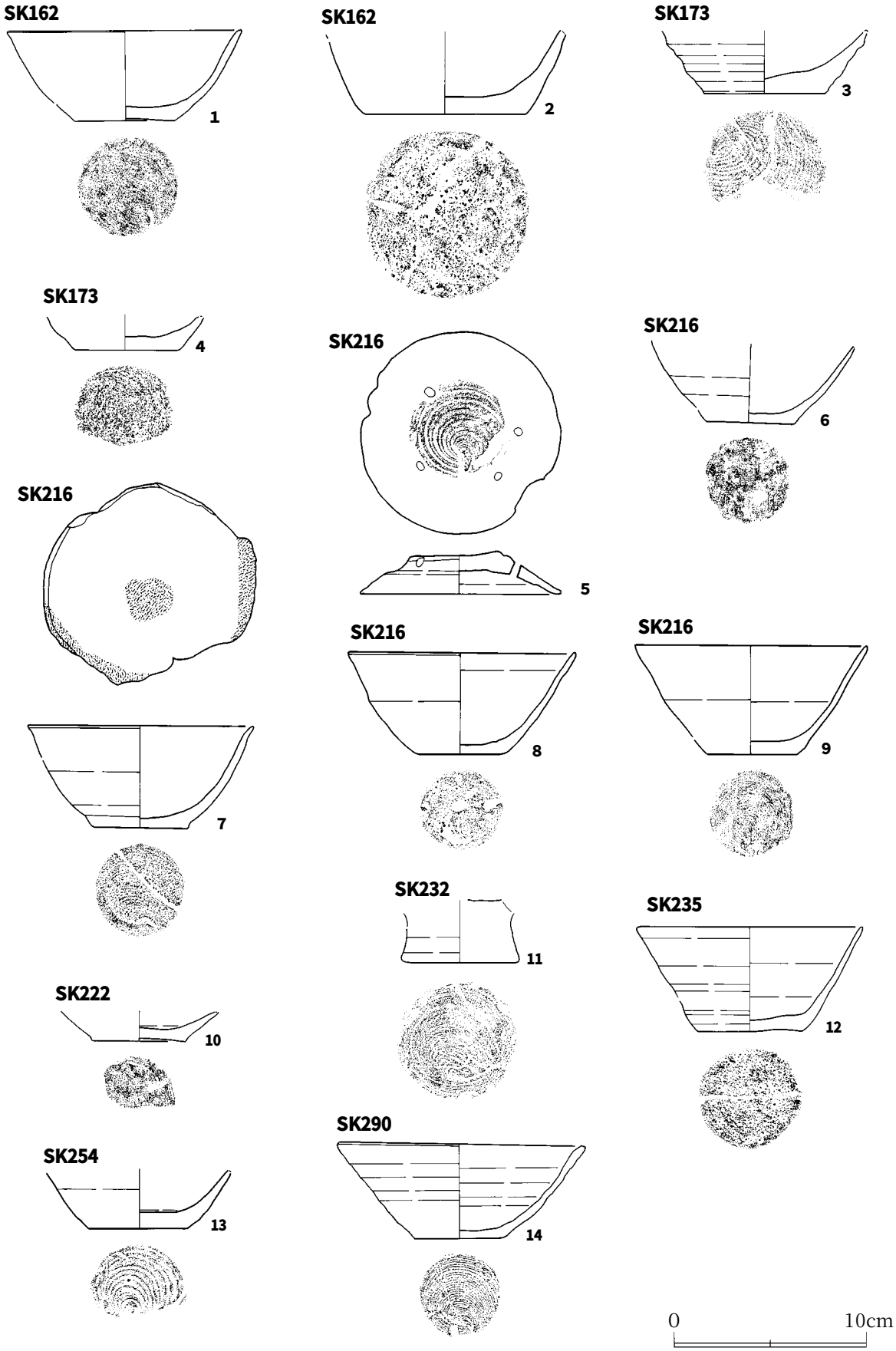
第167図　ＳＫ2958・2964・2967・2983土坑



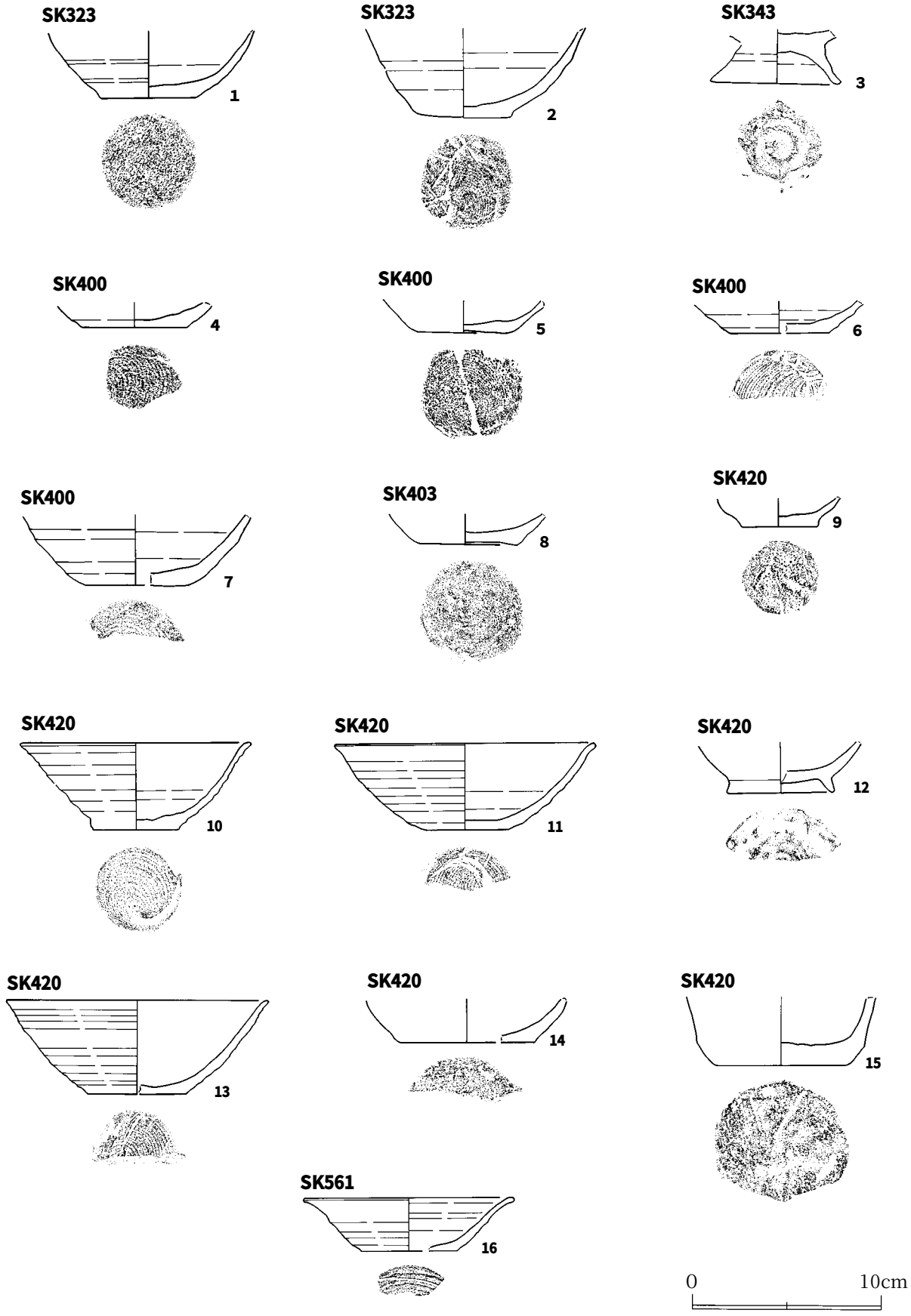
第168図　遺構内出土遺物（27）（ＳＫ７・８・９・32・38・50・68・77・85）



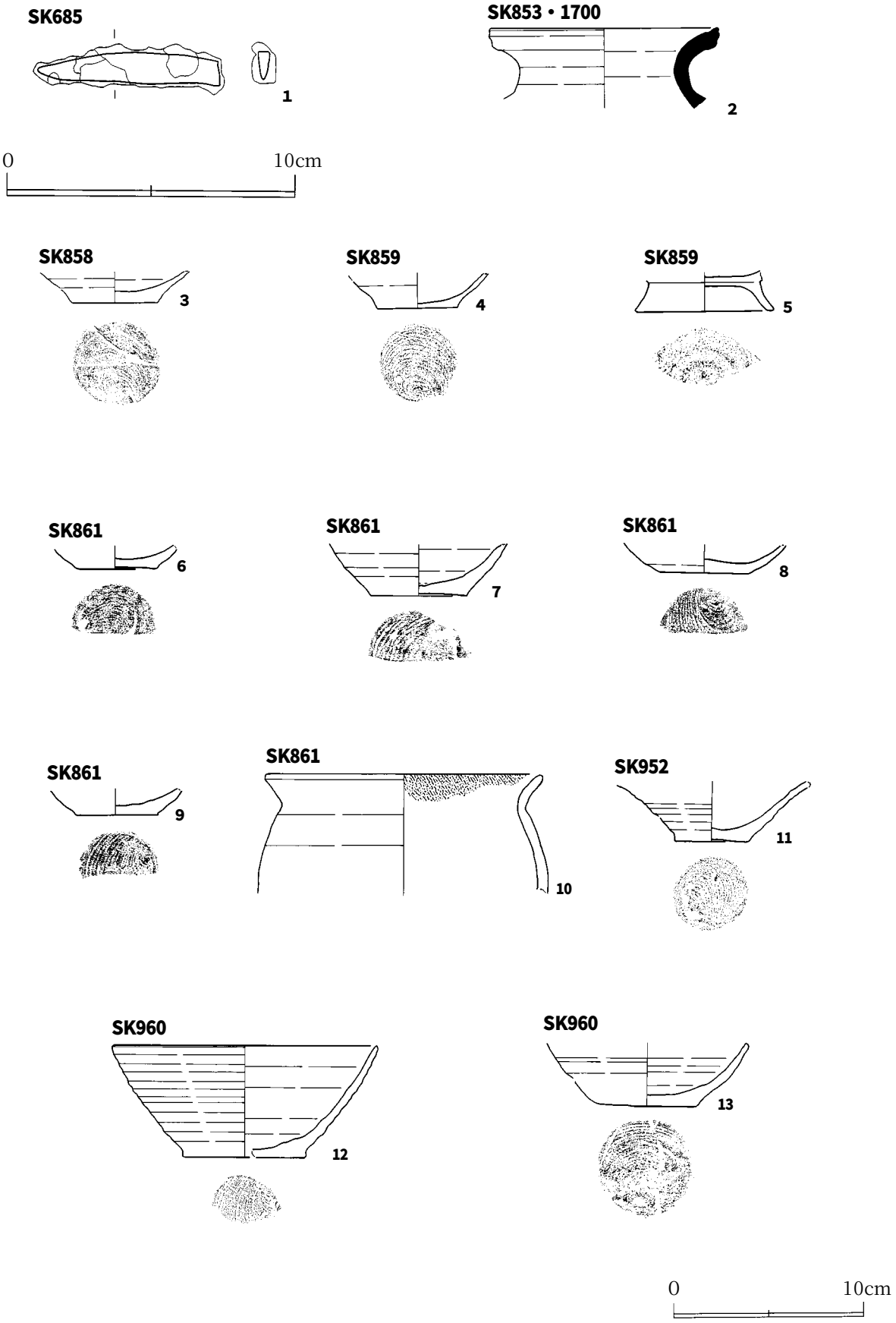
第169図　遺構内出土遺物（28）（ＳＫ85・104・127・132・154・156・157）



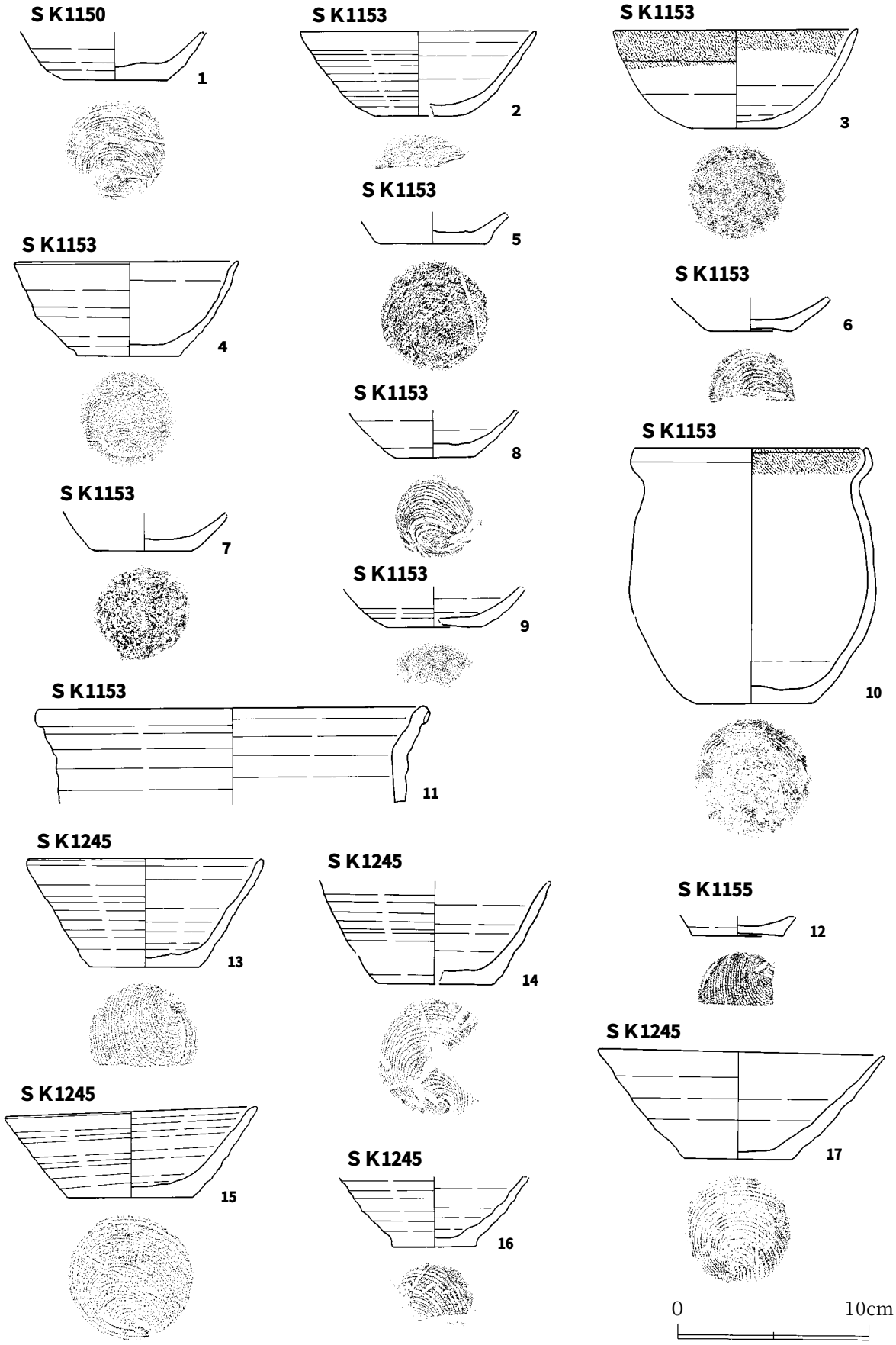
第170図　遺構内出土遺物（29）（ＳＫ162・173・216・222・232・235・254・290）



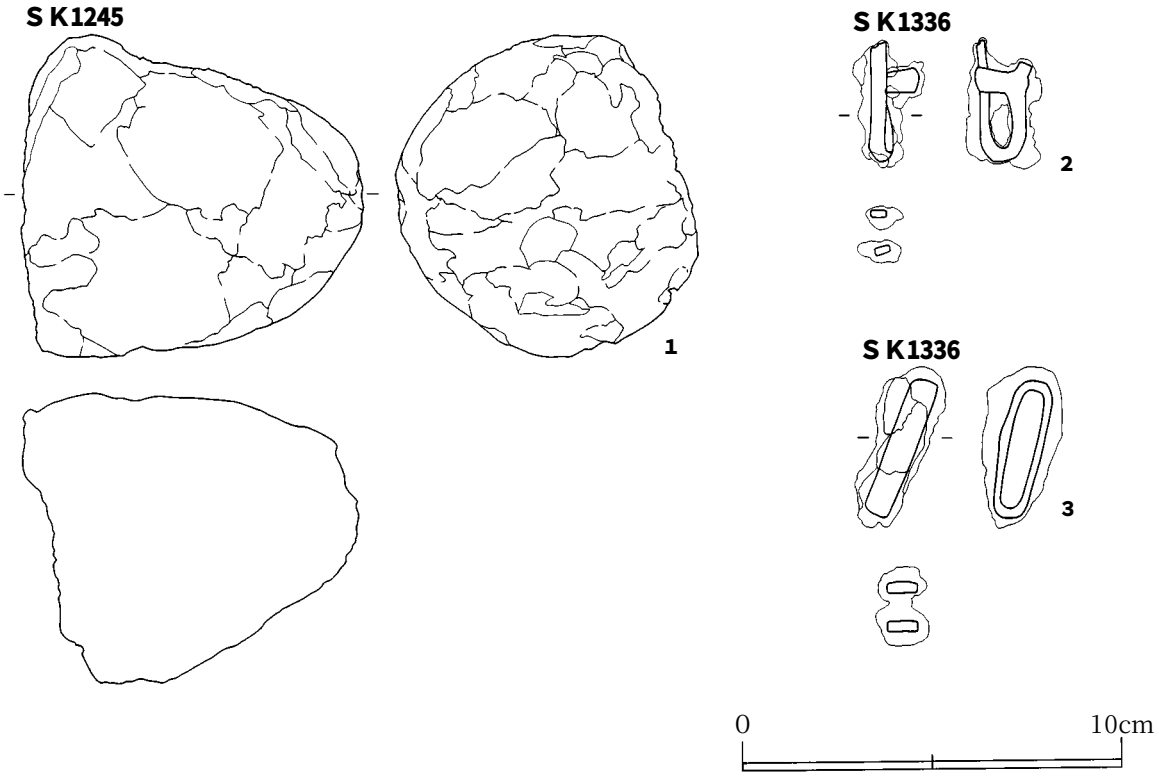
第171図　遺構内出土遺物（30）（ＳＫ323・343・400・403・420・561）

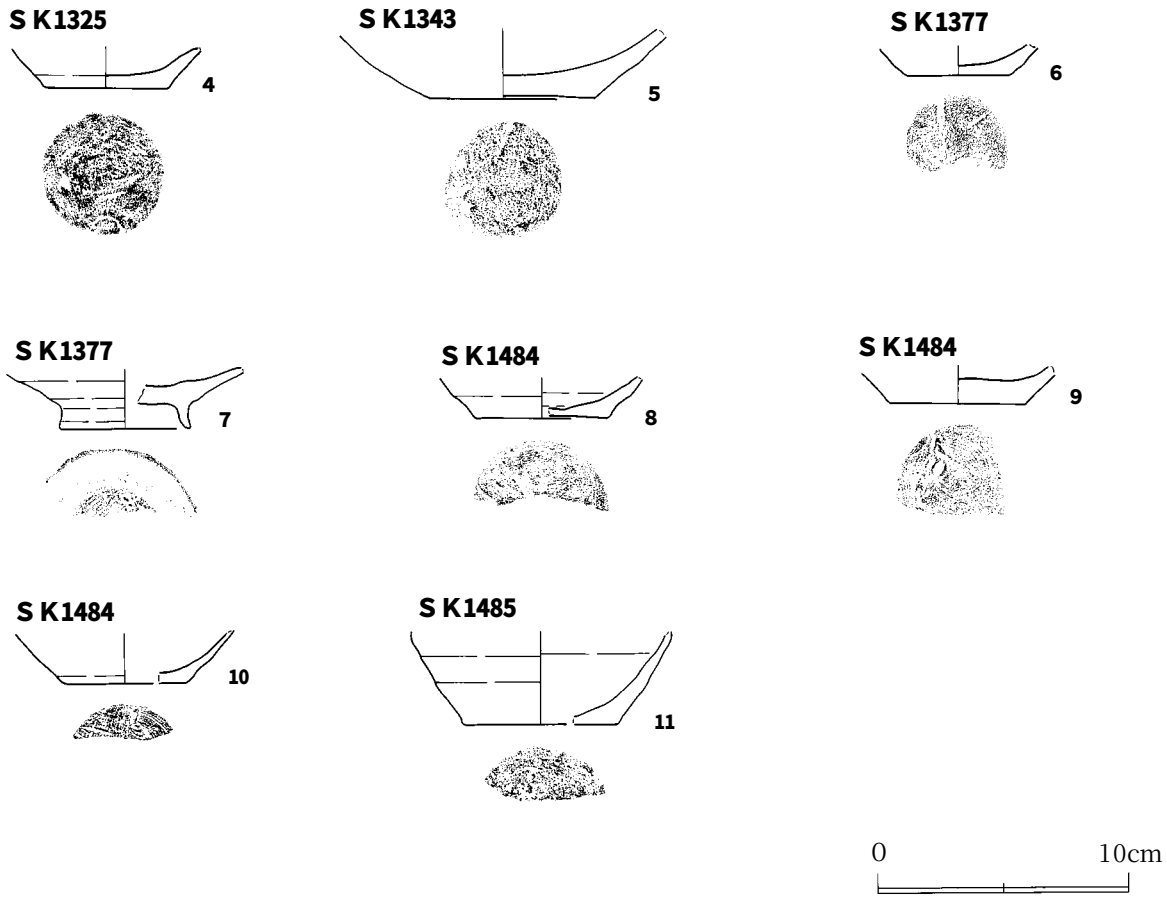


第172図　遺構内出土遺物（31）（ＳＫ685・853・858・859・861・952・960・1700）

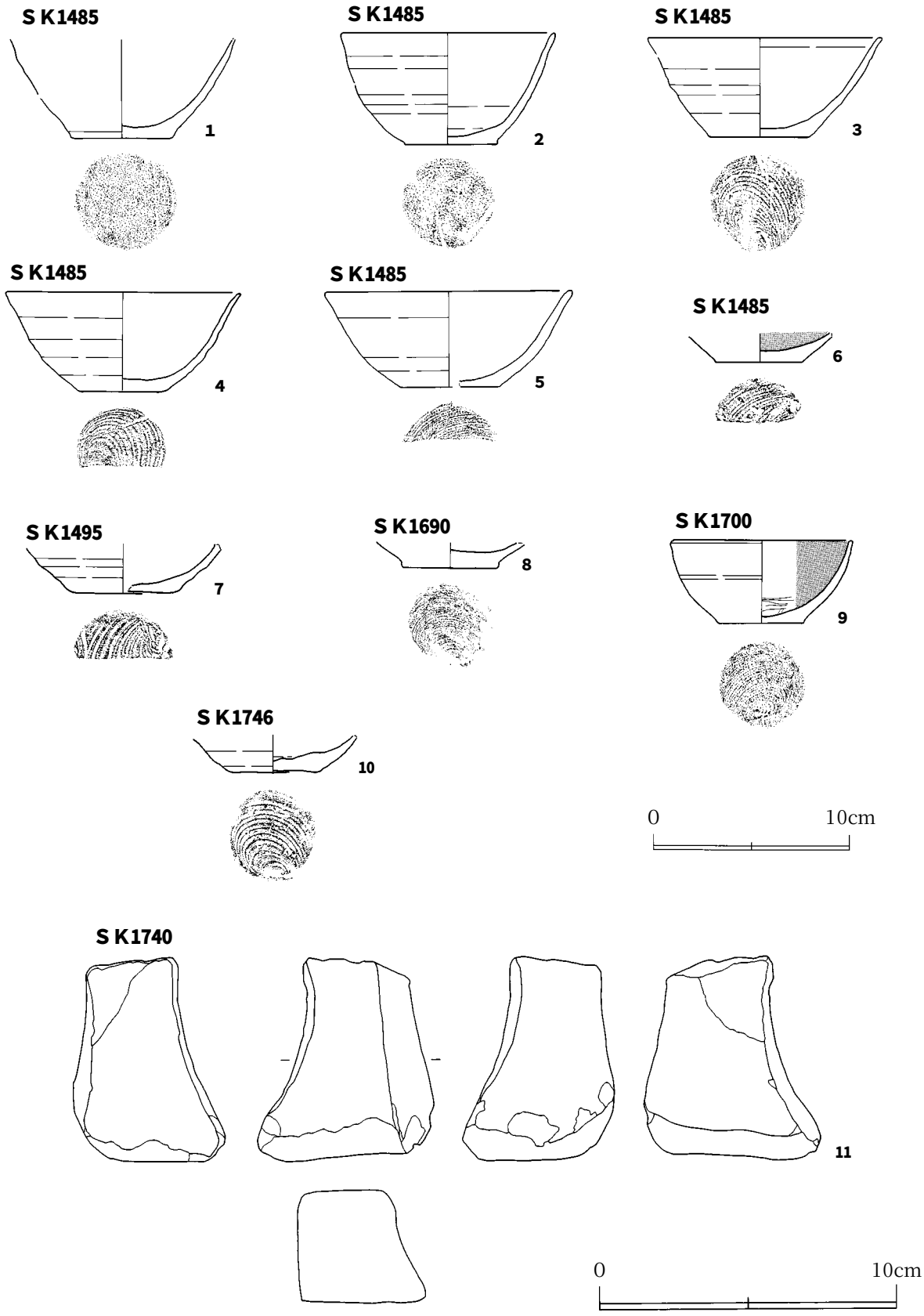


第173図　遺構内出土遺物（32）（ＳＫ1150・1153・1155・1245）

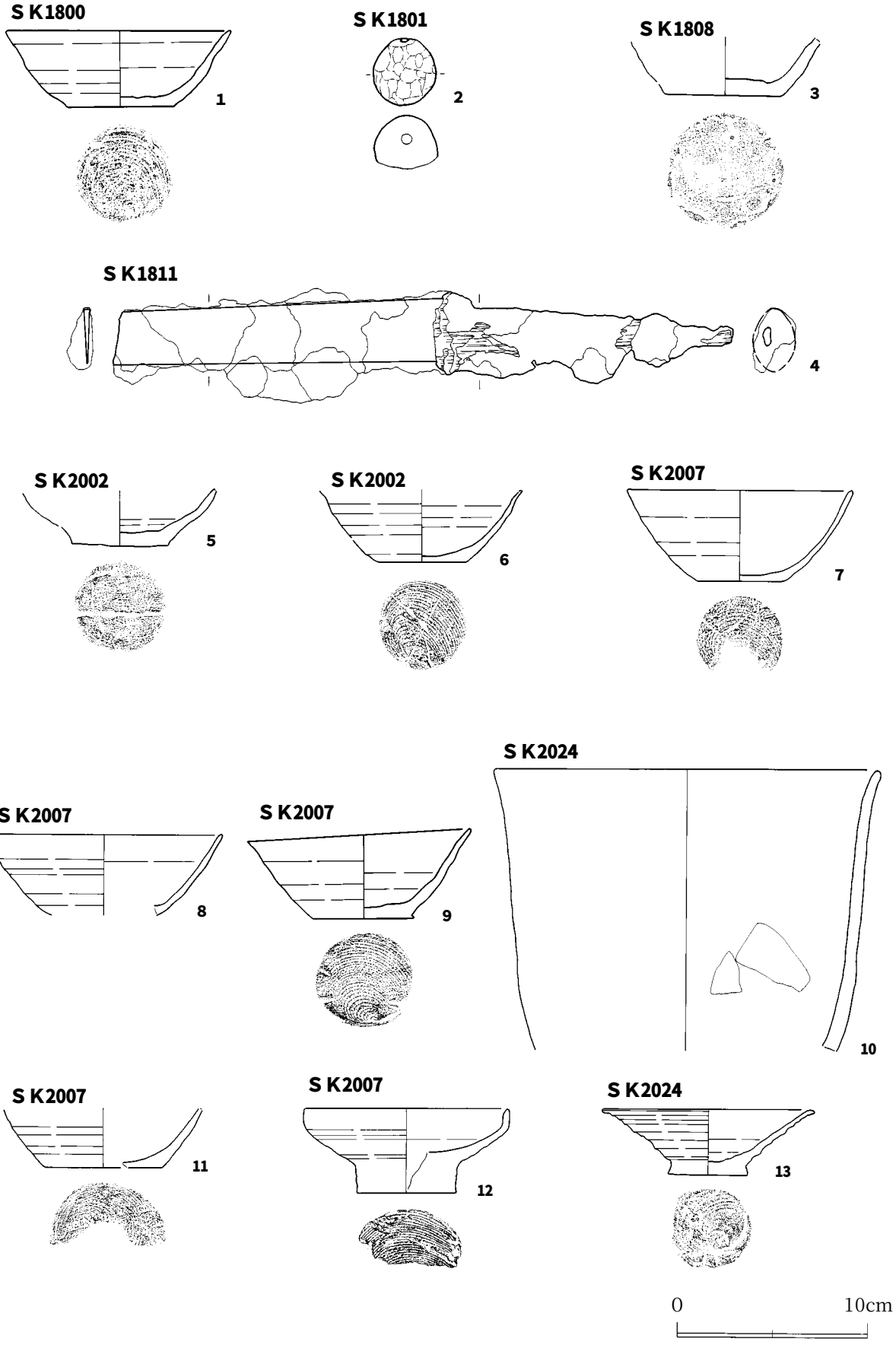




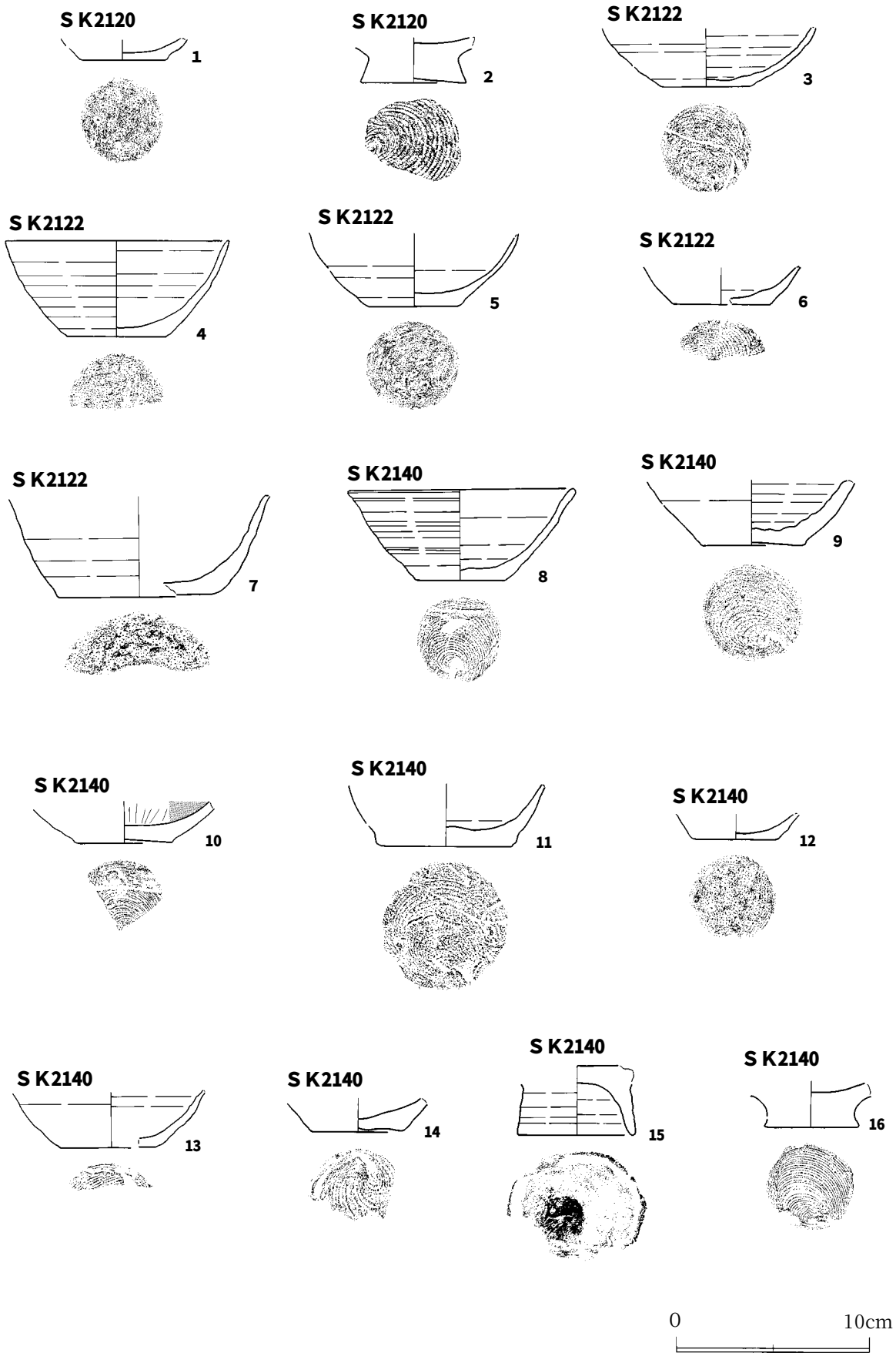
第174図　遺構内出土遺物（33）（ＳＫ1245・1325・1336・1343・1377・1484・1485）



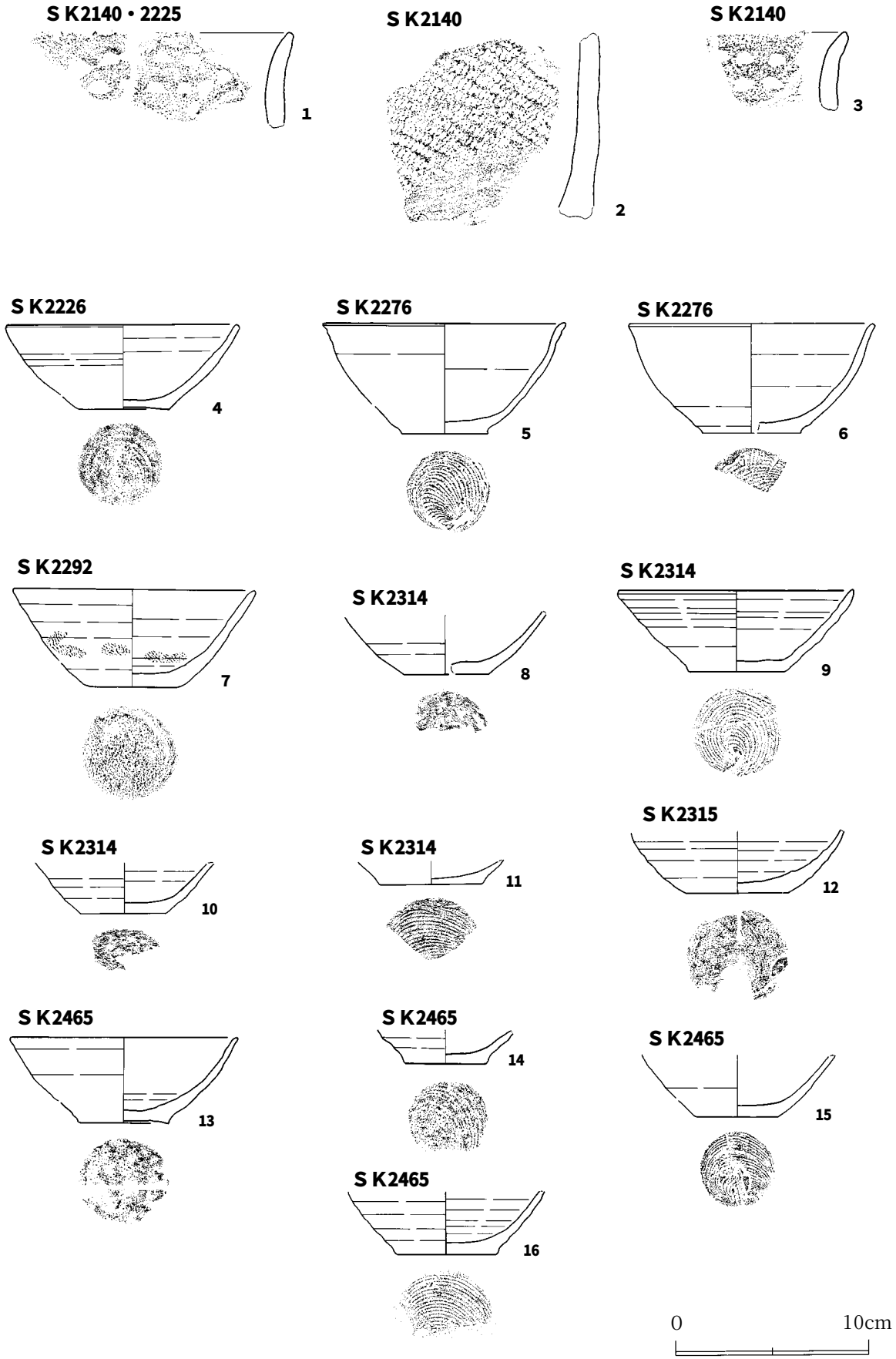
第175図　遺構内出土遺物（34）（S K1485・1495・1690・1700・1740・1746）



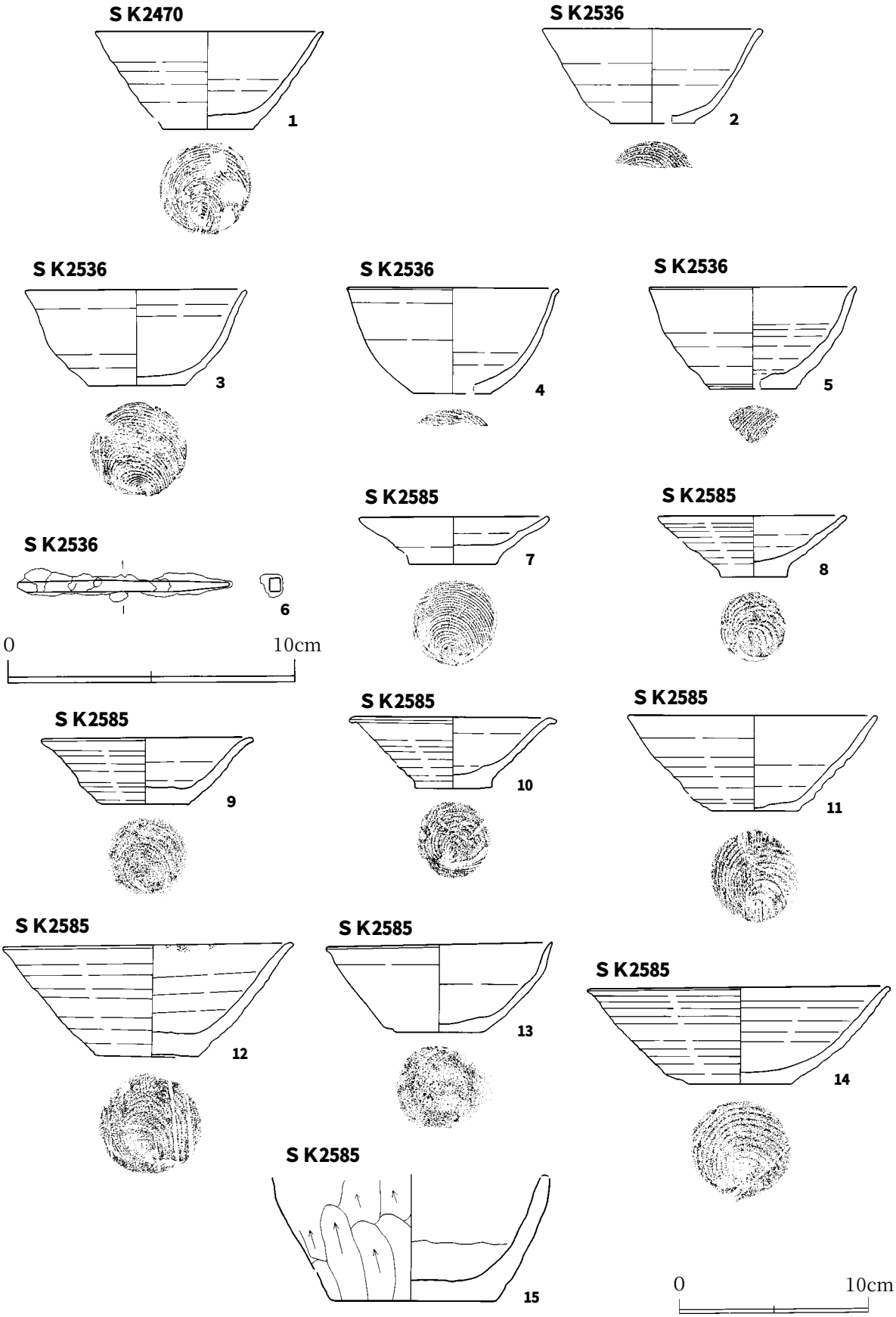
第176図　遺構内出土遺物（35）（ＳＫ1800・1801・1808・1811・2002・2007・2024）



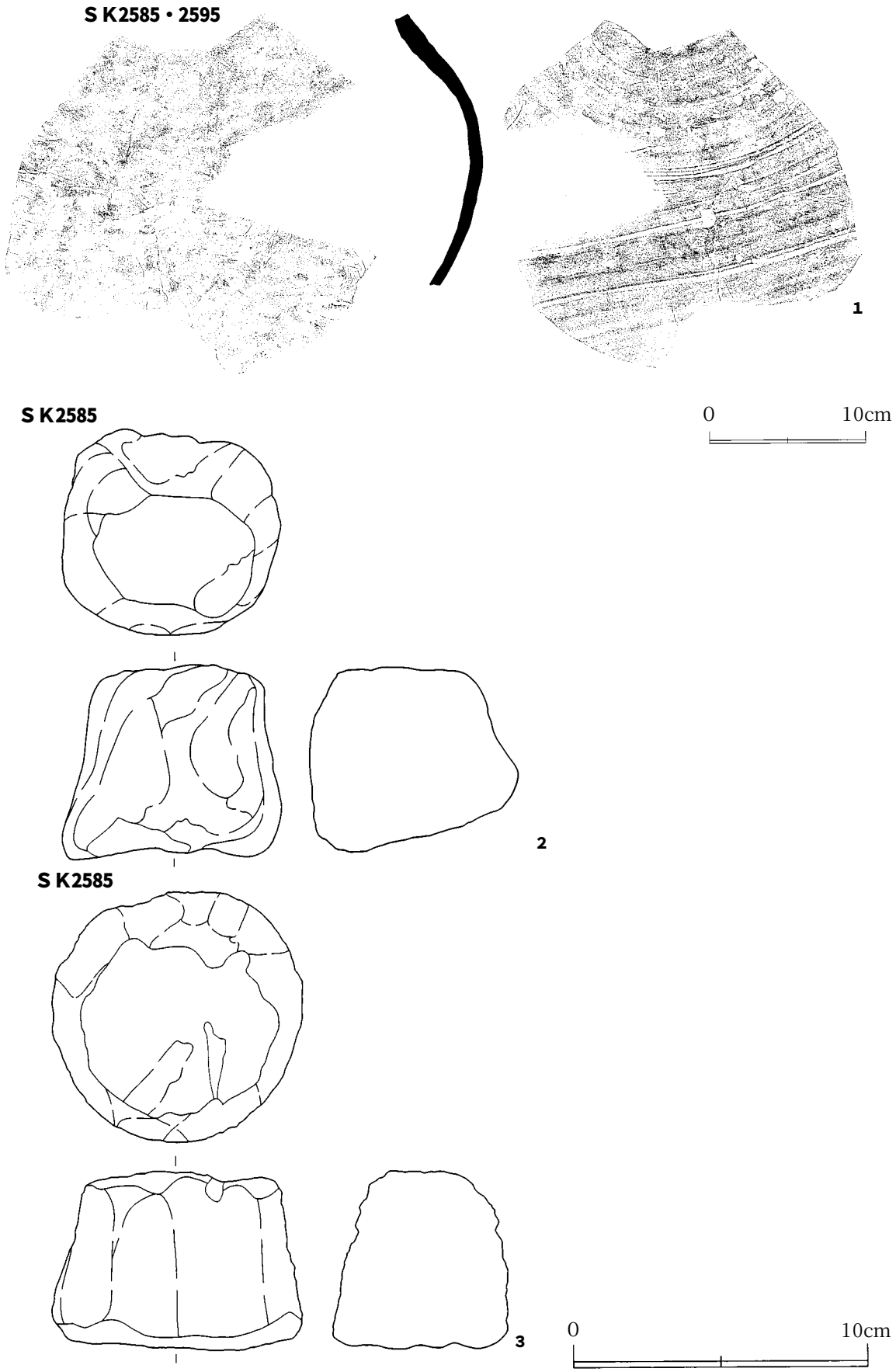
第177図　遺構内出土遺物（36）（S K2120・2122・2140）



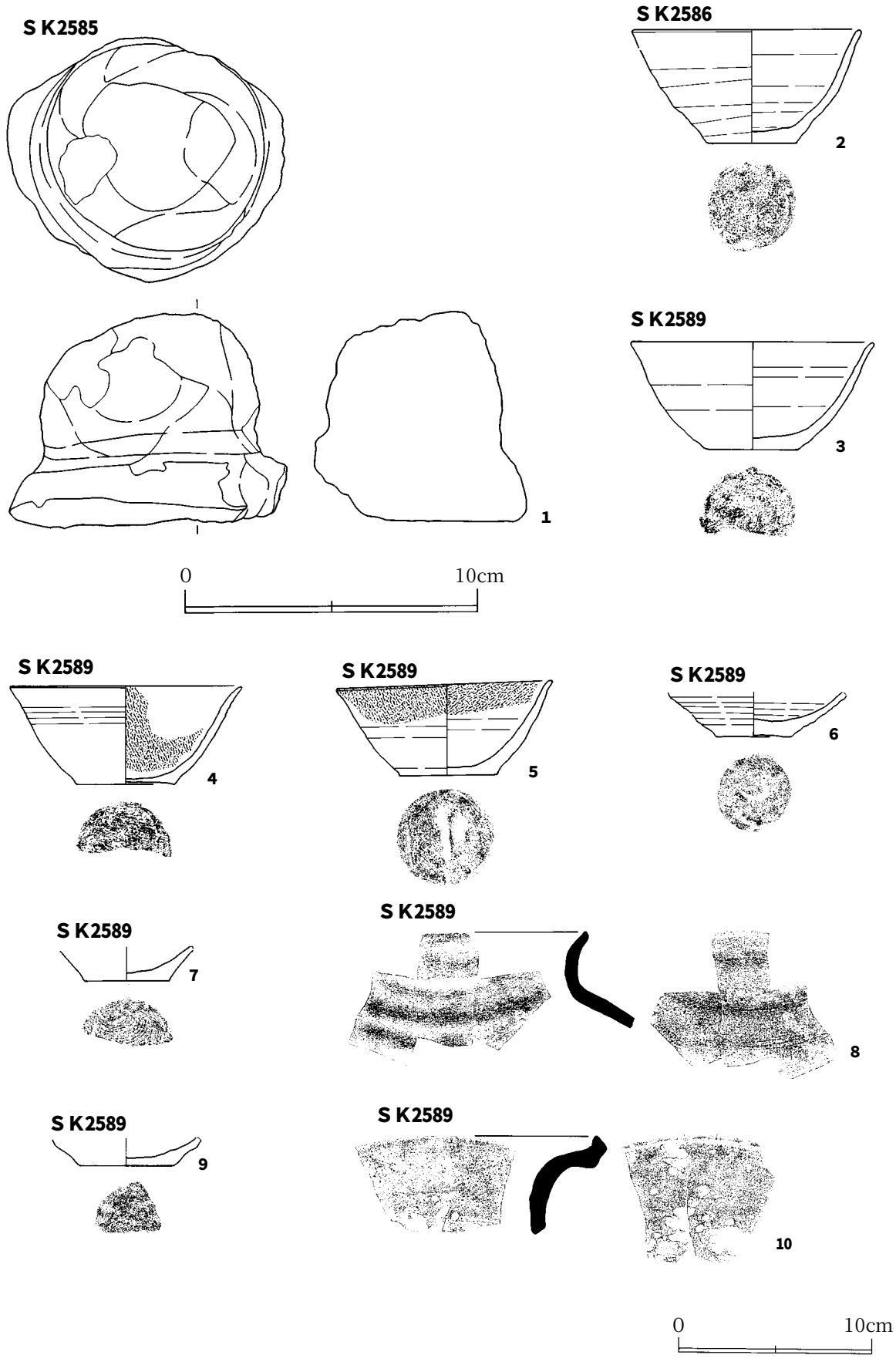
第178図　遺構内出土遺物（37）（ＳＫ2140・2225・2226・2276・2292・2314・2315・2465）



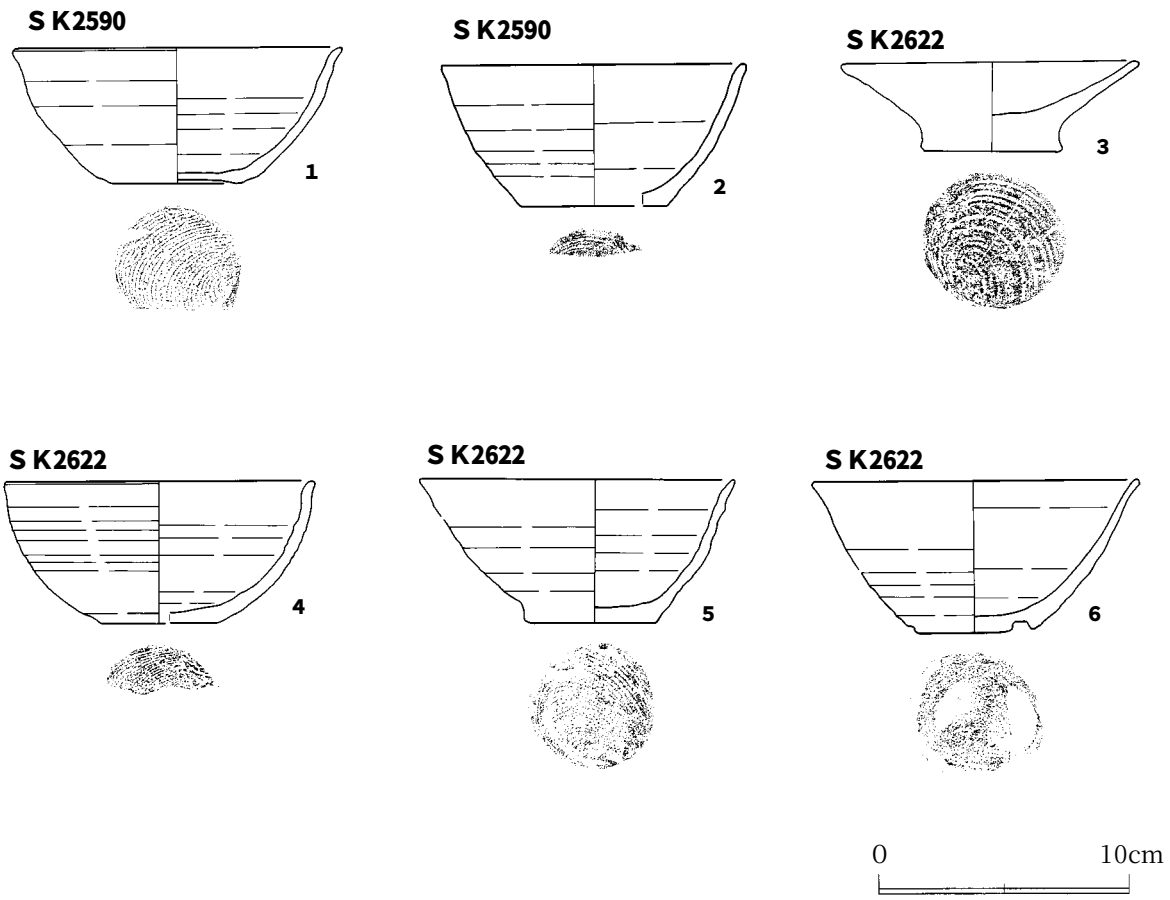
第179図　遺構内出土遺物（38）（ＳＫ2470・2536・2585）



第180図　遺構内出土遺物（39）（ＳＫ2585・2595）



第181図　遺構内出土遺物（40）（S K2585・2586・2589）



第182図　遺構内出土遺物（41）（ＳＫ2590・2622）

挿図番号	図版番号	出土地点	種別	器種	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外底部	器面特徴	胎土	備考
第168図１		ＳＫ７	土師	坏	底部	－	－	〔5.8〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第168図２		ＳＫ８	土師	坏	体部～底部	－	－	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第168図３		ＳＫ９	土師	坏	体部～底部	－	－	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第168図４		ＳＫ９	土師	坏	体部～底部	－	－	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第168図５		ＳＫ９	土師	坏	体部～底部	－	－	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第168図６		ＳＫ32	土師	坏	体部～底部	－	－	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第168図７		ＳＫ32	土師	坏	底部	－	－	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第168図８		ＳＫ32	土師	甕	底部	－	－	7.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第168図９		ＳＫ38	土師	坏	底部	－	－	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第168図10		ＳＫ50	土師	坏	体部～底部	－	－	〔4.8〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第168図11		ＳＫ50	土師	坏	口縁部～底部	〔9.8〕	3.0	4.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	口縁部一部内面に折り返し
第168図12		ＳＫ68	土師	甕	口縁部	〔20.8〕	－	－	－	ロクロ成形	0.5㎜の砂粒混入	
第168図13		ＳＫ77	土師	坏	口縁部～底部	〔12.2〕	5.3	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第168図14		ＳＫ77	土師	坏	体部～底部	－	－	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	粗い	
第168図15		ＳＫ77	土師	坏	体部～底部	－	－	〔5.6〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第168図16		ＳＫ85	土師	坏	体部～底部			4.7	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第168図17		ＳＫ85	土師	坏	口縁部～底部	〔11.4〕	3.8	5.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	

第12表 土坑（古代）出土遺物一覧表（１）

挿図番号	図版番号	出土地点	種別	器種	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外底部	器面特徴	胎土	備考
第169図 1	30－2	SK85	須恵	甕	体部	－	－	－		タタキ	緻密	
第169図 2		SK104	土師	坏	底部	－	－	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第169図 3		SK104	土師	甕	底部	－	－	〔7.0〕	非ヨクロ	非ロクロ	緻密	
第169図 4		SK127	土師	坏	体部～底部	－	－	5.0	摩滅		緻密	
第169図 5		SK132	土師	甕	底部	－	－	7.4	回転糸切り	ロクロ成形	1㎜の砂粒混入	
第169図 6		SK154	土師	坏	体部～底部	－	－	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第169図 8		SK157	土師	坏	底部	－	－	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第170図 1		SK162	土師	坏	口縁部～底部	〔12.0〕	4.7	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第170図 2		SK162	土師	甕	体部～底部	－	－	8.4	砂底	非ロクロ	緻密	
第170図 3		SK173	土師	坏	体部～底部	－	－	6.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第170図 4		SK173	土師	坏	底部	－	－	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第170図 5	30－3	SK216	土師	皿	完形	10.3	2.2	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	孔４カ所 蓋に転用？
第170図 6		SK216	土師	坏	体部～底部	－	－	4.6	摩滅	ロクロ成形	緻密	
第170図 7		SK216	土師	坏	口縁部～底部	〔11.6〕	5.3	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	口縁部と内面底部中央に煤
第170図 8		SK216	土師	坏	口縁部～底部	〔11.8〕	5.3	4.3	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第170図 9		SK216	土師	坏	口縁部～底部	〔12.0〕	6.2	5.1	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第170図10		SK222	土師	坏	体部～底部	－	－	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第170図12		SK235	土師	坏	口縁部～底部	〔11.6〕	5.4	5.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第170図13		SK254	土師	坏	体部～底部	－	－	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第170図14	30－4	SK290	土師	坏	完形	13.7	5.0	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密な胎土に１㎜の砂粒混入	
第171図 1		SK323	土師	坏	体部～底部	－	－	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第171図 2		SK323	土師	坏	体部～底部	－	－	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	粗い胎土に０．５㎜の砂粒混入	
第171図 4		SK400	土師	坏	底部	－	－	5.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第171図 5		SK400	土師	坏	体部～底部	－	－	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第171図 6		SK400	土師	坏	体部～底部	－	－	〔5.2〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第171図 7		SK400	土師	坏	体部～底部	－	－	〔5.2〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第171図 8		SK403	土師	坏	体部～底部	－	－	5.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第171図 9		SK420	土師	坏	体部～底部	－	－	4.0	摩滅	摩滅	緻密	
第171図10		SK420	土師	坏	口縁部～底部	〔12.0〕	4.5	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密な胎土に0．5㎜の砂粒混入	
第171図11		SK420	土師	坏	口縁部～底部	〔13.6〕	4.5	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第171図12		SK420	土師	坏	底部	－	－	5.6	高台	ロクロ成形	緻密	
第171図13		SK420	土師	坏	口縁部～底部	〔13.6〕	4.9	〔4.8〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第171図14		SK420	土師	坏	体部～底部	－	－	〔7.0〕			緻密	
第171図15		SK420	土師	甕	底部	－	－	6.6	非ロクロ	非ロクロ	0.5㎜以下の砂粒混入	

第13表 土坑（古代）出土遺物一覧表（２）

挿図番号	図版番号	出土地点	種別	器種	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外底部	器面特徴	胎土	備考
第171図16		SK561	土師	坏	口縁部～底部	〔11.0〕	2.8	〔5.0〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第172図 2		SK853･SK1700	須恵	甕	口縁部	〔12.0〕	－	－	－	ロクロ成形	緻密	
第172図 3		SK858	土師	坏	底部	－	－	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第172図 4		SK859	土師	坏	体部～底部	－	－	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第172図 5		SK859	土師	坏	体部～底部	－	－	7.2	高台	ロクロ成形	緻密	
第172図 6		SK861	土師	坏	底部	－	－	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第172図 7		SK861	土師	坏	体部～底部	－	－	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第172図 8		SK861	土師	坏	底部	－	－	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第172図 9		SK861	土師	坏	底部	－	－	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第172図10		SK861	土師	甕	口縁部	〔14.4〕	－	－	－	ロクロ成形	緻密	口縁部内面に煤
第172図11		SK952	土師	坏	体部～底部	－	－	3.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第172図12		SK960	土師	坏	口縁部～底部	〔13.6〕	5.8	〔6.2〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第172図13		SK960	土師	坏	体部～底部	－	－	5.3	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第173図 1		SK1150	土師	坏	体部～底部	－	－	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第173図 2		SK1153	土師	坏	口縁部～底部	〔12.2〕	4.4	〔4.4〕	摩滅	ロクロ成形	緻密	
第173図 3	30－5	SK1153	土師	坏	口縁部～底部	〔12.5〕	5.1	4.8	回転糸切り→スリ消し	ロクロ成形	粗い胎土に0.5㎜の砂粒混入	口縁部内外面に煤
第173図 4	30－6	SK1153	土師	坏	完形	11.6	4.9	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第173図 5		SK1153	土師	坏	底部	－	－	5.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第173図 6		SK1153	土師	坏	体部～底部	－	－	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第173図 7		SK1153	土師	坏	体部～底部	－	－	5.1	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第173図 8		SK1153	土師	坏	体部～底部	－	－	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第173図 9		SK1153	土師	坏	体部～底部	－	－	〔4.8〕	摩滅	ロクロ成形	緻密	
第173図10	31－1	SK1153	土師	甕	口縁部～底部	〔12.2〕	13.2	6.3	回転糸切り	内面：粘土積み上げ痕	1㎜の砂粒混入	内面に煤
第173図11		SK1153	土師	甕	口縁部	〔20.0〕	－	－	－	ロクロ成形	0.5㎜の砂粒混入	
第173図12		SK1155	土師	坏	底部	－	－	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第173図13		SK1245	土師	坏	口縁部～底部	〔11.8〕	5.6	5.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第173図14		SK1245	土師	坏	体部～底部	－	－	〔6.2〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第173図15	31－2	SK1245	土師	坏	完形	13.0	4.7	6.5	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第173図16		SK1245	土師	坏	体部～底部	－	－	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第173図17	31－3	SK1245	土師	坏	完形	14.8	6.6	5.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第174図 4		SK1325	土師	坏	底部	－	－	4.9	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第174図 5		SK1343	土師	坏	底部	－	－	4.5	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第174図 6		SK1377	土師	坏	底部	－	－	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第174図 8		SK1484	土師	坏	底部	－	－	〔5.4〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第174図 9		SK1484	土師	坏	底部	－	－	5.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第174図10		SK1484	土師	坏	底部	－	－	〔4.8〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	

第14表 土坑（古代）出土遺物一覧表（３）

挿図番号	図版番号	出土地点	種別	器種	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外底部	器面特徴	胎土	備考
第174図11		SK1485	土師	坏	体部～底部	－	－	〔6.2〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第175図 1		SK1485	土師	坏	体部～底部	－	－	5.0	回転糸切り	摩滅	緻密な胎土に0．5㎜の砂粒混入	
第175図 2		SK1485	土師	坏	口縁部～底部	〔10.8〕	5.6	4.7	回転糸切り	ロクロ成形	0．5㎜以下砂粒混入	
第175図 3		SK1485	土師	坏	口縁部～底部	〔11.4〕	5.0	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第175図 4		SK1485	土師	坏	口縁部～底部	〔11.8〕	5.0	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第175図 5		SK1485	土師	坏	口縁部～底部	〔12.4〕	4.8	〔5.0〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第175図 6		SK1485	土師	坏	底部	－	－	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	内面：黒色処理
第175図 7		SK1495	土師	坏	体部～底部	－	－	〔5.0〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第175図 8		SK1690	土師	坏	底部	－	－	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密な胎土に0．5㎜以上の砂粒	
第175図 9		SK1700	土師	坏	口縁部～底部	〔9.2〕	4.2	4.4	回転糸切り	内面：ロクロ成形 内面：ミガキ→黒色処理	緻密	
第175図10		SK1746	土師	坏	底部	－	－	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第176図 1		SK1800	土師	坏	口縁部～底部	〔11.7〕	4.0	5.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第176図 3		SK1808	土師	甕	体部～底部	－	－	6.1	非ロクロ	非ロクロ	緻密	
第176図 5		SK2002	土師	坏	体部～底部	－	－	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第176図 6		SK2002	土師	坏	体部～底部	－	－	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第176図 7		SK2007	土師	坏	口縁部～底部	〔11.9〕	4.7	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第176図 8		SK2007	土師	坏	口縁部～体部	〔12.2〕	－	－	－	ロクロ成形	緻密	
第176図 9		SK2007	土師	坏	口縁部～底部	〔11.6〕	4.7	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密な胎土に0．5㎜の砂粒混入	
第176図10		SK2024	土師	甕	口縁部～体部	〔20.0〕	－	－	－	内面：指ナデ	緻密な胎土に0．5㎜の砂粒混入	
第176図11		SK2007	土師	坏	体部～底部	－	－	〔6.0〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第176図13		SK2024	土師	坏	口縁部～底部	〔11.0〕	3.4	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第177図 1		SK2120	土師	坏	底部	－	－	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第177図 3		SK2122	土師	坏	体部～底部	－	－	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密な胎土に0．5㎜の砂粒混入	
第177図 4		SK2122	土師	坏	口縁部～底部	〔11.4〕	4.9	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第177図 5		SK2122	土師	坏	体部～底部	－	－	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第177図 6		SK2122	土師	坏	底部	－	－	〔5.0〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第177図 7		SK2122	土師	甕	底部	－	－	〔8.2〕	回転糸切り	ロクロ成形	1㎜の砂粒混入	
第177図 8		SK2140	土師	坏	完形	11.1	4.7	4.5	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第177図 9		SK2140	土師	坏	体部～底部	－	－	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第177図10		SK2140	土師	坏	体部～底部	－	－	5.0	回転糸切り	内面：ミガキ→黒色処理	緻密	

第15表 土坑（古代）出土遺物一覧表（４）

挿図番号	図版番号	出土地点	種別	器種	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外底部	器面特徴	胎土	備考
第177図11		SK2140	土師	坏	体部～底部	－	－	6.5	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第177図12		SK2140	土師	坏	底部	－	－	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第177図13		SK2140	土師	坏	体部～底部	－	－	〔5.0〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第177図14		SK2140	土師	坏	底部	－	－	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第178図 4		SK2226	土師	坏	口縁部～底部	〔11.9〕	4.3	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第178図 5		SK2276	土師	坏	口縁部～底部	〔12.4〕	5.7	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第178図 6		SK2276	土師	坏	口縁部～底部	〔12.6〕	5.6	〔5.0〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第178図 7		SK2292	土師	坏	口縁部～底部	〔12.4〕	5.0	4.6	摩滅	ロクロ成形	0．5㎜の砂粒混入	外面内面に煤
第178図 8		SK2314	土師	坏	体部～底部	－	－	〔4.4〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第178図 9		SK2314	土師	坏	完形	12.0	4.2	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第178図10		SK2314	土師	坏	体部～底部	－	－	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第178図11		SK2314	土師	坏	底部	－	－	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第178図12		SK2315	土師	坏	体部～底部	－	－	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第178図13		SK2465	土師	坏	口縁部～底部	〔11.6〕	4.4	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第178図14		SK2465	土師	坏	底部	－	－	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第178図15		SK2465	土師	坏	体部～底部	－	－	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第178図16		SK2465	土師	坏	体部～底部	－	－	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第179図 1		SK2470	土師	坏	口縁部～底部	〔11.8〕	5.1	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第179図 2		SK2536	土師	坏	口縁部～底部	〔11.4〕	4.9	〔4.4〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第179図 3		SK2536	土師	坏	口縁部～底部	〔11.5〕	5.0	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第179図 4		SK2536	土師	坏	口縁部～底部	〔11.0〕	5.5	〔4.0〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第179図 5		SK2536	土師	坏	口縁部～底部	〔10.8〕	5.3	〔4.6〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第179図 7		SK2585	土師	皿	口縁部～底部	〔9.9〕	2.5	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第179図 8	31－6	SK2585	土師	坏	口縁部～底部	〔9.8〕	3.2	3.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第179図 9	32－1	SK2585	土師	坏	口縁部～底部	〔11.0〕	3.5	4.5	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第179図10		SK2585	土師	坏	口縁部～底部	〔10.8〕	3.8	4.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第179図11		SK2585	土師	坏	口縁部～底部	〔13.0〕	5.0	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第179図12	32－3	SK2585	土師	坏	完形	15.1	6.0	5.5	回転糸切り	ロクロ成形	0．5㎜以下の砂粒混入	口縁部に油煙
第179図13	32－2	SK2585	土師	坏	完形	11.8	4.7	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第179図14	32－4	SK2585	土師	坏	完形	15.8	5.1	5.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第179図15		SK2585	土師	甕	底部	－	－	8.5	非ロクロ	外面：ケズリ 内面：粘土積み上げ痕	2～3㎜の砂粒混入	
第180図 1		SK2585 SK2595	須恵	壺	体部	－	－	－	－	ロクロ成形	緻密	
第181図 2		SK2586	土師	坏	口縁部～底部	〔11.7〕	5.8	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第181図 3		SK2589	土師	坏	口縁部～底部	〔12.4〕	5.5	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第181図 4		SK2589	土師	坏	口縁部～底部	〔11.8〕	5.0	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	内面に煤
第181図 5	32－5	SK2589	土師	坏	口縁部～底部	〔11.0〕	4.8	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	口縁部内外面に煤

第16表 土坑（古代）出土遺物一覧表（５）

挿図番号	図版番号	出土地点	種別	器種	部位	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	外底部	器面特徴	胎土	備考
第181図 6		SK2589	土師	坏	体部～底部	－	－	3.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第181図 7		SK2589	土師	坏	底部	－	－	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第181図 8		SK2589	須恵	甕	口縁部～肩部	－	－	－	－	ロクロ成形	緻密	
第181図 9		SK2589	土師	坏	底部	－	－	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第181図10		SK2589	須恵	甕	口縁部	－	－	－	－	ロクロ成形	緻密	内外面に破裂痕
第182図 1		SK2590	土師	坏	口縁部～底部	〔13.0〕	5.3	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第182図 2		SK2590	土師	坏	口縁部～底部	〔12.0〕	5.6	〔5.8〕	回転糸切り	ロクロ成形	粗い	
第182図 3	32－6	SK2622	土師	坏	完形	11.7	3.6	5.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第182図 4		SK2622	土師	坏	口縁部～底部	〔12.2〕	5.9	〔4.6〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第182図 5		SK2622	土師	坏	口縁部～底部	〔12.4〕	5.7	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第182図 6		SK2622	土師	坏	口縁部～底部	〔12.9〕	6.0	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	

第17表 土坑（古代）出土遺物一覧表（６）

挿図番号	図版番号	出土地点	種別	器種	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	台高(cm)	外底部	器面特徴	胎土	備考
第170図11		SK232	土師	高台付皿	底部～台部	－	－	6.0	2.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第171図 3		SK343	土師	高台付皿	底部	－	－	6.8	2.0	切り離し→台	ロクロ成形	0．5㎜の砂粒混入	
第174図 7		SK1377	土師	高台付皿	底部	－	－	5.2	0.9	回転糸切り後に高台貼付	ロクロ成形	緻密	
第176図12		SK2007	土師	高台付皿	口縁部～底部	〔10.6〕	4.4	5.2	1.5	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第177図 2		SK2120	土師	高台付皿	底部	－	－	5.4	1.3	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第177図15		SK2140	土師	高台付皿	底部	－	－	6.0	2.6	切り離し→台	ロクロ成形	緻密	
第177図16		SK2140	土師	高台付皿	底部	－	－	4.8	1.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	

挿図番号	図版番号	出土地点	器種	最大長×最大幅×最大厚(cm)	備考
第172図 1		SK685	刀子	1.8×6.6×1.1	
第174図 2	31－4	SK1336	吊手金具	3.4×2.0×0.4	
第174図 3	31－5	SK1336	鋏具	4.3×2.4×0.7	
第176図 4	巻頭図版3－2	SK1811	刀	6.0×32.1×3.2	
第179図 6		SK2536	鉄鏃	1.3×7.5×0.4	

挿図番号	図版番号	出土地点	器種	最大長×最大幅×最大厚(cm)	重量(g)	備考
第169図 7		SK156	砥石	18.5×5.0×3.7	528.2	
第174図 1		SK1245	石製品	9.0×8.5×7.7	131.7	軽石素材
第175図11		SK1740	砥石	6.9×6.0×5.1	177.8	
第180図 2		SK2585	石製品	6.7×7.4×7.1	52.2	軽石素材
第180図 3		SK2585	石製品	6.0×8.5×6.0	103.0	軽石素材
第181図 1		SK2585	石製品	7.4×9.6×7.3	99.1	軽石素材

挿図番号	図版番号	出土地点	器種	最大長×最大幅(cm)	孔径(㎝)	重量(g)	備考
第176図 2		SK1801	土錘	3.4×3.4	0.5	28.5	

挿図番号	図版番号	出土地点	器種	部位	器面特徴	胎土	色調	備考
第178図 1		SK2140 SK2225	深鉢	口縁部	口縁部に並行して棒状工具による刺突が２条並ぶ	砂粒	7.5YR6 / 4	
第178図 2		SK2140	深鉢	胴部～底部	ＬＲＬ縄文縦位回転　底部付近無文	緻密	7.5YR6 / 6	
第178図 3		SK2140	深鉢	口縁部	口縁部に並行して棒状工具による刺突が２条並ぶ	砂粒	7.5YR6 / 4	

第18表 土坑（古代）出土遺物一覧表（７）

５　溝跡

ＳＤ27（第183図）

ＯＢ９･ＯＣ９～11･ＯＤ10～13･ＯＥ12～14･ＯＦ14～17･ＯＧ16～18･ＯＨ22グリッドの第Ⅳ～Ⅴ層で確認した。ＳＤ３･ＳＫＰ76･ＳＩ1760･ＳＫＰ2974･2975を切る。北西－南東に延びており、北西側･南東側ともに調査区外に達する。長さ61.0m以上、幅1.44～1.76m、確認面からの深さは0.06～0.38mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は５層に分けられ、全体に地山ブロックが混入している。遺物は土師器片、土師器坏（第201図１～12）、土師器甕（第201図13）須恵器甕（第201図14、第202図１～５）、流動滓２点、椀形鍛冶滓4点、鉄製品１点が出土した。

ＳＤ34（第184図）

ＯＯ･ＯＰ･ＯＱ･ＯＲ･ＯＳ2グリッドの第Ⅳ層で確認した。調査区南側台地辺縁部に沿うように東－西に延びている。東側･西側ともに削平を受けている。長さ15.08m以上、幅0.4m、深さ0.12mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は、土師器片、鉄製品１点のほか、黒曜石を素材とした剥片2点が出土した。

ＳＤ73（第126図）

ＯＩ･ＯＪ６･７グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ69･ＳＫＰ431に切られる。北東－南西に延びており、南西側は削平されている。長さは5.62m以上、幅0.32m、確認面からの深さは0.16mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＤ92（第47図）

ＯＯ－１･０、ＯＰ０グリッドの第Ⅳ層で確認した。南西側は調査区外に達する。ＳＩ280･ＳＩ1080を切る。南西－北東方向から湾曲して北西方向に延びる。長さ5.08m以上、幅0.5m、深さは0.11mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土を主として2層に分けられた。遺物は土師器片、内面を黒色処理した土師器坏片２点、須恵器片１点が出土した。

ＳＤ98（第184図）

ＰＤ･ＰＥ６･７グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ156に切られる。北西－南東に延びている。長さ3.4m以上、幅0.1m、深さは0.07mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土した。

ＳＤ99（第185図）

ＰＣ７･８･９、ＰＤ７･８グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ415･416･501･526に切られ、ＳＫ517を切る。北－南に延びており、北部は削平を受けている。長さ12.0m以上、幅0.16m、確認面からの深さは0.06mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＤ100（第183図）

ＯＫ11～19･ＯＬ7～11･ＯＭ6～7･ＯＮ0～3グリッドの第Ⅳ～Ⅴ層で確認した。ＳＩ123･ＳＩ150･ＳＩ1000･ＳＫ163･ＳＫ1394･ＳＢ1395Ｐ5･ＳＫ1397･ＳＫＰ2597･ＳＫＰ2976を切る。北－南に延びており、南側は調査区外に達し、北側は削平を受けている。長さ76.0m以上、幅0.32～0.96m、確認面からの深さは0.37mである。底面が中央に向かって緩く傾斜し、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片のほか、鍛冶滓1点、刀子1点、石匙(第202図６)が出土した。

ＳＤ201（第184図）

ＰＢ・ＰＡ14・15グリッドの第Ⅴ層で確認した。北東－南西に延びており、北東側をＳＫ2996、南西側をＳＡ226Ｐ5に切られる。長さ1.86m以上、幅0.19m、確認面からの深さは0.08mである。底面は平坦で壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土した。

ＳＤ406（第184図）

ＰＢ９グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ2972・2973に切られる。北－南方向に延びている。長さは1.9m以上、幅0.17m、確認面からの深さは0.06mである。底面は平坦で壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＤ422（第186図）

ＯＲ３・４グリッドの第Ⅴ層で確認した。北－南に延びている。長さは2.27m、幅0.22m、確認面からの深さは0.08mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＤ455（第186図）

ＰＣ９グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＤ99、ＳＫＰ419・528に切られる。北東－南西方向に延びている。長さは2.0m以上、幅0.15m、確認面からの深さは0.1mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＤ486（第185図）

ＰＢ６・７、ＰＣ６グリッドの第Ⅳ層で確認した。とぎれる場所が２ヵ所ある。北東－南西方向に延びる。長さ7.42m、幅0.2m、深さ0.14mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＤ615（第186図）

ＯＲ15グリッドの第Ⅴ層で確認した。北－南に延びている。長さは1.26m、幅0.39m、確認面からの深さは0.09mである。底面が中央に向かって緩く傾斜し、壁が緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＤ1271（第186図）

ＯＲ1グリッドの第Ⅴ層で確認した。南側は調査区外に達する。ＳＫＰ1273・2979に切られる。東－西方向に延びて湾曲し、南西方向に延びる。長さは2.0m、幅0.16m、確認面からの深さは0.12mである。底面は平坦で壁は垂直に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片４点が出土した。

ＳＤ1340（第188図）

ＮＮ32～34、ＮＯ31・32グリッドの第Ⅳ層で確認した。北－南に延びており、北側は調査区外に達する。ＳＩ1810、ＳＫ1481・1801・1802・1809・2290、ＳＫＰ1722を切るが、ＳＫＰ2289との新旧関係は不明である。長さは15.0m以上、幅0.55m、確認面からの深さは0.25mである。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土した。

ＳＤ1583（第113図）

ＯＬ・ＯＭ18グリッドの第Ⅴ層で確認した。北東－南西に延びており、長さは1.82m、幅0.13～0.24m、確認面からの深さは0.11mである。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。ＳＢ1395に関連する溝跡の可能性がある。

ＳＤ1882（第187図）

ＯＳ17グリッドの第Ⅴ層で確認した。北東－南西に延びており、長さ1.99m以上、幅0.11m、確認面からの深さは0.08mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＤ1958（第186図）

ＰＮ－１グリッドの第Ⅴ層で確認した。北西側は削平され、ＳＫＦ1956を切る。北東－南西に延びており、長さ1.45m以上、幅0.12m、確認面からの深さは0.16mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＤ2139（第187図）

ＰＦ－3･－2グリッドの第Ⅴ層で確認した。南側は撹乱を受けている。北－南に延びており、長さ1.81m以上、幅0.26m、確認面からの深さは0.24mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片１点 のほか、縄文土器1点が出土した。

ＳＤ2317（第187図）

ＰＨ－１グリッドの第Ⅴ層で確認した。北東－南西に延びており、北東側･南西側ともに削平されている。長さは1.75m以上、幅0.21m、確認面からの深さは0.1mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＤ2391（第86・87図）

ＰＨ－４･－３、ＰＩ－４グリッドのＳＩ2390床面で確認した。ＳＤ2395･ＳＩ2390を切る。北東－南西方向に湾曲して延びており、長さ4.33m、幅0.23m、確認面からの深さは0.11mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片、土師器台付皿の台部１点のほか、縄文土器片１点が出土した。

ＳＤ2395（第86・87図）

ＰＨ･ＰＩ－４グリッドのＳＩ2390床面で確認した。ＳＤ2391に切られ、ＳＩ2390を切る。北東－南西方向に湾曲して延びており、長さ4.18m、幅0.22m、確認面からの深さは0.1mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は急に立ち上がる。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器甕底部１点が出土した。

ＳＤ2400（第188図）

ＰＥ－3･－２、ＰＦ－3･－2･－１、ＰＧ－１グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ2546に切られる。南－北方向から西方向に折れる。長さ11.39m（東－西方向3.81m、北－南方向7.58m)、幅0.35m、確認面からの深さ0.14mである。屈曲部に柱穴（Ｐ１）がある。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は急に立ち上がる。覆土はにぶい黄褐色土の単一層である。遺物は土師器２点、縄文土器１点、礫１点が出土した。

ＳＤ2430（第187図）

ＮＱ19グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＰ2993･ＳＫＰ2994･ＳＫＰ2995に切られる。東西方向に延びており、長さは2.65m、幅0.27m、確認面からの深さは0.08mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。遺物は出土しなかった。

ＳＤ2978（第126図）

ＯＪ7グリッドの第Ⅳ層で確認した。ＳＫ68に切られる。北西－南東に延びており、南東側はトレンチに削平されている。長さ1.46m以上、幅0.2m、確認面からの深さは0.1mである。底面は平坦で、壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＤ2998（第197図）

ＰＭ－１グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＡ2105･2106に切られる。北南方向に延びており、長さは1.2m以上、幅0.24m、確認面からの深さは0.1mである。底面は平坦で壁は急に立ち上がる。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＤ3017（第185図）

ＰＢ･ＰＣ６グリッドの第Ⅳ層で確認した。北東－南西に延びており、長さ0.66m、幅0.14m、確認面からの深さは0.08mである。底面は中央に向かって緩く傾斜し、壁は急に立ち上がる。覆土は褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。ＳＤ486に関連する可能性がある。

６　柵列･柱穴列

ＳＡ3（第189図）

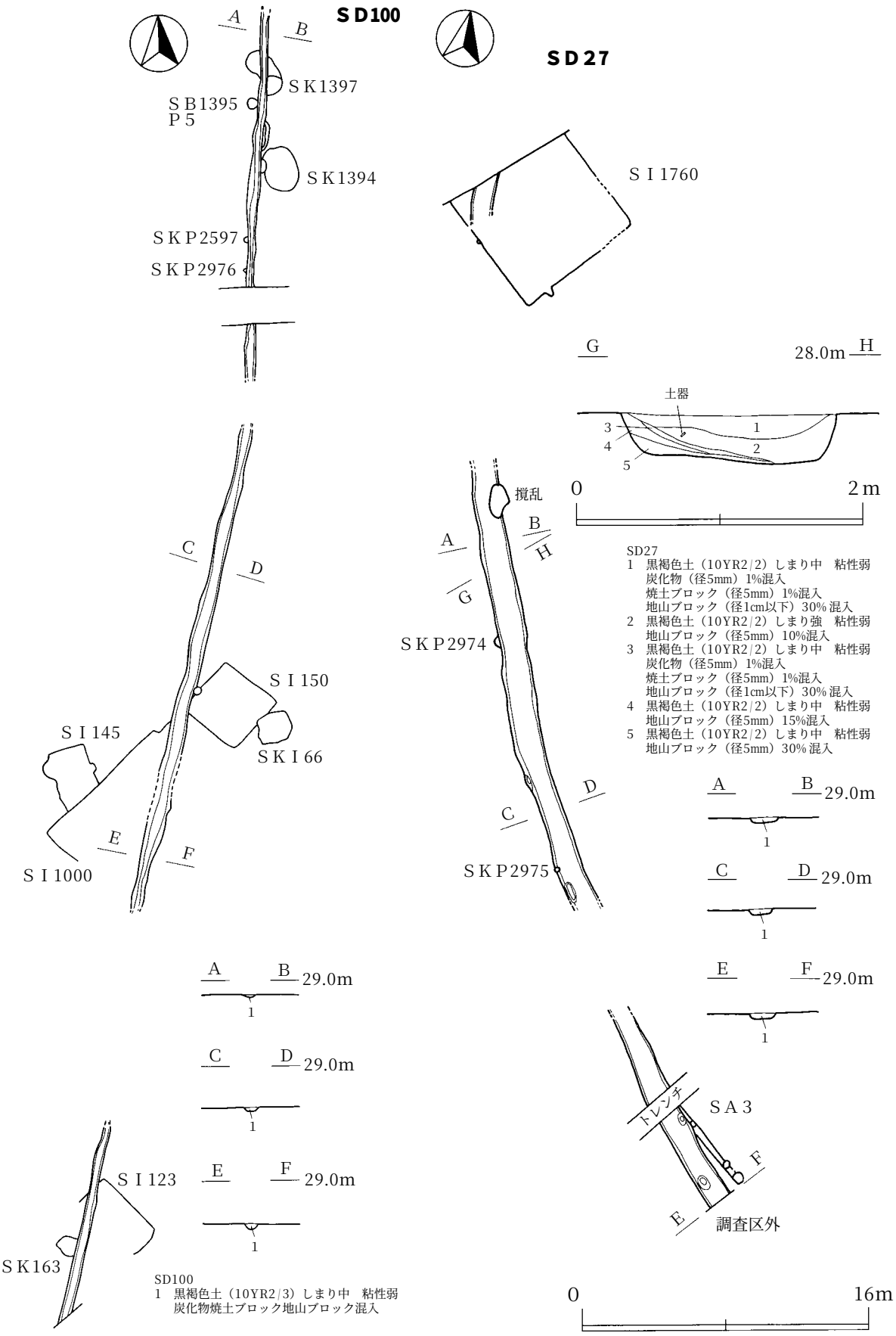
ＯＥ9･10、ＯＦ10グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－48 °－W方向に延びており、北西側でＳＤ27と切り合うが、新旧関係は不明である。長さは2.8m以上で、３基の柱穴と、幅0.39m･確認面からの深さ0.19mの溝で構成される。柱穴は、径0.32～0.6mの円・楕円形で、確認面からの深さは0.19～0.44mである。Ｐ１～Ｐ２間は0.5m、Ｐ２～Ｐ３間は1.5mである。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土した。

ＳＡ11（第189図）

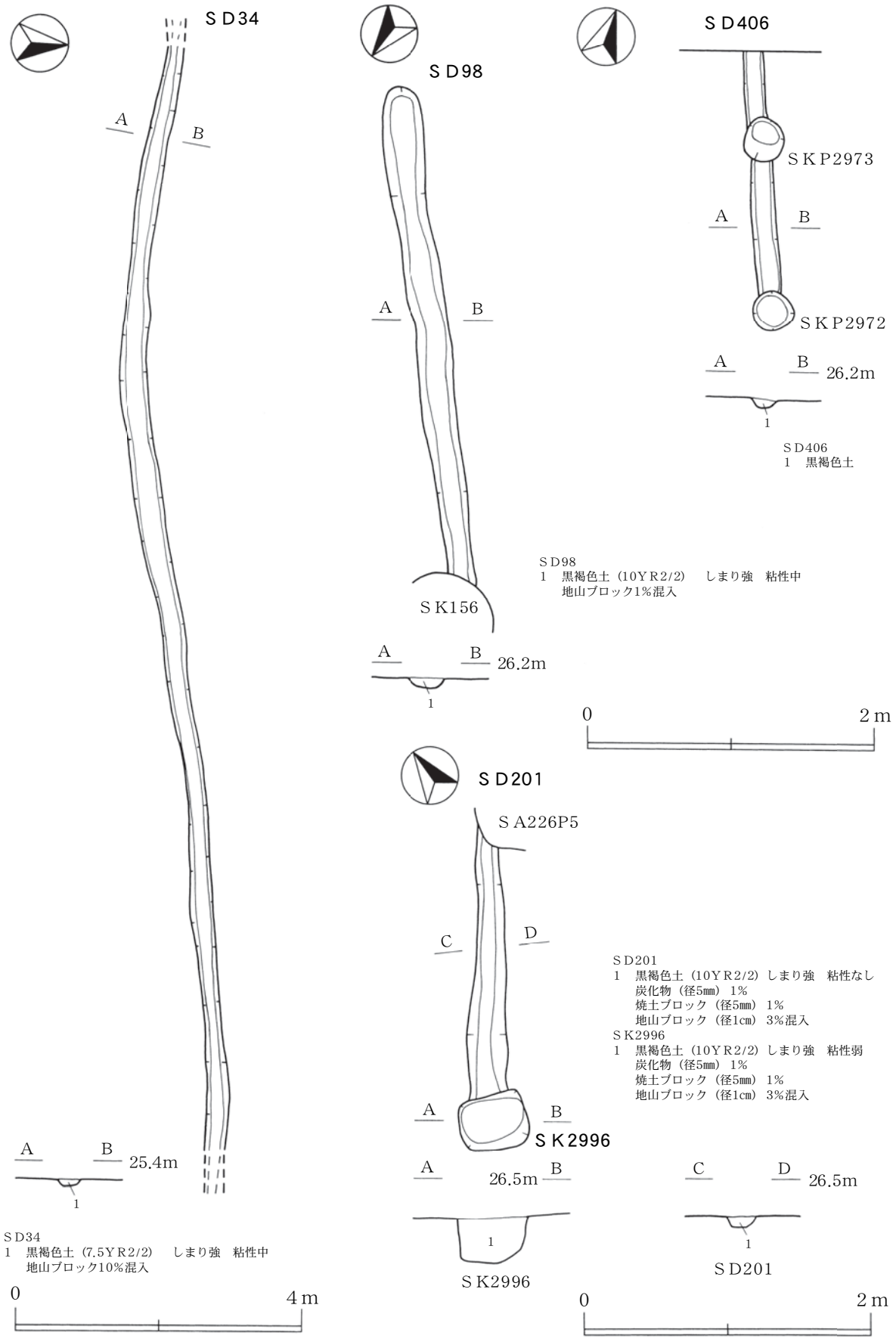
ＰＤ14･15グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－29 °－W方向に延びている。長さは4.55mで、Ｐ４～Ｐ５間が幅0.32m、確認面からの深さ0.04mの溝で構成される。柱穴は、径0.23～0.42mの円・楕円形で、確認面からの深さはＰ4とＰ5は0.46～0.48m、その他は0.1～0.24mである。柱間はＰ４～Ｐ５間は1.64mで、その他は0.36～0.76mである。覆土は、柱穴が黒褐色土の単一層で、溝は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片が出土した。

ＳＡ22（第190図）

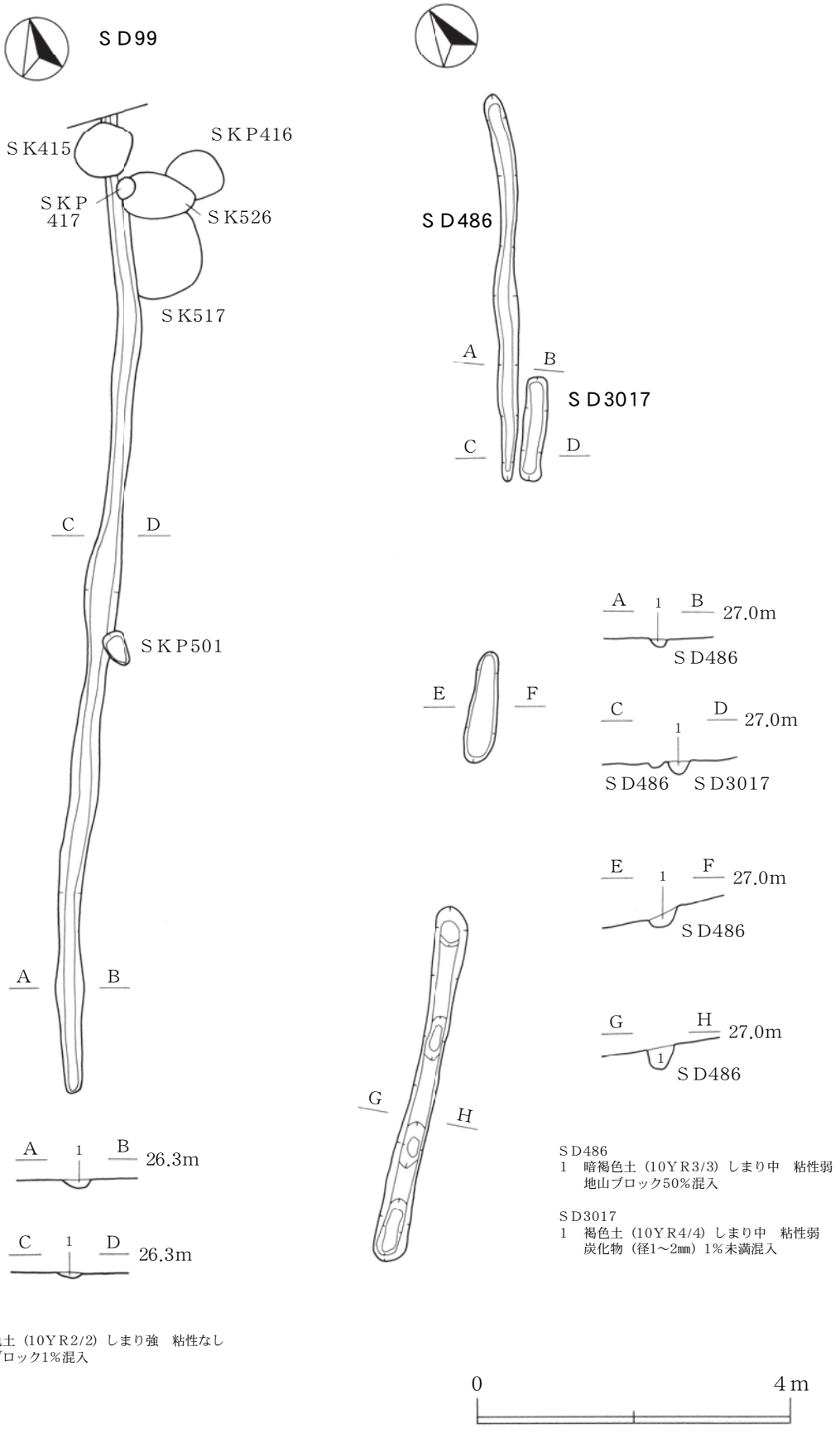
ＯＨ10・ＯＩ10・11グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－47 °－W方向に延びている。長さは3.6mで、４基の柱穴で構成される。柱穴は、径0.28～0.32mの円・楕円形で、確認面からの深さは0.24～0.29mである。柱間は1.0～1.24mである。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物はＰ２から土師器片１点、Ｐ３から土師器片２点、内面を黒色処理した土師器片１点が出土した。



第183図　ＳＤ27・100溝跡



第184図　ＳＤ34・98・201・406溝跡　ＳＫ2996土坑

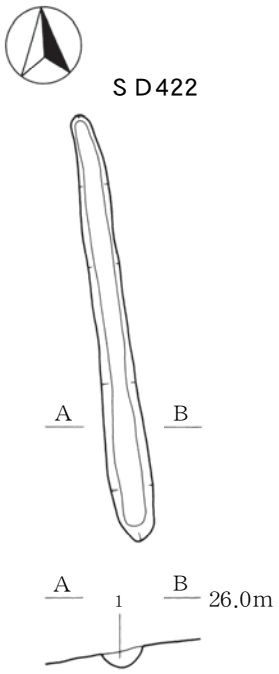


ＳＤ99
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性なし
　　地山ブロック1％混入

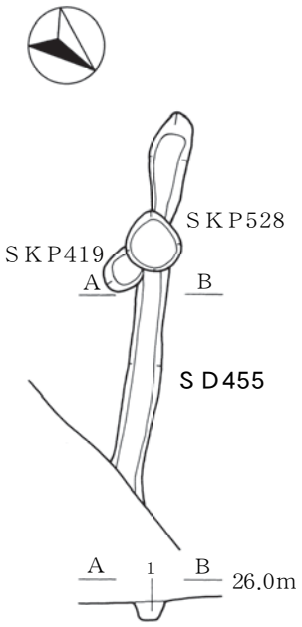
ＳＤ486
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり中　粘性弱
　　地山ブロック50％混入

ＳＤ3017
1　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり中　粘性弱
　　炭化物（径1～2㎜）1％未満混入

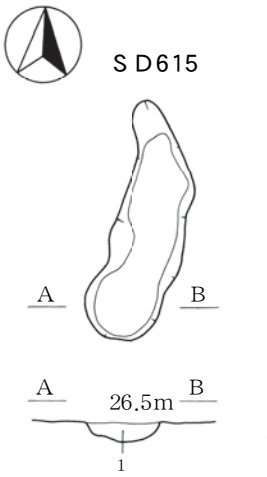
第185図　ＳＤ99・486・3017溝跡



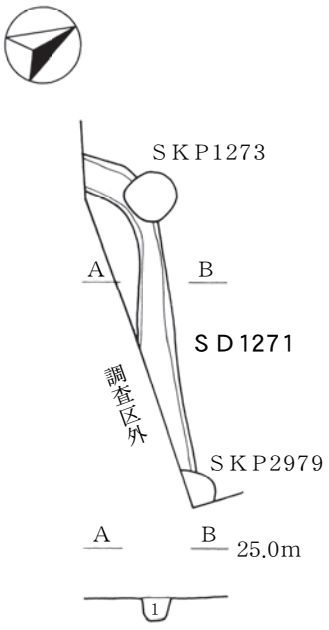
ＳＤ422
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性弱
　　炭化物1％未満混入



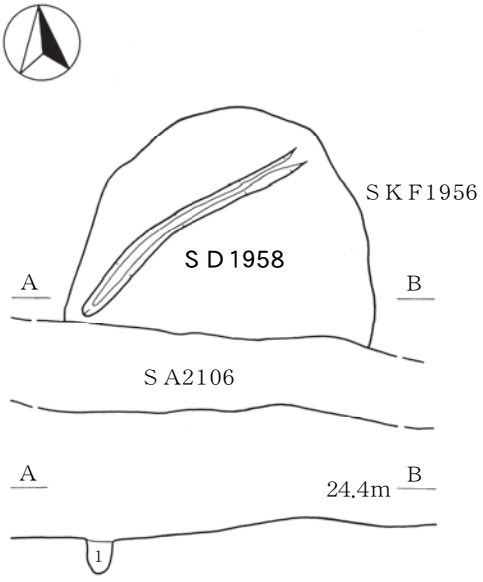
ＳＤ455
1　黒褐色土（10ＹＲ2/3）　しまり中　粘性中
　　地山ブロック1％混入



ＳＤ615
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）
　　地山ブロック混入
　　炭化物（径5㎜）5％
　　焼土ブロック（径5㎜）5％

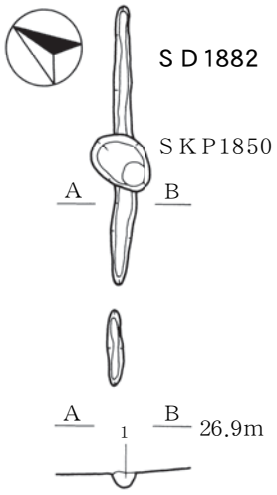


ＳＤ1271
1　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり弱　粘性中
　　地山ブロック1％未満混入

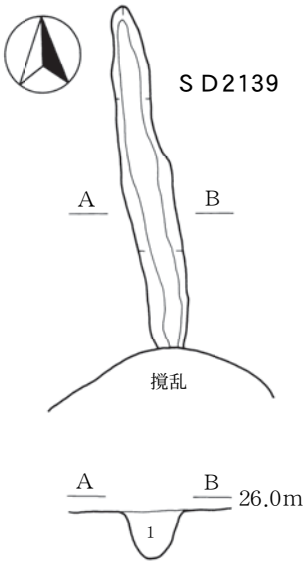


ＳＤ1958
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）　しまり強　粘性弱
　　地山ブロック（径0.1～1㎝）1％未満混入

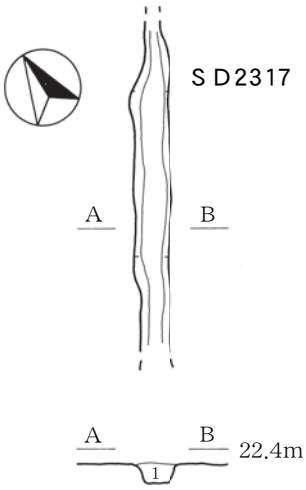
第186図　ＳＤ422・455・615・1271・1958溝跡



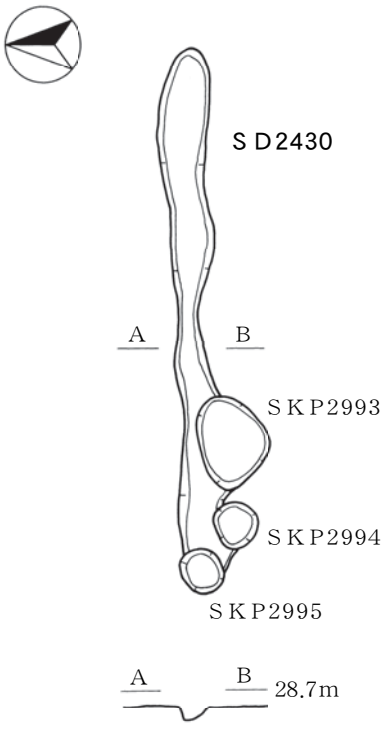
ＳＤ1882
1　黒褐色土（10ＹＲ2/3）　しまり強　粘性弱
　　地山ブロック（径2㎜）1％混入



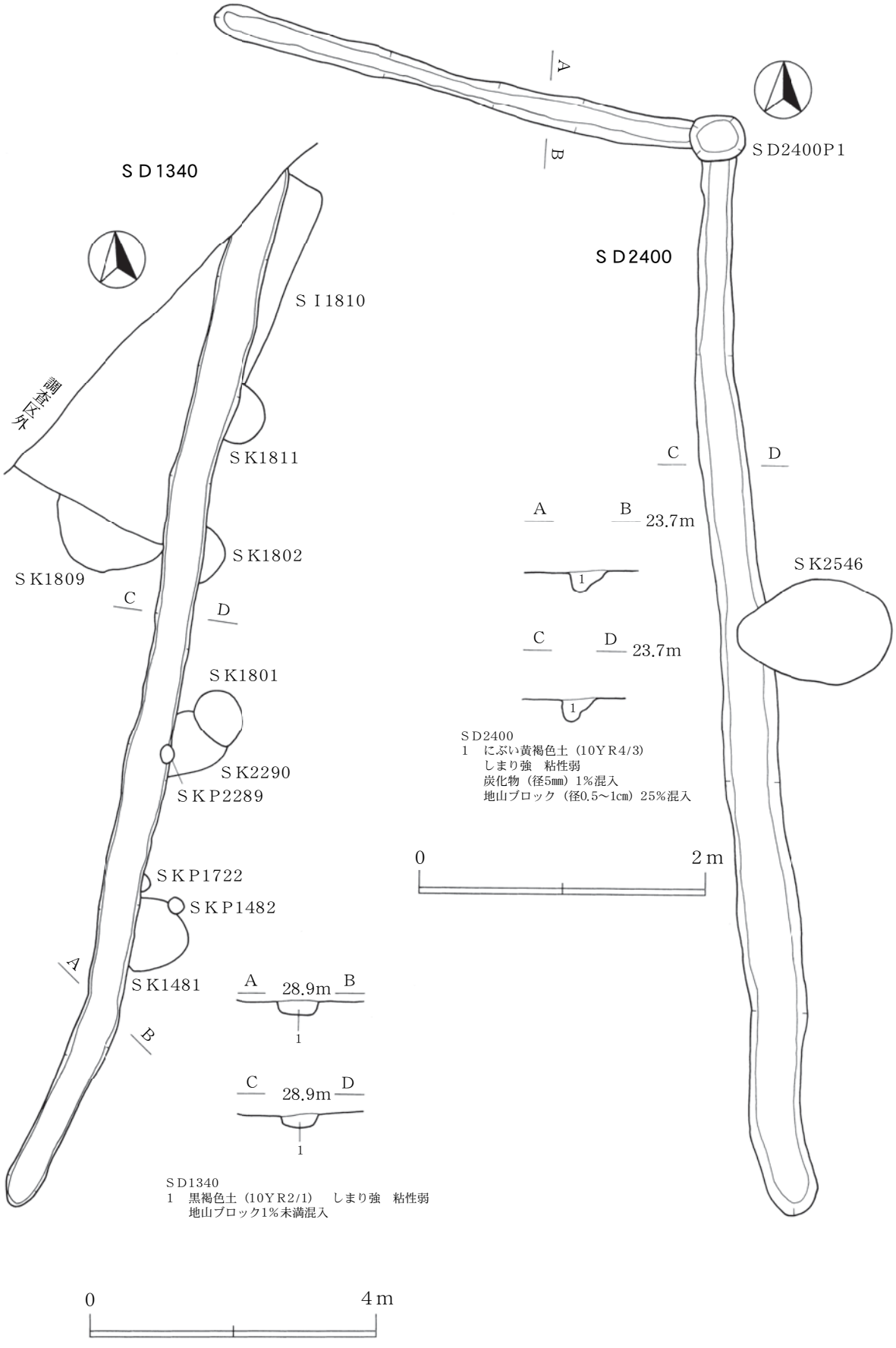
ＳＤ2139
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり中　粘性弱
　　炭化物（径1～5㎜）1％未満
　　焼土ブロック（径3～5㎜）1％未満
　　Ⅳ層ブロック（径0.5～10㎝）1％未満混入



ＳＤ2317
1　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性なし
　　明褐色土（7.5ＹＲ5/6）混入
　　地山ブロック15％混入



第187図　ＳＤ1882・2139・2317・2430溝跡



第188図　ＳＤ1340・2400溝跡

ＳＡ24（第190図）

ＯＪ11・12、ＯＫ９～11グリッドの第Ⅳ層で確認した。Ｎ－34°－Ｅ方向に延びている。長さは10.89mで、８基の柱穴で構成される。柱穴は、径0.36～0.47mの円・楕円形で、確認面からの深さは0.28～0.44mである。柱間はＰ１～Ｐ２は3.9m、Ｐ２～Ｐ７は1.5～1.7mである。Ｐ６～Ｐ８は建て替えの可能性がある。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物はＰ４から土師器坏(第203図６)、Ｐ５から土師器片２点、Ｐ６から土師器片１点が出土した。

ＳＡ65（第189図）

ＰＬ・ＰＭ０・１グリッドの第Ⅳ層で確認した。Ｐ１～Ｐ３はＮ－34°－Ｅ方向、Ｐ３から南はＮ－78°－Ｅ方向を向く。長さは5.44mで３基の柱穴と、幅0.18m、確認面からの深さ0.08mの溝で構成される。柱穴は径0.26～0.61mの楕円形で、確認面からの深さは0.21～0.27mである。柱間は1.5～2.7mである。覆土は暗褐色土を主としている。遺物は土師器坏（第203図７）が出土した。

ＳＡ129（第191図）

ＰＢ２・３グリッドの第Ⅳ～Ⅴ層で確認した。Ｎ－14°－Ｅ方向に延びている。北東側をＳＫ127・128に切られる。長さは6.15mで、４基の柱穴と、幅0.22m、確認面からの深さ0.08mの溝で構成される。柱穴は、径0.22～0.36mの円・楕円形で、確認面からの深さは0.15～0.32mである。柱間はＰ１～Ｐ２は1.97m、Ｐ２～Ｐ３は1.73m、Ｐ３～Ｐ４は0.97mである。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器が出土した。

ＳＡ226（第191図）

ＰＡ14～16、ＯＴ16・17グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－29°－Ｅ方向に延びている。Ｐ１が農道に達し、Ｐ２はＳＫ1150に切られる。長さは15.6mで、５基の柱穴で構成される。柱穴は径0.56～0.92mの円・楕円形で、確認面からの深さは0.3～0.68mである。柱間は3.36～4.24mである。Ｐ３・Ｐ４、Ｐ５・Ｐ７は建て替えられた可能性がある。覆土は黒褐色土を主としており、遺物は土師器坏（第203図８）と、Ｐ２から土師器片と須恵器片１点が出土した。

ＳＡ250（第192図、図版16－１）

ＯＭ11、ＯＮ10・11、ＯＯ８～10、ＯＰ７・８、ＯＱ６・７グリッドの第Ⅳ層で確認した。Ｎ－28°－Ｅ方向に延びている。ＳＫ601を切り、ＳＩ811との新旧関係は不明である。長さは27.52mで、19基の柱穴で構成される。柱穴は、径0.3～0.64mの円・楕円形で、確認面からの深さは0.1～0.58mである。柱間は0.6～3.64mで、Ｐ８～Ｐ14がほぼ等間隔に配列する。Ｐ３・Ｐ４、Ｐ15・Ｐ16は建て替えられた可能性がある。覆土は黒褐色土と暗褐色土を主とする。遺物はＰ２・Ｐ３・Ｐ４からそれぞれ土師器片１点ずつが出土した。

ＳＡ271（第192図）

ＯＰ・ＯＱ２、ＯＲ３グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－60°－Ｗ方向に延びている。ＳＤ34に切られる。長さは9.6mで、４基の柱穴で構成される。柱穴は、径0.43～0.55mの楕円形で、確認面からの深さは0.26～0.32mである。柱間は2.9～3.3mである。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物はＰ１から土師器１点と剥片１点、Ｐ３から土師器坏１点と黒曜石を素材とした剥片１点、Ｐ４から土師器７点が出土している。

ＳＡ331（第193図）

ＯＱ８、ＯＲ８・９グリッドの第Ⅳ層で確認した。Ｎ－53°－W方向に延びている。長さは4.93ｍで４基の柱穴から構成される。柱穴は、径0.16～0.39ｍの円形・楕円形で確認面からの深さは0.07～0.12mである。柱間はＰ１－Ｐ２間が1.16m、Ｐ２－Ｐ３間が2.02m、Ｐ３－Ｐ４間が1.53mである。覆土は黒褐色土と暗褐色土を主とする。遺物はＰ５から土師器片３点が出土した。

ＳＡ360ａ（第193図）

ＯＮ４、ＯＯ４・５、ＯＰ５・６、ＯＱ６グリッドの第Ⅳ～Ⅴ層で確認した。Ｎ－55°－W方向に延びている。ＳＡ360ｂ・ＳＡ360ｃと切り合い、新旧関係は不明である。長さは7.92mで、５基の柱穴で構成される。柱穴は、径0.62～0.78mの円形・楕円形・不整方形を呈し、確認面からの深さは0.08～0.58mである。柱間は1.86～1.９mである。覆土は暗褐色土を主とし、Ｐ１で柱痕を確認した。遺物はＰ４から土師器片７点、土師器坏（第203図９）、Ｐ７から土師器片が出土した。

ＳＡ360ｂ（第193図）

ＯＮ４、ＯＯ４・５、ＯＰ５・６、ＯＱ６グリッドの第Ⅳ～Ⅴ層で確認した。Ｎ－55°－W方向に延びている。ＳＡ360ｃと切り合うが、新旧関係は不明である。長さは8.0mで、５基の柱穴で構成される。柱穴は径0.64～0.86mの円形・楕円形・不整方形を呈し、確認面からの深さは0.2～0.42ｍである。柱間は1.8～2.04mである。覆土は暗褐色土を主とする。遺物はＰ８から土師器片３点、剥片１点、Ｐ１０から土師器片１点、剥片３点、黒曜石を素材とした剥片１点が出土した。

ＳＡ360ｃ（第193図）

ＯＯ４・５、ＯＰ５・６、ＯＱ６グリッドの第Ⅳ～Ⅴ層で確認した。Ｎ－55°－W方向に延びている。ＳＡ360ａ・ＳＡ360ｂと切り合うが、新旧関係は不明である。長さは5.48mで、５基の柱穴で構成される。柱穴は径0.34～0.72mの楕円形を呈し、確認面からの深さは0.08～0.21mである。柱間は1.5～2.06mである。覆土は暗褐色土を中心とする。遺物はＰ３から土師器坏（第203図10）が出土した。

ＳＡ380（第193図）

ＯＬ・ＯＭ11、ＯＮ11・12、ＯＯ・ＯＰ12、ＯＰ13グリッドの第Ⅳ層で確認した。Ｎ－62°－W方向に延びている。北東側をＳＫ2958に切られる。長さは17.4mで、11基の柱穴で構成される。柱穴は径0.22～0.3mの円形・楕円形を呈し、確認面からの深さは0.08～0.36mである。柱間は1.5～1.92mである。覆土は黒褐色土と暗褐色土を中心とする。遺物は出土しなかった。

ＳＡ631（第194図、図版16－２・17－１）

ＯＣ15、ＯＤ16、ＯＥ16・17グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－43°－W方向に延びている。長さは11.0mで、11基の柱穴で構成される。柱穴は径0.76～1.0mの円形・楕円形で、確認面からの深さは0.４～0.64mである。Ｐ８はＰ７・Ｐ９に切られ、建て替えられた可能性がある。覆土は黒褐色土を中心とする。遺物はＰ３から土師器片10点、土師器坏（第203図11）、Ｐ４から土師器片と礫１点、Ｐ７から土師器片、Ｐ８から土師器坏片１点、Ｐ11から土師器坏口縁部１点、底部１点が出土した。

ＳＡ701（第194図、図版16－３、17－１）

ＯＡ22、ＯＢ20・21、ＯＣ18・19、ＯＤ18グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－35°－Ｅ方向に

延びている。Ｐ２はＳＫＰ693を切って、Ｐ４はＳＫＰ1369を切るが、ＳＫＰ691との新旧関係は不明である。長さは21.56mで、７基の柱穴で構成される。柱穴は径0.62～0.76mの円形・楕円形を呈し、確認面からの深さは0.3～0.52mである。柱間は4.04～4.28mである。Ｐ７はＰ５に切られており、建て替えの可能性がある。覆土は炭化物や焼土が混入する黒褐色土で、Ｐ２・Ｐ３・Ｐ６で柱痕が認められた。遺物はＰ２から土師器坏（第203図12)、内面を黒色処理された土師器坏口縁部１点のほか、須恵器１点、流動滓４点、Ｐ３から土師器片、Ｐ５から土師器片１点、礫１点が出土した。

ＳＡ712（第194図）

ＯＢ20・21、ＯＣ18・19グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－32°－Ｅ方向に延びている。Ｐ１はＳＫＰ691を、Ｐ５・Ｐ６はＳＩ1375を切っているが、ＳＫＰ1369との新旧関係は不明である。長さは13.6mで、７基の柱穴で構成される。柱穴は径0.26～0.4mの円形・楕円形を呈し、確認面からの深さは0.1～0.46mである。柱間は2.12～2.52mである。覆土は炭化物、焼土、地山ブロックが混入する黒褐色土である。遺物は出土しなかった。

ＳＡ1313（第195図）

ＮＥ33、ＮＦ31～33、ＮＧ29～31、ＮＨ27～29グリッドの第Ⅳ層で確認した。Ｎ－28°－Ｅ方向に延びている。長さは28.16m以上で、13基の柱穴と幅0.16m・深さ0.1mの溝で構成される。Ｐ５～Ｐ６・Ｐ９～Ｐ13周辺は削平のため、溝を確認出来なかった。柱穴は径0.21～0.42mの円形・楕円形を呈し、確認面からの深さは0.08～0.51mである。柱間は1.2～3.68mである。Ｐ９は建て替えられた可能性がある。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片４点が出土した。

ＳＡ1370（第196図）

ＯＣ・ＯＤ21、ＯＥ22・23、ＯＦ23・24グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－51°－Ｗ方向に延びている。ＳＢ1998との新旧関係は不明である。長さは20.92mで、10基の柱穴で構成される。柱穴は径0.21～0.38mの円形・楕円形を呈し、確認面からの深さは0.07～0.29mである。柱間は3.03～3.86mである。Ｐ３はＰ４を切っている。遺物は出土しなかった。

ＳＡ1492（第195図）

ＮＤ32、ＮＥ30・31、ＮＦ29・30、ＮＧ27・28グリッドの第Ⅳ層で確認した。Ｎ－32°－Ｗ方向に延びている。ＳＢ1467と切り合うが、新旧関係は不明である。長さは25.0mで、22基の柱穴で構成される。柱穴は径0.18～0.54mの円形・楕円形を呈し、確認面からの深さは0.1～0.4mである。柱間は0.9～1.0mで、Ｐ16～Ｐ17は2.0mである。Ｐ21はＰ２を切っており、建て替えの可能性がある。覆土は黒褐色土を主とする単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＡ1538（第119図）

ＮＬ31・32、ＮＫ31・32、ＮＪ31グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－56°－Ｗ方向に延びており、ＮＬ32グリッドでＮ－82°－Ｗ方向に折れる。ＳＫ1537に切られ、ＳＢ2580を切る。残存部の長さは7.96mで、７基の柱穴と、幅0.2m・深さ0.16mの溝で構成される。Ｐ６～Ｐ７周辺は削平を受けていたため溝を確認できなかった。柱穴は径0.14～0.34ｍの円形・楕円形を呈し、確認面からの深さは0.15～0.38mである。柱間は0.76～0.86mである。遺物は土師器片２点、Ｐ１・Ｐ２から内面を黒色処理された土師器坏片が１点ずつ、Ｐ３から土師器片３点が出土した。

ＳＡ1951（第84・85図、図版14－２）

ＮＴ26、ＯＡ25・26グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－63°－W方向に延びている。ＳＢ1945と切り合うが新旧関係は不明である。長さ5.12mで、３基の柱穴で構成される。柱穴は径0.16～0.24mの円形を呈し、確認面からの深さは0.08～0.1mである。柱間は1.98～2.92mである。覆土は暗褐色土を中心とした単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＡ2033（第196図）

ＯＢ・ＯＣ21、ＯＤ22、ＯＥ23、ＯＦ24グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－53°－W方向に延びている。ＳＢ1998との新旧関係は不明である。長さ17.24mで、６基の柱穴で構成される。柱穴は径0.32～0.38mの円形・楕円形を呈し、確認面からの深さは0.1～0.25mである。柱間は2.16～3.22mで、Ｐ５～Ｐ６間は6.16mである。覆土は黒褐色土である。遺物は出土しなかった。

ＳＡ2105（第197図）

ＰＩ～ＰＮ－１グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－84°－W方向に延びている。ＳＤ1958・2998、ＳＫＦ1956・2103・2104、ＳＫＰ2108に切られるが、ＳＡ2106との新旧関係は不明である。長さ19.44mで、５基の柱穴と、幅0.24m・深さ0.16mの溝で構成される。柱穴は径0.24～0.28mの円形・楕円形を呈し、確認面からの深さは0.24～0.55mである。柱間は0.52～3.78mである。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片６点、土師器坏底部１点のほか、縄文土器１点と石器剥片１点が出土した。

ＳＡ2106（第197図）

ＰＩ～ＰＮ－１グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－85°－W方向に延びている。ＳＡ2128、ＳＤ2998、ＳＫＦ1956・1959・2103・2104・2113・2126・2127・ＳＫＰ2249を切るが、ＳＡ2105との新旧関係は不明である。長さ20.8mで、５基の柱穴と幅0.48m・深さ0.24mの溝で構成される。柱穴は径0.32～0.6mの楕円形を呈し、確認面からの深さは0.31～0.58mである。柱間は0.72～3.36mである。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片のほか、須恵器片２点、縄文土器片、石器剥片３点が出土している。

ＳＡ2128（第197図）

ＰＭ－２・－１グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－16°－W方向に延びている。ＳＡ2105・2106に切られる。残存部の長さは3.6mで、２基の柱穴と幅0.36m・深さ0.12mの溝で構成される。柱穴は径0.26～0.32mの円形・楕円形を呈し、確認面からの深さは0.29～0.31mである。柱間は1.4mである。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は土師器片のほか、縄文土器片１点が出土している。

ＳＡ2129（第197図）

ＰＬ・ＰＭ－１グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－74°－W方向に延びている。ＳＫＦ2126を切り、ＳＫＰ2761に切られる。長さは3.15mで、２基の柱穴と幅0.34m・深さ0.18mの溝で構成される。柱穴は径0.26～0.36mの楕円形を呈し、確認面からの深さは0.16～0.32mである。柱間は1.08mである。覆土はにぶい黄褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＡ2188（第198図）

ＮＬ32、ＮＭ31・32、ＮＮ29・30、ＮＯ28・29グリッドの第Ⅳ～Ⅴ層で確認した。Ｎ－33°－W方向に延びている。長さは21.64mで、６基の柱穴で構成される。柱穴は径0.22～0.54mの円形・

楕円形を呈し、確認面からの深さは0.09～0.47mである。柱間は5.0～5.66mである。覆土は黒褐色土を主とする。遺物は出土しなかった。

ＳＡ2222（第198図）

ＯH19、ＯＩ19・20グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－53°－W方向に延びている。長さは5.65mで、３基の柱穴で構成される。柱穴は径0.37～0.43mの円・楕円形を呈し、確認面からの深さは0.33～0.42mである。柱間はＰ１～Ｐ２は2.85m、Ｐ２～Ｐ３は3.14mである。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＡ2543（第199図、図版17－２）

ＰＣ～ＰＦ－２、ＰＧ・ＰＨ－１グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－77°－W方向に延びている。ＳＫ2318・2624を切る。長さは19.88mで、13基の柱穴と幅0.2m・深さ0.04mの溝で構成される。柱穴は径0.32～0.48mの円形・楕円形を呈し、確認面からの深さは0.12～0.44mである。柱間は1.4～1.84mである。覆土はにぶい黄褐色土の単一層である。遺物は土師器甕（第203図14）、土師器坏（第203図15）、縄文土器３点が出土した。

ＳＡ2544（第199図）

ＰＦ・ＰＧ・ＰＨ－１グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－87°－W方向に延びている。ＳＫ2624を切る。長さは3.03mで、３基の柱穴と幅0.11m・深さ0.13mの溝で構成される。柱穴は径0.28～0.46mの円形・楕円形を呈し、確認面からの深さは0.08～0.12mである。柱間は0.84～1.0mである。覆土はにぶい黄褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＡ2558（第198図）

ＮＦ31・32、ＮＧ29～31、ＮＨ27～29グリッドの第Ⅳ～Ⅴ層で確認した。Ｎ－22°－Ｅ方向に延びている。ＳＫ1314と切り合うが、新旧関係は不明である。長さは15.7mで、７基の柱穴と幅0.16m・深さ0.08mの溝で構成される。柱穴は径0.25～0.38mの円形・楕円形を呈し、確認面からの深さは0.11～0.42mである。柱間は3.0～3.2mである。Ｐ１はＰ７を切っており、建て替えの可能性がある。覆土は黒褐色土を主とする。遺物は出土しなかった。

ＳＡ2703（第199図）

ＮＫ30・ＮＬ29グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－32°－Ｅ方向に延びている。長さは6.18mで、４基の柱穴で構成される。柱穴は径0.32～0.44mの円形・楕円形を呈し、確認面からの深さは0.22～0.36mである。柱間は1.7～2.38mである。覆土は黒褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＡ2882（第200図）

ＮＦ32、ＮＧ32、ＮＨ32・33グリッドの第Ⅴ層で確認した。Ｎ－58°－W方向に延びている。長さは8.9mで７基の柱穴で構成される。柱穴は径0.22～0.43mの円形・楕円形を呈し、確認面からの深さは0.08～0.21mである。柱間はＰ４～Ｐ５は1.0mで、その他は1.4～1.7mである。覆土は黒褐色土を中心とする。遺物は出土しなかった。

ＳＡ2895（第17図）

ＰＩ・ＰＪ０グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＫＦ2116を切る。Ｎ－87°－Ｅに延びている。長さは2.4mで、１基の柱穴と、幅0.19m・深さ0.14mの溝で構成される。柱穴は径0.16mの円形を

呈し、確認面からの深さは0.22mである。覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＡ3000ａ（第200図）

ＰＤ６・７、ＰＥ６、ＰＦ５グリッドの第Ⅳ層で確認した。Ｐ４はＳＡ3000Ｐｂ３に切られる。Ｎ－58°－Ｅ方向に延びている。長さは10.72mで、３基の柱穴で構成される。柱穴は径0.77～1.13mの円形・楕円形を呈し、確認面からの深さは0.22～0.46mである。柱間は4.0～5.0mである。覆土は黒褐色土と暗褐色土を主とし、Ｐ１・Ｐ４で柱痕を確認した。遺物はＰ４から土師器片、黒曜石を素材とした剥片１点、Ｐ５から土師器片が出土した。

ＳＡ3000ｂ（第200図）

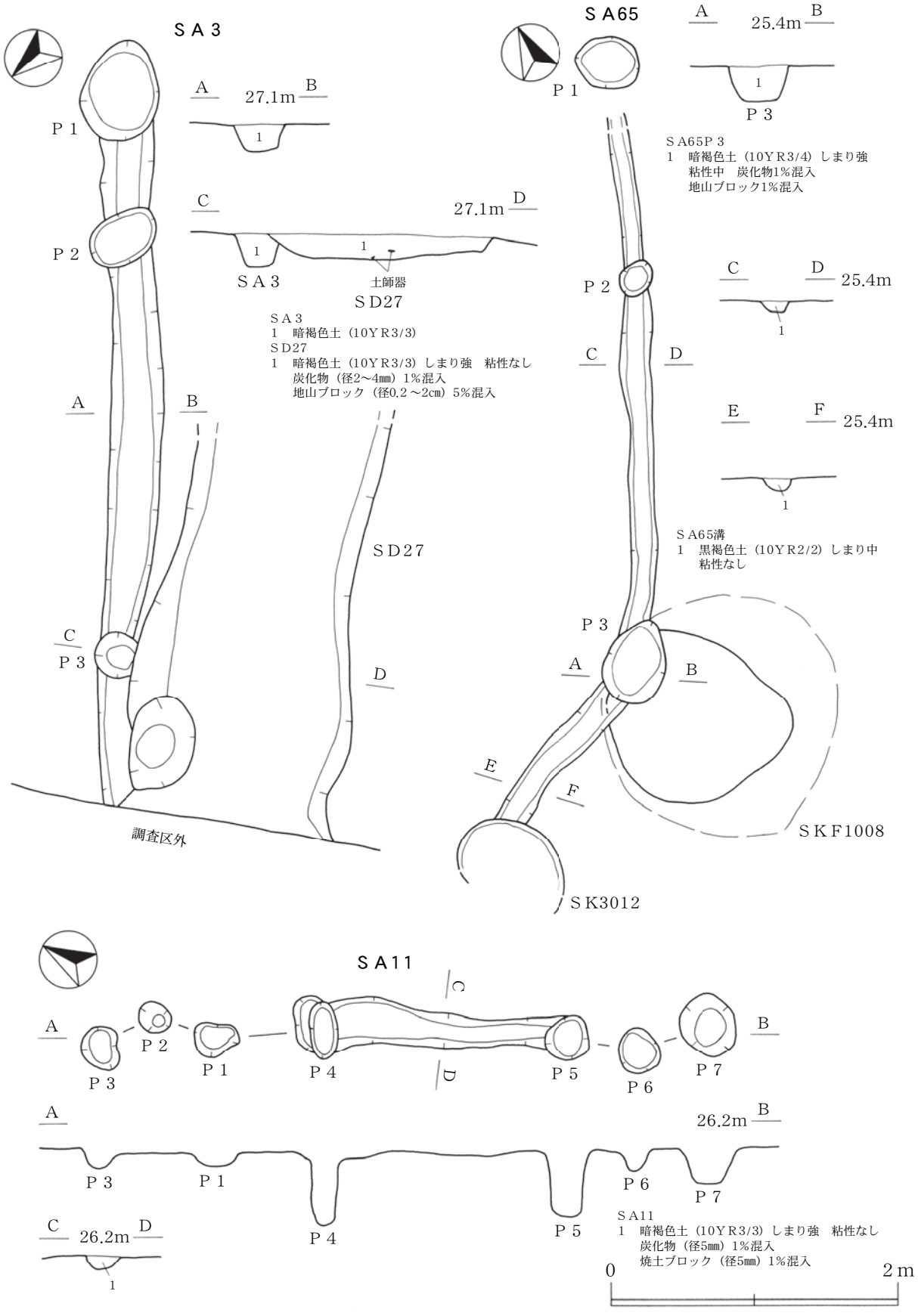
ＰＡ８、ＰＢ７・８、ＰＣ７、ＰＤ６・７、ＰＥ６、ＰＦ６グリッドの第Ⅳ～Ⅴ層で確認した。Ｐ３はＳＡ3000ａＰ４を切る。Ｐ11はＳＡ3000ｄＰ12を切る。Ｎ－60°－Ｗ方向に延びている。長さは21.2mで、７基の柱穴で構成される。柱穴は径0.62～1.49mの円形・楕円形を呈し、確認面からの深さは0.18～0.44mである。柱間は3.84～4.56mである。Ｐ８はＰ７を切っており、建て替えの可能性がある。覆土は黒褐色土と暗褐色土で構成され、Ｐ２・Ｐ７・Ｐ８・Ｐ９で柱痕を確認した。遺物はＰ２から土師器坏（第203図13・16）、土師器片２点、縄文土器片１点、Ｐ３から土師器片２点、Ｐ６から土師器片８点が出土した。

ＳＡ3000ｃ（第200図）

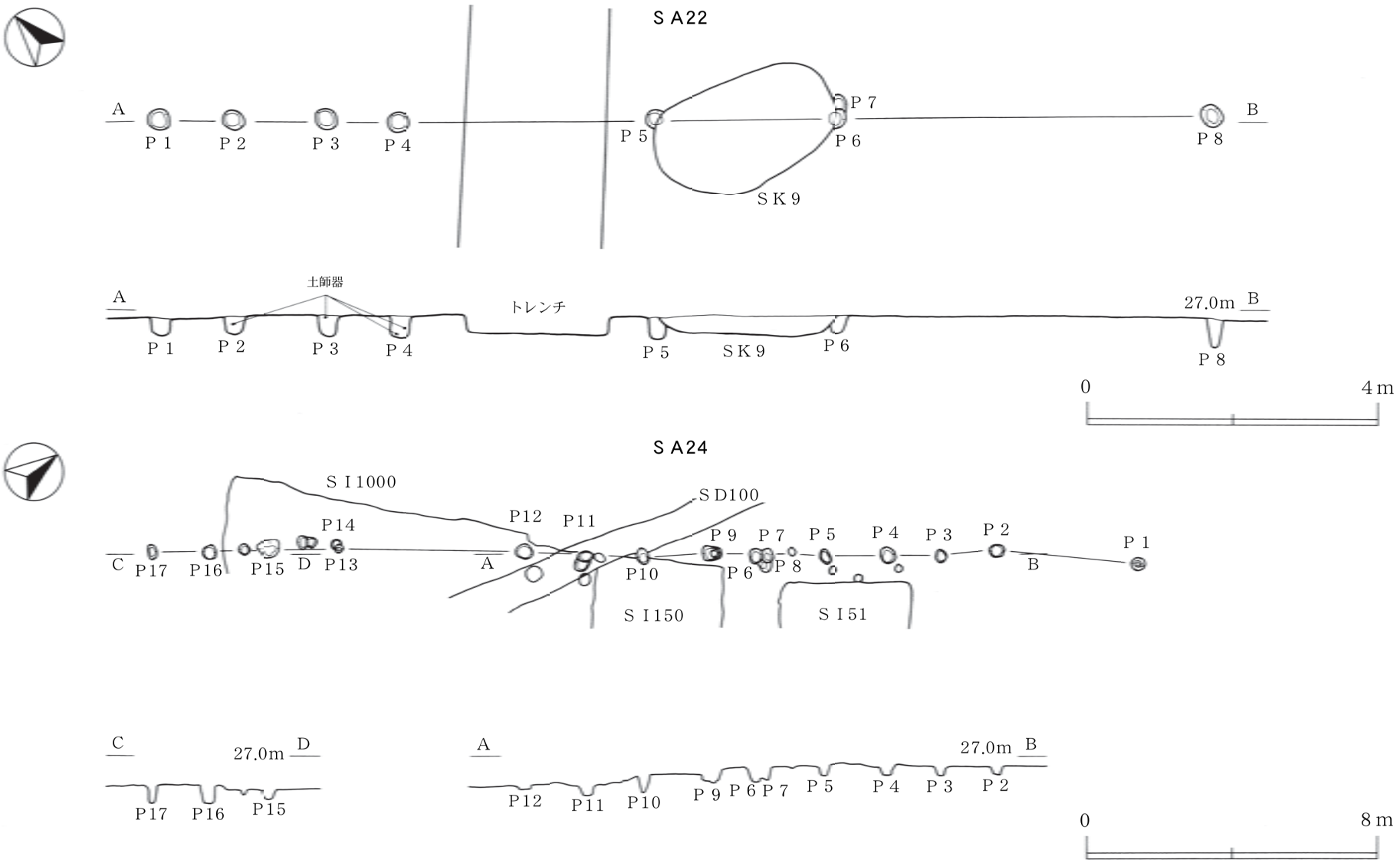
ＯＴ９、ＰＡ・ＰＢ８グリッドの第Ⅳ～Ⅴ層で確認した。Ｐ16はＳＡ3000ｄＰ15を切る。Ｎ－60°－Ｗ方向に延びている。長さは7.6mで、３基の柱穴で構成される。柱穴は径0.56～0.62mの円形・楕円形を呈し、確認面からの深さは0.1～0.2mである。柱間は3.52～3.64mである。覆土は黒褐色土と暗褐色土で構成され、Ｐ13で柱痕を確認した。遺物はＰ10から土師器片が出土した。

ＳＡ3000ｄ（第200図）

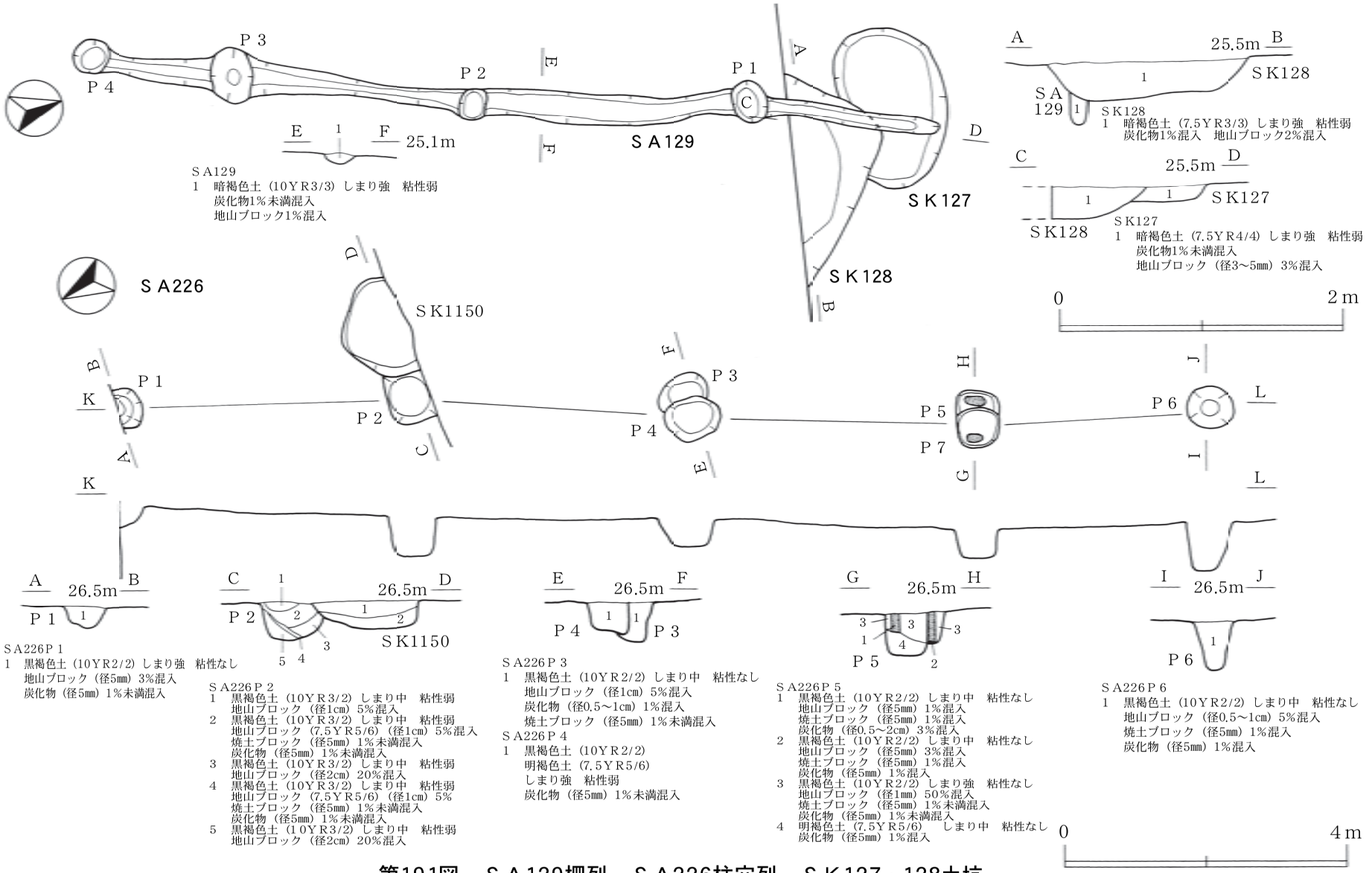
ＯＴ９、ＰＡ８グリッドの第Ⅳ～Ⅴ層で確認した。Ｐ12はＳＡ3000ｂＰ11に切られ、Ｐ15はＳＡ3000ｃＰ16に切られる。Ｎ－51°－Ｗ方向に延びている。長さは5.84mで、３基の柱穴で構成される。柱穴は径0.78～0.92mの円形・楕円形を呈し、確認面からの深さは0.16～0.36mである。覆土は黒褐色土と暗褐色土で構成される。遺物はＰ14から土師器片１点、Ｐ15から土師器片が出土した。



第189図　ＳＡ３・11・65柵列



第190図　ＳＡ22・24柱穴列



ＳＡ129
1　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物1％未満混入
　地山ブロック1％混入

ＳＫ128
1　暗褐色土（7.5ＹＲ3/3）しまり強　粘性弱
　炭化物1％混入　地山ブロック2％混入

ＳＫ127
1　暗褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物1％未満混入
　地山ブロック（径3～5㎜）3％混入

ＳＡ226Ｐ１
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性なし
　地山ブロック（径5㎜）3％混入
　炭化物（径5㎜）1％未満混入

ＳＡ226Ｐ２
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり中　粘性弱
　地山ブロック（径1cm）5％混入
2　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり中　粘性弱
　地山ブロック（7.5ＹＲ5/6）（径1cm）5％混入
　焼土ブロック（径5㎜）1％未満混入
　炭化物（径5㎜）1％未満混入
3　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり中　粘性弱
　地山ブロック（径2cm）20％混入
4　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり中　粘性弱
　地山ブロック（7.5ＹＲ5/6）（径1cm）5％
　焼土ブロック（径5㎜）1％未満混入
　炭化物（径5㎜）1％未満混入
5　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり中　粘性弱
　地山ブロック（径2cm）20％混入

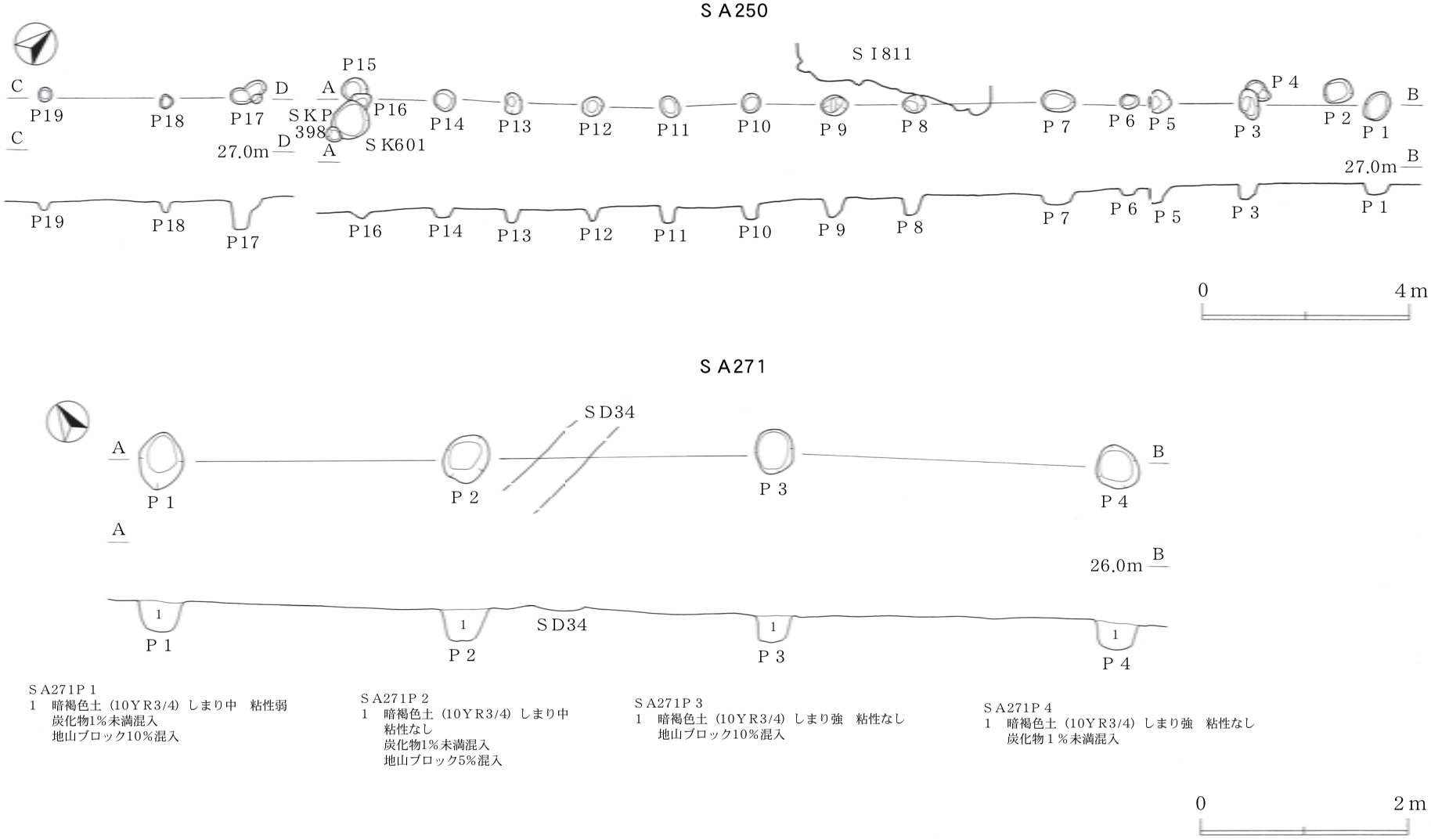
ＳＡ226Ｐ３
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり中　粘性なし
　地山ブロック（径1cm）5％混入
　炭化物（径0.5～1cm）1％混入
　焼土ブロック（径5㎜）1％未満混入

ＳＡ226Ｐ４
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）
　明褐色土（7.5ＹＲ5/6）
　しまり強　粘性弱
　炭化物（径5㎜）1％未満混入

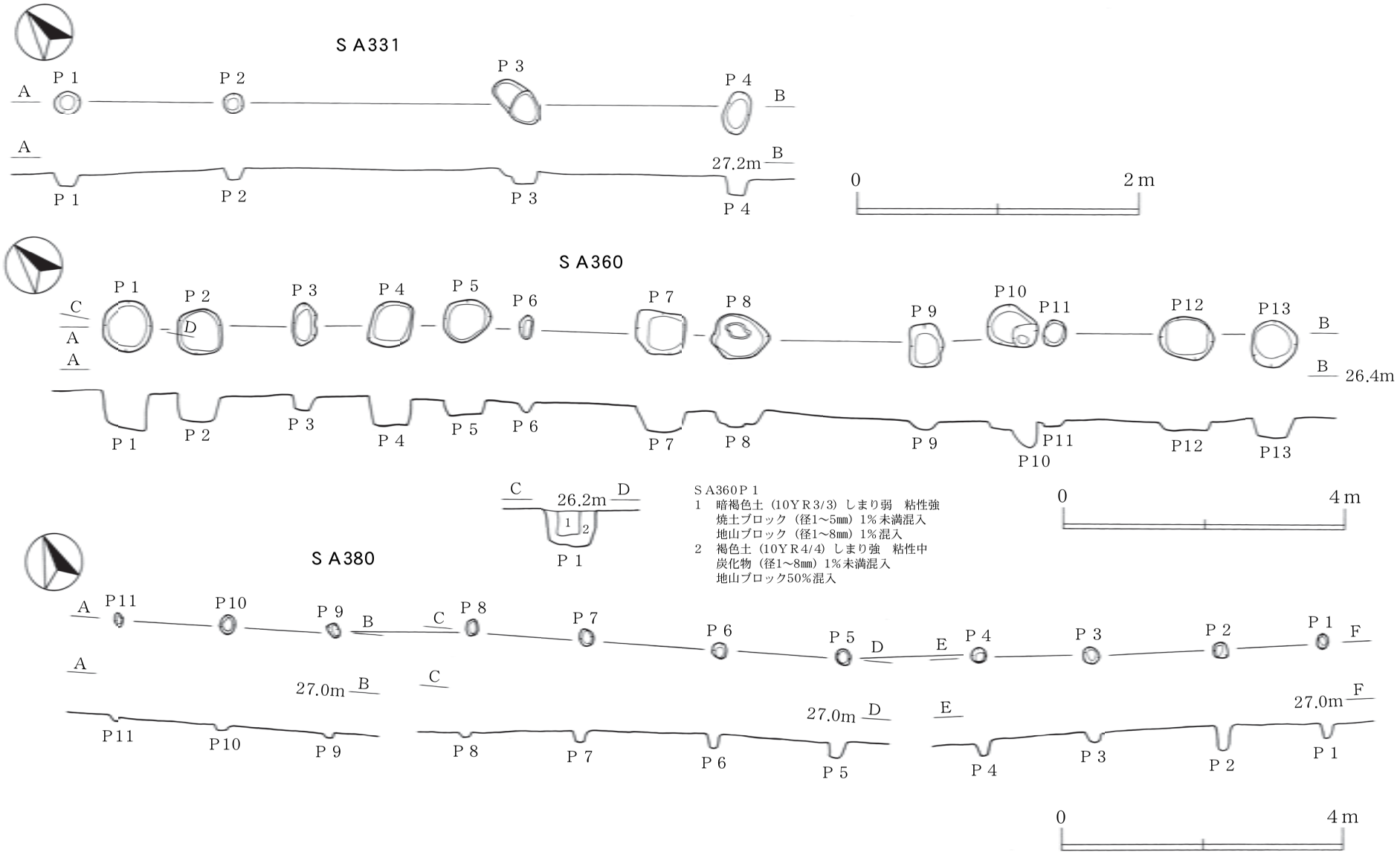
ＳＡ226Ｐ５
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり中　粘性なし
　地山ブロック（径5㎜）1％混入
　焼土ブロック（径5㎜）1％混入
　炭化物（径0.5～2cm）3％混入
2　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり中　粘性なし
　地山ブロック（径5㎜）3％混入
　焼土ブロック（径5㎜）1％混入
　炭化物（径5㎜）1％混入
3　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり強　粘性なし
　地山ブロック（径1㎜）50％混入
　焼土ブロック（径5㎜）1％未満混入
　炭化物（径5㎜）1％未満混入
4　明褐色土（7.5ＹＲ5/6）　しまり中　粘性なし
　炭化物（径5㎜）1％混入

ＳＡ226Ｐ６
1　黒褐色土（10ＹＲ2/2）しまり中　粘性なし
　地山ブロック（径0.5～1cm）5％混入
　焼土ブロック（径5㎜）1％混入
　炭化物（径5㎜）1％混入

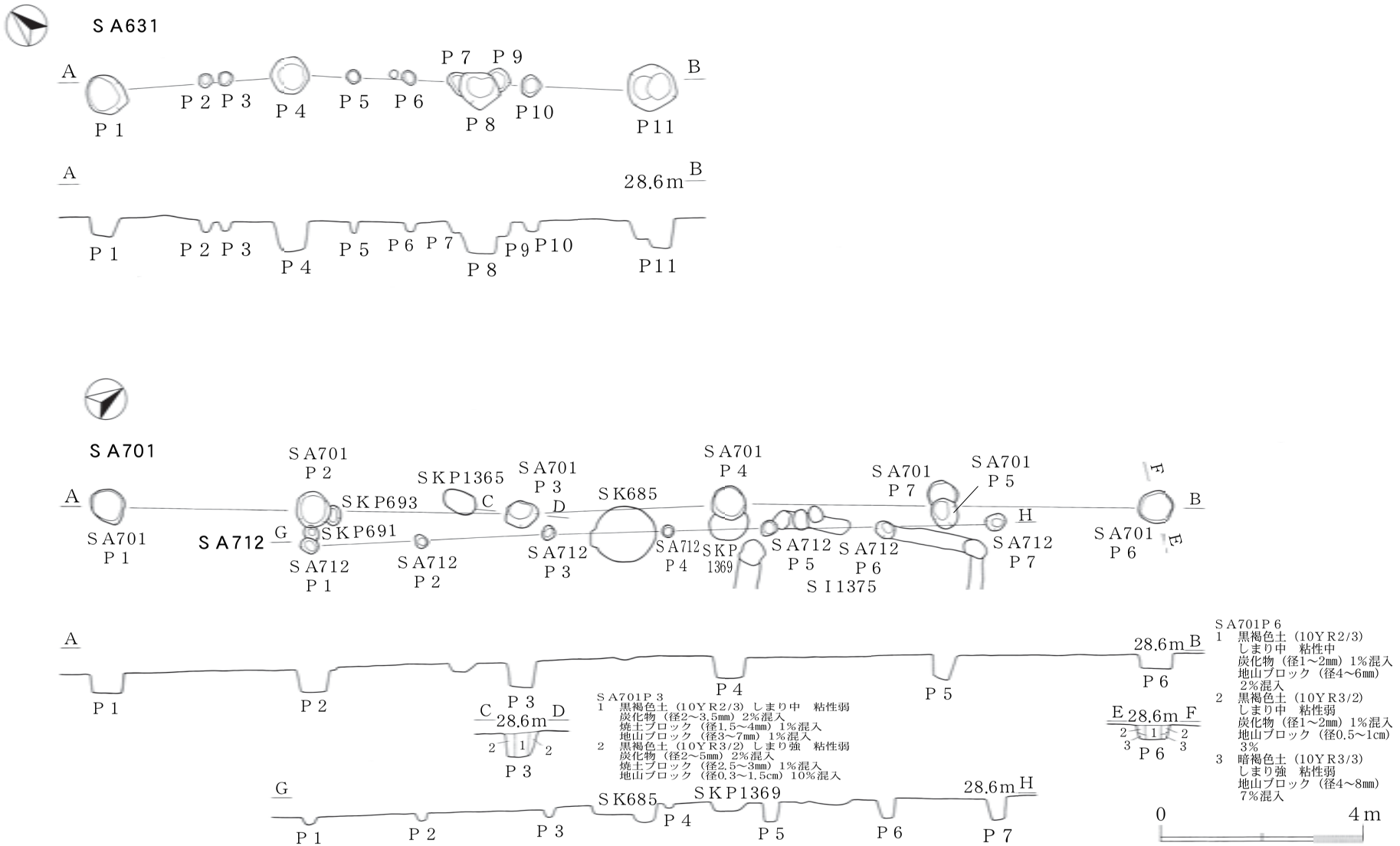
第191図　ＳＡ129柵列　ＳＡ226柱穴列　ＳＫ127・128土坑



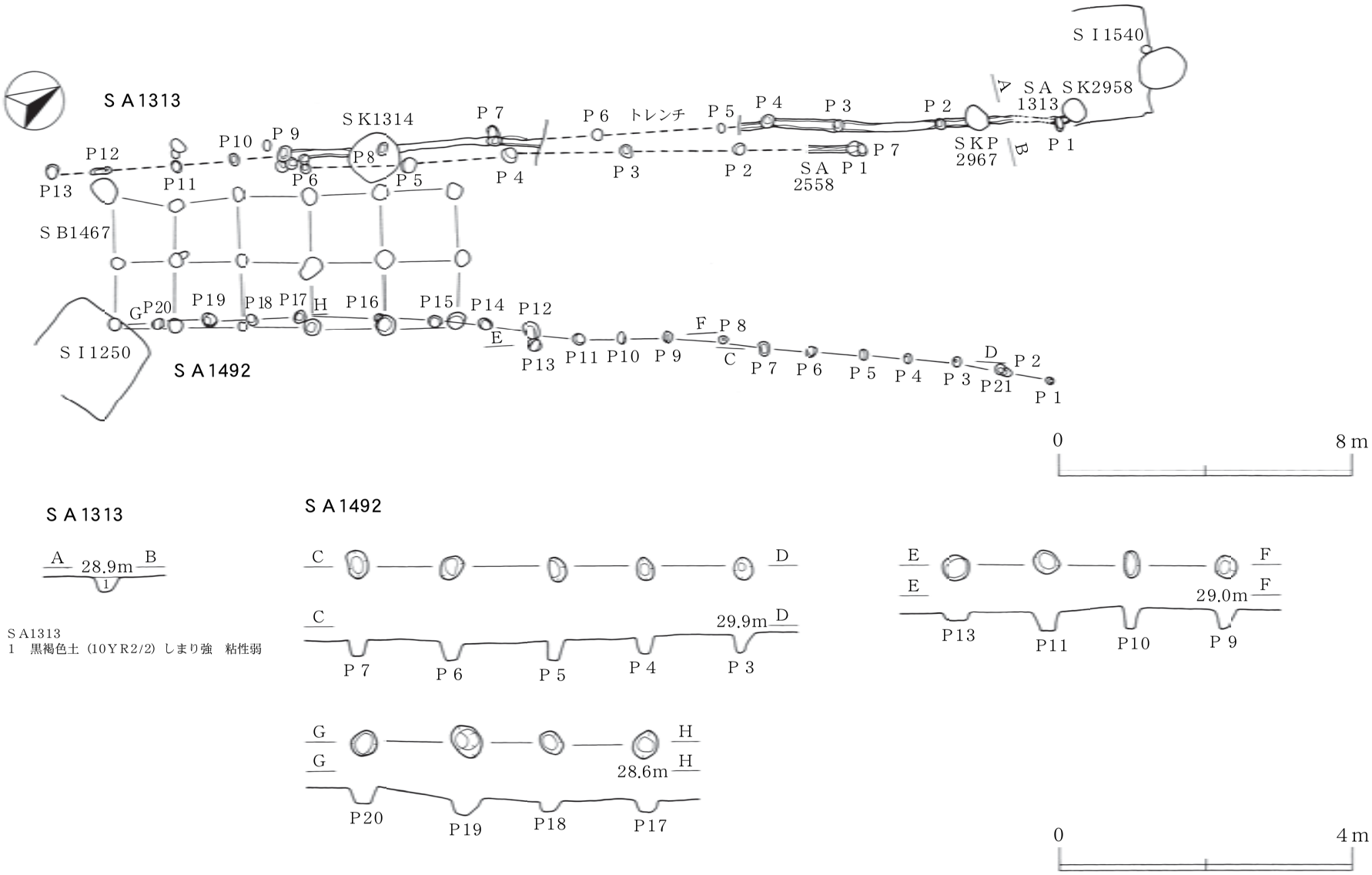
第192図　ＳＡ250・271柱穴列



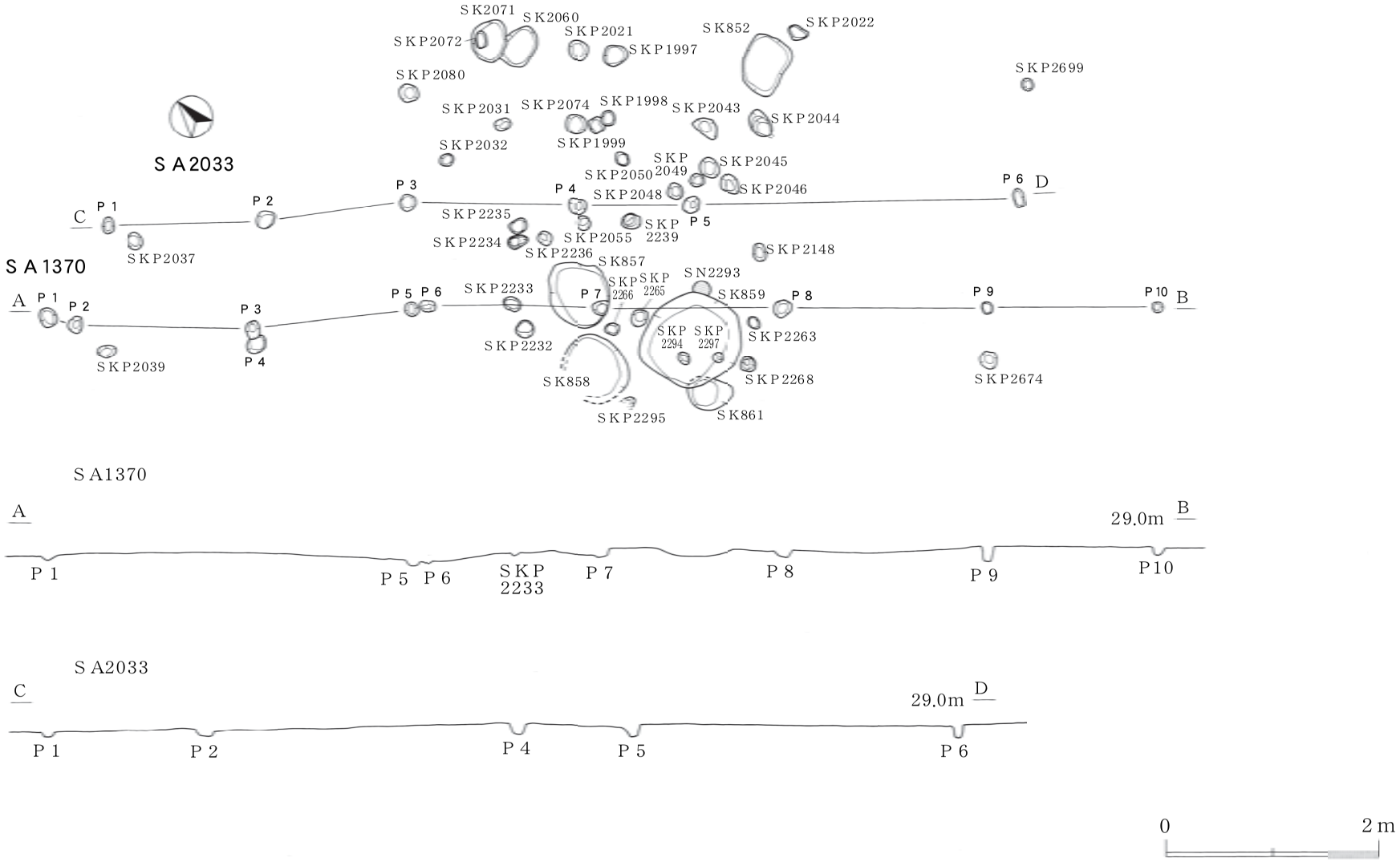
第193図　ＳＡ331・360・380柱穴列



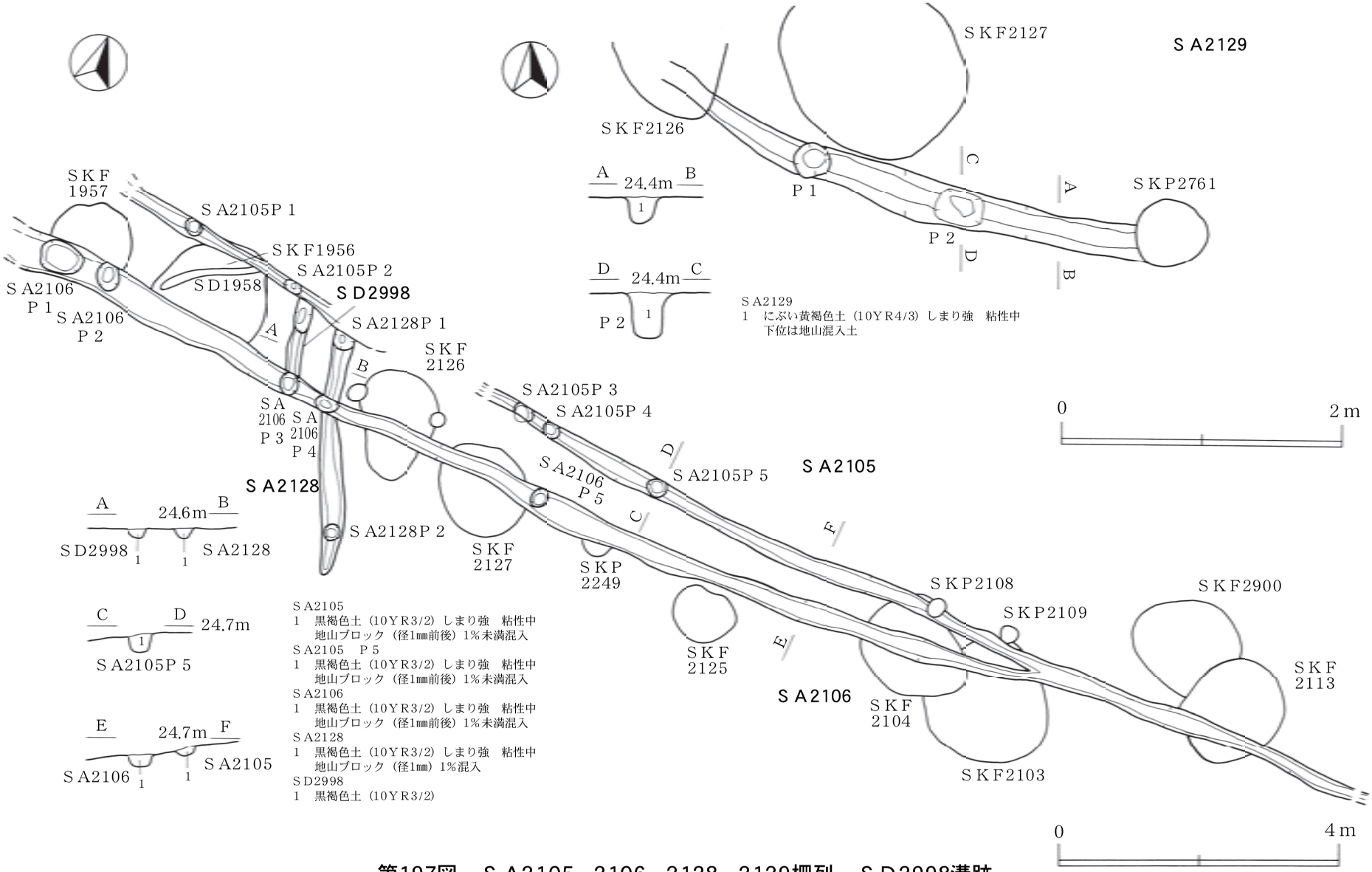
第194図　ＳＡ631・701・712柱穴列



第195図　ＳＡ1313柵列　ＳＡ1492柱穴列



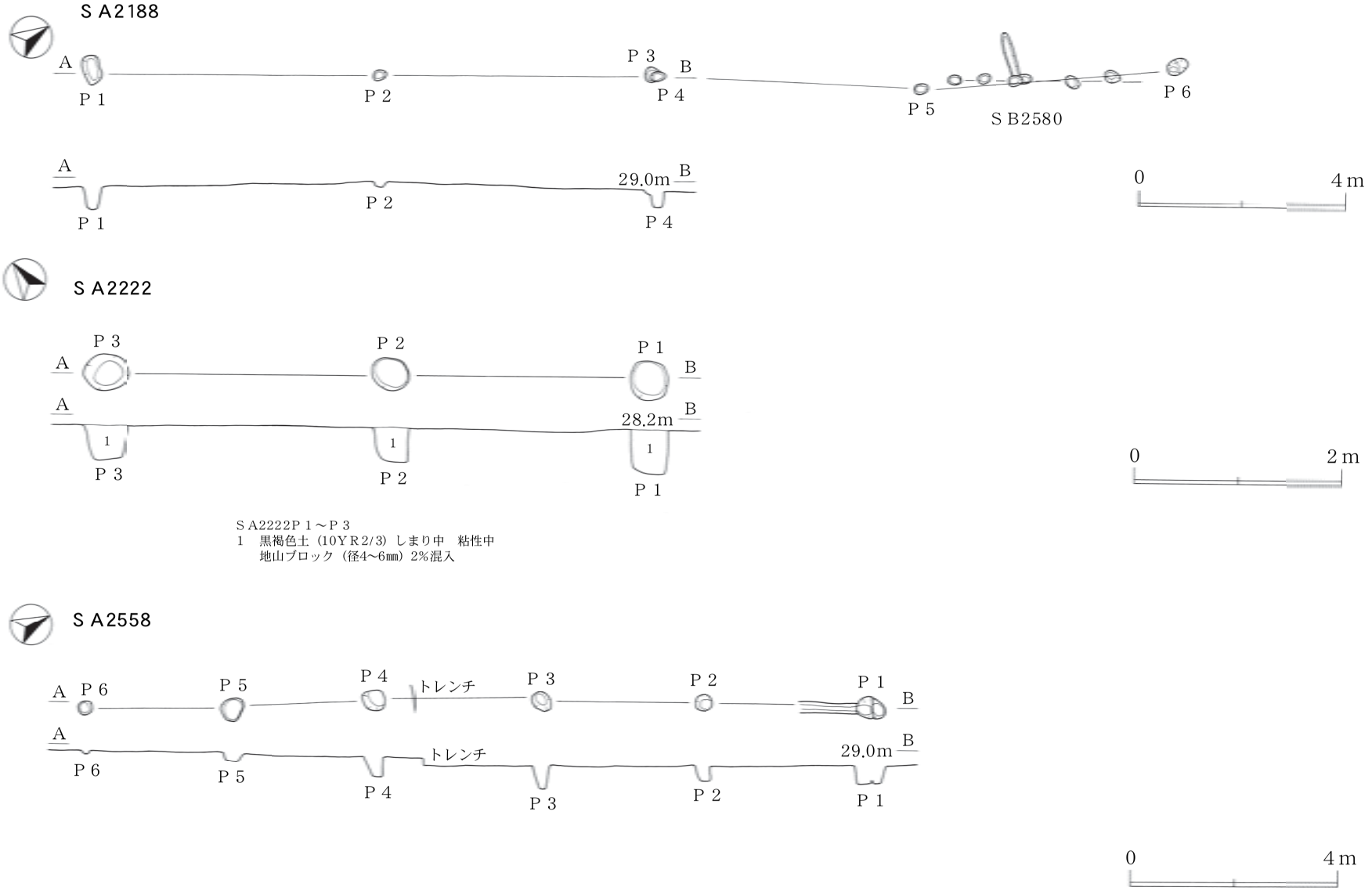
第196図　ＳＡ1370・2033柱穴列



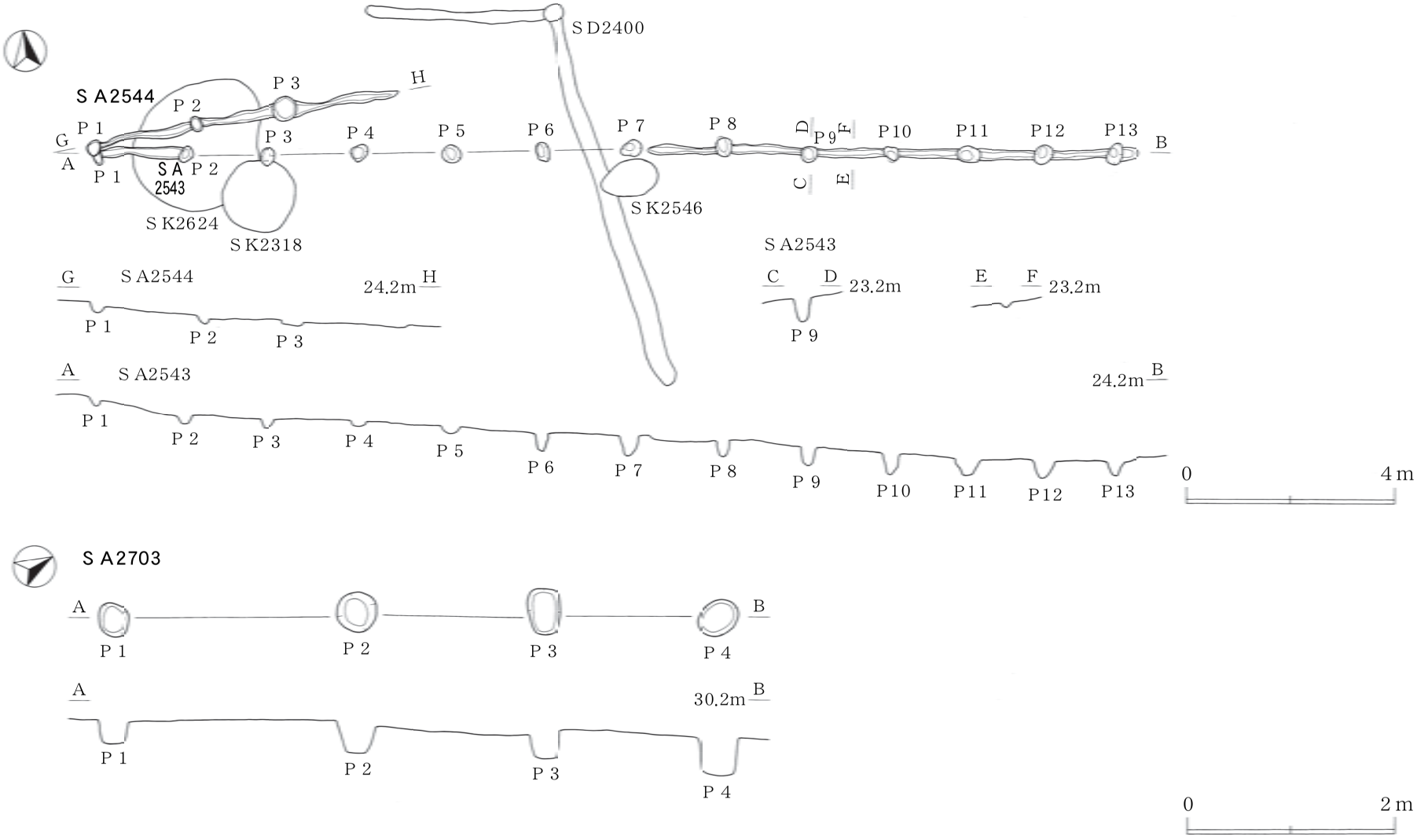
ＳＡ2129
1　にぶい黄褐色土（10ＹＲ4/3）しまり強　粘性中
　下位は地山混入土

ＳＡ2105
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり強　粘性中
　地山ブロック（径1㎜前後）1％未満混入
ＳＡ2105　Ｐ５
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり強　粘性中
　地山ブロック（径1㎜前後）1％未満混入
ＳＡ2106
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり強　粘性中
　地山ブロック（径1㎜前後）1％未満混入
ＳＡ2128
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）しまり強　粘性中
　地山ブロック（径1㎜）1％混入
ＳＤ2998
1　黒褐色土（10ＹＲ3/2）

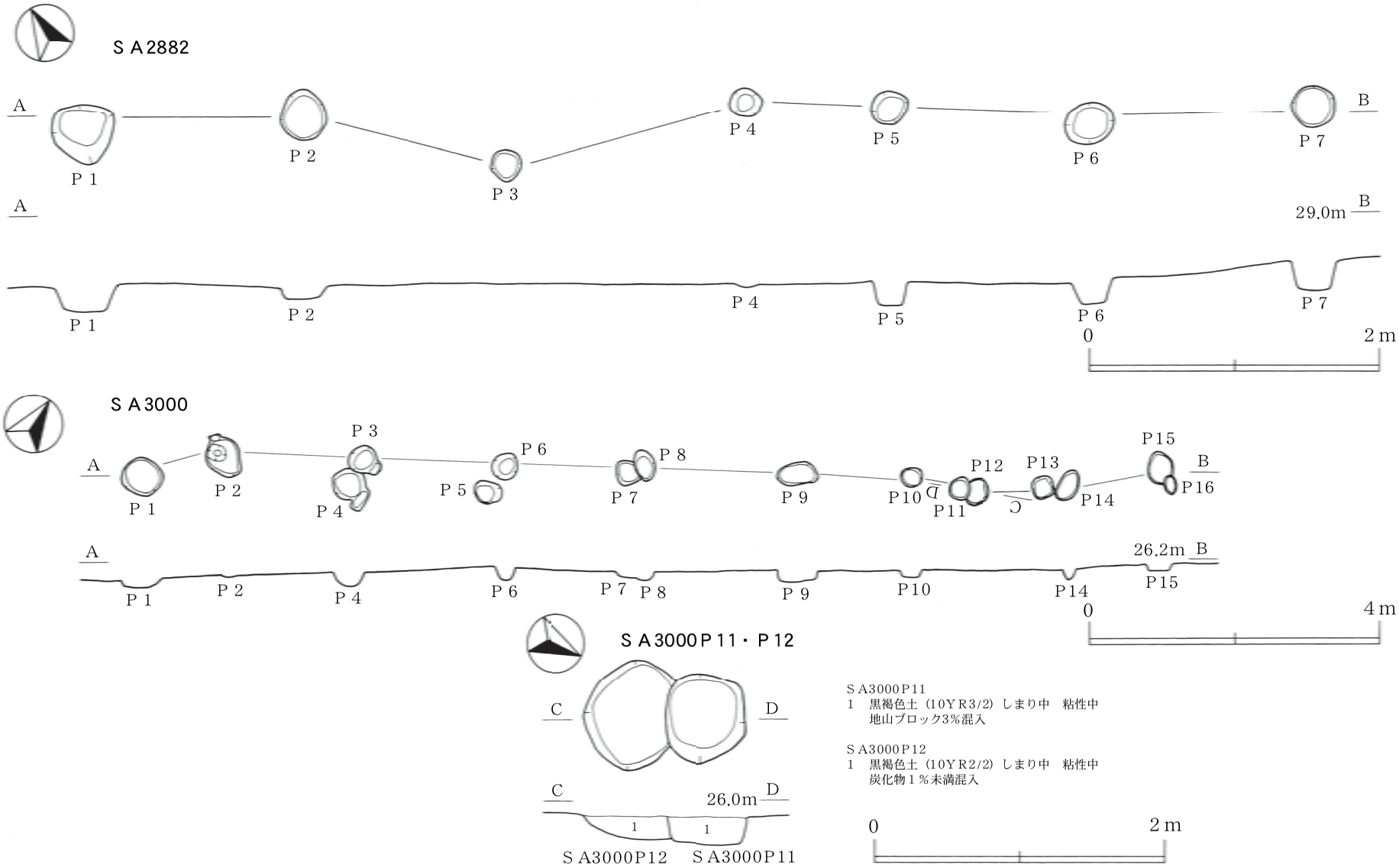
第197図　ＳＡ2105・2106・2128・2129柵列　ＳＤ2998溝跡



第198図　ＳＡ2188・2222柱穴列　ＳＡ2558柵列



第199図　ＳＡ2543・2544柵列　ＳＡ2703柱穴列



第200図　ＳＡ2882・3000柱穴列

ＳＡ３

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.60	0.58	0.44	26.50
Ｐ２	楕円形	0.50	0.34	0.22	26.72
Ｐ３	円形	0.32	0.26	0.18	26.74

ＳＡ11

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	不整楕円形	0.32	0.23	0.10	25.91
Ｐ２	円形	0.23	0.20	0.13	25.80
Ｐ３	楕円形	0.32	0.27	0.10	25.42
Ｐ４	楕円形	0.39	0.18	0.48	25.49
Ｐ５	円形	0.33	0.30	0.46	25.55
Ｐ６	楕円形	0.32	0.28	0.15	25.85
Ｐ７	円形	0.42	0.38	0.24	25.76

ＳＡ22

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.32	0.26	0.24	26.66
Ｐ２	楕円形	0.29	0.24	0.24	26.67
Ｐ３	楕円形	0.31	0.26	0.28	26.66
Ｐ４	円形	0.28	0.28	0.29	26.64
Ｐ５	円形	－	－	0.30	26.60
Ｐ６	円形	－	－	0.25	26.69
Ｐ７	円形	－	－	0.18	26.76
Ｐ８	楕円形	0.33	0.27	0.41	26.48

ＳＡ24

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	円形	0.38	0.37	0.31	26.94
Ｐ２	円形	0.40	0.40	0.28	26.55
Ｐ３	楕円形	0.37	0.28	0.32	26.45
Ｐ４	楕円形	0.50	0.39	0.29	26.48
Ｐ５	楕円形	0.41	0.32	0.33	26.49
Ｐ６	不整円形	0.42	0.37	0.43	26.37
Ｐ７	不整円形	0.40	－	0.27	26.37
Ｐ８	不整円形	－	－	0.28	26.45
Ｐ９	不整楕円形	0.54	0.42	0.34	26.25
Ｐ10	不整円形	0.45	0.33	0.47	26.20
Ｐ11	楕円形	0.46	0.30	0.27	26.15
Ｐ12	不整円形	0.46	0.40	0.12	26.07
Ｐ13	楕円形	0.26	0.20	0.22	25.95
Ｐ14	円形	0.31	－	0.12	26.04
Ｐ15	不整円形	0.57	0.52	0.30	25.79
Ｐ16	不整円形	0.42	0.40	0.50	25.70
Ｐ17	楕円形	0.43	0.25	0.47	25.69

ＳＡ65

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.44	0.38	0.21	25.19
Ｐ２	楕円形	0.26	0.22	0.27	25.04
Ｐ３	楕円形	0.61	0.43	0.25	24.84

ＳＡ129

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.30	0.24	0.29	24.86
Ｐ２	楕円形	0.22	0.19	0.32	24.65
Ｐ３	楕円形	0.36	0.30	0.15	24.64
Ｐ４	円形	0.24	0.24	0.15	24.49

ＳＡ226

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.56	0.34	0.30	25.94
Ｐ２	楕円形	0.92	0.64	0.54	25.78
Ｐ３	楕円形	0.70	－	0.54	25.73
Ｐ４	楕円形	0.80	0.58	0.42	25.85
Ｐ５	円形	0.60	0.56	0.40	25.35
Ｐ６	楕円形	0.70	0.56	0.68	25.31
Ｐ７	楕円形	0.66	0.24(残存値)	0.58	25.53

ＳＡ250

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.61	0.46	0.20	26.44
Ｐ２	楕円形	0.55	0.44	0.29	26.40
Ｐ３	楕円形	0.58	－	0.30	26.34
Ｐ４	楕円形	0.50	0.39	0.19	26.45
Ｐ５	円形	0.46	0.42	0.32	26.31
Ｐ６	楕円形	0.34	0.28	0.16	26.47
Ｐ７	楕円形	0.64	0.42	0.23	26.82
Ｐ８	楕円形	0.43	0.36	0.39	26.05
Ｐ９	楕円形	0.50	0.40	0.40	26.03
Ｐ10	円形	0.40	0.30	0.30	26.00
Ｐ11	楕円形	0.42	0.37	0.34	25.84
Ｐ12	円形	0.40	0.34	0.26	25.89
Ｐ13	楕円形	0.42	0.28	0.24	25.86
Ｐ14	円形	0.42	0.40	0.20	25.88
Ｐ15	円形	0.50	－	0.10	25.99
Ｐ16	不整楕円形	0.38	－	0.14	25.93
Ｐ17	不整楕円形	0.62	0.48	0.58	25.87
Ｐ18	円形	0.30	0.28	0.20	25.89
Ｐ19	円形	0.30	0.24	0.16	25.84

ＳＡ271

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.55	0.43	0.29	25.16
Ｐ２	楕円形	0.49	0.39	0.32	25.09
Ｐ３	楕円形	0.43	0.37	0.26	25.10
Ｐ４	楕円形	0.43	0.37	0.26	25.04

ＳＡ331

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	円形	0.18	0.16	0.07	27.00
Ｐ２	円形	0.16	0.14	0.07	27.05
Ｐ３	楕円形	0.39	0.22	0.11	27.03
Ｐ４	楕円形	0.30	0.18	0.12	27.00

第19表　柵列・柱穴列柱穴様ピット一覧表（１）

ＳＡ360

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	円形	0.73	0.73	0.58	25.53
Ｐ２	円形	0.70	0.68	0.39	25.83
Ｐ３	楕円形	0.62	0.34	0.21	25.70
Ｐ４	楕円形	0.78	0.65	0.41	25.86
Ｐ５	楕円形	0.64	0.60	0.20	25.81
Ｐ６	楕円形	0.34	0.20	0.12	25.90
Ｐ７	不整方形	0.70	0.60	0.13	25.58
Ｐ８	不整円形	0.86	0.63	0.24	26.64
Ｐ９	楕円形	0.62	0.48	0.20	25.50
Ｐ10	楕円形	0.72	0.58	0.42	25.27
Ｐ11	円形	0.37	0.33	0.08	25.63
Ｐ12	楕円形	0.70	0.62	0.08	25.64
Ｐ13	円形	0.77	0.00	0.29	25.57

ＳＡ380

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.23	0.16	0.21	26.44
Ｐ２	円形	0.23	0.22	0.36	26.33
Ｐ３	円形	0.25	0.24	0.16	26.54
Ｐ４	円形	0.23	0.22	0.20	26.46
Ｐ５	円形	0.24	0.23	0.26	26.39
Ｐ６	円形	0.22	0.22	0.22	26.38
Ｐ７	円形	0.26	0.22	0.16	26.34
Ｐ８	楕円形	0.25	0.18	0.08	26.32
Ｐ９	楕円形	0.22	0.16	0.09	26.33
Ｐ10	楕円形	0.30	0.22	0.10	26.42
Ｐ11	楕円形	0.24	0.16	0.11	26.34

ＳＡ６３１

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.84	0.76	0.40	27.56
Ｐ２	円形	0.30	0.28	0.22	27.66
Ｐ３	円形	0.30	0.30	0.18	27.67
Ｐ４	円形	0.76	0.74	0.60	27.27
Ｐ５	円形	0.28	0.28	0.24	27.59
Ｐ６	楕円形	0.32	0.30	0.18	27.64
Ｐ７	楕円形	0.48(残存値)	0.26(残存値)	0.24	27.61
Ｐ８	円形	0.78	0.70	0.64	27.16
Ｐ９	円形	0.48	0.28(残存値)	0.30	27.51
Ｐ10	円形	0.44	0.40	0.20	27.55
Ｐ11	円形	1.00	0.92	0.56	27.26

ＳＡ701

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.76	0.62	0.36	27.68
Ｐ２	円形	0.72	0.68	0.46	27.73
Ｐ３	楕円形	0.66	0.54	0.48	27.87
Ｐ４	円形	0.68	0.66	0.44	28.02
Ｐ５	楕円形	0.62	0.50	0.50	28.12
Ｐ６	円形	0.68	0.68	0.30	28.21
Ｐ７	円形	0.60(残存値)	0.56(残存値)	0.52	28.09

ＳＡ712

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	円形	0.36	0.30	0.14	28.06
Ｐ２	楕円形	0.30	0.24	0.16	28.14
Ｐ３	楕円形	0.32	0.26	0.18	28.19
Ｐ４	円形	0.26	0.24	0.10	28.35
Ｐ５	円形	0.34	0.30	0.38	28.07
Ｐ６	楕円形	0.40	0.34	0.38	28.13
Ｐ７	楕円形	0.38	0.34	0.46	28.08

ＳＡ1313

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.40	0.16	0.49	28.23
Ｐ２	円形	0.28	0.27	0.48	28.20
Ｐ３	楕円形	0.33	0.20	0.17	28.55
Ｐ４	円形	0.40	0.36	0.16	28.53
Ｐ５	楕円形	0.24	0.17	0.20	28.45
Ｐ６	円形	0.35	0.34	0.30	28.40
Ｐ７	楕円形	0.30	0.24	0.51	28.31
Ｐ８	楕円形	0.36	0.24	0.26	28.48
Ｐ９	楕円形	0.42	0.32	0.08	28.65
Ｐ10	円形	0.26	0.24	0.39	28.58
Ｐ11	楕円形	0.33	0.22	0.25	28.74
Ｐ12	楕円形	0.21	0.18	0.15	29.02
Ｐ13	楕円形	0.40	0.29	0.34	28.86

ＳＡ1492

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	円形	0.18	0.18	0.14	28.67
Ｐ２	円形	0.22	0.20(残存値)	0.11	28.61
Ｐ３	楕円形	0.28	0.26	0.13	28.62
Ｐ４	楕円形	0.34	0.19	0.23	28.51
Ｐ５	楕円形	0.32	0.20	0.31	28.45
Ｐ６	楕円形	0.31	0.26	0.23	28.54
Ｐ７	楕円形	0.38	0.23	0.20	28.57
Ｐ８	円形	0.23	0.22	0.17	28.57
Ｐ９	円形	0.25	0.23	0.21	28.54
Ｐ10	楕円形	0.36	0.18	0.28	28.49
Ｐ11	円形	0.34	0.32	0.28	28.49
Ｐ12	楕円形	0.54	0.44	0.40	28.53
Ｐ13	円形	0.32	0.30	0.11	28.64
Ｐ14	円形	0.30	0.26	0.21	28.52
Ｐ15	円形	0.30	0.30	0.13	28.57
Ｐ16	円形	0.20	0.14(残存値)	0.11	28.73
Ｐ17	円形	0.32	0.28	0.21	28.76
Ｐ18	円形	0.32	0.26	0.28	28.78
Ｐ19	円形	0.38	0.38	0.29	28.78
Ｐ20	円形	0.36	0.30	0.12	28.98
Ｐ22	楕円形	0.30	0.26	1.00	28.71

ＳＡ1538

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.34	0.36	0.30	28.27
Ｐ２	楕円形	0.34	0.24	0.38	28.29
Ｐ３	楕円形	0.30	0.22	0.25	28.42
Ｐ４	円形	0.30	0.26	0.23	28.45
Ｐ５	円形	0.14	0.12	0.19	28.51
Ｐ６	円形	0.26	0.24	0.17	28.48
Ｐ７	楕円形	0.38	0.28	0.22	28.44

第20表　柵列・柱穴列柱穴様ピット一覧表（２）

ＳＡ1951

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	円形	0.20	0.14	0.10	28.66
Ｐ２	円形	0.16	0.16	0.80	28.62
Ｐ３	円形	0.24	0.23	0.10	28.66

ＳＡ2033

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.32	0.22	0.10	28.33
Ｐ２	円形	0.38	0.33	0.15	28.33
Ｐ３	円形	0.33	0.30	0.11	28.44
Ｐ４	円形	0.35	0.32	0.22	28.36
Ｐ５	楕円形	0.36	0.32	0.16	28.32
Ｐ６	楕円形	0.38	0.20	0.25	28.29

ＳＡ2105

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.24	0.23	0.39	23.83
Ｐ２	楕円形	0.28	0.20	0.25	24.09
Ｐ３	楕円形	0.28	0.20	0.55	23.91
Ｐ４	楕円形	0.24	0.22	0.24	24.28
Ｐ５	円形	0.28	0.28	0.28	24.31

ＳＡ2106

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.60	0.48	0.58	23.40
Ｐ２	楕円形	0.36	0.32	0.50	23.41
Ｐ３	楕円形	0.30	0.28	0.32	24.34
Ｐ４	楕円形	0.32	0.28	0.31	24.34
Ｐ５	楕円形	0.32	0.28	0.31	24.14

ＳＡ2128

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.32	0.30(残存値)	0.29	24.13
Ｐ２	円形	0.26	0.26	0.31	23.79

ＳＡ2222

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.38	0.37	0.42	27.77
Ｐ２	楕円形	0.37	0.31	0.33	27.77
Ｐ３	楕円形	0.43	0.35	0.33	27.68

ＳＡ2543

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.36	0.16	0.12	23.68
Ｐ２	楕円形	0.36	0.24	0.16	23.35
Ｐ３	楕円形	0.36	0.24	0.16	23.24
Ｐ４	楕円形	0.32	0.28	0.12	23.28
Ｐ５	楕円形	0.40	0.36	0.16	23.12
Ｐ６	楕円形	0.36	0.24	0.36	22.80
Ｐ７	楕円形	0.40	0.32	0.40	22.70
Ｐ８	楕円形	0.40	0.32	0.32	22.70
Ｐ９	円形	0.32	0.32	0.36	22.52
Ｐ10	楕円形	0.32	0.28	0.44	22.32
Ｐ11	楕円形	0.48	0.48	0.32	22.32
Ｐ12	楕円形	0.40	0.32	0.36	22.25
Ｐ13	楕円形	0.44	0.20	0.28	22.32

ＳＡ2544

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.32	0.24	0.12	23.71
Ｐ２	楕円形	0.28	0.20	0.80	23.49
Ｐ３	円形	0.46	0.46	0.40	23.43

ＳＡ2558

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.38	0.00	0.22	28.38
Ｐ２	円形	0.31	0.30	0.29	28.89
Ｐ３	円形	0.42	0.42	0.42	28.40
Ｐ４	円形	0.36	0.34	0.40	28.40
Ｐ５	楕円形	0.43	0.38	0.11	28.75
Ｐ６	円形	0.25	0.24	0.17	28.75
Ｐ７	楕円形	0.32	0.22(残存値)	0.20	28.46

ＳＡ2703

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	楕円形	0.32	0.20	0.22	28.76
Ｐ２	円形	0.40	0.40	0.31	28.69
Ｐ３	楕円形	0.44	0.31	0.26	28.64
Ｐ４	楕円形	0.42	0.32	36.00	28.47

ＳＡ2882

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	不整円形	0.43	0.20	0.18	28.35
Ｐ２	楕円形	0.37	0.30	0.08	28.48
Ｐ３	円形	0.22	0.20	0.11	28.47
Ｐ４	円形	0.24	0.18	0.08	28.45
Ｐ５	楕円形	0.27	0.22	0.17	28.37
Ｐ６	楕円形	0.33	0.29	0.17	28.40
Ｐ７	円形	0.31	0.30	0.21	28.41

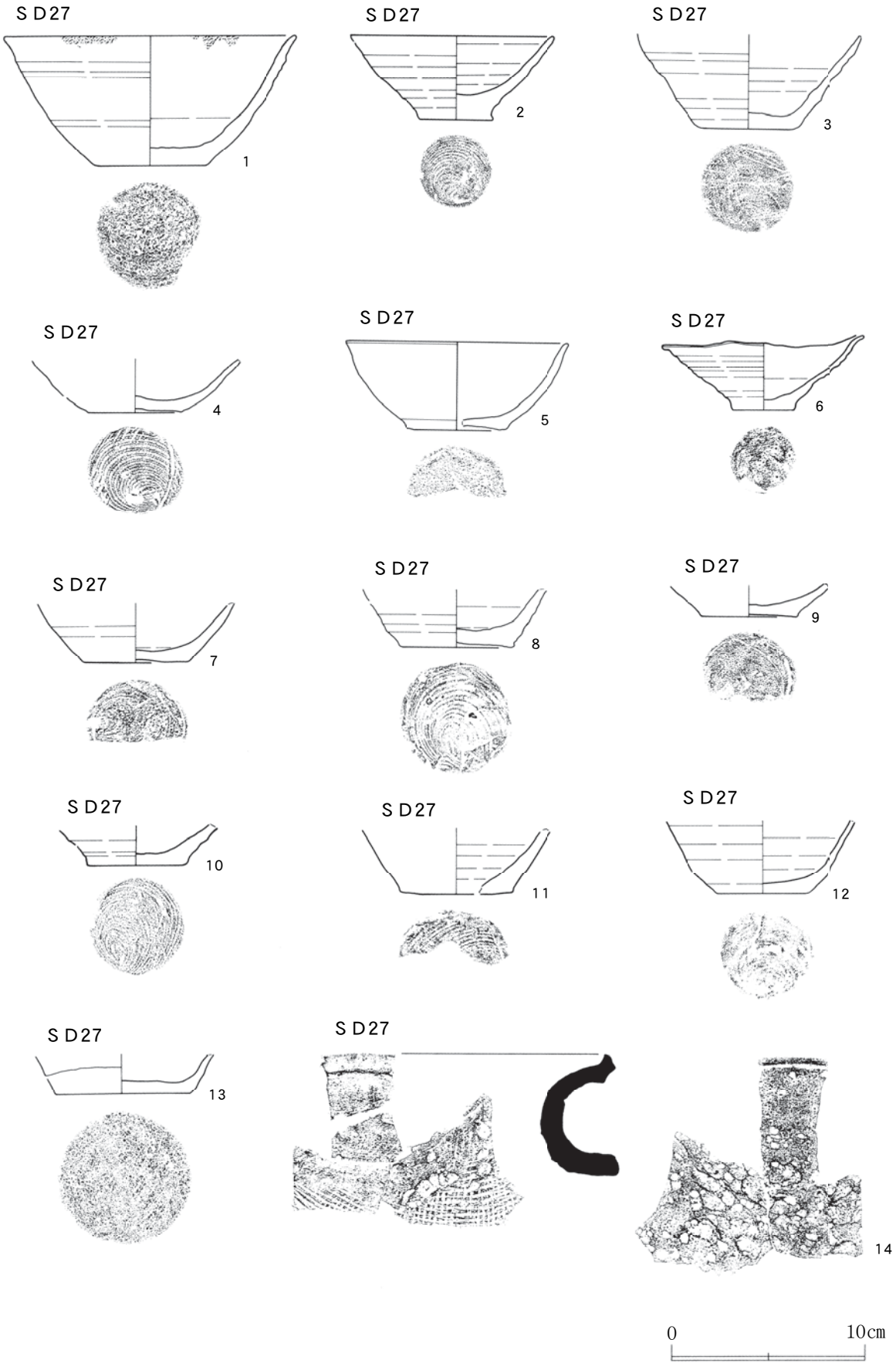
ＳＡ2895

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	円形	0.16	0.14	0.22	24.50

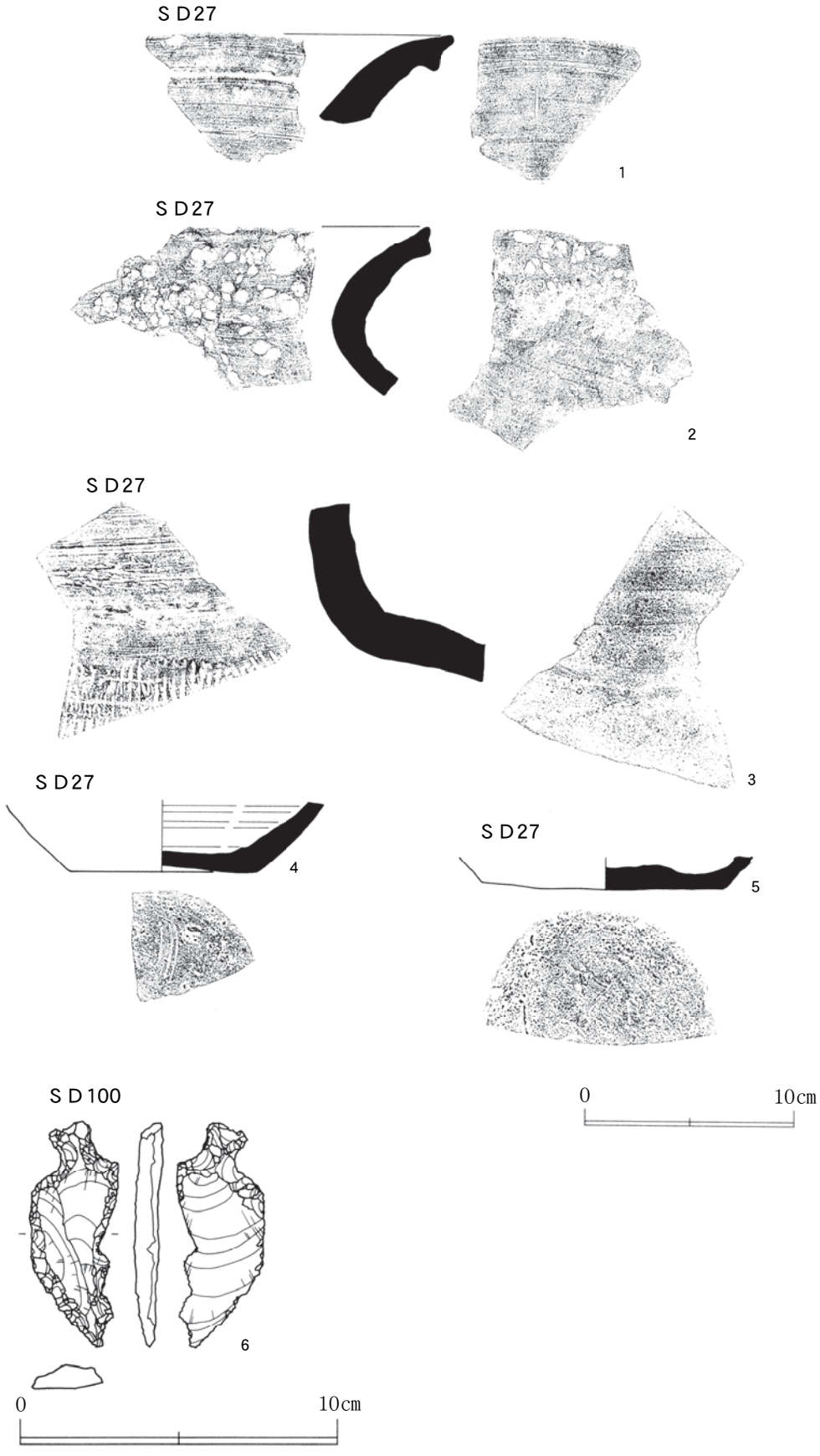
ＳＡ3000

柱穴番号	平面形	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)
Ｐ１	円形	1.13	1.09	0.00	25.52
Ｐ２	楕円形	0.15	0.99	0.44	25.41
Ｐ３	円形	0.90	0.84	0.42	25.50
Ｐ４	円形	1.08	0.86	0.42	25.44
Ｐ５	楕円形	0.77	0.62	0.46	25.53
Ｐ６	円形	0.75	0.70	0.37	25.67
Ｐ７	楕円形	0.76	0.54	0.18	25.74
Ｐ８	楕円形	0.90	0.57	0.20	25.69
Ｐ９	楕円形	1.12	0.64	0.22	25.13
Ｐ10	円形	0.62	0.54	0.10	25.71
Ｐ11	円形	0.62	0.58	0.20	25.70
Ｐ12	楕円形	0.78	0.56	0.16	25.74
Ｐ13	円形	0.68	0.66	0.15	25.75
Ｐ14	楕円形	0.92	0.55	0.36	25.60
Ｐ15	円形	0.86	0.71	0.19	25.39
Ｐ16	楕円形	0.56	0.32	0.20	25.41

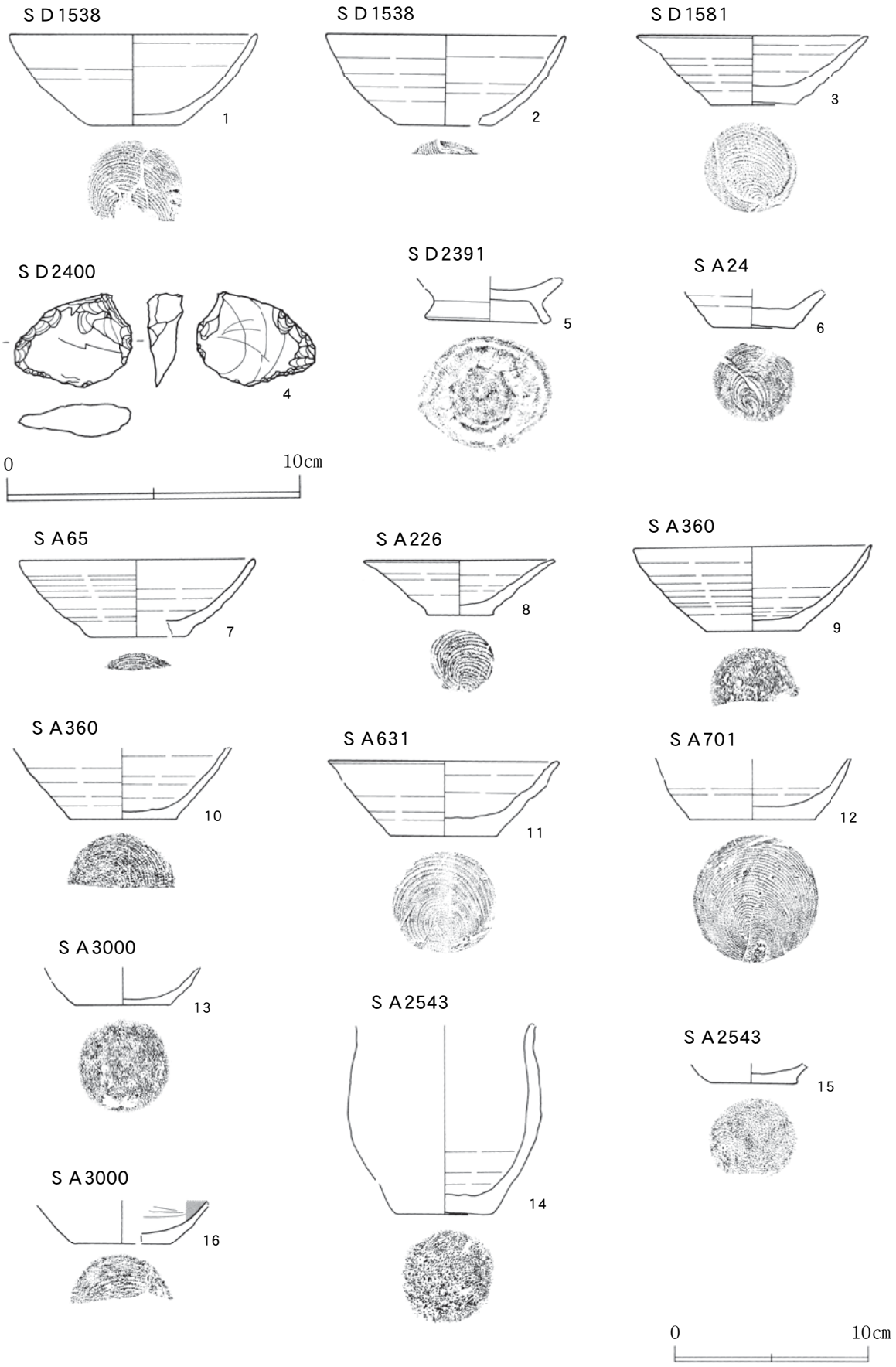
第21表　柵列・柱穴列柱穴様ピット一覧表（３）



第201図　遺構内出土遺物（42）（ＳＤ27）



第202図　遺構内出土遺物（43）（ＳＤ27・100）



第203図　遺構内出土遺物 (44)（ＳＤ1538・1581・2391・2400・ＳＡ24・65・226・360・631・701・2543・3000）

挿図番号	図版番号	出土地点	種別	器種	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外底部	器面特徴	胎土	備考
第201図１		ＳＤ27	土師	坏	口縁部～底部	〔15.0〕	6.6	5.8	摩滅	ロクロ成形	粗い胎土に0.5㎜の砂粒混入	口縁部内外面に油煙
第201図２	33－１	ＳＤ27	土師	坏	口縁部～底部	〔10.4〕	4.3	3.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第201図３		ＳＤ27	土師	坏	体部～底部	－	－	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第201図４		ＳＤ27	土師	坏	体部～底部	－	－	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第201図５		ＳＤ27	土師	坏	口縁部～底部	〔11.4〕	4.5	〔5.0〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密な胎土に0.5㎜の砂粒混入	
第201図６	33－３	ＳＤ27	土師	坏	完形	10.3	3.8	3.1	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第201図７		ＳＤ27	土師	坏	体部～底部	－	－	5.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第201図８		ＳＤ27	土師	坏	体部～底部	－	－	5.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第201図９		ＳＤ27	土師	坏	体部～底部	－	－	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第201図10		ＳＤ27	土師	坏	体部～底部	－	－	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第201図11		ＳＤ27	土師	坏	底部	－	－	〔5.8〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第201図12		ＳＤ27	土師	坏	体部～底部	－	－	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第201図13		ＳＤ27	土師	甕	底部	－	－	6.8	非ロクロ	外面：粘土積み上げ痕	粗い胎土に0.5㎜の砂粒混入	
第201図14		ＳＤ27	須恵	甕	口縁部	－	－	－	－	外面：ロクロ成形タタキ 内面：ロクロ成形	0.5㎜の砂粒混入	内外面に破裂痕
第202図１		ＳＤ27	須恵	甕	口縁部	－	－	－	－	ロクロ成形	緻密	
第202図２	33－４	ＳＤ27	須恵	甕	口縁部	－	－	－	－	内面：ナデ	0.5㎜の砂粒混入	内外面に破裂痕
第202図３	33－５	ＳＤ27	須恵	甕	頸部～肩部	－	－	－	－	外面：ロクロタタキ 内面：ロクロ成形	0.5㎜の砂粒混入	
第202図４		ＳＤ27	須恵	甕	底部	－	－	8.8	回転糸切り	ロクロ成形	0.5㎜の砂粒混入	
第202図５		ＳＤ27	須恵	甕	底部	－	－	11.5	砂底	非ロクロ	0.5㎜の砂粒混入	
第203図１		ＳＤ1538	土師	坏	口縁部～底部	〔12.6〕	4.6	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第203図２		ＳＤ1538	土師	坏	口縁部～底部	〔12.2〕	4.6	〔4.8〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第203図３		ＳＤ1581	土師	坏	口縁部～底部	〔11.8〕	3.5	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第203図５		ＳＤ2391	土師	坏	底部	－	－	6.0	回転糸切り→高台	ロクロ成形	緻密	
第203図６		ＳＡ24Ｐ４	土師	坏	底部	－	－	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第203図７		ＳＡ65	土師	坏	口縁部～底部	〔12.0〕	3.9	〔5.0〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第203図８		ＳＡ226Ｐ６	土師	坏	口縁部～底部	〔9.8〕	2.8	3.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第203図９		ＳＡ360Ｐ４	土師	坏	口縁部～底部	〔12.2〕	4.4	4.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第203図10		ＳＡ360Ｐ３	土師	坏	体部～底部	－	－	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第203図11		ＳＡ631Ｐ３	土師	坏	口縁部～底部	〔11.8〕	3.8	5.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第203図12		ＳＡ701Ｐ２	土師	坏	体部～底部	－	－	6.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第203図13		SA3000P4	土師	坏	底部	－	－	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第203図14	33－６	ＳＡ2543	土師	甕	体部～底部	－	－	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	0.5㎜の砂粒混入	
第203図15		ＳＡ2543	土師	坏	底部	－	－	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第203図16		SA3000P4	土師	坏	体部～底部	－	－	〔5.0〕	回転糸切り	内面：ミガキ→黒色処理	緻密	

挿図番号	図版番号	出土地点	器種	最大長×最大幅×最大厚(cm)	重量(g)	備　考
第202図６	19－16	ＳＤ100	石匙	7.1×2.3×0.8	12.8	
第202図４		ＳＤ2400	剥片	3.2×4.0×1.2	11.0	

第22表　溝跡・柵列・柱穴列出土遺物一覧表

７　焼土遺構

ＳＮ16（第204図）

ＰＢ15グリッドの第Ⅴ層で焼土の広がりを確認した。平面形は長軸（北西－南東）0.67m、短軸（北東－南西)0.45mの不整形で、確認面から厚さ0.08mほど赤変している。上面で炭化物（１層）が認められ、周辺から土師器片２点が出土した。

ＳＮ61（第204図）

ＰＪ１グリッドの第Ⅳ層で暗赤褐色焼土の広がりを確認した。平面形は長軸（北西－南東）1.98m、短軸（北西－南東）1.48mの不整形で、確認面から厚さ0.1mほど赤変している。遺物は、周辺から土師器坏（第208図１～６）のほか、須恵器が１点、椀形鍛冶滓が１点出土した。

ＳＮ80（第204図）

ＯＨ・ＯＩ６・７グリッドの第Ⅳ層で明赤褐色焼土の広がりを確認したが、ＳＫ151と重複し、本遺構が新しい。平面形は長軸（北東－南西）1.57m、短軸（北西－南東）1.25mの不整形で、確認面から厚さ0.06mほど赤変している。遺物は、周辺から土師器片１点が出土した。

ＳＮ160（第204図）

ＯＴ12・13グリッドの第Ⅴ層で赤褐色焼土の広がりを確認した。平面形は長軸（東－西)0.44m、短軸（北－南）0.38mの不整形である。遺物は出土しなかった。

ＳＮ166（第204図）

ＰＡ３グリッドの第Ⅴ層で赤褐色焼土の広がりを確認した。平面形は径0.43mの円形で、確認面から厚さ0.04mほど赤変している。遺物は、周辺から土師器片のほか礫１点が出土した。

ＳＮ199（第204図）

ＯＧ７グリッドの第Ⅳ層で赤褐色焼土の広がりを確認した。平面形は長軸（東－西）0.95m、短軸（東－西）0.59mの不整楕円形で、確認面から厚さ0.14mほど赤変している。遺物は、周辺から土師器片が出土した。

ＳＮ200（第205図）

ＯＩ６・７グリッドの第Ⅴ層で明赤褐色焼土の広がりを確認した。平面形は長軸（北西－南東)0.8m、短軸（北東－南西）0.52mの不整形で、確認面から厚さ0.07mほど赤変している。上面は強く焼けて硬化している（１層)。遺物は、内面を黒色処理した土師器坏１点が出土した。

ＳＮ272（第205図）

ＯＳ５グリッドの第Ⅴ層で赤褐色焼土の広がりを確認した。平面形は、長軸（北西－南東）0.59m、短軸（北東－南西）0.44mの不整形で、遺物は出土しなかった。

ＳＮ274（第205図）

ＯＱ２・３グリッドの第Ⅴ層で暗褐色土の広がりを確認した。平面形は長軸（東－西）1.24m、短軸（北－南)0.59mの不整形で、確認面から厚さ0.04mで赤変している。遺物は縄文土器（第208図７）のほか、土師器８点、縄文土器３点が出土した。

ＳＮ315（第135図）

ＯＱ６・７グリッドの第Ⅴ層で焼土の広がりを確認した。ＳＫ330を切る。平面形は長軸（北東

－南西)1.25m、短軸　(北西－南東)0.96mの不整形で、確認面から厚さ0.07mほど赤変している。焼土は２層に分けられた。遺物は周辺から土師器１点が出土した。

ＳＮ319（第205図）

ＯＲ６グリッドの第Ⅳ層で明赤褐色土の広がりを確認した。平面形は長軸　(北西－南東)0.44m、短軸（北東－南西）0.38mの楕円形で、確認面から厚さ0.06mほど赤変している。遺物は周辺から土師器甕底部１点、土師器片１点のほか、礫１点が出土した。

ＳＮ345（第205図）

ＯＲ１グリッドの第Ⅴ層で極暗赤褐色土の広がりを確認した。平面形は長軸（北西－南東）0.32m、短軸（北東－南西）0.26mの円形で、確認面から厚さ0.09mほど赤変している。遺物は周辺から土師器坏（第208図８・９）のほか、打製石斧（第208図10）が出土した。

ＳＮ361（第205図）

ＯＲ９グリッドの第Ⅴ層で暗赤褐色土と黄褐色土の広がりを確認した。平面形は、長軸（北東－南西）0.68m、短軸（北西－南東）0.49mの楕円形で、確認面からの厚さ0.08mほど赤変している。遺物は出土しなかった。

ＳＮ411（第205図）

ＯＱ10グリッドの第Ⅴ層で焼土の広がりを確認した。平面形は長軸（北－南）0.68m、短軸（東－西）0.56mの楕円形で、確認面からの厚さ0.08mほど赤変している。焼土は２層に分けられた。遺物は出土しなかった。

ＳＮ488（第39図）

ＯＱ７グリッドの第Ⅴ層で赤褐色土の焼土の広がりを確認した。ＳＩ180に切られる。平面形は円形を呈するものと思われ、長軸（北西－南東）0.44m以上、短軸（北東－南西）0.21mである。遺物は出土しなかった。

ＳＮ605（第205図）

ＯＴ５グリッドの第Ⅴ層で焼土の広がりを確認した。北側が撹乱されている。平面形は長軸（北西－南東)0.66m、短軸（北東－南西)0.4mの不整楕円形で、確認面から厚さ0.12mで赤変している。焼土は２層に分けられ、遺物は周辺から甕の取っ手（第209図２)、土師器２点が出土した。

ＳＮ666（第205図）

ＯＢ17グリッドの第Ⅴ層で暗赤褐色土の広がりを確認した。平面形は径0.29mの円形で、確認面から厚さ0.04mで赤変している。遺物は出土しなかった。

ＳＮ667（第206図）

ＯＢ17グリッドの第Ⅴ層で暗赤褐色土の広がりを確認した。平面形は径0.3mの円形で、確認面から厚さ0.04mで赤変している。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は暗赤褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。

ＳＮ1001（第206図）

ＰＫ０・１グリッドの第Ⅴ層で赤褐色土の広がりを確認した。ＳＫＰ2991に切られる。平面形は長軸　(北－南)0.82m、短軸　(東－西)0.46mの楕円形で、確認面から厚さ0.06mで赤変している。遺物は周辺から土師器片１点と縄文土器片２点が出土した。

ＳＮ1077（第206図）

ＯＯ２グリッドの第Ⅴ層で確認した。ＳＩ275に切られる。平面形は、長軸（北東－南西）0.66m、短軸（北西－南東）0.36mの不整形で、確認面から厚さ0.06mで赤変している。遺物は出土しなかった。

ＳＮ1355（第206図）

ＯＧ15グリッドの第Ⅴ層で焼土の広がりを確認した。平面形は、長軸（北東－南西）0.47m、短軸（北西－南東）0.45mの不整楕円形である。遺物は出土しなかった。

ＳＮ1500（第148図）

ＮＱ32グリッドの第Ⅳ層で焼土の広がりを確認した。ＳＫ1495を切る。平面形は長軸（東－西）1.1m、短軸（北－南）1.0m以上の円形で、確認面から厚さ0.08mで赤変している。遺物は周辺から土師器片が出土した。

ＳＮ1525（第116図、図版18－１）

ＮＧ34グリッドの第Ⅳ層で黒褐色土の広がりを確認した。ＳＢ1530との新旧関係は不明である。平面形は長軸（北西－南東）1.5m、短軸（北東－南西）1.2mの楕円形で、確認面から被熱面までの深さは0.2mである。円形（径1.0m）に焼けた底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。被熱面までの覆土は２層に分けられた。第２層から土師器片のほか、砥石（第209図１）が出土した。本遺構は土師器焼成遺構の可能性がある。

ＳＮ1526（第116図、図版18－２）

ＮＨ34・35グリッドの第Ⅳ層で暗褐色土の広がりを確認した。ＳＫ2913を切っており、ＳＢ1530との新旧関係は不明である。平面形は長軸（北東－南西）1.3m、短軸（北西－南東）1.1mの円形で、確認面から被熱面までの深さは0.05mである。全面に熱を受けた底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。被熱面までの覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は土師器片１点が出土した。本遺構は土師器焼成遺構の可能性がある。

ＳＮ1527（第116図）

ＮＨ34・35グリッドの第Ⅳ層で暗褐色土の広がりを確認した。ＳＢ1530に切られる。平面形は長軸（北東－南西）0.8m、短軸（北西－南東）0.44m以上の楕円形で、確認面から被熱面までの深さは0.03mである。全面に熱を受けた底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。被熱面までの覆土は暗褐色土の単一層である。遺物は出土しなかった。本遺構は土師器焼成遺構の可能性がある。

ＳＮ1542（第206図）

ＮＬ33グリッドの第Ⅳ層でにぶい赤褐色土の広がりを確認した。平面形は長軸（北－南）0.5m、短軸（東－西）0.37mの不整楕円形で、確認面から厚さ0.06mで赤変している。焼土は２層に分けられ、遺物は出土しなかった。

ＳＮ1543（第206図）

ＮＫ32グリッドの第Ⅳ層でにぶい暗赤褐色土の広がりを確認した。平面形は、長軸（北西－南東）0.51m、短軸（北東－南西）0.5mの不整楕円形で、確認面から厚さ0.06mで赤変している。焼土は２層に分けられた。遺物は出土しなかった。

ＳＮ1559（第206図）

ＮＨ31グリッドの第Ⅳ層で明褐色土の広がりを確認した。平面形は長軸（東－西）0.36m、短軸（北－南）0.27mの楕円形である。遺物は土師器１点が出土した。

ＳＮ1560（第206図）

ＮＫ32グリッドの第Ⅳ層で明赤褐色土の広がりを確認した。ＳＩ1550を切る。平面形は長軸（北東－南西）0.74m、短軸（北西－南東）0.59mの不整形で、遺物は土師器片１点が出土した。

ＳＮ2041（第206図）

ＮＳ・ＮＴ29グリッドの第Ⅴ層で赤褐色土の広がりを確認した。平面形は長軸（北西－南東）1.1m、短軸（北東－南西）0.88mの楕円形を呈し、確認面から厚さ0.08mで赤変している。遺物は出土しなかった。

ＳＮ2133（第206図）

ＰＥ０グリッドの第Ⅴ層で明赤褐色土を確認した。平面形は長軸（北東－南西)0.36m、短軸（北西－南東）0.34mの円形で、確認面から厚さ0.04mで赤変している。遺物は出土しなかった。

ＳＮ2134（第207図）

ＰＥ０グリッドの第Ⅴ層で赤褐色土を確認した。平面形は長軸（東－西)0.48m、短軸（北－南）0.4mで不整楕円形を呈し、確認面から厚さ0.09mほど赤変している。遺物は出土しなかった。

ＳＮ2200（第207図）

ＮＬ31グリッドの第Ⅴ層でにぶい赤褐色土の広がりを確認した。平面形は長軸（北－南)0.56m、短軸（東－西）0.34mの不整形である。遺物は土師器片２点が出土した。

ＳＮ2201（第207図）

ＮＨ31グリッドの第Ⅴ層でにぶい赤褐色土の広がりを確認した。平面形は、長軸(北東－南西)0.53m、短軸（北西－南東）0.39mの不整楕円形で、確認面から厚さ0.01mほど赤変している。

ＳＮ2228（第207図）

ＯＦ17グリッドの第Ⅴ層で暗赤褐色土の広がりを確認した。平面形は長軸（北西－南東)0.31m、短軸（北東－南西）0.21mの楕円形で、確認面から厚さ0.03mほど赤変している。遺物は出土しなかった。

ＳＮ2293（第140図）

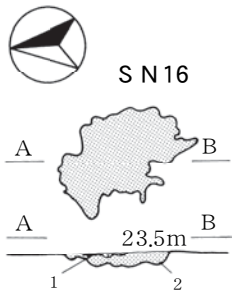
ＯＤ22グリッドの第Ⅴ層で焼土の広がりを確認した。ＳＫ859に切られる。平面形は長軸（北－南)0.36m、短軸　（東－西)0.27m以上の円形と思われ、確認面から厚さ0.04mほど赤変している。遺物は土師器甕（第209図３）が出土した。

ＳＮ2531（第155図）

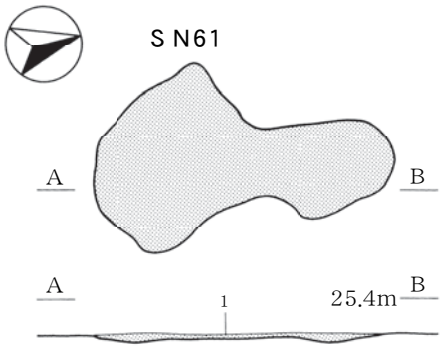
ＰＬ－３グリッドのＳＫ2120の底面で焼土の広がりを確認した。ＳＫ2120を切る。平面形は径0.4mの円形で、遺物は出土しなかった。

ＳＮ2987（第207図）

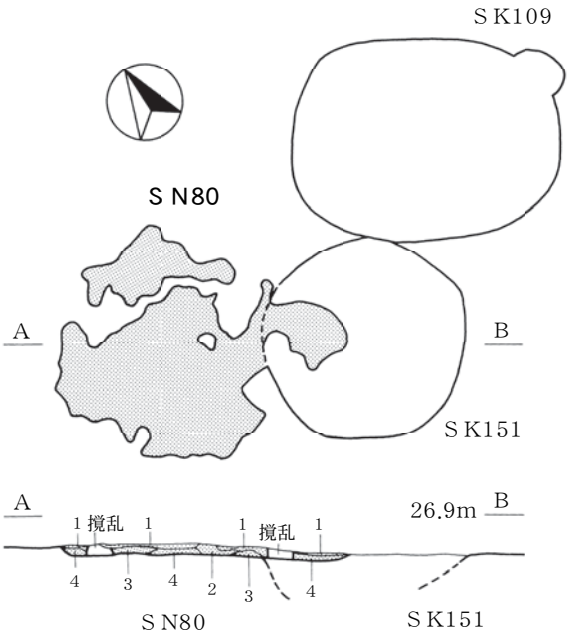
ＯＴ５グリッドの第Ⅴ層で暗赤褐色土の広がりを確認した。平面形は長軸　(北西－南東)0.48m、短軸（北東－南西）０.4mの不整形で、遺物は出土しなかった。



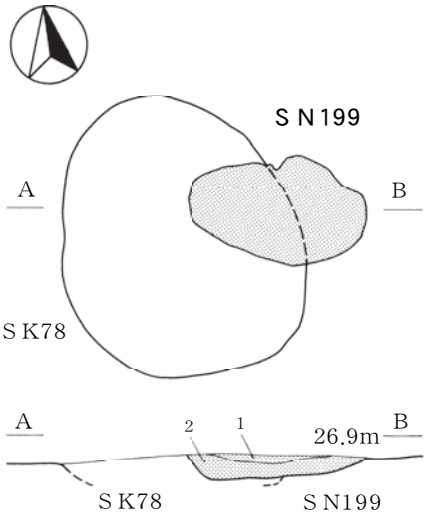
ＳＮ16
1　炭化物層
2　焼土層



ＳＮ61
1　暗赤褐色土（5ＹＲ3/4）しまり中　粘性弱
　炭化物2％混入
　焼土ブロック（径0.1～1㎝）2％混入

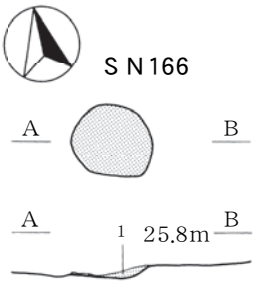


ＳＮ80
1　明赤褐色土（5ＹＲ5/8）
　しまり強　粘性なし
2　暗褐色土（10ＹＲ3/3）
　しまり強　粘性なし
　焼土ブロック（径2～8㎜）5％混入
3　にぶい赤褐色土（5ＹＲ4/4）
　しまり強　粘性弱
　焼土ブロック（径1～2㎜）1％混入
4　褐色土（7.5ＹＲ4/4）しまり中　粘性中
　焼土ブロック混入



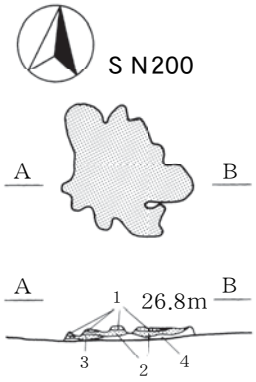
ＳＮ199
1　赤褐色土（5ＹＲ4/6）
2　にぶい赤褐色土（5ＹＲ4/4）
3　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性なし
　焼土ブロック（径3～5㎜）3％混入
4　暗褐色土（10ＹＲ3/3）しまり強　粘性なし
　焼土ブロック（径2～4㎜）1％混入
5　褐色土（7.5ＹＲ4/4）　しまり強　粘性なし
　焼土ブロック（径2～4㎜）1％混入

ＳＮ160
赤褐色土（5ＹＲ4/6）



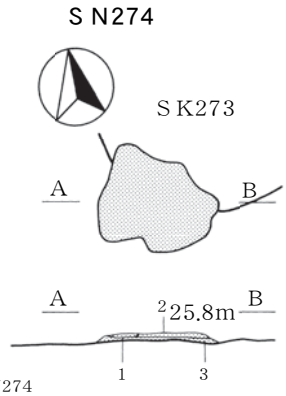
ＳＮ166
1　赤褐色土（5ＹＲ4/8）　しまり強　粘性弱
　炭化物1％未満混入

第204図　ＳＮ16・61・80・160・166・199焼土遺構

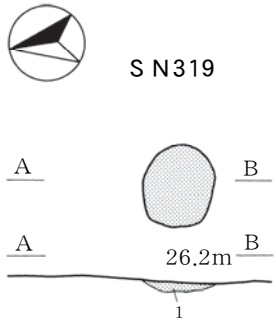


ＳＮ200
1　明赤褐色土（5ＹＲ5/6）
2　赤褐色土（2.5ＹＲ4/6）
3　赤褐色土（5ＹＲ4/6）
4　褐色土（7.5ＹＲ4/4）

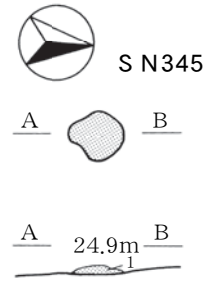
ＳＮ272
赤褐色土（5ＹＲ4/8）
しまりなし　粘性なし



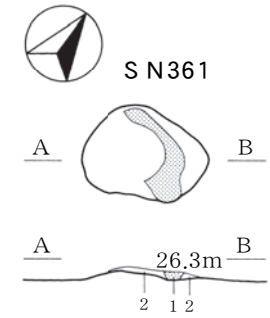
ＳＮ274
1　暗褐色土（7.5ＹＲ3/3）しまり強　粘性なし
　炭化物（径1～5㎜）１％混入
2　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性なし
　焼土ブロック（径1～5㎜）1％
　地山ブロック（径1㎜）2％混入
3　暗赤褐色土



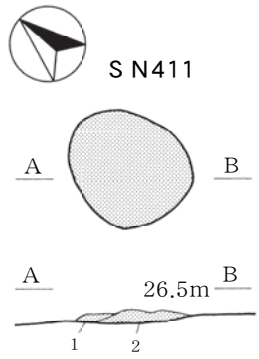
ＳＮ319
1　明赤褐色土（5ＹＲ5/6）



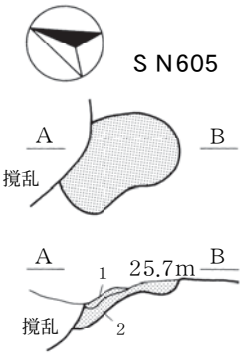
ＳＮ345
1　極暗赤褐色土（5ＹＲ2/3）
　しまり中　粘性中
2　暗褐色土（7.5ＹＲ3/4）しまり弱　粘性なし
　炭化物1％未満混入



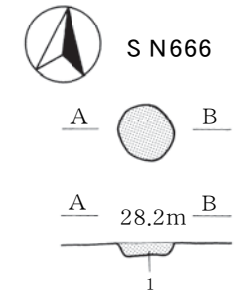
ＳＮ361
1　暗赤褐色土（5ＹＲ3/6）　しまり強　粘性中
2　黄褐色土（2.5ＹＲ5/4）しまり強　粘性中



ＳＮ411
1　暗赤褐色土（2.5ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
2　赤褐色土（2.5ＹＲ4/6）しまり強　粘性弱

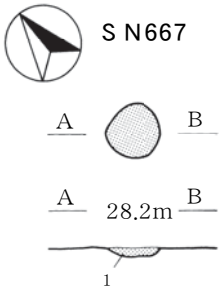


ＳＮ605
1　暗褐色土（10ＹＲ3/4）しまり強　粘性弱
　焼土ブロック（径1～5㎜）15％混入
2　褐色土（10ＹＲ4/4）しまり強　粘性弱
　炭化物（径2～5㎜）1％
　焼土ブロック（径0.5～2㎝）15％
　地山ブロック（径0.1～5㎝）5％混入

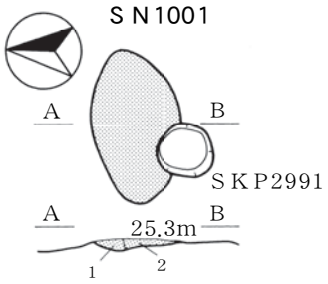


ＳＮ666
1　暗赤褐色土（5ＹＲ3/6）しまり強　粘性弱

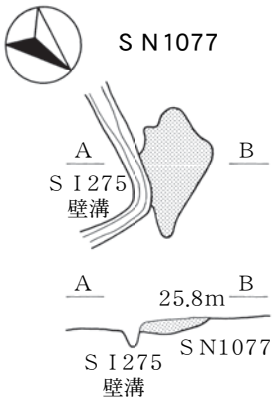
第205図　ＳＮ200・272・274・319・345・361・411・605・666焼土遺構



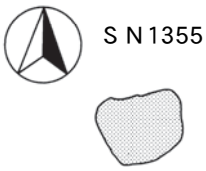
ＳＮ667
1　暗赤褐色土（5ＹＲ3/6）しまり強　粘性弱



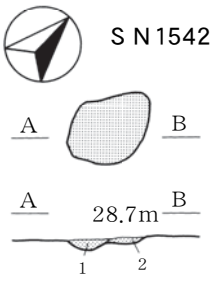
ＳＮ1001
1　赤褐色土（5ＹＲ4/6）　しまり強　粘性中
2　黒褐色土（10ＹＲ2/3）しまり強　粘性弱



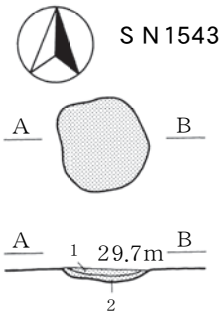
ＳＮ1077
暗赤褐色土（5ＹＲ3/6）



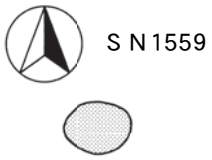
ＳＮ1355
暗赤褐色土（5ＹＲ3/6）



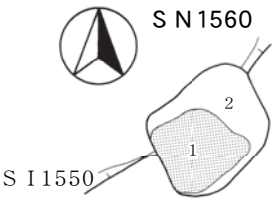
ＳＫ1542
1　にぶい赤褐色土（5ＹＲ4/4）
2　褐色土（7.5ＹＲ4/4）



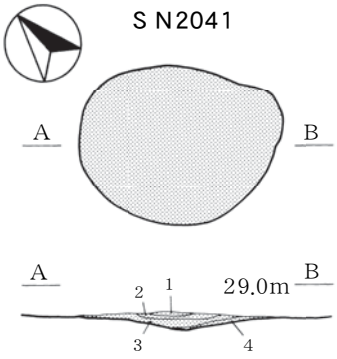
ＳＫ1543
1　にぶい暗赤褐色土（5ＹＲ4/4）
2　褐色土（7.5ＹＲ4/4）



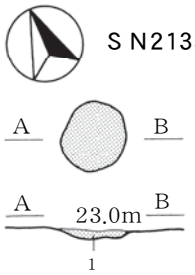
ＳＫ1559
明赤褐色土（5ＹＲ5/8）



ＳＮ1560
1　明赤褐色土（5ＹＲ5/8）
2　暗褐色土（10ＹＲ3/4）

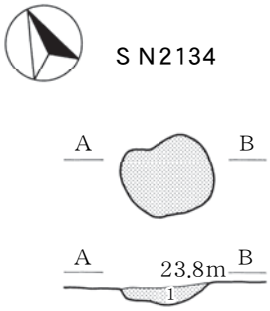


ＳＮ2041
1　赤褐色土（5ＹＲ4/8）　しまり強　粘性弱
　炭化物（径1㎜）1％未満混入
2　黒褐色土（10ＹＲ2/2）　しまり強　粘性中
　炭化物（径1～2㎜）1％混入
　焼土ブロック（径1～2㎜）3％混入
　地山ブロック（径1～2㎜）1％混入
3　暗褐色土（10ＹＲ3/3）　しまり強　粘性中
　焼土ブロック（径1～2㎜）3％混入
4　橙色土（5ＹＲ6/8）

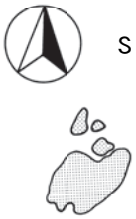


ＳＮ2133
1　明赤褐色土（5ＹＲ4/6）

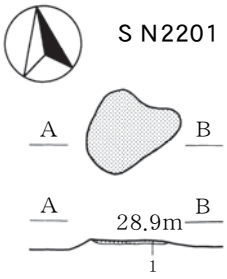
第206図　ＳＮ667・1001・1077・1355・1542・1543・1559・1560・2041・2133焼土遺構



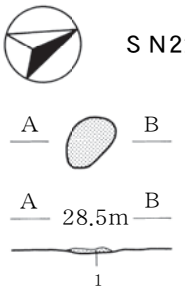
S N2134
1　赤褐色土（2.5Y R4/6）



S N2200
にぶい赤褐色土（5Y R4/4）
炭化物（径5㎝）混入

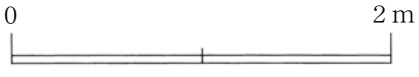


S N2201
1　焼土層



S N2228（平面図）
1　暗赤褐色土（5Y R3/6）しまり強　粘性中

S N2987
暗赤褐色土（2.5Y R3/4）



第207図　S N2134・2200・2201・2228・2987焼土遺構

８　柱穴様ピット

柱穴様ピットは調査区全域から1,467基検出した（付図２）。主としてⅣ層からＶ層上面で検出され、円形～楕円形を呈したものがほとんどである。柱穴様ピットの規模は径0.12～1.06m、深さは0.05～0.77mである。

覆土は、単一層で構成されたものが多く、黒褐色シルト質土を主とした柱穴様ピットは調査区全域で、暗褐色シルト質土を主とした柱穴様ピットは調査区中央部から南側で多く検出した。

出土遺物は、ロクロ成形による回転糸切りで切り離された土師器坏（第209図４・５・８・９・11・12、第210図２・４）、土師器甕（第209図６、第210図３）須恵器甕（第210図５）、縄文土器（第209図10）のほか、支脚（第210図１）、椀形鍛冶滓、製錬炉壁片、フイゴの羽口片が出土した。

支脚は（第210図１）は、ＳＫＰ2296から出土した。土師器坏に比べて粗い胎土を用いており、輪積み痕が認められる。遺構の底面で据えられた状態で見つかっていることから、人為的に埋設されたものと思われる。

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
6	0.36	0.28	0.21	26.73	ＯＧ11				
14	0.32	0.32	0.31	25.80	ＰＣ15				
25	0.40	0.36	0.45	25.23	ＯＧ８				土師器片４点
49	0.29	0.24	0.29	25.84	ＰＣ16				
60	0.34	0.24	0.24	25.61	ＰＤ16	ＰＤ15			
81	0.20	0.20	0.25	26.51	ＯＨ７				
82	0.36	0.32	0.28	26.49	ＯＨ７				
83	0.68	0.53	0.25	26.50	ＯＨ７	ＯＨ８			土師器片
86	0.34	0.34	0.19	26.61	ＯＧ７				
87	0.28	0.26	0.14	26.66	ＯＧ７				
106	0.35	0.34	0.20	25.93	ＰＣ15				
116	0.48	0.46	0.08	25.65	ＰＡ４				
135	0.24	0.24	0.19	26.39	ＯＮ10				
136	0.34	0.28	0.28	26.29	ＯＮ10				土師器片２点
137	0.28	0.28	0.17	26.39	ＯＮ９	ＯＮ10			土師器片２点
139	0.28	0.27	0.16	26.30	ＯＮ９				土師器片１点
141	0.38	0.37	0.28	26.17	ＯＮ９				土師器片４点
142	0.34	0.32	0.23	26.19	ＯＮ８	ＯＮ９			
143	0.28	0.27	0.09	26.28	ＯＯ８				土師器片１点
146	0.32	0.30	0.16	26.29	ＯＮ８				土師器片２点
147	0.54	0.46	0.32	26.11	ＯＮ８				
148	0.16	0.22	0.30	26.61	ＯＨ10				
149	0.28	0.16	0.21	26.69	ＯＨ10				
171	0.15	0.04	0.10	26.80	ＯＨ10				
172	0.19	0.18	0.10	26.77	ＯＨ10				
186	0.30	0.28	0.18	25.83	ＰＤ15				土師器片１点
187	0.40	0.30	0.12	25.99	ＰＣ15				
188	0.50	0.48	0.50	25.67	ＰＢ14				土師器片３点
191	0.23	0.22	0.22	26.55	ＯＨ７				
192	0.40	0.38	0.12	26.58	ＯＨ７				土師器片１点
196	0.22	0.20	0.22	26.55	ＯＧ８				土師器片４点
197	0.34	0.27	0.30	26.48	ＯＧ７				土師器片２点
207	0.25	0.24	0.14	26.02	ＰＢ14	ＰＣ14			
208	0.28	0.27	0.37	25.86	ＰＢ15				
221	0.46	0.30	0.30	25.92	ＰＢ16				土師器片１点
242	0.26	0.24	0.14	26.50	ＯＭ11				
247	0.30	0.22	0.11	26.38	ＯＬ９				
248	0.44	0.38	0.23	26.30	ＯＭ９				土師器片１点
252	0.16	0.33	0.16	26.76	ＯＨ10				
259	0.30	0.24	0.20	27.27	ＯＪ７				
267	0.54	0.52	0.23	26.33	ＯＫ８				土師器片２点

第23表　柱穴様ピット一覧表（１）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
268	0.25	0.24	0.31	26.18	ＯＫ８				
269	0.28	0.27	0.29	26.26	ＯＫ８				土師器片１点
282	0.51	0.38	0.13	26.24	ＯＴ14				土師器片３点
283	0.30	0.27	0.20	26.06	ＰＡ13	ＰＡ14			
284	0.22	0.19	0.26	26.01	ＰＡ14				
285	0.22	0.20	0.27	25.99	ＰＡ14				
286	0.22	0.21	0.18	26.15	ＯＴ15				
287	0.33	0.20	0.17	25.93	ＰＣ16				土師器坏（第209図４）
291	0.30	0.19	0.15	26.18	ＯＳ15				
292	0.22	0.14	0.09	26.26	ＯＳ16				
293	0.26	0.22	0.12	26.25	ＯＳ16				
294	0.22	0.18	0.27	26.04	ＯＴ14				土師器片
295	0.36	0.28	0.11	26.18	ＯＱ12				
296	0.30	0.26	0.21	26.22	ＯＰ12				
297	0.42	0.34	0.24	26.12	ＯＲ13				土師器片１点
306	0.54	0.48	0.14	25.95	ＯＲ７				土師器片３点
309	0.44	0.32	0.19	25.90	ＯＲ７				土師器片２点
310	0.24	0.24	0.22	25.85	ＯＲ７				
311	0.46	0.40	0.20	25.88	ＯＲ７				
314	0.48	0.38	0.34	25.74	ＯＲ７				
318	0.88	0.60	0.19	25.87	ＯＲ６	ＯＳ６			土師器片
322	0.50	0.42	0.36	25.68	ＯＲ７				
324	0.30	0.30	0.15	25.86	ＯＲ６				
325	0.46	0.28	0.14	25.87	ＯＲ６				
326	0.32	0.26	0.12	25.90	ＯＲ６				
327	0.44	0.36	0.34	25.64	ＯＲ６				
332	0.30	0.28	0.12	26.20	ＯＴ12				
334	0.24	0.18	0.13	26.12	ＯＳ12				
335	0.18	0.14	0.27	25.67	ＰＦ６				
336	0.34	0.30	0.23	25.85	ＯＱ６				
337	0.34	0.32	0.23	25.72	ＯＱ６				土師器片２点
348	0.48	0.44	0.19	25.20	ＯＰ３				土師器片２点
349	0.42	0.26	0.18	25.19	ＯＯ３	ＯＰ３			土師器坏（第209図５）
351	0.56	0.48	0.32	25.83	ＯＰ８				土師器甕（第209図６）
353	0.40	0.28	0.19	25.95	ＯＰ７				
354	0.40	0.34	0.12	26.01	ＯＯ７	ＯＰ７			土師器片１点
355	0.30	0.26	0.11	26.04	ＯＰ８				
356	0.56	0.52	0.19	25.96	ＯＰ８	ＯＱ８			
367	0.48	0.34	0.16	26.01	ＯＱ９				
370	0.52	0.50	0.23	26.07	ＯＰ10	ＯＱ10			
371	0.28	0.28	0.25	26.28	ＯＪ７				
373	0.34	0.28	0.20	26.29	ＯＪ６				土師器片４点
374	0.26	0.22	0.21	26.31	ＯＪ６				土師器片２点
375	0.23	0.92	0.70	26.07	ＯＧ７	ＯＨ７			土師器片１点
376	0.34	0.32	0.28	26.22	ＯＪ６				
377	0.30	0.28	0.15	26.32	ＯＪ６				
378	0.30	0.24	0.16	26.30	ＯＪ６				
379	0.36	0.29	0.24	26.25	ＯＪ６				
382	0.48	0.40	0.22	25.67	ＰＣ６	ＰＤ６			
391	0.28	0.22	0.08	26.15	ＯＰ９				土師器片２点
393	0.26	0.24	0.13	26.15	ＯＰ９				
394	0.36	0.32	0.34	26.13	ＯＯ９				土師器片２点
395	0.36	0.28	0.17	26.12	ＯＰ９				土師器片１点
398	0.34	0.32	0.22	25.84	ＯＰ７				
407	0.24	0.22	0.25	25.73	ＰＣ９				
408	0.48	0.30	0.17	25.93	ＯＴ９				
417	0.30	0.22	0.18	25.78	ＰＣ９				
418	0.26	0.24	0.20	25.73	ＰＣ９				
419	0.20	0.18	0.13	25.76	ＰＣ９				
428	0.33	0.31	0.33	25.99	ＯＳ11				
431	0.68	0.66	0.44	26.06	ＯＪ５	ＯＪ６			土師器片４点
432	0.30	0.28	0.23	26.31	ＯＪ６				
433	0.30	0.21	0.14	26.35	ＯＩ５	ＯＩ６			
434	0.30	0.26	0.24	26.26	ＯＩ５	ＯＩ６			
435	0.48	0.45	0.21	26.29	ＯＨ６				
436	0.30	0.29	0.16	26.33	ＯＨ５				
437	0.36	0.35	0.23	26.39	ＯＩ６	ＯＩ７			
438	0.40	0.30	0.28	26.36	ＯＩ７				

第24表　柱穴様ピット一覧表（２）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
439	0.34	0.33	0.32	26.42	ＯＨ８				
441	0.21	0.20	0.22	26.54	ＯＨ８				
442	0.36	0.28	0.15	26.68	ＯＧ８				
443	0.67	0.64	0.19	26.64	ＯＧ８				
445	0.24	0.23	0.15	26.65	ＯＨ８				
448	0.32	0.28	0.22	26.49	ＯＨ６				
451	0.30	0.22	0.20	25.74	ＰＣ９				
452	0.39	0.37	0.29	25.52	ＰＤ９				土師器片１点
454	0.52	0.48	0.21	25.67	ＰＤ８				
456	0.86	0.84	0.44	25.41	ＰＤ９				
457	0.28	0.26	0.12	25.79	ＰＣ９				
460	0.33	0.20	0.07	25.75	ＰＤ９				
463	0.26	0.20	0.26	25.82	ＯＴ９				
465	0.29	0.29	0.28	25.97	ＯＴ11				
466	0.42	0.40	0.24	25.95	ＰＡ11				
467	0.40	0.28	0.22	25.98	ＰＡ11				
471	0.38	0.38	0.19	25.31	ＯＭ９				
474	0.26	0.24	0.55	25.60	ＯＮ６				
477	0.30	0.26	0.37	26.09	ＯＭ９				
478	0.32	0.30	0.15	26.45	ＯＮ10	ＯＯ10			
479	0.26	0.24	0.41	25.30	ＯＮ９				
482	0.54	0.40	0.31	25.77	ＯＲ７	ＯＳ７			
484	0.36	0.26	0.15	25.96	ＯＯ６				土師器片１点
485	0.26	0.22	0.16	26.01	ＯＯ７				土師器片　椀形鍛冶滓
493	0.36	0.36	0.24	26.40	ＯＮ12				
494	0.26	0.25	0.14	26.38	ＯＮ12				
496	0.29	0.30	0.15	26.41	ＯＮ12				
501	0.48	0.32	0.21	25.71	ＰＣ８				
502	0.32	0.31	0.19	25.74	ＰＣ８				
503	0.40	0.24	0.32	25.62	ＰＤ６				
504	0.36	0.32	0.13	25.77	ＰＣ８				
505	0.36	0.22	0.13	25.82	ＰＥ６				
506	0.56	0.22	0.38	25.58	ＰＥ６				
507	0.44	0.38	0.23	25.73	ＰＥ６				
522	0.36	0.22	0.12	25.81	ＰＣ７				
523	0.32	0.32	0.17	25.75	ＰＥ６				
524	0.37	0.18	0.12	26.11	ＯＴ12				
525	0.34	0.24	0.18	26.11	ＯＴ12				
527	0.32	0.28	0.36	25.68	ＰＢ８				
528	0.30	0.28	0.22	25.67	ＰＣ９				
531	0.38	0.32	0.26	25.76	ＯＱ６				
533	0.22	0.22	0.26	25.81	ＯＲ６	ＯＳ６			
534	0.60	0.58	0.09	26.02	ＯＳ７				
535	0.26	0.18	0.12	25.95	ＯＳ７				
536	0.48	0.44	0.26	25.82	ＯＳ７				
537	0.36	0.18	0.19	25.90	ＯＳ７				
545	0.26	0.21	0.24	26.43	ＯＩ６				
547	0.20	0.20	0.11	26.62	ＯＨ７				
548	0.20	0.20	0.13	26.60	ＯＨ７				
549	0.30	0.25	0.20	26.54	ＯＨ７				
555	0.60	0.20	0.77	25.86	ＯＧ７				
558	0.60	0.54	0.39	26.42	ＯＨ８	ＯＩ８			
559	0.32	0.32	0.49	26.27	ＯＨ８				土師器片
563	0.34	0.27	0.18	26.22	ＯＯ11				
564	0.37	0.36	0.14	26.25	ＯＯ12				
565	0.42	0.40	0.17	26.07	ＯＯ８	ＯＰ８			土師器片
570	0.41	0.38	0.22	27.83	ＯＣ17				須恵器片１点
571	0.36	0.36	0.27	26.16	ＯＭ８				
572	0.32	0.26	0.28	26.22	ＯＭ９				
573	0.26	0.22	0.29	26.21	ＯＭ10				
574	0.22	0.20	0.19	26.38	ＯＭ９				
575	0.22	0.20	0.21	26.30	ＯＭ９				
576	0.34	0.20	0.24	26.28	ＯＭ９				
581	0.34	0.32	0.20	26.55	ＯＨ８				土師器片４点
582	0.22	0.21	0.22	26.53	ＯＨ８				土師器片
583	0.22	0.18	0.22	26.54	ＯＨ８				
584	0.37	0.22	0.22	26.52	ＯＨ７	ＯＨ８			
588	0.38	0.30	0.17	26.58	ＯＨ７				

第25表　柱穴様ピット一覧表（３）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
589	0.26	0.24	0.12	26.62	ＯＨ７				
591	0.19	0.18	0.12	26.64	ＯＨ７				
592	0.28	0.22	0.22	26.55	ＯＨ８				
597	0.25	0.22	0.18	26.49	ＯＭ11				
602	0.28	0.28	0.30	26.28	ＯＳ８				土師器片２点
603	0.30	0.26	0.10	26.57	ＯＳ８				
604	0.40	0.34	0.45	25.64	ＯＳ７				
606	0.36	0.30	0.12	26.32	ＰＡ８				
607	0.33	0.26	0.19	25.80	ＯＴ６				
609	0.76	0.58	0.36	25.76	ＯＴ６				
610	0.56	0.44	0.18	25.98	ＯＱ９				土師器片２点
612	0.31	0.26	0.28	26.10	ＯＲ14				土師器片
613	0.28	0.24	0.30	26.09	ＯＲ13				土師器片１点
614	0.30	0.19	0.12	26.30	ＯＲ14				
625	0.16	0.15	0.12	27.69	ＯＤ16				
627	0.30	0.26	0.15	27.73	ＯＤ16				
634	0.36	0.28	0.38	27.55	ＯＣ15	ＯＣ16			土師器片５点
635	0.50	0.48	0.29	27.12	ＯＣ15	ＯＢ15			土師器片
636	0.40	0.39	0.20	27.22	ＯＢ15				土師器片３点
638	0.26	0.26	0.15	27.77	ＯＤ16				
639	0.56	0.32	0.24	27.80	ＯＥ17				土師器片４点
644	0.60	0.48	0.20	27.79	ＯＥ17				土師器片４点
645	0.21	0.20	0.12	27.93	ＯＥ18				
655	0.30	0.20	0.13	27.95	ＯＤ18				
658	0.32	0.31	0.15	28.00	ＯＤ18	ＯＤ17			土師器片１点
659	0.52	0.38	0.17	28.09	ＯＣ18				石槍（第209図７）
663	0.42	0.30	0.29	27.11	ＯＢ15				土師器片
664	0.34	0.28	0.18	27.24	ＯＢ15				
665	0.28	0.26	0.38	27.05	ＯＢ15				
676	0.31	0.24	0.14	28.17	ＯＣ19				
688	0.22	0.22	0.29	27.65	ＯＥ17				
691	0.30	0.26	0.12	28.01	ＯＣ18				
693	0.36	0.20	0.29	27.96	ＯＣ18				
702	0.26	0.20	0.12	27.28	ＯＢ15	ＯＣ15			土師器片１点
703	0.30	0.28	0.43	27.67	ＯＡ16				土師器片１点
708	0.30	0.24	0.32	27.69	ＯＢ16				土師器坏（第209図８）
711	0.43	0.32	0.06	28.00	ＯＡ17				
728	0.30	0.26	0.21	27.95	ＯＣ18				
729	0.30	0.26	0.16	27.30	ＯＢ15				
732	0.29	0.28	0.17	27.48	ＯＢ15				
734	0.32	0.24	0.14	27.91	ＯＡ15				
735	0.36	0.30	0.16	27.92	ＯＡ15				
736	0.32	0.28	0.10	27.97	ＯＡ16				
738	0.40	0.36	0.16	27.84	ＯＢ16				
742	0.26	0.23	0.14	27.96	ＯＡ16				
743	0.30	0.26	0.17	27.92	ＯＡ16				
744	0.42	0.26	0.26	27.85	ＯＡ16				
747	0.26	0.24	0.26	27.71	ＯＢ16				
748	0.42	0.36	0.12	27.84	ＯＢ16				
760	0.35	0.20	0.24	27.94	ＯＡ17				
762	0.24	0.21	0.12	28.07	ＮＴ17				
766	0.18	0.20	0.11	28.10	ＮＴ17				
791	0.36	0.34	0.23	26.77	ＯＴ13				
792	0.38	0.32	0.18	25.80	ＰＣ６				
794	0.34	0.30	0.17	25.25	ＰＬ１				土師器坏（第209図９）
796	0.36	0.32	0.27	24.90	ＰＬ０				土師器片１点
797	0.24	0.20	0.22	25.00	ＰＫ０				土師器片１点
798	0.26	0.20	0.15	25.11	ＰＫ０	ＰＫ１	ＰＬ１		土師器片
799	0.42	0.30	0.32	25.18	ＰＬ１				縄文土器（第209図10）　土師器片
801	0.26	0.25	0.22	26.43	ＯＭ12				
802	0.44	0.42	0.24	26.48	ＯＮ13				土師器片４点
803	0.24	0.24	0.17	26.60	ＯＭ13				
804	0.60	0.50	0.08	26.24	ＯＳ11				土師器片５点
807	0.38	0.25	0.31	26.42	ＯＭ12				
813	0.38	0.36	0.26	25.37	ＰＪ３				土師器片１点
814	0.34	0.32	0.28	24.92	ＰＬ０				土師器片１点
817	0.44	0.38	0.22	25.40	ＰＬ１				土師器片２点
818	0.38	0.25	0.35	25.37	ＰＪ３				

第26表　柱穴様ピット一覧表（４）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
819	0.38	0.29	0.25	24.90	ＰＬ０				土師器片４点
820	0.30	0.28	0.30	24.92	ＰＫ０				土師器片１点
823	0.28	0.18	0.10	25.21	ＰＪ１				
824	0.30	0.24	0.38	24.79	ＰＪ０				土師器片２点
827	0.30	0.22	0.26	25.32	ＰＬ２				土師器片１点
832	0.22	0.19	0.18	26.51	ＯＪ９	ＯＩ９			
833	0.26	0.24	0.25	26.40	ＯＪ９				
834	0.20	0.18	0.17	26.50	ＯＪ８				土師器片１点
835	0.40	0.28	0.15	26.54	ＯＪ８				土師器片１点
836	0.22	0.22	0.22	26.42	ＯＪ８				土師器片１点
837	0.28	0.28	0.25	26.41	ＯＪ８				
838	0.32	0.28	0.18	26.46	ＯＪ８				縄文土器片　土師器片３点
842	0.28	0.24	0.19	26.57	ＯＫ11				
843	0.64	0.34	0.53	26.17	ＯＫ10	ＯＬ10			
845	0.74	0.72	0.08	26.10	ＯＭ６	ＯＮ６			
847	0.58	0.54	0.42	25.88	ＯＮ６				土師器片２点
856	0.48	0.38	0.08	28.29	ＯＤ24				土師器片２点
866	0.54	0.36	0.18	26.04	ＯＭ６	ＯＮ６			
879	0.28	0.26	0.14	26.47	ＯＫ９				
881	0.42	0.38	0.42	25.67	ＯＳ７				
882	0.28	0.26	0.20	25.40	ＯＳ３				
883	0.22	0.20	0.26	25.29	ＯＳ３				
903	0.26	0.22	0.19	25.75	ＯＲ６				
904	0.32	0.32	0.34	25.67	ＯＲ６				
905	0.40	0.36	0.19	25.74	ＯＲ５				土師器片３点
906	0.32	0.18	0.28	25.72	ＯＲ６				
907	0.52	0.40	0.47	25.61	ＯＱ７				
908	0.56	0.46	0.35	25.72	ＯＲ７				
909	0.26	0.22	0.28	25.32	ＯＴ４				
910	0.32	0.30	0.31	25.31	ＯＴ４				
911	0.26	0.24	0.23	25.39	ＯＴ４				
912	0.22	0.22	0.34	25.29	ＯＴ４				
913	0.28	0.26	0.20	25.38	ＯＴ３	ＯＴ４			
914	0.34	0.26	0.18	25.41	ＯＴ４				
915	0.57	0.36	0.29	25.35	ＯＳ５				土師器片
916	0.16	0.16	0.24	25.43	ＯＳ５				
917	0.44	0.30	0.16	25.46	ＯＳ５				
918	0.58	0.52	0.23	25.35	ＯＳ３				土師器片
921	0.56	0.14	0.13	25.46	ＯＳ３	ＯＳ４			
922	0.56	0.43	0.15	25.46	ＯＳ３	ＯＳ４	ＯＴ３	ＯＴ４	土師器片３点
924	0.38	0.30	0.09	26.48	ＯＳ８	ＯＳ７			
925	0.46	0.20	0.36	25.68	ＯＳ６				
926	0.34	0.32	0.12	26.17	ＯＲ13				
927	0.22	0.12	0.18	26.25	ＯＲ13	ＯＲ14			
928	0.34	0.32	0.15	25.39	ＯＲ12				
929	0.28	0.24	0.34	25.99	ＯＲ12				
931	0.50	0.24	0.23	25.82	ＯＳ６				土師器片３点
932	0.36	0.24	0.19	25.89	ＯＳ７				
933	0.22	0.16	0.16	25.92	ＯＳ６				
934	0.22	0.22	0.14	25.92	ＯＳ６				
935	0.24	0.26	0.26	25.80	ＯＳ６				
936	0.19	0.18	0.19	25.89	ＯＳ６				
937	0.36	0.30	0.14	25.93	ＯＳ６				
941	0.26	0.25	0.25	24.92	ＰＪ１	ＰＪ０			土師器片
943	0.36	0.29	0.23	25.64	ＰＢ11				土師器片２点
944	0.32	0.22	0.28	25.66	ＰＢ11				
945	0.18	0.12	0.13	25.13	ＰＪ１				
946	0.26	0.22	0.15	25.22	ＰＪ２				
947	0.26	0.22	0.45	25.04	ＰＪ２				
948	0.24	0.24	0.11	25.31	ＰＪ２				
949	0.22	0.22	0.19	25.21	ＰＪ２				
953	0.24	0.20	0.17	25.14	ＰＪ２				
954	0.80	0.61	0.33	25.32	ＰＩ４				土師器片
956	0.30	0.28	0.30	25.16	ＰＨ２	ＰＩ２			土師器片
957	0.24	0.24	0.30	25.37	ＰＪ３				
958	0.30	0.24	0.34	25.30	ＰＪ３				
959	0.34	0.28	0.47	25.27	ＰＪ４				土師器片
961	0.36	0.24	0.10	25.17	ＰＪ１				土師器片２点

第27表　柱穴様ピット一覧表（５）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
962	0.26	0.20	0.16	25.49	ＰＪ３				
963	0.28	0.26	0.39	25.10	ＰＪ２				
966	0.28	0.28	0.38	25.01	ＰＩ２	ＰＪ２			
968	0.36	0.34	0.20	25.11	ＰＬ１				
969	0.30	0.22	0.15	25.10	ＰＬ１				
970	0.36	0.36	0.24	25.06	ＰＬ１				
972	0.38	0.34	0.21	25.81	ＯＴ６				
973	0.26	0.25	0.20	25.83	ＯＴ８				
974	0.22	0.20	0.16	25.88	ＯＴ８				
975	0.30	0.24	0.38	25.57	ＯＴ６				
977	0.22	0.20	0.13	25.86	ＰＡ７				
978	0.28	0.24	0.27	25.81	ＰＡ６				
979	0.28	0.28	0.22	25.83	ＰＡ６				土師器片３点
980	0.30	0.30	0.10	25.93	ＯＴ８				
983	0.26	0.20	0.26	25.35	ＯＳ４				土師器片３点
988	0.26	0.20	0.26	25.35	ＯＳ４				
989	0.32	0.28	0.21	25.30	ＯＯ２				
991	0.30	0.28	0.57	26.18	ＯＭ14	ＯＮ14			
993	0.23	0.21	0.25	26.54	ＯＮ13				
1002	0.26	0.22	0.30	25.44	ＰＪ４	ＰＫ４			
1003	0.24	0.20	0.15	25.57	ＰＫ３				
1009	0.18	0.18	0.10	25.52	ＰＩ３	ＰＪ３			
1010	0.34	0.26	0.52	24.17	ＯＳ１				土師器片５点
1012	0.26	0.21	0.48	26.06	ＯＫ７				
1013	0.20	0.18	0.08	26.33	ＯＪ７				
1014	0.25	0.22	0.18	27.28	ＯＫ７				
1015	0.18	0.14	0.14	26.42	ＯＪ７				
1016	0.24	0.20	0.12	26.44	ＯＪ７				
1018	0.24	0.19	0.12	26.44	ＯＫ８				
1021	0.18	0.18	0.06	26.31	ＯＫ６				
1022	0.20	0.20	0.10	25.85	ＯＴ６				
1023	0.26	0.22	0.08	25.96	ＰＡ７				
1024	0.30	0.26	0.18	25.81	ＰＡ７				
1025	0.32	0.28	0.67	25.97	ＰＡ６	ＰＡ７			土師器片１点
1026	0.54	0.32	0.09	25.97	ＯＰ７				
1027	0.36	0.34	0.16	25.92	ＯＲ７				
1030	0.38	0.36	0.16	25.34	ＰＡ３				
1031	0.30	0.26	0.22	27.73	ＯＢ16				
1032	0.26	0.20	0.34	27.88	ＯＡ17				
1033	0.66	0.50	0.15	28.16	ＮＴ17				
1035	0.34	0.30	0.17	27.90	ＯＤ17	ＯＤ18			
1039	0.30	0.28	0.36	27.67	ＯＣ17				
1040	0.30	0.29	0.22	27.99	ＮＴ17				
1041	0.22	0.17	0.24	27.75	ＯＢ17				
1043	0.27	0.25	0.30	27.89	ＯＣ18				
1044	0.46	0.40	0.17	28.01	ＯＡ18				
1047	0.28	0.26	0.45	27.57	ＯＢ17				
1048	0.37	0.26	0.18	28.05	ＯＡ17				
1054	0.32	0.28	0.17	26.83	ＯＩ13				
1056	0.32	0.30	0.08	26.94	ＯＪ13				
1057	0.36	0.22	0.23	26.91	ＯＪ14				
1058	0.36	0.33	0.16	26.87	ＯＫ13				
1059	0.26	0.22	0.14	26.90	ＯＫ13				
1061	0.36	0.26	0.08	26.95	ＯＪ13				
1062	0.46	0.38	0.12	26.97	ＯＫ14	ＯＫ15			
1063	0.31	0.30	0.13	26.91	ＯＫ13				
1064	0.50	0.38	0.17	26.98	ＯＫ14				
1065	0.32	0.28	0.35	26.61	ＯＭ15				
1066	0.26	0.23	0.23	26.75	ＯＭ15				
1068	0.37	0.20	0.09	26.84	ＯＭ15				
1073	0.24	0.22	0.18	25.40	ＯＳ３	ＯＳ４			
1074	0.22	0.18	0.24	25.34	ＯＳ４				
1076	0.28	0.24	0.24	25.50	ＯＳ４				土師器片１点
1078	0.36	0.34	0.22	25.43	ＯＱ３	ＯＲ３			
1083	0.20	0.18	0.17	26.74	ＯＭ15				
1088	0.70	0.42	0.27	25.57	ＰＩ17				
1090	0.36	0.20	0.15	25.66	ＰＨ17				
1093	0.33	0.30	0.29	25.77	ＰＣ17				

第28表　柱穴様ピット一覧表（６）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
1094	0.30	0.26	0.16	25.83	ＰＤ17				
1095	0.32	0.21	0.20	25.71	ＰＥ16				
1097	0.38	0.34	0.15	25.74	ＰＦ17				
1098	0.24	0.24	0.12	25.75	ＰＦ17				
1102	0.46	0.42	0.22	26.19	ＯＮ８				
1111	0.40	0.28	0.11	26.26	ＯＮ８				土師器片１点
1113	0.36	0.28	0.41	26.17	ＯＬ９				土師器片１点
1116	0.21	0.21	0.17	26.50	ＯＪ９				
1117	0.28	0.24	0.16	26.44	ＯＪ９				
1118	0.26	0.22	0.23	26.37	ＯＪ９				
1121	0.40	0.40	0.12	26.11	ＯＲ11				
1123	0.26	0.26	0.33	26.24	ＯＪ９				
1124	0.30	0.28	0.15	26.40	ＯＪ９				
1125	0.32	0.26	0.17	26.50	ＯＩ９				
1131	0.24	0.22	0.09	26.47	ＯＪ８				
1133	0.20	0.20	0.11	26.40	ＯＪ８				
1134	0.22	0.20	0.15	26.35	ＯＪ８				
1135	0.24	0.20	0.26	26.47	ＯＫ10				
1136	0.24	0.22	0.30	26.61	ＯＫ10				
1138	0.16	0.15	0.19	26.54	ＯＪ10				
1141	0.34	0.32	0.13	26.05	ＰＢ17				土師器片２点
1142	0.28	0.26	0.28	25.94	ＰＢ17				
1144	0.27	0.20	0.12	26.18	ＰＡ16				
1146	0.38	0.24	0.24	25.64	ＰＧ17				
1147	0.38	0.30	0.14	26.19	ＰＡ16				土師器片１点
1148	0.46	0.42	0.15	26.13	ＰＡ16				
1149	0.40	0.28	0.34	25.97	ＰＡ16				土師器片４点
1156	0.34	0.32	0.14	26.42	ＯＲ17				
1159	0.46	0.20	0.26	26.30	ＯＴ17				
1161	0.34	0.28	0.24	25.80	ＯＳ６	ＯＴ６			
1162	0.48	0.32	0.29	25.73	ＯＴ６				
1163	0.20	0.18	0.13	25.80	ＯＴ６				
1164	0.36	0.32	0.22	25.77	ＯＴ６				剥片　土師器片１点
1165	0.21	0.20	0.20	25.82	ＯＴ６				
1166	0.28	0.18	0.10	25.93	ＰＡ６	ＯＴ６			
1173	0.34	0.31	0.15	25.67	ＰＦ17				
1174	0.32	0.30	0.12	25.75	ＰＦ17				
1175	0.20	0.20	0.21	25.64	ＰＧ17				土師器片１点
1176	0.30	0.22	0.19	25.67	ＰＧ17				
1177	0.22	0.17	0.10	25.75	ＰＧ17				
1178	0.28	0.22	0.29	25.56	ＰＧ17				
1179	0.34	0.24	0.18	25.68	ＰＧ17				
1180	0.21	0.19	0.12	25.73	ＰＧ17				
1191	0.28	0.24	0.09	26.89	ＯＬ14				
1192	0.36	0.34	0.12	26.84	ＯＬ14				
1193	0.26	0.20	0.22	26.81	ＯＬ14				
1194	0.40	0.22	0.16	26.84	ＯＬ14				
1195	0.26	0.24	0.18	26.91	ＯＬ14				
1196	0.38	0.20	0.13	26.97	ＯＫ14				
1197	0.27	0.22	0.24	26.82	ＯＬ15				
1198	0.30	0.26	0.12	26.87	ＯＬ14				
1199	0.29	0.28	0.21	26.83	ＯＬ14				
1201	0.22	0.22	0.33	25.59	ＰＥ７				
1202	0.24	0.23	0.22	25.70	ＰＥ６				土師器片２点
1203	0.23	0.23	0.30	25.58	ＰＤ６				土師器片１点
1204	0.25	0.20	0.22	25.68	ＰＤ７				土師器片２点
1205	0.28	0.26	0.26	25.61	ＰＤ７				
1206	0.42	0.30	0.27	25.60	ＰＤ６	ＰＤ７			
1207	0.25	0.24	0.25	25.63	ＰＤ７				
1208	0.22	0.21	0.12	25.79	ＰＤ６				
1209	0.36	0.32	0.16	25.74	ＰＣ７				
1210	0.27	0.24	0.24	25.66	ＰＣ７				
1211	0.38	0.32	0.11	25.79	ＰＣ７				
1212	0.24	0.22	0.25	25.67	ＰＣ７				
1213	0.30	0.22	0.14	25.80	ＰＣ６				
1214	0.25	0.23	0.11	25.81	ＰＢ７				
1215	0.24	0.23	0.18	25.72	ＰＣ７				
1216	0.38	0.26	0.27	25.65	ＰＣ６				土師器片２点

第29表　柱穴様ピット一覧表（７）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
1217	0.28	0.26	0.14	25.71	ＰＢ６				土師器片１点
1218	0.33	0.28	0.28	25.62	ＰＢ６				
1220	0.40	0.32	0.10	25.79	ＰＧ17				
1221	0.36	0.25	0.17	26.45	ＯＲ17				
1225	0.30	0.28	0.14	26.30	ＯＳ17	ＯＴ17			
1226	0.38	0.28	0.21	26.67	ＯＮ15				
1227	0.22	0.20	0.10	26.84	ＯＮ16				土師器片１点
1228	0.26	0.24	0.29	26.22	ＯＳ17				
1229	0.38	0.28	0.13	25.76	ＰＦ16	ＰＦ17			
1230	0.44	0.20	0.28	25.62	ＰＦ16	ＰＦ17			
1237	0.34	0.28	0.20	28.68	ＮＢ30				
1239	0.37	0.30	0.16	28.67	ＮＢ30				
1241	0.27	0.26	0.35	28.43	ＮＢ30	ＮＣ30			
1243	0.28	0.26	0.33	28.51	ＮＤ29				
1244	0.30	0.27	0.12	28.71	ＮＤ29				
1247	0.40	0.36	0.23	28.57	ＮＥ30	ＮＤ30			
1251	0.26	0.20	0.10	26.95	ＯＬ14				
1252	0.54	0.16	0.07	27.04	ＯＫ14				
1256	0.31	0.30	0.11	26.99	ＯＫ14				
1257	0.20	0.17	0.11	26.88	ＯＬ14				
1258	0.21	0.13	0.11	26.89	ＯＬ14				
1259	0.34	0.24	0.19	26.90	ＯＫ14	ＯＬ14			
1260	0.42	0.26	0.13	26.92	ＯＫ14	ＯＬ14			
1261	0.21	0.20	0.26	24.44	ＯＳ１	ＯＳ２			
1262	0.25	0.20	0.40	24.28	ＯＳ１	ＯＳ２			土師器片２点
1263	0.42	0.30	0.49	24.20	ＯＳ１				土師器片２点
1267	0.30	0.30	0.24	24.47	ＯＳ２				
1268	0.25	0.24	0.16	24.58	ＯＲ１				
1273	0.29	0.26	0.30	24.39	ＯＲ１				土師器片５点
1274	0.18	0.18	0.11	28.76	ＮＰ31				
1275	0.24	0.20	0.14	28.71	ＮＰ31				
1277	0.28	0.24	0.14	28.70	ＮＰ31				
1278	0.40	0.32	0.21	28.53	ＮＯ31	ＮＯ32			土師器片１点
1279	0.24	0.20	0.15	28.69	ＮＰ31				
1281	0.18	0.17	0.18	25.73	ＰＦ16				
1283	0.26	0.22	0.12	25.77	ＰＦ17				
1284	0.22	0.18	0.15	25.75	ＰＦ16				
1285	0.38	0.32	0.08	26.14	ＰＢ17				
1287	0.42	0.20	0.10	25.75	ＰＩ17				
1288	0.28	0.22	0.18	25.65	ＰＩ17				
1289	0.26	0.22	0.14	25.67	ＰＨ17				
1290	0.32	0.28	0.16	25.70	ＰＩ17				
1291	0.24	0.22	0.13	25.64	ＰＩ18				
1292	0.28	0.24	0.22	25.54	ＰＩ18				
1293	0.30	0.24	0.18	25.58	ＰＩ18				土師器片１点
1294	0.54	0.54	0.18	25.57	ＰＨ18				土師器片１点
1298	0.30	0.16	0.16	25.64	ＰＨ18				
1299	0.22	0.22	0.24	25.54	ＰＨ18				
1301	0.34	0.30	0.56	28.50	ＮＦ27				土師器片４点
1303	0.24	0.21	0.09	28.68	ＮＤ30				
1305	0.40	0.35	0.28	28.49	ＮＤ30	ＮＣ30			
1306	0.45	0.44	0.14	28.65	ＮＤ30				
1307	0.56	0.49	0.11	28.66	ＮＥ31	ＮＥ30			土師器片１点
1308	0.54	0.42	0.18	28.58	ＮＦ30				
1311	0.40	0.38	0.22	28.59	ＮＤ31				土師器片１点
1315	0.16	0.14	0.15	28.62	ＮＥ30				
1316	0.20	0.20	0.13	28.59	ＮＧ30				
1318	0.45	0.44	0.19	28.68	ＮＧ29	ＮＦ29			須恵器片１点
1321	0.37	0.34	0.18	28.64	ＮＯ31				製錬炉壁片１点
1322	0.29	0.24	0.12	28.74	ＮＯ31				土師器片２点
1323	0.34	0.28	0.10	28.80	ＮＯ31				土師器坏（第209図11）
1324	0.24	0.18	0.18	28.71	ＮＯ30				
1326	0.30	0.25	0.25	28.43	ＮＯ33	ＮＬ33			
1328	0.42	0.40	0.18	28.79	ＮＮ30				
1329	0.29	0.18	0.19	28.80	ＮＮ30				
1331	0.20	0.18	0.15	28.65	ＮＰ32				
1332	0.22	0.21	0.11	28.85	ＮＮ30				
1333	0.26	0.18	0.14	28.42	ＮＯ33				

第30表　柱穴様ピット一覧表（８）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
1335	0.40	0.34	0.15	28.71	ＮＰ31	ＮＱ31			
1339	0.24	0.24	0.16	28.72	ＮＰ31				
1346	0.50	0.41	0.16	27.27	ＯＧ14				
1347	0.79	0.54	0.27	27.13	ＯＧ14	ＯＨ14			
1348	0.25	0.21	0.10	27.49	ＯＨ16				
1349	0.43	0.35	0.19	27.41	ＯＨ16				
1350	0.30	0.28	0.15	27.45	ＯＨ16				
1351	0.62	0.29	0.10	27.54	ＯＧ16	ＯＨ16			
1352	0.34	0.30	0.08	27.59	ＯＧ16				
1353	0.28	0.30	0.15	27.51	ＯＧ16				
1354	0.26	0.22	0.09	29.47	ＯＧ16				
1356	0.24	0.22	0.15	27.58	ＯＧ16				
1357	0.27	0.25	0.31	26.68	ＯＧ15				
1358	0.22	0.21	0.15	26.85	ＯＧ15				
1359	0.28	0.18	0.06	26.95	ＯＧ15				
1360	0.32	0.27	0.11	26.95	ＯＧ15				
1361	0.40	0.26	0.15	28.18	ＯＣ19				土師器片６点
1362	0.56	0.34	0.16	28.23	ＯＢ19				
1364	0.26	0.24	0.11	28.31	ＯＣ19				
1365	0.66	0.44	0.20	28.13	ＯＣ19				椀形鍛冶滓
1368	0.34	0.32	0.28	28.18	ＯＢ20				
1372	0.54	0.54	0.30	27.05	ＯＣ15	ＯＣ15			
1373	0.57	0.46	0.32	27.48	ＯＣ16	ＯＤ16			土師器片２点
1376	0.43	0.37	0.13	28.12	ＮＳ16				
1378	0.75	0.70	0.34	27.95	ＮＳ17	ＮＲ17			土師器片5点　椀形鍛冶滓1点　フイゴ羽口片1点
1379	0.43	0.42	0.36	27.92	ＮＳ17	ＮＲ17			
1381	0.20	0.20	0.10	25.52	ＰＩ３				
1384	0.22	0.20	0.19	25.48	ＰＪ３				
1386	0.28	0.26	0.13	26.92	ＯＫ14				
1387	0.26	0.26	0.16	26.91	ＯＫ14				
1391	0.24	0.18	0.13	25.70	ＰＩ17				
1401	0.22	0.20	0.22	28.60	ＮＤ29				
1402	0.22	0.17	0.11	28.92	ＮＥ27				
1403	0.40	0.28	0.18	28.78	ＮＦ28				
1404	0.28	0.24	0.24	28.64	ＮＥ28				
1405	0.34	0.32	0.43	28.61	ＮＦ27	ＮＦ28			
1406	0.20	0.19	0.13	28.93	ＮＥ27				
1407	0.46	0.44	0.27	28.56	ＮＥ28				土師器片６点　須恵器片１点
1408	0.23	0.20	0.45	28.58	ＮＥ27				
1409	0.24	0.21	0.24	28.79	ＮＥ27				
1410	0.32	0.26	0.36	28.68	ＮＥ27				
1411	0.50	0.26	0.21	28.78	ＮＦ28				
1412	0.30	0.24	0.16	28.64	ＮＤ31				
1413	0.30	0.20	0.10	28.97	ＮＦ27				土師器片４点
1414	0.26	0.20	0.18	28.86	ＮＦ27				
1416	0.20	0.18	0.13	28.90	ＮＥ27				
1417	0.50	0.32	0.25	28.93	ＮＥ28				
1419	0.44	0.40	0.29	28.49	ＮＣ31				
1420	0.24	0.22	0.11	28.96	ＮＦ27				
1423	0.36	0.29	0.20	28.70	ＮＦ23				
1424	0.20	0.16	0.11	28.76	ＮＦ28				
1425	0.24	0.16	0.15	28.93	ＮＦ27				
1428	0.42	0.36	0.44	28.68	ＮＦ27				
1429	0.26	0.24	0.17	28.58	ＮＦ28	ＮＥ28			
1430	0.50	0.45	0.20	28.58	ＮＥ29				
1431	0.36	0.30	0.13	28.63	ＮＥ29	ＮＦ29			
1432	0.62	0.38	0.27	28.78	ＮＥ27				
1433	0.24	0.18	0.28	28.61	ＮＦ28				
1435	0.30	0.28	0.20	28.69	ＮＦ28				
1438	0.30	0.30	0.21	28.59	ＮＦ28				
1439	0.78	0.42	0.55	28.49	ＮＥ27				
1440	0.64	0.60	0.36	28.65	ＮＦ28				
1442	0.24	0.24	0.62	28.51	ＮＧ28				
1447	0.18	0.16	0.12	28.97	ＮＧ27				
1448	0.28	0.22	0.22	28.89	ＮＧ27				
1449	0.20	0.19	0.12	29.00	ＮＧ27				
1450	0.36	0.20	0.10	29.03	ＮＦ26				
1451	0.22	0.20	0.08	29.04	ＮＦ26	ＮＧ26			

第31表　柱穴様ピット一覧表（９）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
1453	0.26	0.24	0.32	28.82	ＮＧ27				
1458	0.34	0.32	0.69	28.27	ＮＧ28	ＮＨ28			
1459	0.33	0.32	0.15	28.79	ＮＨ29				
1466	0.30	0.28	0.32	28.68	ＮＨ29				
589	0.88		0.77						
1471	0.18	0.18	0.16	28.64	ＮＤ30				
1472	0.22	0.18	0.14	28.66	ＮＤ30				
1473	0.21	0.14	0.09	29.05	ＮＨ28				
1474	0.30	0.26	0.21	28.79	ＮＯ30				
1475	0.40	0.24	0.21	28.59	ＮＰ32				
1476	0.26	0.24	0.09	28.74	ＮＰ31				
1477	0.25	0.24	0.32	28.53	ＮＰ31				
1478	0.26	0.24	0.25	28.55	ＮＯ31				
1479	0.30	0.28	0.21	28.56	ＮＯ32				
1482	0.22	0.20	0.08	28.66	ＮＮ32				
1483	0.24	0.24	0.12	28.41	ＮＮ33	ＮＮ34			
1486	0.29	0.25	0.15	28.54	ＮＯ32				
1487	0.22	0.20	0.29	28.41	ＮＯ32				土師器片６点
1488	0.24	0.22	0.16	28.48	ＮＯ33				
1493	0.28	0.16	0.19	28.76	ＮＨ29				
1494	0.24	0.22	0.22	28.70	ＮＧ29				
1496	0.22	0.18	0.11	28.81	ＮＨ29				
1498	0.32	0.15	0.31	28.70	ＮＨ28				
1499	0.42	0.30	0.17	28.84	ＮＨ28				
1501	0.34	0.33	0.17	28.14	ＮＲ17				
1502	0.39	0.38	0.27	27.96	ＮＳ17				
1503	0.32	0.28	0.15	28.08	ＮＴ17				
1507	0.32	0.31	0.11	27.69	ＯＥ16				
1508	0.56	0.46	0.14	27.55	ＯＥ15	ＯＥ16			
1509	0.24	0.22	0.10	27.70	ＯＤ16	ＯＥ16			
1510	1.06	0.98	0.46	27.80	ＯＤ19				土師器片１点
1511	0.44	0.20	0.11	27.73	ＯＣ16	ＯＤ16			
1512	0.60	0.32	0.49	27.73	ＮＳ16				
1515	0.40	0.32	0.23	27.62	ＯＦ17				土師器片４点
1516	0.44	0.43	0.15	27.93	ＯＤ17				土師器片１点
1517	0.47	0.44	0.29	27.75	ＯＥ17				土師器片６点
1518	0.40	0.26	0.15	27.88	ＯＥ17				土師器片２点
1519	0.23	0.20	0.11	27.90	ＯＥ17				
1523	0.22	0.14	0.12	28.46	ＮＧ33				
1524	0.28	0.24	0.08	28.52	ＮＧ33				
1528	0.26	0.20	0.21	28.45	ＮＥ33				
1531	0.32	0.28	0.24	28.07	ＮＪ35				
1532	0.26	0.25	0.27	28.39	ＮＥ34				
1533	0.33	0.25	0.10	28.53	ＮＥ34				
1536	0.34	0.33	0.09	28.40	ＮＨ34				
1544	0.32	0.30	0.30	27.96	ＮＬ35				
1545	0.28	0.27	0.18	28.22	ＮＫ34				
1546	0.47	0.42	0.32	28.02	ＮＫ35				
1547	0.36	0.26	0.37	27.97	ＮＫ35				
1548	0.32	0.30	0.22	28.06	ＮＪ35				
1549	0.42	0.38	0.14	28.13	ＮＬ35				
1551	0.27	0.26	0.16	28.15	ＮＪ35				
1552	0.24	0.23	0.28	28.17	ＮＫ33				土師器片４点
1553	0.50	0.34	0.21	28.36	ＮＪ32				
1556	0.19	0.18	0.15	28.46	ＮＬ32				
1557	0.34	0.28	0.07	28.61	ＮＫ32				土師器片　鉄製品
1561	0.26	0.22	0.09	27.54	ＯＧ16				
1562	0.74	0.54	0.13	26.96	ＯＧ15	ＯＧ16			
1563	0.47	0.24	0.15	26.94	ＯＧ15				
1564	0.24	0.20	0.11	26.98	ＯＧ15				
1565	0.45	0.30	0.12	26.95	ＯＧ15				
1566	0.40	0.35	0.11	26.93	ＯＧ15				
1567	0.50	0.22	0.18	26.83	ＯＧ15				
1568	0.31	0.27	0.14	26.92	ＯＧ15				
1569	0.34	0.24	0.11	26.88	ＯＧ15				
1570	0.26	0.25	0.13	27.43	ＯＧ16	ＯＨ16			
1571	0.18	0.15	0.15	27.58	ＯＧ16				
1572	0.35	0.26	0.15	27.36	ＯＨ15	ＯＩ15	ＯＨ16	ＯＩ16	土師器片２点

第32表　柱穴様ピット一覧表（10）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
1573	0.32	0.26	0.23	27.22	ＯH15				
1574	0.24	0.16	0.18	27.25	ＯH15	ＯＩ15			
1575	0.40	0.36	0.11	26.42	ＯH15				土師器片４点
1576	0.28	0.22	0.06	27.32	ＯH15				土師器片１点
1577	0.38	0.32	0.19	27.17	ＯH15				須恵器片１点
1578	0.38	0.38	0.14	27.26	ＯH15				
1579	0.58	0.32	0.27	27.17	ＯG14	ＯG15			
1580	0.34	0.32	0.09	26.84	ＯG15				
1587	0.52	0.38	0.29	26.93	ＯM17				
1589	0.56	0.50	0.23	27.20	ＯL17				土師器片１点
1591	0.37	0.35	0.14	27.05	ＯL16				
1593	0.32	0.30	0.27	26.92	ＯL16	ＯM16			
1594	0.30	0.26	0.31	26.91	ＯL16				
1596	0.34	0.33	0.20	27.04	ＯL16				
1597	0.35	0.34	0.13	27.05	ＯL16				
1598	0.32	0.26	0.13	27.04	ＯL16				
1599	0.32	0.22	0.19	26.94	ＯL16				
1601	0.58	0.38	0.23	28.60	ＮH30	ＮG30			
1602	0.49	0.44	0.24	28.59	ＮH30				
1604	0.36	0.32	0.38	28.52	ＮG29				
1608	0.28	0.17	0.16	29.05	ＮH27				
1610	0.33	0.23	0.22	28.70	ＮH29				
1611	0.24	0.22	0.15	28.75	ＮH29				
1612	0.22	0.20	0.10	28.90	ＮH28				
1613	0.26	0.21	0.14	28.93	ＮH28				
1614	0.40	0.36	0.20	28.76	ＮH29				
1615	0.28	0.16	0.21	28.76	ＮH28				
1616	0.38	0.34	0.34	28.48	ＮH30				
1617	0.36	0.32	0.16	28.66	ＮG30				
1618	0.28	0.24	0.15	28.66	ＮG30				
1620	0.38	0.34	0.12	28.68	ＮH30				土師器片１点
1621	0.28	0.26	0.17	28.73	ＮH29				
1622	0.22	0.20	0.12	28.75	ＮＩ29				
1623	0.44	0.34	0.21	28.60	ＮH30				土師器片１点
1624	0.30	0.22	0.15	28.87	ＮH28				
1625	0.34	0.24	0.14	28.68	ＮH30				
1626	0.30	0.30	0.13	28.91	ＮE27				
1627	0.26	0.22	0.49	28.26	ＮE28				
1630	0.26	0.23	0.09	28.61	ＮF30				
1631	0.18	0.18	0.16	28.55	ＮF31				
1633	0.16	0.16	0.12	28.61	ＮF30				
1634	0.34	0.28	0.12	28.63	ＮF29	ＮF30			
1638	0.34	0.20	0.17	28.75	ＮE28				
1640	0.28	0.26	0.17	28.53	ＮF31				
1641	0.42	0.36	0.11	26.42	ＯH15				土師器片１点
1642	0.32	0.28	0.11	27.18	ＯＩ15				
1643	0.45	0.44	0.17	27.14	ＯＩ14				
1644	0.54	0.53	0.15	26.13	ＯＩ14				
1645	0.33	0.32	0.13	26.09	ＯＩ14				
1646	0.68	0.56	0.15	26.05	ＯＩ14				土師器片２点
1647	0.28	0.22	0.13	27.19	ＯＩ15	ＯＪ15			
1648	0.65	0.52	0.16	27.08	ＯＪ14	ＯＩ14			土師器片２点
1649	0.36	0.28	0.12	26.15	ＯＩ14				
1650	0.28	0.24	0.10	27.21	ＯH14				
1651	0.34	0.24	0.19	27.09	ＯH14				
1652	0.32	0.32	0.15	27.14	ＯH14				
1653	0.35	0.12	0.06	27.24	ＯH14				
1654	0.26	0.18	0.09	27.29	ＯH14				
1655	0.34	0.22	0.07	26.83	ＯG14				
1656	0.30	0.28	0.19	26.78	ＯG14				
1657	0.30	0.22	0.15	26.85	ＯG14				
1658	0.30	0.27	0.14	26.92	ＯF15				
1659	0.36	0.32	0.12	26.93	ＯG15	ＯF15			
1660	0.35	0.26	0.20	26.89	ＯG15	ＯG16			
1661	0.22	0.20	0.29	28.60	ＮG29				
1662	0.25	0.24	0.10	27.52	ＯG16				
1663	0.26	0.19	0.17	27.42	ＯG16				
1664	0.21	0.20	0.10	27.53	ＯG16				

第33表　柱穴様ピット一覧表（11）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
1666	0.36	0.21	0.15	26.70	ＯＪ14				
1667	0.22	0.20	0.18	27.01	ＯＪ14				
1668	0.23	0.20	0.10	28.74	ＮＨ29	ＮＨ30			
1669	0.32	0.26	0.19	28.69	ＮＩ29				
1671	0.40	0.38	0.20	27.20	ＯＧ14				
1672	0.50	0.48	0.19	27.33	ＯＦ14	ＯＧ14	ＯＦ15	ＯＧ15	
1673	0.25	0.22	0.11	27.40	ＯＦ14				
1674	0.28	0.18	0.10	27.49	ＯＦ14				
1675	0.24	0.18	0.08	27.39	ＯＦ14				
1676	0.48	0.40	0.14	27.35	ＯＦ14				
1677	0.36	0.32	0.14	27.34	ＯＦ14				
1678	0.40	0.38	0.10	27.38	ＯＦ14				
1680	0.28	0.26	0.38	27.28	ＯＥ15				
1681	0.40	0.32	0.27	27.40	ＯＥ15				
1683	0.24	0.22	0.10	27.36	ＯＦ14				
1684	0.40	0.30	0.12	27.36	ＯＥ14				
1685	0.56	0.48	0.32	27.10	ＯＥ13	ＯＥ14	ＯＦ13	ＯＥ14	
1687	0.34	0.32	0.11	27.43	ＯＦ15				
1688	0.30	0.26	0.12	27.43	ＯＦ15				
1689	0.80	0.70	0.16	27.56	ＯＥ15				
1691	0.64	0.48	0.27	27.12	ＯＧ14	ＯＧ13	ＯＦ14	ＯＦ13	
1692	0.40	0.33	0.12	27.33	ＯＦ14	ＯＧ14			
1694	0.32	0.30	0.19	27.36	ＯＦ15				
1695	0.26	0.15	0.14	27.28	ＯＥ13				
1698	0.32	0.28	0.14	27.65	ＯＦ16				
1699	0.46	0.32	0.14	27.68	ＯＦ16				
1701	0.30	0.28	0.10	27.90	ＯＥ17				
1702	0.29	0.27	0.18	27.74	ＯＤ16				
1703	0.38	0.34	0.25	27.55	ＯＥ16				
1705	0.22	0.20	0.13	27.59	ＯＦ16				
1706	0.23	0.19	0.19	27.54	ＯＦ16				
1707	0.28	0.26	0.24	27.47	ＯＦ16				
1708	0.27	0.26	0.18	27.60	ＯＦ16				
1709	0.41	0.28	0.16	27.62	ＯＥ16				
1710	0.77	0.54	0.68	27.16	ＯＦ16				
1712	0.34	0.26	0.18	27.69	ＯＥ16				
1713	0.28	0.23	0.13	27.72	ＯＥ16				
1714	0.28	0.26	0.25	27.61	ＯＣ14				
1715	0.36	0.26	0.27	27.44	ＯＦ16				
1716	0.32	0.23	0.22	27.48	ＯＦ16				
1717	0.23	0.20	0.12	27.71	ＯＥ16				
1718	0.26	0.20	0.32	27.92	ＯＡ18				
1720	0.43	0.36	0.52	27.45	ＯＢ14	ＯＢ15			土師器片１点
1721	0.34	0.32	0.14	28.74	ＮＰ31				土師器片３点
1722	0.22	0.10	0.13	28.61	ＮＮ32	ＮＯ32			
1723	0.26	0.25	0.14	28.67	ＮＰ31				
1724	0.30	0.29	0.25	28.55	ＮＰ32				土師器片２点
1725	0.32	0.25	0.18	28.32	ＮＮ33				
1727	0.34	0.26	0.12	28.74	ＮＰ30				土師器片１点
1728	0.26	0.14	0.14	28.84	ＮＯ29				
1729	0.26	0.19	0.14	28.85	ＮＯ30				
1731	0.22	0.20	0.08	28.71	ＮＮ31				
1732	0.24	0.22	0.20	28.68	ＮＯ30				
1733	0.32	0.30	0.30	28.57	ＮＰ31				
1734	0.25	0.22	0.20	28.29	ＮＮ34				
1735	0.24	0.23	0.19	28.28	ＮＭ34	ＮＮ34			
1736	0.17	0.14	0.12	28.79	ＮＯ30				土師器片１点
1737	0.56	0.26	0.21	28.54	ＮＰ32				
1738	0.21	0.20	0.23	28.58	ＮＰ32				
1739	0.34	0.20	0.11	28.48	ＮＮ32				土師器片２点
1741	0.35	0.34	0.22	27.87	ＯＡ15				
1742	0.52	0.48	0.31	27.79	ＮＴ15				刀子片１点
1747	0.40	0.28	0.29	27.56	ＯＢ14	ＯＣ14			土師器片
1748	0.38	0.32	0.12	27.70	ＯＢ14	ＯＢ15			
1749	0.28	0.16	0.19	27.65	ＯＢ14	ＯＢ15			土師器片１点
1750	0.42	0.32	0.16	27.66	ＯＢ14				
1751	0.34	0.32	0.15	27.71	ＯＢ14				
1752	0.22	0.20	0.12	28.00	ＮＴ16				

第34表　柱穴様ピット一覧表（12）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
1753	0.21	0.18	0.11	28.00	ＮＴ16				
1754	0.26	0.24	0.15	27.98	ＮＴ16				
1755	0.28	0.27	0.12	28.08	ＮＳ16	ＮＴ16			
1756	0.27	0.26	0.28	27.85	ＮＳ16	ＮＴ16			
1757	0.36	0.30	0.41	27.66	ＮＴ16				土師器片３点　須恵器片１点
1761	0.27	0.18	0.12	28.60	ＮＦ31	ＮＦ30			
1762	0.18	0.16	0.10	28.63	ＮＧ31				
1763	0.48	0.42	0.19	28.46	ＮＧ31				
1764	0.29	0.20	0.11	28.80	ＮＦ28				
1766	0.26	0.24	0.11	28.70	ＮＧ30				
1767	0.38	0.34	0.22	28.57	ＮＧ30				
1768	0.24	0.10	0.18	28.61	ＮＧ30				
1769	0.22	0.21	0.13	28.66	ＮＧ30	ＮＦ30			
1771	0.17	0.16	0.11	28.75	ＮＰ29				
1774	0.38	0.35	0.35	28.49	ＮＲ31	ＮＱ31			土師器片
1775	0.36	0.28	0.17	28.68	ＮＲ31				土師器片４点
1777	0.35	0.34	0.38	28.47	ＮＱ30				土師器片２点
1779	0.33	0.30	0.07	28.74	ＮＲ31				
1781	0.26	0.22	0.16	28.58	ＮＭ31				
1782	0.24	0.16	0.09	28.64	ＮＭ31				
1783	0.30	0.18	0.21	28.68	ＮＯ30				
1784	0.28	0.26	0.13	28.61	ＮＮ32				
1785	0.24	0.21	0.16	28.55	ＮＮ32	ＮＮ31			
1787	0.32	0.18	0.18	28.61	ＮＭ31				
1791	0.21	0.19	0.09	28.68	ＮＭ31				
1792	0.24	0.24	0.10	28.63	ＮＮ32				
1793	0.34	0.24	0.11	28.66	ＮＮ32				
1794	0.36	0.28	0.26	28.55	ＮＬ33				
1795	0.25	0.23	0.11	28.34	ＮＭ34				
1796	0.24	0.22	0.25	28.20	ＮＭ34				
1797	0.17	0.16	0.15	28.29	ＮＭ34				
1798	0.32	0.24	0.25	28.57	ＮＮ31	ＮＮ32			
1799	0.25	0.19	0.20	28.60	ＮＮ30				土師器片１点　須恵器片１点
1804	0.26	0.25	0.19	28.28	ＮＮ34	ＮＭ34			
1807	0.26	0.22	0.20	28.36	ＮＮ33				
1813	0.38	0.28	0.13	28.75	ＮＱ31				
1814	0.20	0.18	0.10	28.76	ＮＱ31				
1816	0.30	0.28	0.10	28.74	ＮＱ31				
1824	0.33	0.30	0.12	28.82	ＮＦ28				
1825	0.30	0.24	0.08	28.34	ＮＦ28				
1832	0.24	0.24	0.29	28.81	ＮＨ28				
1833	0.26	0.24	0.57	28.55	ＮＨ27				
1834	0.24	0.20	0.58	28.54	ＮＧ27				
1835	0.22	0.18	0.40	28.75	ＮＧ27				
1836	0.26	0.24	0.09	29.05	ＮＧ27				
1838	0.24	0.20	0.43	28.68	ＮＦ27				
1839	0.32	0.25	0.12	28.96	ＮＦ27				
1845	0.27	0.26	0.16	26.41	ＯＴ17				
1847	0.26	0.25	0.19	26.47	ＯＲ17	ＯＳ17			
1848	0.27	0.20	0.16	26.47	ＯＳ17				
1849	0.30	0.16	0.11	26.52	ＯＳ17				
1850	0.34	0.26	0.22	26.42	ＯＳ17				
1851	0.36	0.25	0.32	26.33	ＯＴ17				土師器片１点
1852	0.25	0.24	0.40	26.25	ＯＳ18				
1853	0.27	0.21	0.09	26.59	ＯＲ17				
1855	0.42	0.30	0.27	26.42	ＯＲ17				土師器片２点
1856	0.27	0.26	0.20	26.34	ＰＡ17	ＰＡ18			
1857	0.23	0.22	0.12	26.38	ＰＡ18				
1858	0.26	0.24	0.17	26.34	ＰＡ17				
1859	0.30	0.20	0.12	26.63	ＯＱ18				
1860	0.37	0.36	0.50	26.25	ＯＲ17	ＯＱ17			土師器片２点
1861	0.34	0.32	0.20	28.65	ＮＲ31				
1862	0.16	0.16	0.15	28.69	ＮＲ31				
1863	0.38	0.34	0.27	28.58	ＮＱ30	ＮＰ30			土師器片２点
1864	0.28	0.24	0.29	28.53	ＮＳ28				
1865	0.30	0.26	0.12	28.71	ＮＳ28				
1866	0.28	0.28	0.15	28.69	ＮＴ29				
1867	0.24	0.23	0.08	28.74	ＮＴ29				

第35表　柱穴様ピット一覧表（13）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
1869	0.30	0.28	0.23	28.62	ＯA28				土師器片１点
1870	0.30	0.28	0.19	28.64	ＯA28				
1871	0.38	0.38	0.35	28.49	ＮT29				土師器片３点
1872	0.36	0.24	0.31	28.52	ＮT28				土師器片２点
1873	0.42	0.36	0.38	28.47	ＮQ31				
1874	0.48	0.30	0.14	28.72	ＮQ31				
1875	0.36	0.32	0.25	28.41	ＮQ31				
1876	0.48	0.45	0.13	28.74	ＮQ31				
1877	0.47	0.18	0.21	28.65	ＮR31				
1878	0.36	0.37	0.25	28.60	ＮT29				
1879	0.42	0.40	0.45	28.41	ＮQ31				
1880	0.32	0.29	0.09	28.76	ＮQ31				
1881	0.28	0.24	0.21	26.51	ＯQ17				
1885	0.26	0.16	0.08	26.67	ＯR18				
1886	0.22	0.22	0.32	26.27	ＯT18				
1888	0.22	0.21	0.13	26.41	ＯT17	ＰA17			
1889	0.26	0.22	0.17	26.37	ＯT17	ＯT18			
1890	0.26	0.25	0.22	26.32	ＰA17				
1891	0.36	0.34	0.25	26.46	ＯR17				土師器片４点
1892	0.29	0.18	0.20	26.51	ＯR17				
1893	0.23	0.21	0.14	26.54	ＯS18				
1895	0.20	0.20	0.09	26.49	ＯT17				
1896	0.24	0.22	0.11	26.47	ＯT17				
1897	0.21	0.15	0.08	26.50	ＯT18				
1898	0.22	0.20	0.13	26.34	ＰA18				
1899	0.18	0.15	0.07	26.40	ＰA17				
1901	0.38	0.34	0.22	25.60	ＰJ19				
1902	0.32	0.22	0.15	25.63	ＰJ19				
1904	0.26	0.26	0.19	25.55	ＰJ18				
1906	0.46	0.44	0.21	25.57	ＰI19				土師器片２点
1907	0.24	0.22	0.11	25.67	ＰI19				
1908	0.26	0.22	0.11	25.67	ＰI19				
1909	0.34	0.26	0.16	25.78	ＰH18				
1911	0.42	0.36	0.21	25.57	ＰH18				
1913	0.42	0.40	0.14	25.63	ＰG18				
1914	0.36	0.28	0.17	25.59	ＰG18	ＰH18			土師器片３点
1916	0.38	0.32	0.18	25.60	ＰH18				
1917	0.40	0.32	0.15	25.63	ＰJ18				
1918	0.24	0.23	0.15	25.66	ＰH18				
1921	0.30	0.20	0.20	27.15	ＯG14				
1922	0.26	0.24	0.09	27.44	ＯF15				
1923	0.33	0.30	0.22	27.41	ＯF15				土師器片３点
1924	0.42	0.38	0.15	27.52	ＯF15				
1925	0.28	0.22	0.11	27.63	ＯG16				
1926	0.38	0.36	0.23	27.53	ＯG16				
1927	0.68	0.36	0.18	27.52	ＯG16				土師器坏片（内面黒色処理）
1928	0.40	0.30	0.42	27.40	ＯD14				
1929	0.30	0.24	0.14	27.67	ＯF16				
1930	0.42	0.36	0.15	27.69	ＯF16				
1931	0.30	0.28	0.22	27.45	ＯE15				
1932	0.34	0.29	0.17	27.46	ＯE15	ＯF15			土師器片２点
1933	0.42	0.38	0.42	27.31	ＯD15	ＯE15			
1934	0.44	0.34	0.39	27.47	ＯF16				土師器片１点
1935	0.20	0.14	0.13	28.15	ＮS17				
1936	0.30	0.19	0.13	28.21	ＮR17				
1937	0.24	0.22	0.12	28.04	ＮS17				
1939	0.28	0.24	0.40	27.83	ＮS17				
1941	0.26	0.25	0.15	28.71	ＮQ31				土師器片１点
1942	0.33	0.32	0.56	28.42	ＮQ32				
1943	0.29	0.23	0.20	28.65	ＮR31				
1944	0.22	0.18	0.21	28.59	ＮS28				土師器片２点
1947	0.25	0.20	0.21	28.60	ＯA27				
1948	0.32	0.30	0.15	28.68	ＮT28				
1949	0.36	0.35	0.46	28.41	ＮR31				
1955	0.32	0.10	0.15	28.71	ＮP30				
1965	0.28	0.18	0.22	28.59	ＮS29				
1966	0.26	0.22	0.20	28.69	ＮS29				
1967	0.30	0.23	0.51	28.32	ＮS29				

第36表　柱穴様ピット一覧表（14）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
1971	0.34	0.26	0.10	25.68	ＰH18				土師器片１点
1972	0.24	0.18	0.24	25.54	ＰH18	ＰH19			
1973	0.30	0.20	0.14	25.68	ＰG18				土師器片１点
1974	0.20	0.18	0.13	25.66	ＰH18				
1975	0.20	0.12	0.10	25.69	ＰH18	ＰＩ18			
1976	0.28	0.23	0.33	25.49	ＰG18				
1978	0.33	0.32	0.28	25.57	ＰG18				土師器片
1979	0.46	0.31	0.09	25.71	ＰG18				
1980	0.24	0.08	0.06	25.74	ＰＪ18				
1982	0.24	0.18	0.19	25.64	ＰＩ18				
1983	0.16	0.10	0.08	25.77	ＰＩ18				土師器片２点
1985	0.42	0.30	0.23	25.65	ＰＦ18	ＰG18			
1986	0.15	0.12	0.10	25.75	ＰG18				土師器片２点
1989	0.32	0.22	0.10	26.07	ＰＣ18				土師器片１点
1991	0.38	0.34	0.43	28.40	ＮＴ29				土師器片３点
1993	0.28	0.26	0.46	27.98	ＯＣ24				
1994	0.28	0.26	0.22	28.24	ＯＣ24	ＯＣ23			
1995	0.40	0.24	0.09	28.37	ＯＣ24	ＯＣ23			
1996	0.44	0.40	0.13	28.40	ＯＣ23				土師器片３点
1997	0.48	0.40	0.30	28.27	ＯD23	ＯＣ23			
1998	0.30	0.26	0.14	28.42	ＯD23				
1999	0.30	0.24	0.27	28.32	ＯD23				
2005	0.42	0.24	0.17	28.53	ＮＯ19				
2008	0.22	0.16	0.10	28.29	ＮＳ19				土師器片１点
2009	0.42	0.38	0.32	28.01	ＮＳ19	ＮＴ19			
2010	0.35	0.23	0.16	28.23	ＮＳ19				
2011	0.30	0.19	0.12	28.27	ＮＳ19				
2012	0.14	0.12	0.20	28.25	ＮＳ18				
2013	0.46	0.20	0.22	28.35	ＮＴ18				
2014	0.30	0.24	0.18	28.60	ＮＰ18				
2015	0.27	0.22	0.11	28.46	ＮＲ19				
2016	0.22	0.20	0.10	28.82	ＮＱ21				
2018	0.28	0.24	0.12	28.91	ＮＱ21				
2020	0.52	0.50	0.32	28.18	ＮＱ18				土師器片３点
2021	0.42	0.40	0.11	28.47	ＯD23				
2022	0.38	0.22	0.07	27.37	ＯＣ22				
2023	0.31	0.18	0.15	28.27	ＯＥ26				
2026	0.26	0.20	0.21	28.53	ＮＴ25				
2031	0.30	0.22	0.19	28.40	ＯD23				
2032	0.28	0.24	0.10	28.58	ＯD23	ＯＥ23			
2037	0.34	0.30	0.10	28.35	ＯＦ24				
2039	0.36	0.24	0.13	28.30	ＯＦ23				
2042	0.34	0.30	0.19	28.58	ＯＣ23				
2043	0.50	0.34	0.22	27.22	ＯＣ22				
2044	0.56	0.26	0.22	26.21	ＯＣ22				
2045	0.42	0.38	0.18	28.42	ＯD22	ＯＣ22			
2046	0.42	0.34	0.12	28.40	ＯD22	ＯＣ22			
2048	0.32	0.28	0.23	28.31	ＯD22				土師器片１点
2049	0.28	0.24	0.10	28.44	ＯD22				
2050	0.30	0.24	0.40	28.14	ＯD22				
2051	0.58	0.34	0.31	28.28	ＯＣ23				
2052	0.30	0.26	0.20	28.37	ＯＣ23				
2053	0.36	0.28	0.20	28.37	ＯＣ23				
2055	0.28	0.26	0.27	28.32	ＯD22				
2056	0.26	0.24	0.16	28.28	ＯＥ25				
2057	0.28	0.24	0.08	28.37	ＯＥ26				
2058	0.44	0.43	0.16	28.30	ＯD26				
2059	0.30	0.22	0.22	28.34	ＯＣ23				
2061	0.18	0.12	0.06	26.41	ＰA17				
2062	0.26	0.20	0.09	26.65	ＯＲ17				
2065	0.28	0.14	0.24	26.35	ＯＳ17				
2066	0.26	0.17	0.10	26.52	ＯＳ17				
2067	0.32	0.25	0.12	26.50	ＯＳ17				
2072	0.38	0.36	0.24	28.52	ＯD23				
2073	0.28	0.26	0.11	28.33	ＯD23				
2074	0.44	0.40	0.27	28.32	ＯD23				
2075	0.32	0.28	0.06	28.34	ＯＥ24				
2077	0.22	0.16	0.08	28.48	ＯＣ23				

第37表　柱穴様ピット一覧表（15）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
2079	0.34	0.24	0.16	28.23	ＯＥ25				土師器片１点
2080	0.34	0.30	0.16	28.32	ＯＤ23				
2108	0.30	0.20	0.43	24.08	ＰＫ－１				
2141	0.34	0.30	0.19	28.41	ＯＢ23				
2142	0.34	0.32	0.08	28.33	ＯＣ23				
2143	0.27	0.25	0.10	28.73	ＯＡ28				
2144	0.32	0.30	0.18	28.67	ＯＡ28				
2145	0.40	0.26	0.09	28.73	ＮＴ28				
2146	0.48	0.36	0.17	28.40	ＯＣ23	ＯＢ23	ＯＣ22	ＯＢ２２	
2147	0.40	0.24	0.13	28.45	ＯＣ22				
2148	0.34	0.24	0.13	28.31	ＯＤ22				
2150	0.26	0.20	0.17	28.66	ＮＴ29				土師器片２点　土師器坏(第209図12)
2151	0.25	0.22	0.18	28.43	ＮＱ19				
2152	0.18	0.15	0.14	28.47	ＮＱ19				
2153	0.40	0.26	0.15	28.46	ＮＰ19				
2154	0.44	0.34	0.21	28.36	ＮＲ19				
2155	0.36	0.34	0.16	28.40	ＮＲ19				
2156	0.22	0.18	0.10	28.46	ＮＲ20				
2157	0.48	0.42	0.22	28.38	ＮＳ20	ＮＲ20			
2158	0.46	0.26	0.18	28.78	ＮＱ22				
2159	0.22	0.20	0.12	28.52	ＮＱ20				
2160	0.22	0.15	0.12	28.50	ＮＱ19				
2162	0.55	0.48	0.27	28.48	ＮＰ20				土師器片４点
2163	0.24	0.22	0.13	28.72	ＮＰ20				
2164	0.34	0.33	0.23	28.64	ＮＰ20				
2165	0.26	0.22	0.09	28.81	ＮＰ20				土師器片１点
2166	0.54	0.26	0.12	28.73	ＮＰ20				
2167	0.72	0.46	0.24	28.70	ＮＯ21				土師器片２点
2168	0.48	0.36	0.14	28.78	ＮＰ21				
2169	0.52	0.50	0.21	28.72	ＮＰ20				
2170	0.84	0.46	0.27	28.61	ＮＰ21	ＮＰ20			
2173	0.26	0.24	0.09	28.82	ＮＰ21				
2175	0.26	0.24	0.10	28.96	ＮＰ22	ＮＱ22			
2178	0.28	0.20	0.07	28.91	ＮＰ22				
2180	0.20	0.18	0.07	28.87	ＮＰ21				
2181	0.20	0.22	0.17	28.39	ＮＭ33				
2182	0.22	0.18	0.12	28.42	ＮＭ33				
2183	0.30	0.29	0.21	28.37	ＮＭ33	ＮＭ32			土師器片１点
2184	0.22	0.22	0.26	28.32	ＮＭ32				土師器片１点
2185	0.24	0.22	0.11	28.46	ＮＭ32				
2186	0.30	0.30	0.17	28.36	ＮＬ33				
2187	0.26	0.17	0.10	28.52	ＮＭ32				
2191	0.22	0.20	0.24	28.19	ＮＭ34				
2192	0.32	0.32	0.09	28.61	ＮＮ32				
2197	0.28	0.20	0.15	28.66	ＮＮ31				
2199	0.24	0.16	0.11	28.72	ＮＮ30				
2202	0.44	0.43	0.14	28.64	ＮＨ30				土師器片２点
2203	0.39	0.35	0.24	28.53	ＮＧ30				土師器片１点
2205	0.32	0.24	0.21	28.04	ＮＫ35				
2206	0.26	0.24	0.21	28.10	ＮＫ35				
2207	0.26	0.24	0.16	28.18	ＮＫ35				
2208	0.28	0.27	0.26	27.97	ＮＪ35				土師器片５点
2209	0.28	0.26	0.23	28.08	ＮＪ35				
2213	0.28	0.22	0.14	28.17	ＮＪ34				
2214	0.34	0.22	0.10	28.21	ＮＪ34				
2216	0.32	0.16	0.14	28.16	ＮＪ34				
2217	0.24	0.20	0.18	28.09	ＮＪ35				
2218	0.40	0.24	0.18	28.08	ＮＪ35				
2219	0.28	0.20	0.17	28.02	ＮＪ35				土師器片４点
2227	0.30	0.24	0.21	27.69	ＯＦ17				
2231	0.35	0.15	0.11	28.75	ＯＡ28				
2232	0.34	0.32	0.33	26.11	ＯＥ22				
2234	0.38	0.22	0.18	28.38	ＯＤ22	ＯＥ22			
2235	0.34	0.26	0.08	28.48	ＯＤ22	ＯＤ23			
2239	0.36	0.30	0.19	28.34	ＯＤ22				
2240	0.46	0.36	0.19	28.25	ＯＤ21				
2241	0.40	0.32	0.10	28.43	ＯＢ26				
2243	0.26	0.21	0.14	28.64	ＮＴ25				

第38表　柱穴様ピット一覧表（16）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
2247	0.24	0.20	0.07	28.69	ＮＴ26				
2248	0.32	0.16	0.16	24.37	ＰＫ－１				
2249	0.46	0.20	0.13	24.30	ＰＬ－１				
2250	0.20	0.20	0.08	24.60	ＰＫ－１				
2252	0.28	0.22	0.18	28.38	ＮＬ32				土師器片１点
2254	0.40	0.36	0.18	28.50	ＮＫ32				土師器片１点
2255	0.37	0.36	0.18	28.53	ＮＫ31				
2258	0.36	0.28	0.11	28.54	ＮＫ32				
2259	0.26	0.22	0.26	28.27	ＮＬ33				土師器片３点
2260	0.22	0.18	0.15	28.55	ＮＫ32				
2263	0.24	0.20	0.12	28.34	ＯＤ21				
2264	0.30	0.28	0.15	28.33	ＯＤ22				
2266	0.28	0.22	0.10	28.39	ＯＤ22				
2267	0.26	0.24	0.42	28.04	ＯＥ21				
2268	0.32	0.28	0.20	28.25	ＯＤ21				
2270	0.30	0.24	0.30	28.08	ＯＤ21	ＯＥ21			
2271	0.22	0.20	0.10	28.47	ＮＬ32				土師器片１点
2273	0.22	0.20	0.13	28.56	ＮＫ32				
2274	0.28	0.14	0.18	28.28	ＮＬ33				土師器片１点　須恵器片１点
2275	0.26	0.18	0.17	28.30	ＮＬ34				
2279	0.60	0.42	0.35	28.26	ＮＥ34				
2280	0.30	0.28	0.73	28.54	ＮＥ34				
2281	0.27	0.19	0.32	28.47	ＮＮ31				
2282	0.34	0.26	0.11	28.68	ＮＮ31				
2283	0.20	0.18	0.19	28.59	ＮＮ31				
2284	0.28	0.18	0.10	28.67	ＮＰ32				
2285	0.20	0.18	0.10	28.83	ＮＰ30				
2288	0.22	0.21	0.14	28.67	ＮＮ31				
2291	0.38	0.32	0.21	28.19	ＯＤ21				土師器片11点
2294	0.28	0.22	0.22	28.12	ＯＤ21	ＯＤ22			
2295	0.22	0.14	0.16	28.33	ＯＥ21	ＯＥ22			
2296	0.44	0.44	0.17	28.26	ＯＤ21				土師器片　支脚（第210図１）
2297	0.22	0.20	0.14	28.22	ＯＤ21				
2310	0.26	0.22	0.35	22.10	ＰＩ－４	ＰＩ－３			
2320	0.35	0.29	0.33	22.05	ＰＪ－４				
2321	0.44	0.34	0.14	23.36	ＰＬ－２				
2322	0.40	0.30	0.16	23.43	ＰＬ－２				
2323	0.22	0.18	0.16	27.48	ＯＬ18				
2324	0.16	0.16	0.13	27.48	ＯＬ18				
2325	0.22	0.20	0.18	27.44	ＯＬ18				
2326	0.18	0.15	0.12	27.41	ＯＬ18				
2327	0.22	0.22	0.13	27.19	ＯＮ18				
2328	0.22	0.21	0.10	27.26	ＯＮ18				
2329	0.22	0.15	0.07	27.46	ＯＮ18				
2330	0.24	0.22	0.13	27.37	ＯＮ18				
2332	0.40	0.34	0.15	27.41	ＯＭ19				土師器片２点
2333	0.30	0.26	0.08	27.61	ＯＬ19				土師器片
2335	0.22	0.18	0.21	27.17	ＯＫ17	ＯＬ17			
2336	0.35	0.30	0.14	27.24	ＯＬ17				
2338	0.20	0.18	0.14	27.27	ＯＬ17				
2339	0.18	0.16	0.11	27.33	ＯＬ17				土師器片２点
2340	0.28	0.24	0.19	27.39	ＯＫ17				
2341	0.44	0.42	0.27	28.55	ＮＯ19				須恵器片１点
2342	0.40	0.36	0.19	28.68	ＮＯ20				
2343	0.58	0.32	0.18	28.71	ＮＯ20				土師器片１点
2344	0.22	0.21	0.16	28.73	ＮＯ20				
2345	0.32	0.28	0.12	28.75	ＮＯ20				
2346	0.28	0.22	0.10	28.76	ＮＯ20				
2347	0.48	0.46	0.19	28.69	ＮＯ19	ＮＯ20			
2348	0.31	0.30	0.13	28.76	ＮＯ20				土師器片１点
2349	0.27	0.26	0.13	28.76	ＮＯ20				
2350	0.32	0.28	0.19	28.73	ＮＮ20	ＮＯ20			土師器片１点
2351	0.26	0.25	0.09	28.80	ＮＯ19				
2352	0.28	0.24	0.20	28.65	ＮＯ19				
2353	0.30	0.28	0.18	28.69	ＮＯ20				
2355	0.62	0.47	0.17	28.76	ＮＯ20				
2356	0.64	0.52	0.20	28.76	ＮＯ20				
2358	0.54	0.38	0.19	28.75	ＮＮ20	ＮＯ20			

第39表　柱穴様ピット一覧表（17）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
２３５９	０.２２	０.２０	０.１２	28.86	ＮＯ20				
２３６０	０.３６	０.３３	０.１６	28.84	ＮＯ20	ＮＮ20			
２３６１	０.２４	０.２３	０.２０	28.96	ＮＮ20				
２３６２	０.２６	０.２６	０.０８	28.95	ＮＮ20				
２３６３	０.３４	０.３２	０.２３	28.82	ＮＮ20				
２３６４	０.２８	０.２６	０.１９	28.78	ＮＮ20				
２３６５	０.３８	０.２６	０.１４	28.99	ＮＭ20	ＮＭ21			
２３６６	０.２８	０.２４	０.１６	28.99	ＮＭ20				土師器坏（第210図２）
２３６７	０.６４	０.４２	０.２１	28.95	ＮＭ20				
２３６８	０.２４	０.１７	０.１７	28.91	ＮＮ21				
２３６９	０.２７	０.２６	０.１３	28.91	ＮＮ21				
２３７０	０.２６	０.２４	０.２５	28.79	ＮＮ21				
２３７１	０.２６	０.２４	０.２６	28.33	ＮＥ34				
２３７２	０.２７	０.２０	０.１２	28.22	ＮＥ34				
２３７３	０.３０	０.２８	０.１７	28.47	ＮＦ35				
２３８１	０.１８	０.１３	０.０９	27.40	ＯＬ18				
２３８２	０.３８	０.１８	０.０５	27.35	ＯＬ18				
２３８３	０.２０	０.１９	０.１１	27.35	ＯＪ17				
２３８４	０.１７	０.１６	０.１９	27.10	ＯＬ16				
２３８７	０.３２	０.２６	０.１５	26.89	ＯＮ17				
２３８８	０.１６	０.０９	０.１２	26.92	ＯＮ17				
２３８９	０.３６	０.２８	０.３７	26.94	ＯＫ17	ＯＬ17			
２４０１	０.２４	０.２０	０.１４	29.01	ＮＱ22				
２４０３	０.８６	０.７４	０.２７	28.88	ＮＰ22				
２４０４	０.４４	０.３０	０.２０	28.95	ＮＰ22	ＮＯ22			
２４０５	０.４８	０.３６	０.２０	28.91	ＮＯ22				
２４０７	０.２８	０.１８	０.２１	28.86	ＮＯ22				
２４０８	０.４０	０.３０	０.２１	28.92	ＮＯ22				
２４０９	０.６０	０.５６	０.２６	28.87	ＮＯ22				
２４１０	０.４０	０.３２	０.２０	28.93	ＮＯ22				
２４１１	０.５６	０.３０	０.１２	28.85	ＮＯ21				
２４１２	０.３０	０.２２	０.１８	28.78	ＮＯ21				
２４１３	０.３０	０.２４	０.２６	28.70	ＮＯ21				
２４１５	０.４４	０.４０	０.１３	28.84	ＮＯ21				
２４１６	０.４６	０.２８	０.１８	28.79	ＮＯ21				
２４１７	０.３２	０.２２	０.１６	28.81	ＮＯ21				
２４１８	０.４４	０.４２	０.２３	28.58	ＮＰ19				
２４１９	０.３８	０.３０	０.１３	28.44	ＮＰ19				
２４２０	０.２８	０.２６	０.１３	28.53	ＮＰ19				
２４２１	０.３０	０.２２	０.２２	28.47	ＮＰ19				
２４２２	０.３６	０.３３	０.１７	28.69	ＮＰ20				
２４２３	０.２８	０.１７	０.１０	28.66	ＮＰ20				
２４２４	０.１８	０.１７	０.１１	28.78	ＮＯ20				
２４２５	０.２８	０.２６	０.１６	28.97	ＮＭ20				
２４２６	０.４２	０.２６	０.１９	28.65	ＮＰ20				
２４２８	０.３０	０.２９	０.１８	28.75	ＮＰ20				
２４２９	０.３２	０.２８	０.２０	28.70	ＮＰ21				
２４３１	０.３６	０.２４	０.２２	28.08	ＮＩ34				土師器片２点
２４３２	０.３２	０.２６	０.１９	28.09	ＮＩ34				
２４３３	０.２８	０.１６	０.０９	28.18	ＮＩ34				
２４３４	０.２４	０.１８	０.１６	28.18	ＮＩ34				土師器片３点
２４３６	０.２４	０.２４	０.２８	27.90	ＮＪ35				土師器片６点
２４３７	０.２２	０.２２	０.１２	28.12	ＮＫ35				
２４３９	０.３０	０.２９	０.０９	28.46	ＮＧ34				
２４４０	０.２４	０.１６	０.０９	28.17	ＮＪ35				
２４４１	０.２８	０.１８	０.１８	28.34	ＮＩ33				
２４４２	０.２４	０.２３	０.１５	28.35	ＮＩ33				
２４４３	０.２８	０.２２	０.１４	28.10	ＮＪ35				土師器片
２４４４	０.２４	０.２２	０.０７	28.14	ＮＪ35				
２４４５	０.２８	０.１６	０.０９	28.13	ＮＪ35				
２４４６	０.２２	０.１８	０.１１	28.41	ＮＨ33				土師器片１点
２４４７	０.３０	０.２６	０.０９	28.48	ＮＧ33				
２４４８	０.３２	０.２４	０.１２	28.50	ＮＥ33				
２４４９	０.２２	０.２０	０.１０	28.06	ＮＪ35				
２４５０	０.２２	０.２０	０.０９	28.49	ＮＦ33				
２４５４	０.３０	０.２４	０.２１	28.63	ＮＬ31				
２４５６	０.３６	０.３５	０.１１	28.18	ＮＫ35				
２４５７	０.２０	０.１８	０.１３	28.45	ＮＫ32				

第40表　柱穴様ピット一覧表（18）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
2458	0.20	0.20	0.18	28.43	ＮＫ32				
2460	0.30	0.22	0.15	28.33	ＮＫ33				
2473	0.36	0.34	0.12	28.34	ＯＤ26				
2475	0.26	0.22	0.11	28.70	ＯＢ24				
2477	0.26	0.24	0.11	28.68	ＯＢ24				
2478	0.42	0.24	0.20	28.59	ＯＢ24				土師器片１点
2481	0.22	0.20	0.14	28.36	ＮＪ33	ＮＪ32			
2482	0.28	0.24	0.27	28.21	ＮＫ33				
2483	0.20	0.18	0.12	28.41	ＮＪ33				
2484	0.26	0.18	0.19	28.18	ＮＫ34				
2485	0.22	0.21	0.11	28.32	ＮＫ33				
2486	0.24	0.18	0.13	28.30	ＮＫ33				
2487	0.20	0.18	0.23	28.35	ＮＬ32				
2494	0.20	0.20	0.20	24.19	ＰＭ－１				土師器片１点
2495	0.50	0.42	0.28	25.70	ＰＫ０				
2496	0.32	0.28	0.20	23.81	ＰＬ－１				
2497	0.26	0.20	0.36	23.65	ＰＬ－１				土師器片２点
2498	0.52	0.44	0.39	22.84	ＰＬ－２	ＰＭ－２			
2501	0.36	0.28	0.15	29.01	ＮＱ22				
2502	0.34	0.24	0.21	28.93	ＮＰ22				
2503	0.26	0.22	0.17	28.73	ＮＯ20				
2504	0.36	0.26	0.13	28.78	ＮＰ21				
2505	0.22	0.21	0.16	28.41	ＮＱ20				
2506	0.42	0.26	0.18	28.42	ＮＱ20				
2507	0.60	0.42	0.20	28.37	ＮＱ20				
2508	0.62	0.36	0.17	28.35	ＮＲ19				
2509	0.50	0.34	0.21	28.60	ＮＰ20				
2510	0.44	0.28	0.14	28.31	ＮＱ18				
2512	0.22	0.20	0.15	28.56	ＮＭ31				
2513	0.34	0.23	0.14	28.62	ＮＮ31				
2515	0.30	0.22	0.27	28.51	ＮＯ31				
2516	0.24	0.20	0.11	28.66	ＮＯ31				
2517	0.22	0.15	0.11	28.70	ＮＯ31				
2518	0.26	0.14	0.23	28.57	ＮＰ31				
2519	0.20	0.18	0.26	28.54	ＮＯ31	ＮＰ31			土師器片２点
2520	0.17	0.16	0.11	28.72	ＮＯ31				
2521	0.26	0.20	0.12	28.71	ＮＯ31				
2522	0.20	0.19	0.11	28.72	ＮＰ31	ＮＰ30			土師器片１点
2523	0.32	0.19	0.10	28.70	ＮＭ30				
2524	0.33	0.20	0.12	28.78	ＮＭ30				
2526	0.26	0.20	0.09	28.83	ＮＭ30				
2527	0.30	0.18	0.11	28.88	ＮＮ29				
2528	0.22	0.18	0.15	28.66	ＮＭ30				
2533	0.32	0.28	0.15	28.58	ＮＨ30				
2534	0.48	0.30	0.23	28.44	ＮＩ31				土師器片２点
2535	0.32	0.21	0.23	28.41	ＮＩ31				
2541	0.32	0.28	0.36	21.70	ＰＨ－５				土師器片１点
2550	0.30	0.32	0.30	24.31	ＰＦ－１	ＰＧ－１			土師器片５点
2551	0.32	0.22	0.13	28.49	ＮＩ31				
2556	0.27	0.26	0.08	28.51	ＮＨ32				
2568	0.51	0.40	0.19	26.29	ＯＦ17				
2572	0.20	0.20	0.22	28.52	ＮＨ30				
2573	0.50	0.38	0.08	28.42	ＮＧ31	ＮＨ31			
2574	0.22	0.21	0.15	28.45	ＮＪ32	ＮＫ32			
2578	0.20	0.17	0.18	28.44	ＮＫ31	ＮＫ32			
2579	0.43	0.36	0.19	28.34	ＮＧ31	ＮＨ31			
2588	0.24	0.22	0.14	27.06	ＯＪ15				土師器片３点
2591	0.36	0.35	0.11	28.37	ＮＩ31				
2592	0.32	0.26	0.30	26.89	ＯＫ16				
2593	0.66	0.48	0.10	26.95	ＯＫ15				
2594	0.20	0.18	0.26	26.88	ＯＫ15				
2596	0.26	0.26	0.25	26.95	ＯＫ15				
2597	0.32	0.30	0.17	26.99	ＯＫ15				
2598	0.30	0.30	0.12	26.95	ＯＬ15				
2600	0.30	0.25	0.46	27.56	ＯＧ17				
2601	0.28	0.18	0.24	28.65	ＮＴ23				
2602	0.40	0.30	0.10	28.79	ＮＳ23	ＮＴ23			
2603	0.30	0.28	0.27	28.70	ＮＳ23				

第41表　柱穴様ピット一覧表（19）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
2604	0.40	0.34	0.23	28.71	ＮＳ23				土師器片３点
2605	0.32	0.30	0.22	28.74	ＮＳ23				
2606	0.42	0.28	0.24	28.41	ＯＢ23				
2607	0.26	0.24	0.12	28.61	ＯＢ23				
2609	0.48	0.36	0.33	27.76	ＯＧ19				
2610	0.40	0.38	0.18	27.88	ＯＦ20				土師器片２点　須恵器片２点
2613	0.44	0.28	0.26	29.14	ＯＤ20	ＯＤ21			
2629	0.20	0.20	0.14	23.30	ＰＥ－１				
2630	0.39	0.30	0.54	23.78	ＰＥ－１				
2631	0.38	0.26	0.40	23.95	ＰＥ－１				
2632	0.22	0.18	0.14	23.22	ＰＥ－１				
2633	0.23	0.18	0.37	22.75	ＰＤ－１				
2634	0.19	0.18	0.26	22.93	ＰＤ－１				
2635	0.20	0.20	0.17	23.20	ＰＤ－１				
2636	0.18	0.18	0.13	23.31	ＰＤ－１				
2637	0.18	0.12	0.26	23.09	ＰＤ－１				土師器片３点
2638	0.18	0.16	0.15	23.09	ＰＤ－１				
2639	0.18	0.15	0.12	23.13	ＰＤ－１				
2640	0.22	0.17	0.15	23.37	ＰＤ－１				
2641	0.34	0.32	0.19	26.99	ＯＪ14				
2643	0.32	0.28	0.23	27.05	ＯＪ15				
2644	0.54	0.50	0.34	26.95	ＯＪ16	ＯＫ16			
2649	0.24	0.20	0.09	27.15	ＯＪ15				
2650	0.64	0.54	0.18	27.21	ＯＩ16	ＯＪ16			
2654	0.16	0.14	0.16	27.04	ＯＫ15				土師器片１点
2655	0.22	0.20	0.10	27.11	ＯＫ15				
2657	0.30	0.24	0.14	26.88	ＯＬ15				
2661	0.34	0.26	0.19	28.45	ＮＦ33				
2663	0.34	0.24	0.20	28.46	ＮＦ33	ＮＦ32			
2664	0.24	0.20	0.16	28.51	ＮＪ31				
2667	0.30	0.28	0.30	28.45	ＮＨ30				土師器片２点
2669	0.45	0.34	0.09	28.47	ＮＩ31				土師器片３点
2673	0.36	0.30	0.13	29.26	ＯＤ20	ＯＤ21			
2674	0.38	0.34	0.10	28.13	ＯＣ21				須恵器片１点
2676	0.48	0.46	0.24	28.28	ＯＡ21				
2678	0.38	0.38	0.26	28.17	ＯＡ19				
2682	0.42	0.40	0.22	27.40	ＯＨ16	ＯＨ17			土師器片
2683	0.32	0.30	0.60	27.36	ＯＧ17				土師器片４点
2685	0.25	0.21	0.32	27.59	ＯＧ17				
2686	0.30	0.21	0.14	27.42	ＯＩ16				
2687	0.26	0.25	0.27	27.29	ＯＩ16				
2690	0.30	0.28	0.45	27.43	ＯＨ17				
2691	0.24	0.20	0.13	28.61	ＯＢ23				
2692	0.36	0.26	0.35	28.41	ＯＢ23				土師器片５点
2693	0.38	0.36	0.21	28.65	ＯＡ23				
2696	0.30	0.28	0.14	28.25	ＯＤ21				
2697	0.38	0.26	0.47	27.92	ＯＤ21				土師器片
2698	0.44	0.36	0.23	28.31	ＯＡ21				
2699	0.26	0.24	0.28	28.31	ＯＢ21	ＯＢ22			
2702	0.28	0.20	0.09	28.88	ＮＬ29				
2704	0.28	0.14	0.11	28.95	ＮＬ29				
2706	0.25	0.22	0.11	28.91	ＮＫ29				
2708	0.38	0.32	0.28	28.74	ＮＫ29				
2709	0.32	0.28	0.10	28.83	ＮＫ29				
2710	0.32	0.30	0.12	28.74	ＮＪ30				
2711	0.38	0.36	0.18	28.67	ＮＪ30				
2712	0.22	0.22	0.17	28.48	ＮＦ31				
2716	0.20	0.14	0.28	28.26	ＮＧ31				
2717	0.24	0.22	0.39	28.15	ＮＧ31	ＮＧ32			
2720	0.18	0.15	0.08	28.53	ＮＩ31				
2723	0.28	0.28	0.29	20.91	ＰＧ－２				
2724	0.38	0.31	0.23	21.06	ＰＧ－２				
2725	0.24	0.18	0.20	20.96	ＰＧ－２				
2726	0.32	0.31	0.35	20.85	ＰＧ－２				
2727	0.34	0.19	0.07	25.03	ＰＦ－２				
2728	0.18	0.18	0.06	25.01	ＰＦ－２				
2729	0.18	0.14	0.25	25.07	ＰＦ－２				
2730	0.23	0.22	0.15	21.21	ＰＧ－２				

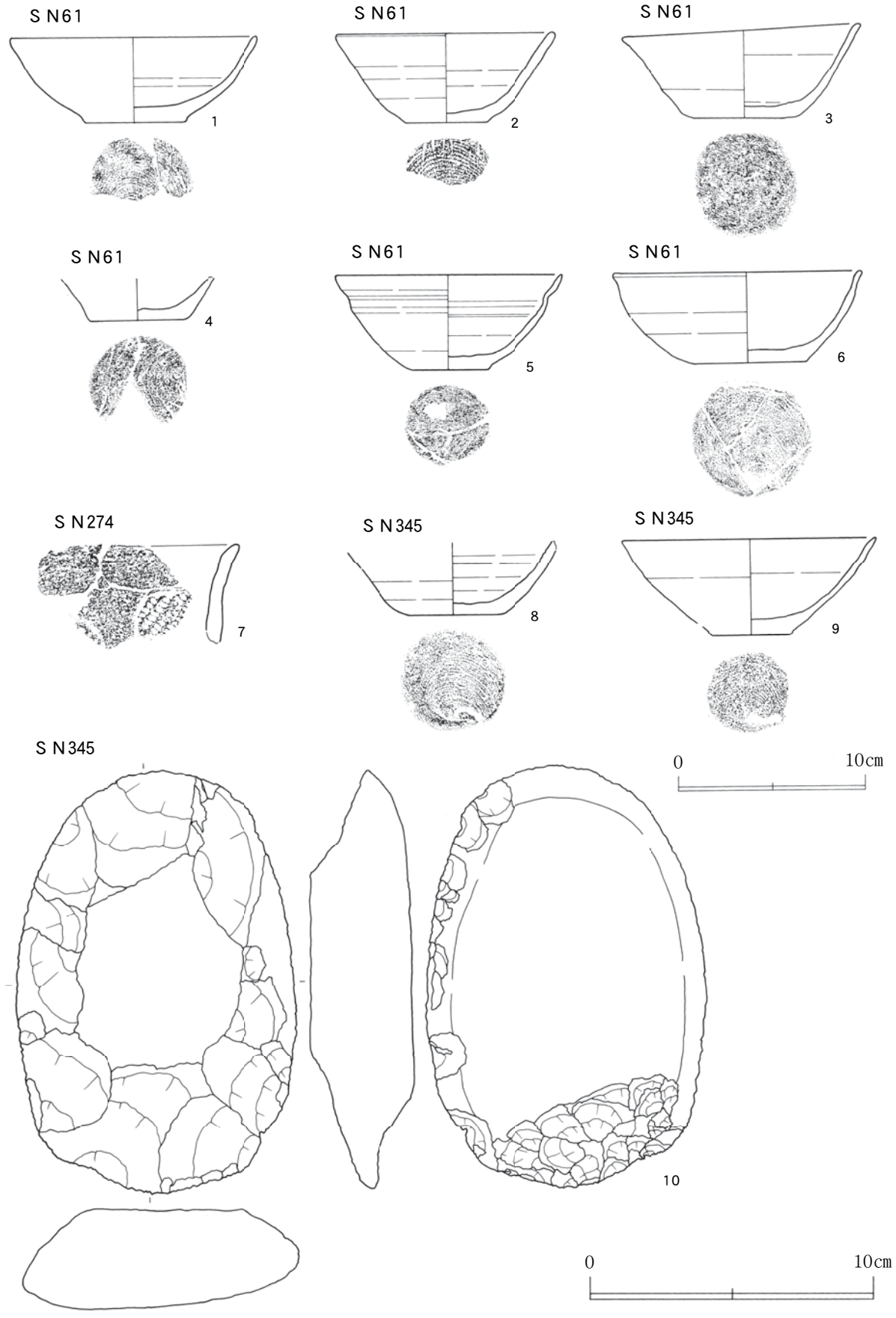
第42表　柱穴様ピット一覧表（20）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
2731	0.42	0.24	0.25	21.31	ＰＧ－１				
2735	0.42	0.28	0.19	23.84	ＰＦ－２				
2737	0.32	0.26	0.40	21.87	ＰＨ－４				
2738	0.20	0.20	0.15	22.32	ＰＨ－４				
2745	0.18	0.14	0.11	28.69	ＮＤ32				
2746	0.38	0.34	0.29	28.52	ＮＤ33				
2747	0.32	0.32	0.32	28.46	ＮＤ33				
2748	0.17	0.16	0.11	28.71	ＮＤ33				
2750	0.17	0.16	0.20	28.60	ＮＥ33				
2751	0.40	0.30	0.23	28.51	ＮＥ31				
2752	0.25	0.18	0.13	28.64	ＮＥ31				
2753	0.32	0.23	0.21	28.56	ＮＤ31				
2754	0.30	0.19	0.36	28.53	ＮＤ31				
2755	0.45	0.27	0.35	28.51	ＮＤ31				
2756	0.20	0.18	0.33	28.46	ＮＤ31				
2760	0.22	0.20	0.13	28.60	ＮＤ31				
2761	0.52	0.44	0.37	23.97	ＰＬ－２	ＰＬ－１			土師器片１点
2778	0.21	0.20	0.12	23.09	ＰＤ－１				
2779	0.20	0.18	0.11	23.17	ＰＤ－１				
2780	0.26	0.22	0.20	23.61	ＰＥ０				
2781	0.18	0.16	0.31	23.38	ＰＤ０				
2782	0.26	0.22	0.15	23.50	ＰＤ０				
2783	0.18	0.14	0.17	23.28	ＰＤ０	ＰＤ－１			
2784	0.14	0.11	0.21	23.31	ＰＤ０				
2785	0.25	0.15	0.15	23.19	ＰＤ－１				
2786	0.20	0.18	0.21	23.14	ＰＣ－１				
2787	0.18	0.14	0.22	23.16	ＰＣ－１				
2788	0.38	0.22	0.18	23.28	ＰＣ－１				
2789	0.20	0.18	0.13	23.40	ＰＣ０				
2790	0.54	0.26	0.14	25.74	ＰＣ０	ＰＤ０			
2791	0.36	0.18	0.25	23.68	ＰＣ０				
2792	0.33	0.28	0.18	22.90	ＰＤ－１	ＰＤ－２			
2793	0.22	0.19	0.28	22.83	ＰＣ－１				
2794	0.32	0.24	0.25	22.96	ＰＣ－１				
2795	0.32	0.29	0.19	23.13	ＰＣ－１				土師器片３点
2796	0.16	0.16	0.08	23.24	ＰＣ－１				
2797	0.22	0.16	0.15	23.40	ＰＣ０				
2798	0.18	0.18	0.17	23.47	ＰＣ０				
2800	0.19	0.18	0.16	23.32	ＰＤ－１				
2803	0.32	0.26	0.17	23.56	ＰＥ－２				土師器片１点
2805	0.18	0.16	0.12	21.62	ＰＤ－２				
2806	0.27	0.20	0.20	22.91	ＰＤ－１				
2807	0.22	0.16	0.10	22.80	ＰＢ－２	ＰＣ－２			
2808	0.24	0.20	0.18	23.06	ＰＣ－１				
2809	0.18	0.16	0.14	22.85	ＰＢ－１				
2810	0.17	0.16	0.22	22.78	ＰＢ－１				
2811	0.24	0.15	0.08	22.86	ＰＢ－１				
2812	0.24	0.22	0.30	22.98	ＰＡ－１				
2813	0.30	0.28	0.27	23.11	ＰＡ－１				
2816	0.34	0.30	0.17	24.35	ＰＤ１				
2817	0.16	0.16	0.24	23.77	ＰＤ０				
2818	0.32	0.30	0.20	23.50	ＰＣ０				
2819	0.26	0.22	0.28	23.09	ＰＤ－１				
1216					ＰＣ６				Ａ－ＮＯ.51
2821	0.28	0.24	0.26	27.55	ＯＨ17				
2822	0.26	0.20	0.25	27.53	ＯＨ17				
2823	0.29	0.28	0.23	27.49	ＯＧ17				
2824	0.32	0.26	0.30	27.40	ＯＧ17				
2825	0.30	0.30	0.23	27.47	ＯＧ17	ＯＨ17			土師器片１点
2827	0.36	0.36	0.56	27.26	ＯＧ17				
2828	0.25	0.24	0.20	27.63	ＯＩ17				
2829	0.30	0.29	0.17	27.94	ＯＧ16				
2830	0.32	0.25	0.56	27.38	ＯＧ17				土師器甕（第210図３）
2832	0.27	0.22	0.37	22.55	ＰＨ－４				
2834	0.30	0.25	0.24	20.95	ＰＧ－２				
2835	0.30	0.28	0.54	23.70	ＰＩ－１				
2836	0.28	0.18	0.38	24.22	ＰＩ－１				
2837	0.30	0.26	0.50	23.87	ＰＩ－１				

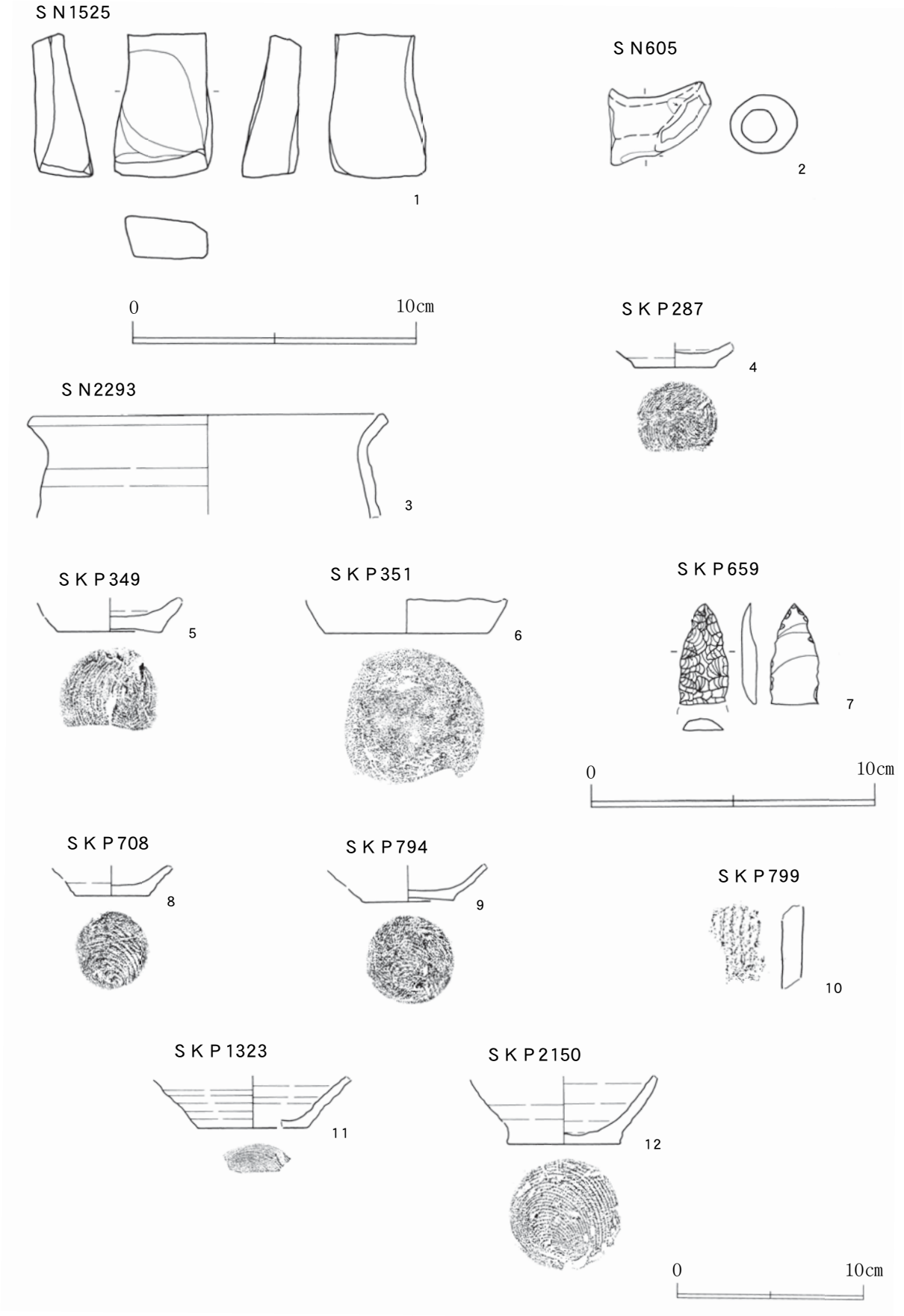
第43表　柱穴様ピット一覧表（21）

遺構番号	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	底面標高(m)	グリッド				出土遺物
2838	0.22	0.22	0.11	22.28	ＰＧ－４				
2841	0.24	0.24	0.14	23.66	ＰＣ０				
2842	0.26	0.24	0.15	23.74	ＰＣ０				
2844	0.34	0.30	0.24	22.75	ＰＣ－２				
2846	0.26	0.24	0.22	24.30	ＰＣ１				
2849	0.28	0.20	0.25	24.21	ＰＥ１				
2856	0.30	0.28	0.51	24.32	ＰＥ１				
2857	0.39	0.20	0.14	24.41	ＰＥ１				
2859	0.31	0.29	0.20	23.17	ＰＣ１				
2860	0.52	0.48	0.20	23.77	ＰＤ２				
2881	0.31	0.30	0.21	28.43	ＮＩ31				
2883	0.30	0.30	0.34	24.83	ＰＩ１				土師器片２点
2884	0.32	0.32	0.23	25.91	ＰＩ１				土師器片
2885	0.32	0.30	0.15	28.54	NH30	NH31			
2886	0.18	0.10	0.12	28.52	NH31				
2887	0.18	0.16	0.09	28.58	NH31	NG31			
2888	0.14	0.11	0.18	28.52	NH31	NG31			
2889	0.22	0.20	0.10	28.57	NH31				
2890	0.34	0.30	0.20	28.48	NG31	NG30			土師器片２点
2896	0.26	0.24	0.15	25.61	ＰＬ０	ＰＬ－１			
2897	0.23	0.23	0.14	25.51	ＰＬ０	ＰＬ－１			
2898	0.26	0.24	0.25	25.60	ＰＫ０				
2899	0.34	0.34	0.22	24.39	ＰＩ－１				
2902	0.24	0.22	0.13	26.33	ＰＪ０				須恵器壷（第210図５）
2904	0.34	0.26	0.36	25.15	ＰＥ８				土師器坏（第210図４）
2905	0.22	0.18	0.30	25.18	ＰＥ８				
2906	0.22	0.15	0.31	27.05	ＯＣ15				
2910	0.54	0.44	0.21	28.93	ＮＬ21				
2929	0.60	0.56	0.14	28.40	ＮＭ33				
2932	0.30	0.08	0.16	27.19	ＯＰ12				
2941	0.40	0.40	0.16	26.26	ＯＳ17				
2946	0.38	0.24	0.13	26.32	ＯＳ17				
2952	0.22	0.22	0.11	28.37	NH31				
2962	0.37	0.32	0.72	28.26	ＮＦ34				
2970	0.70	0.62	0.23	25.67	ＰＤ８				
2971	0.66	0.58	0.30	25.65	ＰＤ８				
2972	0.28	0.26	0.22	25.79	ＰＡ９				
2973	0.30	0.28	0.36	25.71	ＰＡ９				
2974	0.68	0.32	0.23	27.20	ＯＩ16				
2979	0.22	0.22	0.14	24.56	ＯＲ１				
2988	0.24	0.22	0.28	28.80	NH28				
2991	0.32	0.26	0.22	25.06	ＰＫ０				
2993	0.30	0.22	0.22	26.30	ＯＫ７				
2994	0.24	0.22	0.12	28.50	ＮＱ19				
2995	0.24	0.22	0.16	28.46	ＮＱ19				
2997	0.27	0.26	0.14	27.26	ＯＧ14				
3002	0.40	0.20	0.17	28.71	ＮＯ30				
3003	0.45	0.30	0.15	28.70	ＮＭ33				
3005	0.24	0.24	0.48	26.06	ＯＫ７				
3006	0.34	0.33	0.12	28.13	ＮＳ16				
3018	0.40	0.38	0.35	28.49	ＮＴ29	ＮＴ28			
3021	0.20	0.17	0.09	28.69	ＮＰ20				
3034	0.14	0.14	0.07	28.67	ＮＰ20				
3035	0.28	0.24	0.10	28.59	ＮＰ20				
3036	0.16	0.16	0.07	28.60	ＮＰ19				
3037	0.12	0.12	0.10	28.55	ＮＰ19				
3038	0.18	0.18	0.11	28.53	ＮＰ19				
3039	0.19	0.15	0.07	28.57	ＮＰ19				
3040	0.16	0.15	0.10	28.55	ＮＱ19				
3041	0.25	0.17	0.12	28.48	ＮＱ19				
3043	0.12	0.12	0.08	28.59	ＮＱ19				
3044	0.22	0.16	0.08	28.54	ＮＱ19	ＮＱ20			
3045	0.18	0.13	0.11	28.53	ＮＱ20				
3046	0.14	0.10	0.10	28.53	ＮＱ20				
3048	0.12	0.11	0.07	28.61	ＮＱ20				
3049	0.15	0.14	0.07	28.65	ＮＱ20				

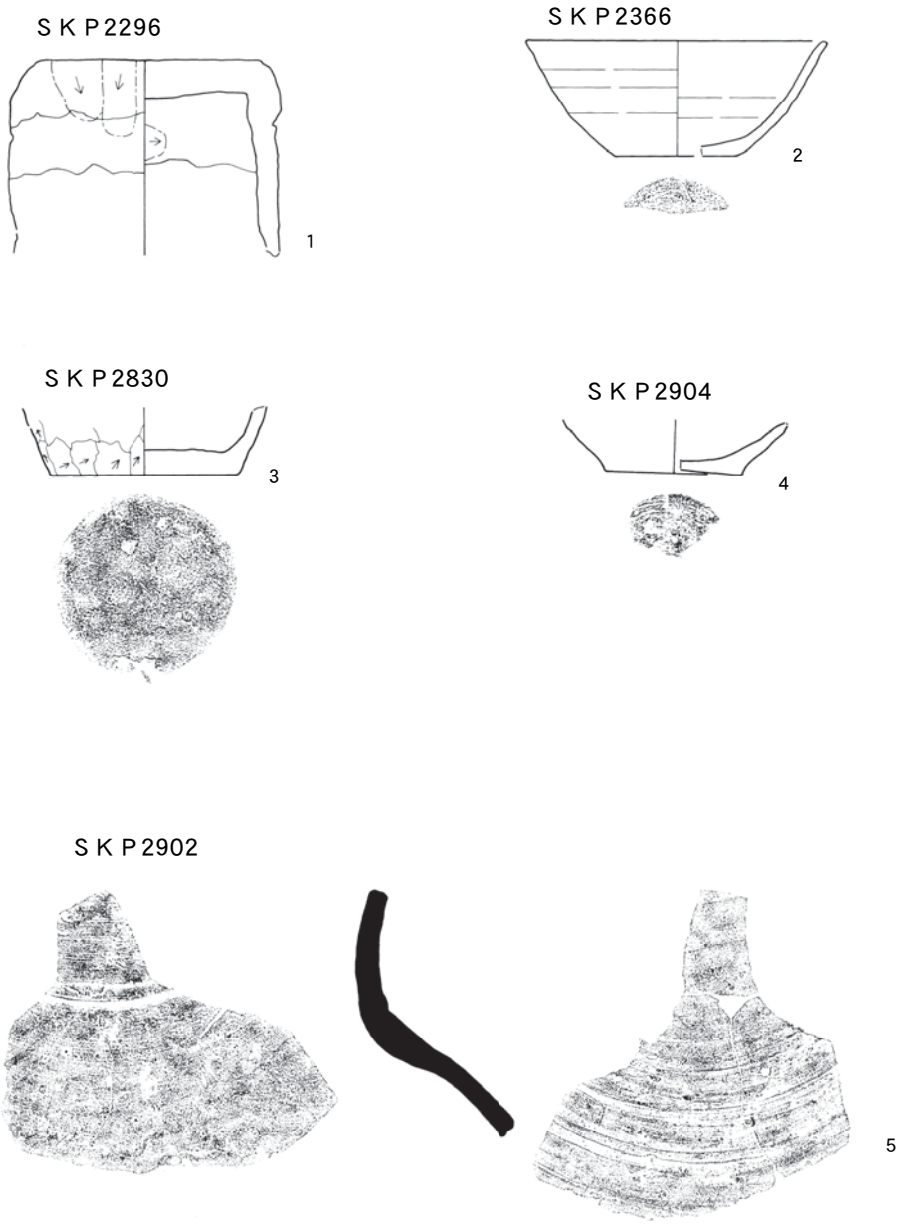
第44表　柱穴様ピット一覧表（22）



第208図　遺構内出土遺物（45）（S N61・274・345）



第209図　遺構内出土遺物（46）（ＳＮ605・1525・2293・ＳＫＰ287・349・351・659・708・794・799・1323・2150）



第210図　遺構内出土遺物（47）（ＳＫＰ2296・2366・2830・2902・2904）

挿図番号	図版番号	出土地点	種別	器種	部位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	外底部	器面特徴	胎土	備考
第208図１		ＳＮ61	土師	坏	口縁部～底部	〔13.0〕	4.5	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第208図２		ＳＮ61	土師	坏	口縁部～底部	〔11.6〕	4.7	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	粗い胎土	
第208図３	33－７	ＳＮ61	土師	坏	完形	12.5	4.9	5.5	回転糸切り	ロクロ成形	緻密な胎土に0.5㎜の砂粒混入	
第208図４		ＳＮ61	土師	坏	底部	－	－	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	1㎜以上の砂礫混入	
第208図５		ＳＮ61	土師	坏	口縁部～底部	〔12.0〕	5.0	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第208図６		ＳＮ61	土師	坏	口縁部～底部	〔13.1〕	4.8	6.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密な胎土に0.5㎜の砂粒混入	
第208図８		ＳＮ345	土師	坏	体部～底部	－	－	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第208図９		ＳＮ345	土師	坏	口縁部～底部	〔13.4〕	5.1	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密な胎土に0.5㎜の砂粒混入	
第209図２		ＳＮ605	土師	甕	取っ手	－	－	－				
第209図３		ＳＮ2293	土師	甕	口縁部	〔19.0〕	－	－		ロクロ成形	緻密	
第209図４		ＳＫＰ287	土師	坏	底部	－	－	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第209図５		ＳＫＰ349	土師	坏	底部	－	－	5.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第209図６		ＳＫＰ351	土師	甕	底部	－	－	8.6	非ロクロ	非ロクロ	緻密	
第209図８		ＳＫＰ708	土師	坏	底部	－	－	4.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第209図９		ＳＫＰ794	土師	坏	底部	－	－	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第209図11		ＳＫＰ1323	土師	坏	体部～底部	－	－	〔5.8〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第209図12		ＳＫＰ2150	土師	坏	体部～底部	－	－	6.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第210図２		ＳＫＰ2366	土師	坏	頸部～底部	〔11.8〕	4.5	〔4.6〕	摩滅	ロクロ成形	0.5㎜の砂粒混入	
第210図３		ＳＫＰ2830	土師	甕	底部	－	－	7.2	非ロクロ	外面：ケズリ	粗い胎土に0.1～1㎝の砂礫混入	
第210図４		ＳＫＰ2904	土師	坏	底部	－	－	〔5.4〕	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第210図５		ＳＫＰ2902	須恵	壺	頸部～体部	－	－	－		ロクロ成形	1㎜以上の砂粒混入	

挿図番号	図版番号	出土地点	器種	残存部位	天井部径(cm)	器高(cm)	下端部径（cm）	器面特徴	胎土	備考
第210図１		ＳＫＰ2296	支脚	天井部～体部	9.0	－	－	粘土積み上げ痕 指押さえ	粗い胎土に0.5㎜の砂粒混入	

挿図番号	図版番号	出土地点	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備考
第208図10		ＳＮ345	石斧	14.9×9.9×3.7	693.9	
第209図１		ＳＮ1525	砥石	5.1×3.5×2.0	45.2	
第209図７	19－15	ＳＫＰ659	石槍	3.6×1.7×0.5	3.0	

挿図番号	図版番号	出土地点	器種	部位	器面特徴	胎土	色調	備考
第208図７		ＳＮ274	深鉢	口縁部	沈線による曲線→曲線の内側をＲＬ縄文で充填 炭化物付着	緻密	10ＹＲ５/３	
第209図10		ＳＫＰ799	深鉢	胴部	ＬＲ原体による絡条体回転圧痕文	砂粒	7.5ＹＲ７/６	

第45表　焼土遺構・柱穴様ピット出土遺物一覧表

第５節　遺構外出土遺物

遺構外から出土した遺物には、旧石器時代の石器、縄文時代の土器・石器、古代の土師器、須恵器、石製品、鉄関連遺物がある。旧石器時代については第２節でふれているので、本節では縄文時代と古代について記載する。

１　縄文時代の出土遺物

遺構外出土遺物の多くは、縄文時代の遺構が集中している調査区南側で出土したが、植林により撹乱されており原位置は留めていないと判断した。

⑴　縄文土器（第213図）

縄文土器は18リットルコンテナ換算で遺構内から10箱、遺構外から３箱出土した。すべて深鉢形土器と考えられるが、多くは小破片で全体の器形や文様を推定できるものが少ない。文様により４類に分類した。時期は縄文時代中期後葉から後期前葉である。

１類（５・６・８）：断面が山形状の隆帯が施される土器。隆帯に加えて沈線によって楕円形が描かれ、楕円形の内部に縄文が施されているものや、隆帯に沿って刺突が施されるものがある。

２類（７）：沈線で楕円形や隅丸方形の文様が描かれる土器。沈線による楕円形の内側に縄文が施されているものがある。

３類（２・３・４）：沈線が横位に施され、文様が描かれる土器。沈線によって、無文部と縄文や条痕文が施された部分が区画されているものがある。

３類（１・９～12）：無文か縄文以外に文様が見られない土器。ＬＲ原体による綾絡文が縦位で施されるものが多い。

⑵　石器（第211・212図）

石器は、コンテナで遺構内から１箱、遺構外から５箱出土した。

石鏃（第211図）：１は基部が欠損しており全体の形が不明で、２は平基有茎石鏃である。いずれも表裏全面に二次加工が施されている。

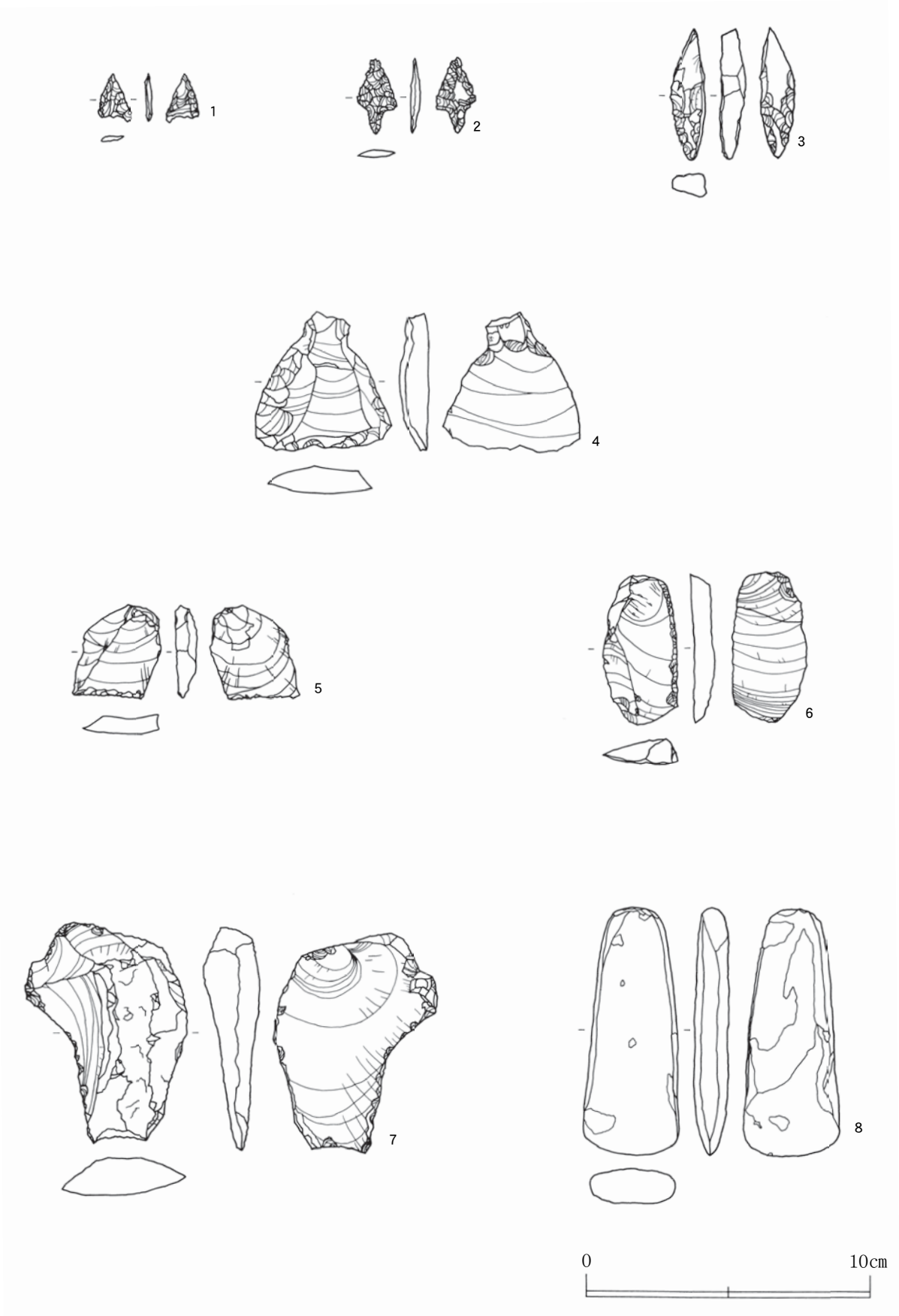
石匙（第211図）：４は横型石匙である。素材剥片の打点部分につまみが作られ、表面の側縁部に二次加工が施されて刃部が作られている。

掻器（第211図）：５は素材剥片の先端部、６は素材薄片の右側縁部に連続的な二次加工によって直線的な刃部が作られている。

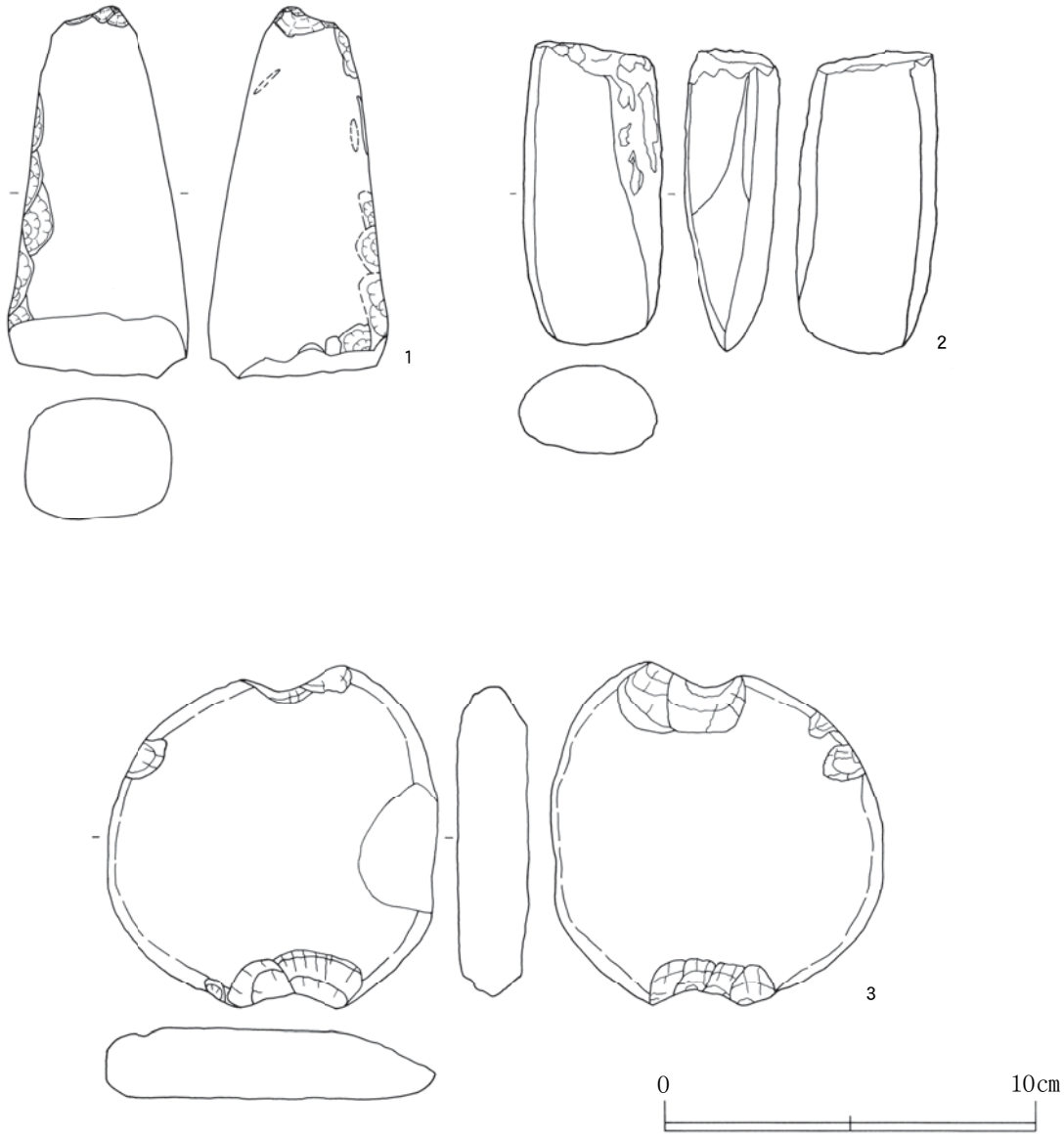
二次加工のある剥片（第211図）：３は縦長の素材剥片の打点部分が除去され、両側縁部に二次加工が施されて刃部が作られている。７は不整形な素材剥片の側縁部に細かい二次加工が施されている。

磨製石斧（第211・212図）：３点が出土し、いずれも撥形である。第211図８は他の２点と比較して小型で横断面は扁平な楕円形をしており、両刃である。第212図１は横断面が長方形で、刃部は欠損している。第212図２は横断面が楕円形で、両刃である。

石錘（第212図）：３はこぶし大の扁平な円形の礫を素材とし、相対する２箇所の縁辺部が打ち欠かれている。



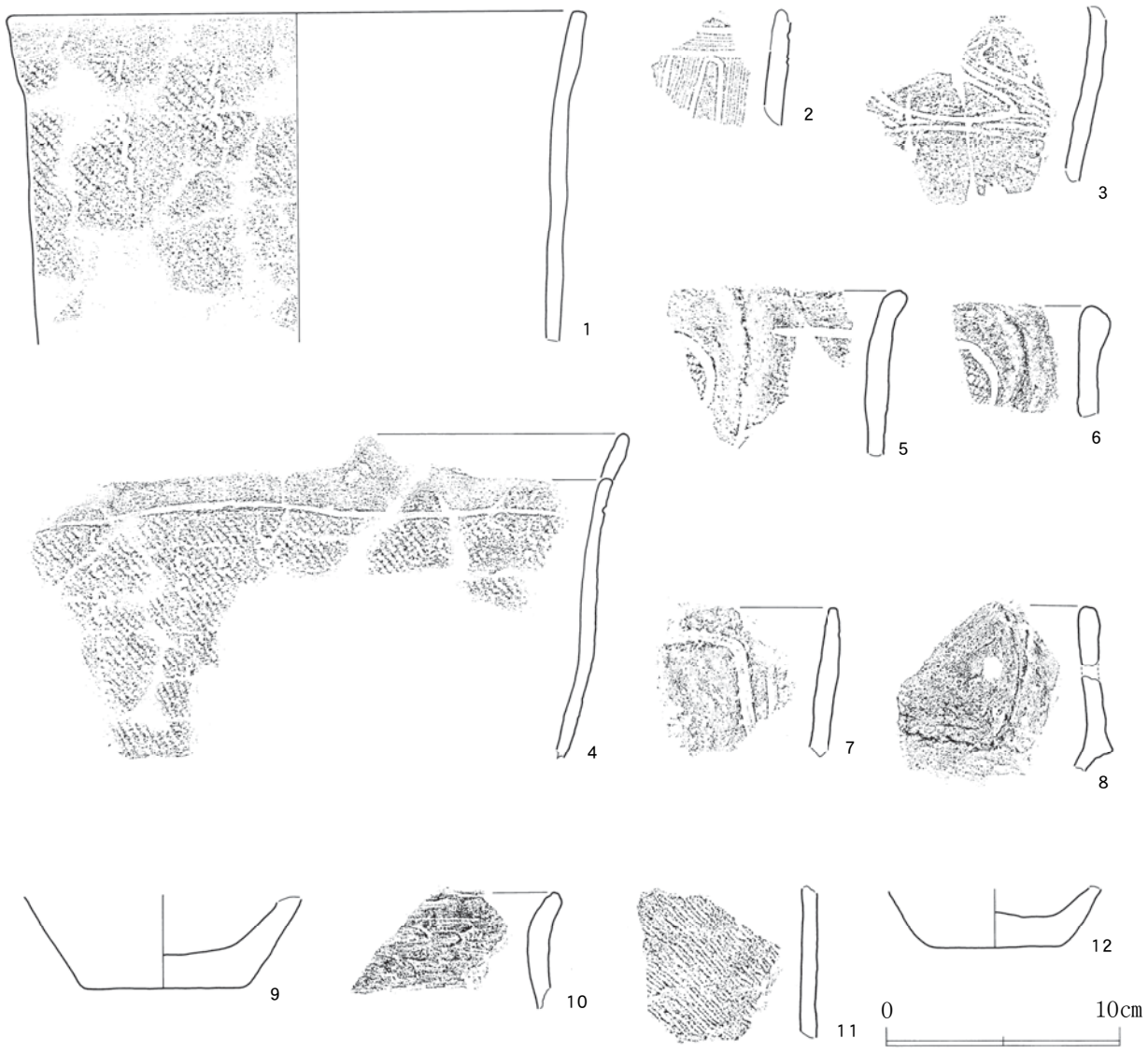
第211図　遺構外出土遺物（１）（縄文時代）



第212図　遺構外出土遺物（２）（縄文時代）

挿図番号	図版番号	出土地点	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)
第211図１	19−20	ＯＰ３Ⅳ層	石鏃	1.7	1.1	0.2	0.3
第211図２	19−21	Ｃ区表採	石鏃	2.7	1.4	0.3	0.8
第211図４	19−22	Ｂ区表採	石匙	4.9	4.8	1.0	20.6
第211図６	19−23	ＯＳ８Ⅳ層	掻器	2.7	5.3	0.9	１１.5
第211図５	19−24	ＯＯ３Ⅳ層	掻器	3.3	3.1	0.8	6.7
第211図３	19−25	ＰＬ１	二次加工のある剥片	4.6	1.2	0.8	4.1
第211図７	19−26	Ｃ区表採	二次加工のある剥片	7.8	5.7	2.0	65.1
第212図１	19−27	ＯＴ７Ⅲ層	磨製石斧	10.1	4.9	3.6	249.0
第211図８	19−28	ＰA12Ⅲ層	磨製石斧	9.7	3.4	1.2	63.1
第212図２	19−29	ＰＨ０	磨製石斧	8.2	3.7	2.5	123.4
第212図３	19−30	Ｃ区表採	石錘	9.3	8.9	1.9	244.0

第46表　遺構外出土遺物（縄文石器）一覧表



第213図　遺構外出土遺物（３）（縄文時代）

挿図番号	図版番号	出土地点	器種	部位	器面特徴	胎土	色調
第213図１		ＰＨ－４	深鉢	口縁部～胴部	ＬＲ綾絡文縦位回転	粗い	10ＹＲ7/6
第213図２		ＰＫ１	深鉢	胴部	沈線→沈線の間を櫛引文で充填	緻密	10ＹＲ5/3
第213図３		ＰＮ－１		胴部	横位の沈線による胴部文様帯と以下無文帯の区画→胴部文様帯に沈線による文様	緻密	10ＹＲ5/3
第213図４	22－３	ＰＬ－４	深鉢	口縁部～胴部	口縁部に１箇所山形の突起　口縁部に横位の沈線→沈線以下の胴部にＬＲ縄文縦位回転	粗い	10ＹＲ6/4
第213図５		Ｃ区表採	深鉢	口縁部	口縁部から縦位に施される隆帯→沈線による曲線→沈線による曲線内をＬＲ縄文で充填　炭化物付着	粗い	10ＹＲ5/2
第213図６		Ｃ区表採	深鉢	口縁部	口縁部から縦位に施される隆帯→沈線による曲線→沈線による曲線内をＬＲ縄文で充填	砂粒	10ＹＲ5/3
第213図７		Ｃ区表採	深鉢	口縁部	幅広い沈線による隅丸長方形の文様	砂粒	10ＹＲ6/4
第213図８		Ｃ区表採	深鉢	口縁部	口縁部の山形突起部分頂部から縦位に貼り付けた隆帯と横位の隆帯　穿孔有り	緻密	7.5ＹＲ6/4
第213図９		Ｃ区表採	深鉢	胴部～底部	ＬＲ縄文縦位回転　底部付近無文帯有り	緻密	10ＹＲ7/4
第213図10		Ａ区表採	深鉢	口縁部	無文　表面調整非常に粗い	緻密	7.5ＹＲ6/4
第213図11		表採	深鉢	胴部	Ｌ縄文縦位回転	緻密	10ＹＲ5/4
第213図12		排土中		底部	底部整形粗い　底面に線条痕	粗い	10ＹＲ6/4

第47表　遺構外出土遺物（縄文土器）一覧表

２　続縄文時代・古代の遺物（第214～220図）

⑴　土師器（第214～216図）

①坏（第214図１～16、第215図１～３）

体部がわずかに膨らんだ器形が多く、内外面ともロクロにより器面が調整され、回転糸切りによって切り離されたものがほとんどである。第214図１・２は内面を黒色処理しており、１は高台が貼り付けられている。

②高台付皿（第215図４～11）

全てロクロによる成形である。８は内面が黒色処理され、高台が貼り付けられている。10・11の高台は貼り付けによるものではなく、皿部とともにロクロで作り出された柱状高台で、11は口縁部が直立する。

③甕（第215図12～13）

口縁部が外反し、頸部が少しくびれるのがほとんどで、（第215図12・13、第216図１・３）は上半部はロクロ、下半部はケズリによって器面調整されているが、小型の甕（第216図４・６）は全てロクロによる成形である。第216図７は内面口縁部・外面に煤が付いたミニチュアの甕である。

⑵　須恵器（第217図１～10、第218図１～４）

壺（第217図１）と甕（第217図２～10）が出土した。第217図１はロクロ成形による壺口縁部である。第218図４は内外面ともにロクロナデが施された壺で高台が付く。

甕の口縁部は外反しており、ロクロによる器面調整が施されている。そのうち、第217図２は外面に焼き膨れ、第217図６には自然釉が認められる。

頸部の器面については、第217図９は自然釉が内外面に認められ、外面には波状文が施されている。

体部及び底部の外面はタタキ、内面はナデが施されるものが多いが、第218図２は外面タタキのあとに刷毛目が３条施され、その内面は青海波状文である。第218図３の外面はタタキ目を磨り消して目立たなくしている。

⑶　続縄文土器（第218図５）

続縄文土器（第218図５）はＯＳ８グリッドの第Ⅳ層から出土した。緩い波状の口唇部と口縁部の隆帯には刻目、体部上半にはＬＲ０段多条の撚紐による帯縄文と刺突が施される。

⑷　土錘（第219図１～４）

筒状のもの（第219図１～３）、球形（第219図４）のものが出土した。いずれも細かいケズリによって成形されている。

⑸　石製品

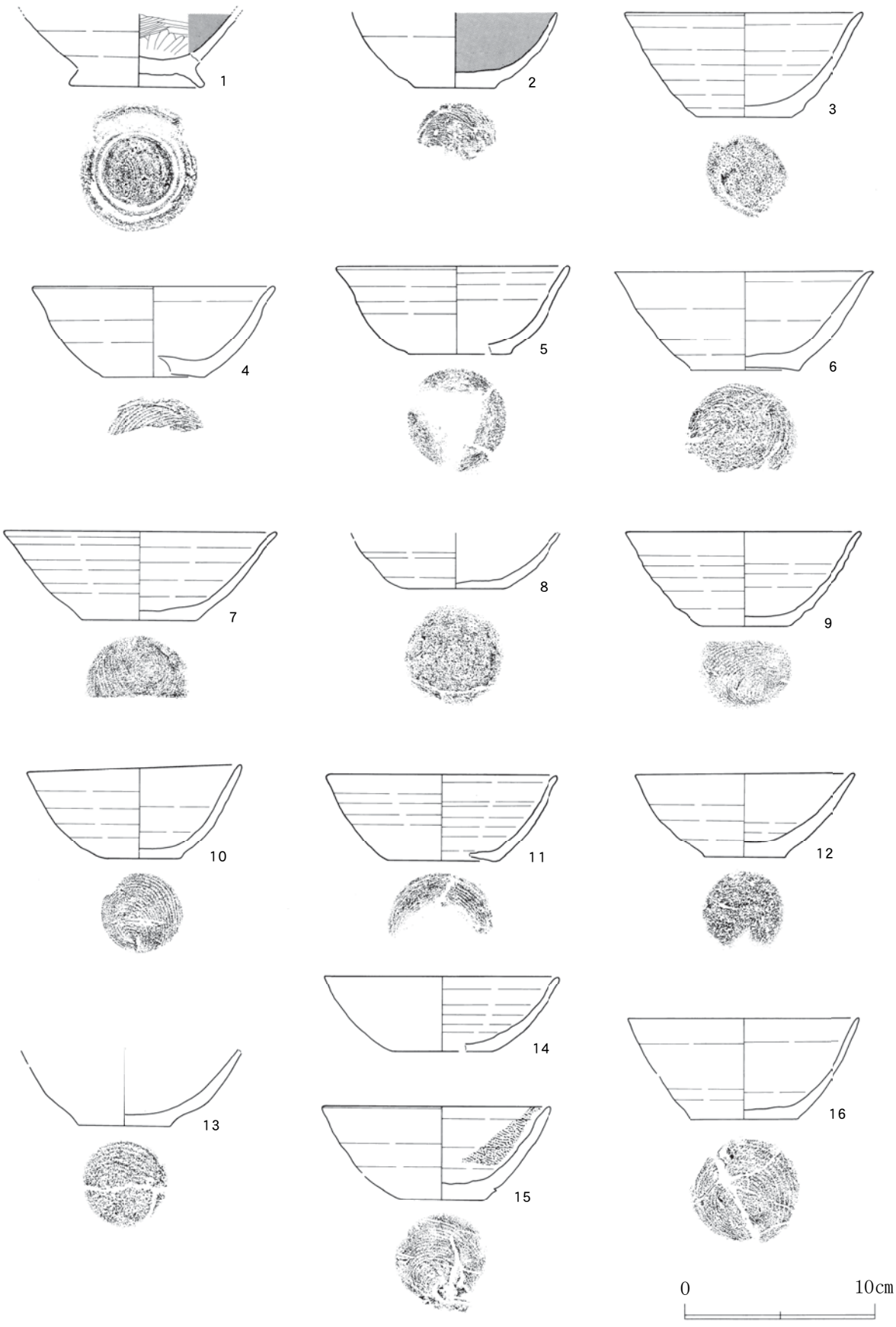
第220図１は軽石を素材とした石製品で、全体が削られ、底部より頂部が少し狭く円筒形を作り出している。

⑹　砥石（第219図５・６）

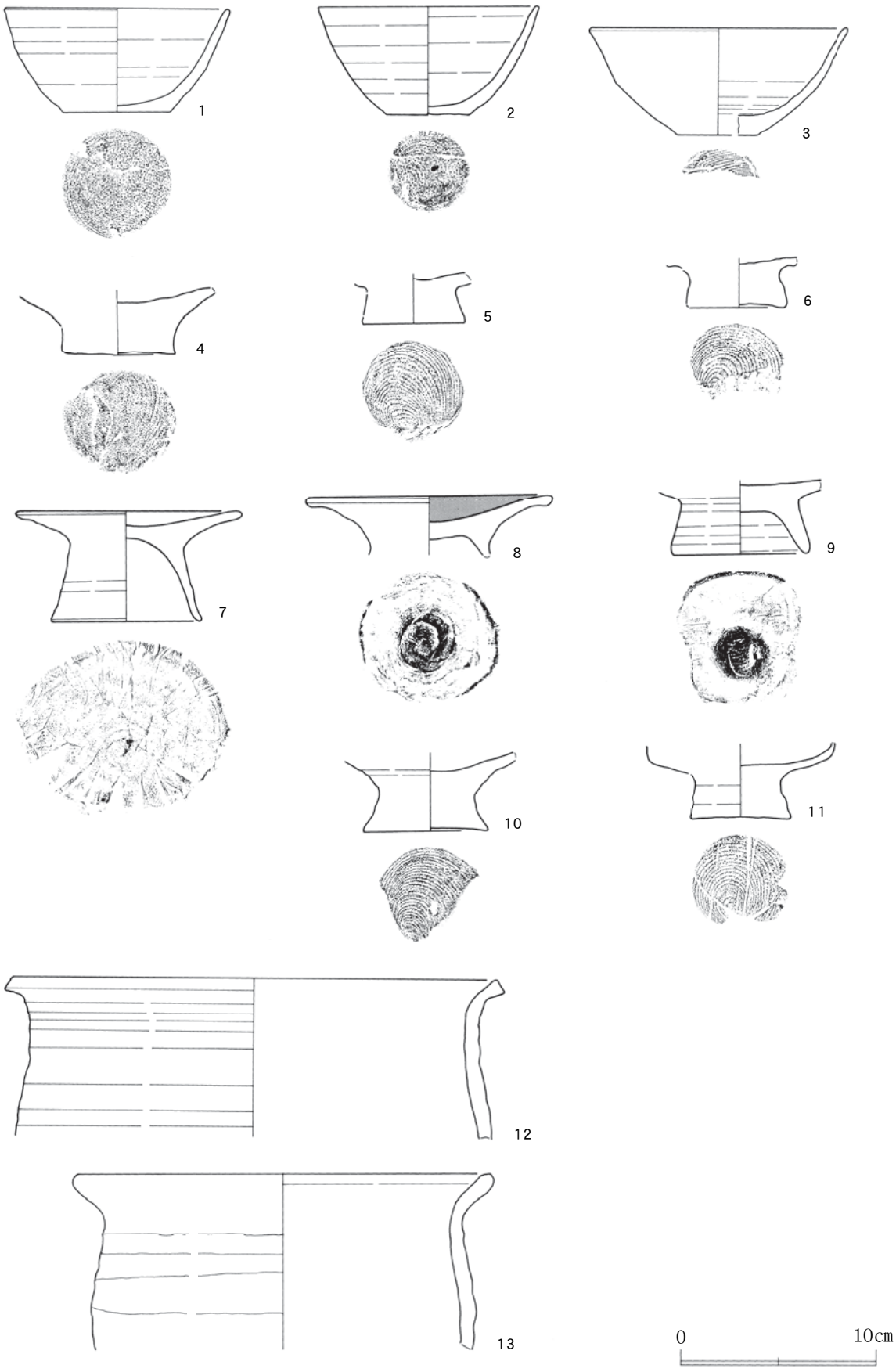
砥石はいずれも４面使用されている。

⑺　鉄製品（第220図２～４）

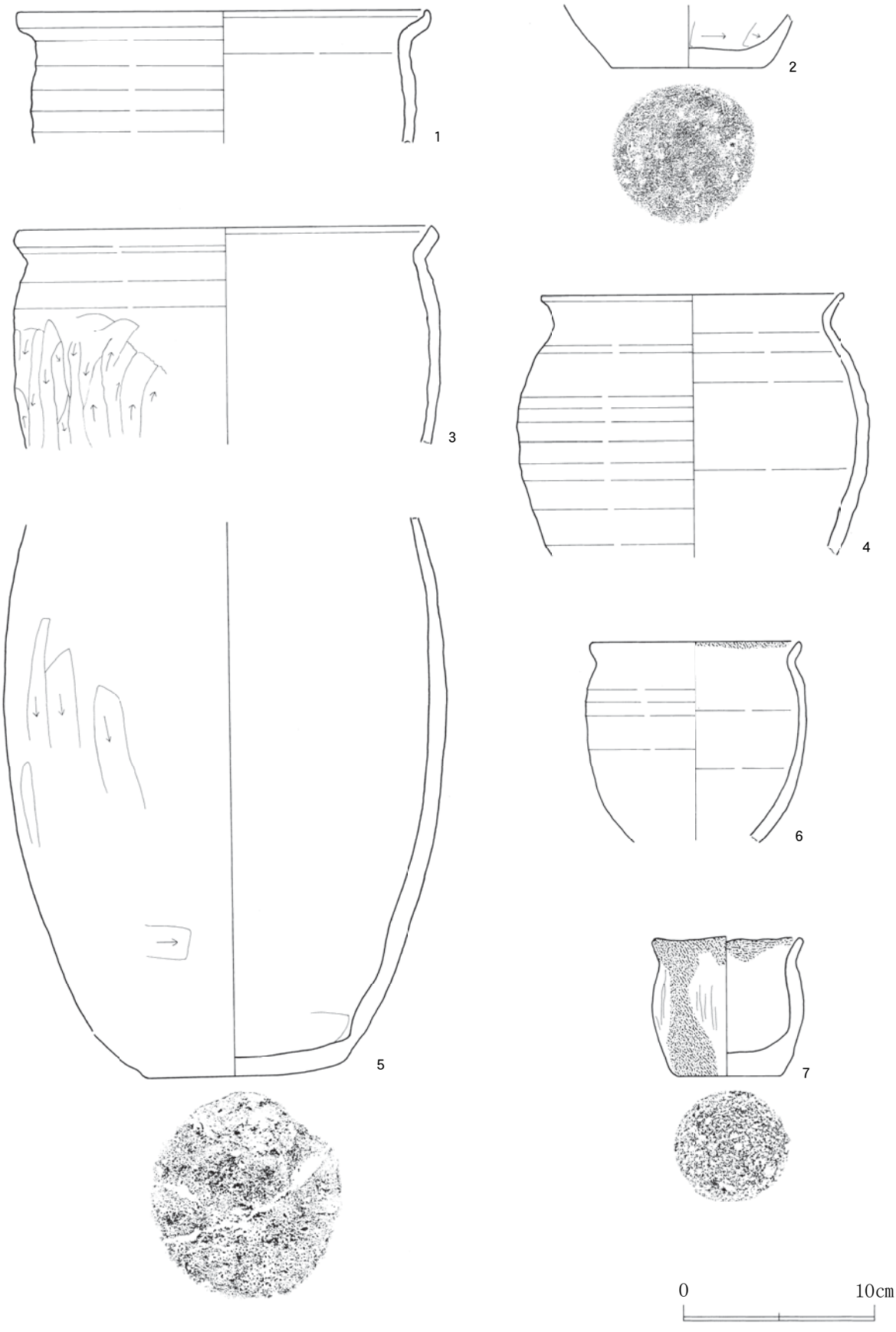
鉄製品は、遺構から出土したものに比べて少なく、雁又鏃（第220図２）、紡錘車の円盤部（第220図３）、刀（第220図４）のほか、釘、鏃、板状鉄製品がそれぞれ１点ずつ、棒状鉄製品２点が出土した。



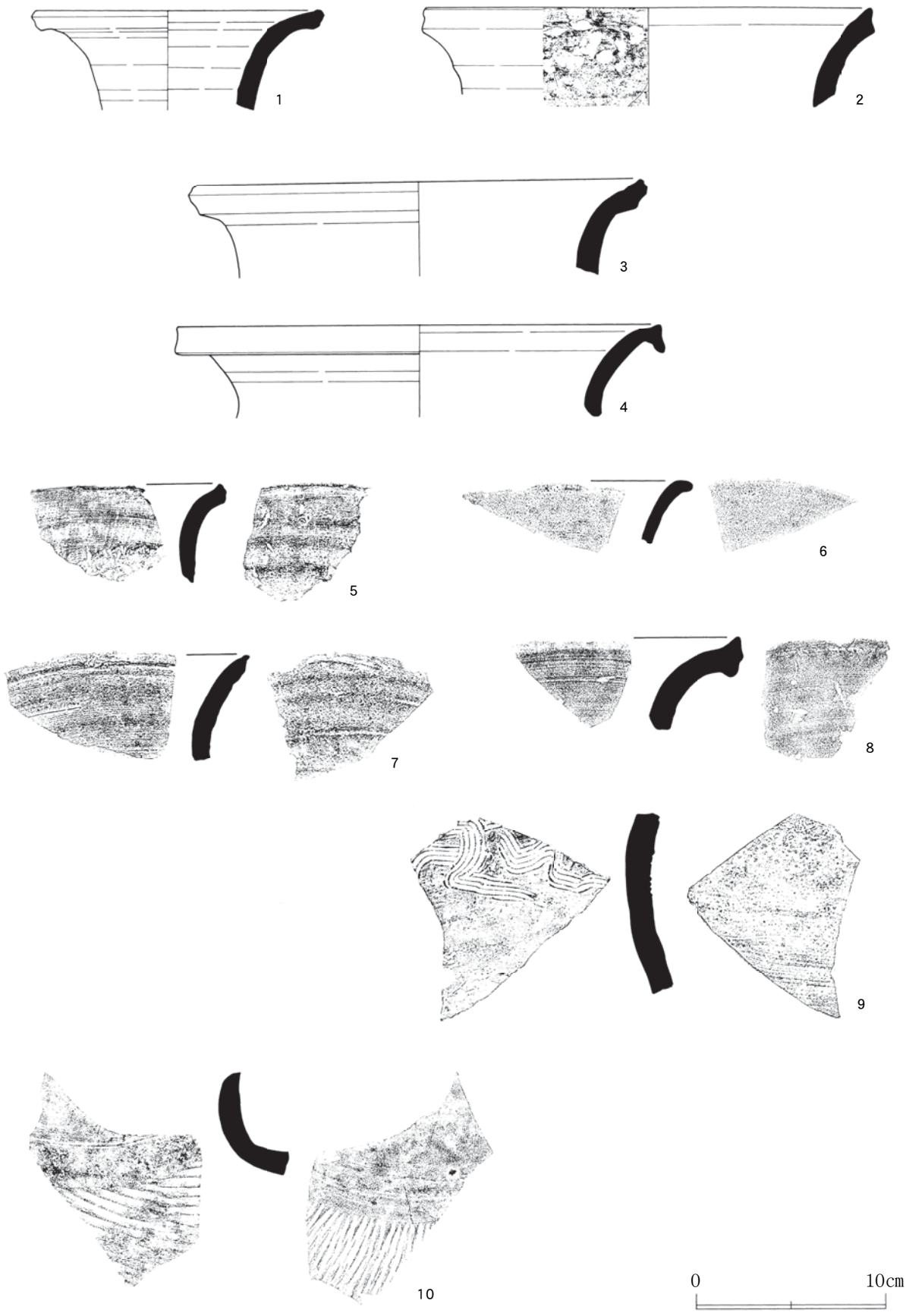
第214図　遺構外出土遺物（４）（古代）



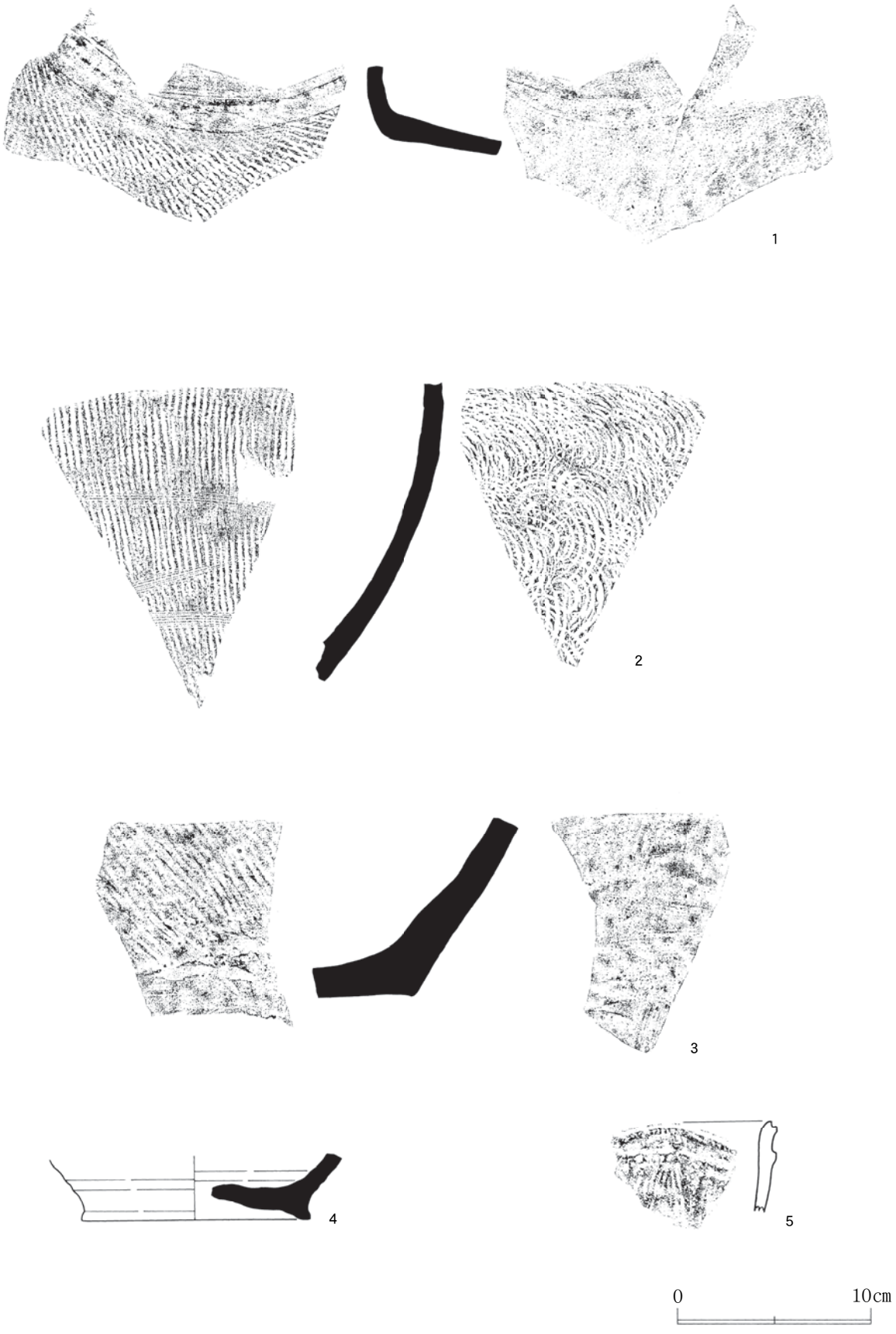
第215図　遺構外出土遺物（５）（古代）



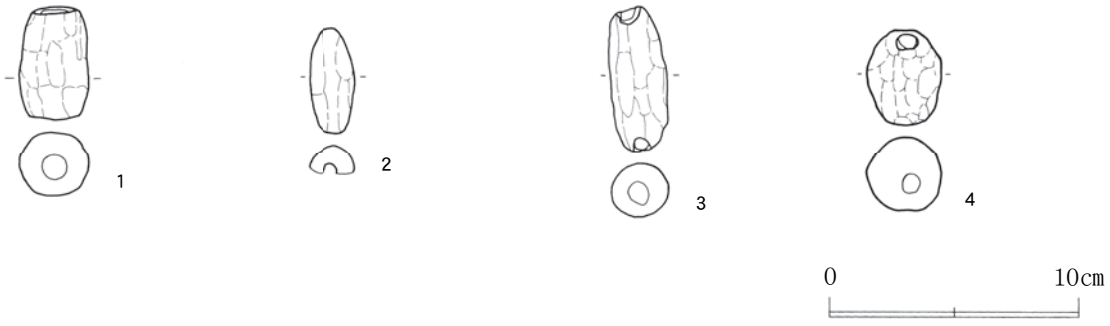
第216図　遺構外出土遺物（６）（古代）

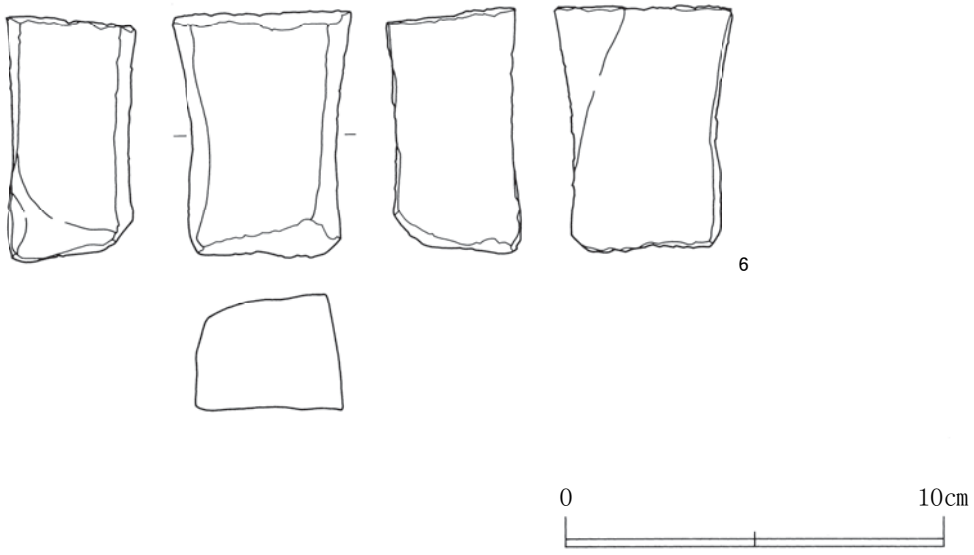


第217図　遺構外出土遺物（７）（古代）

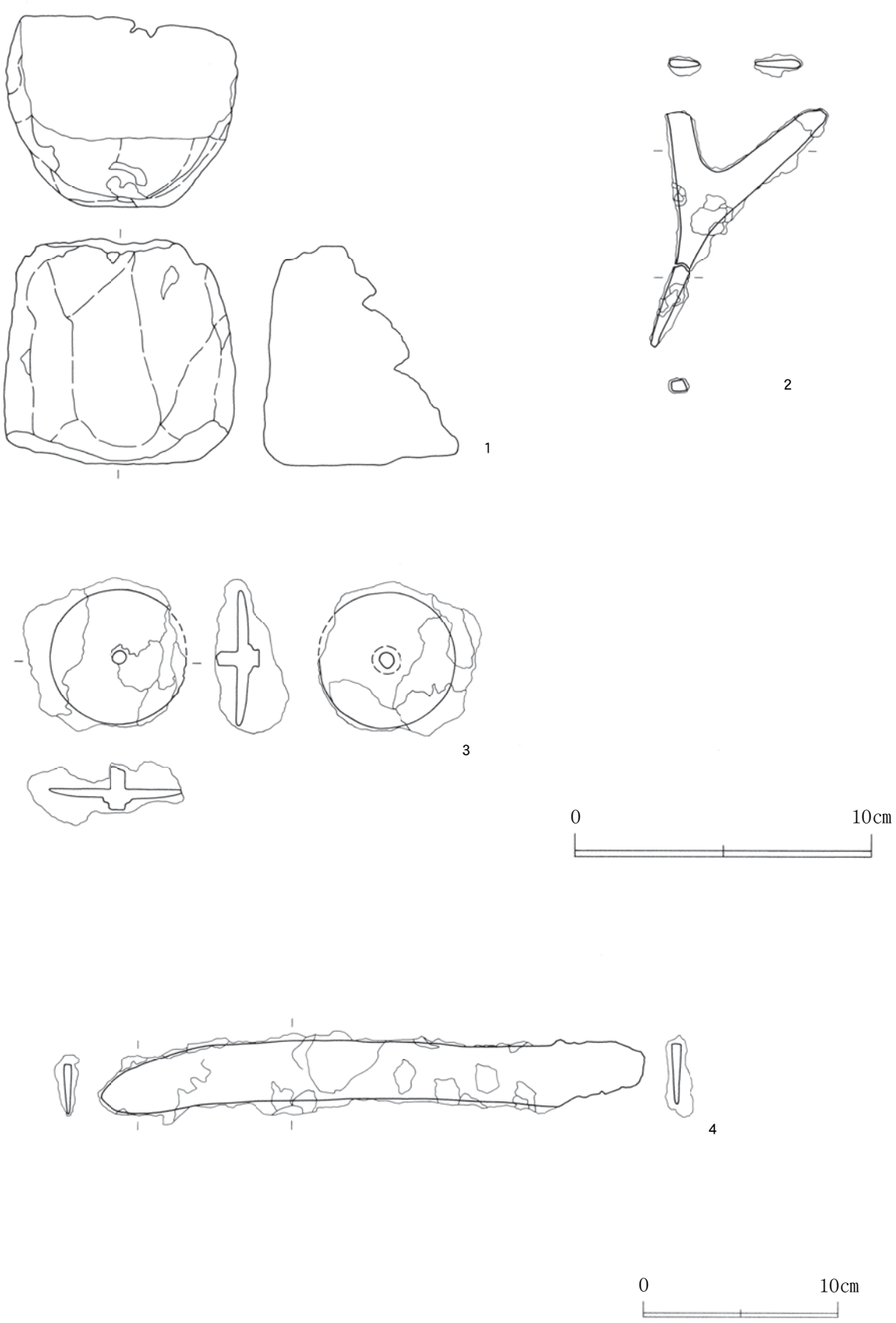


第218図　遺構外出土遺物（８）（古代）





第219図　遺構外出土遺物（９）（古代）



第220図　遺構外出土遺物（10）（古代）

挿図番号	図版番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	外底部	器面特徴	胎土	備考
第214図１		ＮＪ35	Ⅲ～Ⅳ	土師	坏	体部～底部	－	－	[7.0]	高台	外面：ロクロ成形 内面：ミガキ→黒色処理	緻密	
第214図２		ＰＩ４	Ⅳ	土師	坏	体部～底部	－	－	4.2	回転糸切り	外面：ロクロ成形 内面：黒色処理	緻密	
第214図３		ＰＦ２		土師	坏	口縁部～底部	[12.4]	5.4	5.0	回転糸切り	ロクロ成形	0.5㎜の砂粒混入	
第214図４		ＰＦ２		土師	坏	口縁部～底部	[12.6]	4.7	[5.2]	回転糸切り	ロクロ成形	粗い胎土	
第214図５	34－１	ＯＯ７	Ⅳ	土師	坏	口縁部～底部	[12.2]	4.6	[5.3]	回転糸切り	ロクロ成形	粗い胎土に0.5㎜の砂粒混入	
第214図６		ＯＫ６	Ⅳ	土師	坏	口縁部～底部	[13.4]	5.1	5.6	回転糸切り	ロクロ成形	粗い胎土	
第214図７		ＰＦ１		土師	坏	口縁部～底部	[14.2]	4.6	5.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第214図８		ＰＪ２		土師	坏	体部～底部	－	－	5.2	回転糸切り	ロクロ成形	粗い胎土	
第214図９		ＯＲ９	Ⅳ	土師	坏	口縁部～底部	[12.2]	4.9	4.4	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第214図10	34－２	表採		土師	坏	完形	11.1	4.9	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第214図11		ＯＴ７		土師	坏	口縁部～底部	[12.0]	4.5	[5.8]	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第214図12	34－３	ＯＫ６	Ⅳ	土師	坏	完形	11.4	4.4	4.2	摩滅	ロクロ成形	緻密	
第214図13		ＯＫ７	Ⅳ	土師	坏	体部～底部	－	－	4.8	回転糸切り	ロクロ成形	粗い胎土	
第214図14		ＯＱ７	Ⅳ	土師	坏	口縁部～底部	[12.2]	3.9	[5.0]	摩滅	ロクロ成形	緻密	
第214図15		表採		土師	坏	口縁部～底部	[11.9]	4.9	4.2	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	内面に煤
第214図16		ＯＳ６	Ⅲ	土師	坏	口縁部～底部	[12.0]	5.2	5.6	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第215図１	34－４	ＰＢ11		土師	坏	口縁部～底部	[11.4]	5.3	5.4	回転糸切り	ロクロ成形	粗い胎土に0.5㎜の砂粒混入	
第215図２		ＯＲ７	Ⅳ	土師	坏	完形	11.0	5.5	4.1	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第215図３		ＯＰ10	Ⅳ	土師	坏	口縁部～底部	[13.0]	5.4	[4.0]	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第215図12		ＯＯ７	Ⅳ	土師	甕	口縁部	[24.4]	－	－	－	ロクロ成形	0.5㎜以上の砂粒混入	
第215図13		ＯＯ７	Ⅳ	土師	甕	口縁部	[21.0]	－	－	－	ロクロ成形	0.5㎜以下の砂粒混入	
第216図１		ＯＲ９	土師	甕	口縁部	[21.2]	－	－	－	－	ロクロ成形	緻密	
第216図２		ＮＰ19		土師	甕	底部	－	－	7.8	非ロクロ	内面：ナデ	粗い胎土に0.5㎜の砂粒混入	
第216図３		ＯＲ９	Ⅳ	土師	甕	口縁部～体部	[21.2]	－	－	－	外面：口縁部ロクロ成形 体部　ケズリ	緻密	
第216図４		表採		土師	甕	口縁部～体部	[15.6]	－	－	－	ロクロ成形	緻密	
第216図５	34－６	ＯＲ７	Ⅳ	土師	甕	体部～底部	－	－	10.4	砂底	外面：ケズリ 内面：ナデ	粗い胎土に1㎜以上の砂粒混入	
第216図６		ＯＳ７	Ⅳ	土師	甕	口縁部～体部	[10.6]	－	－	－	ロクロ成形	緻密	口縁部内面に煤
第216図７	35－１	ＯＯ１	Ⅲ	土師	甕	口縁部～底部	[7.4]	7.2	5.4		外面：ケズリ	0.3㎜以上の砂粒混入	内面外面に煤
第217図１		表採		須恵	壺	口縁部	[14.8]	－	－	－	ロクロ成形	緻密	
第217図２		表採		須恵	甕	口縁部	[23.2]	－	－	－	ロクロ成形	緻密	外面：剥落 内面：火ぶくれ
第217図３		ＮＩ35	ⅢⅥ	須恵	甕	口縁部	[22.8]	－	－	－	ロクロ成形	緻密	
第217図４		ＮＩ35	ⅢⅥ	須恵	甕	口縁部	[25.0]	－	－	－	ロクロ成形	緻密	
第217図５		ＯＰ１		須恵	甕	口縁部	－	－	－	－	ロクロ成形	緻密	
第217図６		ＯＬ８		須恵	甕	口縁部	－	－	－	－	ロクロ成形	緻密	内外面に自然釉
第217図７		表採		須恵	甕	口縁部	－	－	－	－	ロクロ成形	緻密	
第217図８		ＯＯ６	Ⅳ	須恵	甕	口縁部	－	－	－	－	ロクロ成形	緻密	
第217図９	35－２	ＮＪ35	ⅢⅣ	須恵	甕	口縁部	－	－	－		外面：波状文 内面：ナデ	緻密	外面内面に自然釉
第217図10		ＯＳ２	Ⅳ	須恵	甕	肩部	－	－	－	－		緻密	外面に自然釉
第218図１		ＮＪ35	ⅢⅣ	須恵	甕	肩部	－	－	－	－	外面：タタキ 内面：ナデ	緻密	
第218図２		表採		須恵	甕	体部	－	－	－	－	外面：タタキ　３条の刷毛目 内面：青海波状文	緻密	
第218図３		表採		須恵	甕	底部	－	－	－	－	外面：タタキ→磨り消し	緻密	
第218図４		ＯＭ６	Ⅳ	須恵	壺	底部	－	－	11.6	高台	ロクロ成形	0.5㎜の砂粒混入	
第218図５	35－３	ＯＳ８	Ⅳ	続縄文土器	深鉢	口縁部	－	－	－	－	口唇部：刻目 外面：刻目のある隆帯 ＬＲ０段多条の撚紐による帯縄文と刺突	緻密	

第48表　遺構外出土遺物（古代）一覧表（１）

挿図番号	図版番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	外底部	器面特徴	胎土	備考
第215図４		表採	土師	高台付皿	体部～底部	－	－	6.3	1.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第215図５		表採	土師	高台付皿	底部	－	－	5.2	1.8	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第215図６		表採	土師	高台付皿	底部	－	－	4.9	1.9	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	
第215図７	34－５	表採	土師	高台付皿	口縁部～底部	[11.3]	5.7	7.6	3.6	高台	ロクロ成形	緻密	
第215図８		ＮＮ32	土師	高台付皿	口縁部～底部	[12.4]	－	－	－	皿底部回転糸切り→高台	ロクロ成形 内面：黒色処理	緻密	皿外底部：渦巻き状ののロクロ目
第215図９		ＰＢ８	土師	高台付皿	底部	－	－	6.8	2.5	皿底部回転糸切り→高台	ロクロ成形	緻密	
第215図10		ＰＦ３	土師	高台付皿	体部～底部	－	－	5.6	1.3	回転糸切り	ロクロ成形	粗い	
第215図11		ＰＦ３	土師	高台付皿	口縁部～底部	－	－	5.0	2.0	回転糸切り	ロクロ成形	緻密	

挿図番号	図版番号	出土地点	器種	最大長×最大幅×最大厚(cm)	重量(g)	備考
第219図５		ＯＰ７	砥石	10.4×5.4×5.3	208.3	
第219図６		ＰＨ０	砥石	6.5×4.8×3.4	139.0	
第220図１		表採	石製品	7.6×7.8×－	76.2	軽石素材　一部破損

挿図番号	図版番号	出土地点	器種	最大長×最大幅×最大厚(cm)	備考
第220図２	35－４	ＮＱ18	雁又鏃	6.0×8.1×1.2	
第220図３	35－５	ＰＡ３	紡錘車	5.2×5.5×0.3	
第220図４	35－６	表採	刀	4.3×27.5×3.0	

挿図番号	図版番号	出土地点	器種	最大長×最大幅(cm)	孔径(cm)	重量(g)	備考
第219図１		表採	土錘	4.4×2.7	1.0	28.7	
第219図２		ＯＳ14	土錘	4.1×－	0.5	7.0	一部破損
第219図３		ＰＤ16	土錘	5.6×2.2	0.8	21.3	
第219図４		表採	土錘	3.7×2.9	0.7	25.7	

第49表　遺構外出土遺物（古代）一覧表（２）

第５章　自然化学分析

第１節　放射性炭素年代測定

山形秀樹（パレオ・ラボ）

１　はじめに

ムサ岱遺跡より検出された炭化物の加速器質量分析法（ＡＭＳ法）による放射性炭素年代測定を実施した。

２　試料と方法

試料は、ＳＩ51から出土した炭化材１点、ＳＩ113から出土した炭化材１点、ＳＩ120から出土した炭化材（スギ）１点、ＳＩ490から出土した炭化材１点、ＳＩ510から出土した炭化材１点、ＳＩ1200から出土した炭化材１点、ＳＩ1540から出土した炭化種子１点、ＳＩ1760から出土した炭化材１点、ＳＫＦ2117から出土した炭化材（スギ）１点の併せて９点である。

これら試料は、酸・アルカリ・酸洗浄を施して不純物を除去し、石墨（グラファイト）に調整した後、加速器質量分析計（ＡＭＳ）にて測定した。測定された^{14}Ｃ濃度について同位体分別効果の補正を行なった後、補正した^{14}Ｃ濃度を用いて^{14}Ｃ年代を算出した。

３　結果

第50表に、各試料の同位体分別効果の補正値（基準値－25.0‰）、同位体分別効果による測定誤差を補正した^{14}Ｃ年代、^{14}Ｃ年代を暦年代に較正した年代を示す。

^{14}Ｃ年代値（yrBP）の算出は、^{14}Ｃの半減期としてＬｉｂｂｙの半減期5,568年を使用した。また、付記した^{14}Ｃ年代誤差（±１σ）は、計数値の標準偏差σに基づいて算出し、標準偏差（One sigma）に相当する年代である。これは、試料の^{14}Ｃ年代が、その^{14}Ｃ年代誤差範囲内に入る確率が68％であることを意味する。

なお、暦年代較正の詳細は、以下の通りである。

暦年代較正

暦年代較正とは、大気中の^{14}Ｃ濃度が一定で半減期が5,568年として算出された^{14}Ｃ年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の^{14}Ｃ濃度の変動、および半減期の違い（^{14}Ｃの半減期5,730 ±40年）を較正し、より正確な年代を求めるために、^{14}Ｃ年代を暦年代に変換することである。具体的には、年代既知の樹木年輪の詳細な測定値を用い、さらに珊瑚のＵ－Th年代と^{14}Ｃ年代の比較、および海成堆積物中の縞状の堆積構造を用いて^{14}Ｃ年代と暦年代の関係を調べたデータにより、較正曲線を作成し、これを用いて^{14}Ｃ年代を暦年代に較正した年代を算出する。

^{14}Ｃ年代を暦年代に較正した年代の算出にCALIB 4.3（CALIB 3.0のバージョンアップ版）を使用した。なお、暦年代較正値は^{14}Ｃ年代値に対応する較正曲線上の暦年代値であり、１σ暦年代範囲はプログラム中の確率法を使用して算出された^{14}Ｃ年代誤差に相当する暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値はその１σ暦年代範囲の確からしさを示す確率であり、10％未満についてはその表示を省略した。１σ暦年代範囲のうち、その確からしさの確率が最も高い年代範囲については、表中に下

線で示した。

４　考察

各試料は、同位体分別効果の補正および暦年代較正を行なった。暦年代較正した１σ暦年代範囲のうち、その確からしさの確率が最も高い年代範囲に注目すると、それぞれより確かな年代値の範囲として示された。

引用文献

中村俊夫（2000）放射性炭素年代測定法の基礎．日本先史時代の^{14}Ｃ年代、ｐ．3－20．

Stuiver, M. and Reimer, P. J.(1993)Extended^{14}C Database and Revised CALIB3.0^{14}C Age Calibration Program, Radiocarbon, 35, p.215－230.

Stuiver, M., Reimer, P. J., Bard, E., Beck, J. W., Burr, G. S., Hughen, K. A., Kromer, B., McCormac, F. G., v. d. Plicht, J., and Spurk, M. (1998) INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration, 24,000－0 cal BP, Radiocarbon, 40, p.1041－1083.

測定番号 （測定法）	試料データ	δ^{13}C (‰)	^{14}C年代 (yrBP±１σ)	^{14}C年代を暦年代に較正した年代	
				暦年代較正値	１σ暦年代範囲
ＰＬＤ－1956 （ＡＭＳ）	炭化材　№.１ ＳＩ51	－26.0	1230±45	cal AD　780	cal AD　720－745 (22.3%) cal AD　765－785 (13.9%) cal AD　790－830 (34.9%) cal AD　835－875 (28.3%)
ＰＬＤ－1948 （ＡＭＳ）	炭化材　№.２ ＳＩ113	－26.4	1145±45	cal AD　895	cal AD　870－980 (91.5%)
ＰＬＤ－1949 （ＡＭＳ）	炭化材　№.３ （スギ） ＳＩ120	－24.4	1175±40	cal AD　885	cal AD　780－795 (11.4%) cal AD　800－895 (80.6%)
ＰＬＤ－1950 （ＡＭＳ）	炭化材　№.４ ＳＩ490	－26.5	1215±40	cal AD　780 cal AD　795	cal AD　775－885 (97.8%)
ＰＬＤ－1951 （ＡＭＳ）	炭化材　№.５ ＳＩ510	－40.2	3830±60	cal BC　2285 cal BC　2245 cal BC　2235	cal BC　2350－2200 (86.0%)
ＰＬＤ－1952 （ＡＭＳ）	炭化材　№.６ ＳＩ1200	－25.3	1130±40	cal AD　895 cal AD　925 cal AD　940	cal AD　885－980 (100%)
ＰＬＤ－1953 （ＡＭＳ）	炭化種子　№.７ ＳＩ1540	－24.8	1085±40	cal AD　980	cal AD　900－920 (32.1%) cal AD　945－1000 (67.9%)
ＰＬＤ－1954 （ＡＭＳ）	炭化材　№.８ ＳＩ1760	－27.9	1495±40	cal AD　565 cal AD　570 cal AD　580 cal AD　590 cal AD　595	cal AD　540－620 (97.6%)
ＰＬＤ－1955 （ＡＭＳ）	炭化材　№.９ （スギ） ＳＫＦ2117	－19.1	1290±60	cal AD　690 cal AD　705 cal AD　755 cal AD　760	cal AD　660－780 (100%)

第50表　放射性年代測定および暦年代較正の結果

第２節　ムサ岱遺跡出土炭化材の樹種同定

植田弥生（パレオ・ラボ）

１　はじめに

ここでは、自然科学分析試料の№.３（ＳＩ120）と№.９（ＳＫＦ2117）の炭化材の樹種同定結果を報告する。

２　方法

まず炭化材の横断面（木口）を手で割り実体顕微鏡で予察し、次に材の３方向（横断面・接線断面・放射断面）の断面を作成し、走査電子顕微鏡で材組織を拡大して観察した。走査電子顕微鏡用の試料は、３断面を５㎜角以下の大きさに整え、直径１㎝の真鍮製試料台に両面テープで固定し、試料を充分乾燥させた後、金蒸着を施し、走査電子顕微鏡（日本電子㈱製　ＪＳＭ－Ｔ100型）で観察と写真撮影を行った。

３　結果（第51表）

同定の結果、№.３と№.９は針葉樹のスギであった。以下に観察した材組織を記載する。

スギ　*Cryptomeria japonica D. Don*　スギ科

仮道管・放射柔細胞・樹脂細胞からなる針葉樹材。晩材の量は多く、晩材の仮道管壁は厚い。早材部の分野壁孔の輪郭は大きな楕円形で孔口は大きく開き壁孔縁は開口幅より狭いスギ型、１分野に主に２個ある。写真２ａは晩材部に近いので分野壁孔の輪郭は円形に近いが、写真２ｂは年輪始めの早材部であり分野壁孔は大きな楕円形であるのが確認された。

スギは本州以南の暖帯から温帯下部の湿気のある谷間に生育する常緑高木である。材はやや軽軟で加工は容易である。

４　まとめ

竪穴住居跡ＳＩ120とフラスコ状土坑ＳＫＦ2117から出土した炭化材は、いずれもスギであった。スギは現在でも県内に豊富に生育している針葉樹であり有用材でもあることから、当遺跡においても有用材として利用されていたことが窺えた。

第３節　ムサ岱遺跡から出土した炭化種実

新山雅広（パレオ・ラボ）

１　試料

炭化種実の検討は、ＳＩ1540・Ｐ１・№.７の１試料について行った。この試料中の炭化種実の一部は、年代測定用試料に用いられた。

２　出土した炭化種実

試料中の炭化種実は、塊状のもの（数十粒が集合した１～３㎝大の塊が20個程度）とそこからばらばらに分離したと思われる単粒のもの（70粒程度）があった。状態が悪いものが大半であるが、一部イネ炭化胚乳と同定できるものがあり、おそらく、全てがイネ炭化胚乳と推定される。

３　考察

炭化種実には、状態が悪いものの、イネ炭化胚乳と同定できるものが含まれていた。粒揃いなので、おそらく全てがイネであり、イネ炭化胚乳の集合と推定される。塊状種子は、種皮かと思われる部分を残して中身（胚乳部）が抜けた状態の部分が認められるので、この塊は、玄米の集合である可能性が考えられる。穎（籾殻）は全く検出されず、煮炊きなどされた調理に関連したものである可能性が考えられる。

第４節　ムサ岱遺跡のテフラ分析

今村美智子（パレオ・ラボ）

１　試料と分析方法（第51表）

分析試料はムサ岱遺跡のＳＩ212から採取された№.15、ＳＩ1000から採取された№.16、ＳＩ1395から採取された№.17の計３試料である。

⑴　鉱物組成分析

①各試料は８～15ｇ程度秤量し、40度に設定した恒温乾燥機で良く乾燥した後、乾燥重量を秤量し含水比を求めた。

②各試料は湿潤重量で30～50ｇ程度秤量し、１φ（0.5㎜）、２φ（0.25㎜）、３φ（0.125㎜）、４φ（0.063㎜）のふるいを重ね湿式ふるいを行なった。各ふるいの残渣について乾燥後秤量し粒度組成とした。また４φ以上の残渣の乾燥重量より含砂率を求めた。

③４φの残渣について重液（テトラブロモエタン：比重2.9～2.96）を用いて重液分離を行ない、軽鉱物と重鉱物の乾燥重量を秤量した。分離した各試料の乾燥重量を秤量し重・軽鉱物比とした。

④重液分離をした軽鉱物と重鉱物について封入剤（レークサイトセメント）を用いてプレパラートを作成した。

⑤軽鉱物は石英（Ｑｔ）、長石（Ｐｌ）、火山ガラス（Ｇｌ）に分類し、重鉱物はかんらん石（Ｏｌ）、

イデュングサイト（Ｉｎ）、単斜輝石（Ｃｐｘ）、斜方輝石（Ｏｐｘ）、角閃石（Ｈｏｒ）、磁鉄鉱（Ｍａｇ）に分類し、風化粒子などの不明鉱物以外の鉱物が200以上になるまで分類・計数を行なった。なお火山ガラスの形態は、町田・新井（1992）の分類基準に基づき、バブル型平板状（ｂ１）、バブル型Ｙ字状（ｂ２）、軽石型繊維状（ｐ１）、軽石型スポンジ状（ｐ２）、急冷破砕型（ｃ０：塊状・フレーク状）の５形態に分類した。

⑵　屈折率測定

ガラスの屈折率については横山ほか（1986）の方法に従って、温度変化型屈折率測定装置（ＲＩＭＳ86）を用いて屈折率（ｎ）を測定し、その結果を範囲（range）であらわした。

２　結果

⑴　テフラの鉱物組成分析

砂粒分の粒度組成はNo.15、No.16の２地点において２φ残渣が46％、60％と高い値を示し、４φ残渣は10％未満と低い値を示す。これに対しNo.17では、４φ残渣が44％と高い値を示す。

重・軽鉱物比は、軽鉱物の割合がNo.16、No.17では90％近い値を示すが、No.15では、75％とやや低い値を示す。

軽鉱物の鉱物組成は、No.17では火山ガラスがおよそ97％を占める。しかし、No.15とNo.16は火山ガラスをあまり含まず、No.15では10％、No.16では５％と低い値を示す。

ガラスの形態分類は、No.17では軽石型スポンジ状（ｐ２）が多く67％と高い値となる。ついで平板型Ｙ字状（ｂ１）と軽石型繊維状（ｐ１）が多く、どちらの形態も10％以上の含有量がある。No.15とNo.16でも少量の含有量ながら、軽石型スポンジ状（ｐ２）が多く見られる。

重鉱物の鉱物組成はいずれの試料も斜方輝石を主体とする組成であり、角閃石、単斜輝石、磁鉄鉱も含む。斜方輝石は全試料において55～67％の高い値を示す。ついで角閃石が多く、およそ13～22％の値となる。単斜輝石は８～15％、磁鉄鉱は６～13％の値を示す。

⑵　屈折率測定

屈折率測定分析には、いずれの試料においても含有率の最も高かった軽石型火山ガラスを用いた。No.15の屈折率は範囲1.4992－1.5113、平均値1.5059を示し、No.16の屈折率は範囲1.5000－1.5197、平均値1.5093を示し、No.17の屈折率は、範囲1.5093－1.5156、平均値1.5123を示す。なお、No.16の試料は火山ガラスの含有量が非常に低く、ガラス11粒子分の測定値である。

３　積物中のテフラ

【十和田中掫：Ｔｏ－Ｃｕ】

No.17に見られる軽石型火山ガラスを主とした火山ガラスは、その形態的特徴から町田ほか(1984)のＴｏ－Ｃｕの火山ガラスと推定される。町田ほか（1992）によるとＴｏ－Ｃｕの火山ガラスは主に軽石型火山ガラスで構成され、斑晶鉱物として斜方輝石、単斜輝石を含むことが特徴としてあげられている。また、No.17の火山ガラスの屈折率測定結果は範囲1.5093－1.5156であり、Ｔｏ－Ｃｕの従来値の範囲1.511－1.513（町田・新井，1992）に近似する。このためNo.17に含まれる火山ガラスなどのテフラはＴｏ－Ｃｕと推定される。

Ｔｏ－Ｃｕは東北地方のほぼ全域に分布している（町田・新井，1992)。またＴｏ－Ｃｕの噴出年代は、およそ5,500年前と推定されている（町田ほか，1992)。

４　まとめ

ムサ岱遺跡から採取された３試料（№15、№16、№17）について、分析した結果を試料ごとにまとめる。

№17に含まれる火山ガラスは十和田中掫を起源とする火山ガラスであると同定され、その噴出年代は約5,500年前となる（町田ほか，1992)。

№15は、火山ガラスの屈折率の範囲が1.4992－1.5113であり、十和田ａの従来値の範囲1.496－1.504、十和田八戸火山灰の従来値の範囲1.503－1.508、十和田中掫の従来値の範囲1.510－1.514（町田・新井，1992）や、それ以前の十和田起源のテフラと範囲が重なることから、再堆積した可能性が考えられる。また、火山ガラスの含有率が10％と低いことからテフラ層とは考えられない。

№16についても火山ガラスの含有量が非常に低いこと、および屈折率の値が安定していないことからテフラ層とは考えられない。

引用文献

町田洋・新井房夫（1992）火山灰アトラス－日本列島とその周辺．財団法人東京大学出版会，276ｐ．

町田洋・新井房夫・小田静夫・遠藤邦彦・杉原重夫（1984）テフラと日本考古学－考古学研究と関係するテフラのカタログ－．渡辺直径編「古文化財に関する保存科学と人文・自然科学」，865－928．

横山卓雄・檀原徹・山下透（1986）温度変化型屈折率測定装置による火山ガラスの屈折率測定．第四紀研究，25，21－30

試料番号	含水率（重量％）	含砂率（重量％）	砂粒分の粒度組成（重量％）				重・軽鉱物組成（重量％）	
			１φ	２φ	３φ	４φ	重鉱物	軽鉱物
№15	22.7	30.3	27.9	46.4	20.4	5.4	25.4	74.6
№16	16.1	25.7	11.6	59.8	21.6	7.1	12.3	87.7
№17	29.5	8.5	6.4	19.0	31.0	43.6	6.7	93.3

軽鉱物組成（粒数）　　火山ガラス形態分類（粒数）

試料番号	長石 Ｐｌ	火山ガラス Ｖｇ	平板状 ｂ１	Ｙ字状 ｂ２	繊維状 ｐ１	スポンジ状ｐ２	破砕型 ｃ０
№15	196	22	－	6	3	11	2
№16	202	10	－	－	1	8	1
№17	7	223	7	33	29	154	－

重鉱物組成（粒数）

試料番号	カンラン石 Ｏｌ	イデュングサイト Ｉｎ	単斜輝石 Ｃｐｘ	斜方輝石 Ｏｐｘ	角閃石 Ｈｏ	磁鉄鉱 Ｍａｇ
№15	－	－	24	142	33	14
№16	－	－	19	141	28	28
№17	－	－	31	119	46	17

堆積物の鉱物分析結果一覧

試料番号	測定対象	範囲（range）	平均(mean)
№15	軽石型火山ガラス（ｐ１，ｐ２）	1.4992　－　1.5113	1.5059
№16	軽石型火山ガラス（ｐ１，ｐ２）	1.5000　－　1.5197	1.5093
№17	軽石型火山ガラス（ｐ１，ｐ２）	1.5093　－　1.5156	1.5123

火山ガラスの屈折率測定結果

試料番号	遺構名	樹種
№3(炭化物)	竪穴住居跡　ＳＩ１２０	スギ
№9(炭化物)	フラスコ状土坑　ＳＫＦ２１１７	スギ

出土炭化材樹種

第51表　火山灰および炭化材樹種関連表

第６章　まとめ

第１節　旧石器時代

１　石器組成と石材構成

ナイフ形石器３点、台形様石器10点の合計13点が組成する。石材構成は、台形様石器が１点を除き黒曜石で占められる他は、すべて珪質頁岩である。

第４章で述べたように、これらが遺跡における石器群の全体を示しているとは考えにくく、以上の組成をもって考察を進めることはできない。しかし、石器組成と石材構成に対応関係があることは注目すべきことである。つまり、台形様石器のみに黒曜石が用いられているという事実である。本県における旧石器時代の石器群は珪質頁岩を第一石材、玉髄やチャートを第二石材とし、黒曜石はごくわずか構成されるにすぎない(註1)。部分的な石器群であるものの、器種別・形態別に石材の使い分けが認められ興味深い。

２　石器製作技術

ナイフ形石器と台形様石器の背面剥離構成の観察からは、90度打面転位による剥片剥離過程をうかがえるが、１のナイフ形石器と４・５の台形様石器の背面は、素材剥片と同一方向の剥離面で構成されている。また、12の台形様石器からは、主要剥離面を作業面とした剥片素材石核からの貝殻状剥片の剥離過程がうかがえる。

これらをまとめると、以下に示す４種の剥片剥離過程に分類される。

第１種：90度打面転位による剥片剥離過程。主に寸詰まりの縦長剥片～横長幅広剥片を剥離。

第２種：同一打面からの剥片剥離過程。主に縦長剥片を剥離。

第３種：剥片素材石核からの剥片剥離過程。主要剥離面を作業面とし貝殻状剥片を剥離。

これらの剥片剥離過程がそれぞれに排他的か否かは確認できなかった。

石核調整に関しては、打面調整や頭部調整は認められない。

次に調整加工のあり方を検討する。器種別にみると、ナイフ形石器は微細加工（１）とやや鋸歯状の急斜度加工（２・３）の２種があり、打面は残置例で占められる。台形様石器は急斜度加工（４～11・13）と微細加工（12）の２種があり、欠損品があるものの、12・13以外は打面除去例である。

素材剥片の打面が残置されるものは、比較的素材に対する整形度が低く、逆に除去されるものは素材に対する整形度が高いといえる。そうしたとき、ナイフ形石器はより整形度が低く、台形様石器はより整形度が高い傾向にあると指摘できる。

３　石器の形態

３点のナイフ形石器に形態的斉一性は認められない。とくに３は、刃部が斜刃で切出状を呈する。台形様石器は、基部を作出する撥形状のもの（４～８）と貝殻状のもの（12)、台形状のもの（13）がある。

３のナイフ形石器は県内ではこれまで認められないものであり、南関東地方の武蔵野台地立川ローム層第Ⅳ層下部検出石器群に特徴的に認められる切出形ナイフ形石器に対比されようか。台形様石器

のうち、撥形状のものは能代市縄手下遺跡(註2)、秋田市狸崎Ｂ遺跡(註3)、河辺町風無台Ⅱ遺跡(註4)、同松木台Ⅱ遺跡(註5)、でまとまって出土している。このうち後２者は、調整加工に平坦剥離が多用され、本石器群とは異なる。貝殻状のものは、いわゆる「米ヶ森型台形石器(註6)」に類似するが、素材末端がヒンジフラクチャーをなしておらず、また、「米ヶ森技法(註7)」の存在も確認されないことから、「米ヶ森型台形石器」とは言えないだろう。台形状のものは、南外村小出Ⅰ遺跡(註8)や能代市此掛沢Ⅱ遺跡(註9)で出土している。

４　石器群の編年的位置付け

本県におけるローム層の堆積状況は良好ではなく、また、姶良丹沢火山灰等の広域火山灰も希にしか検出されず、層位的な検証をふまえた編年作業は現在困難である。よって、石器の形態分析や石器製作技術からの検討によらなければならない状況である。

本石器群の場合、製品のみに頼らざるを得ないため限界がある。ここでは遺跡間での石器形態の比較を行い、編年的位置付けを試みるが、その前に秋田県内の旧石器時代編年を検討する必要があろう。県内の編年はこれまでに幾つかの案が提出されている(註10)。ここでは、それらをふまえながら、遺跡内での作業内容、個体別作業単位のあり方、素材剥片に対する整形度という視点から、以下に示す編年案を新たに示したい(註11)（第221図)。

＜秋田Ⅰ期＞

当該期の遺跡には、秋田市地蔵田遺跡(註12)（１～５)、河辺町風無台Ⅱ遺跡（６～８)、同松木台Ⅱ遺跡（９～11)、同松木台Ⅲ遺跡（12・13）が挙げられる。

器種組成は、ナイフ形石器、台形様石器、掻器、石斧等で、遺跡間でナイフ形石器と台形様石器の組成が偏り、遺跡を違えた製作が遂行される。ナイフ形石器は打面を大きく残し、微細な刃潰し加工のもので占められるのに対し、台形様石器は平坦剥離による調整加工が顕著である。

＜秋田Ⅱ期＞

当該期の遺跡には、能代市縄手下遺跡（14～18)、同此掛沢Ⅱ遺跡（19～24)、南外村小出Ⅰ遺跡（25～27）が挙げられる。

器種組成は、Ⅰ期と同じ。ナイフ形石器と台形様石器の遺跡間における組成が解消され、両器種の製作が遺跡内で行われる。また、個体を分割し、一方をナイフ形石器の、他方を台形様石器の原料に供するようになる。ナイフ形石器は打面残置例で占められるものの、急斜度な刃潰し加工が主体となり、ここにナイフ形石器の確立を看取することができる。台形様石器には平坦剥離が見られなくなり、ナイフ形石器同様、急斜度な加工が顕著となる。

＜秋田Ⅲ期＞

当該期の遺跡には、琴丘町家の下遺跡(註13)（28～34)、秋田市下堤Ｇ遺跡(註14)（39～42)、河辺町風無台Ⅰ遺跡（35～38）が挙げられる。

器種組成は、Ⅰ・Ⅱ期と同じであるが、不定形でやや大形の剥片を素材とした掻器は消滅する。遺跡内でナイフ形石器と台形様石器の組成は安定しており、両者が同一個体から遺跡内で製作されていることが、接合例と個体別資料によりうかがえる。ナイフ形石器には打面除去例がまとまって現れる。台形様石器は急斜度な加工とともに、微細な加工による、いわゆる「米ヶ森型台形石器」がまとまって製作される。

ムサ岱遺跡では石器製作過程の詳細な検討は不可能であるため、上記編年案のうち、石器形態の変

遷に焦点を絞ってまとめると次のようになる。秋田Ⅰ～Ⅲ期にかけて、ナイフ形石器の形態変化はほとんどみられないが、調整加工のあり方からは、しだいに整形度が高くなっていく様子が見られるとともに、大きさが小形化していく傾向にある。台形様石器は、秋田Ⅰ期では撥形、秋田Ⅱ期では撥形＋台形状、秋田Ⅲ期では台形状＋「米ヶ森型台形石器」という形態の組み合わせが見られる。調整加工は秋田Ⅰ期で平坦剥離というもっとも整形度の高い加工法が用いられ、時期が下るにつれ整形度が低くなる。このように、ナイフ形石器は大形品（整形度低い）→小形品（整形度高い）へと、台形様石器は撥形（整形度高い）→「米ヶ森型台形石器」（整形度低い）へと変遷をたどることができる。ここで、整形度の高低に注目してみると、ナイフ形石器と台形様石器との間で相互補完的な関係性を読み取ることができないだろうか。すなわち、秋田Ⅰ期では調整加工の比重が台形様石器に置かれているが、秋田Ⅱ期を経て、秋田Ⅲ期ではこれが逆転し、ナイフ形石器に重きが置かれるようになる。ここに秋田Ⅰ期からⅢ期にかけてナイフ形石器の収斂化への過程を見て取ることができよう。(註15)

以上の編年案をもとにすると、ムサ岱遺跡の旧石器時代石器群は、台形様石器の形態的特徴とナイフ形石器を含む調整加工のあり方から、秋田Ⅱ期への位置付けが妥当であろうと考える。すなわち、ナイフ形石器確立期の石器群として評価される。

註

1　須田良平・山田晃弘・会田容弘　「珪質頁岩を中心とした東北地方の石器石材の様相」　『石器石材Ⅱ－北関東の原石とその流通を中心として－』　笠懸野岩宿文化資料館　1997（平成９）年

2　吉川耕太郎　「秋田県能代市縄手下遺跡の調査」　『第17回東北日本の旧石器文化を語る会予稿集』　東北日本の旧石器文化を語る会　2003（平成15）年

3　秋田市教育委員会　『秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書－狸崎B遺跡－』　1993（平成５）年

4　秋田県教育委員会　『七曲台遺跡群発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第114集　1985（昭和60）年

5　註４文献

6　冨樫泰時・藤原妃敏　『米ヶ森遺跡発掘調査報告書』　協和町教育委員会　1977（昭和52）年

7　註６文献

8　秋田県教育委員会　『東北横断自動車道発掘調査報告書Ⅶ小出Ⅰ遺跡・小出Ⅱ遺跡・小出Ⅲ遺跡・小出Ⅳ遺跡』　秋田県文化財調査報告書第206集　1991（平成３）年

9　秋田県教育委員会　『此掛沢Ⅱ遺跡・上の山Ⅱ遺跡発掘調査報告書』　秋田県文化財調査報告書第114集　1984（昭和59）年

10　藤原妃敏・柳田俊雄　「北海道・東北地方の様相」　『石器文化研究』３　石器文化研究会　1991（平成３）年
石川恵美子　「小出Ⅰ遺跡」　『東北横断自動車道発掘調査報告書Ⅶ小出Ⅰ遺跡・小出Ⅱ遺跡・小出Ⅲ遺跡・小出Ⅳ遺跡』　秋田県文化財調査報告書第206集　1991（平成３）年
渋谷孝雄　「東北地方における石刃技法出現期の石器群について」　『東北文化論のための先史学歴史学論集』　1992(平成４）年
田村隆　「重層的二項性と交差変換－端部整形石器範疇の検出と東北日本後期旧石器石器群の生成－」　『先史考古学論集』第10集　2001（平成13）年

11　吉川耕太郎　「東北地方における後期旧石器時代初頭の文化－秋田県における後期旧石器時代前半期の石器群－」　『後

期旧石器時代のはじまりを探る　日本旧石器学会第１回シンポジウム予稿集』　日本旧石器学会　2003（平成15）年

12　秋田市教育委員会　『秋田市地蔵田B遺跡－秋田新都市開発整備事業関係埋蔵文化財発掘調査報告書－』　1986（昭和61）年

13　秋田県教育委員会　『家の下遺跡（２）旧石器時代編－県営ほ場整備事業（琴丘地区）に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ－』　秋田県埋蔵文化財調査報告書第275集　1998（平成10）年

14　秋田市教育委員会　「下堤G遺跡（先土器時代）発掘調査概報」　『秋田臨空港新都市開発関係埋蔵文化財発掘調査報告書』　1983（昭和58）年

15　秋田Ⅲ期で顕在化する「米ヶ森型台形石器」については、型式として成り立ちうるか否かで議論の多いところである（註10田村2001参照）。しかし、本書で示した視点によれば、石器群の構造の中で理解することが可能となる。すなわち、台形様石器の整形度が低下するその限界点において、貝殻状剥片を組織的・連続的に剥離する「米ヶ森技法」を骨子とすることにより成立するのが「米ヶ森型台形石器」として認識されよう。

第２節　縄文時代

縄文時代の遺構は、竪穴住居跡・土器埋設炉・陥し穴・フラスコ状土坑などが検出され、遺物は土器・土製品・石器が出土し、本遺跡は縄文時代中期後葉から後期前葉に集落と狩猟場があったことが分かる。以下では、この集落の構造と遺構の時期について記述する。

竪穴住居跡のうちＳＩ510は平面形が円形で石囲炉を伴っており、台地の南側の縁辺から約30ｍ離れた平坦面に位置している。ＳＩ1600は平面形が楕円形で、縁辺部に位置している。土器埋設炉と３基のフラスコ状土坑はＳＩ510の北側の平坦面に位置する。陥し穴は溝状で、他の縄文時代の遺構から隔たった台地の北側に位置する。27基のフラスコ状土坑はＳＩ1600から西へ約30ｍはなれた台地の南側縁辺に集中しており、周辺は斜面部だがムサ岱遺跡がある台地の縁辺の中では傾斜が緩やかな部分にあたる。フラスコ状土坑には副葬品やベンガラが出土するなど墓と考えられる状況ではなく、貯蔵穴と考えられる。ムサ岱遺跡から沢を挟んで北側に位置する上ノ山Ⅱ遺跡では、台地上の平坦面から陥し穴13基が検出されており、７基が溝状、６基が円形で、底面に小穴があるものもある。本遺跡ではフラスコ状土坑同士の重複が見られ、縄文土器の時期に幅があることからも、本遺跡と上ノ山Ⅱ遺跡で検出された縄文時代の遺構すべてが同時に存在したものではないと考えられるが、台地の南側の平坦面に居住区域、斜面部に貯蔵区域があり、台地の北側から上ノ山Ⅱ遺跡がある台地にかけての平坦面が狩猟場だったことが分かる。

遺物は縄文時代中期後葉から後期前葉の土器・土製品・石器が出土した。土器は、１・２類が大木９式土器もしくは大木10式土器、３類が十腰内Ⅰ式土器に相当する。４類は地文のみの土器だが、器形や胎土から中期後葉から後期前葉のものと判断される。フラスコ状土坑や土坑からは主に１・２類が出土しているが、１個体の土器の破片が複数の遺構から出土したことから、土器を包含した層から掘り込み、包含層の土によって遺構を埋め戻していると考えられる。そのため、炉の上や埋設された位置から土器が出土したＳＩ510やＳＮ790以外は、遺物から時期を特定するのは難しい。そこで集落構造の面から類例と比較し、遺構の時期を推定した。

米代川流域の大木10式期の集落の例としては、米代川の北側の台地上に位置する館下Ⅰ遺跡があ

第221図　秋田県における旧石器時代編年試案

り、縄文時代中期前半と中期後半の集落構造が変化を見て取ることができる。竪穴住居跡については、中期前半には平面形が主に楕円形で、中期後半には主に円形で石囲炉を伴うようになる。石囲炉を伴う円形の竪穴住居跡は縄文時代を通じて例があるが、館下Ⅰ遺跡の変遷に示されている通り中期後葉以降に竪穴住居跡の主体を占めるようになると一般的に言われており、ムサ岱遺跡のＳＩ510はＳＩ1600より新しい竪穴住居跡である可能性が高い。また館下Ⅰ遺跡では、中期前半の竪穴住居跡がある台地上の平坦面にフラスコ状土坑が分布しており、中期後半の竪穴住居跡のある平坦面ではフラスコ状土坑がほとんど検出されていない。十腰内Ⅰ式期の例としては、米代川の南側の台地上に腹鞁の沢遺跡があり、後期の竪穴住居跡は検出されず、斜面部でフラスコ状土坑が10基検出されている。秋田県の縄文時代中期から後期の集落では竪穴住居跡とフラスコ状土坑が混在する例が多いが、中期後半以降には館下Ⅰ遺跡と腹鞁の沢遺跡のように居住区域と貯蔵区域が分かれていると推定される集落も見られるようになる。このことから本遺跡では、台地上の平坦面に位置するフラスコ状土坑は貯蔵施設が住居と混在して作られた時期の遺構で、台地縁辺の斜面地に位置するフラスコ状土坑は居住区域と貯蔵区域が分かれた時期の遺構と推定され、斜面地に位置するフラスコ状土坑が平坦面に位置するフラスコ状土坑より新しい可能性が高い。

第３節　古代

ムサ岱遺跡が位置する浅内・成合台地は、これまで多くの古代の遺跡が調査され、特に福田遺跡、十二林遺跡では、９世紀後半から10世紀の柵列・溝で区画された竪穴住居跡・掘立柱建物跡が見つかり、当時の集落の様相を示す調査結果を得られている。

ムサ岱遺跡の周辺では、上ノ山Ⅱ遺跡、此掛沢Ⅱ遺跡等の古代の遺跡が隣接している。平成15年度までに行われた発掘調査では、上ノ山Ⅱ遺跡で竪穴住居跡53軒、掘立柱建物跡19棟、此掛沢Ⅱ遺跡で竪穴住居跡１棟、掘立柱建物跡１棟が確認されており、この区域には古代の大規模な集落跡が存在すると推測されていた。

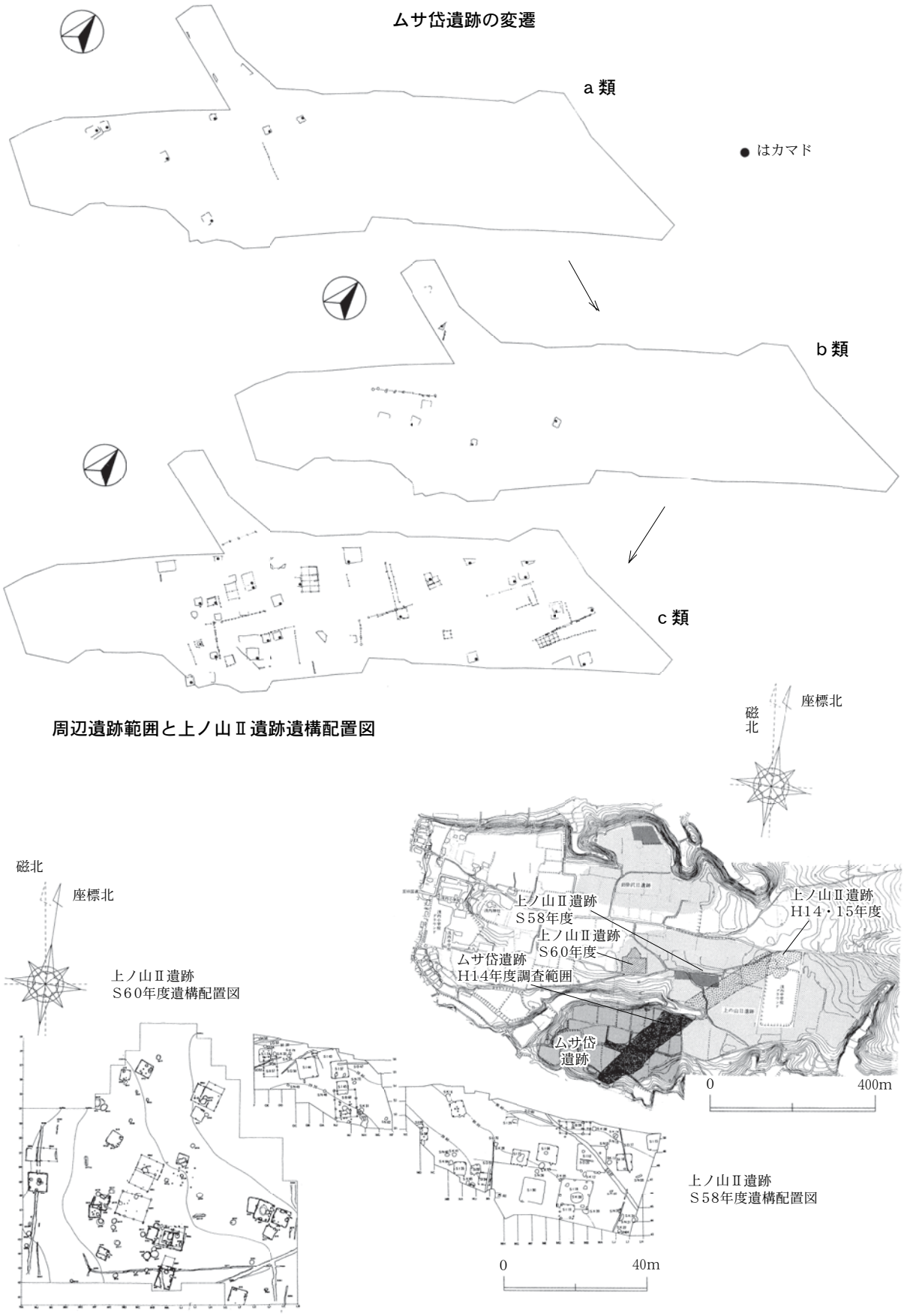
今回のムサ岱遺跡の調査で検出された古代の遺構は、竪穴住居跡62軒、掘立柱建物跡９棟、竪穴状遺構10基、土坑308基、溝跡27条、柵列・柱穴列39条、焼土遺構36基、柱穴様ピット1,468基である。

⑴　検出遺構について

①竪穴住居跡

竪穴住居跡は、方形または隅丸方形の平面形で、これまで見つかった古代の竪穴住居跡と特異な点は見られなかったが、竪穴住居跡の規模としては、一辺が2.0～3.0ｍのもの７軒、一辺が3.0～4.0ｍのもの23軒、一辺が4.0～5.6ｍのもの20軒、一辺が6.0～11.0ｍ台のもの７軒がある。柱穴は、基本的に壁隅、壁隅柱の間、床面に配されているが、規模に応じた隅柱間の柱数などについては規則的といえない。壁溝を確認した住居跡は62軒のうち37軒であるが、それについても特徴になり得ない値である。ムサ岱遺跡の竪穴住居跡の構造は、一貫した傾向が見られないのが特徴であると言えよう。

カマドは、住居の南東側に明～黄褐色の砂質土によって構築された、土製の支脚と住居外に通ずる



第222図　ムサ岱遺跡の変遷、周辺遺跡範囲と上ノ山Ⅱ遺跡遺構配置図

煙道を持つものが多くを占める。南東側に構築されるカマドが多いのは、風向き等の自然的な要因に左右されるものと思われる。住居壁外にくり抜かれたトンネル式の煙道は、ＳＩ51・90で確認したが、多くはカマドが壁外に小さく張り出して煙出しとしているものである。

カマドの構築土の分析結果は、ＳＩ212のカマド構築土は、噴出年代が約5,500年前の十和田中掫やそれ以前の十和田起源の火山灰が確認され、ＳＩ1000のカマド構築土も、含有量が少ないながらも火山ガラスが確認された。このことから、火山灰を混入させてカマドを作っていたと考えられる。袖部に芯材を据えて構築したカマドも見つかり、主に粘土塊（ＳＩ120・1760）と礫（ＳＩ350・1000・1820）が利用されていた。

使用された支脚は、下端部に逆U字状の切り込みが入った輪積みによる円筒形の支脚がほとんどであったが、ＳＩ26・450で出土した支脚は、他にくらべて細く、けずりによって器面調整された筒状のものが使用されている。ちなみにＳＩ26・450のカマドは住居の壁と距離を置いたところに位置しており、これについても他の竪穴住居跡とは違う様相を呈している。その他、ＳＩ468で棒状支脚が出土しており、ＳＩ1000・1400では礫を支脚としていた。

②掘立柱建物跡

全部で９棟検出した。中でも特徴的なものはＳＢ1395で、柱間に溝をともなう掘立柱建物跡である。本遺構は壁と間仕切りがあった建物跡であったと想像するが、詳細は不明である。県内では昭和60年度の上ノ山Ⅱ遺跡発掘調査や北の林Ⅱ遺跡で見つかっている。ＳＢ499についてであるが、北西側にＳＩ211が接しており、竪穴住居跡と掘立柱建物跡を併せて構築された可能性も考えられる。

③竪穴状遺構

検出された竪穴状遺構は、Ａ類：柱穴や壁溝が認められるもの（ＳＫＩ122・2305・2306）とＢ類：柱穴や壁溝が伴わないもの（ＳＫＩ66・231・300・950・1394・2892）に分けられる。

Ａ類は、上屋や壁板を備えた半地下式の構造物であったと想像する。ＳＫＩ122は台地上平坦地の竪穴住居跡が密集する区域で、他の住居跡や柱穴列と並んで見つかり、ＳＫＩ2305・2306は調査区南側の傾斜地でＳＩ2390と重なって見つかった。ＳＩ2305・2306の床面積はＳＩ122よりも狭く、より深く掘られた構造である。Ｂ類は、Ａ類よりもさらに深く掘られており、遺構検出面から10ｍ以上に達する。地下深いことを利点とした、貯蔵・収蔵施設等に利用されたものと想像する。

④土坑

土坑は調査区全体で確認されたが、ＳＫ1811を含むＮＭ33周辺の土坑群と、ＯＦ18周辺のＳＫ2585をはじめとする土坑群について述べる。

遺跡で出土した鉄製品を観察すると、使い込んで磨り減ったものが大半を占めていることから、当時は鉄を貴重な資源としていたと想像される。そのような中で人為的に埋められたＳＫ18111の刀は、埋納品としての要素が強く、埋め戻された同規模の土坑が集中しているＮＭ33周辺は墓域であった可能性が考えられる。

またＯＦ18周辺で集中するＳＫ2585・2586・2589・2590・2595から、投げ込まれたように土器が出土した。ＳＫ2585は特に出土量が多く、このうちの須恵器甕片は、ＳＫ2595から出土した須恵器甕の破片と接合した。このことからＳＫ2585・2595は近い時期の廃棄土坑と思われ、集中する土坑群も同様の性格を持つと思われる。

⑵　出土遺物について

出土遺物のうち、ここでは擦文土器をとり上げる。

擦文土器はＳＩ1200から出土した。外面上半部に横走沈線施文後に針葉樹文が施された10世紀頃のもので、遺跡の時期と一致する。石狩平野や道南部に密集していた擦文文化は、９～10世紀頃に北海道北部の日本海側や道東部へ拡散したとされ、青森県においても同時期の擦文土器が見つかっている。特に針葉樹文施文の擦文土器は、北海道・青森県ともに日本海側に際立って多く見つかっており、本遺跡の擦文土器もその範疇に入るものと考える。

ＳＩ1200の擦文土器は土師器と比べて粗い胎土で、同じ胎土を使用した土器は遺跡内では見つからなかった。擦文土器は外から持ち込まれたものと思われ、北海道開拓記念館の右代啓視氏の見解では、北海道小平町高砂遺跡等の擦文土器と酷似しているとのことである。

⑶　ムサ岱遺跡の変遷について

出土遺物は10世紀のものがほとんどであることから、集落は近接した期間に移り変わっていったものと思われる。集落の変遷は、「直接的な重複関係を持たない遺構についても『同一方向に計画、構築された遺構は同一時期の所産である』という仮定(註1)」に立って、次のような遺構群の大別を試みた。（第222図参照）

ａ類：軸方向がＮ－61°－Ｗ（またはＮ－29°－Ｅ）に近い方向を向く遺構群。

主な遺構・・・ＳＩ26・120・125・275・350・500・ＳＡ380等。

ｂ類：軸方向がＮ－23°－Ｗ（またはＮ－67°－Ｅ）に近い方向を向く遺構群。

主な遺構・・・ＳＩ53・145・165・190・490・515・1341・ＳＡ3000等。

ｃ類：軸方向がＮ－48°－Ｗ（またはＮ－42°－Ｅ）に近い方向を向く遺構群。

主な遺構・・・ＳＩ467・630・1000ａ・ｂ・1235・ＳＢ1395・ＳＡ250・360・631・701等。

ｄ類：その他の遺構群。

主な遺構・・・ＳＩ2390・ＳＫＩ2305・2306、ＳＡ65・2105・2106・ＳＤ2400、ＳＢ1530等。

ＳＩ120（ａ類）とＳＩ165（ｂ類）の関係はＳＩ165が新しく、ＳＩ490（ｂ類）とＳＩ113（ｃ類）の関係はＳＩ113が新しいこと、またＳＩ145（ｂ類）とＳＩ1000（ｃ類）の関係はＳＩ1000が新しいのでａ類→ｂ類→ｃ類の変遷が考えられる。ａ類からｂ類への移り変わりを見てみると、竪穴住居跡の規模と軒数は、ａ類において一辺2.8～5.6ｍが７軒、ｂ類において一辺3.0～5.1ｍが７軒とほぼ同様の規模で、大きな変化は見られないが、ｃ類へ移行すると、柵列や柱穴列で広く区画された竪穴住居跡群は38軒に増加し、中央部から南側に限定していた遺構群は調査区全域に及ぶ。遺構の規模も大型化する傾向が見られる。

ｄ類の遺構について、東西方向へ延びるＳＡ65・2105・2106・ＳＤ2400は、区画するためのものと思われるが、台地平坦部の縁辺に沿って見つかっているので、竪穴住居跡や掘立柱建物跡を区画するのではなく、平坦地と傾斜地を区画するためのものと考えられる。また傾斜地に作られたＳＩ2390と、北側の沢に接するＳＢ1530ａ・ｂの主軸方向は、その地形に大きく左右されると思われ、上記のａ～ｃ類の変遷からはずした。

⑷　上ノ山Ⅱ遺跡との比較から考えられること

過去の発掘調査で、９～10世紀頃に浅内・成合台地では大規模な集落の存在を示されていたが、今回の調査では、さらにそれを明らかにする結果となった。上ノ山Ⅱ遺跡を中心とした区域は、集落を営むのに適した広大な平坦地が広がっており、ムサ岱遺跡もその一画に位置する。ここでは上ノ山Ⅱ遺跡とムサ岱遺跡の比較をして、周辺の様相を考えたい。

隣接する上ノ山Ⅱ遺跡とムサ岱遺跡の集落跡を比較するといくつか相違点が見つかる。その主なものは、①上ノ山Ⅱ遺跡で検出された竪穴住居跡は、その大半で壁溝が認められ、柱穴が規則正しく配されているのに対し、ムサ岱遺跡の竪穴住居跡は柱穴配置や壁溝の有無に一貫した規則性が見られないこと、②上ノ山Ⅱ遺跡では竪穴住居跡のカマドの煙出し穴は、住居の壁外に煙道をくり抜いたトンネル式のものが主であるのに対し、ムサ岱遺跡では同タイプの煙出し穴の住居跡は２軒しか見つかっておらず、カマドが壁外に小さく張り出して煙出しとしているタイプが主であるということ、③ムサ岱遺跡の遺構群は主軸方向がＮ－48°－Ｗ（またはＮ－42°－Ｅ）に近い方向を向く遺構群が大半を占めるが、上ノ山Ⅱ遺跡の遺構群は主軸方向が北方向を向く遺構群が大半を占めること、があげられる。

発掘調査前、両遺跡は10世紀頃の遺物が出土することから一連の集落であると思われたが、ムサ岱遺跡と上ノ山Ⅱ遺跡を分けていた沢を境として、異なる集落が営まれていたと思われる。この二つの集落は、10世紀頃に連綿と遺跡が展開していったことを考慮すると、同じ時期に存在していた可能性が高い。

註１　秋田県教育委員会『一般国道７号八竜能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ－福田遺跡・石丁遺跡・蟹子沢遺跡・十二林遺跡－』秋田県文化財調査報告書第178集　1989（平成元）年の福田遺跡のまとめから引用した。

参考文献

能代市史編纂委員会『能代市史　資料編　考古』能代市　1993（平成７）年

秋田県教育委員会『此掛沢Ⅱ遺跡　上の山Ⅱ遺跡発掘調査報告書』秋田県文化財調査報告書第114集　1984（昭和59）年

秋田県教育委員会『国営能代開拓建設事業埋蔵文化財発掘調査　上の山Ⅱ遺跡第２次発掘調査報告書』秋田県文化財調査報告書第137集　1986（昭和61）年

秋田県教育委員会『一般国道７号八竜能代道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ－福田遺跡・石丁遺跡・蟹子沢遺跡・十二林遺跡－』秋田県文化財調査報告書第178集　1989（平成元）年

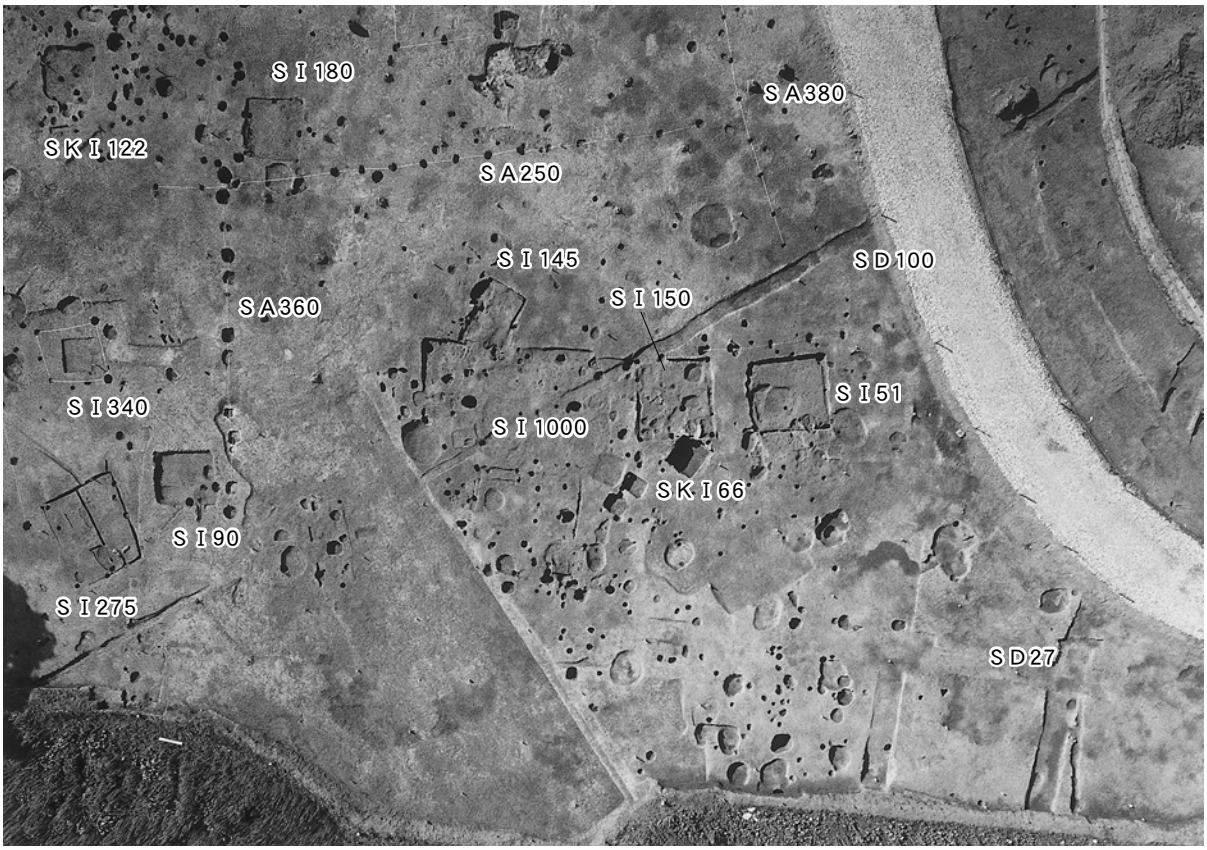
秋田県教育委員会『秋田県遺跡地図（中央版）』　1990（平成２）年

高橋学「竪穴住居と掘立柱建物跡が並列して構築される遺構について」『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要』第４号　秋田県埋蔵文化財センター　1989（昭和64）年

右代啓視「擦文文化の拡散と地域戦略」『北海道開拓記念館研究紀要』第27号　北海道開拓記念館1999（平成11）年

中田裕香・上野秀一・平川善祥・越田賢一郎・石川直章・藤井誠二・石井淳「擦文土器集成」『シンポジウム　海峡と北の考古学－文化の接点を探る－資料集Ⅱ』　日本考古学協会1999年度釧路大会実行委員会　1999（平成11）年

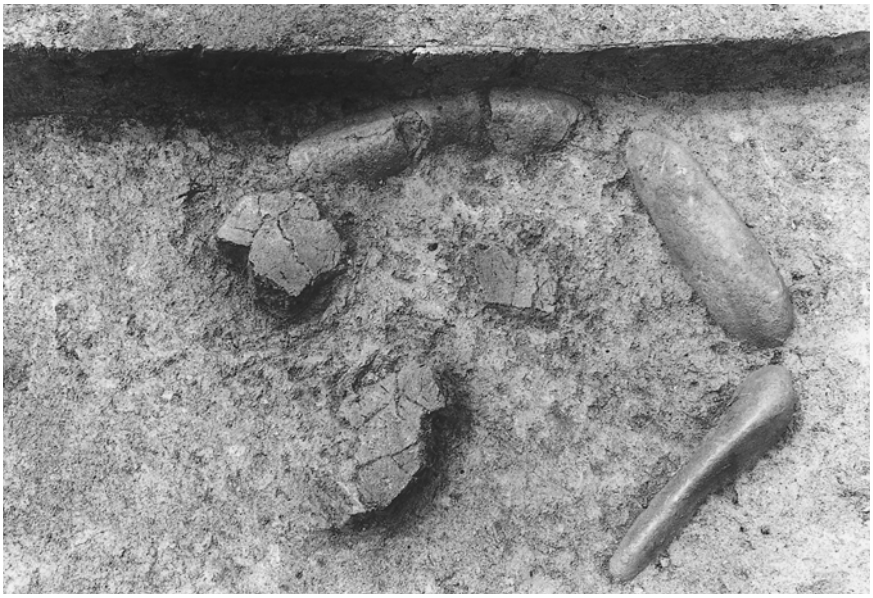
1　ムサ岱遺跡（北東上空から）



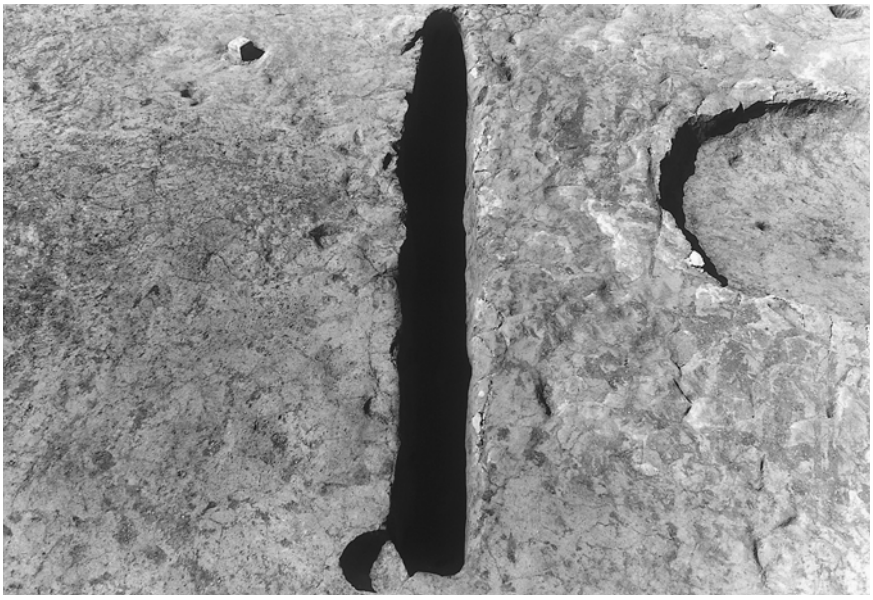
2　ＳＩ1000とその周辺（上が南東）

図版2

1　ＳＩ510（南から）



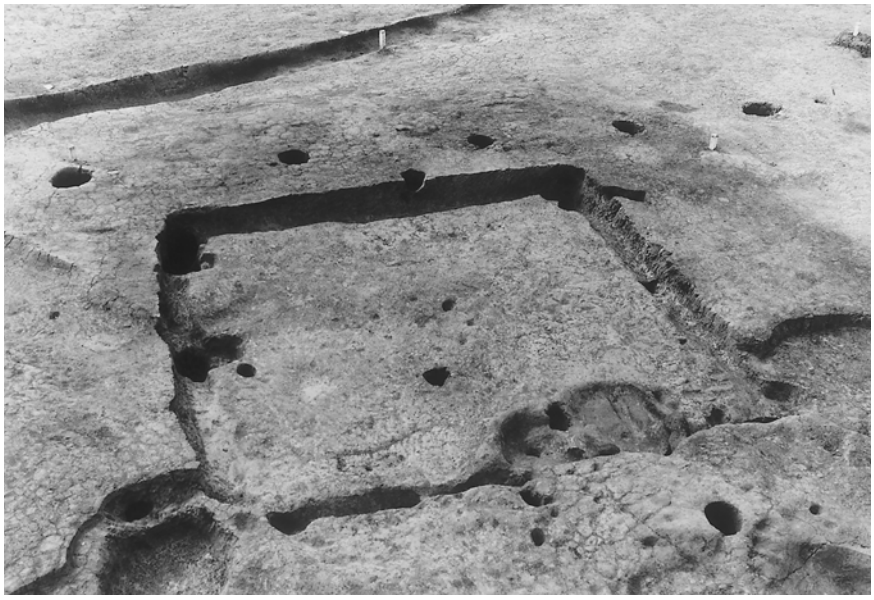
2　ＳＩ510カマド



3　ＳＫＴ1970
（東から）

1　フラスコ状土坑群
（東から）

2　ＳＫＦ2117
（南から）

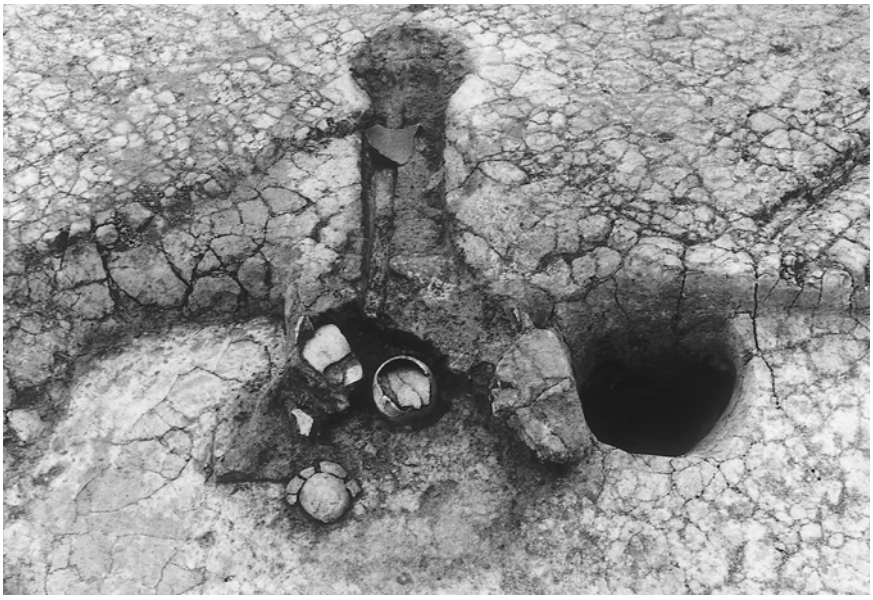


3　ＳＩ51（南東から）

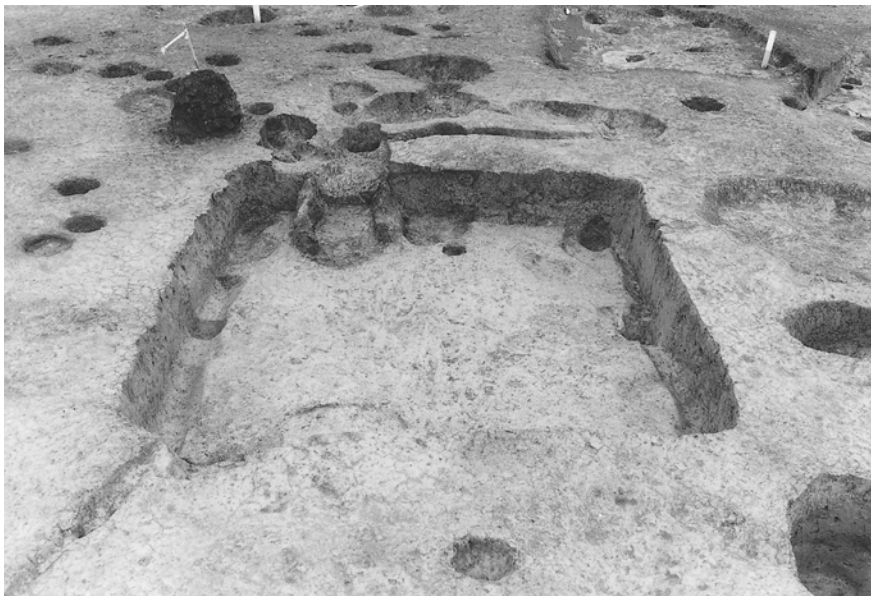
図版4

1　ＳＩ51カマド
（北西から）

2　ＳＩ90（北東から）



3　ＳＩ90カマド
（南東から）



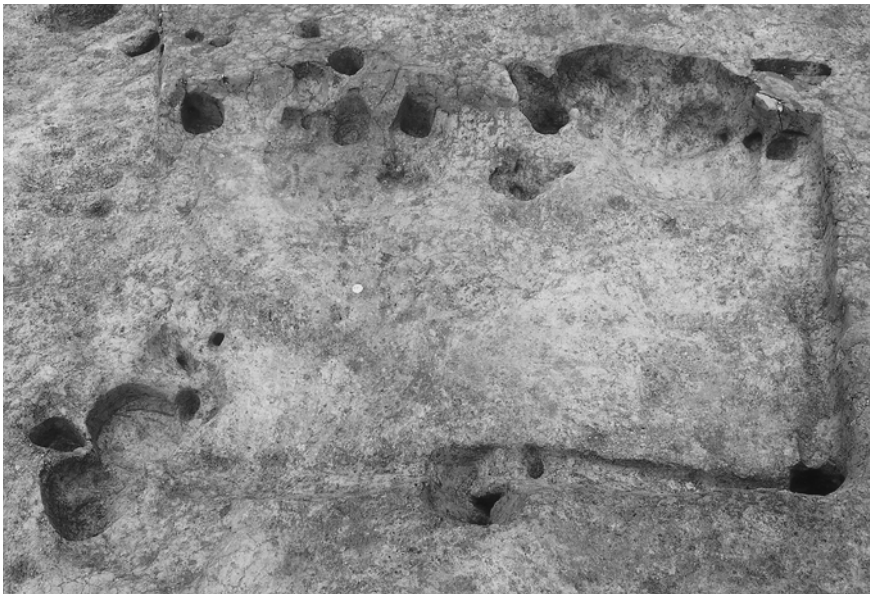
1　ＳＩ113(北西から)

2　ＳＩ113カマド
（北西から）

3　ＳＩ120(北西から)

図版6

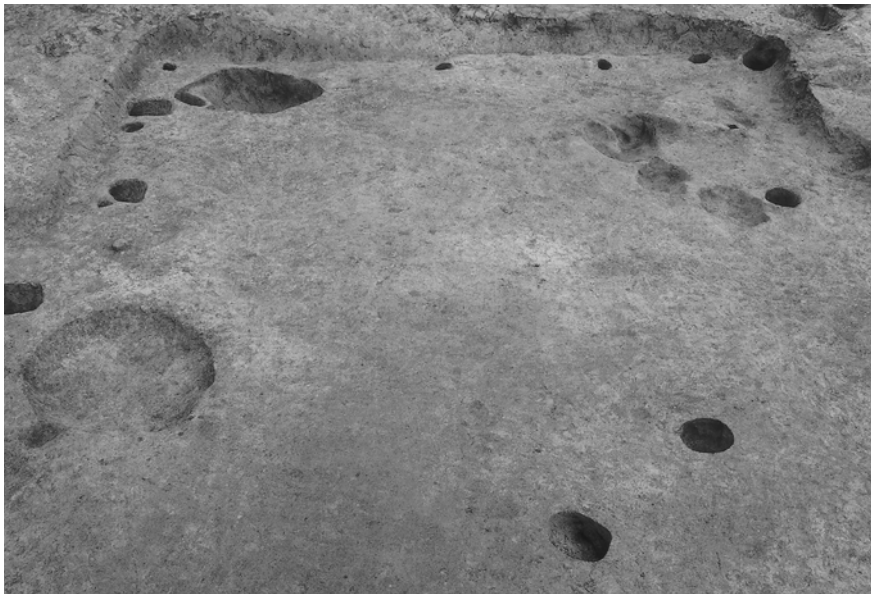
1　ＳＩ125（東から）



2　ＳＩ145(北東から)

3　ＳＩ150(北西から)

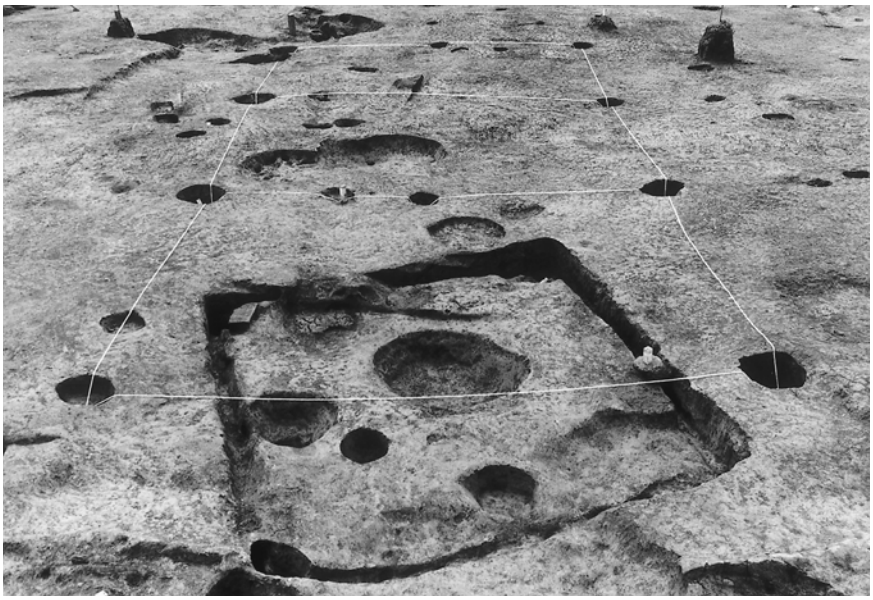
1　ＳＩ159(南東から)



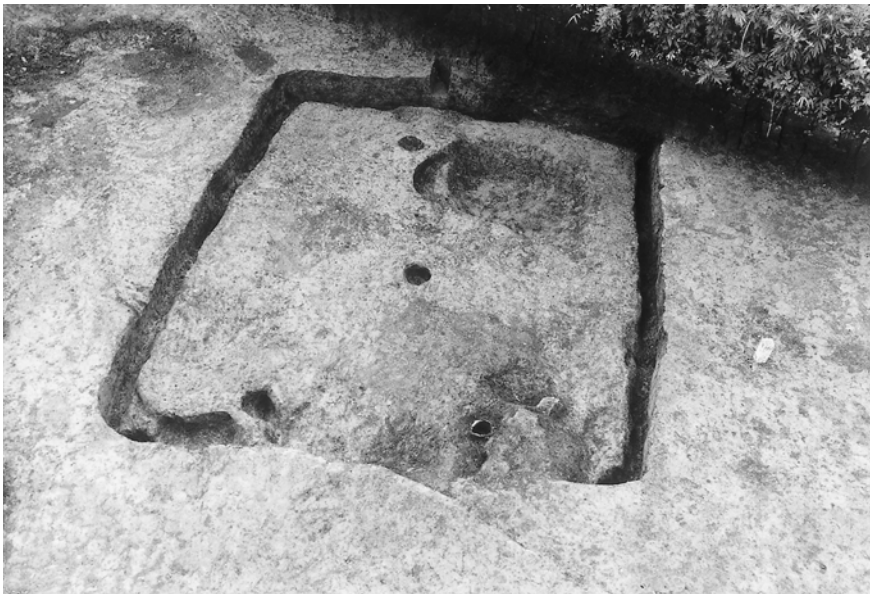
2　ＳＩ165(南東から)

3　ＳＩ213(南東から)

図版8



1　ＳＩ212(北西から)



2　ＳＩ350（東から）

3　ＳＩ412(北西から)

1　ＳＩ468(南東から)

2　ＳＩ515(南東から)

3　ＳＩ860(北西から)

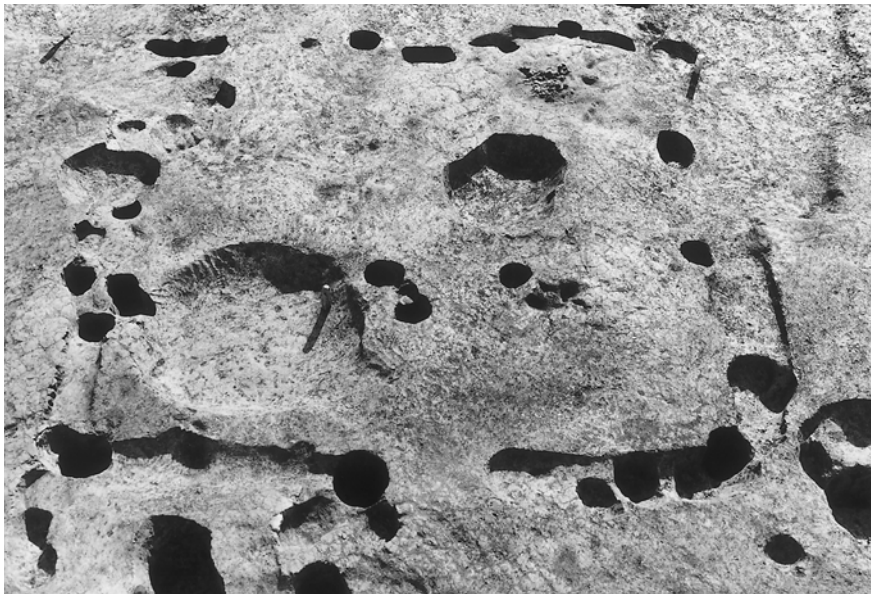
図版10

1　ＳＩ1060
（南東から）

2　ＳＩ1145（南から）

3　ＳＩ1235（西から）

1　ＳＩ1240
（北西から）



2　ＳＩ1375
（北西から）

3　ＳＩ1550
（北西から）

図版12

1　ＳＩ1760
（北西から）

2　ＳＩ1810
（南東から）

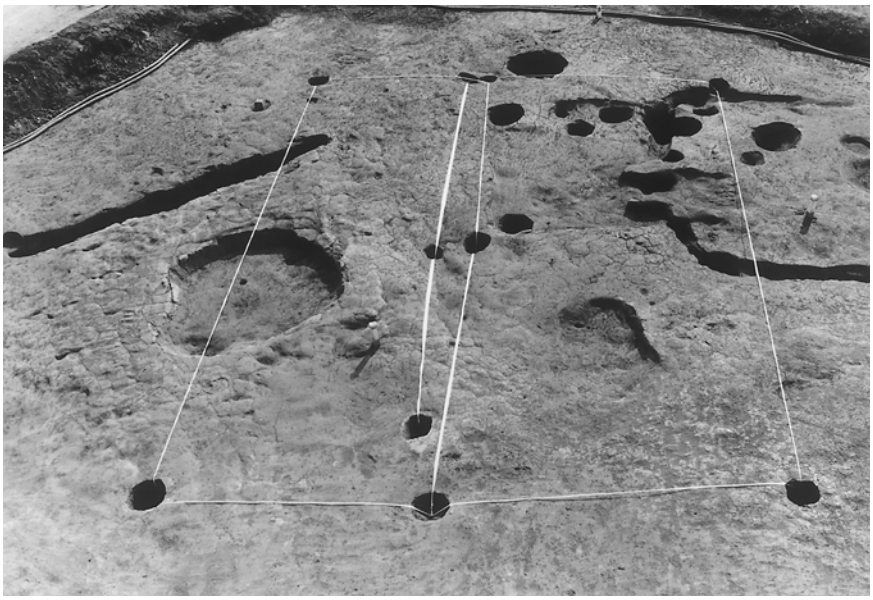
3　ＳＩ1963（東から）

1　ＳＩ2539・2540
（北西から）

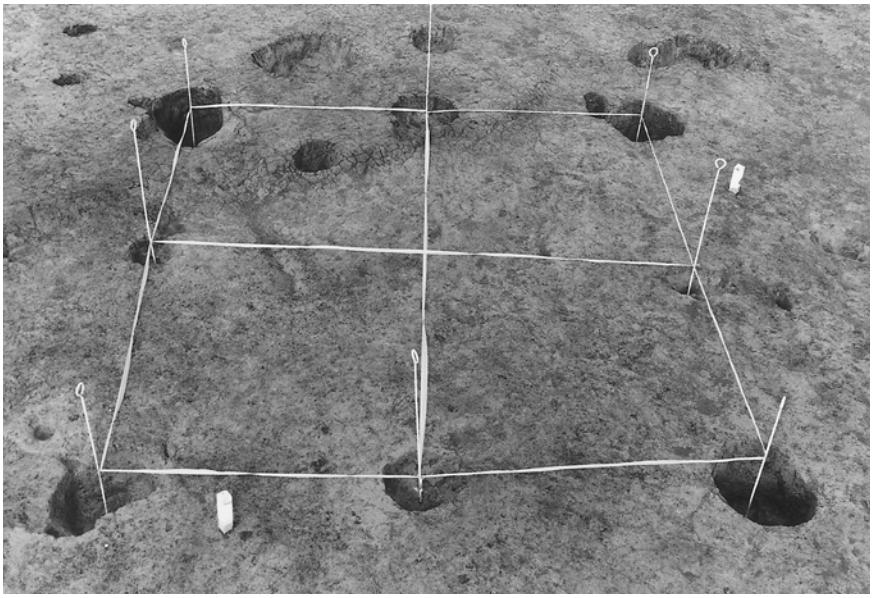
2　ＳＢ1395
（南東から）

3　ＳＢ1530（南から）

図版14



1　SB1945・SA1951
（北東から）



2　ＳＢ2171
（南西から）

3　ＳＫＩ66
（南東から）